

茨城県教育財団文化財調査報告第459集

つくば市

かみ ざかい あさひ だい  
**上境旭台貝塚5**

中根・金田台特定土地区画整理  
事業地内埋蔵文化財調査報告書 XXV

上 卷

令和4年1月

独立行政法人都市再生機構  
東日本都市再生本部  
公益財団法人茨城県教育財団



茨城県教育財団文化財調査報告第459集

つくば市

かみ ざかい あさひ だい  
**上境旭台貝塚5**

中根・金田台特定土地区画整理  
事業地内埋蔵文化財調査報告書 XXV

上 卷

令和4年1月

独立行政法人都市再生機構  
東日本都市再生本部  
公益財団法人茨城県教育財団





平成27年度調査区全景（南西から）



平成29年度調査区遠景（南から）





第4・12号斜面具層確認状況（南から）



第4・5号遺物包含層 漆器鉢出土状況







第4・5号遺物包含層第V層出土遺物①



第4・5号遺物包含層第V層出土遺物②



## 序

公益財団法人茨城県教育財団は、国や県などの各事業者から委託を受けて埋蔵文化財の発掘調査と整理業務を実施することを主な目的として、昭和52年に調査課が設置されて以来、数多くの遺跡の発掘調査を実施し、その成果として発掘調査報告書を刊行してきました。

この度、独立行政法人都市再生機構東日本都市再生本部による中根・金田台特定土地地区画整理事業に伴って実施した、茨城県つくば市上境旭台貝塚の発掘調査報告書を刊行する運びとなりました。

平成19～23年度に実施した調査成果については、『茨城県教育財団文化財調査報告』第325・364・368・397集として順次刊行したところです。

本書は、平成27～30年度に実施した調査成果を収録したものです。調査では、旧石器時代の石器製作跡、縄文時代後・晩期の集落跡や貝塚、低地部の水場などを確認し、豊富な出土遺物から当時の多様な生活の様子や高度な工芸技術が明らかになりました。これらの成果は、当地域の社会の成り立ちや歴史を知る上での貴重な資料となります。

本書が、歴史研究の学術資料としてはもとより、郷土の歴史に対する理解を深め、教育・文化向上のための資料として広く活用いただければ幸いです。

最後になりますが、発掘調査から本書の刊行に至るまで、多大なる御協力を賜りました委託者であります独立行政法人都市再生機構東日本都市再生本部に対して厚く御礼申し上げますとともに、茨城県教育委員会、つくば市教育委員会をはじめ、御指導、御協力をいただきました関係各位に対し、心から感謝申し上げます。

令和4年1月

公益財団法人茨城県教育財団  
理事長 柴原 宏一



# 例 言

1 本書は、独立行政法人都市再生機構東日本都市再生本部の委託により、公益財団法人茨城県教育財団が平成27～30年度に発掘調査を実施した。茨城県つくば市栄宇毘沙門439-1番地ほかに所在する上境旭台貝塚の発掘調査報告書である。

2 発掘調査期間及び整理期間は以下のとおりである。

調査 平成27年12月1日～平成28年3月31日

平成29年1月1日～平成30年4月30日

整理 平成31年4月1日～令和3年12月31日

3 発掘調査は、副参事兼調査課長白田正子のもと、以下の者が担当した。

平成27年度

首席調査員兼課長 駒澤 悦郎

調査員 内堀 団

調査員 小松崎百恵

嘱託調査員 海老澤 稔

平成28年度

首席調査員兼課長 駒澤 悦郎

次席調査員 木村 光輝

調査員 皆川 貴之 平成29年2月1日～3月31日

平成29年度

首席調査員兼課長 駒澤 悦郎

次席調査員 清水 哲

次席調査員 野内智一郎 平成29年4月1日～6月30日、

平成30年1月1日～3月31日

調査員 張替 清司 平成29年7月1日～12月31日

嘱託調査員 仙波 亨

平成30年度

首席調査員兼課長 駒澤 悦郎

次席調査員 三浦 裕介

調査員 経沼 智博

4 整理及び本書の執筆・編集は、平成31年度が整理課長皆川修、令和2・3年度が整理課長小林和彦のもと、以下の者が担当した。

次席調査員 清水 哲

嘱託調査員 野田 良直 令和2年3月1日～3月31日

調査員 根本 佑 令和3年3月1日～3月31日

次席調査員 江原美奈子 令和3年4月1日～11月30日

嘱託調査員 吹野富美夫 令和3年8月1日～11月30日

5 本書の執筆分担任は、下記のとおりである。

次席調査員 清水 哲 第1章～第3章第3節2(1)～(6)・第4章

嘱託調査員 野田 良直 第3章第3節3(4)

調査員 根本 佑 第3章第3節3(4)

次席調査員 江原美奈子 第3章第3節2(2)～(6)

嘱託調査員 吹野富美夫 第3章第3節3(1)～(3)

パリオ・サーヴェイ株式会社 第3章第4節1～4

小林 和貴 佐々木 理 佐々木由香 第3章第4節5

藤根 久 第3章第4節6

- 6 本書の作成にあたり、平成27年度調査のローム層、獣骨類及び平成29年度調査の貝層・灰層・土壌・獣骨の自然科学分析については、バリノ・サーヴェイ株式会社にて、編組製品のX線CTとデジタルマイクロスコープによる内部構造の観察は、東北大学植物園の小林和貴氏、東北大学総合学術博物館の佐々木理氏、株式会社パレオ・ラボの佐々木由香氏、FT-IR分析及び蛍光X線分析（元素マッピング）は株式会社パレオ・ラボの藤根久氏にそれぞれ委託し、それらの成果は、当財団が編集した上で第3章第4節に掲載した。  
また、明治大学教授阿部芳郎氏を代表者とする明治大学黒曜石研究センターと当財団の共同研究として、漆器・漆附着土器の漆分析・樹種同定、土器附着種実・土器附着炭化物の種実・鱗莖同定、安定同位体比分析・年代測定、編組製品・樹皮素材の編組技法の解析・素材同定、木製品・加工木・種実同定、年代測定、大型植物遺体同定、灰・製塩土器の微小貝・微化石分析、珪藻分析が、13名の先生方によって実施され、9編の結果報告が公表されている。詳細は、平成30年10月に当財団が刊行した『研究ノート』第15号を参照されたい。
- 7 本書の作成にあたり、旧石器については窪田恵一氏に、石器石材については日立市郷土博物館特別専門員田切美智雄氏に御指導いただいた。
- 8 本書の作成にあたり、漆器の保存処理（真空凍結乾燥法）は公益財団法人元興寺文化財研究所に、木器・木製品、編組製品の保存処理（高級アルコール法）は株式会社吉田生物研究所に委託した。
- 9 当遺跡の出土遺物及び実測図・写真等の資料は、一括して茨城県埋蔵文化財センターにて保管されている。

## 凡 例

- 1 当遺跡の地区設定は、日本平面直角座標第IX系座標に準拠し、 $X = +12,160 \text{ m}$ 、 $Y = +26,280 \text{ m}$ の交点を基準点 (A 1a1) とした。なお、この原点は、世界測地系 (測地成果 2011) による基準点である。

この基準点を基に遺跡範囲内を東西・南北各々 40 m 四方の大調査区に分割し、さらに、この大調査区を東西・南北に各々 10 等分し、4 m 四方の小調査区を設定した。

大調査区の名称は、アルファベットと算用数字を用い、北から南へ A、B、C…、西から東へ 1、2、3… とし、「A 1区」「B 2区」のように呼称した。さらに小調査区は、北から南へ a、b、c…j、西から東へ 1、2、3…0 と小文字を付し、名称は、大調査区の名称を冠して「A 1a1区」、「B 2b2区」のように呼称した。

- 2 実測図・遺構一覧・遺物一覧等で使用した記号は次のとおりである。

遺構 HG - 遺物包含層 P - ピット SD - 溝跡 SI - 竪穴建物跡 SK - 土坑 SM - 斜面貝層  
SS - 石器集中地点 TP - 陥し穴  
土層 K - 攪乱

- 3 遺構・遺物実測図の作成方法については、次のとおりである。

(1) 遺構全体図は 400 分の 1、各遺構の実測図は原則として 60 分の 1 の縮尺とした。種類や大きさにより異なる場合は、個々に縮尺をスケールで表示した。

(2) 遺物実測図は、原則として 3 分の 1 の縮尺とした。種類や大きさにより異なる場合は、個々に縮尺をスケールで表示した。

(3) 遺構・遺物実測図中の表示は、次のとおりである。なお、その他の種類は、個々に凡例を掲載した。

焼土 灰軸陶器 炉・縄文土器 粘土 炭化物  
須恵器 黒漆 赤彩・赤漆 貝層 硬化面・磨面  
● 土器 ○ 土製品 □ 石器・石製品 ■ 漆器・木製品 △ 骨角製品 ▲ 貝製品

- 4 土層観察と遺物における色調の判定は、『新版標準土色帖』(小山正忠・竹原秀雄編著 日本色研事業株式会社)を使用した。また、土層解説中の含有物については、各々総量を記述した。

- 5 遺構一覧・遺物一覧の表記は、次のとおりである。

(1) 計測値の単位は m、cm、g で示した。なお、現存値は ( ) を、推定値は [ ] を付けて示した。

(2) 遺物番号は、遺構ごとの通し番号とし、本文、挿図、表、写真図版に記した番号と同一とした。

(3) 遺物一覧の備考の欄は、残存率、写真図版番号及びその他必要と思われる事項を記した。

- 6 竪穴建物跡の「主軸」は、炉と出入口施設を通る軸線とし、主軸方向は、その他の遺構の長軸 (径) 方向と共に、座標北からみて、どの方向にどれだけ振れているかを角度で表示した (例  $N - 10^\circ - E$ )。

- 7 本書における調査年度ごとの調査区及び遺構は、以下のとおりである。

平成 27 年度 H 区 SI 24, SK53・331・332・334 ~ 340・342・343・346 ~ 349・373 ~ 375・377 ~  
400・406 ~ 413・415 ~ 423・425 ~ 554・556・558 ~ 576・578 ~ 714・716 ~ 718・  
720 ~ 741・743 ~ 758, SD 1  
I 区 SI 23, TP 3, SK85・297 ~ 299・301 ~ 313・315 ~ 330・341・350 ~ 370・401 ~  
404・555, 第 2 号火葬施設, SD 3・12, SS 1  
平成 28 年度 J 区 SK766 ~ 769・772・773, SD15

平成 28 ～ 29 年度 K 区 SI 18, SK1217・1308～1321, SD11, SM 4・12, HG 5 (第 I～IV 層)

平成 29 年度 C・M・N 区 SI 25・27・30・31, 第 3 号炉跡, SK782～1690 (他調査区及び下記, 変更・  
欠番を除く), SD13・14, SM 2, HG 5

G 区 HG 4・5 (第 IV・V 層)

L 区 SK782～786, SD11, HG 4・5 (第 II～V 層), PG 8

O 区 SI 28, SK1297・1302・1303・1322

平成 29 ～ 30 年度 P 区 SI 32, SK1666～1669, HG 4 (第 II～IV 層)

- 8 本書の作成にあたり、遺構名を変更、欠番にしたものは以下のとおりである。

変更 SI 18 - P 24 → SK1666, SI 26・29 → HG 5 (C 区), SK300 → 第 2 号火葬施設, SK405 → TP 2  
SK1384・1266・1511・1278・1446・1445・1442・1483・1299・1300 → SI 27 - P 2～4・6～14,  
SK1171・1172・1132・1106・1492・1188・1175・1390・1385 → SI30 - P 1～8・12,  
SK1675・1674・1677・1672・1670・1671 → SI32 - P 38・39・40・51・55・60

欠番 SK314・333・344・345・376・414・424・557・577・715・719・742・759～765・770・771・  
774～781・874・876・897・1088・1089・1233・1363・1423・1425・1426・1440・1441・1465～  
1467・1476・1506・1508・1518・1541・1551・1573・1663～1665



# 目 次

## - 上 卷 -

序	
例 言	
凡 例	
上境旭台貝塚の概要	1
第1章 調査経緯	5
第1節 調査に至る経緯	5
第2節 調査経過	6
第2章 位置と環境	7
第1節 位置と地形	7
第2節 歴史的環境	7
第3章 調査の成果	13
第1節 調査の概要	13
第2節 基本層序	13
第3節 遺構と遺物	17
1 旧石器時代の遺構と遺物	17
(1) 石器集中地点	17
(2) 石器集中地点外出土遺物	30
2 縄文時代の遺構と遺物	31
(1) 堅穴建物跡	33
(2) 陥し穴	83
(3) 炉 跡	83
(4) 土 坑	84

## - 中 卷 -

(5) 斜面貝層	295
(6) 遺物包含層	361
3 その他の遺構と遺物	560
(1) 火葬施設	560
(2) 溝 跡	560
(3) 土 坑	564
(4) 遺構外出土遺物	577

## - 下 卷 -

第4節 自然科学分析	585
1 上境旭台貝塚のローム層層序 (平成27年度調査分)	585
2 上境旭台貝塚の動植物遺体 (平成27年度調査分)	592
3 上境旭台貝塚の獣骨類 (平成27年度調査分)	607

4	上境旭台貝塚の自然科学分析（平成29年度調査分）	634
5	上境旭台貝塚から出土した編組製品のX線CTとデジタルマイクروسコープによる内部構造の観察	708
6	上境旭台貝塚出土編組製品の材質分析	716
第4章	総括	723
写真図版		PL 1～PL134
抄録		
付図		

## 挿 図 目 次

### - 上 巻 -

第1図	上境旭台貝塚周辺遊跡分布図	8	第33図	第27号竪穴建物跡実測図(2)	54
第2図	上境旭台貝塚調査区設定図	12	第34図	第27号竪穴建物跡実測図(3)	55
第3図	基本土層図	14	第35図	第27号竪穴建物跡実測図(4)	56
第4図	第1号石器集中地点出土遺物分布図(1)	18	第36図	第27号竪穴建物跡出土遺物実測図(1)	58
第5図	第1号石器集中地点出土遺物分布図(2)	19	第37図	第27号竪穴建物跡出土遺物実測図(2)	59
第6図	第1号石器集中地点出土遺物実測図(1)	20	第38図	第27号竪穴建物跡出土遺物実測図(3)	60
第7図	第1号石器集中地点出土遺物実測図(2)	21	第39図	第27号竪穴建物跡出土遺物実測図(4)	61
第8図	第1号石器集中地点出土遺物実測図(3)	22	第40図	第27号竪穴建物跡出土遺物実測図(5)	62
第9図	第1号石器集中地点出土遺物実測図(4)	23	第41図	第27号竪穴建物跡出土遺物実測図(6)	63
第10図	第1号石器集中地点出土遺物実測図(5)	24	第42図	第27号竪穴建物跡出土遺物実測図(7)	64
第11図	第1号石器集中地点出土遺物実測図(6)	25	第43図	第28号竪穴建物跡実測図(1)	68
第12図	第1号石器集中地点出土遺物実測図(7)	26	第44図	第28号竪穴建物跡実測図(2)	69
第13図	第1号石器集中地点出土遺物実測図(8)	27	第45図	第28号竪穴建物跡出土遺物実測図	70
第14図	第1号石器集中地点出土遺物実測図(9)	28	第46図	第30号竪穴建物跡実測図	71
第15図	I区 石器集中地点外出土遺物実測図	31	第47図	第30号竪穴建物跡・出土遺物実測図	72
第16図	第18号竪穴建物跡実測図	33	第48図	第31号竪穴建物跡実測図(1)	74
第17図	第18号竪穴建物跡出土遺物実測図(1)	35	第49図	第31号竪穴建物跡実測図(2)	75
第18図	第18号竪穴建物跡出土遺物実測図(2)	36	第50図	第31号竪穴建物跡出土遺物実測図	76
第19図	第18号竪穴建物跡出土遺物実測図(3)	37	第51図	第32号竪穴建物跡実測図(1)	78
第20図	第18号竪穴建物跡出土遺物実測図(4)	38	第52図	第32号竪穴建物跡実測図(2)	79
第21図	第23号竪穴建物跡実測図	40	第53図	第32号竪穴建物跡出土遺物実測図(1)	80
第22図	第23号竪穴建物跡出土遺物実測図(1)	41	第54図	第32号竪穴建物跡出土遺物実測図(2)	81
第23図	第23号竪穴建物跡出土遺物実測図(2)	42	第55図	第3号隔し穴実測図	83
第24図	第24号竪穴建物跡実測図	43	第56図	第3号如跡実測図	83
第25図	第24号竪穴建物跡出土遺物実測図	44	第57図	第53号土坑・出土遺物実測図	84
第26図	第25号竪穴建物跡実測図(1)	45	第58図	第35号土坑・出土遺物実測図	86
第27図	第25号竪穴建物跡実測図(2)	46	第59図	第363号土坑・出土遺物実測図	87
第28図	第25号竪穴建物跡出土遺物実測図(1)	48	第60図	第371号土坑・出土遺物実測図	87
第29図	第25号竪穴建物跡出土遺物実測図(2)	49	第61図	第375号土坑・出土遺物実測図	88
第30図	第25号竪穴建物跡出土遺物実測図(3)	50	第62図	第406号土坑・出土遺物実測図	89
第31図	第25号竪穴建物跡出土遺物実測図(4)	51	第63図	第435号土坑実測図	89
第32図	第27号竪穴建物跡実測図(1)	53	第64図	第469号土坑・出土遺物実測図	90

第 65 园	第 491 号土坑实测园	91	第 110 园	第 1357 号土坑出土文物实测园 (4)	136
第 66 园	第 491 号土坑出土文物实测园	92	第 111 园	第 1373 号土坑实测园	137
第 67 园	第 495 号土坑·出土文物实测园	93	第 112 园	第 1373 号土坑出土文物实测园	138
第 68 园	第 543 号土坑·出土文物实测园	94	第 113 园	第 1391 号土坑·出土文物实测园	139
第 69 园	第 574 号土坑·出土文物实测园	95	第 114 园	第 1403 号土坑·出土文物实测园	140
第 70 园	第 688 号土坑·出土文物实测园	96	第 115 园	第 1437 号土坑·出土文物实测园	141
第 71 园	第 722 号土坑·出土文物实测园	97	第 116 园	第 1460 号土坑·出土文物实测园	142
第 72 园	第 724 号土坑·出土文物实测园	98	第 117 园	第 1463 号土坑·出土文物实测园	143
第 73 园	第 739 号土坑·出土文物实测园	98	第 118 园	第 1464 号土坑实测园	144
第 74 园	第 786 号土坑·出土文物实测园	99	第 119 园	第 1464 号土坑出土文物实测园	145
第 75 园	第 793 号土坑实测园	100	第 120 园	第 1471 号土坑·出土文物实测园	146
第 76 园	第 793 号土坑出土文物实测园 (1)	101	第 121 园	第 1477 号土坑·出土文物实测园	147
第 77 园	第 793 号土坑出土文物实测园 (2)	102	第 122 园	第 1482 号土坑·出土文物实测园	148
第 78 园	第 793 号土坑出土文物实测园 (3)	103	第 123 园	第 1498 号土坑·出土文物实测园	149
第 79 园	第 794 号土坑·出土文物实测园	105	第 124 园	第 1505 号土坑·出土文物实测园	150
第 80 园	第 803 号土坑·出土文物实测园	106	第 125 园	第 1532 号土坑·出土文物实测园	151
第 81 园	第 803 号土坑出土文物实测园	107	第 126 园	第 1563 号土坑实测园	152
第 82 园	第 816 号土坑·出土文物实测园	108	第 127 园	第 1565 号土坑·出土文物实测园	152
第 83 园	第 873 号土坑实测园	109	第 128 园	第 1578 号土坑实测园	153
第 84 园	第 873 号土坑出土文物实测园	110	第 129 园	第 1578 号土坑出土文物实测园 (1)	154
第 85 园	第 891 号土坑·出土文物实测园	110	第 130 园	第 1578 号土坑出土文物实测园 (2)	155
第 86 园	第 894 号土坑·出土文物实测园	111	第 131 园	第 1598 号土坑实测园	156
第 87 园	第 896 号土坑·出土文物实测园	112	第 132 园	第 1598 号土坑出土文物实测园	157
第 88 园	第 1081 号土坑·出土文物实测园	113	第 133 园	第 1608 号土坑实测园	158
第 89 园	第 1100 号土坑·出土文物实测园	114	第 134 园	第 1609 号土坑·出土文物实测园	159
第 90 园	第 1100 号土坑出土文物实测园	115	第 135 园	第 1610 号土坑·出土文物实测园	160
第 91 园	第 1145 号土坑·出土文物实测园	116	第 136 园	第 1612 号土坑·出土文物实测园	161
第 92 园	第 1230 号土坑·出土文物实测园	117	第 137 园	第 1613 号土坑·出土文物实测园	162
第 93 园	第 1267 号土坑·出土文物实测园	118	第 138 园	第 1614 号土坑·出土文物实测园	164
第 94 园	第 1268 号土坑·出土文物实测园	119	第 139 园	第 1615·1619 号土坑·出土文物实测园	165
第 95 园	第 1274 号土坑实测园	119	第 140 园	第 1616 号土坑实测园	166
第 96 园	第 1274 号土坑出土文物实测园	120	第 141 园	第 1617 号土坑·出土文物实测园	167
第 97 园	第 1275 号土坑实测园	121	第 142 园	第 1628 号土坑实测园	170
第 98 园	第 1275 号土坑出土文物实测园 (1)	122	第 143 园	第 1634 号土坑·出土文物实测园	171
第 99 园	第 1275 号土坑出土文物实测园 (2)	123	第 144 园	第 1651 号土坑·出土文物实测园	171
第 100 园	第 1281 号土坑实测园	125	第 145 园	縄文時代土坑平面园地区割り园	172
第 101 园	第 1281 号土坑出土文物实测园	126	第 146 园	縄文時代土坑①区平面园	173
第 102 园	第 1287·1288 号土坑·出土文物实测园	128	第 147 园	縄文時代土坑②区平面园	174
第 103 园	第 1293 号土坑·出土文物实测园	129	第 148 园	縄文時代土坑③区平面园	175
第 104 园	第 1294 号土坑·出土文物实测园	130	第 149 园	縄文時代土坑④区平面园	176
第 105 园	第 1324 号土坑·出土文物实测园	131	第 150 园	縄文時代土坑⑤区平面园	177
第 106 园	第 1357 号土坑实测园	132	第 151 园	縄文時代土坑⑥区平面园	178
第 107 园	第 1357 号土坑出土文物实测园 (1)	133	第 152 园	縄文時代土坑⑦区平面园	179
第 108 园	第 1357 号土坑出土文物实测园 (2)	134	第 153 园	縄文時代土坑⑧区平面园	180
第 109 园	第 1357 号土坑出土文物实测园 (3)	135	第 154 园	縄文時代土坑⑨区平面园	181

第155図	縄文時代土坑跡区平面図	182	第194図	縄文時代土坑実測図(33)	221
第156図	縄文時代土坑跡区平面図	183	第195図	縄文時代土坑実測図(34)	222
第157図	縄文時代土坑跡区平面図	184	第196図	縄文時代土坑実測図(35)	223
第158図	縄文時代土坑跡区平面図	185	第197図	縄文時代土坑実測図(36)	224
第159図	縄文時代土坑跡区平面図	186	第198図	縄文時代土坑実測図(37)	225
第160図	縄文時代土坑跡区平面図	187	第199図	縄文時代土坑実測図(38)	226
第161図	縄文時代土坑跡区平面図	188	第200図	縄文時代土坑実測図(39)	227
第162図	縄文時代土坑実測図(1)	189	第201図	縄文時代土坑実測図(40)	228
第163図	縄文時代土坑実測図(2)	190	第202図	縄文時代土坑実測図(41)	229
第164図	縄文時代土坑実測図(3)	191	第203図	縄文時代土坑実測図(42)	230
第165図	縄文時代土坑実測図(4)	192	第204図	縄文時代土坑実測図(43)	231
第166図	縄文時代土坑実測図(5)	193	第205図	縄文時代土坑実測図(44)	232
第167図	縄文時代土坑実測図(6)	194	第206図	縄文時代土坑実測図(45)	233
第168図	縄文時代土坑実測図(7)	195	第207図	縄文時代土坑実測図(46)	234
第169図	縄文時代土坑実測図(8)	196	第208図	縄文時代土坑実測図(47)	235
第170図	縄文時代土坑実測図(9)	197	第209図	縄文時代土坑実測図(48)	236
第171図	縄文時代土坑実測図(10)	198	第210図	縄文時代土坑実測図(49)	237
第172図	縄文時代土坑実測図(11)	199	第211図	縄文時代土坑実測図(50)	238
第173図	縄文時代土坑実測図(12)	200	第212図	縄文時代土坑実測図(51)	239
第174図	縄文時代土坑実測図(13)	201	第213図	縄文時代土坑実測図(52)	240
第175図	縄文時代土坑実測図(14)	202	第214図	縄文時代土坑実測図(53)	241
第176図	縄文時代土坑実測図(15)	203	第215図	縄文時代土坑実測図(54)	242
第177図	縄文時代土坑実測図(16)	204	第216図	縄文時代土坑実測図(55)	242
第178図	縄文時代土坑実測図(17)	205	第217図	縄文時代土坑実測図(56)	243
第179図	縄文時代土坑実測図(18)	206	第218図	縄文時代土坑実測図(57)	244
第180図	縄文時代土坑実測図(19)	207	第219図	縄文時代土坑実測図(58)	245
第181図	縄文時代土坑実測図(20)	208	第220図	縄文時代土坑実測図(59)	246
第182図	縄文時代土坑実測図(21)	209	第221図	縄文時代土坑実測図(60)	247
第183図	縄文時代土坑実測図(22)	210	第222図	縄文時代土坑出土遺物実測図(1)	248
第184図	縄文時代土坑実測図(23)	211	第223図	縄文時代土坑出土遺物実測図(2)	249
第185図	縄文時代土坑実測図(24)	212	第224図	縄文時代土坑出土遺物実測図(3)	250
第186図	縄文時代土坑実測図(25)	213	第225図	縄文時代土坑出土遺物実測図(4)	251
第187図	縄文時代土坑実測図(26)	214	第226図	縄文時代土坑出土遺物実測図(5)	252
第188図	縄文時代土坑実測図(27)	215	第227図	縄文時代土坑出土遺物実測図(6)	253
第189図	縄文時代土坑実測図(28)	216	第228図	縄文時代土坑出土遺物実測図(7)	254
第190図	縄文時代土坑実測図(29)	217	第229図	縄文時代土坑出土遺物実測図(8)	255
第191図	縄文時代土坑実測図(30)	218	第230図	縄文時代土坑出土遺物実測図(9)	256
第192図	縄文時代土坑実測図(31)	219	第231図	縄文時代土坑出土遺物実測図(10)	257
第193図	縄文時代土坑実測図(32)	220			

- 中 巻 -

第232図	第2号斜面貝層実測図(1)	295	第235図	第2号斜面貝層出土遺物実測図	299
第233図	第2号斜面貝層実測図(2)	296	第236図	第4・12号斜面貝層グリッド設定図	301
第234図	第2号斜面貝層実測図(3)	297	第237図	第4号斜面貝層実測図(1)	302

第238 図	第4号斜面貝層実測図(2)	303	第283 図	第5号遺物包含層(C区)出土遺物実測図(3)	365
第239 図	第4号斜面貝層実測図(3)	304	第284 図	第5号遺物包含層(C区)出土遺物実測図(4)	366
第240 図	第4号斜面貝層出土遺物実測図(1)	305	第285 図	調査K・L・P区グリッド設定図	369
第241 図	第4号斜面貝層出土遺物実測図(2)	306	第286 図	第4号遺物包含層(P区)・第4・5号遺物包含層(L区)・第5号遺物包含層(K区)実測図(1)	371
第242 図	第4号斜面貝層出土遺物実測図(3)	307	第287 図	第4号遺物包含層(P区)・第4・5号遺物包含層(L区)・第5号遺物包含層(K区)実測図(2)	372
第243 図	第4号斜面貝層出土遺物実測図(4)	308	第288 図	第4号遺物包含層(P区)・第4・5号遺物包含層(L区)・第5号遺物包含層(K区)実測図(3)	373
第244 図	第4号斜面貝層出土遺物実測図(5)	309	第289 図	第4号遺物包含層(P区)・第4・5号遺物包含層(L区)・第5号遺物包含層(K区)実測図(4)	374
第245 図	第11号斜面貝層実測図(1)	312	第290 図	第4号遺物包含層(P区)・第4・5号遺物包含層(L区)・第5号遺物包含層(K区)実測図(5)	375
第246 図	第11号斜面貝層グリッド設定図	313	第291 図	第5号遺物包含層第1層実測図(1)	376
第247 図	第11号斜面貝層実測図(2)	314	第292 図	第5号遺物包含層第1層実測図(2)	377
第248 図	第11号斜面貝層実測図(3)	315	第293 図	第5号遺物包含層第1層出土遺物実測図(1)	378
第249 図	第11号斜面貝層出土遺物実測図(1)	317	第294 図	第5号遺物包含層第1層出土遺物実測図(2)	379
第250 図	第11号斜面貝層出土遺物実測図(2)	318	第295 図	第4号遺物包含層第Ⅰ層実測図	381
第251 図	第11号斜面貝層出土遺物実測図(3)	319	第296 図	第4号遺物包含層第Ⅱ層出土遺物実測図	382
第252 図	第11号斜面貝層出土遺物実測図(4)	320	第297 図	第4・5号遺物包含層第Ⅱ層出土遺物実測図	383
第253 図	第11号斜面貝層出土遺物実測図(5)	321	第298 図	第5号遺物包含層第Ⅱ層実測図(1)	385
第254 図	第11号斜面貝層出土遺物実測図(6)	322	第299 図	第5号遺物包含層第Ⅱ層実測図(2)	386
第255 図	第11号斜面貝層出土遺物実測図(7)	323	第300 図	第5号遺物包含層第Ⅱ層出土遺物実測図(1)	387
第256 図	第12号斜面貝層実測図(1)	329	第301 図	第5号遺物包含層第Ⅱ層出土遺物実測図(2)	388
第257 図	第12号斜面貝層実測図(2)	332	第302 図	第5号遺物包含層第Ⅱ層出土遺物実測図(3)	389
第258 図	第12号斜面貝層実測図(3)	333	第303 図	第4号遺物包含層第Ⅲ層実測図(1)	391
第259 図	第12号斜面貝層実測図(4)	334	第304 図	第4号遺物包含層第Ⅲ層実測図(2)	392
第260 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(1)	336	第305 図	第4号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(1)	393
第261 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(2)	337	第306 図	第4号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(2)	394
第262 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(3)	338	第307 図	第4号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(3)	395
第263 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(4)	339	第308 図	第4号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(4)	396
第264 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(5)	340	第309 図	第4号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(5)	397
第265 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(6)	341	第310 図	第4号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(6)	398
第266 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(7)	342	第311 図	第4号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(7)	399
第267 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(8)	343	第312 図	第4号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(8)	400
第268 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(9)	344	第313 図	第4・5号遺物包含層第Ⅲ層実測図(1)	403
第269 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(10)	345	第314 図	第4・5号遺物包含層第Ⅲ層実測図(2)	405
第270 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(11)	346	第315 図	第4・5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(1)	407
第271 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(12)	347	第316 図	第4・5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(2)	408
第272 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(13)	348	第317 図	第4・5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(3)	409
第273 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(14)	349	第318 図	第4・5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(4)	410
第274 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(15)	350	第319 図	第4・5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(5)	411
第275 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(16)	351	第320 図	第4・5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(6)	412
第276 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(17)	352	第321 図	第4・5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(7)	413
第277 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(18)	353	第322 図	第4・5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(8)	414
第278 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(19)	354			
第279 図	第12号斜面貝層出土遺物実測図(20)	355			
第280 図	第5号遺物包含層(C区)実測図	362			
第281 図	第5号遺物包含層(C区)出土遺物実測図(1)	363			
第282 図	第5号遺物包含層(C区)出土遺物実測図(2)	364			



第413図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(17)	535	第434図	第11号溝跡実測図	560
第414図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(18)	536	第435図	第11号溝跡出土遺物実測図(1)	562
第415図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(19)	537	第436図	第11号溝跡出土遺物実測図(2)	563
第416図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(20)	538	第437図	時期不明の溝跡実測図	564
第417図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(21)	539	第438図	第335号土坑実測図	565
第418図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(22)	540	第439図	第337号土坑・出土遺物実測図	565
第419図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(23)	541	第440図	第1090号土坑実測図	566
第420図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(24)	542	第441図	第1217号土坑・出土遺物実測図	567
第421図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(25)	543	第442図	時期不明の土坑実測図(1)	568
第422図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(26)	544	第443図	時期不明の土坑実測図(2)	569
第423図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(27)	545	第444図	時期不明の土坑実測図(3)	570
第424図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(28)	546	第445図	時期不明の土坑実測図(4)	571
第425図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(29)	547	第446図	時期不明の土坑実測図(5)	572
第426図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(30)	548	第447図	時期不明の土坑実測図(6)	573
第427図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(31)	549	第448図	時期不明の土坑実測図(7)	574
第428図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(32)	550	第449図	C区遺構外出土遺物実測図	578
第429図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(33)	551	第450図	H区遺構外出土遺物実測図	579
第430図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(34)	552	第451図	H・J・K区遺構外出土遺物実測図	580
第431図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(35)	553	第452図	K区遺構外出土遺物実測図	581
第432図	第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(36)	554	第453図	L・P区遺構外出土遺物実測図	582
第433図	第2号火葬施設実測図	560			

— 下 巻 —

第454図	TP 1の重鉱物組成及び火山ガラス比	587	第477図	旧石器時代出土遺物実測図	724
第455図	TP 2の重鉱物組成及び火山ガラス比	588	第478図	縄文時代整穴建物跡実測図(1)	726
第456図	ヤマトシジミ殻長分布	595	第479図	縄文時代整穴建物跡実測図(2)	727
第457図	イノシシ属計測箇所	609	第480図	縄文時代整穴建物跡実測図(3)	728
第458図	ニホンジカ属計測箇所	610	第481図	縄文時代整穴建物跡実測図(4)	729
第459図	哺乳類四肢骨計測箇所	611	第482図	縄文時代土坑分布図	731
第460図	土坑獣骨出土状況図(平成27年度調査分)	613	第483図	縄文時代土坑・出土遺物実測図(1)	732
第461図	第11号斜面貝層 獣骨出土状況図	614	第484図	縄文時代土坑・出土遺物実測図(2)	733
第462図	低地部試料採取地点の模式柱状図及び分析層位	635	第485図	縄文時代土坑・出土遺物実測図(3)	734
第463図	主要珪藻化石群集の層位分布	638	第486図	縄文時代土坑・出土遺物実測図(4)	735
第464図	低地部の種実遺体群集	640	第487図	呉系統土器実測図(1)	738
第465図	ニホンジカの骨格	644	第488図	呉系統土器実測図(2)	739
第466図	イヌ頭蓋骨計測箇所	644	第489図	呉系統土器実測図(3)	740
第467図	イヌ四肢骨等計測箇所	645	第490図	骨角製・歯牙製狩猟具実測図	741
第468図	烏網計測箇所	646	第491図	土製・石製・骨角製・貝製装身具実測図	742
第469図	ヤマトシジミ右殻殻長分布	649	第492図	石剣・石棒類、独結石、石冠実測図	743
第470図	土坑獣骨出土状況図(平成29年度調査分)	651	第493図	土偶・人面付土器・海獣形土製品実測図	744
第471図	第4号斜面貝層 獣骨出土状況図	654	第494図	土版実測図	745
第472図	第12号斜面貝層 獣骨出土状況図(1)	652	第495図	漆器実測図	746
第473図	第12号斜面貝層 獣骨出土状況図(2)	653	第496図	漆器・木製品・編織製品・未成品実測図	747
第474図	埋蔵物1箇所における貝類の整理構成及び最小単位表	681	第497図	土境相台貝塚・中根中谷津遺跡遺構全体図	748
第475図	第25号整穴建物跡出土土層の不確定法線解析シート	694	第498図	縄文時代遺構変遷図(後期初頭～中葉)	749
第476図	赤外分光スペクトル図	720	第499図	縄文時代遺構変遷図(後期後葉)	750
			第500図	縄文時代遺構変遷図(晩期前葉～中葉)	751

# 挿表目次

## - 上 巻 -

第1表	上境魁台貝塚周辺遺跡一覧	9	第41表	第574号土坑出土貝殻集計表	96
第2表	第1号石器集中地点出土石器組成一覧	17	第42表	第688号土坑出土遺物一覧	97
第3表	第1号石器集中地点出土遺物一覧	28	第43表	第722号土坑出土遺物一覧	97
第4表	I区 石器集中地点外出土遺物一覧	31	第44表	第724号土坑出土遺物一覧	98
第5表	第18号竪穴建物跡出土未掲載土器集計表	34	第45表	第739号土坑出土遺物一覧	99
第6表	第18号竪穴建物跡出土遺物一覧	34	第46表	第786号土坑出土遺物一覧	99
第7表	第23号竪穴建物跡出土遺物一覧	43	第47表	第793号土坑出土未掲載土器集計表	103
第8表	第24号竪穴建物跡出土遺物一覧	44	第48表	第793号土坑出土遺物一覧	103
第9表	第25号竪穴建物跡ビット深度	44	第49表	第793号土坑出土貝殻集計表	104
第10表	第25号竪穴建物跡出土未掲載土器集計表	47	第50表	第794号土坑出土遺物一覧	105
第11表	第25号竪穴建物跡出土遺物一覧	47	第51表	第794号土坑出土貝殻集計表	106
第12表	第25号竪穴建物跡出土貝殻集計表	51	第52表	第803号土坑出土遺物一覧	108
第13表	第27号竪穴建物跡ビット深度	53	第53表	第816号土坑出土遺物一覧	108
第14表	第27号竪穴建物跡出土未掲載土器集計表	57	第54表	第816号土坑出土貝殻集計表	109
第15表	第27号竪穴建物跡出土遺物一覧	57	第55表	第873号土坑出土遺物一覧	109
第16表	第27号竪穴建物跡出土貝殻集計表	66	第56表	第891号土坑出土遺物一覧	111
第17表	第28号竪穴建物跡ビット深度	67	第57表	第894号土坑出土遺物一覧	112
第18表	第28号竪穴建物跡出土遺物一覧	70	第58表	第896号土坑出土遺物一覧	113
第19表	第30号竪穴建物跡ビット深度	71	第59表	第1081号土坑出土遺物一覧	113
第20表	第30号竪穴建物跡出土遺物一覧	73	第60表	第1100号土坑出土遺物一覧	114
第21表	第31号竪穴建物跡ビット深度	73	第61表	第1145号土坑出土遺物一覧	116
第22表	第31号竪穴建物跡出土遺物一覧	75	第62表	第1230号土坑出土遺物一覧	117
第23表	第32号竪穴建物跡ビット深度	77	第63表	第1267号土坑出土遺物一覧	118
第24表	第32号竪穴建物跡出土遺物一覧	77	第64表	第1268号土坑出土遺物一覧	118
第25表	縄文時代竪穴建物跡一覧	82	第65表	第1274号土坑出土遺物一覧	120
第26表	第53号土坑出土遺物一覧	85	第66表	第1275号土坑出土未掲載土器集計表	124
第27表	第53号土坑出土貝殻集計表	85	第67表	第1275号土坑出土遺物一覧	124
第28表	第355号土坑出土遺物一覧	86	第68表	第1275号土坑出土貝殻集計表	125
第29表	第363号土坑出土遺物一覧	87	第69表	第1281号土坑出土遺物一覧	126
第30表	第371号土坑出土遺物一覧	88	第70表	第1287号土坑出土貝殻集計表	127
第31表	第375号土坑出土遺物一覧	88	第71表	第1288号土坑出土遺物一覧	128
第32表	第406号土坑出土遺物一覧	89	第72表	第1293号土坑出土遺物一覧	129
第33表	第435号土坑出土貝殻集計表	90	第73表	第1294号土坑出土遺物一覧	130
第34表	第469号土坑出土遺物一覧	90	第74表	第1324号土坑出土遺物一覧	131
第35表	第491号土坑出土遺物一覧	91	第75表	第1357号土坑出土遺物一覧	132
第36表	第491号土坑出土貝殻集計表	93	第76表	第1357号土坑出土未掲載土器集計表	137
第37表	第495号土坑出土遺物一覧	94	第77表	第1373号土坑出土遺物一覧	138
第38表	第495号土坑出土貝殻集計表	94	第78表	第1391号土坑出土遺物一覧	139
第39表	第543号土坑出土遺物一覧	94	第79表	第1403号土坑出土遺物一覧	140
第40表	第574号土坑出土遺物一覧	95	第80表	第1437号土坑出土遺物一覧	141



第 81 表	第 1437 号土坑出土未掲載土器集計表	142	第 126 表	第 660 号土坑出土遺物一覽	259
第 82 表	第 1460 号土坑出土遺物一覽	142	第 127 表	第 668 号土坑出土遺物一覽	259
第 83 表	第 1463 号土坑出土遺物一覽	143	第 128 表	第 691 号土坑出土遺物一覽	259
第 84 表	第 1464 号土坑出土遺物一覽	144	第 129 表	第 713 号土坑出土遺物一覽	259
第 85 表	第 1471 号土坑出土遺物一覽	146	第 130 表	第 730 号土坑出土遺物一覽	259
第 86 表	第 1477 号土坑出土遺物一覽	146	第 131 表	第 733 号土坑出土遺物一覽	260
第 87 表	第 1482 号土坑出土遺物一覽	148	第 132 表	第 741 号土坑出土遺物一覽	260
第 88 表	第 1498 号土坑出土遺物一覽	149	第 133 表	第 744 号土坑出土遺物一覽	260
第 89 表	第 1505 号土坑出土遺物一覽	150	第 134 表	第 788 号土坑出土遺物一覽	260
第 90 表	第 1532 号土坑出土遺物一覽	150	第 135 表	第 792 号土坑出土遺物一覽	260
第 91 表	第 1565 号土坑出土遺物一覽	153	第 136 表	第 795 号土坑出土遺物一覽	260
第 92 表	第 1578 号土坑出土遺物一覽	156	第 137 表	第 805 号土坑出土遺物一覽	260
第 93 表	第 1578 号土坑出土未掲載土器集計表	156	第 138 表	第 817 号土坑出土遺物一覽	260
第 94 表	第 1598 号土坑出土遺物一覽	158	第 139 表	第 818 号土坑出土遺物一覽	260
第 95 表	第 1609 号土坑出土遺物一覽	159	第 140 表	第 824 号土坑出土遺物一覽	260
第 96 表	第 1610 号土坑出土遺物一覽	161	第 141 表	第 883 号土坑出土遺物一覽	260
第 97 表	第 1612 号土坑出土遺物一覽	161	第 142 表	第 909 号土坑出土遺物一覽	261
第 98 表	第 1613 号土坑出土遺物一覽	162	第 143 表	第 915 号土坑出土遺物一覽	261
第 99 表	第 1613 号土坑出土貝殻集計表	163	第 144 表	第 918 号土坑出土遺物一覽	261
第 100 表	第 1614 号土坑出土遺物一覽	164	第 145 表	第 940 号土坑出土遺物一覽	261
第 101 表	第 1614 号土坑出土貝殻集計表	164	第 146 表	第 948 号土坑出土遺物一覽	261
第 102 表	第 1615 号土坑出土遺物一覽	165	第 147 表	第 964 号土坑出土遺物一覽	261
第 103 表	第 1615 号土坑出土貝殻集計表	165	第 148 表	第 1002 号土坑出土遺物一覽	261
第 104 表	第 1616 号土坑出土貝殻集計表	166	第 149 表	第 1035 号土坑出土遺物一覽	261
第 105 表	第 1617 号土坑出土遺物一覽	168	第 150 表	第 1082 号土坑出土遺物一覽	261
第 106 表	第 1617 号土坑出土貝殻集計表	168	第 151 表	第 1092 号土坑出土遺物一覽	261
第 107 表	第 1619 号土坑出土貝殻集計表	169	第 152 表	第 1096 号土坑出土遺物一覽	262
第 108 表	第 1628 号土坑出土貝殻集計表	170	第 153 表	第 1115 号土坑出土遺物一覽	262
第 109 表	第 1634 号土坑出土遺物一覽	171	第 154 表	第 1122 号土坑出土遺物一覽	262
第 110 表	第 1651 号土坑出土遺物一覽	172	第 155 表	第 1150 号土坑出土遺物一覽	262
第 111 表	第 445 号土坑出土遺物一覽	258	第 156 表	第 1155 号土坑出土遺物一覽	262
第 112 表	第 449 号土坑出土遺物一覽	258	第 157 表	第 1167 号土坑出土遺物一覽	262
第 113 表	第 455 号土坑出土遺物一覽	258	第 158 表	第 1180 号土坑出土遺物一覽	262
第 114 表	第 492 号土坑出土遺物一覽	258	第 159 表	第 1226 号土坑出土遺物一覽	262
第 115 表	第 530 号土坑出土遺物一覽	258	第 160 表	第 1229 号土坑出土遺物一覽	262
第 116 表	第 532 号土坑出土遺物一覽	258	第 161 表	第 1234 号土坑出土遺物一覽	262
第 117 表	第 534 号土坑出土遺物一覽	258	第 162 表	第 1235 号土坑出土遺物一覽	263
第 118 表	第 535 号土坑出土遺物一覽	258	第 163 表	第 1237 号土坑出土遺物一覽	263
第 119 表	第 550 号土坑出土遺物一覽	258	第 164 表	第 1243 号土坑出土遺物一覽	263
第 120 表	第 558 号土坑出土遺物一覽	258	第 165 表	第 1246 号土坑出土遺物一覽	263
第 121 表	第 579 号土坑出土遺物一覽	259	第 166 表	第 1247 号土坑出土遺物一覽	263
第 122 表	第 599 号土坑出土遺物一覽	259	第 167 表	第 1261 号土坑出土遺物一覽	263
第 123 表	第 600 号土坑出土遺物一覽	259	第 168 表	第 1272 号土坑出土遺物一覽	263
第 124 表	第 613 号土坑出土遺物一覽	259	第 169 表	第 1273 号土坑出土遺物一覽	263
第 125 表	第 625 号土坑出土遺物一覽	259	第 170 表	第 1279 号土坑出土遺物一覽	263

第171表	第1289号土坑出土遺物一覽	264
第172表	第1306号土坑出土遺物一覽	264
第173表	第1311号土坑出土遺物一覽	264
第174表	第1319号土坑出土遺物一覽	264
第175表	第1348号土坑出土遺物一覽	264
第176表	第1365号土坑出土遺物一覽	264
第177表	第1366号土坑出土遺物一覽	264
第178表	第1377号土坑出土遺物一覽	264
第179表	第1380号土坑出土遺物一覽	264
第180表	第1386号土坑出土遺物一覽	264
第181表	第1387号土坑出土遺物一覽	265
第182表	第1424号土坑出土遺物一覽	265
第183表	第1428号土坑出土遺物一覽	265
第184表	第1430号土坑出土遺物一覽	265
第185表	第1433号土坑出土遺物一覽	265
第186表	第1434号土坑出土遺物一覽	265
第187表	第1444号土坑出土遺物一覽	265
第188表	第1461号土坑出土遺物一覽	265
第189表	第1503号土坑出土遺物一覽	265
第190表	第1517号土坑出土遺物一覽	265

第191表	第1521号土坑出土遺物一覽	266
第192表	第1522号土坑出土遺物一覽	266
第193表	第1524号土坑出土遺物一覽	266
第194表	第1530号土坑出土遺物一覽	266
第195表	第1534号土坑出土遺物一覽	266
第196表	第1538号土坑出土遺物一覽	266
第197表	第1539号土坑出土遺物一覽	266
第198表	第1576号土坑出土遺物一覽	266
第199表	第1590号土坑出土遺物一覽	266
第200表	第1597号土坑出土遺物一覽	266
第201表	第1605号土坑出土遺物一覽	267
第202表	第1631号土坑出土遺物一覽	267
第203表	第1652号土坑出土遺物一覽	267
第204表	第1658号土坑出土遺物一覽	267
第205表	第1661号土坑出土遺物一覽	267
第206表	第1662号土坑出土遺物一覽	267
第207表	第1684号土坑出土遺物一覽	267
第208表	第1686号土坑出土遺物一覽	267
第209表	縄文時代土坑一覽	268

- 中 卷 -

第210表	第2号斜面貝層出土未掲載土器集計表	298
第211表	第2号斜面貝層出土遺物一覽	298
第212表	第2号斜面貝層出土具散集計表	300
第213表	第4号斜面貝層グリップ・土層対照表	302
第214表	第4号斜面貝層出土未掲載土器集計表	304
第215表	第4号斜面貝層出土遺物一覽	310
第216表	第4号斜面貝層出土具散集計表	311
第217表	第11号斜面貝層グリップ・土層対照表	313
第218表	第11号斜面貝層出土未掲載土器集計表	316
第219表	第11号斜面貝層出土遺物一覽	324
第220表	第11号斜面貝層出土具散集計表	327
第221表	第12号斜面貝層グリップ・土層対照表	330
第222表	第12号斜面貝層出土未掲載土器集計表	332
第223表	第12号斜面貝層出土遺物一覽	333
第224表	第12号斜面貝層出土具散集計表	360
第225表	第5号遺物包含層(C区)出土未掲載土器集計表	367
第226表	第5号遺物包含層(C区)出土遺物一覽	367
第227表	第5号遺物包含層第1層出土未掲載土器集計表	380
第228表	第5号遺物包含層第1層出土遺物一覽	380
第229表	第4号遺物包含層第5層出土未掲載土器集計表	381
第230表	第4号遺物包含層第2層出土遺物一覽	382
第231表	第4・5号遺物包含層第3層出土未掲載土器集計表	384
第232表	第4・5号遺物包含層第2層出土遺物一覽	384
第233表	第5号遺物包含層第2層出土未掲載土器集計表	389

第234表	第5号遺物包含層第2層出土遺物一覽	389
第235表	第4号遺物包含層第3層出土未掲載土器集計表	391
第236表	第4号遺物包含層第3層出土遺物一覽	391
第237表	第4・5号遺物包含層第3層出土未掲載土器集計表	404
第238表	第4・5号遺物包含層第3層出土遺物一覽	404
第239表	第5号遺物包含層第3層出土未掲載土器集計表	429
第240表	第5号遺物包含層第4層出土遺物一覽	451
第241表	第4号遺物包含層第4層出土未掲載土器集計表	459
第242表	第4号遺物包含層第4層出土遺物一覽	461
第243表	第4・5号遺物包含層第4層出土未掲載土器集計表	462
第244表	第4・5号遺物包含層第4層出土遺物一覽	462
第245表	第5号遺物包含層第5層出土未掲載土器集計表	498
第246表	第5号遺物包含層第4層出土遺物一覽	498
第247表	第4・5号遺物包含層第5層出土木材一覽	511
第248表	第4・5号遺物包含層第8号ピット群ピット一覽	517
第249表	第4・5号遺物包含層第5層出土未掲載土器集計表	554
第250表	第4・5号遺物包含層第5層出土遺物一覽	554
第251表	第11号溝跡出土遺物一覽	561
第252表	時期不明溝跡一覽	564
第253表	第337号土坑出土遺物一覽	566
第254表	第1217号土坑出土遺物一覽	567
第255表	時期不明土坑一覽	575
第256表	遺構外出土遺物一覽	577

第257表	重鉱物・火山ガラス比分析結果	586	第279表	K区骨同定結果	666
第258表	微細物分析・炭化種実同定結果	596	第280表	C区骨同定結果	668
第259表	検出動物分類群の一覧	597	第281表	鳥綱四肢骨計測結果	673
第260表	骨貝類同定結果	598	第282表	イヌ頭蓋骨計測結果	673
第261表	貝類計測結果	601	第283表	イヌ四肢骨計測結果	674
第262表	骨同定試料一覧	608	第284表	イノシシ頭蓋骨計測結果	675
第263表	検出分類群一覧	612	第285表	イノシシ四肢骨計測結果	676
第264表	骨同定結果	615	第286表	ニホンジカ頭蓋骨計測結果	677
第265表	イノシシ頭蓋計測値	623	第287表	ニホンジカ四肢骨計測結果	678
第266表	イノシシ四肢骨計測値	623	第288表	堆積物1kgあたりの貝類殻小個体数	682
第267表	ニホンジカ頭蓋計測値	624	第289表	イノシシ部位別数量表(1)	684
第268表	ニホンジカ四肢骨計測値	624	第290表	イノシシ部位別数量表(2)	685
第269表	イノシシ年齢・性別	628	第291表	イノシシ部位別数量表(3)	686
第270表	ニホンジカ年齢・性別	629	第292表	イノシシ下顎歯牙検出状況	687
第271表	イノシシ及びニホンジカの破片数及び最小個体数	629	第293表	イノシシ遺構別の年齢構成	688
第272表	注染分析結果表	637	第294表	ニホンジカ部位別数量表(1)	689
第273表	低地部の微細物洗い出し・種実同定結果	639	第295表	ニホンジカ部位別数量表(2)	690
第274表	貝層の微細物洗い出し・種実同定結果	647	第296表	ニホンジカ部位別数量表(3)	691
第275表	動物遺存体検出分類群一覧	650	第297表	ニホンジカ下顎歯牙検出状況及び年齢・性別	692
第276表	貝塚試料洗い出し骨貝類同定結果	651	第298表	分析試料の詳細	716
第277表	SM12骨同定結果	660	第299表	生歯の赤外線吸収位置とその強度	717
第278表	SM 4骨同定結果	665	第300表	反対側面の鉄高輝度部分の点分析結果	717

## 写真目次

写真1	砂分の状況	590	写真18	哺乳綱(2)	703
写真2	重鉱物・火山ガラス	591	写真19	哺乳綱(3)	704
写真3	炭化葉・炭化種実(1)	602	写真20	哺乳綱(4)	705
写真4	炭化葉・炭化種実(2)	603	写真21	哺乳綱(5)	706
写真5	出土骨貝類(1)	604	写真22	加工品	707
写真6	出土骨貝類(2)	605	写真23	上埴台遺跡出土の編組製品250	709
写真7	出土骨貝類(3)	606	写真24	編組製品250のX軸・Y軸方向のX線CT像	710
写真8	出土骨貝類(1)	631	写真25	編組製品250のZ軸方向のX線CT像	711
写真9	出土骨貝類(2)	632	写真26	編組製品249(1)	712
写真10	出土骨貝類(3)	633	写真27	編組製品249(2)	713
写真11	注染化石	696	写真28	編組製品249のX線CT像(1)	714
写真12	種実遺体(1)	697	写真29	編組製品249のX線CT像(2)	715
写真13	種実遺体(2)	698	写真30	漏斗状編組製品と測定装置及び測定試料	719
写真14	種実遺体(3)	699	写真31	漏斗状編組製品表面の顕微鏡写真と赤外分光スペクトル図	720
写真15	腹足綱・二枚貝綱	700	写真32	両面の元素マッピング図	721
写真16	軟骨魚綱・硬骨魚綱・両生綱・爬虫綱・鳥綱	701	写真33	漏斗状編組製品の木質部内面と木質部切片の顕微鏡写真	722
写真17	哺乳綱(1)	702			

## 写真図版目次

PL 1	平成 27 年度調査区全景 (南東から) 平成 27 年度調査区全景 (北西から)		
PL 2	調査 H 区全景 (鉛直西から) 調査 I 区全景 (鉛直西から)		
PL 3	平成 29 年度調査区全景 (南西から) 平成 29 年度調査区全景 (北西から)		
PL 4	調査 C 区全景 (鉛直南から) 調査 C 区北部近景 (鉛直南から)		
PL 5	調査 C 区中央部近景 (鉛直南から) 調査 C 区南部近景 (鉛直南から)		
PL 6	基本層序テストピット 1 基本層序テストピット 2 基本層序テストピット 3		
PL 7	第 1 号石器集中地点 (北から) 第 1 号石器集中地点 遺物出土状況 (北から) 第 1 号石器集中地点 遺物出土状況 (北西から)		
PL 8	第 18 号竪穴建物跡 (北から) 第 23 号竪穴建物跡 (東から) 第 24 号竪穴建物跡 (南西から)		
PL 9	第 18 号竪穴建物跡 遺物出土状況① (北から) 第 18 号竪穴建物跡 遺物出土状況② (東から) 第 18 号竪穴建物跡 焼土確認状況 (東から) 第 18 号竪穴建物跡 焼土糞子状圧痕 (北から) 第 23 号竪穴建物跡 遺物出土状況① (東から) 第 23 号竪穴建物跡 遺物出土状況② (北東から) 第 25 号竪穴建物跡 遺物出土状況① (西から) 第 25 号竪穴建物跡 遺物出土状況② (西から)		
PL10	第 25 号竪穴建物跡 (南から) 第 27 号竪穴建物跡 (南から) 第 28 号竪穴建物跡 (西から)		
PL11	第 25 号竪穴建物跡 遺物出土状況③ (北から) 第 25 号竪穴建物跡 遺物出土状況④ (西から) 第 25 号竪穴建物跡 遺物出土状況⑤ (西から) 第 25 号竪穴建物跡 遺物出土状況⑥ (南から) 第 27 号竪穴建物跡 遺物出土状況① (東から) 第 27 号竪穴建物跡 遺物出土状況② (北から) 第 27 号竪穴建物跡 遺物出土状況③ (東から) 第 27 号竪穴建物跡 遺物出土状況④ (西から)		
PL12	第 27 号竪穴建物跡 遺物出土状況⑤ (西から) 第 27 号竪穴建物跡 遺物出土状況⑥ (南から) 第 27 号竪穴建物跡 遺物出土状況⑦ (西から) 第 27 号竪穴建物跡 遺物出土状況⑧ (東から) 第 27 号竪穴建物跡 遺物出土状況⑨ (東から) 第 28 号竪穴建物跡 竪設土器出土状況 (西から)		
PL13	第 31 号竪穴建物跡 P 3 土層断面 (南から) 第 30 号竪穴建物跡 (南から) 第 31 号竪穴建物跡 (北から) 第 32 号竪穴建物跡 (北から)		
PL14	第 31 号竪穴建物跡 遺物出土状況① (北東から) 第 31 号竪穴建物跡 遺物出土状況② (南から) 第 32 号竪穴建物跡 炉 (南から) 第 32 号竪穴建物跡 P 39 遺物出土状況 (南から) 第 32 号竪穴建物跡 P 24 遺物出土状況 (東から) 第 32 号竪穴建物跡 遺物出土状況① (東から) 第 32 号竪穴建物跡 遺物出土状況② (南から) 第 32 号竪穴建物跡 遺物出土状況③ (南から)		
PL15	第 3 号陥し穴 (北西から) 第 53 号土坑 遺物出土状況① (北西から) 第 53 号土坑 遺物出土状況② (南西から) 第 53 号土坑 (西から) 第 355 号土坑 遺物出土状況① (南西から) 第 355 号土坑 遺物出土状況② (南西から) 第 371 号土坑 遺物出土状況 (北から) 第 391 号土坑 (南から)		
PL16	第 375 号土坑 遺物出土状況① (北西から) 第 375 号土坑 遺物出土状況② (北西から) 第 406 号土坑 遺物出土状況 (南東から) 第 435 号土坑 遺物出土状況 (南東から) 第 469 号土坑 遺物出土状況 (北東から) 第 491 号土坑 土層断面 (東から) 第 491 号土坑 遺物出土状況 (南東から) 第 491 号土坑 (東から)		
PL17	第 495 号土坑 土層断面 (東から) 第 495 号土坑 遺物出土状況 (南西から) 第 508 号土坑 土層断面 (西から) 第 508 号土坑 (北から) 第 493 号土坑 土層断面 (東から) 第 543 号土坑 遺物出土状況 (北西から) 第 550 号土坑 遺物出土状況 (北西から) 第 574 号土坑 (北西から)		
PL18	第 637 号土坑 遺物出土状況 (南東から) 第 688 号土坑 遺物出土状況 (北東から) 第 724 号土坑 遺物出土状況 (北東から) 第 786 号土坑 遺物出土状況① (南西から) 第 786 号土坑 遺物出土状況② (北から) 第 793 号土坑 遺物出土状況 (北から) 第 793 号土坑 土層断面 (南から) 第 793 号土坑 (南から)		
PL19	第 794 号土坑 遺物出土状況 (南から)		

	第794号土坑 (西から)		第1362号土坑 遺物出土状況 (北西から)
	第796・860号土坑 土層断面 (北から)		第1365号土坑 遺物出土状況 (東から)
	第805号土坑 遺物出土状況 (南から)		第1366号土坑 遺物出土状況 (南から)
	第803号土坑 遺物出土状況 (西から)		第1391号土坑 遺物出土状況 (西から)
	第803号土坑 (南から)		第1396号土坑 遺物出土状況 (西から)
	第873号土坑 遺物出土状況① (西から)		第1428号土坑 遺物出土状況 (南から)
	第873号土坑 遺物出土状況② (西から)	PL26	第1373号土坑 遺物出土状況① (南から)
PL20	第871・872号土坑 土層断面 (東から)		第1373号土坑 遺物出土状況② (西から)
	第891号土坑 遺物出土状況 (南東から)		第1373号土坑 遺物出土状況③ (西から)
	第894号土坑 遺物出土状況① (南東から)		第1373号土坑 遺物出土状況④ (南西から)
	第894号土坑 遺物出土状況② (南から)		第1373号土坑① (南から)
	第896号土坑 遺物出土状況 (西から)		第1373号土坑 土層断面 (南から)
	第1002号土坑 遺物出土状況 (北から)		第1373号土坑② (南から)
	第1066号土坑 遺物出土状況 (北から)		第1429号土坑 遺物出土状況 (東から)
	第1081号土坑 遺物出土状況 (北から)	PL27	第1403号土坑 遺物出土状況 (東から)
PL21	第1100号土坑 遺物出土状況 (北から)		第1403号土坑 (西から)
	第1100号土坑 土層断面 (東から)		第1437号土坑 遺物出土状況① (東から)
	第1100号土坑 (西から)		第1437号土坑 遺物出土状況② (東から)
	第1119号土坑 遺物出土状況 (東から)		第1437号土坑 (南から)
	第1145号土坑 遺物出土状況 (北から)		第1437号土坑 土層断面 (南から)
	第1148号土坑 土層断面 (西から)		第1460号土坑 遺物出土状況① (北から)
	第1153号土坑 (西から)		第1460号土坑 遺物出土状況② (南から)
	第1229号土坑 遺物出土状況 (北から)	PL28	第1463号土坑 (西から)
PL22	第1230号土坑 遺物出土状況① (北から)		第1471号土坑 遺物出土状況 (東から)
	第1230号土坑 遺物出土状況② (南から)		第1464号土坑 土層断面① (西から)
	第1237号土坑 遺物出土状況 (北から)		第1464号土坑 遺物出土状況① (西から)
	第1246号土坑 遺物出土状況 (北から)		第1464号土坑 遺物出土状況② (西から)
	第1261号土坑 遺物出土状況① (北から)		第1464号土坑 遺物出土状況③ (西から)
	第1261号土坑 遺物出土状況② (東から)		第1464号土坑 土層断面② (南から)
	第1272号土坑 遺物出土状況 (北から)		第1464号土坑 (南から)
	第1290号土坑 遺物出土状況 (東から)	PL29	第1477号土坑 遺物出土状況 (東から)
PL23	第1275号土坑 遺物出土状況① (北東から)		第1482号土坑 遺物出土状況 (東から)
	第1275号土坑 土層断面 (北から)		第1501号土坑 遺物出土状況 (北から)
	第1275号土坑 遺物出土状況② (東から)		第1522号土坑 遺物出土状況 (東から)
	第1275号土坑 遺物出土状況③ (南東から)		第1525号土坑 遺物出土状況 (北から)
	第1287・1288号土坑 土層断面 (北から)		第1527号土坑 遺物出土状況 (西から)
	第1288号土坑 遺物出土状況 (南から)		第1530号土坑 遺物出土状況 (南から)
	第1293号土坑 遺物出土状況 (東から)		第1538号土坑 遺物出土状況 (西から)
	第1293号土坑 (北から)	PL30	第1539号土坑 遺物出土状況 (西から)
PL24	第1357号土坑 土層断面① (南から)		第1543号土坑 遺物出土状況 (北から)
	第1357号土坑 遺物出土状況① (東から)		第1565号土坑 土層断面① (西から)
	第1357号土坑 土層断面② (東から)		第1565号土坑① (東から)
	第1357号土坑 遺物出土状況② (南から)		第1565号土坑 土層断面② (西から)
	第1357号土坑 遺物出土状況③ (南から)		第1565号土坑② (西から)
	第1357号土坑 遺物出土状況④ (東から)		第1572号土坑 遺物出土状況 (東から)
	第1357号土坑 土層断面③ (南から)		第1590号土坑 遺物出土状況 (北から)
	第1357号土坑 (南から)	PL31	第1578号土坑 遺物出土状況① (南から)
PL25	第1296号土坑 遺物出土状況 (東から)		第1578号土坑 遺物出土状況② (西から)
	第1306号土坑 遺物出土状況 (北から)		第1578号土坑 土層断面② (北から)

	第1578号土坑 (北から)		第4・12号斜面貝層 堆積状況 (南から)
	第1598号土坑 遺物出土状況① (南から)		第4・12号斜面貝層 (南から)
	第1598号土坑 遺物出土状況② (東から)	PL39	第4・12号斜面貝層 確認状況② (南から)
	第1598号土坑 土層断面 (西から)		第4・12号斜面貝層 確認状況③ (南西から)
	第1598号土坑 (西から)		第4・12号斜面貝層 確認状況④ (南から)
PL32	第1597号土坑 遺物出土状況 (北から)	PL40	第4号斜面貝層 堆積状況 (西から)
	第1609号土坑 (東から)		第12号斜面貝層 堆積状況① (東から)
	第1610号土坑 土層断面① (東から)		第12号斜面貝層 堆積状況② (東から)
	第1610号土坑 遺物出土状況 (東から)	PL41	第4号斜面貝層 遺物出土状況① (東から)
	第1610号土坑 土層断面② (南から)		第4号斜面貝層 遺物出土状況② (西から)
	第1610号土坑 (南から)		第12号斜面貝層 遺物出土状況① (西から)
	第1613号土坑 土層断面 (南から)		第12号斜面貝層 遺物出土状況② (東から)
	第1613号土坑 遺物出土状況 (東から)		第12号斜面貝層 遺物出土状況③ (北から)
PL33	第1613号土坑 (東から)		第12号斜面貝層 遺物出土状況④ (北から)
	第1614号土坑 土層断面 (南から)		第12号斜面貝層 遺物出土状況⑤ (南から)
	第1614号土坑 遺物出土状況 (南から)		第12号斜面貝層 遺物出土状況⑥ (南から)
	第1614号土坑 (東から)	PL42	第12号斜面貝層 遺物出土状況⑦ (南から)
	第1616号土坑 土層断面 (西から)		第12号斜面貝層 遺物出土状況⑧ (南から)
	第1616号土坑 (東から)		第12号斜面貝層 遺物出土状況⑨ (北から)
	第1615・1619号土坑 土層断面 (東から)		第12号斜面貝層 遺物出土状況⑩ (南から)
	第1617号土坑 土層断面① (西から)		第12号斜面貝層 遺物出土状況⑪ (北西から)
PL34	第1617号土坑 遺物出土状況 (西から)		第12号斜面貝層 遺物出土状況⑫ (南から)
	第1617・1618号土坑 (東から)		第12号斜面貝層 遺物出土状況⑬ (南から)
	第1617号土坑 土層断面② (南から)		第12号斜面貝層 遺物出土状況⑭ (東から)
	第1617号土坑 (南から)	PL43	第4号遺物包含層 第Ⅲ層確認状況① (北から)
	第1634号土坑 遺物出土状況 (南から)		第4号遺物包含層 第Ⅲ層確認状況② (南から)
	第1651号土坑 土層断面 (東から)		第4号遺物包含層 第Ⅳ層確認状況① (北西から)
	第1662号土坑 遺物出土状況① (南から)		第4号遺物包含層 第Ⅳ層確認状況② (南西から)
	第1662号土坑 遺物出土状況② (南から)		第4号遺物包含層 第Ⅲ層遺物出土状況① (南から)
PL35	第1号溝跡 (南東から)		第4号遺物包含層 第Ⅲ層遺物出土状況② (南から)
	第13・14号溝跡 (西から)		第4号遺物包含層 第Ⅲ層遺物出土状況③ (南から)
	第11号溝跡 遺物出土状況 (東から)		第4号遺物包含層 第Ⅲ層遺物出土状況④ (東から)
	第11号溝跡 (東から)	PL44	第4・5号遺物包含層 第Ⅴ層確認状況 (北から)
	第2号火葬施設 焼土・炭化材出土状況 (東から)		第4・5号遺物包含層 第Ⅴ層確認状況 (北から)
	第2号火葬施設 (北東から)		第4・5号遺物包含層 第Ⅴ層確認状況① (北から)
	第335号土坑 (南から)		第4・5号遺物包含層 第Ⅲ層遺物出土状況① (南から)
	第1090号土坑 (東から)	PL45	第4・5号遺物包含層 第Ⅲ層遺物出土状況② (南から)
PL36	第2号斜面貝層 確認状況 (北から)		第4・5号遺物包含層 第Ⅳ層遺物出土状況① (西から)
	第11号斜面貝層① (西から)		第4・5号遺物包含層 第Ⅳ層遺物出土状況② (南から)
	第11号斜面貝層② (南西から)		第4・5号遺物包含層 第Ⅳ層遺物出土状況③ (南から)
PL37	第2号斜面貝層 遺物出土状況① (西から)		第4・5号遺物包含層 第Ⅳ層遺物出土状況④ (北から)
	第2号斜面貝層 遺物出土状況② (西から)		第4・5号遺物包含層 第Ⅳ層遺物出土状況⑤ (南から)
	第11号斜面貝層 堆積状況 (東から)		第4・5号遺物包含層 第Ⅴ層遺物出土状況⑥ (南から)
	第11号斜面貝層 遺物出土状況① (北東から)	PL46	第4・5号遺物包含層 第Ⅴ層遺物出土状況① (北から)
	第11号斜面貝層 遺物出土状況② (南から)		第4・5号遺物包含層 第Ⅴ層遺物出土状況② (南東から)
	第11号斜面貝層 遺物出土状況③ (南西から)		第4・5号遺物包含層 第Ⅴ層① (北から)
	第11号斜面貝層 遺物出土状況④ (南から)	PL47	第4・5号遺物包含層 第Ⅴ層確認状況② (北東から)
	第11号斜面貝層 遺物出土状況⑤ (西から)		第4・5号遺物包含層 第Ⅴ層遺物出土状況③ (北東から)
PL38	第4・12号斜面貝層 確認状況① (南から)		第4・5号遺物包含層 第Ⅴ層② (北東から)

PL48	第4・5号遺物包含層	堆積状況①(東から)	PL58	第1号石器集中地点、石器集中地点外出土石器
	第4・5号遺物包含層	堆積状況②(西から)	PL59	第18号竪穴建物跡出土土器
	第4・5号遺物包含層	堆積状況③(西から)	PL60	第18号竪穴建物跡出土土器、石器
	第4・5号遺物包含層	堆積状況④(西から)	PL61	第23・24号竪穴建物跡出土土器
	第4・5号遺物包含層	第V層木道1確認状況①(南から)	PL62	第25号竪穴建物跡出土土器
PL49	第4・5号遺物包含層	第V層木道1確認状況②(東から)	PL63	第25号竪穴建物跡、第793号土坑出土土器、骨角製品
	第4・5号遺物包含層	第V層木道2確認状況①(南から)	PL64	第27号竪穴建物跡出土土器(1)
	第4・5号遺物包含層	第V層木道2確認状況②(東から)	PL65	第27号竪穴建物跡出土土器(2)
	第4・5号遺物包含層	第V層遺物出土状況④(南から)	PL66	第27号竪穴建物跡出土土製品、骨角製品、貝製品
	第4・5号遺物包含層	第V層遺物出土状況⑤(東から)	PL67	第27号竪穴建物跡出土石器、石製品
PL50	第4・5号遺物包含層	第V層遺物出土状況⑥(南東から)	PL68	第28・30・31・32号竪穴建物跡出土土器
	第4・5号遺物包含層	第V層遺物出土状況⑦(南西から)	PL69	第32号竪穴建物跡出土土製品、石器、石製品、骨角製品
	第4・5号遺物包含層	第V層遺物出土状況⑧(西から)	PL70	第53・355・363・491号土坑出土土器
	第4・5号遺物包含層	第V層遺物出土状況⑨(東から)	PL71	第375・406・455・469・491・530・534・543・574・579号土坑出土土器、土製品、石器、骨角製品
	第4・5号遺物包含層	第V層遺物出土状況⑩(南から)	PL72	第722・793号土坑出土土器
PL51	第4・5号遺物包含層	第V層遺物出土状況⑪(南から)	PL73	第724・739・786・793・794号土坑出土土器
	第4・5号遺物包含層	第V層遺物出土状況⑫(南から)	PL74	第625・668・688・713・793・803・805・894号土坑出土土器、土製品、石器、骨角製品、貝製品
	第4・5号遺物包含層	第V層遺物出土状況⑬(東から)	PL75	第816・873・891・896号土坑出土土器、骨角製品
	第4・5号遺物包含層	第V層遺物出土状況⑭(西から)	PL76	第909・918・1035・1081・1100・1145・1150号土坑出土土器、貝製品
	第4・5号遺物包含層	第V層遺物出土状況⑮(南から)	PL77	第1230・1247・1261・1272・1274号土坑出土土器
PL52	第4・5号遺物包含層	第V層遺物出土状況⑯(南から)	PL78	第1275号土坑出土土器
	第4・5号遺物包含層	第V層遺物出土状況⑰(北から)	PL79	第1268・1272・1281・1288・1289・1293・1294号土坑出土土器
	第4・5号遺物包含層	第V層遺物出土状況⑱(西から)	PL80	第1217・1274・1275・1279・1324・1357号土坑出土土器、石器、貝製品
	第4・5号遺物包含層	第V層遺物出土状況⑲(東から)	PL81	第1357・1366・1373・1377号土坑出土土器
	第4・5号遺物包含層	第V層遺物出土状況⑳(北から)	PL82	第1357・1373号土坑出土土器
PL53	第4・5号遺物包含層	第V層遺物出土状況㉑(北から)	PL83	第1357・1391号土坑出土土器
	第5号遺物包含層	第I層確認状況(西から)	PL84	第1235・1357・1362・1403・1437・1460・1464・1477号土坑出土土器、土製品、石器、石製品
	第5号遺物包含層	第II層確認状況(西から)	PL85	第1403・1433・1437・1460・1463・1464・1605号土坑出土土器
	第5号遺物包含層	第III層確認状況(西から)	PL86	第1461・1471・1482・1498号土坑出土土器
	第5号遺物包含層	第IV層調査終了状況①(西から)	PL87	第1428・1430・1477・1505・1532・1539・1565・1576・1578号土坑出土土器、石器
PL54	第5号遺物包含層	第IV層調査終了状況②(南東から)	PL88	第1530・1565・1578・1598号土坑出土土器
	第5号遺物包含層	第III層遺物出土状況①(南から)	PL89	第1505・1590・1598・1612・1613・1651・1652・1658・1661号土坑出土土器、土製品、石器
	第5号遺物包含層	第III層遺物出土状況②(南東から)	PL90	第1609・1613・1617・1631・1634・1651号土坑、第11号溝跡出土土器、土製品、石器、骨角製品、貝製品
	第5号遺物包含層	第III層遺物出土状況③(北東から)	PL91	第2・4号斜面貝層出土土器、土製品
	第5号遺物包含層	第III層遺物出土状況④(北東から)	PL92	第4号斜面貝層出土土器
PL55	第5号遺物包含層	第IV層遺物出土状況①(南から)	PL93	第4・11号斜面貝層出土土器、石器、貝製品
	第5号遺物包含層	第IV層遺物出土状況②(南東から)	PL94	第11号斜面貝層出土土器
	第5号遺物包含層	第IV層遺物出土状況③(東から)	PL95	第11号斜面貝層出土土器、土製品、石器、石製品
	第5号遺物包含層	第IV層遺物出土状況④(西から)	PL96	第4・11・12号斜面貝層出土土器、骨角製品、貝製品
	PL56	第1号石器集中地点出土石器(2)		
PL57	第1号石器集中地点出土石器(3)			

PL97	第12号斜面貝層出土土器 (1)	PL116	第4、4・5号遺物包含層第IV層出土土器
PL98	第12号斜面貝層出土土器 (2)	PL117	第4・5号遺物包含層第IV層出土土器
PL99	第12号斜面貝層出土土器 (3)	PL118	第4・5号遺物包含層第IV層出土土器、石器・石製品
PL100	第12号斜面貝層出土土器 (4)	PL119	第4・5・5号遺物包含層第IV層出土土器、石器・石製品
PL101	第12号斜面貝層出土土器、土製品	PL120	第5号遺物包含層第IV層出土土器
PL102	第12号斜面貝層出土石器・石製品、骨角製品、貝製品	PL121	第5号遺物包含層第IV層出土土器、土製品、石器
PL103	第2号斜面貝層、第5号遺物包含層出土土器、石器・石製品	PL122	第4・5号遺物包含層第V層出土土器 (1)
PL104	第5号遺物包含層第I層、第4・5・5号遺物包含層第II層出土土器、土製品、石器・石製品	PL123	第4・5号遺物包含層第V層出土土器 (2)
PL105	第4号遺物包含層第III層出土土器	PL124	第4・5号遺物包含層第V層出土土器 (3)
PL106	第4号遺物包含層第III層出土土製品、石器・石製品	PL125	第4・5号遺物包含層第V層出土土器 (4)
PL107	第4・5号遺物包含層第III層出土土器 (1)	PL126	第4・5号遺物包含層第V層出土土器 (5)
PL108	第4・5号遺物包含層第III層出土土器 (2)	PL127	第4・5号遺物包含層第V層出土土器、土製品
PL109	第4・5号遺物包含層第III層出土土器、土製品、石器	PL128	第4・5号遺物包含層第V層出土土器
PL110	第4・5号遺物包含層第III層出土石器・石製品	PL129	第4・5号遺物包含層第V層出土漆器 (1)
PL111	第5号遺物包含層第III層出土土器 (1)	PL130	第4・5号遺物包含層第V層出土漆器 (2)
PL112	第5号遺物包含層第III層出土土器 (2)	PL131	第4・5号遺物包含層第V層出土漆器 (3)
PL113	第5号遺物包含層第III層出土土器 (3)	PL132	第4・5号遺物包含層第V層出土漆器、木器、編組製品
PL114	第5号遺物包含層第III層出土土製品	PL133	第4・5号遺物包含層第V層出土木器
PL115	第5号遺物包含層第III層出土石器・石製品	PL134	遺構外出土土器、土製品、石器・石製品、金属製品



## 上境旭台貝塚の概要

## 遺跡の位置と調査の目的

上境旭台貝塚は、つくば市の東部、桜川右岸の標高16～27mの台地上から低地部にかけて立地する縄文後・晩期の集落跡です。平成27～30年度、中根・金田台特定土地区画整理事業に伴い、5,202㎡について発掘調査を実施しました。



## 調査の内容

今回は、遺跡西半部の台地上と東・南部の斜面部から低地部を調査し、旧石器時代（約30,000年前）の石器集中地点1か所、縄文時代後期から晩期中葉（約4,200～3,000年前）の竪穴建物跡9棟、斜面貝層4か所、遺物包含層1か所のほか、土坑1,315基、溝跡7条などを確認しました。出土遺物は、遺物用コンテナで1,073箱にのびります。旧石器時代はナイフ形石器、搔器などの道具類と石器製作の痕跡を示す石刃、剥片、石核、縄文時代は縄文土器や石鏃、石皿、磨石などの日用品に加え、動物の骨や角、貝殻で作られた狩猟具やアクセサリー、土偶や土版、石棒や石剣などのマツリの道具が出土しました。また、低地部の遺物包含層からは、赤や黒の漆が塗られた木製容器や弓、編組製品など、地下水の影響で腐らずに残った有機質の遺物が出土しました。



台地上に密集する竪穴建物跡と土坑群



低地部に集積した自然木と木道



ローム層（第2黒色帯上部）から出土した石器群



東北産の頁岩を主体とした石器群

## 旧石器時代の調査の結果

石器集中地点は、遺跡西部に位置しています。搔器2点のほか、石器の素材となる縦長剥片（石刃）20点、剥片55点、石核12点などが出土しました。石材は東北産の頁岩が7割を占め、信州産の黒曜石や在地産の瑪瑙なども使用されています。大型の石刃が多数出土しており、縦長の石器素材を一定の形で効率よく採取する技法（石刃技法）が用いられていることが分かりました。出土した関東ローム層の分析から、約30,000年前に鹿児島島の始良カルデラから噴出した火山灰（AT層）よりも古い時期に位置付けられます。

## 台地部の調査の結果

遺跡西部の台地部の調査では、縄文時代後期前葉から晩期中葉にかけての集落跡を確認しました。径8～9mの大型竪穴建物跡や深さ2mを超える円筒形の土坑、完形の土器を埋納した土坑など、多数の遺構群が径約100mのドーナツ状の範囲に分布しており、円形を意識した集落形態が明らかになりました。

径8～9mの第27・31号竪穴建物跡は、いずれも壁際に焼土や炭化材が確認できた焼失建物です。特に、第27号竪穴建物跡からは、小型の浅鉢や手捏ねのミニチュア土器、土偶、土版、翡翠製小玉など祭祀的な遺物が数多く出土しています。これらの大型建物は、集落の集会場や共同の作業場といった中心的な性格を有していたと考えられます。



南部に出入口施設が設けられた竪穴建物跡



径8 mを超える大型の竪穴建物跡



深さ2 mを超える円筒形の土坑



竪穴建物跡から出土したマツリの道具

深さ2 m以上の円筒形の土坑は、10基を確認しました。土坑の覆土は、柱の抜き取り、あるいは掘り返しの痕跡と考えられる不自然な堆積状況を示しているものが多く、その内部には多量の貝殻や焼土塊、ほぼ完形に復元できる深鉢や鉢、浅鉢、注口土器などが投棄されています。建物を構成するような規則的な配置は認められませんが、貯蔵穴や墓坑、単独柱の構造物などの可能性が考えられます。時期は、いずれも晩期前葉に位置付けられ、当該時期の特殊な遺構として注目されます。

また、第1293・1617号土坑からは、それぞれ1頭分のイヌの骨が出土しました。ほぼ全身の部位が確認できることから、埋葬された可能性があります。2頭とも右の大腿骨に骨折の治癒痕があり、大怪我をした後も集落内で飼育されていたことが分かりました。



湧水点に掘られていた多数の穴



赤漆の片口鉢



斜面貝層の堆積状況



動物の足の骨で作られた装飾り（髻）

### 斜面部・低地部の調査の結果

低地部の調査では、谷底部に堆積した縄文時代後期前葉の腐植土層を確認し、湧水点の利用状況や周辺の自然環境が明らかになりました。出土した漆製品は、当時の工芸技術の高さを物語る優品です。また、木製容器の未成品や漆を保管した容器、顔料のベンガラが出土しており、漆製品が当地で作られていたことが判明したことも大きな成果に挙げられます。

斜面部の調査では、後期中葉から後葉と晩期中葉に形成された二層の遺物包含層に挟まれるかたちで、後期末葉から晩期前葉の竪穴建物跡と斜面貝層を確認し、層位的に土地利用の変遷を追うことができました。また、斜面貝層から出土した貝殻は、総数約140万点、総重量約2.5 tで、その98%がヤマトシジミでした。当時、集落の周辺まで汽水域が広がっていたことを示しており、食生活や古環境を復元する上での貴重な資料を得ることができました。

# 第1章 調査経緯

## 第1節 調査に至る経緯

つくば市では、世界に開かれた国際交流の中心、世界の科学技術をリードする研究開発の拠点として、21世紀の新しい街づくりが進められている。その一環として取り組んでいるのが、2005年に開業した「つくばエクスプレス」の沿線開発である。中根・金田台地区については、独立行政法人都市再生機構が施工者となり土地画整理事業を実施した。この事業は、平成6年9月に、茨城県知事・つくば市長から住宅・都市整備公団（当時）へ事業施工要請を行い、その後、事業実施に向けた検討を進め、平成16年5月に事業認可され、計6回の事業計画変更認可の手続きを経て、平成30年11月に換地処分公告されたものである。なお、独立行政法人都市再生機構は平成16年7月に設立されたが、その前身は、都市基盤整備公団（平成11年10月設立）、さらにその前身は、住宅・都市整備公団（昭和56年10月設立）と、数回、組織改編が行われている。

平成6年11月18日、住宅・都市整備公団つくば開発局長は、茨城県教育委員会教育長あてに、中根・金田台特定土地画整理事業地内における埋蔵文化財の所在の有無及びその取り扱いについて照会した。

平成7年度、茨城県教育委員会は、現地踏査を実施した。

平成12年1月18日及び19日、平成19年3月1日、2日及び9月11日、平成28年6月7日、7月15日及び11月9日、平成29年4月25日及び9月28日、茨城県教育委員会は、試掘調査を実施した。

平成12年2月15日、茨城県教育委員会教育長は、都市基盤整備公団茨城地域支社長あて、平成19年3月23日及び9月27日、茨城県教育委員会教育長は、独立行政法人都市再生機構茨城地域支社長あて、平成28年7月15日及び平成29年10月19日、茨城県教育委員会教育長は、独立行政法人都市再生機構首都圏ニュータウン本部つくば・千葉常磐担当推進役あてに事業地内に上境旭台貝塚が所在すること、及びその取り扱いについて別途協議が必要であることを回答した。

平成19年1月11日、独立行政法人都市再生機構茨城地域支社長は、茨城県教育委員会教育長あてに、平成28年11月14日及び平成29年2月13日、独立行政法人都市再生機構首都圏ニュータウン本部つくば・千葉常磐担当推進役は、茨城県教育委員会教育長あてに文化財保護法第94条に基づく土木工事の通知を提出した。

平成19年1月31日、茨城県教育委員会教育長は、独立行政法人都市再生機構茨城地域支社長あてに、平成28年11月16日及び平成29年2月16日、茨城県教育委員会教育長は、独立行政法人都市再生機構首都圏ニュータウン本部つくば・千葉常磐担当推進役あてに、現状保存が困難であることから、記録保存のための発掘調査が必要であると決定し、工事着手前に発掘調査を実施するよう通知した。

平成22年3月17日、独立行政法人都市再生機構茨城地域支社長は、茨城県教育委員会教育長あてに、平成27年2月19日、平成28年2月16日、平成29年2月20日及び平成30年2月26日、独立行政法人都市再生機構首都圏ニュータウン本部つくば・千葉常磐担当推進役は、茨城県教育委員会教育長あてに、中根・金田台特定土地画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査の実施について協議書を提出した。

平成22年3月26日、茨城県教育委員会教育長は、独立行政法人都市再生機構茨城地域支社長あてに、平成27年2月20日、平成28年2月16日、平成29年2月22日及び平成30年2月27日、茨城県教育委員会教育長は、独立行政法人都市再生機構首都圏ニュータウン本部つくば・千葉常磐担当推進役あてに、上境旭台貝塚について、発掘調査の範囲及び面積について回答し、併せて埋蔵文化財の調査機関として、財団法人茨城県教育財団

(平成24年3月まで)及び公益財団法人茨城県教育財団(平成24年4月から)を紹介した。

公益財団法人茨城県教育財団は、独立行政法人都市再生機構首都圏ニュータウン本部つくば・千葉常磐担当推進役から埋蔵文化財発掘調査事業について委託を受け、平成27年12月1日から平成28年3月31日まで、H・I区の1.162㎡、平成29年1月1日から平成30年4月30日まで、C・G～P区の4,040㎡の総面積5,202㎡について発掘調査を実施した。

## 第2節 調査経過

上境旭台貝塚の調査は、平成27年12月1日から平成28年3月31日まで、及び平成29年1月1日から平成30年4月30日までの延べ20か月間にわたって実施した。以下、その概要を表で記載する。

工程	期間	平成27年度			
		12月	1月	2月	3月
調査準備 遺構除土 確認		■			
遺構調査			■	■	■
遺物洗浄 写真整理			■	■	■
撤収					■

工程	期間	平成28年度												平成29年度	報告月			
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			1月	2月	3月
調査準備 遺構除土 確認		■	■															
遺構調査				■	■	■				■			■	■			■	■
遺物洗浄 写真整理																		
撤収																		

## 第2章 位置と環境

### 第1節 位置と地形

上境旭台貝塚は、茨城県つくば市栄字毘沙門 439 - 1 番地ほかに所在している。

つくば市は、茨城県の南西部に位置し、北部は筑波山塊に接し、東側約 5 km には霞ヶ浦がある。市域の多くは筑波山を北端として、その南東側に広がる標高 25 m ほどの平坦な筑波・稲敷台地上にある。この台地は、東を霞ヶ浦に流入する桜川、西を利根川に合流する小貝川によって区切られており、東から花室川、蓮沼川、小野川、谷田川、西谷田川などの中小河川がほぼ北から南に向かって流れている。

筑波・稲敷台地は、茨城県南部から千葉県北部に広がる常総台地の一部であり、地質的には海成砂層の成田層を基盤として、その上に砂層・砂礫層の竜ヶ崎層、さらに泥質粘土層の常総粘土層、関東ローム層が連続して堆積し、最上部は腐植土層となっている<sup>1)</sup>。

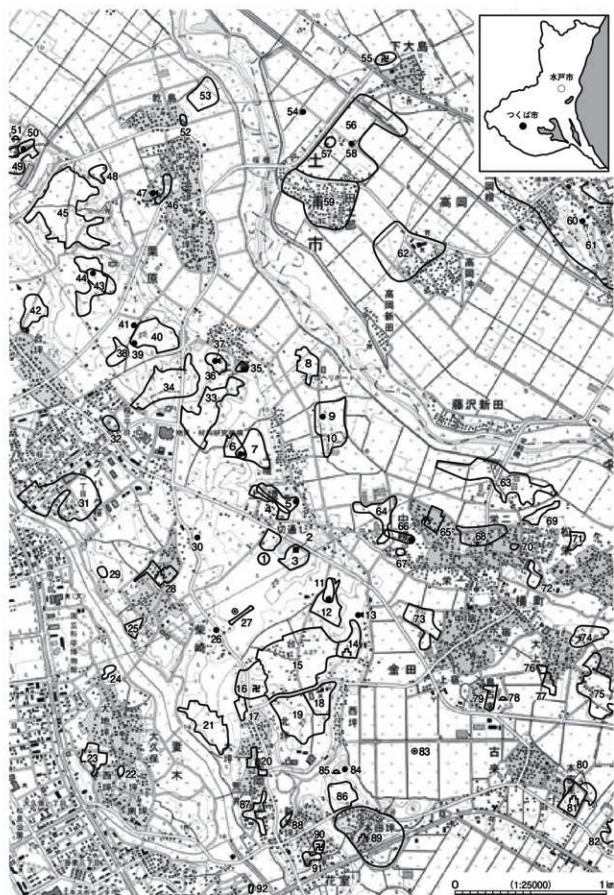
当遺跡は、つくば市の東部に位置し、桜川右岸の低地から入り込む谷津と小支谷に囲まれた標高 16 - 27 m の台地上から低地部にかけて立地している。桜川低地から入り込む谷津は、遺跡の東側を南北方向に延びているが、遺跡の北側に敷設された道路によって雨水が遮断されたことにより、谷頭付近が調査前まで溜め池の状態であった。また、遺跡の北部と南部には東側の谷津から西方へそれぞれ小支谷が入り込んでいる。遺跡はこれらの谷に三方を囲まれた東西、南北ともに約 140 m の範囲に広がっており、台地上の平坦部には集落域が展開し、台地縁辺部から斜面部、低地部にかけて斜面貝層や遺物包含層が形成されている。さらに、南部の小支谷対岸の台地先端部にも小規模な集落域が存在している。今回の調査区は、遺跡西西部の台地上 (C・H・I・J・M・N 区 (以下、C・M・N 区の記載については、C 区として一括し、M・N 区を省略する)) と東部から南部にかけての斜面部から低地部 (G・K・L・P 区) 及び南部の小支谷対岸の台地先端部 (O 区) である。地目はいずれも畑地で、現況では溜め池の西岸部分にあたる。

### 第2節 歴史的環境

桜川と花室川に挟まれた台地上には、旧石器時代から室町時代にかけての遺跡が集中している<sup>2)</sup>。ここでは、当遺跡の主たる時期である縄文時代の遺跡を中心に、周辺の遺跡を概観する。

当該地域で人々の生活痕跡が認められるのは後期旧石器時代に遡り、東岡中原遺跡 (21) からは、荒屋型彫器を含む細石刃石器群が確認されている<sup>3)</sup>。

今から約 1 万 2 千年前に始まる縄文時代からは、地球規模での温暖化により海面が少しずつ上昇し、内陸部まで海水が進入するいわゆる「縄文海進」により、縄文時代早期末から前期初め頃には、霞ヶ浦周辺地域に広大な「内海」が形成される。この「内海」の形成と時を同じくして、台地縁辺部を中心に貝塚が形成されるようになる。桜川下流域及び霞ヶ浦土浦沿岸では、土浦市沖宿貝塚群の早期末に遡る事例を最古として、前期の貝塚が確認できる。桜川水系の前期の貝塚としては、当遺跡の桜川低地を挟んで対岸約 3 km に上坂田寺裏貝塚、下坂田鹿島前貝塚が、下流約 4 km に穴塚貝塚がある。これらの貝塚は、内湾などの浅海の泥底に生息するハイガイを主体とする貝塚であり、当時の水辺環境を知る上での貴重な資料となる。



第1図 上境旭台貝塚周辺道跡分布図(国土地理院 25,000分の1「上郷」[常陸藤沢])



第1表 上境旭台貝塚周辺遺跡一覧

番号	遺跡名	時代						番号	遺跡名	時代						
		旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	鎌倉・室町			江戸	旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	鎌倉・室町
①	上境旭台貝塚	○	○	○	○	○		47	栗原古塚古墳				○			
2	中根中谷津古墳				○			48	栗原登戸遺跡				○	○		
3	中根中谷津遺跡	○	○			○		49	玉取遺跡	○	○	○	○			○
4	上境滝ノ壺遺跡	○	○	○				50	玉取古墳群				○			
5	上境滝の台古墳群				○			51	玉取弁天塚						○	○
6	上境作ノ内遺跡	○	○	○	○			52	栗原遺跡					○	○	○
7	上境作ノ内古墳群				○			53	栗原沼向遺跡				○	○	○	
8	上境北ノ内遺跡					○	○	○	54	稲荷塚古墳			○			
9	上境どんどん塚古墳					○			55	下大島遺跡						
10	上境古屋敷遺跡				○	○	○	○	56	広畑遺跡				○	○	○
11	横町古墳群				○				57	田土部明神古墳群				○		
12	横町庚申塚遺跡	○	○	○	○	○	○		58	供養塚						○
13	金田古墳				○				59	田土部館跡						○
14	金田城跡						○		60	大日塚古墳(鹿島神社)				○		
15	金田西遺跡	○	○	○	○	○	○		61	岡の宮遺跡				○	○	
16	九重東岡庵寺					○	○	○	62	五斗内遺跡				○	○	
17	東岡中畑遺跡								63	中根遺跡				○	○	○
18	金田西坪A遺跡		○						64	中根不妻拔遺跡				○	○	○
19	金田西坪B遺跡		○	○	○	○	○		65	中根屋敷附館跡				○	○	○
20	東岡南遺跡					○	○	○	66	中根とりおい塚古墳群				○		
21	東岡中原遺跡		○			○	○	○	67	中根宮ノ前遺跡				○	○	○
22	妻木宮前遺跡					○	○	○	68	栄土器屋遺跡				○	○	○
23	妻木坪内遺跡					○	○	○	69	松塚鷲打遺跡				○	○	○
24	妻木溝ノ渠遺跡					○	○		70	栄屋敷付遺跡				○	○	○
25	柴崎南遺跡	○	○	○	○	○	○		71	松塚高畑遺跡				○	○	
26	柴崎稲荷前古墳				○				72	栄尼塚遺跡						○
27	柴崎大壘遺跡						○	○	73	金田竜宮橋遺跡				○	○	○
28	柴崎片岡上館跡				○	○	○		74	大白畑遺跡				○	○	○
29	柴崎ボツケ遺跡					○			75	大寺前遺跡				○	○	○
30	柴崎大日塚							○	76	阿弥陀寺跡				○	○	○
31	柴崎遺跡				○	○	○		77	大南遺跡				○	○	○
32	上野中塚遺跡		○	○	○				78	古米島ノ前塚				○	○	○
33	上野古屋敷遺跡	○	○	○	○	○	○	○	79	古米北ノ崎遺跡				○	○	○
34	上野陣場遺跡	○	○	○	○	○	○		80	古米遺跡				○	○	
35	上野定使古墳群				○				81	古米館跡				○	○	
36	上野天神遺跡		○						82	吉瀬黄金遺跡				○	○	○
37	上野天神塚古墳				○				83	金田本田遺跡				○	○	
38	栗原大山西遺跡					○	○	○	84	花室大日塚古墳						
39	栗原十日塚古墳					○			85	花室後田塚						○
40	栗原大山遺跡					○	○		86	花室遺跡	○			○		
41	栗原愛宕塚古墳								87	東岡天神前遺跡				○	○	○
42	栗原才十郎遺跡		○						88	花室溝向遺跡				○		
43	栗原五竜遺跡	○	○	○	○	○			89	花室城跡	○	○	○	○	○	○
44	栗原五龍塚古墳群					○			90	花室寺畑塚寺						○
45	栗原中台遺跡	○	○	○	○	○	○		91	花室寺山前遺跡				○	○	○
46	栗原古塚遺跡					○	○	○	92	花室大根遺跡				○		

縄文時代中期の遺跡は多数確認でき、後期あるいは晩期まで継続して集落が営まれるようになる。当遺跡周辺においても、上境滝ノ臺遺跡〔4〕、中根不葉拔遺跡〔64〕、金田西遺跡〔15〕、柴崎南遺跡〔25〕では、中期、金田西坪A遺跡〔18〕、金田西坪B遺跡〔19〕、花室遺跡〔86〕では中期から後期にかけての遺構や遺物が確認されている。中期の貝塚は、阿見町竹来貝塚や見目貝塚など、霞ヶ浦に直面する台地上に立地し、サルボウ、アカガイ、ハマグリなどが主体の主軸貝塚の様相を呈しており、前期から中期にかけての海退に伴う水辺の環境変化が指摘されている<sup>4)</sup>。

花室川右岸約6km下流の下広岡遺跡では、中期中葉阿玉台式期から中期後葉加曾利E式期の竪穴建物跡86棟と、袋状土坑を含む土坑600基以上が確認されている。また、袋状土坑からは大量の縄文土器のほか、パン状炭化物や炭化種子などが出土しており注目される<sup>5)</sup>。その他、当遺跡周辺の遺跡としては、上野陣場遺跡〔34〕があげられ、前期前半花積下層式期から中期後葉加曾利E式期までの竪穴建物跡8棟と土坑8基が調査されている<sup>6)</sup>。また、上野古屋敷遺跡〔33〕でも前期前半の竪穴建物跡18棟と中期加曾利E式期の竪穴建物跡1棟、陥し穴3基、土坑55基が調査されている<sup>7)</sup>。

当遺跡の存続時期と同じく後期から晩期に最盛期を迎えている遺跡には、当遺跡と桜川低地を挟んだ対岸に位置している下坂田貝塚、桜川右岸約5km下流の上高津貝塚があげられる。下坂田貝塚は中期から晩期の遺跡であるが、貝層の主体は後期中葉加曾利B式期で、出土貝類の98%以上がヤマトシジミである<sup>8)</sup>。出土した貝類の傾向は当遺跡と類似しており、水辺環境の広がりを捉えることができる。国指定である上高津貝塚は後期から晩期にかけて形成された大規模な馬蹄形貝塚で、4地点からなる貝層はヤマトシジミが主体である。捕獲魚類として汽水域を主たる生息域とするクロダイやスズキなどの魚骨が多量に確認され、当水域が汽水化していく傾向がうかがえる。また、加曾利B式期の貝層中から外洋の水深30m以深の海底に生息するマダイ成魚の骨が多量に出土しており、当該期の縄文人の漁撈活動を推測する上で良好な資料を提示している<sup>9)</sup>。

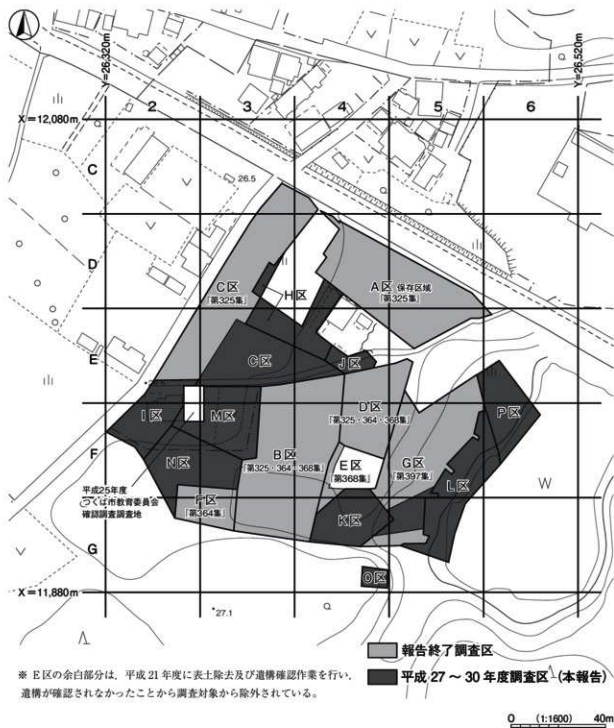
当遺跡と谷津を挟んで対岸に所在する中根中谷津遺跡〔3〕は、平成8・9年度及び平成22年度に調査を行い、後期後葉堀之内1・2式期の竪穴建物跡10棟と晩期前葉安行3b式期の竪穴建物跡1棟、後期の地点貝塚4か所、焼土遺構6基、遺物包含層5か所などを確認している。堀之内1式期の竪穴建物跡は9棟確認し、台地際に現状の配置をとっている。後期前葉の集落の配置を捉えることができる貴重な調査例であるとともに、当遺跡に先行して営まれた集落であり、集落の展開や移動を考察する上で好資料となる<sup>10)</sup>。

縄文時代以降も桜川と花室川に挟まれた当地域には、継続して集落が営まれている。上野陣場遺跡では、10世紀後半まで、隣接する上野古屋敷遺跡でも16世紀代まで、断続的ながら集落が確認されている。奈良・平安時代には、河内郡菅田郷に属し、北は筑波郡に隣接している。当遺跡の南約1kmに位置する国指定史跡である金田官衙遺跡群（金田西遺跡、金田西坪A遺跡、金田西坪B遺跡、九重東間廃寺〔16〕）は、河内郡衙跡及び円連遺跡群と推定されている<sup>11)</sup>。また、東岡中原遺跡、柴崎遺跡〔31〕、上野陣場遺跡などは河内郡衙を支えた集落と位置づけられており、当該地域が河内郡の中心であったことが想定される。鎌倉時代から戦国時代には小田氏及び佐竹氏の支配下となり、台地上には金田城跡〔14〕をはじめとする中小城館及びその関連施設が築かれ、領土層の抗争の舞台となった。しかし、小田氏の衰退に伴い土豪層の多くが帰農したことによって、集落の廃絶と移動があったと考えられる。江戸時代になると、上野・栗原地区は堀氏王取藩の知行地に、旧板村の多くは土浦藩に属することになり、明治4（1874）年の廃藩置県に至っている。

※ 本章は、『茨城県教育財団文化財調査報告』第325・364・368・397集（以下、『第〇集』と表記）を参照し、若干の加筆をしたものである。なお、文中の〈 〉内の番号は、第1図及び表1の該当番号と同じである。

証

- 1) 大山年次監修『茨城県 地質のガイド』コロナ社 1977年8月
- 2) a 茨城県教育庁文化課『茨城県遺跡地図(地名表編・地図編)』茨城県教育委員会 2001年3月  
b 茨城県つくば市教育委員会『つくば市道跡分布調査報告書-谷田部地区・桜地区』2001年3月
- 3) a 成島一也『中根・金田台特定土地地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅱ 中原道跡1』茨城県教育財団文化財調査報告第155集 2000年3月  
b 成島一也・宮田和男『中根・金田台特定土地地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅲ 中原道跡2』茨城県教育財団文化財調査報告第159集 2000年3月  
c 高野節夫・白田正子・仲村浩一郎・島田和宏『中根・金田台特定土地地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅳ 中原道跡3』茨城県教育財団文化財調査報告第170集 2001年3月  
d 駒澤悦郎『東岡中原道跡4 中根・金田台特定土地地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅴ』茨城県教育財団文化財調査報告第251集 2005年3月
- 4) 真貝理香『道跡の位地と環境』『国指定史跡上高津貝塚A地点』慶應義塾大学文学部民族学・考古学研究室小報9 1994年3月
- 5) 高根信和・加藤雅美・小河邦男『常磐自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ』茨城県教育財団文化財調査報告X 1981年3月
- 6) a 川上直登・長谷川聡・大塚雅昭『上野降場道跡 中根・金田台特定土地地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅴ』茨城県教育財団文化財調査報告第182集 2002年3月  
b 川井正一・齋藤和浩『上野降場道跡2 中根・金田台特定土地地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅺ』茨城県教育財団文化財調査報告第323集 2009年3月
- 7) a 三谷正・大塚雅昭・桑村裕『上野古屋敷道跡1 中根・金田台特定土地地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅱ』茨城県教育財団文化財調査報告第285集 2007年3月  
b 川井正一『上野古屋敷道跡2 中根・金田台特定土地地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅹ』茨城県教育財団調査報告第307集 2008年3月  
c 川井正一・齋藤和浩『上野古屋敷道跡3 中根・金田台特定土地地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅻ』茨城県教育財団文化財調査報告第324集 2009年3月  
d 櫻井完介・江原美奈子『上野古屋敷道跡4 中根・金田台特定土地地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅻ』茨城県教育財団文化財調査報告第334集 2010年3月
- 8) 前田潤編『古蔵×浦湾』沿岸貝塚の研究』筑波大学先史学・考古学研究調査報告Ⅵ 1991年3月
- 9) a 佐藤孝雄・大内千年編『国指定史跡上高津貝塚A地点-史跡整備事業に伴う発掘調査報告-』土浦市教育委員会 1994年3月  
b 塩谷修編『国指定史跡上高津貝塚E地点-史跡整備事業に伴う発掘調査報告-』土浦市教育委員会 2000年3月  
c 石川功・福田礼子編『国指定史跡上高津貝塚C地点-史跡整備事業に伴う発掘調査報告-』土浦市教育委員会 2006年3月
- 10) a 川村満博『(仮称)中根・金田台特定土地地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅰ 中谷津道跡1』茨城県教育財団文化財調査報告第139集 1998年9月  
b 荒崎克一郎『中根中谷津道跡2 中根・金田台特定土地地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅻ』茨城県教育財団文化財調査報告第367集 2013年3月
- 11) a 白田正子『九重東岡庵寺確認調査報告書1』財団法人茨城県教育財団 2001年3月  
b 白田正子『金田西道跡・金田西坪B道跡・九重東岡庵寺 中根・金田台特定土地地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅵ』茨城県教育財団文化財調査報告第209集 2003年3月
- 12) a 土生朗治『研究学園都市計画桜葉崎地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書(Ⅲ) 榮崎道跡Ⅲ区』茨城県教育財団文化財調査報告第72集 1992年3月  
b 萩野谷悟『研究学園都市計画桜葉崎地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書(Ⅳ) 榮崎道跡Ⅱ区・Ⅲ区』茨城県教育財団文化財調査報告第93集 1994年3月



第2図 上境旭台貝塚調査区設定図(つくば市都市計画基本図2500分の1から作成)

## 第3章 調査の成果

### 第1節 調査の概要

上境旭台貝塚は、桜川右岸の低地から入り込む谷津と小支谷に囲まれた標高16～27mの台地上から台地縁辺部に立地している。遺跡の範囲は東西、南北ともに約140mである。当遺跡の調査は、平成19年度から平成30年度にかけて10次にわたって断続的に行い、調査区は地割や調査順を基に、便宜上A～P区に分けた。今回の調査区は、平成27～30年度に実施した遺跡西半部の台地上（C・H・I・J区）と東部から南部にかけての斜面部から低地部（G・K・L・P区）及び南側の小支谷対岸の台地先端部（O区）である。調査地の地目は畑地であるが、東側の谷は調査前まで溜め池の状態であり、低地部の調査区はその西岸部分にあたる。調査面積は5,202㎡である。

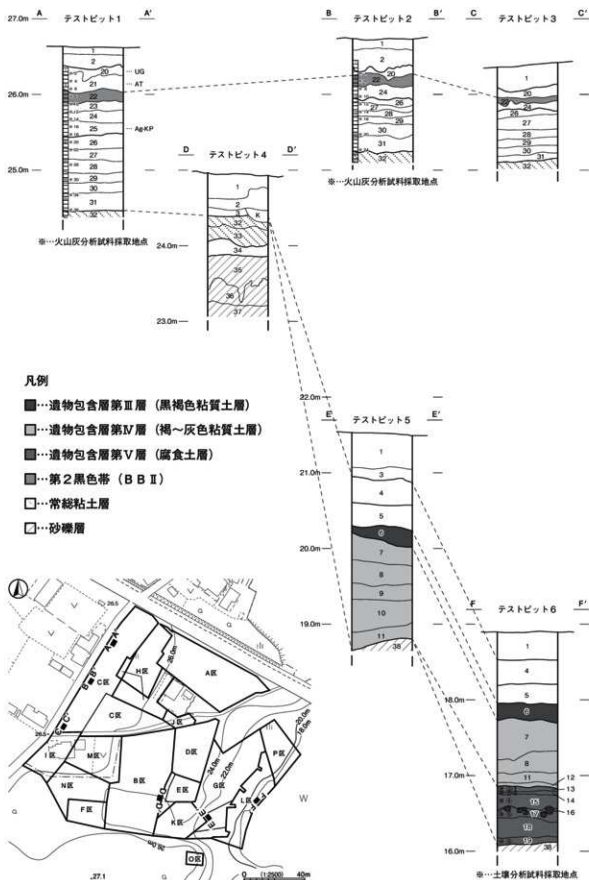
今回の調査では、旧石器時代の石器集中地点1か所、縄文時代の竪穴建物跡9棟、陥し穴1基、炉跡1か所、土坑1,203基、斜面貝層4か所、遺物包含層1か所、時期不明の火葬施設1基、溝跡7条、土坑112基を確認し、旧石器時代の石器製作跡、縄文時代前期の狩猟場、縄文時代後期の水場及び縄文時代後・晩期の斜面貝層を伴う集落跡であることが明らかになった。

遺物は、遺物収納コンテナ（60×40×20cm）で1,073箱出土している。主な出土遺物は、縄文土器（深鉢、浅鉢、鉢、台付鉢、壺、注口土器、角底土器、舟形土器、釣手土器、異形台付土器、蓋、ミニチュア土器、製塩土器、漆容器）、土師器（坏、高坏、椀、埴、壺、甕）、須恵器（坏、高台付坏、蓋、瓶、甕）、灰釉陶器（長頸瓶）、土師質土器（小皿、内耳鍋）、陶器（碗、鉢、瓶、甕）、磁器（碗、瓶）、土製品（勾玉、土玉、耳飾り、耳栓、手燭形土製品、匙形土製品、土偶、土版、有孔円盤、土器片錘、土器片円盤）、石器（ナイフ形石器、掻器、尖頭器、石刃、剥片、石核、石鏃、石錐、打製石斧、磨製石斧、石皿、磨石、敲石、凹石、石錘、浮子、砥石）、石製品（勾玉、小玉、石剣、石棒、独結石）、金属製品（槍鉋、火打金）、銭貨、漆器・木製品（鉢、片口鉢、脚付鉢、杓子、把手・飾り弓、弓、未成品、加工木）、編組製品（袋状製品、漏斗状製品、紐）、骨角製品（骨鏃、刺突具、装身具、簪、小玉）、貝製品（貝刃、小玉、貝輪）、瓦（平瓦）、自然遺物（貝殻、獣骨、鳥骨、魚骨、自然木、種子）などである。

### 第2節 基本層序

台地上のC区西部（D3d6・D3j2・E2h8区）にテストピット1～3（PL6）、斜面部のB区東部（F4g5区）にテストピット4（『第364集』所収、再録）、斜面部低位のG区南部（G5b1区）にテストピット5、低地部最深いL区東部（F5j0区）にテストピット6（PL48）を設定し、基本土層の観察を行った。

テストピットの土層は、38層に分層できる。概要は、第1～3層が表土層及び耕作土層、第4・5層が遺物包含層の第Ⅰ・Ⅱ層、第6層が第Ⅲ層、第7～12層が第Ⅳ層、第13～19層が第Ⅴ層、第20層がソフトローム層、第21～31層がハードローム層、第32～34層が常態粘土層、第35～38層が砂礫層である。また、テストピット1・2の第20～31層については、テフラ検出同定及び重鉱物・火山ガラス比分析、テストピット6の第13～19層については、珪藻・微細物分析をそれぞれ行っており、その成果は「第3章第4節 自然科学分析 1」に掲載した。以下、各層の観察結果について述べる。



第3図 基本土層図

第1・2層は、黒褐色を呈する表土及び耕作土層で、ロームブロックと焼土粒子、炭化粒子を微量含み、粘性は普通で、締まりは弱い。層厚は25～50cmである。

第3層は、暗褐色を呈する下層への漸移層である。粘性・締まりともに普通で、層厚は10～15cmである。

第4層は、遺物包含層の第I層に相当する。黒褐色を呈する砂質土で、ローム粒子を少量含み、粘性は普通で、斜面部の上位ではやや締まりがある。層厚は18～38cmである。

第5層は、遺物包含層の第II層に相当する。暗褐色を呈する砂質土層で、ローム粒子を微量含み、粘性・締まりともに普通である。層厚は18～46cmである。

第6層は、遺物包含層の第III層に相当する。黒色を呈する粘質土層で、ローム粒子を微量含み、粘性はやや強く、締まりは普通である。層厚は12～24cmである。遺物の含有量が非常に多く、特に、下位の第IV層との層界に多量の縄文土器片が含まれている(第286～290図 Ⅲ-1層 以下、層番号のみ記載)。

第7～12層は、遺物包含層の第IV層に相当する。第7層は、褐色を呈する粘質土層で、粗～細砂を少量、ローム粒子と焼土粒子、炭化粒子を微量含み、粘性は強く、締まりは普通である。層厚は16～28cmである。層中に管状の鉄分が少量沈着している(Ⅳ-1層)。

第8層は、上位では酸化した暗褐色、低位ではグライ化した灰黄褐色を呈する粘質土層で、粗～細砂と炭化粒子を少量、ローム粒子と焼土粒子を微量含み、粘性・締まりはともにやや強い。層厚は8～24cmである。層中には縦筋状、層下部には帯状に鉄分の沈着が認められる(Ⅳ-3層)。

第9層は、黄灰色を呈する粘質土層で、炭化物を少量、細砂を微量含み、粘性はやや強く、締まりはやや弱い。層厚は6～40cmである。以下、第27層までは遺物がほとんど含まれていない(Ⅳ-6層)。

第10層は、灰色を呈する粘質土層で、細礫、炭化粒子を微量含み、粘性はやや強く、締まりはやや弱い。層厚は10～50cmである(Ⅳ-8層)。

第11層は、暗灰色を呈する粘土層で、細礫～細砂を少量、植物遺体を微量含み、粘性は強く、締まりは弱い。層厚は12～35cmである(Ⅳ-9層)。

第12層は、灰色を呈する粘土層で、植物遺体を少量含み、粘性は強く、締まりは弱い。層厚は4～16cmである。部分的に粗～細砂の薄層を挟んでいる(Ⅳ-10層)。

第13～19層は、遺物包含層の第V層に相当する。第13層は、黒褐色を呈する粘質土層で、粗～細砂を少量含み、粘性は強く、締まりは弱い。層厚は4～8cmである(V-2層 土壌分析資料③-1)。

第14層は、オリブ黒粘質土層と黄褐色細礫～細砂が互層状に堆積している。粘性はやや強く、締まりは弱い。層厚は3～6cmで、下部に鉄分の沈着が著しい(V-3層 土壌分析資料③-2)。

第15層は、暗灰色を呈する粘質土層で、植物遺体を多量、細砂を微量含んでいる。粘性は強く、締まりは弱い。層厚は15～22cmである(V-4層 土壌分析資料④)。

第16層は、黄灰色を呈する細砂と粘質土の互層で、植物遺体を中量含んでいる。締まりは弱い。層厚は2～4cmである(V-5層)。

第17層は、暗褐色を呈する細砂混じり粘質土で、植物遺体を多量含んでいる。粘性はやや強く、締まりは弱い。層厚は9～17cmである(V-6層 土壌分析資料⑤)。

第18層は、黒色を呈する粘質土層で、植物遺体を中量、細砂を少量、細礫～粗砂を微量含んでいる。粘性は強く、締まりは弱い。層厚は18～27cmである(V-7層)。

第19層は、黒褐色を呈する粘土層で、植物遺体と細砂を少量、細礫～粗砂を微量含んでいる。粘性は極めて強く、締まりは弱い。層厚は8～10cmである(V-8層 土壌分析資料⑥)。

第20層は、にぶい黄褐色を呈するソフトローム層である。明黄褐色バミス粒子を極微量含み、粘性・締まりともに普通で、層厚は4～16cmである。耕作により上層との層境は不整合である。テストピット1で立川ローム層上部ガラス質火山灰（UG）が検出されている（火山灰分析資料 TP 1-2, TP 2-4）。

第21層は、褐色を呈するハードローム層である。同層より下位では、粘性・締まりともに強い。層厚は18～27cmである。テストピット1で始良Tn火山灰（AT）が検出されている（火山灰分析資料 TP 1-4・6）。

第22層は、灰黄褐色を呈するハードローム層である。径1mm以下のにぶい黄褐色バミス粒子を極微量含み、層厚は12～16cmである。テフラの検出状況から、第2黒色帯（BBⅡ）に相当すると思われる（火山灰分析資料 TP 1-8, TP 2-6）。

第23層は、褐色を呈するハードローム層である。径1mm以下のにぶい黄褐色バミス粒子を極微量含み、層厚は11～12cmである（火山灰分析資料 TP 1-10・12）。

第24層は、明るい褐色を呈するハードローム層である。同層より下位では、粘性・締まりともに極めて強い。径1mm以下の明黄褐色バミス粒子を極微量含み、層厚は10～20cmである（火山灰分析資料 TP 1-14, TP 2-8・10）。

第25層は、黄褐色を呈するハードローム層である。径1mm以下の明黄褐色バミス粒子を微量含み、層厚は14～21cmである。テストピット1で赤城鹿沼テフラ（Ag-KP）が検出されている（火山灰分析資料 TP 1-16・18）。

第26層は、灰褐色を呈するハードローム層である。径2mm以下の明黄褐色バミス粒子を少量含み、粘性・締まりともに極めて強く、層厚は5～18cmである（火山灰分析資料 TP 1-20）。

第27層は、暗褐～黒褐色を呈するハードローム層である。径2mm以下の明黄褐色バミス粒子を中量含み、層厚は6～20cmである。他のローム層と比較して、色調が暗く、粘性が強いことから、水成堆積の影響を受けていると考えられる。特にテストピット2で、顕著である。（火山灰分析資料 TP 1-22, TP 2-12）。

第28層は、褐色を呈するハードローム層である。径5mm以下の明黄褐色バミス粒子を中量含み、層厚は13～18cmである（火山灰分析資料 TP 1-26, TP 2-14）。

第29層は、にぶい褐色を呈するハードローム層である。径2mm以下の明黄褐色バミス粒子、径1mm以下の黒色粒子を少量含み、層厚は7～13cmである（火山灰分析資料 TP 1-30, TP 2-16）。

第30層は、褐色を呈するハードローム層である。径3mm以下の明黄褐色バミス粒子を多量、径2mm以下の黒色粒子を少量含み、層厚は13～17cmである（火山灰分析資料 TP 2-20）。

第31層は、にぶい黄褐色を呈するハードローム層である。径2mm以下の明黄褐色バミス粒子を中量、径1mm以下の黒色粒子を少量含み、層厚は8～24cmである（火山灰分析資料 TP 1-34・38, TP 2-24）。

第32・33層は、にぶい黄褐色から灰白色を呈する粘土層で、常総粘土層に相当する。径1mm以下の灰白色粒子を多量、径3mm以下の礫を少量、黒色粒子を微量含み、鉄分の沈着が少量みられる。層厚は15～24cmである。

第34層は、浅黄色を呈する砂質土で、下層への漸移層である。締まりは弱く、層厚は12～21cmである。

第35～37層は、浅黄色からにぶい黄色を呈する砂礫層である。ガラス質粒子を微量含み、締まりは強い。

第38層は、低地部の基盤層である。灰黄色を呈する砂礫混じり粘土層で、L区南部では砂礫層が、北部では粘土層が主体である。粘性は非常に強く、やや締まりがある。以下、未掘のため、層厚は不明である。

台地上では遺構は主に第4層の上面で確認し、斜面部・低地部では遺物包含層の第Ⅰ層上面から調査を開始した。また、台地上と低地部との比高差は、遺物包含層の第Ⅲ層の上面で6～8.5m、第Ⅴ層の最深部で約10.5mである。



### 第3節 遺構と遺物

#### 1 旧石器時代の遺構と遺物

平成27年度の調査I区における遺構確認作業及び縄文時代以降の遺構調査の中で、旧石器時代の遺物が出土したことから、遺構調査終了後、調査I区北部（E2f9～E3f1, E2g9～E3g1, E2h9～E3h1, E2i9～E3i1, E2j9～E3j1, F2a9～F3a1区）の南北24m、東西12m、面積288㎡の範囲に4m四方のグリッドを設定し、ローム層の掘り下げを行った。

その結果、石器集中地点1か所を確認した。以下、遺構の特徴と出土遺物について記述する。

#### (1) 石器集中地点

##### 第1号石器集中地点（第4～14図 第2・3表 PL7・55～58）

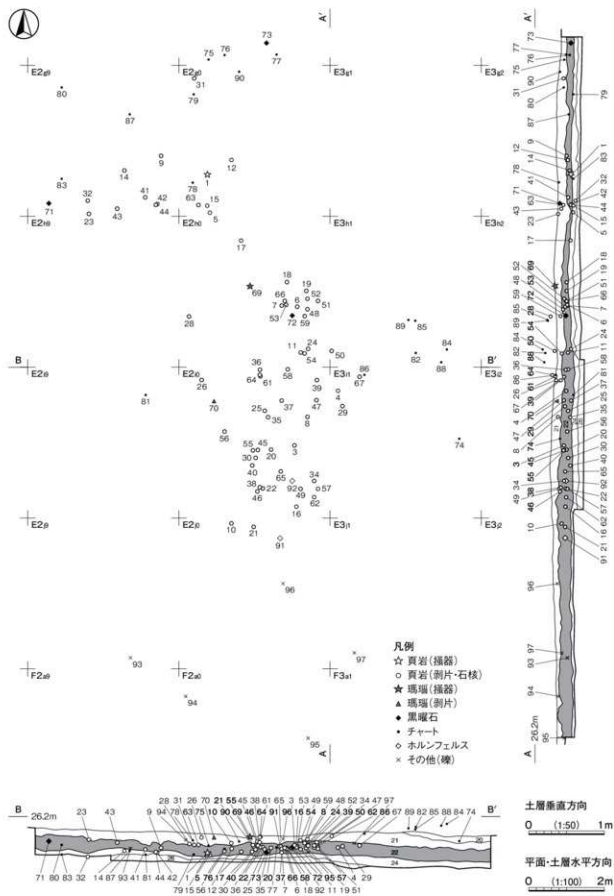
**位置** 調査I区北部のE2f9～E3f1, E2g9～E3h1, E2h9～E3g1, E2i9～E3i1, E2j9～E3j1, F2a9～F3a1区。標高26.0mの平坦な台地上に位置している。

**遺物出土状況** 搔器2点、二次加工がある石刃3点、使用痕がある石刃・剥片3点、石刃14点、打面再生剥片2点、砕片3点、剥片53点、石核12点、礫5点が出土している。石材は、東北産頁岩68点、瑪瑙2点、黒曜石3点、チャート17点、ホルンフェルス2点、凝灰質砂岩1点、砂岩3点、石英斑岩1点である。平面分布は南北18.3m、東西10.9mの範囲で、調査区北西部のE2g9区及び中央部のE2h0・E2i0区に密度が高い部分がある。垂直分布は標高25.563～25.998mで、比高差は43.5cmである。出土層位は、基本層序の第20～24層で、第2黒色帯（BBI）に相当すると考えられる第22層が中心である。石材別にみると、東北産頁岩は、本跡の主體的な石材であり、石刃・剥片類36点について10例の接合資料を確認することができた。接合資料1は石刃に二次加工を施す過程で折れたもの、接合資料2は打面再生剥片、接合資料3～8は石刃剥離のための打面調整剥片である。接合資料9は、縦長剥片を剥離した後、打面を90度転移し、連続的に打面調整を行っている。接合資料10は、剥片石核を素材とし、石刃剥離のための打面調整を行う過程で折れたものである。チャートの剥片・石核類は北部と東部、砂岩や凝灰質砂岩、石英斑岩の礫は南部に分布しており、上層の基本層序第20・21層を中心に出土していることから、縄文時代のものが混入した可能性がある。

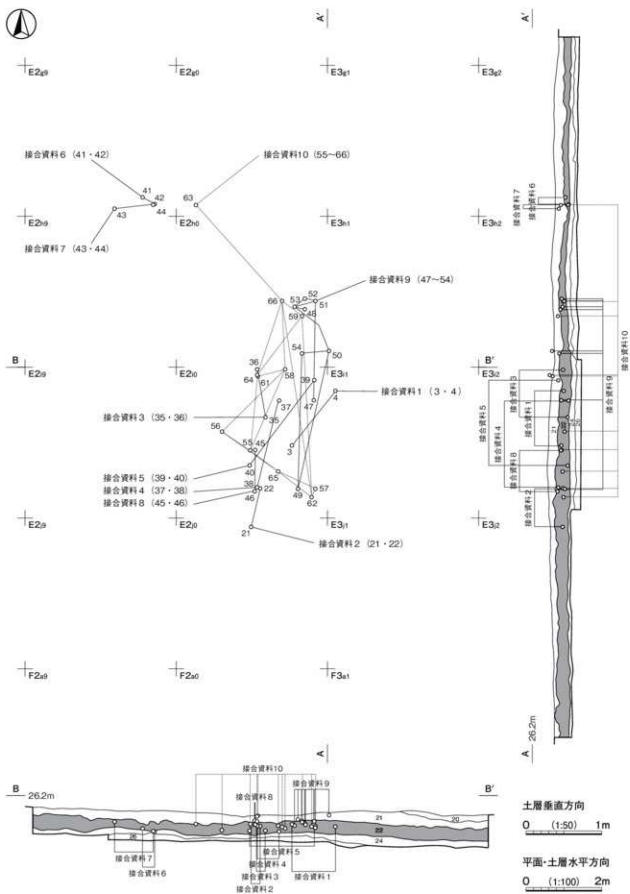
**所見** 東北産頁岩を素材とし、石刃技法による大型の縦長剥片の採取を目的とした石器製作跡と考えられる。石器群の特徴や出土層位から、武蔵野台地VII層段階、下総層のII a期中段階に比定できる。

第2表 第1号石器集中地点出土石器組成一覧

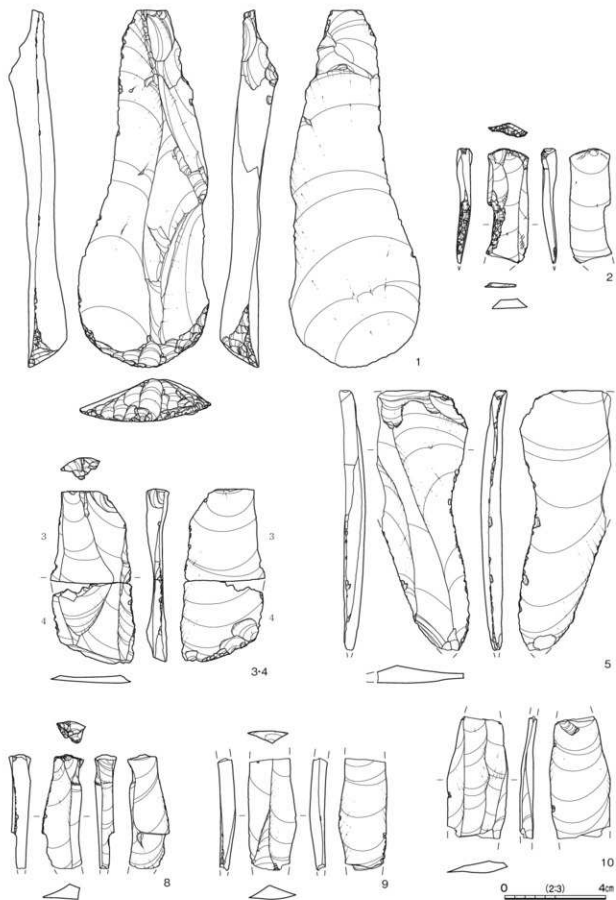
器種	搔器	二次加工がある石刃	使用痕がある石刃・剥片	石刃	打面再生剥片	砕片	剥片	石核	礫	合計
東北産頁岩	1	3	3	14	2	2	39	4	-	68
瑪瑙	1	-	-	-	-	-	1	-	-	2
黒曜石	-	-	-	-	-	1	2	-	-	3
チャート	-	-	-	-	-	-	9	8	-	17
ホルンフェルス	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2
凝灰質砂岩・砂岩	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4
石英斑岩	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
合計	2	3	3	14	2	3	53	12	5	97



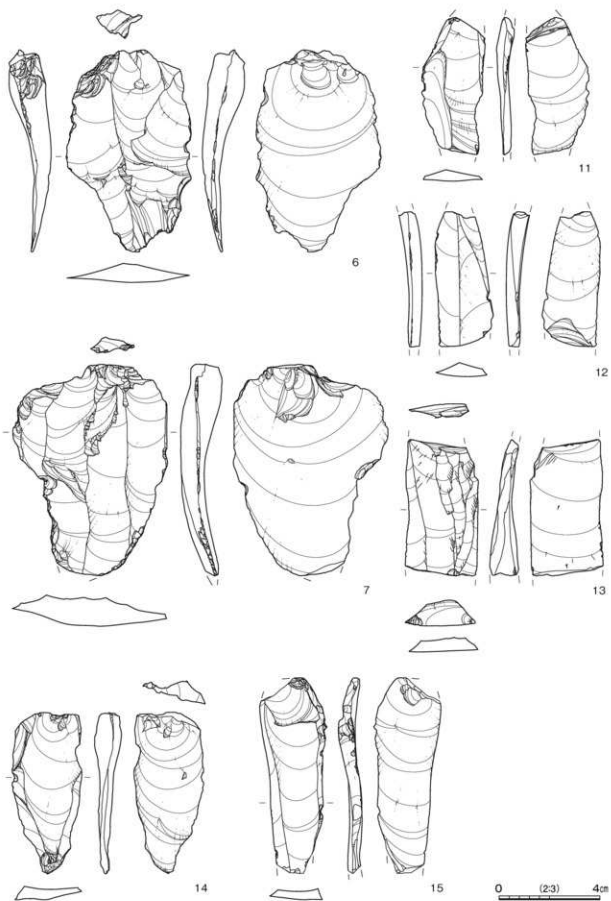
第4図 第1号石器集中地点出土遺物分布図(1)



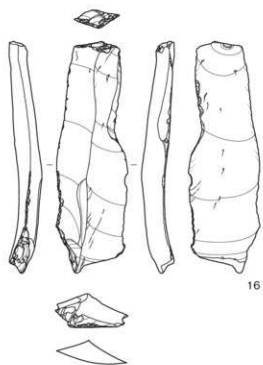
第5図 第1号石器集中地点出土遺物分布図(2)



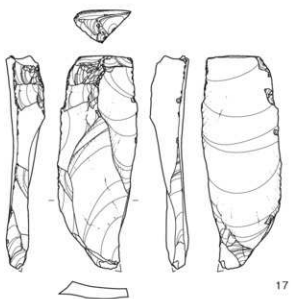
第6图 第1号石器集中地点出土器物实例图(1)



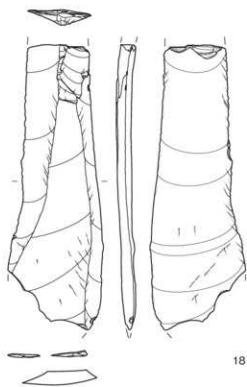
第7图 第1号石器集中地点出土遗物实测图(2)



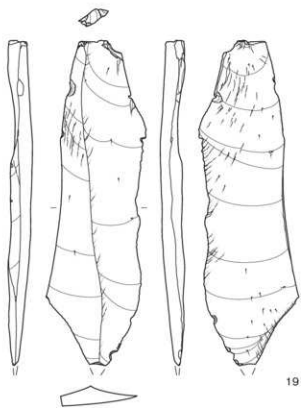
16



17



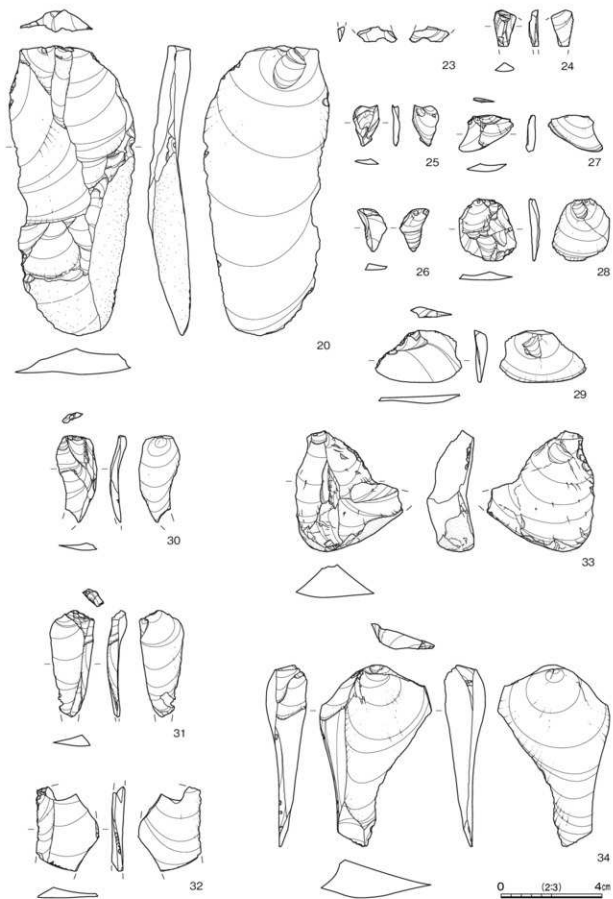
18



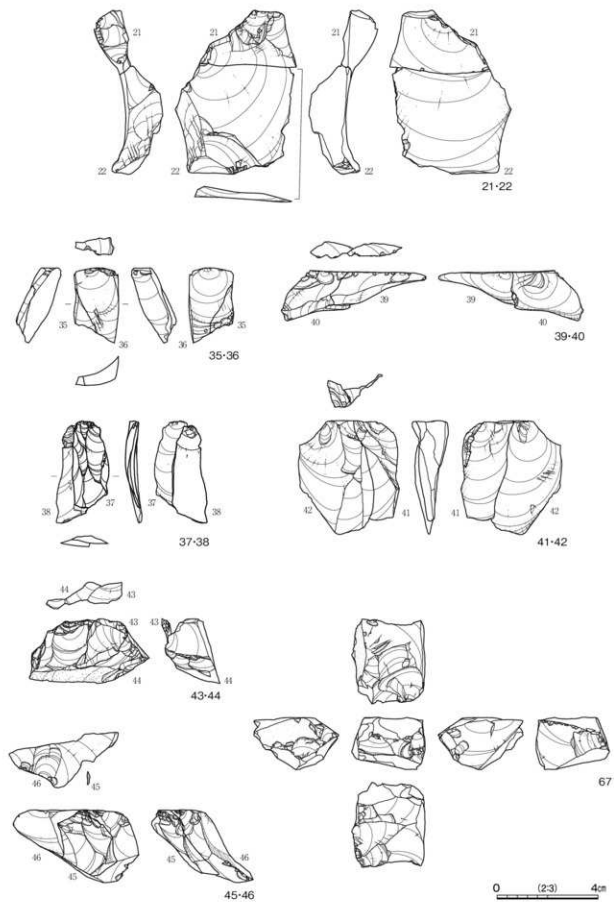
19

0 (23) 4cm

第8图 第1号石器集中地点出土遗物实测图(3)

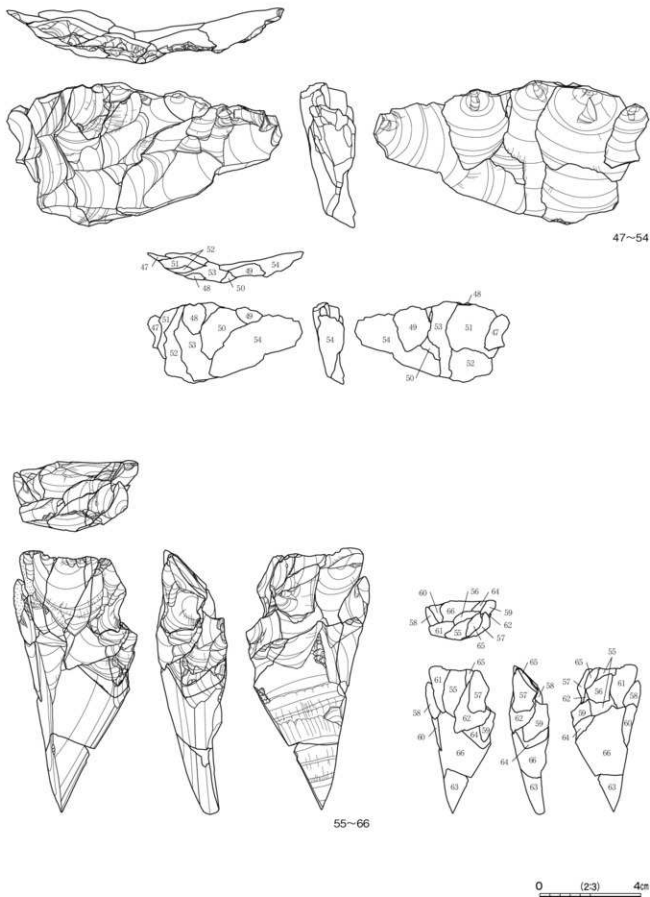


第9图 第1号石器集中地点出土遗物实测图(4)

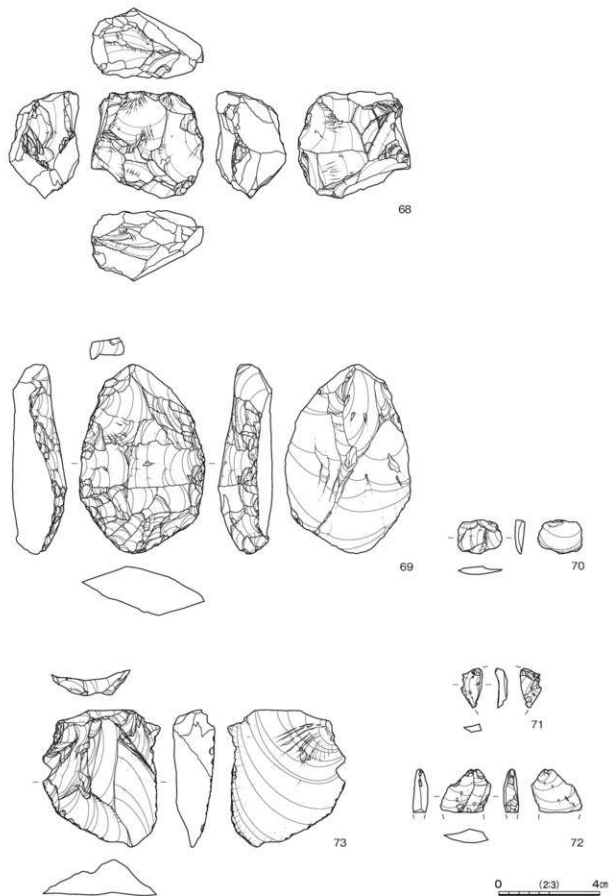


第10图 第1号石器集中地点出土遗物实测图(5)





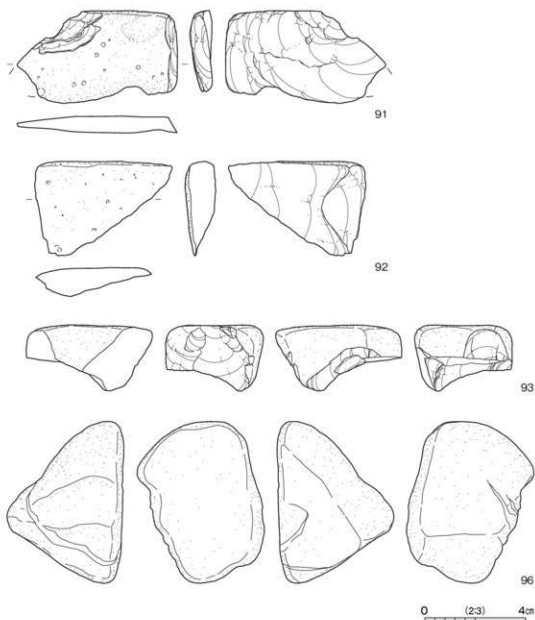
第11图 第1号石器集中地点出土文物实测图(6)



第12图 第1号石器集中地点出土遗物实测图(7)



第13图 第1号石器集中地点出土遗物实测图(8)



第14図 第1号石器集中地点出土遺物実測図(9)

第3表 第1号石器集中地点出土遺物一覧

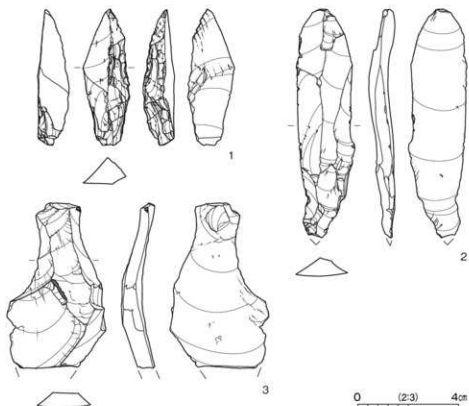
番号	部種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	X座標	Y座標	標高	備考
1	石片	14.5	5.5	1.5	93.5	東北産頁岩	大型の縦長石片を素材とし、基端部背面に刃部を作り出し、気状の連続的剥離痕。刃部内側は縦長石片の背面左側縁の一部分に凹形の連続的剥離痕。	11.973.105	26.356.735	25.612	PL.55
2	二重加工がある石片 ある石片	(4.5)	(1.6)	0.6	(3.8)	東北産頁岩	縦長石片の背面左側縁の一部分に凹形の連続的剥離痕。	11.965.920	26.359.060	25.715	PL.55 接合資料1
3	二重加工がある石片 ある石片	3.5	3.2	0.8	9.3	東北産頁岩	縦長石片の基端部。背面右側縁に微細な剥離痕。背面に3本の稜線。4と接合。	11.967.370	26.360.210	25.685	PL.55 接合資料1
4	二重加工がある石片 ある石片	3.2	3.2	0.8	9.0	東北産頁岩	縦長石片の遠端部。背面に連続的剥離痕。背面右側縁に微細な剥離痕。3と接合。	11.972.092	26.356.821	25.393	PL.55
5	二重加工がある石片 ある石片	(10.6)	(3.6)	0.7	(31.1)	東北産頁岩	大型の縦長石片の背面両側縁に不連続な微細な剥離痕。基端部折れ。遠端部欠損。	11.969.650	26.358.840	25.671	PL.55
6	使用痕がある石片 ある石片	8.0	5.0	0.9	39.8	東北産頁岩	大型石片の背面両側縁に不連続な剥離痕。背面に2本の稜線。	11.969.630	26.358.720	25.668	PL.55
7	使用痕がある石片 ある石片	(8.5)	7.5	1.5	(63.6)	東北産頁岩	大型石片の背面両側縁に不連続な剥離痕。背面に3本の稜線。遠端部欠損。	11.966.680	26.359.400	25.795	PL.56
8	石片	(4.5)	1.5	0.7	(5.2)	東北産頁岩	縦長石片。背面に1本の稜線。遠端部折れ。	11.973.600	26.355.530	25.681	PL.56
9	石片	(4.5)	1.5	0.6	(5.6)	東北産頁岩	縦長石片。背面に2本の稜線。基端部・遠端部折れ。	11.963.853	26.357.290	25.745	PL.56
10	石片	(4.8)	2.5	0.5	(7.7)	東北産頁岩	縦長石片。背面に3本の稜線。基端部・遠端部折れ。				

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	X座標	Y座標	標高	備考
11	石笏	(5.3)	27	0.5	(6.9)	東北産頁岩	縦長湖片 背面に2本の横線 基端部・遠端部折れ	11,968,385	26,359,224	25,663	PL56
12	石笏	(5.5)	23	0.7	(8.1)	東北産頁岩	縦長湖片 背面に2本の横線 基端部・遠端部折れ	11,973,484	26,357,306	25,663	PL56
13	石笏	(5.0)	3.0	1.0	(17.2)	東北産頁岩	縦長湖片 背面に6本の横線 基端部・遠端部折れ	11,973,484	26,357,306	25,663	PL56
14	石笏	6.5	3.0	1.0	12.0	東北産頁岩	縦長湖片 背面に2本の横線 フィンバルツ 遠端部に自然面を残す	11,973,210	26,354,500	25,641	PL56
15	石笏	(8.0)	27	0.5	(13.2)	東北産頁岩	大型の縦長湖片 背面に2本の横線 基端部の一部折れ 遠端部欠損	11,972,280	26,356,751	25,590	PL56
16	石笏	9.2	3.0	1.0	34.0	東北産頁岩	大型の縦長湖片 背面に1本の横線 湖縁部・遠端部に風化面を切る段状調整面	11,964,300	26,359,110	25,695	PL56
17	石笏	(8.4)	3.0	0.7	(21.9)	東北産頁岩	大型の縦長湖片 背面に主要調整面と直行する横調整面 基端部折れ 遠端部欠損	11,971,390	26,357,650	25,628	PL56
18	石笏	(11.3)	3.8	0.5	(26.8)	東北産頁岩	大型の縦長湖片 背面に2本の横線 基端部折れ 遠端部欠損	11,970,250	26,358,860	25,681	PL56
19	石笏	(13.0)	3.8	0.8	(36.9)	東北産頁岩	大型の縦長湖片 背面に1本の横線 遠端部欠損	11,970,020	26,359,370	25,681	PL57
20	石笏	11.5	5.0	1.0	69.1	東北産頁岩	大型の縦長湖片 背面に3本の横線 遠端部は自然面を残す	11,965,810	26,358,440	25,681	PL57
21	断面断片	2.2	3.8	1.4	9.3	東北産頁岩	石笏石核の打面再生湖片の基端部片 22 と接合	11,963,761	26,357,980	25,700	PL57 接合資料1
22	断面断片	4.3	4.6	1.5	31.2	東北産頁岩	石笏石核の打面再生湖片の中央・遠端部片 21 と接合	11,964,780	26,358,220	25,692	PL57 接合資料2
23	砂片	(0.5)	(1.5)	(0.2)	(0.1)	東北産頁岩	調整湖片の遠端部の破片	11,972,000	26,353,620	25,792	
24	砂片	(1.5)	(1.0)	0.3	(0.5)	東北産頁岩	調整湖片の基端部付近の破片	11,968,480	26,359,420	25,620	
25	湖片	1.8	1.0	0.3	0.3	東北産頁岩	調整湖片 鱗状	11,966,840	26,358,270	25,662	
26	湖片	1.8	1.0	0.3	0.5	東北産頁岩	調整湖片 鱗状	11,967,655	26,356,633	25,818	
27	湖片	1.3	2.3	0.5	0.9	東北産頁岩	調整湖片 鱗状	E 2 40 区	黒色帯上部		PL57
28	湖片	2.5	2.5	0.3	2.0	東北産頁岩	調整湖片 鱗状	11,969,340	26,356,270	25,891	
29	湖片	2.3	3.5	0.5	2.5	東北産頁岩	調整湖片 鱗状	11,966,960	26,360,330	25,702	PL57
30	湖片	(3.5)	1.5	0.5	(1.9)	東北産頁岩	縦長湖片 遠端部欠損	11,965,590	26,358,030	25,660	PL57
31	湖片	(4.2)	1.8	0.5	(3.5)	東北産頁岩	縦長湖片 遠端部欠損	11,975,652	26,356,406	25,721	PL57
32	湖片	(3.0)	2.5	0.5	(3.8)	東北産頁岩	縦長湖片。基端部・遠端部欠損	11,972,410	26,353,590	25,563	PL57
33	湖片	4.7	(4.2)	1.5	26.6	東北産頁岩	打面調整湖片 遠端部に自然面を残す	I 区	遺構確認面		PL57
34	湖片	7.3	4.4	1.5	28.4	東北産頁岩	打面調整湖片 背面に2本の横線	11,964,980	26,359,580	25,713	PL57
35	湖片	1.7	1.0	0.2	0.3	東北産頁岩	36 と折れ面で接合 遠端部階段状調整 鱗状	11,966,670	26,358,360	25,632	PL57 接合資料3
36	湖片	3.5	2.0	0.8	4.8	東北産頁岩	35 と折れ面で接合 鱗状	11,967,928	26,357,145	25,693	PL57 接合資料3
37	湖片	4.0	1.5	0.3	1.6	東北産頁岩	縦長湖片 38 と接合	11,967,110	26,358,720	25,620	PL57 接合資料4
38	湖片	3.5	1.5	0.4	1.9	東北産頁岩	縦長湖片 37 と接合	11,964,810	26,358,140	25,756	PL57 接合資料4
39	湖片	1.8	4.0	0.5	2.3	東北産頁岩	石笏石核整形湖片 背面に主要調整面と直行する3本の横線 40 と接合	11,967,650	26,359,650	25,756	PL58 接合資料5
40	湖片	2.3	3.2	0.5	4.2	東北産頁岩	石笏石核整形湖片 背面に主要調整面と直行する3本の横線 39 と接合	11,965,390	26,357,940	25,631	PL58 接合資料5
41	湖片	4.0	2.5	0.5	4.3	東北産頁岩	石笏石核の打面調整湖片 背面に主要調整面と同方向の2本の横線 42 と接合	11,972,500	26,355,110	25,660	PL58 接合資料6
42	湖片	4.5	3.5	0.6	8.6	東北産頁岩	石笏石核の打面調整湖片 背面に主要調整面と同方向の2本の横線 41 と接合	11,972,320	26,355,430	25,615	PL58 接合資料6
43	湖片	2.5	1.5	0.3	0.7	東北産頁岩	調整湖片 鱗状 遠端部に風化面を残す	11,972,200	26,354,370	25,750	接合資料7
44	湖片	3.0	5.0	2.0	22.7	東北産頁岩	短辺の打面調整湖片 遠端部に風化面を残す	11,972,300	26,355,390	25,627	接合資料7
45	湖片	2.2	4.0	0.5	5.8	東北産頁岩	調整湖片 鱗状 背面に主要調整面と交差する2本の横線 46 と接合	11,965,800	26,358,090	25,712	PL58 接合資料8
46	湖片	4.0	5.5	1.5	27.7	東北産頁岩	石笏石核の打面調整湖片 45 と接合	11,964,702	26,358,077	25,766	PL58 接合資料8
47	湖片	2.8	1.5	0.3	0.9	東北産頁岩	石笏石核整形湖片 鱗状 51 と接合	11,967,120	26,359,640	25,717	PL58 接合資料9
48	湖片	2.2	1.8	0.3	1.0	東北産頁岩	石笏石核整形湖片 鱗状 53 と接合	11,969,530	26,359,400	25,728	PL58 接合資料9
49	湖片	3.2	2.5	0.5	3.4	東北産頁岩	石笏石核整形湖片 鱗状 50・54 と接合	11,964,770	26,359,220	25,780	PL58 接合資料9
50	湖片	4.0	3.2	0.5	6.0	東北産頁岩	石笏石核整形湖片 鱗状 49・53・54 と接合	11,968,428	26,360,042	25,838	PL58 接合資料9
51	湖片	3.5	4.0	1.0	7.9	東北産頁岩	石笏石核整形湖片 鱗状 47・52・53 と接合	11,969,750	26,359,680	25,690	PL58 接合資料9
52	湖片	5.7	4.2	0.5	9.4	東北産頁岩	石笏石核整形湖片 鱗状 51・53 と接合	11,969,810	26,359,400	25,712	PL58 接合資料9
53	湖片	5.8	4.0	1.2	13.9	東北産頁岩	石笏石核整形湖片 鱗状 48・50・52・54 と接合	11,969,600	26,359,130	25,700	PL58 接合資料9
54	石笏	7.3	3.2	0.3	7.9	東北産頁岩	石核整形湖片の縦長湖片 打撃方向が90°異なる 49・50・53 と接合	11,968,329	26,359,326	25,744	PL58 接合資料9
55	湖片	2.0	1.3	0.5	0.9	東北産頁岩	石笏石核の打面調整湖片 鱗状 56・61・62・65 と接合	11,965,790	26,357,960	25,720	PL58 接合資料10
56	湖片	2.3	1.8	0.7	1.8	東北産頁岩	石笏石核の打面調整湖片 鱗状 55・61・62 と接合	11,966,290	26,357,210	25,673	PL58 接合資料10
57	湖片	2.0	3.0	0.5	3.1	東北産頁岩	石笏石核の打面調整湖片 鱗状 62・65 と接合	11,964,770	26,359,680	25,670	PL58 接合資料10

番号	器 種	長さ	幅	厚さ	重量	材 質	特 徴	X座標	Y座標	標高	備 考
58	調片	2.8	2.0	0.5	3.1	東北産頁岩	石刃石核の打面調整調片 と接合	11,967,910	26,358,880	25,662	PL58 接合資料 10
59	調片	2.0	3.0	0.5	3.3	東北産頁岩	石刃石核の打面調整調片 と接合	11,969,350	26,359,330	25,761	PL58 接合資料 10
60	調片	4.5	2.7	0.5	4.7	東北産頁岩	石刃石核の打面調整調片 と接合		I 区 遺構確認区		PL58 接合資料 10
61	調片	3.5	1.7	0.8	4.8	東北産頁岩	石刃石核の打面調整調片 と接合	11,967,254	26,358,159	25,830	PL58 接合資料 10
62	調片	2.0	3.0	5.0	5.1	東北産頁岩	石刃石核の打面調整調片 と接合	11,964,550	26,359,580	25,687	PL58 接合資料 10
63	石核	3.5	1.7	1.2	5.9	東北産頁岩	大型調片を使用 石刃石核残核 と併れ と接合	11,972,295	26,356,518	25,722	PL58 接合資料 10
64	調片	2.5	3.3	0.6	6.2	東北産頁岩	石刃石核の打面調整調片 と接合	11,967,790	26,358,140	25,821	PL58 接合資料 10
65	調片	3.5	3.0	1.0	10.0	東北産頁岩	石刃石核の打面調整調片 と接合	11,965,230	26,358,696	25,699	PL58 接合資料 10
66	石核	5.5	4.0	2.5	48.7	東北産頁岩	大型調片を使用 石刃石核打面部 58・60・ 62・63・64 と接合	11,969,750	26,358,800	25,681	PL58 接合資料 10
67	石核	3.0	3.5	2.0	23.9	東北産頁岩	石刃石核 打面部に自然面を残す	11,967,740	26,360,780	25,713	
68	石核	4.0	3.0	3.0	54.4	東北産頁岩	多方向からの剥離		I 区 遺構確認区		
69	膝盤	7.5	5.0	2.0	78.2	瑪瑙	背面の両側縁・遠端部に弧状の連続的剥離痕	11,970,139	26,357,883	25,831	PL55
70	調片	1.3	1.8	0.3	0.8	瑪瑙	調整調片 鱗状	11,967,094	26,356,928	25,811	
71	時片	(1.5)	(0.8)	0.5	(0.5)	黒曜石	調整調片の基部部分の破片 緑葉を含む透明度の低い黒曜石 高原山産	11,972,340	26,352,560	25,770	
72	調片	(2.0)	1.8	0.5	(2.0)	黒曜石	調整調片 基部部分の破片 緑葉を含む透明度の低い黒曜石 高原山産	11,969,360	26,359,000	25,692	
73	調片	6.0	5.5	1.5	33.9	黒曜石	打面調整調片 背面両側縁に微細剥離痕 透明度が高い良質な黒曜石 信州産	11,976,388	26,358,318	25,622	PL58
74	調片	1.7	1.3	0.3	0.5	チャート	調整調片 鱗状	11,966,100	26,363,430	25,770	
75	調片	2.5	1.0	0.5	0.6	チャート	調整調片 鱗状	11,976,151	26,356,786	25,712	
76	調片	1.5	1.5	0.5	1.0	チャート	調整調片 鱗状	11,976,271	26,357,207	25,639	
77	調片	1.5	1.5	0.5	1.4	チャート	調整調片 鱗状	11,976,283	26,358,585	25,687	
78	調片	(2.0)	1.5	0.5	(1.5)	チャート	調整調片 鱗状	11,972,887	26,356,367	25,781	
79	調片	1.5	1.8	0.5	1.6	チャート	調整調片 鱗状	11,975,230	26,356,380	25,592	
80	調片	(2.5)	2.0	0.5	(1.8)	チャート	調整調片 鱗状	11,975,410	26,352,900	25,719	
81	調片	2.0	1.5	1.0	2.0	チャート	調整調片 鱗状	11,967,260	26,355,120	25,590	
82	調片	2.5	1.5	0.5	2.1	チャート	調整調片 基部部折れ	11,968,320	26,362,268	25,961	
83	石核	1.5	2.5	2.5	6.6	チャート	サイコロ状の残核	11,972,990	26,352,900	25,592	
84	石核	2.5	1.8	1.5	7.2	チャート	サイコロ状の残核 自然面を残す	11,968,665	26,363,089	25,988	
85	石核	1.8	2.2	1.5	7.8	チャート	サイコロ状の残核 自然面を残す	11,969,226	26,362,254	25,928	
86	石核	2.5	1.5	1.5	9.0	チャート	サイコロ状の残核 自然面を残す	11,967,790	26,360,910	25,870	
87	石核	2.0	2.6	1.5	9.2	チャート	サイコロ状の残核 自然面を残す	11,974,700	26,354,700	25,652	
88	石核	2.5	3.0	1.5	11.8	チャート	サイコロ状の残核 自然面を残す	11,968,126	26,362,941	25,976	
89	石核	2.5	2.5	2.5	16.1	チャート	サイコロ状の残核 自然面を残す	11,969,247	26,362,074	25,936	
90	石核	2.0	4.0	2.0	18.2	チャート	サイコロ状の残核 自然面を残す	11,975,828	26,357,562	25,767	
91	調片	3.5	(6.5)	0.5	(22.2)	ホルンフェルス	背面に自然面を残す	11,963,660	26,358,680	25,700	
92	調片	4.0	5.5	1.5	24.3	ホルンフェルス	背面に自然面を残す	11,964,980	26,359,000	25,600	
93	礫	2.7	3.8	3.5	51.6	凝灰質砂岩	破砕礫	11,962,260	26,358,760	25,800	
94	礫	3.8	2.6	2.0	19.1	砂岩	自然礫 円礫	11,959,270	26,356,180	25,787	計測のみ
95	礫	4.1	3.7	3.5	20.2	砂岩	自然礫 準円礫	11,958,160	26,359,420	25,710	計測のみ
96	礫	6.5	4.5	4.5	170.1	砂岩	自然礫 円礫	11,960,290	26,354,720	25,670	
97	礫	3.6	2.2	2.0	13.5	石英凝岩	自然礫 準円礫	11,960,420	26,360,640	25,745	計測のみ

(2) 石器集中地点外出土遺物 (第 15 図 第 4 表 PL58)

第 1 号石器集中地点を確認した調査 I 区において、縄文時代以降の遺構調査の中で出土した旧石器時代の遺物について、実測図と一覧表で記載する。



第15図 I区 石器集中地点外出土遺物実測図

第4表 I区 石器集中地点外出土遺物一覧

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
1	ナイフ形器	5.5	1.8	1.4	11.2	ガラス質 黒色安山岩	切出形 基部と側縁に刃直し加工を施す 側縁部両面割離	SE 23 覆土中	PL58 下総II中期
2	石刃	(90)	20	0.7	(15.4)	東北産頁岩	大型の縦長割片 背面に2本の殺線 遠端部側に両調整を残す	SK320 覆土中	PL58
3	石刃	(6.5)	3.5	0.7	(21.8)	安山岩	縦長割片 遠端部折れ	SK563 覆土中	PL58

## 2 縄文時代の遺構と遺物

今回の調査で確認した当時代の遺構は、竪穴建物跡9棟、陥し穴1基、土坑1,204基、斜面貝層4か所、遺物包含層1か所である。これらの遺構から出土した縄文土器、貝・骨については、以下のような分類・集計を行った。

### 縄文土器の分類

縄文土器は、整理作業において、器種→部位→文様→型式の順に分類し、それぞれ点数・重量を計測した。本報告では、出土点数が1,000点を超えるものについて、各分類の合計及び総合計を集計表で掲載している。なお、縄文土器の分類にあたっては、小林達雄 2008『縄文土器総覧』(株)アム・プロモーションを参照とした。

第1群 前期前半(関山~黒浜式)

第2群 中期後半(加曾利E式)

第3群 後期初頭(称名寺式)

1類:称名寺I式 2類:称名寺II式

第4群 後期前葉（堀之内式）

1類：堀之内1式 2類：堀之内2式

第5群 後期中葉（加曾利B式）

1類：加曾利B1式 2類：加曾利B2式 3類：加曾利B3式

第6群 後期後葉（曾谷～後期安行式）

1類：曾谷式 2類：安行1式 3類：安行2式

第7群 晩期前葉（晩期安行式）

1類：安行3 a式 2類：安行3 b式 3類：姥山Ⅱ式

4類：安行3 c式 5類：前浦式 6類：安行3 d式

第8群 異系統土器

1類：後期（楯付土器・高井東式等） 2類：晩期（大洞式等）

第9群 詳細時期が不明確な深鉢

1類：沈線文 2類：刺突文 3類：磨消縄文 4類：隆起帯縄文 5類：紐線文古相

6類：紐線文新相 7類：格子目文 8類：条線文 9類：縄文 10類：無文

※ 紐線文は、口縁部が外傾し、粘土紐上に指頭圧痕を施すものを古相、口縁部が肥厚、内傾し、粘土紐上に密な爪形文を施すものを新相とした。

第10群 詳細時期が不明確な深鉢底部

1類：古相 2類：新相

※ 底部は、底径が大きく、胴部が直立ないし外反気味に立ち上がるものを古相、底径が小さく、胴部が「砲弾形」を呈するものを新相とした。

第11群 詳細時期が不明確な深鉢以外の器種

1類：浅鉢 2類：鉢 3類：台付鉢 4類：注口土器 5類：その他の器種

第12群 製塩土器

第13群 細片

※ 重量のみ計測

## 貝・骨の分類

発掘調査では、堅穴建物跡と土坑内の貝層は地区・層位ごとに、斜面貝層は2m四方の単位グリットを設定し、さらに1m四方に4分割（SM11）、もしくは50cm四方に16分割（SM4・12）したうえで5cmごとに掘削した。人工遺物を掘り分けながら、大型の骨は出土位置の座標値を記録して個別に取り上げ、貝と骨片は土糞袋（50cm×50cm×5cm＝12.5L）に回収した。貝と骨片を回収した土糞袋は、5mm・3mm・1mmの篩を通して水洗し、5mmの篩で回収したものは貝・骨・土器細片に選別し、3・1mmの篩で回収したものは土糞袋単位で袋詰めして、遺物コンテナに収納した。

整理作業では、貝は、5mmの篩で回収したものについて分類を行い、平成27・29年度のサンプル試料による分析（「第3章第4節 自然科学分析 2・4」参照）を基に貝種を同定し、二枚貝綱は右・左殻、殻頂部を有する左右不明破片の点数と重量及び殻頂部を欠く破片の重量を、腹足綱は殻口部が残るものの点数と重量及び殻口部を欠く破片の重量をそれぞれ集計した。本報告では、遺構ごとに貝種とその点数と重量の合計及び総合計を集計表で掲載している。骨は、個別に取り上げた大型の骨から、残存状態が良好なもの



を抽出して分析（『第3章第4節 自然科学分析 3・4』参照）を行い、残りの大型の骨と5mmの篩で回収した骨は重量のみを計測した。なお、集計が終了した貝は廃棄し、大型の骨と5mmの篩で回収した骨及び3・1mmの篩で回収した貝・骨については、遺物コンテナに収納して保管している。

以下、遺構の特徴と出土遺物について記述する。

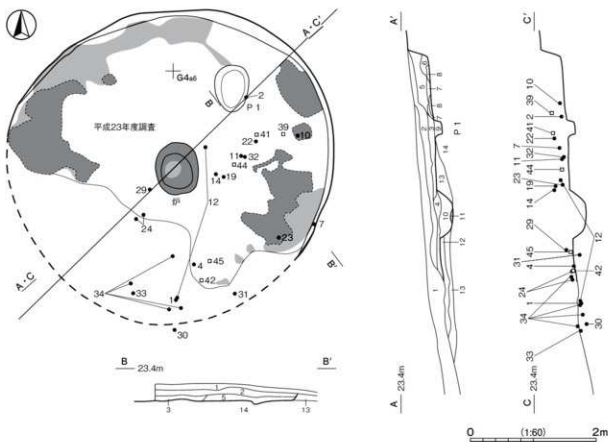
#### (1) 竪穴建物跡

##### 第18号竪穴建物跡（第16～20図 第5・6表 PL 8・9・59・60）

**位置** 調査K区西部のG4a6区、標高約23mの斜面部に位置している。北西部は平成23年度に調査が終了し、『第368集』に報告されており、平面図については既報告分も再録した。

**重複関係** 第5号遺物包含層の第IV層を掘り込み、上部に第III層が形成されている。また、南部の壁と床面は、第III層が形成される過程で流失している。

**規模と形状** 南半部の壁と床面が流失しているが、径5.0mほどの円形と推定できる。確認できた壁は高さ12～32cmで、外傾している。



#### 土層解説

1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量 (= 1~4)  
 2 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量 (= 5)  
 3 黒褐色 砂粒少量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量 (= 7)  
 4 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子・砂粒少量  
 5 黒褐色 ロームブロック・砂粒少量、焼土ブロック・炭化粒子微量 (= 9)  
 6 灰黄褐色 砂粒中量、ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子少量 (= 11)  
 7 暗赤褐色 焼土ブロック中量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・砂粒微量 (= 12-14)

8 灰褐色 粘土ブロック・砂粒中量、焼土粒子少量 (= 16)  
 9 黒褐色 粘土ブロック・砂粒少量、ロームブロック・炭化物微量 (= 20)  
 10 暗褐色 焼土粒子中量、ロームブロック・炭化粒子・砂粒少量 (= 6)  
 11 濃い赤褐色 伊床赤変種地帯  
 12 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子・砂粒少量、焼土ブロック微量 (= 8)  
 13 灰黄褐色 砂粒中量、ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 (= 13)  
 14 濃い黄褐色 砂混じり粘土（帯総粘土層）  
 ※ ( ) 内の番号は、『第368集』掲載土層番号

第16図 第18号竪穴建物跡実測図

床 南方向へ緩やかに下降しており、硬化は弱い。壁際には焼土と被熱した粘土塊が広がっている。粘土塊の上面は平坦で、タケ類のような植物の稈部を利用した編組製品の圧痕が認められた。半載した面が粘土塊に圧着されていることから、床面に粘土で固定されていたと考えられる。密に平行して並ぶ材と、それと直交する方向に一定の間隔で通る3～4本を一単位とする材がみられることから、ゴザのような敷物と想定できる。

炉 中央部に付設されている。長径84cm、短径67cmの楕円形で、床面を深さ24cmの鍋底状に掘りくぼめた地床炉である。炉床面は赤変硬化が弱い。

ピット P1は、北東部に位置し、長径70cm、短径55cmの楕円形で、深さ15cmである。性格は不明である。

覆土 平成23年度調査と同一面を観察し、再検討した。その結果、前回、掘方の埋土と捉えられていた部分が遺物包含層の第IV層（第12・13層）で、本跡が埋没し、南部が流失した後に、遺物包含層の第III層（第1層）が堆積していることが判明した。本跡の覆土は、第2～6層の5層に分層でき、各層にロームや焼土のブロック、砂粒が含まれていることから、埋め戻されている。第7・8層は床面で確認した焼土と粘土塊、第9層はP1の覆土、第10層は炉の覆土、第11層は炉床部である。

遺物出土状況 縄文土器片6,529点（104,835g）、土製品10点（土偶5、土器片円盤5）、石器11点（石錐1、打製石斧2、石皿1、磨石6、敲石1）、剥片1点（チャート）、貝殻1点（ハマグリ）、骨781gが出土している。土器は、中期後葉から晩期前葉までのものが出土している。時期的なまとまりは、中期後葉0.5%、後期初頭0.9%、後期前葉12.4%、後期中葉14.4%、後期後葉45.7%、晩期前葉26.1%である。特に、安行2式から安行3a式までのものがおよそ半数を占めており、出土状況は、安行2式のものが覆土下層、安行3a式のものが覆土上層から出土する傾向がみられる。また、後期中葉以前の土器片が3割程度含まれており、下位の遺物包含層の第IV層からの遺物が混入していると考えられる。骨は、南部の覆土下層から出土しており、いずれも被熱している。同定分析の結果、イノシシ3点（胸椎・桡骨・脛骨）、ニホンジカ1点（腰椎）が検出された（「第3章第4節 自然科学分析 4」参照）。

所見 時期は、出土土器から後期後葉の安行2式期と考えられる。床面に焼土や被熱した粘土塊が広がっており、焼失建物の可能性がある。床面の粘土塊は、編組製品の圧痕が認められ、ゴザのような敷物の存在を示す好例として注目される。

第5表 第18号竪穴建物跡出土未掲載土器集計表

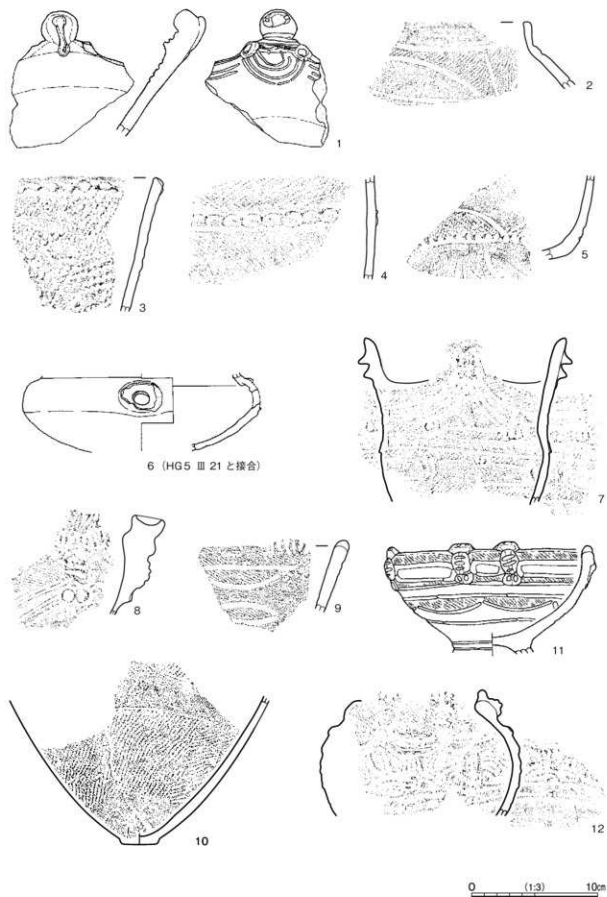
層	第1層		第2層		第3層		第4層		第5層			第6層				第7層			第8層			
	前期後葉	中期後葉	後期前葉	後期中葉	後期後葉	後期中葉	後期後葉	後期中葉	加納B1式	加納B2式	加納B3式	安行1式	安行2式	安行3a式	安行3b式	安行3c式	安行3d式	安行3e式	安行3f式	後期中葉	後期後葉	
点数	-	3	1	5	65	5	-	9	16	56	14	48	105	69	84	29	2	3	-	-	-	29
重量(g)	-	72	38	100	1,661	137	-	257	255	1,077	258	1,489	2,355	1,469	1,576	606	39	66	-	-	-	457

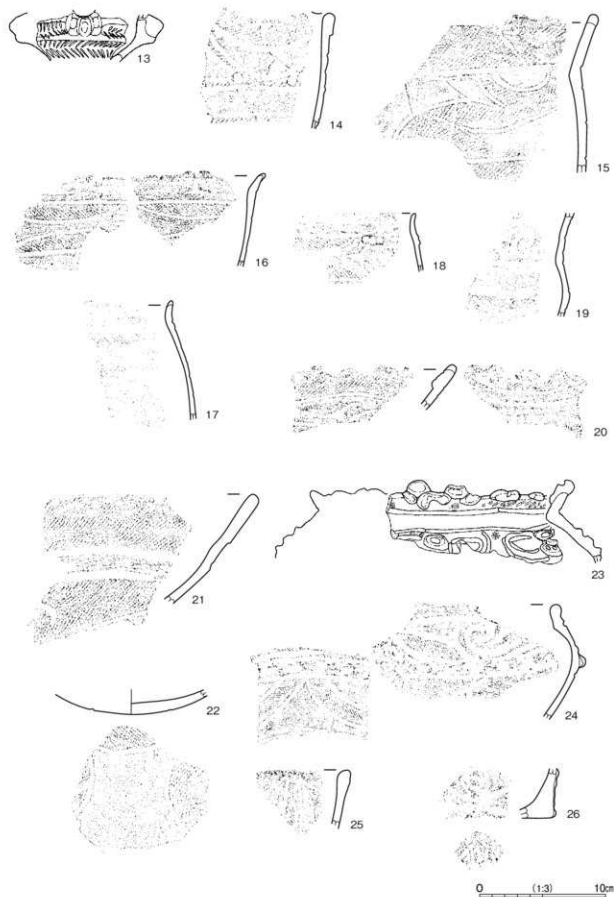
層	第9層										第10層			第11層				第12層		合計
	沈積文	刷製文	磨製文	染付文	刷製文	刷製文	刷製文	刷製文	刷製文	刷製文	刷製文	刷製文	刷製文	刷製文	刷製文	刷製文	刷製文	刷製文	刷製文	
点数	82	36	500	20	228	142	-	1,242	664	2,481	39	117	9	2	9	1	8	349	-	6,493
重量(g)	1,131	595	4,340	435	5,053	3,918	-	20,928	10,014	31,855	1,957	5,382	224	46	281	16	156	3,118	4,172	104,835

第6表 第18号竪穴建物跡出土遺物一覧（第17～20図）

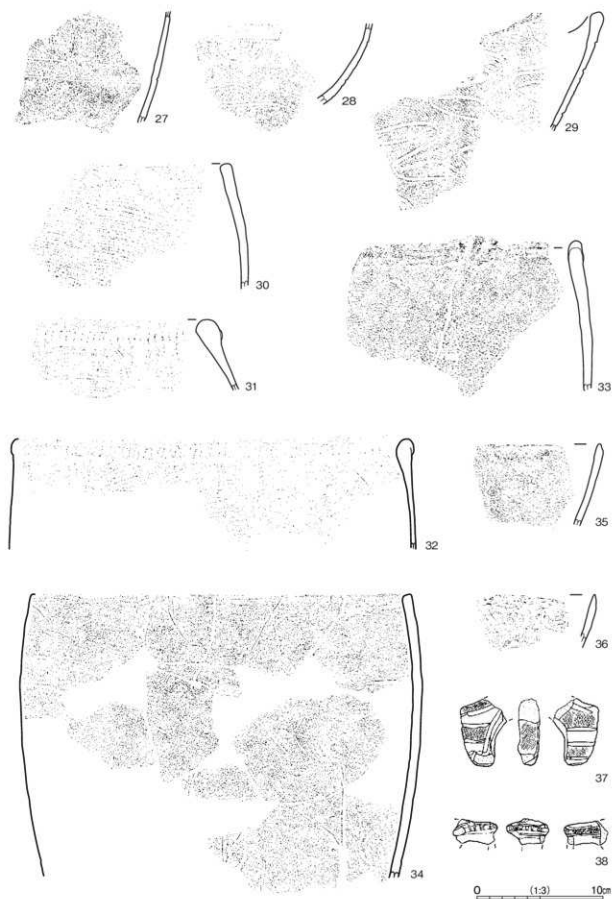
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	浅鉢	-	(10.9)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	母状交差 外面磨り 内面ナデ→内形浮文貼付→3～4本の直交文線	南部上層	15% 部之内2式
2	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	刷製フクロバシ型 外面刷文L.R→磨消刷文 内面ナデ	北部下層	加納B2式
3	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	長石・石英	橙	普通	外面刷文L.R→粘附貼付 内面磨き→内刷	覆土中	後期中葉



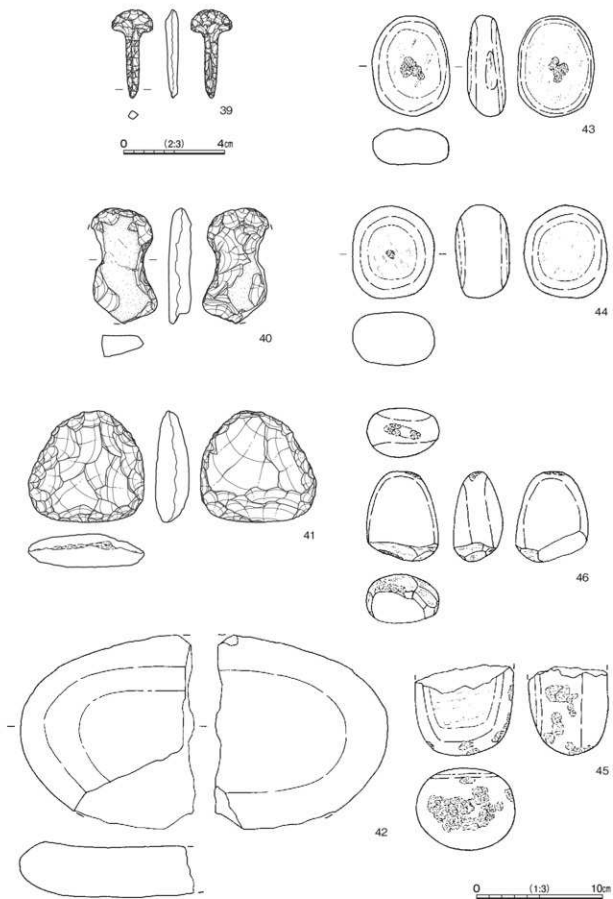
第17图 第18号竖穴建物跡出土物实测图(1)



第 18 图 第 18 号竖穴建物跡出土遺物実測図 (2)



第19图 第18号竖穴建物跡出土遺物実測図(3)



第20图 第18号竖穴建物跡出土遺物実測図(4)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
4	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	外面土塗子状 下位斜位の条線文→縦線貼付 内面ナテ	南部中層	後期中葉
5	縄文土器	鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・赤色 粘土	にぶい橙	普通	外面沈線・刺突文→縄文 RL→無文部磨き 底部沈 線→縄文 RL→無文部磨き 内面磨き	下部下層	後期中葉
6	縄文土器	口付鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	外面磨き 内面ナテ HG 5 III 21と接合	覆土上層	30% 後期中葉
7	縄文土器	深鉢	[160]	(13.2)	-	長石・石英	黒褐色	普通	渡部部4単位 外面隆起帯筋沈線→縄文 RL→無文 部磨き→縦貼付 内面磨き	東部上層	40% PL59 安行2式
8	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英・赤色 粘土	橙	普通	外面隆起帯筋沈線→縄文 RL・筋み→無文部磨き→ 縦貼付 内面磨き	覆土下層	PL59 安行2式
9	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	外面沈線→縄文 RL→無文部磨き 内面磨き	覆土下層	PL59 安行2式
10	縄文土器	深鉢	-	(11.6)	[2.6]	長石・石英	にぶい橙	普通	外面沈線→縄文 LR→無文部磨き 底部・内面ナテ	下部下層	10% 安行2式
11	縄文土器	台付鉢	162	(8.3)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	明赤褐色	普通	外面隆起帯筋沈線→縄文 RL→無文部磨き→縦貼付 内面磨き	中央部下層	60% PL59 安行2式
12	縄文土器	口付鉢	[9.7]	(10.0)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面隆起帯筋沈線・刺突文→縄文 RL・筋み→無文 部磨き→縦貼付 内面ナテ	中央部・ 南部上層	30% PL59 安行2式
13	縄文土器	口付鉢	[9.4]	(3.8)	-	長石・石英	明褐色	普通	外面斜状沈線→縦貼付 内面ナテ	北部上層	安行2式
14	縄文土器	深鉢	-	(9.1)	-	長石・石英	にぶい赤褐色	普通	外面隆起帯筋沈線→縄文 LR→無文部磨き→縦貼付 内面磨き	中央部上層	PL59 安行3a式
15	縄文土器	深鉢	-	(12.5)	-	長石・石英・赤色 粘土	淡褐色	普通	外面沈線→縄文 LR→無文部磨き 内面磨き	覆土下層	PL59 安行3a式
16	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英	黒褐色	普通	外面沈線→縄文 RL→無文部磨き 内面磨き	覆土上層	安行3a式
17	縄文土器	深鉢	-	(8.4)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面沈線→縄文 RL→無文部磨き 内面磨き	覆土上層	安行3a式
18	縄文土器	深鉢	-	(4.6)	-	長石・石英	灰黄褐色	普通	外面沈線→縄文 RL→無文部磨き→縦貼付 内面磨き	覆土上層	PL59 安行3a式
19	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	外面沈線→縄文 LR→無文部磨き 内面磨き	中央部上層	安行3a式
20	縄文土器	鉢	-	(3.5)	-	長石・石英・赤色 粘土	浅黄褐色	普通	外・内面沈線→縄文 LR→無文部磨き	北部上層	PL59 安行3a式
21	縄文土器	鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面沈線→縄文 RL→無文部磨き 内面磨き	覆土上層	PL59 安行3a式
22	縄文土器	鉢	-	(2.0)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	にぶい橙	普通	外面沈線→縄文 RL→無文部磨き 内面磨き	北部上層	安行3a式
23	縄文土器	鉢	[20.4]	(6.6)	-	長石・石英	橙	普通	外面沈線→縄文 RL→無文部磨き→突起・縦貼付 内面磨き	東部上層	10% PL59 安行3a式
24	縄文土器	鉢	-	(9.0)	-	長石・石英	にぶい赤褐色	普通	外面隆起帯筋貼付→沈線→縄文 RL→無文部磨き 内面 磨き	中央部上層	10% 安行3a式
25	縄文土器	角皿土器	-	(4.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面沈線→縄文 LR→無文部磨き 内面磨き	南部覆土中	安行3a式
26	縄文土器	角皿土器	-	(3.9)	-	長石・石英	黒褐色	普通	外面・底部沈線→縄文 LR→無文部磨き 内面ナテ	南部覆土中	安行3a式
27	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	外面沈線→細密沈線→無文部磨き 内面磨き	南部上層	龍山II式
28	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面沈線→無文部磨き 内面磨き	南部上層	龍山II式
29	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	灰褐色	普通	外面沈線→縄文 RL→無文部磨き 内面磨き	中央部上層	15% PL59 安行3a式
30	縄文土器	深鉢	-	(9.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	外面条線 内面ナテ	南部上層	晩期前葉
31	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	橙	普通	外面条線→沈線による区画文→無文部磨き→縦線 貼付 内面磨き	南部下層	後期後葉・ 晩期前葉
32	縄文土器	深鉢	[31.2]	(8.7)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面条線→沈線による区画文→無文部磨き→縦線 貼付 内面磨き	中央部下層	PL59 安行3a式・晩期前葉
33	縄文土器	深鉢	-	(11.8)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	灰褐色	普通	口唇部小突起貼付 外・内面ナテ	南部上層	10% PL60 晩期前葉
34	縄文土器	深鉢	[30.0]	(22.4)	-	長石・石英・赤色 粘土	橙	普通	外面削り 内面ナテ	南部上層	20% PL60 晩期前葉
35	縄文土器	製珠土器	-	(6.5)	-	長石・石英	橙	普通	外面削り 口縁部指痕ナテ 内面ナテ	南部覆土中	後期後葉・ 晩期前葉
36	縄文土器	製珠土器	-	(4.2)	-	長石・石英・赤色 粘土	にぶい橙	普通	外面削り 口縁部指痕ナテ 内面ナテ	南部下層	後期後葉・ 晩期前葉

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
37	土偶	(5.3)	(3.2)	(1.9)	(26.3)	長石・石英・雲母	灰褐色	みみずく形 右脚部 沈線→縄文 RL	南部上層	
38	土偶	(1.9)	(3.5)	(3.3)	(16.2)	長石・石英・雲母	にぶい橙	みみずく形 左脚部 隆起上唇 RL 縄文	北部上層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
39	石葺	3.4	1.6	0.4	1.6	チャート	両面押入調整	北部上層	PL60
40	打製石斧	9.3	(5.0)	2.1	(103.1)	安山岩	分銅形 両面調整	南部覆土中	PL60
41	打製石斧	8.9	9.2	2.6	261.8	ホルンフェルス	両面調整	北部上層	PL60
42	石皿	(13.9)	(15.4)	(4.4)	(135.0)	安山岩	表裏面磨り	南部下層	PL60
43	磨石	8.0	6.1	3.1	224.4	安山岩	表裏面縦打痕→磨痕 側面磨痕	北部覆土中	PL60
44	磨石	7.5	6.5	4.3	325.5	流紋岩	片面縦打痕 表裏面磨痕	中央部上層	PL60
45	磨石	(6.9)	7.9	6.2	(495.0)	流紋岩	表裏面磨痕 側面縦打痕	南部下層	
46	磨石	7.1	5.8	3.9	214.8	砂岩	片面縦多数の縦面→上端縦打痕	南部覆土中	PL60

第23号竪穴建物跡 (第21～23図 第7表 PL 8・9・61)

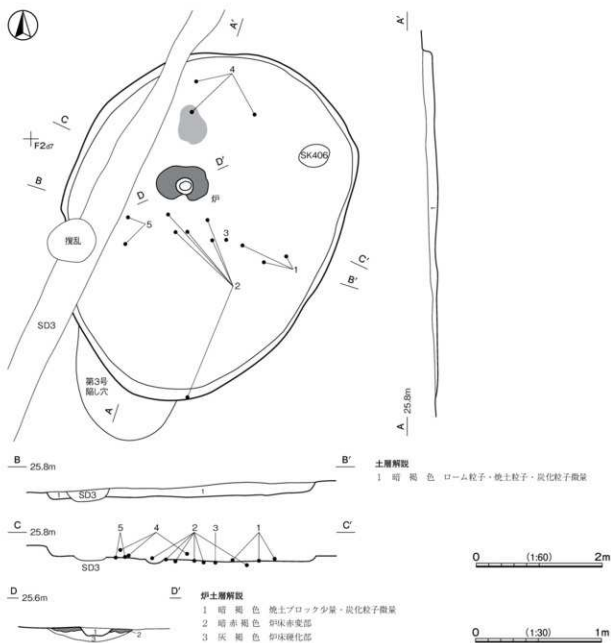
位置 調査I区南部のF2d7区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第3号陥し穴を掘り込み、第3号溝、第406号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径5.78m、短径4.39mの楕円形で、主軸方向はN-22°-Eである。壁は高さ10～17cmで、外傾している。

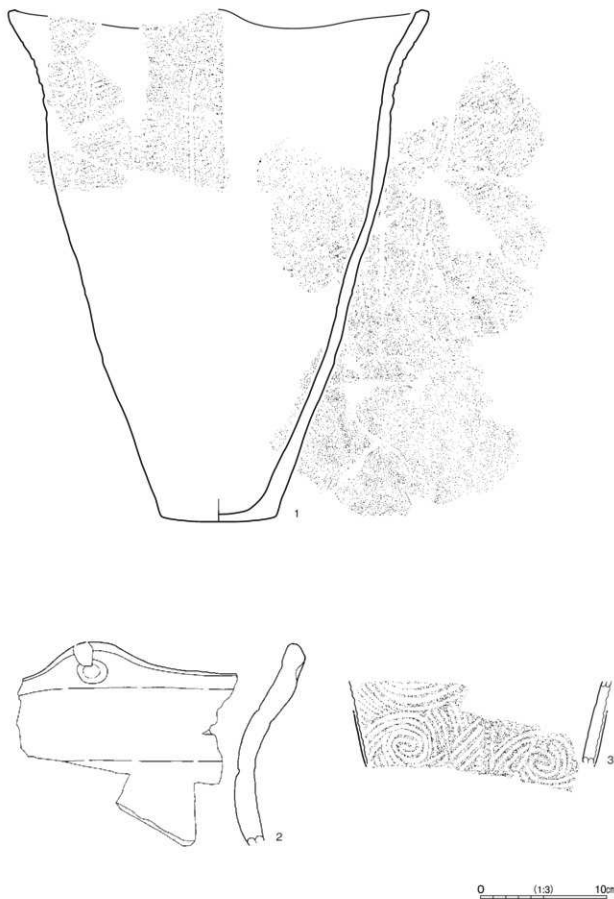
床 南方向に向かって緩やかに下降しており、硬化は弱い。北部に焼土が確認でき、長径62cm、短径45cmの不整楕円形の範囲に広がっている。

炉 中央部に付設されている。長径78cm、短径52cmの楕円形で、床面と同じ高さを使用している地床炉で、中央部に径25cm、深さ12cmの円形の凹みがある。炉床面は赤変しており、硬化は弱い。

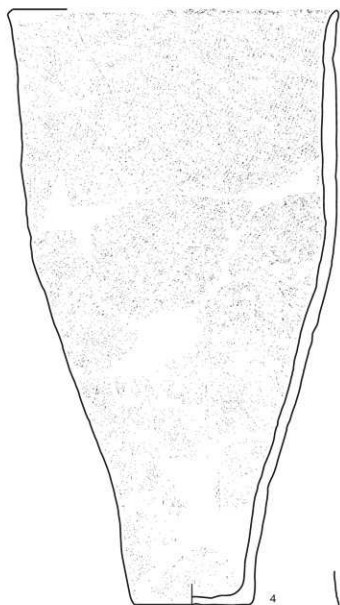


第21図 第23号竪穴建物跡実測図





第 22 图 第 23 号竖穴建物跡出土遺物実測図 (1)



第 23 图 第 23 号竖穴建物跡出土物実測図 (2)

覆土 単一層である。層厚が薄いため、堆積状況は不明である。

遺物出土状況 縄文土器片 406点 (4,328 g)、剥片2点 (チャート) が出土している。1が東部の床面から横位で押しつぶされた状態で、2・3・5は破片が床面に散在した状態でそれぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から後期前葉の堀之内1式期と考えられる。

第7表 第23号竪穴建物跡出土遺物一覧

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	[332]	(40.5)	9.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面縄文LR→総行沈殿	東部床面	25% PL61 堀之内1式
2	縄文土器	深鉢	-	(16.1)	-	長石・石英	灰灰	普通	外面ナテ	中央部床面	PL61 堀之内1式
3	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰陶	普通	外面集合沈殿による渦巻文	中央部床面	PL61 堀之内1式
4	縄文土器	深鉢	25.6	47.1	9.2	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面縄文LR 底部ナテ	北部中層	85% PL61 堀之内1式
5	縄文土器	深鉢	-	(23.7)	-	長石・石英	灰黄陶	普通	外面縄文LR	西部床面	10% 堀之内1式

### 第24号竪穴建物跡 (第24・25図 第8表 PL 8・61)

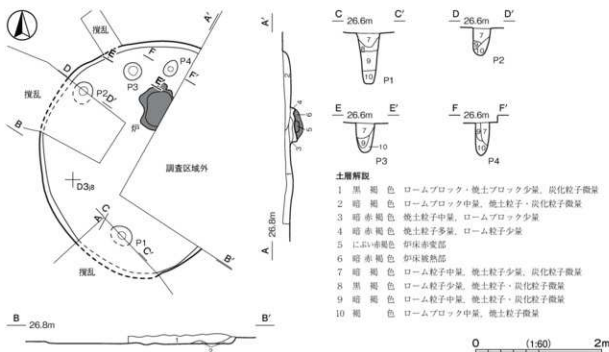
位置 調査H区中央部のD318区、標高27mの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第378・381号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 南北径は3.64mで、東部が調査区域外へ延びているため東西径は3.20mしか確認できなかった。円形もしくは楕円形と推定できる。壁は高さ6～22cmで、外傾している。

床 平坦で、硬化は弱い。

炉 北部に付設されている。東部が調査区域外へ延びているため、南北径74cm、東西径46cmしか確認できなかった。楕円形と推定でき、床面を深さ9cmの皿状に掘りくぼめた地床炉である。炉床面は赤変硬化している。



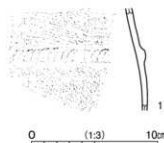
第24図 第24号竪穴建物跡実測図

**ピット** 4か所。深さ42～80cmである。壁際に位置していることから主柱穴もしくは壁柱穴と考えられる。

**覆土** 2層に分層でき、各層にロームや焼土のブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

**遺物出土状況** 縄文土器片70点(1,059g)、石器1点(石皿)、剥片1点(黒色ガラス質安山岩)、骨524gが出土している。1は、P4の覆土中から出土している。

**所見** 時期は、出土土器から後期後葉の安行2式期と考えられる。



第25図 第24号竪穴建物跡

出土遺物実測図

第8表 第24号竪穴建物跡出土遺物一覧(第25図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(80)	-	長石・石英	橙	普通	外面黒褐色→北面による区画文→無文部磨き→経線貼付 内面磨き	P4覆土中	P16 後期後葉

### 第25号竪穴建物跡(第26～31図 第9～12表 PL9～11・62・63)

**位置** 調査区C区中央部のE3g7区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第1329・1304号土坑を掘り込み、第1213・1214・1287～1290・1292～1295号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 径480～490mの円形で、主軸方向はN-14°-Wである。壁は高さ15～32cmで、外傾している。

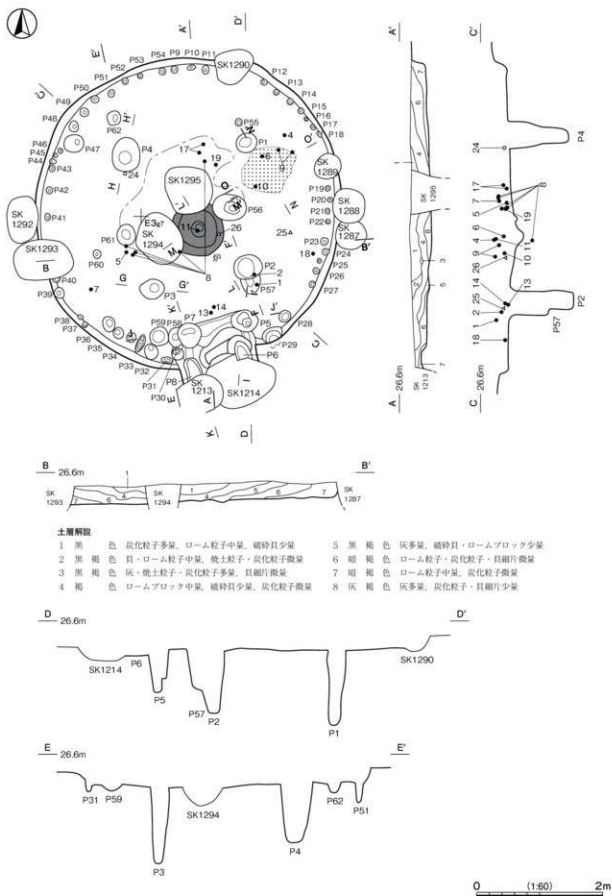
**床** 平坦で、中央部の炉の周辺が硬化している。

**炉** 中央部に付設されている。径86cmの円形で、深さ23cmの鍋底状に掘りくぼめた地床炉である。中央部には径26cm、深さ16cmの円形の凹みがある。炉床面は赤変硬化している。内部には、灰層が堆積しており、X線回折の結果、多量の方解石や水酸塩灰石が検出されたことから、貝類や骨類に由来する漆喰状の物質との所見が得られた(「第3章第4節 自然科学分析 4」参照)。

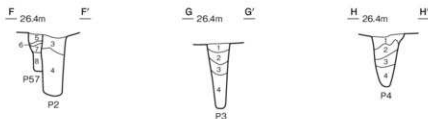
**ピット** 62か所。P1～P4は、深さ92～120cmで、炉を中央に方形に配置されていることから主柱穴である。P5～P8は、深さ12～70cmで、南半部は第1214号土坑などに掘り込まれているため形状は明確でないが、残存部は2基1対で、コ字状に位置していることから、出入口施設に伴う柱穴である。P9～P54は、深さ7～45cmで、壁柱穴である。P55～P62は、深さ10～60cmで、補助的な柱穴と考えられる。

第9表 第25号竪穴建物跡ピット深度

番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)
P1	118	P10	7	P19	26	P28	22	P37	11	P46	7	P55	22
P2	100	P11	37	P20	26	P29	28	P38	17	P47	30	P56	52
P3	120	P12	12	P21	14	P30	24	P39	17	P48	35	P57	60
P4	92	P13	27	P22	22	P31	10	P40	31	P49	19	P58	11
P5	70	P14	23	P23	42	P32	44	P41	26	P50	27	P59	10
P6	12	P15	20	P24	14	P33	22	P42	34	P51	30	P60	13
P7	45	P16	13	P25	20	P34	45	P43	7	P52	40	P61	41
P8	37	P17	14	P26	7	P35	23	P44	9	P53	28	P62	14
P9	21	P18	13	P27	33	P36	30	P45	14	P54	26		

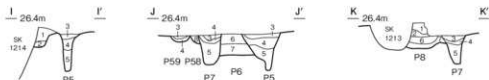


第26図 第25号堅穴建物跡実測図(1)



**ピット土層解説 (P2~P4・P57共通)**

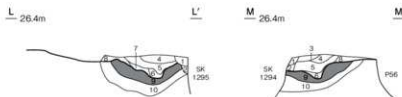
- |       |                       |       |                       |
|-------|-----------------------|-------|-----------------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子少量, 炭化粒子・貝細片微量   | 5 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量        |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子・貝細片微量 | 6 褐色  | ローム粒子少量, 炭化粒子・貝細片微量   |
| 3 褐色  | ロームブロック少量             | 7 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量     |
| 4 褐色  | ロームブロック中量             | 8 黒褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子・貝細片微量 |



**ピット土層解説 (P5~P8・P58・P59共通)**

- |          |           |          |                   |
|----------|-----------|----------|-------------------|
| 1 灰黄褐色   | ロームブロック中量 | 5 にふい黄褐色 | ローム粒子中量           |
| 2 にふい黄褐色 | ロームブロック中量 | 6 暗褐色    | ローム粒子中量           |
| 3 黒褐色    | ロームブロック少量 | 7 褐色     | ロームブロック中量         |
| 4 暗褐色    | ロームブロック中量 | 8 暗褐色    | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |

0 (1:60) 2m



**炉土層解説**

- |          |                            |          |                             |
|----------|----------------------------|----------|-----------------------------|
| 1 暗褐色    | 黒色土ブロック多量, 灰ブロック少量, 炭化粒子微量 | 6 灰黄褐色   | 灰中量, 黒色土ブロック・炭化粒子少量, 焼土粒子微量 |
| 2 暗褐色    | 灰ブロック・黒色土ブロック中量, 焼土粒子少量    | 7 にふい黄褐色 | 灰主体, 焼土粒子少量, 黒色土ブロック微量      |
| 3 にふい黄褐色 | 灰主体, 炭化粒子微量                | 8 灰黄褐色   | 灰・ロームブロック中量, 黒色土ブロック少量      |
| 4 にふい黄褐色 | 灰ブロック多量, 黒色土ブロック少量, 炭化粒子微量 | 9 にふい赤褐色 | 切床赤変部                       |
| 5 灰白色    | 灰主体, 焼土粒子少量                | 10 にふい褐色 | 切床硬化部                       |



**貝層土層解説**

- |         |                                   |        |                        |
|---------|-----------------------------------|--------|------------------------|
| 1 黒褐色土層 | 黒褐色土主体, 貝多量, 炭化粒子中量, ローム粒子少量      | 3 極暗褐色 | ローム粒子中量, 破砕貝少量, 炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色土層 | 黒褐色土主体, 貝多量, ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 4 黒褐色  | 破砕貝・ローム粒子・焼土粒子微量       |
|         |                                   | 5 暗褐色  | ロームブロック少量, 貝細片微量       |
|         |                                   | 6 極暗褐色 | ローム粒子中量, 貝細片微量         |

0 (1:30) 1m

第 27 図 第 25 号堅穴建物跡実測図 (2)

**覆土** 8層に分層でき、各層にローム粒子や焼土粒子、炭化粒子、灰が多量に含まれていることから、埋め戻されている。東部の覆土中層からは、長さ98cm、幅82cmの不正形な範囲に、厚さ10cmの遺構内貝層が確認できた。

**遺物出土状況** 縄文土器片1,389点(23,089g)、土製品2点(耳飾り、土偶)、石器・石製品3点(凹石2、石棒1)、剥片1点(粘板岩)、骨角製品11点(簪1、小玉1、装身具9)、貝殻6,498点(8,093.0g)、骨5,787.3gが出土している。土器は、後期初頭から後期後葉までのものが出土している。時代的なまとまりは、後期初頭0.9%、後期前葉19.3%、後期中葉17.4%、後期後葉62.4%で、特に、後期後葉の曾谷式のものがおおよそ6割を占めている。出土状況は、中央部や北東部の覆土中層から、大型破片が散在した状態で出土しており、本跡を埋め戻す過程で投棄されたものと考えられる。貝・骨は、東部の遺構内貝層から出土している。貝殻は、23種が確認できた。主な貝種は、ヤマトシジミが5,680点(最小個体数2,712点)で87.4%を占め、次いでハマグリが673点(最小個体数349点)で10.4%である。骨は、同定分析の結果、イノシシ5点(頭蓋骨1・下顎骨1・胸椎2・脛骨1)、ニホンジカ15点(頭蓋骨1・頸椎3・胸椎1・腰椎2・寛骨2・脛骨1・大腿骨3・距骨2)などが確認できた(「第3章第4節 自然科学分析 4」参照)。

**所見** 時期は、出土土器から後期後葉の曾谷式期と考えられる。

第10表 第25号竪穴建物跡出土未掲載土器集計表

層	第1層		第2層		第3層		第4層			第5層			第6層		第7層			第8層				
	前期 表土	中期 浅土	縄文寺 1式	縄文寺 2式	縄文内 1式	縄文内 2式	加賀利 B1式	加賀利 B2式	加賀利 B3式	加賀利 平土	曾谷式	安行 1式	安行 2式	後葉	安行 3式	安行 3b式	磯山 B1式	安行 3c式	曾谷式	安行 3d式	後葉 貝類土器	後葉 貝類土器
点数	1	-	-	1	18	3	6	8	3	2	64	4	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
重量 (g)	51	-	-	9	426	66	181	216	108	17	1,340	175	-	-	70	-	-	-	-	-	-	-

層	第9層							第10層			第11層				第12層		第13層	合計		
	縄文 1式	縄文 2式	縄文 3式	縄文 4式	縄文 5式	縄文 6式	縄文 7式	縄文 8式	縄文 9式	縄文 10式	縄文 11式	縄文 12式	縄文 13式	縄文 14式	縄文 15式	縄文 16式	縄文 17式			
点数	55	87	81	29	72	4	5	379	188	280	9	16	4	1	2	2	2	3	-	1,367
重量 (g)	633	1,464	1,639	466	2,052	134	82	5,144	2,336	3,468	409	1,135	115	60	92	82	94	367	858	23,089

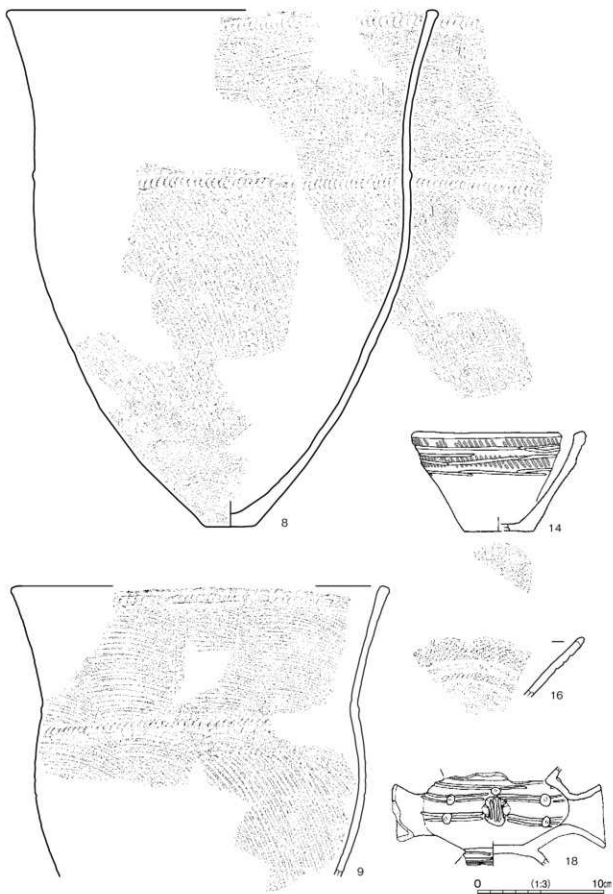
第11表 第25号竪穴建物跡出土遺物一覧(第28～31図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴はか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英	黒灰	普通	外面発粘帯塗沈泥→縄文RL→無文部磨き→楕円付内面磨き	南東部中層	PL62 安行1式
2	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・雲母	橙	普通	外面発粘帯塗沈泥→縄文LR→無文部磨き→楕円付内面磨き	南東部中層	PL62 曾谷式
3	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英	黒灰	普通	外面発粘帯塗沈泥→縄文RL・刺突文→無文部磨き→楕円付内面磨き	南東部中層	PL62 安行1式
4	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面縄文RL→沈泥→刺突文	北東部中層	PL62 安行1式
5	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・雲母	黒灰	普通	外面縄文RL→沈泥→無文部磨き	西部下層	PL62 曾谷式
6	縄文土器	深鉢	-	(22.6)	5.0	長石・石英・雲母・赤色粘土	にぶい橙	普通	外面縄文RL→沈泥→無文部磨き	東部中層	30% 後期後葉
7	縄文土器	深鉢	-	(14.9)	3.4	長石・石英	にぶい黄	普通	外面縄文RL→沈泥→無文部磨き	西部下層	30% 後期後葉
8	縄文土器	深鉢	(33.2)	41.0	4.0	長石・石英・雲母・赤色粘土	にぶい橙	普通	外面縄文RL→赤線→沈泥による区画文→縁線貼付内面磨き	西部・中央部中層	40% PL62 後期後葉
9	縄文土器	深鉢	(29.0)	(23.0)	-	長石・石英	灰質黄	普通	外面赤線→沈泥による区画文→縁線貼付内面磨き	東部中層	15% PL62 後期後葉
10	縄文土器	深鉢	-	(18.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄	普通	外面赤線→縁線貼付内面磨き	東部中層	10% PL62 後期後葉
11	縄文土器	深鉢	-	(11.2)	-	長石・石英・雲母	黒灰	普通	外面縄文RL→赤線→沈泥による区画文→縁線貼付内面磨き	中央部上層	37% 後期後葉
12	縄文土器	深鉢	(25.5)	(23.5)	-	長石・石英	黒灰	普通	外面赤線	東部中層	15% PL63 後期後葉
13	縄文土器	深鉢	-	(16.3)	4.6	長石・石英・雲母・赤色粘土	にぶい橙	普通	外面磨き	南部中層	20% PL63 後期後葉
14	縄文土器	鉢	(13.4)	7.9	(5.5)	長石・石英・雲母	にぶい黄	普通	外面縄文RL→沈泥→無文部磨き	南部中層	50% PL63 後期後葉
15	縄文土器	深鉢	(22.0)	(12.6)	-	長石・石英・雲母	黒灰	普通	外面磨き	北部中層	10% PL63 後期後葉
16	縄文土器	浅鉢	-	(4.8)	-	長石・石英・雲母	黒灰	普通	外面縄文LR→沈泥→無文部磨き	東部中層	PL63 後期後葉
17	縄文土器	有付鉢	(33.2)	(14.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄	普通	外面赤線→口唇部・肩部刷毛→頸部沈泥→無文部磨き	北部中層	20% PL63 安行1式
18	縄文土器	黄砂有付土器	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母	黒灰	普通	外面磨き→沈泥→楕円付	南東部下層	37% PL63 曾谷式

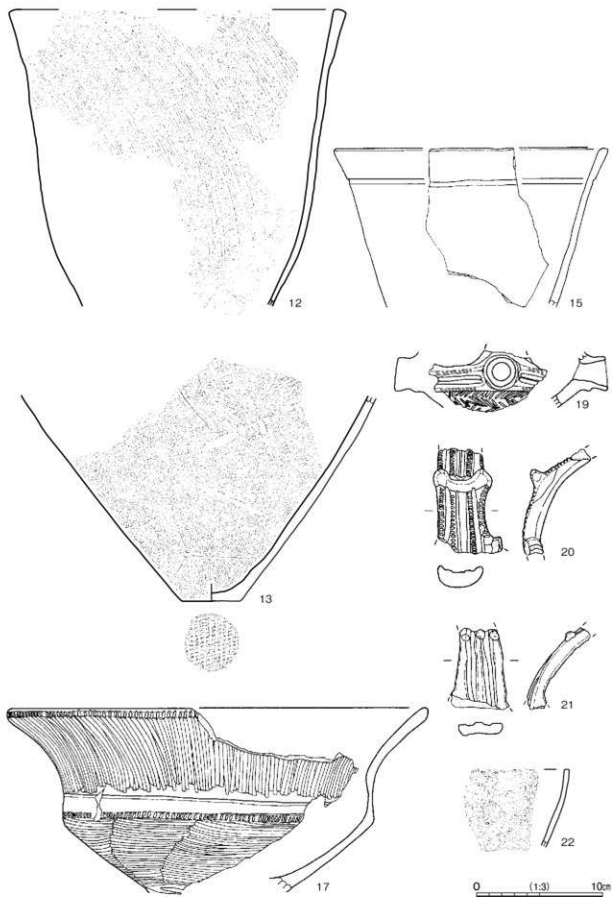


第 28 图 第 25 号竖穴建物跡出土遺物実測図 (1)

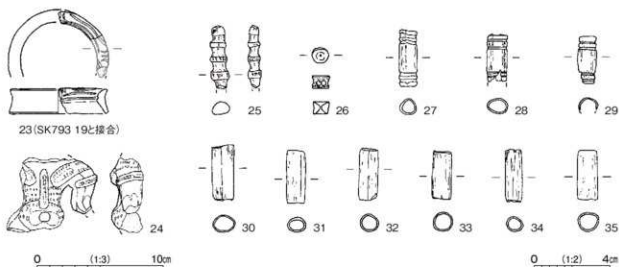




第 29 图 第 25 号竖穴建物跡出土遺物実測図 (2)



第30图 第25号竖穴建物跡出土遺物実測図(3)



第31図 第25号竪穴建物跡出土遺物実測図(4)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
19	縄文土器	真鍮首付土器	-	(5.4)	-	長石・雲母	黒黒	普通	外面矢羽根状条線→隆起帯筋沈線→縄文RL	中央部中層	後期後葉
20	縄文土器	的土器	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母	灰白・黄緑	普通	外面隆起帯筋沈線→刻み	東部中層	PL63 後期後葉
21	縄文土器	的土器	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母	灰黄黒	普通	外面隆起帯筋沈線→輪胎付	北部中層	PL63 後期後葉
22	縄文土器	装飾土器	-	(6.2)	-	長石・石英	橙	普通	外面刷り	南東部中層	後期後葉

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
23	耳飾り	[8.0]	[8.0]	2.1	(5.5)	長石	黒黒	滑車型 外・内面磨き 沈線文 SK793 19と接合	南東部上層	PL63
24	土偶	(6.0)	(7.3)	(2.6)	(41.6)	長石・石英・雲母	赤黒	みみずく形 側部 刺突文	西部中層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
25	簪	(3.3)	1.0	0.7	(1.5)	鹿角	端部欠損 凸部刻み 研磨整形 赤彩	東部中層	PL63
26	小玉	0.7	0.9	0.7	0.2	鳥類椎骨	中央部穿孔	中央部中層	
27	装身具	3.0	1.0	0.9	1.8	鳥類四肢骨	両端部に2条の沈線 研磨整形	東部貝層中	PL63
28	装身具	(2.5)	1.1	0.8	(1.1)	鳥類四肢骨	両端部に2条の沈線 研磨整形	東部貝層中	PL63
29	装身具	2.5	1.0	(0.6)	(0.7)	鳥類四肢骨	両端部に2条の沈線 研磨整形	東部貝層中	
30	装身具	3.0	1.2	1.0	1.0	鳥類四肢骨	研磨整形	東部貝層中	PL63
31	装身具	2.8	1.0	0.8	1.3	鳥類四肢骨	研磨整形	東部貝層中	PL63
32	装身具	2.7	1.1	0.9	0.9	鳥類四肢骨	研磨整形	東部貝層中	PL63
33	装身具	2.5	1.1	1.0	1.2	鳥類四肢骨	研磨整形	東部貝層中	PL63
34	装身具	2.8	0.9	0.8	1.1	鳥類四肢骨	研磨整形	東部貝層中	PL63
35	装身具	2.7	1.1	1.0	1.4	鳥類四肢骨	研磨整形	東部貝層中	PL63

第12表 第25号竪穴建物跡出土具集計表

履足綱	点数	重量 (g)	備考
アカニシ	1	30.2	
アラムシロガイ	1	0.5	
イボニシ	-	1.2	破片のみ
ウミニナ	1	1.6	
オオタニシ	1	6.5	

掘 足 綱	点 数				重 量 (g)				備 考	
カノコガイ	-				06				破片のみ	
カワアイ	1				05					
キビガイ	-				05				破片のみ	
チリメンカワニナ	-				07				破片のみ	
ツノガイ	1				18					
ヤマグルマガイ	-				15				破片のみ	
小 計	6				45.6					
二 枚 貝 綱	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備 考
イシガイ	-	1	1	2	-	5.7	2.7	2.7	11.1	
イタキガイ	-	-	1	1	-	-	14.7	-	14.7	
オキノガイ	1	-	-	1	3.7	-	-	-	3.7	
オキシジミ	5	4	-	9	34.4	18.8	-	-	43.2	
カガミガイ	-	1	-	1	-	4.5	-	11.1	15.6	
ゴイサギ	-	-	-	-	-	-	-	-	6.1	破片のみ
サルボウ	12	8	2	22	60.2	30.3	0.9	1.1	92.5	
シオフキ	38	34	-	72	87.3	69.2	-	2.5	159.0	
ハマグリ	317	349	7	673	861.3	950.6	14.0	395.3	2221.2	
マガキ	-	-	1	1	-	-	-	1.7	1.5	3.2
マフカサガイ	11	14	5	30	21.7	26.5	3.9	10.8	62.9	
キヤトシジミ	2712	2557	411	5680	2457.6	2394.3	182.8	379.5	5414.2	
小 計	3096	2968	428	6492	3516.2	3499.9	230.7	810.6	8047.4	
総 合 計	6498				8093.0					

### 第 27 号竪穴建物跡 (第 32～42 図 第 13～16 表 PL10～12・64～67)

**位置** 調査C区中央部のE3h5区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

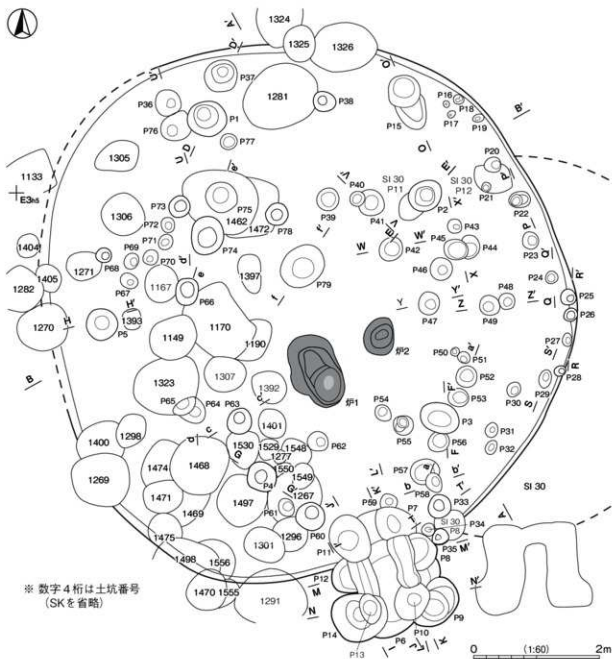
**重複関係** 第30号竪穴建物跡、第1267・1462号土坑などを掘り込み、第1149・1170・1281・1323・1530号土坑などに掘り込まれている。

**規模と形状** 径8.23～8.40mの円形で、主軸方向はN-18°-Wである。壁は高さ4～23cmで、外傾している。

**床** 西半部は遺構の重複が激しいため明確でないが、東半部はほぼ平坦で、硬化は弱い。東半部の壁際には焼土と炭化材が確認できた。

**炉** 2か所。炉1は、中央部に付設されている。長径122cm、短径79cmの楕円形で、床面を深さ12cmの皿状に掘りくぼめた地床炉である。炉床面は赤変硬化している。炉2は、炉1の東側に位置し、長径60cm、短径48cmの楕円形で、床面を深さ6cmの浅い皿状に掘りくぼめた地床炉である。炉床面は赤変硬化している。新旧関係は不明である。

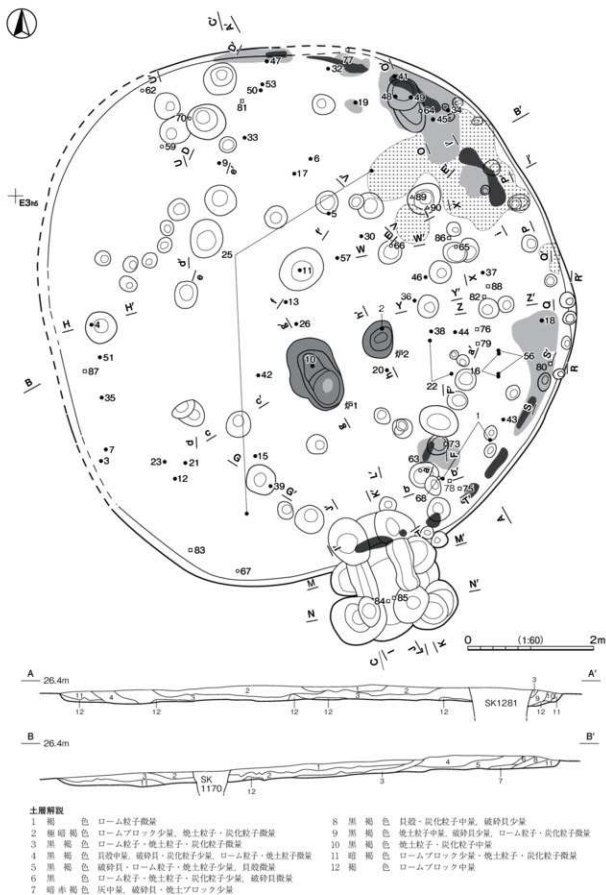
**ピット** 79か所。P1～P5は、深さ92～118cmである。深さがあり、五角形に配置されていることから主柱穴である。P6～P14は、深さ24～78cmで、土坑状に掘りくぼめた部分の両脇に4基1対で八字状に配置されていることから、出入口施設に伴う柱穴である。P15～P37は、深さ11～90cmで、壁柱穴である。東半部の壁際に巡っており、西半部は遺構の重複が激しいため不鮮明であった。P38～P79は、深さ7～106cmで、補助的な柱穴と考えられる。深さ70cm以上の柱穴が複数あり、炉1から半径約2.5mの円形の範囲に分布していることから、建て替えの可能性があるが、構造を明確にすることはできなかった。



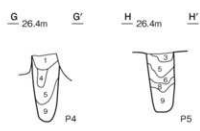
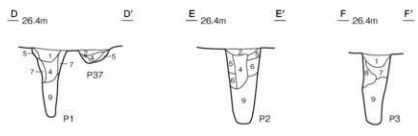
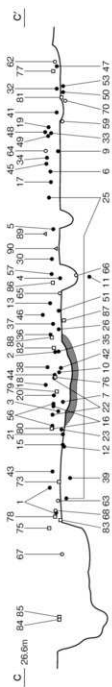
第32図 第27号堅穴建物跡実測図(1)

第13表 第27号堅穴建物跡ピット深度

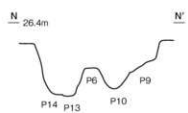
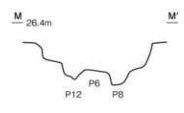
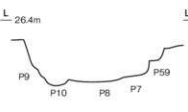
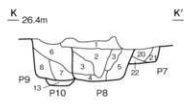
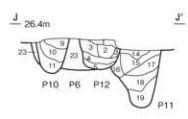
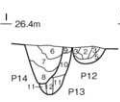
番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)
P 1	304	P 11	40	P 21	90	P 31	72	P 41	36	P 51	39	P 61	90
P 2	118	P 12	42	P 22	48	P 32	11	P 42	64	P 52	90	P 62	31
P 3	110	P 13	78	P 23	25	P 33	66	P 43	36	P 53	16	P 63	60
P 4	106	P 14	69	P 24	20	P 34	18	P 44	72	P 54	16	P 64	38
P 5	92	P 15	72	P 25	28	P 35	27	P 45	76	P 55	22	P 65	56
P 6	30	P 16	22	P 26	20	P 36	22	P 46	91	P 56	68	P 66	66
P 7	24	P 17	27	P 27	20	P 37	21	P 47	36	P 57	16	P 67	18
P 8	64	P 18	17	P 28	17	P 38	62	P 48	24	P 58	40	P 68	15
P 9	60	P 19	15	P 29	28	P 39	27	P 49	46	P 59	22	P 69	26
P 10	70	P 20	36	P 30	22	P 40	22	P 50	35	P 60	89	P 70	54



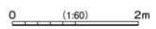
第33図 第27号竪穴建物跡実測図(2)



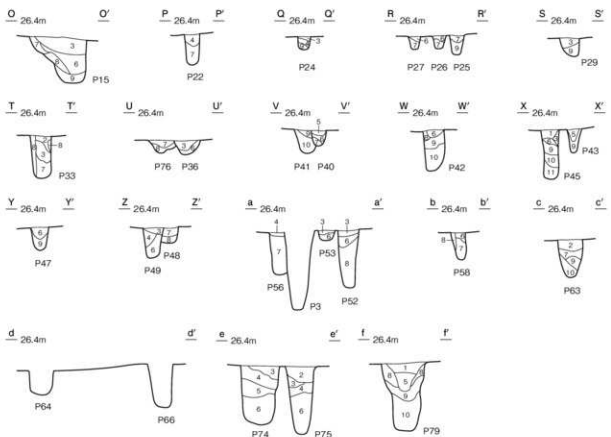
- ビット土層解説 (P1~P5・P37共通)**
- 1 黒褐色 炭化物中量, ローム粒子少量
  - 2 暗褐色 ロームブロック, 焼土粒子, 炭化粒子少量
  - 3 褐色 ローム粒子多量, 焼土粒子少量, 炭化粒子微量
  - 4 暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子, 炭化粒子微量
  - 5 褐色 ローム粒子多量, 焼土粒子, 炭化粒子微量
  - 6 褐色 ロームブロック中量
  - 7 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子, 炭化粒子微量
  - 8 暗褐色 ローム粒子少量
  - 9 暗褐色 ロームブロック少量



- ビット土層解説 (P6~P14共通)**
- |        |                                |        |                                   |
|--------|--------------------------------|--------|-----------------------------------|
| 1 暗褐色  | ロームブロック少量, 焼土粒子, 炭化粒子微量 (覆土)   | 12 褐色  | ロームブロック中量                         |
| 2 暗褐色  | ローム粒子, 炭化粒子微量 (~5 P8・12)       | 13 褐色  | ロームブロック中量                         |
| 3 暗褐色  | ロームブロック少量, 炭化粒子微量              | 14 黒褐色 | ローム粒子中量, 炭化粒子少量, 焼土粒子微量 (~19 P11) |
| 4 黒褐色  | ローム粒子中量                        | 15 黒褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子微量                 |
| 5 褐色   | ロームブロック中量                      | 16 褐色  | ロームブロック中量                         |
| 6 黒褐色  | ローム粒子, 焼土粒子, 炭化粒子微量 (~8 P9・14) | 17 黒褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子微量                 |
| 7 黒褐色  | ローム粒子, 焼土粒子少量, 炭化粒子微量          | 18 暗褐色 | ローム粒子微量                           |
| 8 暗褐色  | ローム粒子中量                        | 19 暗褐色 | ロームブロック中量                         |
| 9 暗褐色  | ローム粒子微量 (~13 P10・13)           | 20 暗褐色 | ローム粒子微量 (~22 P7)                  |
| 10 暗褐色 | ローム粒子少量, 炭化粒子微量                | 21 暗褐色 | ロームブロック中量                         |
| 11 暗褐色 | ロームブロック少量                      | 22 暗褐色 | ロームブロック中量                         |
|        |                                | 23 暗褐色 | ローム粒子微量 (P6)                      |



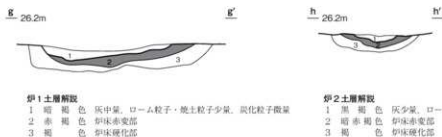
第34図 第27号堅穴建物跡実測図(3)



**ピット土層解説 (P15～P79共通)**

- |       |                             |        |                 |
|-------|-----------------------------|--------|-----------------|
| 1 黒褐色 | 焼土粒子中量, 炭化粒子少量, ロームブロック微量   | 7 褐色   | ローム粒子多量         |
| 2 暗褐色 | 焼土ブロック中量, ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 8 褐色   | ロームブロック中量       |
| 3 暗褐色 | ローム粒子中量, 焼土粒子微量             | 9 暗褐色  | ローム粒子少量, 焼土粒子微量 |
| 4 暗褐色 | ローム粒子少量, 炭化粒子微量             | 10 暗褐色 | ローム粒子微量         |
| 5 黒褐色 | 焼土ブロック・ローム粒子・炭化粒子微量         | 11 黒褐色 | ローム粒子微量         |
| 6 褐色  | ローム粒子中量                     |        |                 |

0 (1:50) 2m



**伊1土層解説**

- |       |                           |
|-------|---------------------------|
| 1 暗褐色 | 灰中量, ローム粒子・焼土粒子少量, 炭化粒子微量 |
| 2 赤褐色 | 伊床変部                      |
| 3 褐色  | 伊床硬化部                     |

**伊2土層解説**

- |        |                      |
|--------|----------------------|
| 1 黒褐色  | 灰少量, ローム粒子少量, 炭化粒子微量 |
| 2 暗赤褐色 | 伊床変部                 |
| 3 褐色   | 伊床硬化部                |



**貝層土層解説**

- |        |   |
|--------|---|
| 1 混貝土層 | 暗褐色土主体, 貝・破砕貝多量, 灰ブロック・焼土ブロック中量, ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色  | 炭化粒子多量, 灰ブロック・焼土ブロック少量, ローム粒子微量               |
| 3 赤褐色  | 焼土ブロック多量, 貝殻・破砕貝・灰ブロック・炭化粒子少量, ローム粒子微量        |
| 4 黒褐色  | 炭化粒子中量, 焼土ブロック・ローム粒子少量, 破砕貝・灰ブロック微量           |
| 5 混貝土層 | 暗褐色土主体, 破砕貝多量, 焼土ブロック・ローム粒子・炭化粒子少量, 灰ブロック微量   |
| 6 暗褐色  | ロームブロック・炭化粒子少量, 破砕貝・焼土ブロック微量                  |

0 (1:30) 1m

第35図 第27号竪穴建物跡断面図(4)



**覆土** 12層に分層できる。第1～3層は含有物の少ない極暗褐色～黒褐色土で、自然堆積である。第4～10層は壁際に堆積した焼土・炭化材・混土貝層で、北東部の壁際には、長さ262cm、幅225cmの不整形な範囲に、厚さ5～20cmほどの遺構内貝層が確認できた。第11・12層は壁部の崩落土である。

**遺物出土状況** 縄文土器片10,868点(157,390g)、土製品79点(土玉1、耳飾り3、耳栓2、土偶7、土版5、土器片内盤57、手鳩形土製品1、匙型土製品1、不明2)、石器・石製品36点(石鏃1、石錐1、磨製石斧5、磨石17、敲石2、石皿6、砥石2、小玉2)、骨角製品2点(刺突具)、貝製品2点(貝刃)、剥片20点(チャート16、瑪瑙4)、石核13点(チャート12、瑪瑙1)、粘土塊10点(266.1g)、貝殻19,011点(29,900.8g)、骨4,212.7gが出土している。土器は、後期初頭～晩期前葉のものが出土しており、安行3a式～安行3b式のものが7割以上を占めている。出土状況は、覆土中層(第3層)を中心に残存率の低い破片が散在した状態で出土している。浅鉢・鉢類、ミニチュア土器、土偶、土版、翡翠製小玉など祭祀的な遺物が多いことから、建物の廃絶直後に貝殻等とともに投棄された可能性がある。貝殻は、北東部の遺構内貝層から出土しており、22種が確認できた。主な貝種は、ヤマトシジミが17,291点(最小個体数8,262点)で91.0%、次いでハマグリが1,595点(最小個体数799点)で8.4%である。骨は、東部の遺構内貝層から出土しており、同定分析の結果、イノシシ16点(頭蓋骨1・犬歯1・後臼歯2・頭椎3・胸椎1・肩甲骨1・橈骨2・中手骨2・寛骨1・脛骨2)、ニホンジカ8点(角・後臼歯・腰椎・手根骨・大腿骨・脛骨・距骨・中足骨)、キジ科1点(上腕骨)が検出された(「第3章第4節 自然科学分析 4」参照)。

**所見** 時期は、出土土器から晩期前葉の安行3a式～安行3b式期と考えられる。東半部の壁際に焼土と炭化材が広がっており、焼失建物の可能性がある。

第14表 第27号竪穴建物跡出土未掲載土器集計表

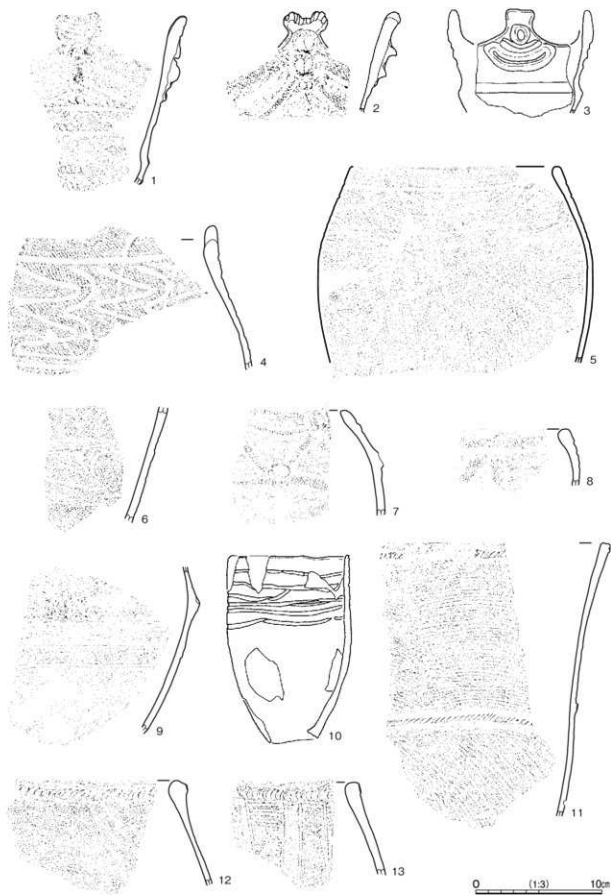
種別	第1層			第2層			第3層			第4層			第5層			第6層			第7層			第8層	
	中野 後半	中野 前半	中野 1式	中野 2式	中野 3式	中野 4式	加納 1式	加納 2式	加納 3式	加納 4式	加納 5式	加納 6式	加納 7式	加納 8式	加納 9式	加納 10式	加納 11式	加納 12式	加納 13式	加納 14式	加納 15式	加納 16式	加納 17式
点数	3	-	-	2	8	8	8	1	2	1	-	4	8	8	-	67	32	8	-	-	-	3	5
重量 (g)	64	-	-	42	264	132	16	113	24	-	245	412	219	-	1,763	663	93	-	-	-	101	57	

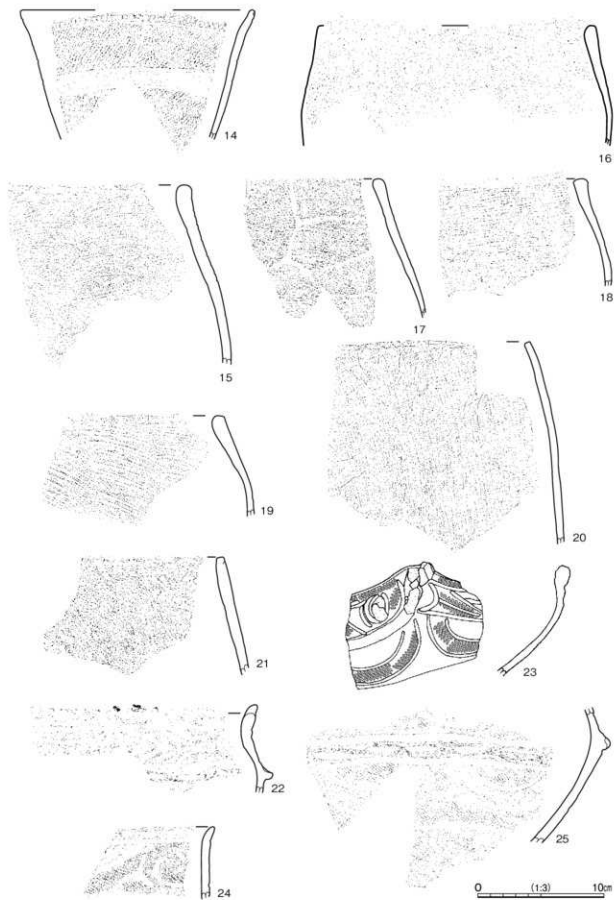
種別	第9層										第10層				第11層				第12層		第13層		合計			
	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器	式根 土器		式根 土器	式根 土器	式根 土器
点数	270	232	711	457	124	317	19	2670	687	3,522	41	142	78	21	12	12	2	1	5	9	1,118	-	-	-	-	10,868
重量 (g)	3,863	3,689	8,535	7,912	2,364	6,105	300	40,280	10,074	37,983	1,686	4,780	1,834	873	1,063	227	46	52	75	100	8,120	13,262	157,390			

第15表 第27号竪穴建物跡出土遺物一覧(第36～42図)

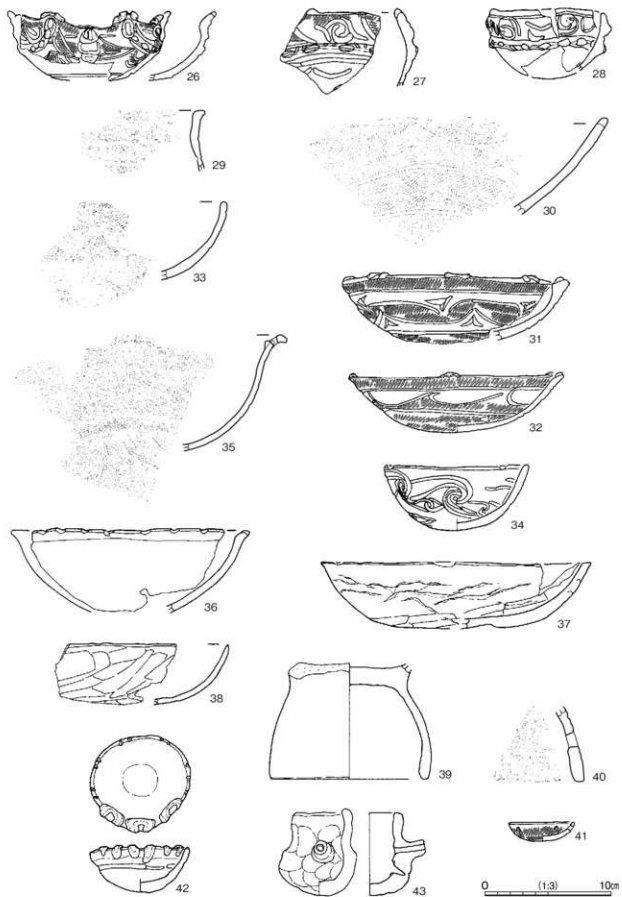
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	備考	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(13.4)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面隆起帯流線→縄文RL→無文部磨き→磨貼付	内面流線部4条の環下流線	南東部～東部下層	PL64 安行3a式
2	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	オレンジ	普通	外面隆起帯流線→縄文RL→無文部磨き→磨貼付		中央部下層	PL64 安行3a式
3	縄文土器	深鉢	[106]	(8.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面磨き→流線→磨貼付		西部下層	PL64 安行3a式
4	縄文土器	深鉢	-	(11.5)	-	長石・石英・赤色	浅黄橙	普通	外面縄文RL→能行流線→無文部磨き		西部下層	PL64 安行3a式
5	縄文土器	深鉢	[163]	(15.5)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	外面上流線LR・下流線→流線→無文部磨き		中央部中層	20% PL64 安行3b式
6	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英・赤色	黒橙	普通	外面縄文LR→流線→無文部磨き		北部上層	安行3a式
7	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	オレンジ	普通	外面ナデ→隆起帯流線→胎入→磨貼付		西部床面	安行2～3a式
8	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英	赭灰	普通	外面縄文RL→流線→無文部磨き		東部貝層中	安行3a式
9	縄文土器	深鉢	-	(13.2)	-	長石・石英・赤色	オレンジ	普通	外面縄文RL→流線→無文部磨き→磨貼付		北部床面	安行3a式
10	縄文土器	深鉢	9.2	(14.5)	-	長石・石英	橙	普通	外面ナデ→流線		中央部下層	80% PL65 晩期前葉
11	縄文土器	深鉢	-	(21.7)	-	長石・石英	橙	普通	外面縄文LR→条線→磨貼付		P 79中層	10% PL64 晩期後葉



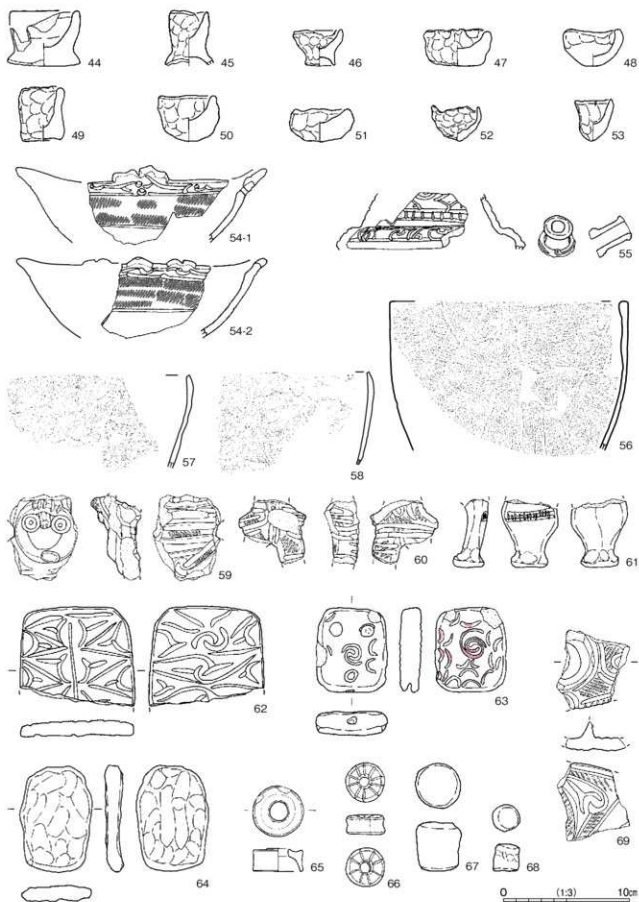
第36图 第27号竖穴建物跡出土遺物実測図(1)



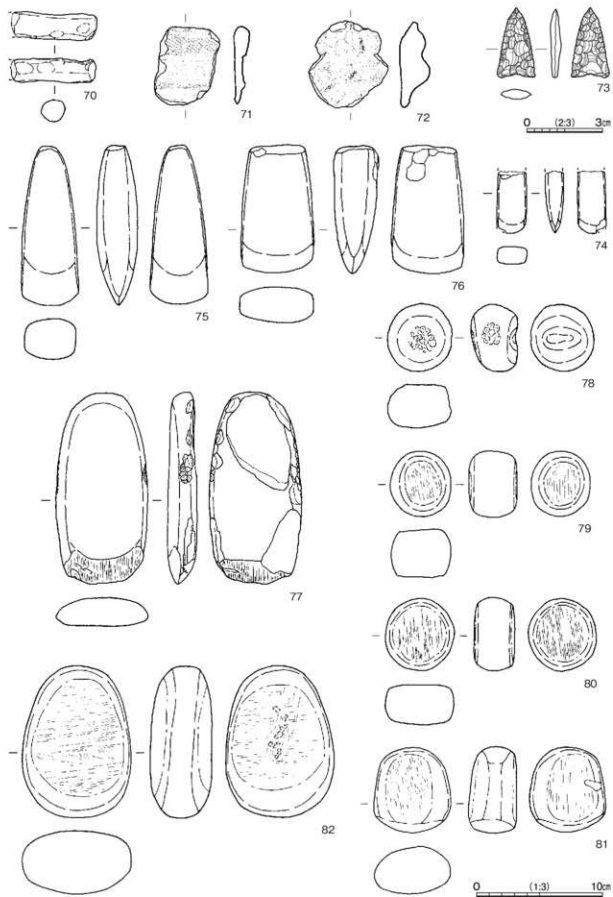
第 37 图 第 27 号竖穴建物跡出土遺物実測図 (2)



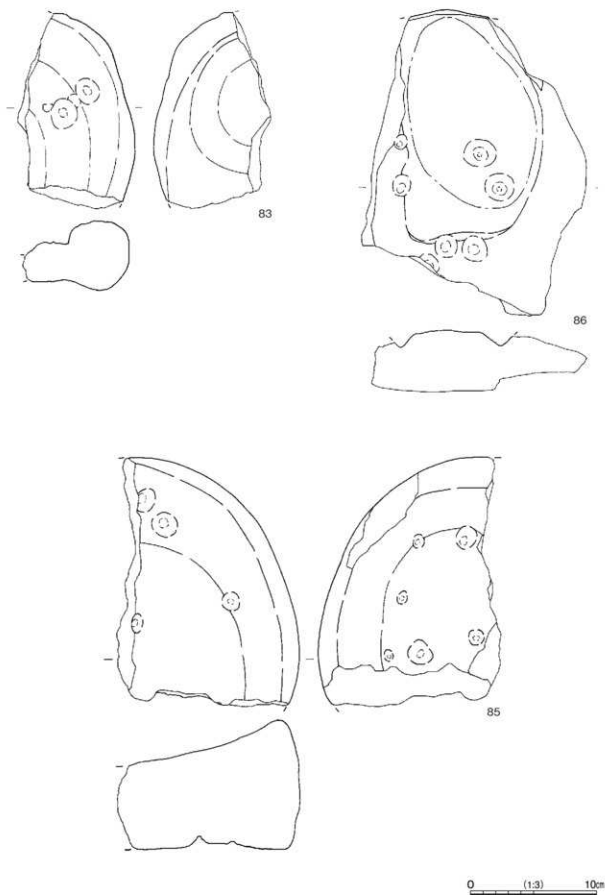
第 38 图 第 27 号竖穴建物跡出土遺物実測図 (3)



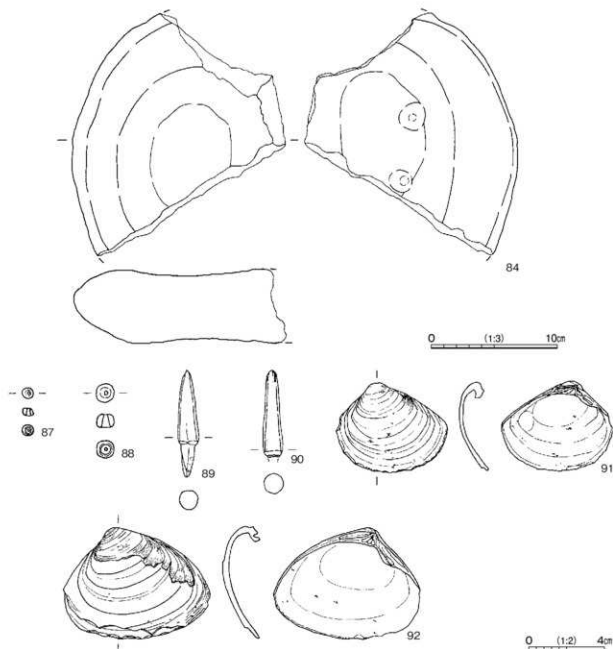
第 39 图 第 27 号竖穴建物跡出土遺物実測図 (4)



第40图 第27号竖穴建物跡出土遺物実測図(5)



第41图 第27号竖穴建物跡出土遺物実測図(6)



第 42 図 第 27 号堅穴建物跡出土遺物実測図 (7)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
12	縄文土器	深鉢	-	(83)	-	長石・石英・赤色 粒子	浅黄橙	普通	外面染線→沈線による区画文→無文部磨き→縁線 彫刻 内面磨き	南西部床面	晩期前葉
13	縄文土器	深鉢	-	(73)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面染線→沈線による区画文→無文部磨き→縁線 彫刻 内面磨き	中央部中層	晩期前葉
14	縄文土器	深鉢	[18.2]	(103)	-	長石・石英	赭灰	普通	外面純文LR→口唇部刻入→沈線→無文部磨き	西部中層	10% 後期 後葉
15	縄文土器	深鉢	-	(142)	-	長石・石英	灰黄緑	普通	外面染線	南西部床面	PL64 晩期前葉
16	縄文土器	深鉢	[21.3]	(95)	-	長石・石英・赤色 粒子	浅黄橙	普通	外面染線	南東部中層	2% 晩期 後葉
17	縄文土器	深鉢	-	(110)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい黄緑	普通	外面染線	北部中層	晩期前葉
18	縄文土器	深鉢	-	(85)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	外面染線	東部中層	晩期前葉
19	縄文土器	深鉢	-	(80)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面染線	北東部中層	晩期前葉
20	縄文土器	深鉢	-	(160)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面染線	南部中層	PL64 晩期前葉
21	縄文土器	深鉢	-	(94)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい黄緑	普通	外面ナデ	南西部床面	晩期前葉



番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
22	縄文土器	鉢	—	(7.0)	—	長石・石美・雲母	にぶい黄橙	普通	外面沈線による三文文・弧線文→縄文LR→隆帯付→無文部磨き	南東部中層	100% PL64 安行3b式
23	縄文土器	鉢	—	(10.0)	—	長石・石美	灰黒	普通	外面沈線→縄文LR→隆帯付→無文部磨き	南西部下層	30% 安行3b式
24	縄文土器	鉢	—	(5.8)	—	長石・石美・雲母	黒灰	普通	外面沈線による三文文→縄文LR→無文部磨き	北部中層	15% 安行3a式
25	縄文土器	鉢	—	(10.7)	—	長石・石美・雲母・赤色砂子	橙	普通	外面沈線による弧線文→縄文LR→隆帯付→無文部磨き	東部中層・南西部床面	安行3a式
26	縄文土器	鉢	[130]	(5.4)	—	長石・石美・雲母	にぶい黄橙	普通	外面沈線による三文文・弧線文→隆帯付→沈線→無文部磨き	東部中層	100% PL65 安行3b式
27	縄文土器	鉢	—	(6.8)	—	長石・石美・雲母・赤色砂子	黒灰	普通	外面沈線による三文文→縄文LR→隆帯付→無文部磨き	東部中層	安行3b式
28	縄文土器	鉢	8.9	(5.6)	—	長石・石美・雲母	にぶい黄橙	普通	外面ナデ→隆帯付→沈線	中央部上層	70% PL65 安行3b式
29	縄文土器	鉢	—	(4.3)	—	長石・石美	にぶい黄橙	普通	外面沈線による三文文・弧線文→縄文LR→無文部磨き	北部上層	安行3b式
30	縄文土器	浅鉢	—	(7.7)	—	長石・石美・雲母・赤色砂子	にぶい橙	普通	外面縄文LR→沈線→無文部磨き	中央部中層	30% PL64 安行3b式
31	縄文土器	浅鉢	[180]	(5.6)	—	長石・石美・雲母	にぶい黄橙	普通	外面縄文LR→沈線→無文部磨き	中央部中層	50% PL65 安行3b式
32	縄文土器	浅鉢	17.1	4.7	—	長石・石美・雲母	にぶい黄橙	普通	外面縄文LR→沈線→無文部磨き	北東部下層	100% PL65 安行3b式
33	縄文土器	浅鉢	—	(6.2)	—	長石・石美	にぶい黄橙	普通	外面縄文LR→沈線→無文部磨き	北部中層	20% 安行3b式
34	縄文土器	浅鉢	11.5	5.2	—	長石・石美・雲母	にぶい黄橙	普通	外面ナデ→沈線	北東部中層	100% PL65 安行3b式
35	縄文土器	浅鉢	—	(9.2)	—	長石・石美	にぶい黄橙	普通	外面磨き→沈線→無文部磨き	西部床面	25% PL64 安行3b式
36	縄文土器	浅鉢	[190]	(6.7)	—	長石・石美・雲母	にぶい黄橙	普通	口唇部削み 外面ナデ	東部中層	20% 磨削面
37	縄文土器	浅鉢	[215]	(5.2)	—	長石・石美	橙	普通	外面削みナデ	東部中層	50% 磨削面
38	縄文土器	浅鉢	—	(4.8)	—	長石・石美・雲母・赤色砂子	橙	普通	外面削り	南東部上層	磨削面
39	縄文土器	台付鉢	—	(9.1)	12.3	長石・石美・雲母・赤色砂子	橙	普通	外面ナデ	P4上層	30% 磨削面
40	縄文土器	台付鉢	—	(5.9)	—	長石・石美	灰黒	普通	外面磨き→沈線	南部中層	磨削面
41	縄文土器	にぶい黄橙 上層	5.2	1.5	2.0	長石・石美・雲母	橙	普通	外面縄文LR 円孔5か所	北東部下層	100% PL65 磨削面
42	縄文土器	にぶい黄橙 上層	7.8	3.8	—	長石・石美・雲母・赤色砂子	橙	普通	口唇部U字状の粘土層3か所・2つで1単位を組みながら 外面ナデ→沈線	中央部床面	100% PL65 安行3b式
43	縄文土器	にぶい黄橙 上層	4.3	6.9	—	長石・石美	浅黄	普通	注口型 手控ね整形	南東部中層	100% PL65 磨削面
44	縄文土器	にぶい黄橙 上層	[5.3]	4.4	5.7	長石・石美	橙	普通	台付型 手控ね整形	南東部中層	60% PL65 磨削面
45	縄文土器	にぶい黄橙 上層	[3.3]	(4.3)	—	長石・石美・雲母	黒	普通	台付型 手控ね整形	北東部中層	50% 磨削面
46	縄文土器	にぶい黄橙 上層	3.8	2.9	2.4	長石・石美・雲母・赤色砂子	にぶい黄橙	普通	台付型 手控ね整形	東部上層	100% PL65 磨削面
47	縄文土器	にぶい黄橙 上層	5.0	3.0	4.0	長石・石美・雲母	にぶい黄橙	普通	手控ね整形	北部下層	100% PL65 磨削面
48	縄文土器	にぶい黄橙 上層	3.3	2.9	—	長石・石美	黒濁	普通	手控ね整形	北東部中層	100% PL65 磨削面
49	縄文土器	にぶい黄橙 上層	3.0	4.4	3.0	長石・石美・雲母	黒灰	普通	手控ね整形	東部中層	100% PL65 磨削面
50	縄文土器	にぶい黄橙 上層	4.4	3.6	—	長石・雲母	浅黄	普通	手控ね整形	北部床面	100% PL65 磨削面
51	縄文土器	にぶい黄橙 上層	4.0	2.6	—	長石・石美	にぶい黄橙	普通	手控ね整形	西部床面	100% PL65 磨削面
52	縄文土器	にぶい黄橙 上層	3.7	2.9	—	長石・石美	明濁	普通	手控ね整形	北東部中層	100% PL65 磨削面
53	縄文土器	にぶい黄橙 上層	2.9	3.3	—	長石・石美	にぶい黄橙	普通	手控ね整形	北部床面	100% PL65 磨削面
54	縄文土器	浅鉢	[200]	(6.3)	—	長石・石美・雲母	黒濁	普通	外面縄文LR→沈線→無文部磨き	北部中層	20% 大淵B2式
55	縄文土器	注口土器	—	(4.6)	—	長石・石美・赤色砂子	にぶい黄橙	普通	外面磨き→沈線 内面磨き	南部中層	10% 大淵B2式
56	縄文土器	製塩土器	[186]	(11.8)	—	長石・石美	橙	普通	外面ナデ→糸線→沈線による区画文	南東部中層	15% PL64 磨削面
57	縄文土器	製塩土器	—	(7.4)	—	長石・石美	にぶい黄橙	普通	外面削り→口縁部ナデ	中央部中層	磨削面
58	縄文土器	製塩土器	—	(7.3)	—	長石・石美	灰黒	普通	外面削り→口縁部ナデ	東部貝層	磨削面

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
59	土偶	(6.8)	(5.4)	(4.1)	(98.6)	長石・石美・雲母	にぶい黄橙	みみずく形 顔部 縄文LR→沈線	北部床面	PL66
60	土偶	(5.1)	(5.4)	(2.8)	(54.2)	長石・石美・雲母・赤色砂子	橙	みみずく形 顔部 縄文LR→沈線	北部中層	PL66
61	土偶	(5.4)	(4.6)	(2.9)	(33.3)	長石・石美	灰黒	みみずく形 顔部 沈線→彫み	P 61 覆土中	
62	土版	(8.0)	9.2	1.2	(117.8)	長石・石美・雲母・赤色砂子	橙	磨き→沈線文 縦熟	北部下層	PL66
63	土版	6.7	5.8	2.0	(85.4)	長石・石美	にぶい黄橙	磨き→沈線 赤彩	P 57 上層	PL66
64	土版	8.4	5.8	1.5	(83.7)	石美	黒濁	ナデ 縦熟	北東部中層	PL66
65	耳飾り	4.0	4.0	1.8	(20.7)	長石・石美・雲母	黒濁	滑車型 磨き	P 45 上層	PL66
66	耳飾り	3.1	4.0	1.6	15.8	長石・石美・赤色砂子	にぶい黄橙	白型 放射状の沈線文	P 42 中層	PL66

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
67	耳栓	3.6	3.6	3.9	62.4	長石・石英・赤色 粘土	にぶい橙	ナテ	南部床面	PL66
68	耳栓	2.2	2.2	2.2	10.8	長石・石英	黒	ナテ	南部中層	PL66
69	手鏡形	(6.2)	(5.8)	(2.3)	(44.6)	長石・石英	褐色	縄文風→沈源→無文部磨き	南部中層	PL66
70	不明	(6.8)	(2.2)	(1.9)	(31.1)	長石・石英・雲母	褐色	ナテ	P 1 上層	
71	土器内腔	6.2	5.3	1.3	35.5	長石・石英	にぶい橙	安行 3 a 式深縁口縁部片 腹縁部打ち欠き	北東部中層	
72	土器内腔	6.9	6.4	2.5	66.9	長石・石英	にぶい橙	安行 3 a 式深縁口縁部片 腹縁部打ち欠き	北東部中層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
73	石皿	2.8	1.5	0.4	1.51	黒曜石	凹基無手縁 両面押圧調整	南部下層	PL67
74	磨製石片	(5.0)	2.4	1.4	(31.8)	砂岩	定角式 研磨成形	北部中層	PL67
75	磨製石片	12.6	4.5	3.2	294.5	砂岩	定角式 研磨成形 基部再調整	南部中層	PL67
76	磨製石片	10.2	5.9	3.7	(346.2)	砂岩	扁平な内縁を部分的に加工 刃部研磨 側縁部微細な最打痕	南東部下層	PL67
77	磨製石片	15.3	7.4	2.5	(425.3)	緑色片岩	小型 定角式 研磨成形 基部欠損	北東部中層	PL67
78	磨石	5.4	5.1	3.7	73.3	安山岩	表面・側面最打痕 表面凹痕	南部下層	
79	磨石	5.3	4.8	3.8	145.5	安山岩	表面磨痕	南東部下層	
80	磨石	5.8	5.5	3.3	177.9	安山岩	表面磨痕	南東部中層	
81	磨石	6.9	6.2	3.9	223.5	安山岩	表面磨痕	北部床面	
82	磨石	12.1	8.8	5.0	803.7	安山岩	表面磨痕	東部中層	
83	石皿	(15.5)	(9.3)	(5.5)	(717.1)	安山岩	表面磨痕 表面凹痕	南西部床面	PL67
84	石皿	(19.4)	(17.0)	(6.0)	(395.3)	安山岩	表面磨痕・凹痕 裏面調整	P 6 上層	PL67
85	石皿	(19.8)	(14.5)	(10.3)	(217.7)	安山岩	表面磨痕・凹痕	P 6 上層	PL67
86	石皿	(24.6)	(18.0)	(4.9)	(282.9)	雲母片岩	表面磨痕 表面凹痕	東部中層	PL67
87	小玉	0.6	0.6	0.4	0.17	翡翠	全面研磨 一方内からの穿孔	西部下層	PL67
88	小玉	1.0	1.0	0.7	1.11	翡翠	全面研磨 一方内からの穿孔	東部中層	PL67

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
89	刺突具	5.6	1.1	1.0	3.8	鹿角	研磨整形	東部中層	PL66
90	刺突具	(4.6)	1.1	1.0	(3.1)	鹿角	基部欠損 研磨整形	東部貝層中	PL66
91	貝片	6.0	4.8	1.5	15.8	ハマグリ	腹縁部に連続する調整痕	P 2 覆土中	PL66
92	貝片	7.8	6.0	2.0	29.6	ハマグリ	腹縁部に連続する調整痕	東部貝層中	PL66

第 16 表 第 27 号竪穴建物跡出土貝殻集計表

漁具綱	点数				重量 (g)				備考	
アカニシ	1				25.3					
アラムシロガイ	3				0.7					
ウネナシトマヤガイ	1				1.6					
ウミニナ	5				4.1					
キビガイ	1				0.5					
カワイ	3				4.2					
ナリメンカワニナ	2				2.7					
ツノガイ	1				0.5					
ヒロクチカノコ	3				1.0					
ヤマグルマガイ	-				0.4				破片のみ	
小計	20				41.0					
二枚貝綱	左殻	右殻	左右不明	合計	左殻	右殻	左右不明	破片	合計	備考
アカガイ	1	-	-	1	6.9	-	-	6.0	12.9	
アサリ	1	-	-	1	1.2	-	-	-	1.2	

掘足綱	点 数				重 量 (g)					備 考
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
インガイ	-	1	1	2	-	36	19.4	-	230	
オキシジミ	2	1	-	3	109	15	-	124		
カサミガイ	2	3	-	5	47	38	-	24	109	
サルボウ	8	11	3	22	27.0	39.1	1.5	96	772	
シオフキ	35	29	-	64	60.7	55.7	-	99	1263	
ハマグリ	799	700	3	1,596	1,549.8	1,535.3	22.7	592.9	3,700.7	
マダキ	-	-	1	1	-	-	1.0	-	1.0	
マツカサガイ	3	3	-	6	4.7	4.9	-	8.8	18.4	
ヤマトシジミ	8,262	7,592	1,527	17,291	11,860.7	11,105.9	1,031.7	1,877.5	25,875.8	
小 計	9,113	8,343	1,535	18,991	13,526.6	12,749.8	1,076.3	2,507.1	29,859.8	
総 合 計	19,011				29,900.8					

### 第 28 号竪穴建物跡 (第 43～45 図 第 17・18 表 PL10・12・68)

**調査** 調査O区のG 4 8 区、標高約 26 mの台地縁辺部に位置している。

**重複関係** 第 1322 号土坑を掘り込んでいる。

**規模と形状** 東部の床面が部分的に露出した状態で確認した。壁柱穴と出入口施設の配置から、径 5.8 mほどの円形と推定でき、主軸方向はN-36°-Eである。確認できた壁は高さ 6～22cmで、外傾している。

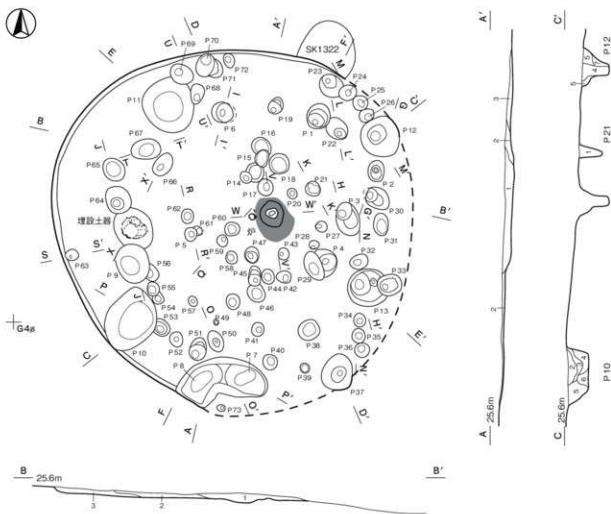
**床** はほぼ平坦で、硬化は弱い。

**炉** 中央部に付設されている。長径 44cm、短径 37cmの楕円形で、床面を深さ 26cmの鍋底状に掘りくぼめた地床炉である。壁面は赤変硬化しており、炉床の中央部が長径 20cm、短径 16cm、深さ 27cmの円筒形に掘り込まれている。掘り込み部分には被熱の痕跡が認められないことから、土器埋設炉の炉体土器が抜き取られた痕跡と考えられる。

**ピット** 73か所。P 1～P 6は、深さ 38～77cmで、炉の周辺に位置していることから、主柱穴と考えられる。P 7～P 10は、深さ 26～37cmで、2基 1対で逆ハの字状に位置していることから、出入口施設に伴う柱穴である。P 50～P 54は、深さ 28～57cmで、P 7～P 10の周辺に位置していることから、出入口施設の補助的な柱穴と考えられる。P 11～P 49・P 55～P 73は、深さ 8～45cmで、壁際に位置しているものは壁柱穴、中央部に位置しているものは補助的な柱穴、あるいは床面の補修坑と考えられる。

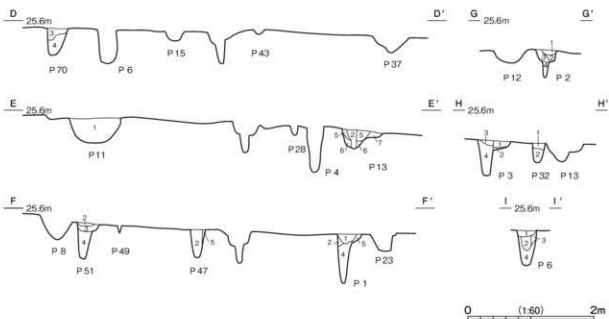
第 17 表 第 28 号竪穴建物跡ピット深度

番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)
P 1	77	P 11	40	P 21	36	P 31	17	P 41	19	P 51	57	P 61	34	P 71	15
P 2	45	P 12	45	P 22	42	P 32	31	P 42	25	P 52	28	P 62	31	P 72	13
P 3	56	P 13	38	P 23	17	P 33	11	P 43	10	P 53	36	P 63	35	P 73	36
P 4	70	P 14	14	P 24	26	P 34	16	P 44	27	P 54	50	P 64	36		
P 5	38	P 15	19	P 25	24	P 35	16	P 45	8	P 55	16	P 65	15		
P 6	55	P 16	23	P 26	29	P 36	18	P 46	22	P 56	15	P 66	27		
P 7	35	P 17	26	P 27	25	P 37	25	P 47	44	P 57	20	P 67	32		
P 8	30	P 18	20	P 28	16	P 38	14	P 48	10	P 58	21	P 68	36		
P 9	26	P 19	37	P 29	28	P 39	24	P 49	13	P 59	33	P 69	37		
P 10	37	P 20	11	P 30	37	P 40	20	P 50	50	P 60	25	P 70	42		

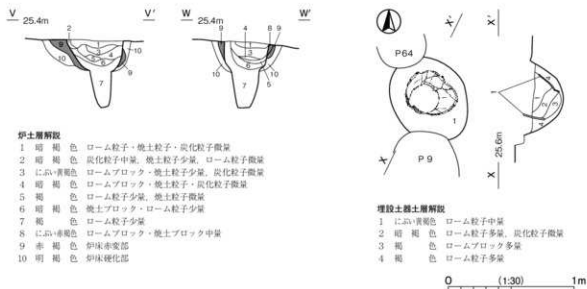
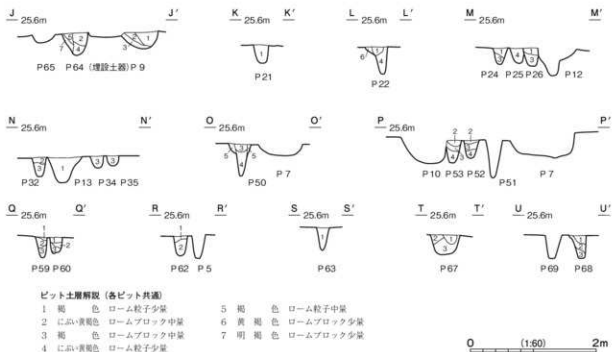


土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子微量



第 43 図 第 28 号堅穴建物跡実測図 (1)



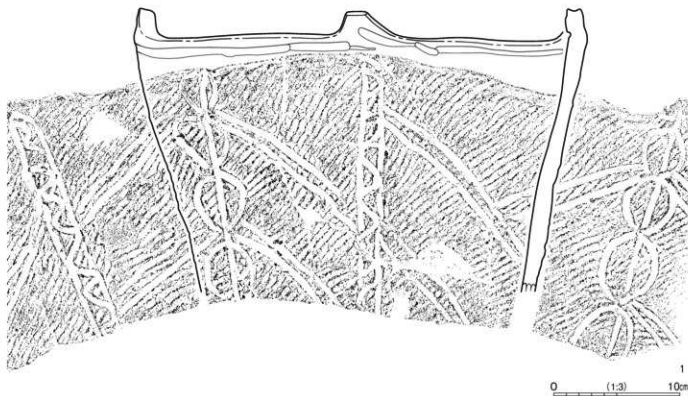
第44図 第28号堅穴建物跡実測図(2)

**埋設土器** 西壁際に位置している。1は胴部下半が打ち欠かれており、ほぼ正位の状態で埋設されている。掘方は、長径68cm、短径59cmの楕円形で、深さ27cmの鍋底状である。

**覆土** 3層に分層できる。各層にロームブロックが多く含まれていることから、埋め戻されている。

**遺物出土状況** 埋設土器1点のほか、縄文土器片13点が出土している。土器片はいずれも細片で、覆土中及びピット、炉の覆土中から出土している。

**所見** 時期は、埋設土器から後期前葉の堀之内2式期と考えられる。当該期の建物跡としては、当遺跡で初めての確認例である。L区で確認した第4・5号遺物包含層の水場(第V層段階)が機能していた時期と重なり、同時期の居住域が南側の台地上に広がっていたことを示している。



第45図 第28号竪穴建物跡出土遺物実測図

第18表 第28号竪穴建物跡出土遺物一覧(第45図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか		出土位置	備考	
									外面縄文L→沈線	内面ナデ			
1	縄文土器	深鉢	[35.0]	[22.4]	—	長石・石英	明黄褐色	普通	外面縄文L→沈線	内面ナデ	底部打ち欠き	西部階席	20% PL28 3-2内2表

### 第30号竪穴建物跡(第46・47図 第19・20表 PL13・68)

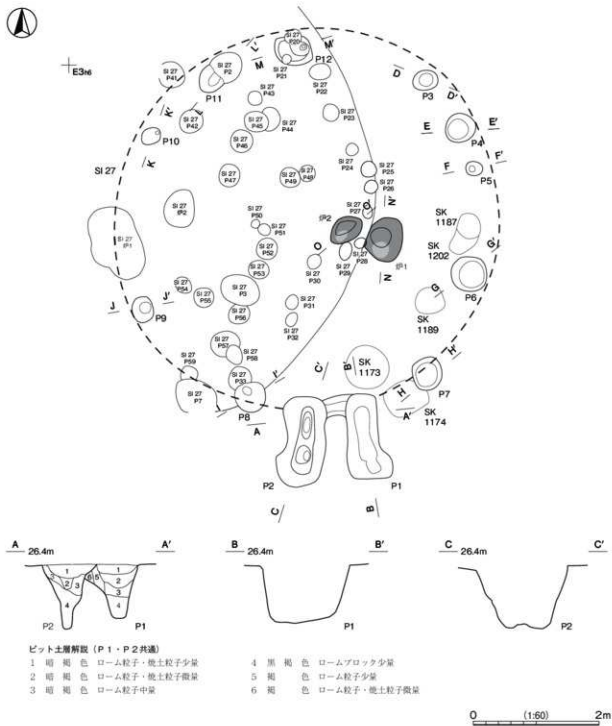
**位置** 調査C区中央部のE3h6区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第27号竪穴建物に掘り込まれている。

**規模と形状** 床面が露出した状態で確認した。出入口施設及びピットの配置から径約6mの円形で、主軸方向はN-3°-Wと推定できる。

**炉** 2か所。炉1は、中央部の東寄りに付設されている。長径70cm、短径58cmの楕円形で、床面を深さ5cmの浅い皿状に掘りくぼめた地床炉である。炉床面は赤変硬化している。覆土中に焼土ブロックや炭化粒子が多く含まれていることから、廃絶時まで使用されていたと考えられる。炉2は、中央部に付設されている。第27号竪穴建物に掘り込まれているため、確認できた規模は長径58cm、短径38cmの楕円形で、確認面から深さ6cmの浅い皿状にくぼんでおり、地床炉と推定できる。炉床面は赤変硬化している。焼土ブロックやローム粒子を含む褐色土で埋め戻されており、炉1より古いと考えられる。

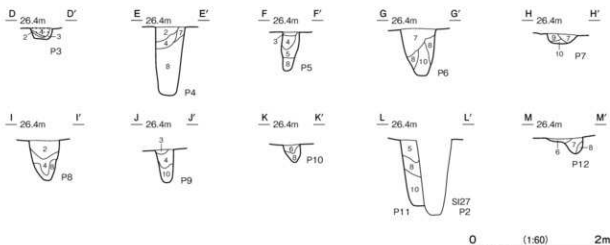
**ピット** 12か所。P1・P2は、深さ88・95cmである。2基1対で八字状に位置していることから、出入口施設に伴う柱穴である。P3～P12は、深さ13～110cmで、壁柱穴と考えられる。



第 46 図 第 30 号堅穴建物跡実測図

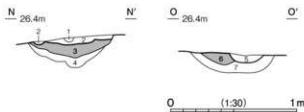
第 19 表 第 30 号堅穴建物跡ビット深度

番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)	番号	深さ (cm)
P 1	88	P 3	19	P 5	61	P 7	13	P 9	51	P 11	102
P 2	95	P 4	110	P 6	73	P 8	62	P 10	29	P 12	23



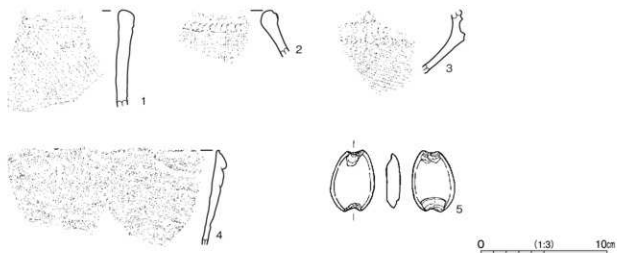
ピット土層解説 (P3～P12共通)

- |                               |                            |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1 黄土貝層 貝層主体、鮮明褐色土中量、ローム粒子少量   | 6 褐色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量 | 7 褐色 ローム粒子中量               |
| 3 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量    | 8 褐色 ローム粒子多量               |
| 4 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量   | 9 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量         |
| 5 暗褐色 ローム粒子微量                 | 10 暗褐色 ローム粒子少量             |



炉1・2土層解説

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1 暗赤褐色 炭化粒子中量、焼土ブロック少量、ロームブロック微量 |
| 2 にがい赤褐色 焼土ブロック中量、ロームブロック・炭化粒子少量 |
| 3 明赤褐色 炉床赤変部                     |
| 4 暗赤褐色 炉床硬化部                     |
| 5 褐色 焼土ブロック・ローム粒子・炭化粒子少量         |
| 6 にがい赤褐色 炉床赤変部                   |
| 7 褐色 炉床硬化部                       |



第47図 第30号竪穴建物跡・出土遺物実測図

**遺物出土状況** 縄文土器片 157点 (2216 g)、石器 1点 (石錘) が出土している。土器は、各ピットの覆土から細片の状態で出土しており、後期後葉から末葉のものが主体である。

**所見** 時期は、出土土器から後期後葉の安行2式期と考えられる。



第20表 第30号竪穴建物跡出土遺物一覧(第47図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	にぶ・赤褐色	普通	外面条線→沈線→刺突文	P 8 覆土中	PL68 後期後葉
2	縄文土器	深鉢	-	(3.8)	-	長石・石英・赤色 粘土	にぶ・褐色	普通	外面条線→沈線による区画文→無文部磨き→粘貼付 内面磨き	P 8 覆土中	後期後葉
3	縄文土器	台付鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	外面条線→隆起帯線沈線→磨み→粘貼付	P 1 覆土中	安行2式
4	縄文土器	製埴土器	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母	浅黄	普通	外面ナデ	P 7 覆土中	PL68 後期後葉

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
5	石鏃	4.8	3.4	1.1	24.3	砂岩	長軸方向の両端部打ち欠き	P 2 覆土中	

## 第31号竪穴建物跡(第48～50図 第21・22表 PL12～14・68)

位置 調査C区南部のF3g3区、標高約25mの台地縁辺部に位置している。

規模と形状 出入口施設とピットの位置から、径8.70～9.12mの円形で、主軸方向はN-15°-Wである。南部の壁と床が削平されており、確認できた壁は高さ8～15cmで、外傾している。

床 平坦で、硬化は弱い。北西部と北東部の壁際には、焼土塊が帯状に分布している。

炉 中央部の床面を中心に精査したが、赤変硬化した部分や焼土等は確認できなかった。

ピット 83か所。P1～P5は、深さ100～129cmである。深さがあり、五角形に配置されていることから主柱穴である。P6～P9は、深さ35～81cmで、コ字状に位置していることから、出入口施設に伴う柱穴である。P10～P59は、深さ4～27cmで、壁柱穴である。P60～P83は、深さ5～24cmで、補助的な柱穴あるいは床面の補修坑と考えられる。

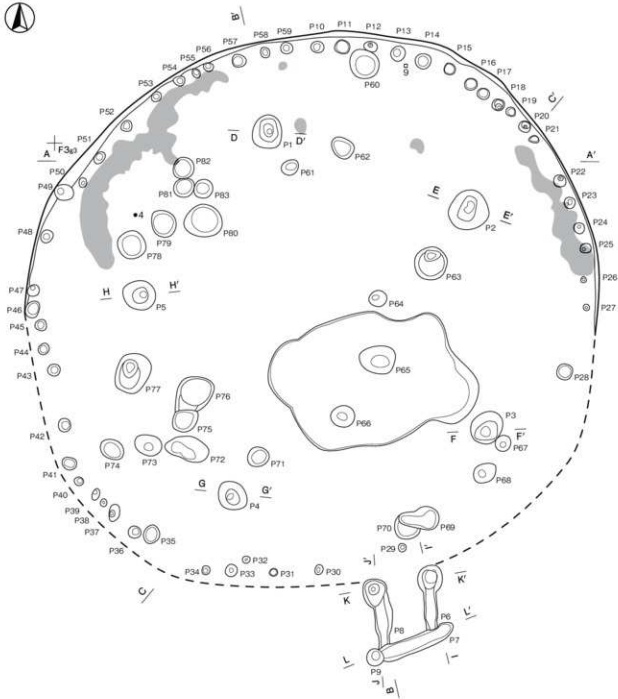
覆土 10層に分層できる。含有物が少ない黒色～暗褐色土が、周囲から流入した堆積状況を示していることから、自然堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片404点(5,752g)、土製品4点(土器片円盤)、石器5点(磨石2、石皿2、使用痕がある礫1)、粘土塊1点(134g)が出土している。土器は、後期後葉～晩期前葉のものが出土しており、晩期前葉の安行3a式のものが主体である。4は、北西部の床面から、大型の破片が押し潰された状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から晩期前葉の安行3a式期と考えられる。壁際に焼土塊が広がっていることから、焼失建物の可能性がある。また、当遺跡における最大級の大規模竪穴建物であり、何が確認できなかったことから、集会場や作業場等の居住施設以外の性格が想定される。

第21表 第31号竪穴建物跡ピット深度

番号	深さ(cm)	番号	深さ(cm)	番号	深さ(cm)	番号	深さ(cm)	番号	深さ(cm)	番号	深さ(cm)	番号	深さ(cm)
P 1	108	P 11	10	P 21	12	P 31	8	P 41	9	P 51	11	P 61	15
P 2	123	P 12	20	P 22	20	P 32	14	P 42	8	P 52	13	P 62	10
P 3	127	P 13	8	P 23	14	P 33	18	P 43	12	P 53	11	P 63	7
P 4	129	P 14	12	P 24	20	P 34	8	P 44	4	P 54	23	P 64	22
P 5	100	P 15	12	P 25	27	P 35	5	P 45	8	P 55	10	P 65	21
P 6	57	P 16	12	P 26	5	P 36	11	P 46	9	P 56	6	P 66	21
P 7	43	P 17	11	P 27	11	P 37	36	P 47	12	P 57	10	P 67	10
P 8	81	P 18	10	P 28	21	P 38	17	P 48	16	P 58	5	P 68	22
P 9	35	P 19	9	P 29	6	P 39	10	P 49	13	P 59	10	P 69	9
P 10	12	P 20	19	P 30	11	P 40	5	P 50	6	P 60	6	P 70	12
												P 80	10

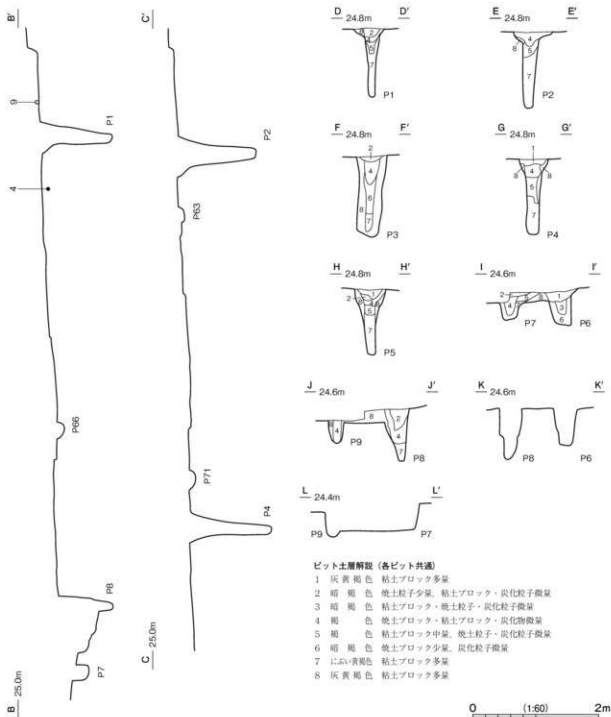


土層解説

- |                             |                           |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1 黒褐色 粘土ブロック・炭化粒子微量         | 6 にぶい赤褐色 焼土ブロック中量         |
| 2 黒色 粘土ブロック・焼土粒子・炭化粒子微量     | 7 黒褐色 粘土ブロック・炭化粒子微量       |
| 3 黒褐色 焼土ブロック・炭化物微量          | 8 暗褐色 ローム粒子少量・焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 4 暗褐色 ローム粒子少量・粘土ブロック・焼土粒子微量 | 9 褐色 粘土ブロック少量・焼土粒子微量      |
| 5 黒褐色 焼土粒子・炭化粒子少量           | 10 にぶい褐色 粘土ブロック・ローム粒子少量   |

0 (1:60) 2m

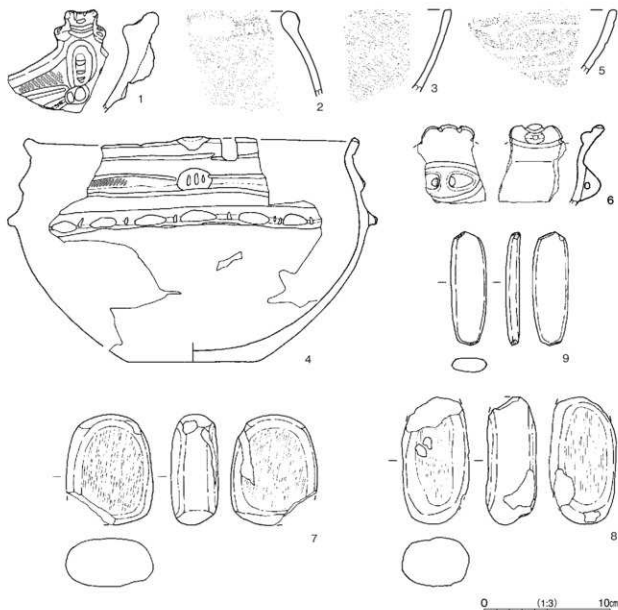
第 48 図 第 31 号竪穴建物跡実測図 (1)



第 49 図 第 31 号堅穴建物跡実測図 (2)

第 22 表 第 31 号堅穴建物跡出土遺物一覧 (第 50 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面隆起帯幅沈線→縄文RL→無文部磨き→磨胎付	北西部覆土中	PL68 安行3a式
2	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面条線→細線胎付 内面磨き	東部覆土中	晩期前葉
3	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英	橙	普通	外面縄文RL	東部覆土中	晩期前葉
4	縄文土器	鉢	[26.0]	(17.7)	10.5	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面隆起帯幅沈線→縄文LR→無文部磨き→磨胎付 隆帯・磨胎付 内面磨き	北西部床面	30% PL68 晩期前葉
5	縄文土器	浅鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面縄文LR→沈線→無文部磨き	P 1 覆土中	安行3a式
6	縄文土器	浅鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母	にみ濃黄	普通	外面磨き 筋目を持つ突起・把手胎付	北西部覆土中	晩期前葉



第50図 第31号竪穴建物跡出土遺物実測図

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
7	磨石	8.9	7.0	3.8	(366.0)	安山岩	表面磨痕	北西部層土中	
8	磨石	(10.1)	5.3	4.0	(337.1)	安山岩	表面磨痕	西部層土中	
9	鏢	9.0	2.9	1.2	45.3	緑色片岩	長楕円形の扁平な鏢を使用 長軸方向の両端部に鋸打痕	北東部床面	

第32号竪穴建物跡（第51～54図 第23・24表 PL13・14・68・69）

**位置** 調査P区のE 6h2区、標高約21mの斜面部に位置している。

**確認状況** 第4号遺物包含層の第Ⅲ層を掘削している過程で確認した。当初、斜面部の地形の凹みと認識していたため、堆積状況を詳細に観察することができなかった。

**重複関係** 第4号遺物包含層の第Ⅳ層、第1673号土坑を掘り込み、上部に第Ⅲ層が堆積している。また、本跡の南部は、第Ⅲ層が形成される過程で流失している。

**規模と形状** 南部の壁と床面が流失しているが、壁や柱穴、出入口施設の配置から径6.0mほどの円形と推定できる。確認できた壁は、高さ8～41cmで、外傾している。

**床** 中央部の炉の周囲が低くなっており、南部は、第Ⅲ層が形成される過程で流失している。

**炉** 中央部に付設されている。長径158cm、短径135cmの楕円形で、床面を深さ40cmの皿状に掘りくぼめた地床炉である。炉床面及び壁面は赤変硬化している。

**ピット** 67か所。P1～P10は、深さ37～65cmと深く、P1～P4が炉の周辺、P5～P10が壁に近い場所に位置し、方形あるいは多角形状にはほぼ等間隔に配置されていることから、支柱穴と考えられる。P11～P17は、深さ30～41cmで、P11～P13とP14～P17が逆ハの字状に並んでいることから、出入口施設に伴う柱穴と考えられる。P18～P67は、深さ5～46cmで、支柱穴と考えられる柱穴に隣接しているものは補助的な柱穴、掘り込みの浅いものは床面の補修坑と考えられる。また、P39は、長径82cm、短径67cmの楕円形で、深さ21cmであり、覆土層から6の深鉢が出土している。

**覆土** 第4号遺物包含層の第Ⅲ層とはほぼ同質の黒褐色粘質土であることから、自然堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片518点(10.431g)、土製品13点(土偶3、有孔円盤3、匙形土製品1、耳飾り1、土器片円盤5)、石器・石製品13点(打製石斧2、石皿1、磨石3、石錘2、凹石1、石剣3、石棒1)、骨角器1(骨鏃)、剥片3点(チャート)、焼成粘土塊1.947gが、覆土下層から散在した状態で出土している。6は、胴部下半が失われており、P39の覆土上層から大型破片が集積された状態で出土している。また、土偶、有孔円盤、石剣、石棒など祭祀的な遺物が多い点も特徴にあげられる。

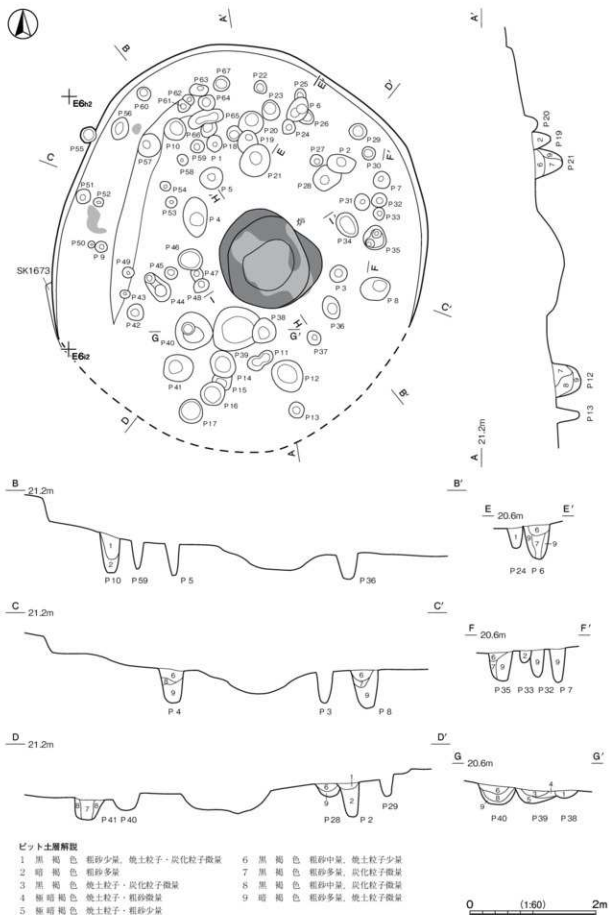
**所見** 時期は、出土土器から晩期前葉の安行3b式期と考えられる。また、上部に堆積している第4号遺物包含層の第Ⅲ層からは、南東へ約6mのE6β3・β4区を中心に、ミニチュア土器、土偶・土版、石棒・石剣などがまとまって出土している。本跡と内容が類似し、出土土器もほぼ同時期であることから、本跡の覆土の一部が斜面部の下位へ流出した可能性がある。

第23表 第32号竪穴建物跡ピット深度

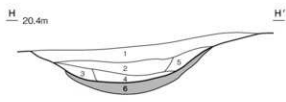
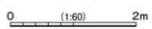
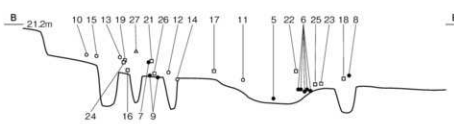
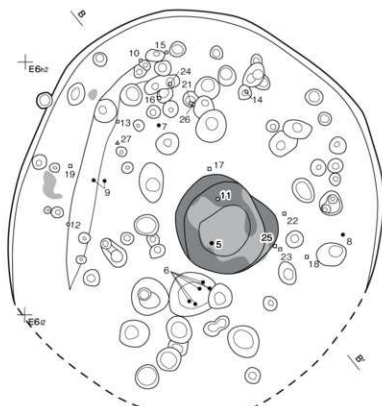
番号	深さ(cm)	番号	深さ(cm)	番号	深さ(cm)	番号	深さ(cm)	番号	深さ(cm)	番号	深さ(cm)	番号	深さ(cm)	番号	深さ(cm)
P1	55	P10	65	P19	30	P28	24	P37	22	P46	23	P55	7	P64	37
P2	51	P11	36	P20	21	P29	28	P38	13	P47	18	P56	24	P65	28
P3	50	P12	41	P21	41	P30	42	P39	21	P48	31	P57	33	P66	21
P4	54	P13	36	P22	44	P31	38	P40	28	P49	14	P58	11	P67	13
P5	51	P14	38	P23	34	P32	44	P41	33	P50	30	P59	46		
P6	54	P15	30	P24	32	P33	20	P42	24	P51	19	P60	30		
P7	53	P16	38	P25	31	P34	37	P43	8	P52	25	P61	13		
P8	61	P17	33	P26	36	P35	46	P44	28	P53	13	P62	14		
P9	37	P18	20	P27	18	P36	40	P45	19	P54	5	P63	22		

第24表 第32号竪穴建物跡出土遺物一覧(第53・54図)

番号	種別	図様	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴はか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英・赤色 粘土	橙	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き→凹文貼付	内面	P5覆土中 安行3b式
2	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・赤色 赤色粘土	橙	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き	内面磨き	覆土中 内面磨き
3	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・赤色 赤色粘土	橙	普通	外面沈線→手載竹管による対弧	内面磨き	覆土中 晩期前葉
4	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・赤色 粘土	橙	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き	内面ナデ	P30覆土中 晩期前葉
5	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・赤色 粘土	橙	普通	外面沈線	内面磨き	炉下層 晩期前葉
6	縄文土器	深鉢	[28.6]	[20.8]	-	長石・石英・赤色 粘土	橙	普通	外面ナデ→横線貼付	内面ナデ	P39上層 20% P168 晩期前葉

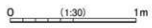


第51図 第32号堅穴建物跡実測図(1)

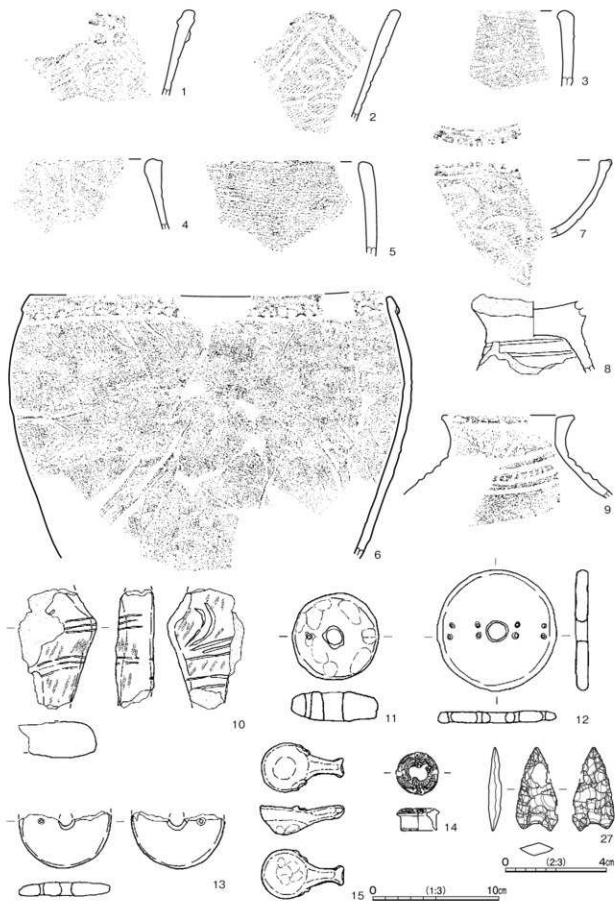


炉土層解説

- 1 黒褐色 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 粘質土ブロック中量, 焼土粒子少量
- 3 黒褐色 粗砂少量, 焼土粒子微量
- 4 黒褐色 焼土粒子・粗砂少量
- 5 黒色 焼土粒子・粗砂少量
- 6 暗赤褐色 焼土主体, 粗砂中量, 細礫少量

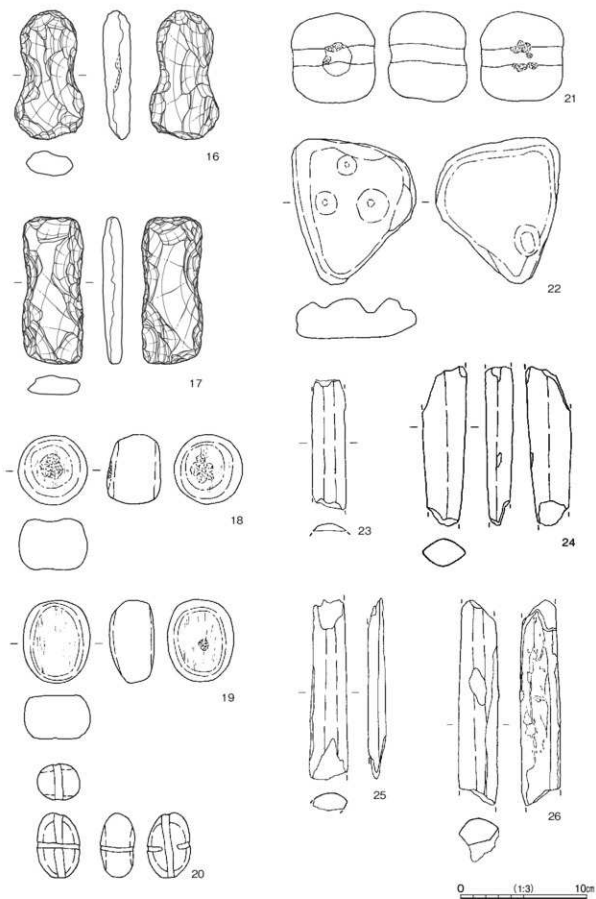


第52図 第32号竪穴建物跡実測図(2)



第53图 第32号竖穴建物跡出土遺物実測図(1)





第54图 第32号竖穴建物跡出土遺物実測図(2)

番号	種 別	器種	口径	器高	底径	胎 土	色 調	焼成	手 法 の 特 徴 は か	出土位置	備 考
7	縄文土器	浅鉢	-	(60)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き	底部・内面磨き	北面上層 PL68 底径3.5cm
8	縄文土器	台付鉢	-	(52)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	外面沈線 内面ナテ		東部下層 15% 埋面磨き
9	縄文土器	壺	[106]	(64)	-	長石・石英	黄灰	普通	外面沈線周列点文→無文部磨き	内面ナテ	西部表面 25% PL68 大割

番号	器 種	長さ	幅	厚さ	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
10	土偶	(9.5)	(6.1)	(3.0)	(138.4)	長石・石英	にぶい黄褐色	みみずく形 右脚部 沈線→LR縄文	北面上層	PL69
11	有孔円盤	6.9	6.8	2.3	116.8	長石・石英・雲母	にぶい橙	ナテ 孔2か所 孔径1.6cm・0.6cm	仰上層	PL69
12	有孔円盤	9.5	9.5	1.0	91.3	長石・石英・赤色砂子	灰褐色	ナテ 孔9か所 孔径1.2cm・0.2～0.3cm	西部下層	PL69
13	有孔円盤	7.4	[7.4]	1.1	(37.8)	長石・石英	灰黄褐色	ナテ 孔2か所 孔径0.8cm・0.2cm	北面上層	PL69
14	耳飾り	3.4	3.4	1.8	8.1	長石・石英・赤色砂子	にぶい褐色	透かし彫り状 細かい刻み	北部下層	PL69
15	彫形	6.6	4.0	2.5	22.9	長石・石英・雲母	褐色	ナテ調整	北面上層	PL69

番号	器 種	長さ	幅	厚さ	重量	材 質	特 徴	出土位置	備 考
16	打撃石斧	10.2	5.4	2.5	139.5	雲母片岩	分銅形 両面調整	北部下層	PL69
17	打撃石斧	11.9	5.0	1.8	134.8	粘板岩	短菱形 両面調整	中央部下層	PL69
18	磨石	5.5	5.5	4.3	151.2	安山岩	表面面敲打痕→磨痕	東部下層	PL69
19	磨石	6.5	5.3	3.7	183.9	安山岩	片面敲打痕→表面面磨痕	西部上層	PL69
20	石錘	5.2	3.4	2.8	70.4	安山岩	長・短軸方向に有溝	P3覆土中	PL69
21	石錘	7.1	6.7	6.3	406.6	安山岩	縦石軸用 短軸方向の二側面敲打痕→有溝	北面上層	PL69
22	凹石	11.5	10.0	3.2	492.9	雲母片岩	表面面凹痕	東部下層	PL69
23	石剣	[10.3]	[2.6]	[0.6]	[30.4]	粘板岩	研磨調整	東部下層	
24	石剣	[12.6]	[3.6]	[2.2]	[140.9]	粘板岩	研磨調整	北面上層	PL69
25	石剣	[14.2]	[3.1]	[1.4]	[85.6]	粘板岩	研磨調整	東部下層	PL69
26	石棒	[16.2]	[3.3]	[3.4]	[150.5]	粘板岩	研磨調整 植糸 発短した付着物あり	北部下層	
27	骨鏃	3.3	2.1	0.5	[1.97]	鹿角	両基無摩擦 両面押圧潤滑 前面に亀甲状の微細なクラック	北面上層	PL69

第 25 表 縄文時代竪穴建物跡一覧

番号	位置	主軸方向	平面形	規 模		壁高 (cm)	床面	内 部 施 設			掘土	主な出土遺物	時 期 (型式)	備 考	
				長軸×短軸 (m)	(m)			柱穴	土口	ピラ					
18	G 4 a6	-	[円形]	[5.15] × 4.92	12～32	緩斜	-	-	1	1	-	縄文土器、土器、土器片、陶器、石鏡、打撃石斧、石鏡、敷石、鏡石、酒片、貝殻、骨	後期前葉 (安行2式) HG 5 IV層→本跡 →HG 5 層		
23	F 2 a7	N-22°-E	[円形]	5.78 × 4.39	10～17	緩斜	-	-	1	-	不明	縄文土器、酒片	後期前葉 (安行2式) TP 3→本跡 →SK406-SD 3		
24	D 3 a8	N-10°-W	[円形]	3.64 × (3.30)	6～22	平坦	-	-	4	1	-	人為	縄文土器、石鏡、酒片、骨	後期前葉 (安行2式) SK378-381→本跡	
25	E 3 a9	N-14°-W	[円形]	4.90 × 4.80	15～32	平坦	4	4	54	1	-	人為	縄文土器、土器、土器片、石鏡、敷石、小刀、土器丸、酒、貝殻、骨	後期前葉 (安行2式) SK1329-1304→ 本跡→SK1213他	
27	E 3 a15	N-18°-W	[円形]	8.40 × 8.23	4～23	平坦	5	9	65	2	-	自然	縄文土器、土器、土器片、石鏡、酒片、骨、土器丸、鏡石、土器、土器片、石鏡、敷石、小刀、土器丸、酒、貝殻、骨	後期前葉 (安行2式) SI 30他→本跡→ SK1118-1170-1281- 1323-1303他	
28	G 4 a8	N-36°-E	[円形]	5.94 × (5.56)	6～22	平坦	6	4	63	1	1	人為	縄文土器	後期前葉 (安行2式) SK1322→本跡	
30	E 3 a6	N-3°-W	[円形]	[6.00] × [6.00]	-	-	-	-	2	10	2	-	不明	縄文土器、石鏡	後期前葉 (安行2式) 本跡→SI 27
31	F 3 a10	N-15°-W	[円形]	9.12 × 8.70	8～15	平坦	5	4	74	-	-	自然	縄文土器、土器片、陶器、石鏡、敷石、小刀、土器丸、酒、貝殻、骨	後期前葉 (安行2式) SK1321	
32	E 6 b12	-	[円形]	(6.32) × 5.86	8～41	緩斜	10	7	50	1	-	自然	縄文土器、土器片、陶器、石鏡、敷石、小刀、土器丸、酒、貝殻、骨	後期前葉 (安行3式) SK1673-HG 4 3層 →本跡→HG 4 層	

## (2) 陥し穴

### 第3号陥し穴 (第55図 PL15)

**位置** 調査I区のF 2 d7区、標高約25 mの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第23号竪穴建物に掘り込まれている。

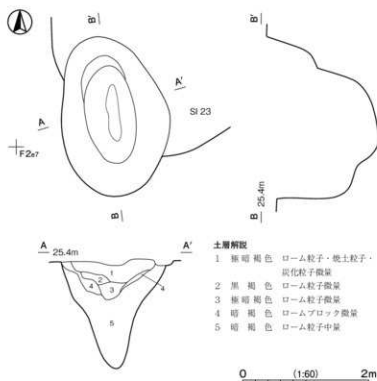
**規模と形状** 第23号竪穴建物に掘り込まれており、確認できた規模は、長径2.54 m、短径1.74 mの楕円形で、長径方向はN-11°-Wである。深さは166 cmで、底面は中央部が舟底状に凹んでおり、壁は長径方向が直立し、短径方向が外傾している。

**覆土** 5層に分層できる。周囲から流入した堆積状況を示していることから、自然堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片8点(深鉢)が出土している。いずれも覆土上層から細片の状態で出土しており、胎土に繊維を含む前期前半の深鉢胴部片1点

のほか、厚手で地文に単節縄文が施された深鉢胴部片7点が出土している。

**所見** 時期は、後期前葉の第23号竪穴建物に掘り込まれており、遺構の形状や出土土器から後期前葉以前と考えられる。



## (3) 炉跡

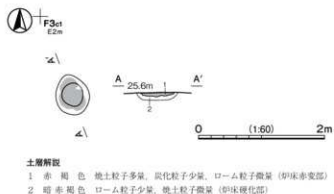
### 第3号炉跡 (第56図)

**位置** 調査C区のF 3 c1区、標高約26 mの平坦な台地上に位置している。

**確認状況** 炉床が露出した状態で確認した。周辺にピットや硬化面が確認できなかったことから、単独の炉跡とした。

**規模と形状** 長径0.64 m、短径0.52 mの楕円形で、長径方向はN-22°-Wである。炉床面は赤変硬化している。

**所見** 出土遺物が無いため、時期は不明であるが、当時代の遺構と考えられる。



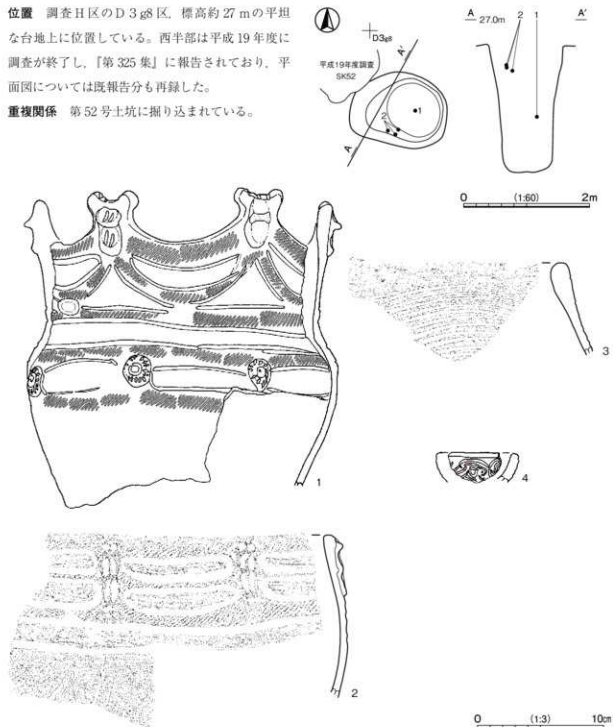
#### (4) 土坑

当時代の土坑は、1204基を確認した。そのうち、形状や遺物出土状況などが特徴的な69基については、実測図と出土遺物一覧、出土土器・貝殻集計表を示し、文章で解説する。その他の1,135基については、重複関係や層位、出土遺物、覆土の様相などから当時代に帰属するものと判断し、規模や形状、出土遺物などについて、実測図と一覧表で掲載する。

#### 第53号土坑（第57図 第26・27表 PL15・70）

**位置** 調査H区のD3g8区、標高約27mの平坦な台地上に位置している。西半部は平成19年度に調査が終了し、『第325集』に報告されており、平面図については既報告分も再録した。

**重複関係** 第52号土坑に掘り込まれている。



第57図 第53号土坑・出土遺物実測図

**規模と形状** 長径 1.58 m、短径 1.22 m の楕円形で、長径方向は N - 80° - W である。深さは 200 cm で、底面は平坦であり、壁はほぼ直立している。

**覆土** 26 層に分層できる（『第 325 集』参照）。各層にロームや焼土のブロック、炭化物質や灰が多く含まれていることから、人為堆積である。中央部の覆土上層から中層にかけて遺構内貝層が確認できた。貝層は、円筒状に堆積しており、柱の抜き取り、あるいは掘り返した後の凹地に投棄されたと考えられる。

**遺物出土状況** 縄文土器片 216 点（深鉢 193、浅鉢 2、製塩土器 21 3.296 g）、剥片 21 点（チャート 18、黒曜石 3）、軽石 1 点（61 g）、貝殻 9,773 点（15,233.9 g）、骨 1,633.9 g が出土している。土器は、安行 3 b 式のもの为主体で、1 が中央部の覆土中層の混土貝層、2 が南部の覆土上層からそれぞれ出土している。貝殻は 16 種が確認できた。主な貝種は、ヤマトシジミが 9,673 点（最小個体数 4,740 点）で 99.0%、次いでハマグリが 77 点（最小個体数 40 点）で 0.8% である。骨は、同定分析の結果、イノシシ 6 点（上顎骨 2、臼歯 1、橈骨 1、中手骨 1、距骨 1）、ニホンジカ 7 点（角、頭蓋骨、下顎骨、脛骨、尺骨、橈骨、中手骨）、大型哺乳類 7 点（脛骨 1、四肢骨 6）、哺乳類 2 点（脛骨、四肢骨）などが確認できた（『第 3 章第 4 節 自然科学分析 3』参照）。

**所見** 時期は、出土土器から晩期前葉（安行 3 b 式期）と考えられる。

第 26 表 第 53 号土坑出土遺物一覧（第 57 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴はか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	[230]	(25.4)	-	長石・石英・赤色粘土・赤色砂子	褐色	普通	口縁部以上縁部部縄文の三角形区画文・交点部の1か所四角形区画1本の条状文・遺構部に認められる。下土あり	中央部中層	25% PL70 安行3b式
2	縄文土器	深鉢	-	(12.9)	-	長石・石英・赤色粘土	褐色	普通	口縁部3本の上縁部部縄文・縁部部4本の条状文・2段押しの縁部部・製部削り・内面磨き	南部上層	15% PL70 安行3b式
3	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・赤色粘土	灰黄褐色	普通	口縁部部厚 口縁部縁部の条状文 内面ナデ	覆土中	安行3b式
4	縄文土器	浅鉢	[60]	(2.4)	-	長石・石英	灰黄褐色	普通	ミニチュア土器 外面沈澱による入組文。赤彩 内面ナデ	覆土中	40% 安行3b式

第 27 表 第 53 号土坑出土貝殻集計表

腹足綱	点 数				重 量 (g)				備考	
アラムシロガイ	4				0.9					
ウミニナ	1				0.7					
オオタニシ	-				-				【第 325 集】	
オカミガイ	1				2.3					
カワザンショウガイ	1				0.1					
キセルガイ	2				0.2					
チリメンカワニナ	3				3.0					
ヒドリマキマイマイ	-				-				【第 325 集】	
ホソカチヨウジガイ	1				0.1					
小 計	13				7.3					
二枚貝綱	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備考
アサリ	1	-	-	1	0.7	-	-	-	0.7	
オキシジミ	-	1	-	1	-	4.7	-	-	4.7	
サルボウ	2	-	-	2	2.2	-	-	-	2.2	
シオフキ	1	2	-	3	2.6	1.9	-	-	4.5	
ハマグリ	40	37	-	77	142.7	100.3	-	2.5	245.5	
マツカサガイ	1	2	-	3	2.6	2.3	-	-	4.9	
ヤマトシジミ	4,601	4,740	332	9,673	7,220.8	7,411.4	282.1	49.8	14,964.1	
小 計	4,646	4,782	332	9,760	7,371.6	7,530.6	282.1	52.3	15,236.6	
総 合 計	9,773				15,233.9					

第355号土坑（第58図 第28表 PL15・70）

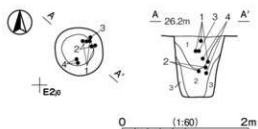
位置 調査I区のE210区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 径0.78～0.80mの円形で、深さは96cmである。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。

覆土 3層に分層できる。含有物の少ない黒褐色土と暗褐色土が周囲から流れ込んでいることから、自然堆積である。

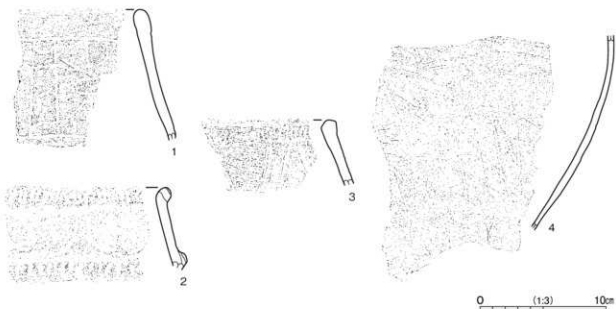
遺物出土状況 縄文土器片86点（深鉢85、浅鉢1 1,500g）が出土している。土器は安行3b式のものが主体で、覆土上層（第1層）を中心に破片が散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から晩期前葉（安行3b式期）と考えられる。



土層解説

- 1 黒褐色 土 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 土 ローム粒子が少量
- 3 暗褐色 土 ローム粒子中量



第58図 第355号土坑・出土遺物実測図

第28表 第355号土坑出土遺物一覧（第58図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(10.3)	-	長石・石英	灰黄褐色	普通	細密沈線文系 口縁部肥厚 内面ナデ	東部上層	PL70 安行3b式
2	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英・赤色 粘土・赤色物質	淡黄褐色	普通	口面部に斜線貼付 頸部沈線による弧線文 外・ 内面ナデ	東部中層	PL70 安行3b式
3	縄文土器	深鉢	-	(5.1)	-	長石・石英・赤母・ 赤色粘土	にがい褐色	普通	口面部横位の条線→縦位区画文・斜線貼付 内面 ナデ	東部上層	安行3b式
4	縄文土器	深鉢	-	(15.4)	-	長石・石英・赤母・ 赤色粘土	橙	普通	粗製土器の胴部 頸部横位の条線文 胴部粗い条線 内面ナデ	南部中層	安行3b式

第363号土坑（第59図 第29表 PL70）

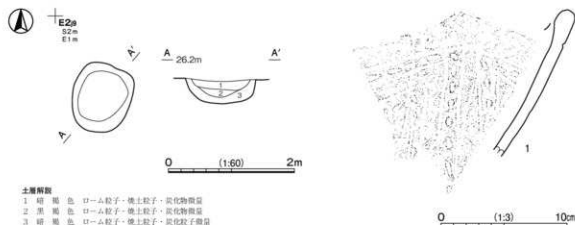
位置 調査I区のE219区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 長径1.04m、短径0.94mの楕円形で、長径方向はN-19°-Eである。深さは40cmで、底面は平坦であり、壁は外傾している。

**覆土** 3層に分層できる。含有物の少ない黒褐～暗褐色土が周囲から流れ込んでおり、自然堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片 13点（深鉢 297g）が覆土中から散在した状態で出土している。

**所見** 時期は、出土土器から後期初頭（称名寺Ⅱ式期）と考えられる。



第59図 第363号土坑・出土遺物実測図

第29表 第363号土坑出土遺物一覧（第59図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴はか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(11.6)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	低い波状口縁 幅狭い沈線周刻突文によるJ字文内面磨き	覆土中	PL70 称名寺Ⅱ式

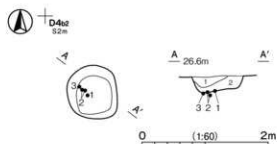
**第371号土坑（第60図 第30表 PL15）**

**位置** 調査H区のD4b2区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 径0.86～0.91mの円形で、深さは23cmである。底面は平坦で、壁は外傾している。

**覆土** 2層に分層できる。各層にローム粒子が多く含まれていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片7点（深鉢 269g）が出土している。1～3は、北西部の底面から、破片が散在した状態で出土している。



第60図 第371号土坑・出土遺物実測図

所見 時期は、出土土器から後期初頭（称名寺I式期）と考えられる。

第30表 第371号土坑出土遺物一覧（第60図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(112)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	におい橙	普通	L区光順の縄文帯による丁字文 無文部磨き 内面磨り	北西部底面	4%、称名寺I式
2	縄文土器	深鉢	-	(69)	-	長石・石英・雲母	におい黄	普通	口縁は密閉となるか 2本1単位の花線による弧線文 無文部磨き 内面磨き	北西部底面	後期前半
3	縄文土器	深鉢	-	(80)	-	長石・石英・雲母	におい黄	普通	2と同一製体	北西部底面	後期前半

第375号土坑（第61図 第31表 PL16・71）

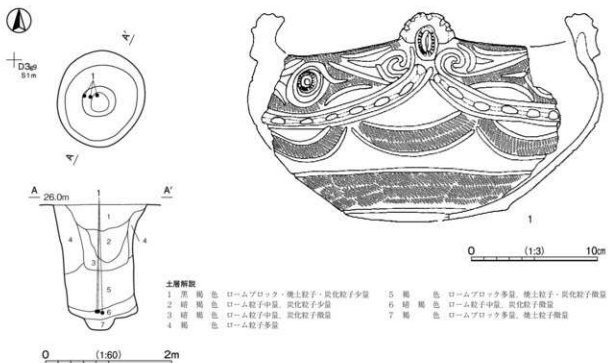
位置 調査H区のD3g9区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 長径1.51m、短径1.35mの楕円形で、長径方向はN-25°-Eである。深さは179cmで、底面は平坦であり、中央部に径48～52cmの円形で、深さ16cmの凹みがある。壁はほぼ直立している。

覆土 7層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子が多量に含まれていることから、人為堆積である。中央部の第1～3層は円筒状に堆積しており、柱の抜き取り、あるいは掘り返しの痕跡と考えられる。

遺物出土状況 縄文土器片38点（深鉢24、鉢1、製塩土器13 612g）が出土している。1は、中央部の覆土下層から、破片が重なり合った状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から晩期初頭（安行3a式期）と考えられる。



第61図 第375号土坑・出土遺物実測図

第31表 第375号土坑出土遺物一覧（第61図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	鉢	(224)	(166)	(130)	長石・石英・雲母	橙	普通	縦い4単位の花線口縁の屈曲線 大黒三叉文と玉物三叉文による口部文様 側面屈曲線文の屈曲線 内面磨き	中央部下層	40%、PL71 安行3a式



第406号土坑 (第62図 第32表 PL16・71)

位置 調査I区のF2d8区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

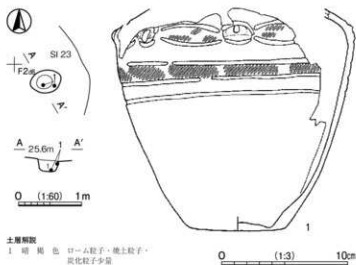
重複関係 第23号堅穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状 長径0.50m、短径0.36mの楕円形で、長径方向はN-76°-Eである。深さは16cmで、底面は平坦であり、壁は外傾している。

覆土 単一層で、堆積状況は不明である。

遺物出土状況 縄文土器1点(深鉢)が出土している。1は南半部の壁際から底面に掛けて、破砕された土器片が集積された状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から晩期前葉(安行3b式期)と考えられる。



第62図 第406号土坑・出土遺物実測図

第32表 第406号土坑出土遺物一覧(第62図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(17.6)	7.6	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	器内面に縦と横の縄文文様のレンズ状文 胴部は1本の縄文帯 浅鉢文以下は無い様式	南半部壁際・底面	40% PL71 安行3b式

第435号土坑 (第63図 第33表 PL16)

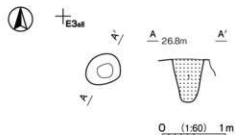
位置 調査H区のE3a8区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 長径0.56m、短径0.47mの楕円形で、長径方向はN-61°-Eである。深さは69cmで、底面は平坦であり、壁はほぼ直立している。

覆土 単一層である。遺構内貝層が形成されていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片17点(深鉢15、製塩土器2 134g)、剥片1点(黒曜石)、貝殻592点(8902g)、骨210gが出土している。土器は、粗製土器が主体で、口縁部が肥厚、内傾し、端部に紐線文が施されたものがみられる。貝殻は11種が確認でき、ヤマトシジミが557点(最小個体数278点)で94.1%、次いでハマグリが18点(最小個体数14点)で3.0%、シオフキが6点(最小個体数4点)で1.0%である。

所見 時期は、出土土器から後期末葉~晩期初頭(安行2~3a式期)と考えられる。



第63図 第435号土坑実測図

第33表 第435号土坑出土土貝殻集計表

産 足 綱	点 数				重 量 (g)				備 考	
ウミニナ	1				0.2					
オカチョウジガイ	2				0.1					
キセルガイ	2				0.1					
ホソオカチョウジガイ	2				0.1					
ムギガイ	1				0.2					
小 計	8				0.7					
二枚貝綱	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備 考
オキシジミ	-	1	-	1	-	8.1	-	-	8.1	
サルボウ	1	-	-	1	10.5	-	-	-	10.5	
シオフキ	4	2	-	6	10.5	4.5	-	-	15.0	
ハマグリ	14	4	-	18	33.3	15.7	-	2.0	51.0	
マツカサガイ	-	-	1	1	-	-	0.2	-	0.2	
ヤマトシジミ	264	278	15	557	386.3	390.4	14.8	13.2	804.7	
小 計	283	285	16	584	406.6	418.7	15.0	15.2	889.5	
総 合 計	592				890.2					

## 第469号土坑 (第64図 第34表 PL16・71)

位置 調査H区のE3a8区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

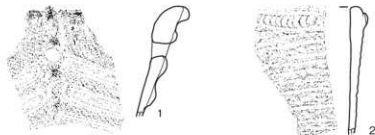
重複関係 第439号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南北径0.57mで、西部を第439号土坑に掘り込まれているため、東西径は0.76mしか確認できなかった。楕円形と推定でき、長径方向はN-81°-Wで、深さは73cmである。底面は平坦で、西部に長径47cm、短径38cmの楕円形で、深さ17cmの凹みがある。壁はほぼ直立している。

覆土 3層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子が含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片23点(深鉢21, 鉢1, ミニチュア土器1 338g)、骨170.7gが出土している。土器は安行1式のもの为主体で、破片が散在した状態で出土している。3は、北部の覆土中層から出土している。

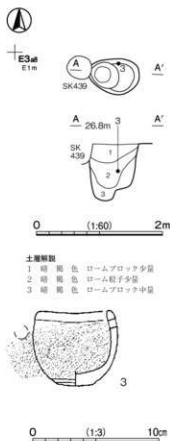
所見 時期は、出土土器から後期後葉(安行1式期)と考えられる。



第64図 第469号土坑・出土遺物実測図

第34表 第469号土坑出土遺物一覧 (第64図)

番号	種 別	器種	口径	器高	底径	胎 土	色 調	焼成	手 法 の 特 徴 ほか	出土位置	備 考
1	縄文土器	深鉢	-	(88)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	成状口径 口縁部に3条のR.L.隆起帯有 内面磨き	覆土中	安行1式
2	縄文土器	深鉢	-	(95)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒	普通	外面R.L.地縄文→斜縄文→経線刻付 内面ナシ	覆土中	後期後葉
3	縄文土器	ミニチュア土器	[56]	5.9	3.0	長石・石英・雲母	橙	普通	解結工の地縄文 口縁部無文等下に気縄文 底面磨等孔 1条並 割線工面に流線文 底部・内面磨き	北部中層	50% PL71 後期後葉



第491号土坑 (第65・66図 第35・36表 PL16・70・71)

位置 調査H区のE 3a7区, 標高約26mの平坦な台地上に位置している。

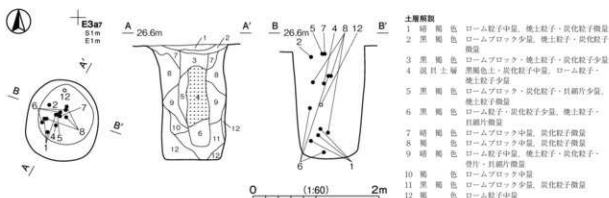
規模と形状 径1.13～1.27mの円形で, 深さは182cmである。底面は平坦であり, 壁は直立している。

覆土 12層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子が多く含まれていることから, 人為堆積である。

第1～6層は円筒状に堆積しており, 第4層には遺構内貝層が確認できた。柱の抜き取り, あるいは掘り返しの痕跡と考えられ, 貝層はその凹地に投棄されたと考えられる。

遺物出土状況 縄文土器片343点(深鉢287, 鉢1, 浅鉢2, 台付鉢1, 壺, 1.注口土器1, 製塩土器50 6.454g), 土製品3点(耳飾り, 土偶, 土器片円盤), 石器1点(磨石), 貝殻2086点(2.915.1g), 骨1278.7gが出土している。中央部の遺構内貝層を含む円筒状の範囲から集中して出土している。土器は安行1～3a式のもの混在しており, 称名寺Ⅱ式～堀之内1・2式のものもわずかに含まれている。1は南西部の覆土下層, 12は北部の覆土中層から, 破片が散在した状態で出土している。6は西部の覆土中層と中央部の覆土下層から出土した破片が接合している。2・4・5・7・8は, 混泥土層を含む中央部の円筒状の範囲からそれぞれ出土している。貝殻は, 15種が確認でき, 主な貝種は, ヤマトシジミが1,917点(最小個体数938点)で91.9%, 次いでハマグリが108点(最小個体数63点)で5.2%, シオフキが19点(最小個体数11点)で0.9%である。

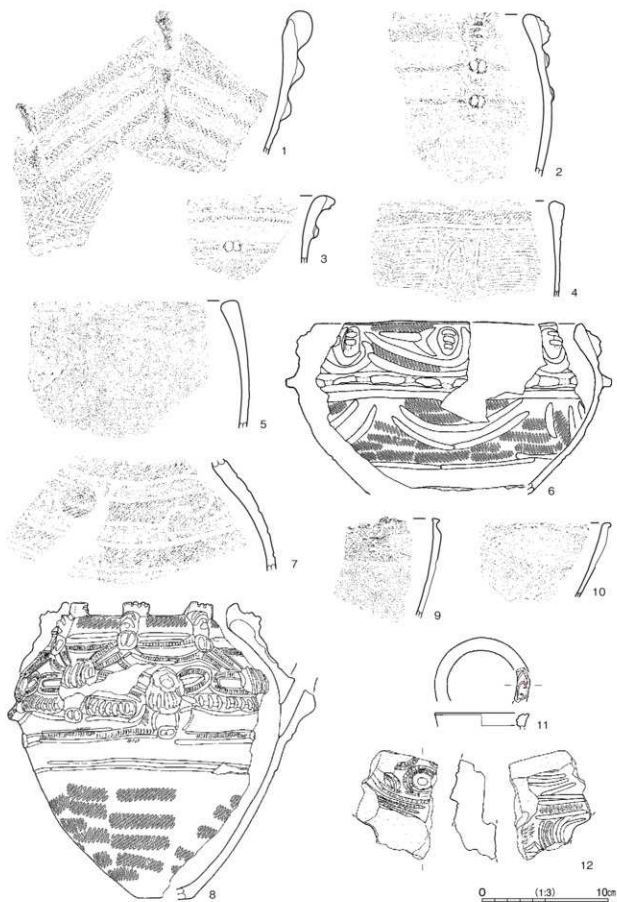
所見 時期は, 出土土器から晩期前葉(安行3a式期)と考えられる。



第65図 第491号土坑実測図

第35表 第491号土坑出土遺物一覧(第66図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(11.3)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	流状口縁・口縁部4稜の丸・縁起帯縄文・頸部矢形炭化痕文・内面磨き	南西部下層	10% PL70 安行1・2式
2	縄文土器	深鉢	-	(128)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部丸縁・縁起帯縄文による棒状・頸部条線・内面磨き	北西部上層	PL70 安行2式
3	縄文土器	台付鉢	-	(5.3)	-	長石・雲母	にぶ・黄褐色	普通	口縁部斜み隆帯・頸部矢形炭化痕文→斜行の区画文・内面磨き	覆土中層	安行3a式
4	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部上縁縄文帯・内面磨き	南西部上層	後期前葉
5	縄文土器	深鉢	-	(10.1)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面磨り後細い磨き 内面ナデ	中央部下層	後期前葉
6	縄文土器	鉢	(21.4)	(13.9)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒	普通	口縁部に斜み隆帯を中心とした人組三叉文→縄文・丸文・頸部条線・頸部条線文→縄文・丸文・内面磨き	西部中層 中央部下層	50% PL70 安行3a式
7	縄文土器	壺	-	(8.9)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶ・黄褐色	普通	玉首三叉文による帯縄文 縄文上縁丸文・内面ナデ	中央部下層	大淵B2式
8	縄文土器	注口土器	(136)	236	(4.4)	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	口縁部斜み隆帯による後斜文・頸部条線に棒状の磨き付 頸部下縁文上縁丸文・内面・長部ナデ	中央部下層 南西部上層	40% PL70 安行3a式
9	縄文土器	製塩土器	-	(7.9)	-	長石・石英	橙	普通	口唇部積み上げ 外面磨り・潤滑 内面ナデ	覆土中層	晩期前葉
10	縄文土器	製塩土器	-	(5.9)	-	長石・石英	にぶ・黄褐色	普通	口唇部内磨き状 外面磨り・潤滑 内面ナデ	覆土中層	晩期前葉



第66图 第491号土坑出土文物实测图

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴		出土位置	備考	
11	耳飾り	[25]	-	(1.1)	(3.0)	長石・石英	褐色	浴車型	外・内面磨き	沈線文	一部赤彩残存	北部中層
12	土鍋	(8.6)	(6.5)	(3.7)	(166.6)	長石・石英・雲母	にぶい褐色	ミミズク形	扉面・胴部半沈線内刷文	背面肩厚印		北部中層 PL17

第36表 第491号土坑出土貝殻集計表

腹足綱	点 数				重 量 (g)				備考	
アホニシ	2				636					
アラムシロガイ	2				0.4					
ウミニナ	5				1.8					
オカオウゾガイ	5				0.1					
カノコガイ	2				1.1					
キセルガイ	5				0.1					
ハナタリ	1				0.2					
マイマイ類	1				0.1					
小 計	23				67.4					
二枚貝綱	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備考
イシガイ	-	1	-	1	-	7.4	-	-	7.4	
オキシジミ	4	2	-	6	15.1	6.3	-	-	21.4	
サルボウ	1	2	-	3	4.1	4.7	-	7.4	16.2	
シオウキ	8	11	-	19	14.1	18.3	-	-	32.4	
ハマグリ	45	63	-	108	98.3	150.2	-	8.5	257.0	
マツカサガイ	7	2	-	9	9.7	1.8	-	-	11.5	
ヤマトシジミ	937	938	42	1,917	1,201.8	1,206.9	19.0	74.1	2,501.8	
小 計	1,002	1,019	42	2,063	1,333.1	1,395.6	19.0	90.0	2,847.7	
総 合 計	2,086				2,915.1					

第495号土坑 (第67図 第37・38表 PL17)

位置 調査H区のE3a8区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 径0.43～0.47mの円形で、深さは68cmである。底面は鍋底状で、壁はほぼ直立している。

覆土 3層に分層できる。覆土上層(第2層)に遺構内貝層が確認できたことから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片32点(深鉢27, 異形台付土器1, 製塩土器4 217g), 貝殻938点(1,914.1g), 骨76.6gが出土している。1は、覆土上層の混貝土層から出土している。貝殻は6種が確認でき、ヤマトシジミが892点(最小個体数406点)で95.2%, 次いでハマグリが40点(最小個体数20点)で4.3%である。2はアワビの貝殻で、ほぼ完形で混貝土層から出土している。殻長14.0cm, 殻幅9.2cm, 重量88.5gである。

所見 時期は、出土土器から後期末葉(安行2式期)と考えられる。



第67図 第495号土坑・出土遺物実測図

第37表 第495号土坑出土遺物一覧(第67図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	煮炊用土器	-	(31)	-	長石・雲母	黒灰	普通	4単位の突出部に細かい彫み 脚部透かし孔4か所	東部土層	25% 実行2式

第38表 第495号土坑出土具数集計表

調査品	点数				重量(g)					備考
	左般	右般	左右不明	合計	左般	右般	左右不明	破片	合計	
アワビ				4					211.6	遺物番号2含む
二枚貝綱	左般	右般	左右不明	合計	左般	右般	左右不明	破片	合計	備考
サルボウ	-	-	-	-	-	-	-	28	28	破片のみ
シオフキ	-	1	-	1	-	1.0	-	-	1.0	
ハマグリ	20	20	-	40	45.9	44.8	-	-	90.7	
マツカサガイ	1	-	-	1	1.6	-	-	-	1.6	
ヤマトシジミ	404	406	82	892	7524	7684	74.3	11.3	16064	
小計	425	427	82	934	790.9	814.2	74.3	14.1	1702.5	
総合計				938					1914.1	

第543号土坑(第68図 第39表 PL17・71)

位置 調査H区のE3a9区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

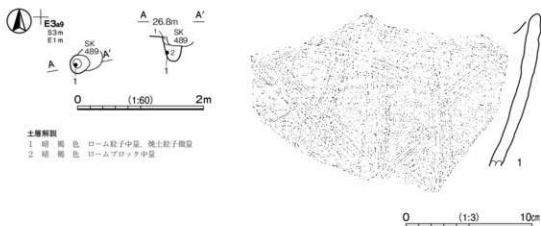
重複関係 第489号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南北径は0.29mで、東部を第489号土坑に掘り込まれているため、東西径は0.29mしか確認できなかった。円形と推定できる。深さは37cmで、底面は鍋底状であり、壁はほぼ直立している。

覆土 2層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子が多く含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片2点(深鉢 47g)が出土している。1は、西部の覆土下層から出土している。

所見 時期は、出土土器から後期前葉(堀之内1式期<sub>9</sub>)と考えられる。



第68図 第543号土坑・出土遺物実測図

第39表 第543号土坑出土遺物一覧(第68図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(120)	-	長石・石英・赤色 粒子・凝縮	黒い	普通	縦い深状口縁 掘削工具による条線文 内面磨き	西部下層	15% PL71 堀之内1式

第574号土坑 (第69図 第40・41表 PL17・71)

位置 調査H区のE3b7区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 径0.80～0.85mの円形で、深さは162cmである。底面は平坦で、壁は直立している。

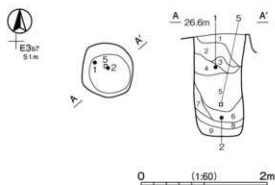
覆土 9層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子、貝殻が含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片206点(深鉢170, 浅鉢1, 鉢1, 台付鉢1, 製塩土器33 3.367g)、石器・石製品4点(磨石、敲石、小玉、石棒)、剥片1点(黒曜石)、

貝殻5,018点(6,933.9g)、骨1,045.8gが出土している。

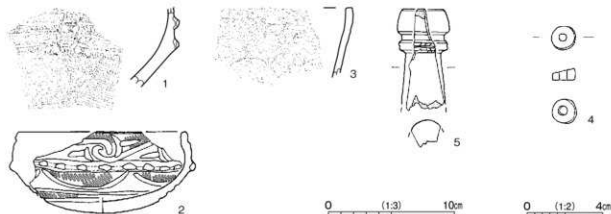
1は北西部の覆土上層, 2は中央部の覆土下層, 5は中央部の覆土中層から、破片が散在した状態で出土している。貝殻は、18種が確認できた。主な貝種は、ヤマトシジミが4,409点(最小個体数2,324点)で87.9%、次いでハマグリが206点(最小個体数97点)で4.1%、マツカサガイが131点(最小個体数42点)で2.6%である。骨は、同定分析の結果、イノシシ4点(頭蓋骨1, 下顎骨2, 歯牙1)、ニホンジカ1点(頭蓋骨)、哺乳類1点(歯牙)、タイ1点(前上顎骨)などが確認できた〔第3章第4節 自然科学分析 3〕参照〕。

所見 時期は、出土土器から晩期初頭(安行3a式期)と考えられる。



土層解説

- 1 暗褐色 焼土粒子少量、硝子貝・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量、シジミ・飯骨・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量、シジミ・飯骨・焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量、硝子貝・炭化粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック・シジミ少量
- 6 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 7 暗褐色 ロームブロック中量
- 8 暗褐色 ローム粒子中量
- 9 黒褐色 ローム粒子少量、シジミ・炭化粒子微量



第69図 第574号土坑・出土遺物実測図

第40表 第574号土坑出土遺物一覧(第69図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	台付鉢	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母	黒灰	普通	隆帯上層貼付→細かい割目 胴部系線 内面丁字 欠破き	北西部上層	安行2式
2	縄文土器	浅鉢	[132]	(6.5)	-	長石・石英	黒褐色	普通	口突部内組三叉文 胴部弧線文 胴部下端縄文帯 横文短(雲母 炭化粒子) 内面丁字欠破き	中央部下層	50% PL17 安行3a式
3	縄文土器	製塩土器	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母	にがい相	普通	口唇部未調整 外面割り 内面ナデ	覆土中	晩期前期

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
4	小玉	1.2	1.2	0.6	1.4	翡翠	全面磨削 一方からの穿孔	覆土中	
5	石棒	(8.1)	[4.2]	(2.1)	(57.5)	粘板岩	両面の成狭野形 突帯上に矢羽根状の縦筋	中央部中層	

第41表 第574号土坑出土具殻集計表

器具名	点 数				重 量 (g)				備 考		
アカニシ	4				1140						
アラムシロガイ	11				12						
イボキヤゴ	5				54						
ウミニナ	21				137						
オカチョウジガイ	9				63						
カノコガイ	3				1.1						
カワニナ	1				69						
キセルガイ	87				66						
コハタガイ	2				0.1						
フトヘナタリ	10				36						
ヤマタニシ	1				0.8						
小 計	154				147.7						
二枚貝類	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備 考	
オオノガイ	8	6	3	17	34.0	16.6	4.9	54.6	110.1		
オキシジミ	28	24	-	52	106.4	52.7	-	-	159.1		
ヤルボウ	2	-	-	2	8.0	-	-	-	8.0		
シオフキ	23	18	6	47	57.3	51.6	5.5	-	114.4		
ハマダリ	97	95	14	206	333.2	298.5	29.4	-	661.1		
マフカサガイ	42	35	54	131	107.7	77.5	107.1	35.8	328.1		
ヤマトシジミ	1958	2324	127	4409	2410.0	2894.1	26.9	74.4	5405.4		
小 計	2158	2502	204	4864	3066.6	3391.0	173.8	364.8	6786.2		
総 合 計	5018				6933.9						

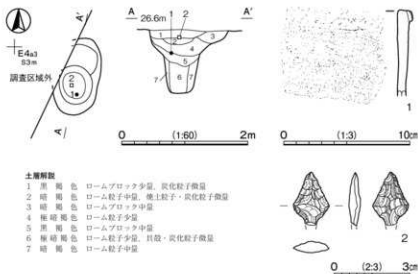
## 第688号土坑 (第70図 第42表 PL18・74)

位置 調査H区のE 4a3区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 南北径1.20mで、北西部が調査区域外へ延びているため、東西径は0.68mしか確認できなかった。楕円形と推定でき、長径方向はN-1°-Eである。深さは51cmで、底面は楕円状で、中央部に径60cm、深さ60cmの円筒形の凹みがある。壁は凹み部が直立し、中位から外傾している。

覆土 7層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子が多く含まれた人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片224点(深鉢4.302g)、石器1点(石鏃)、剥片1点(瑪瑙)、貝殻621点(550.5g)、骨368.7gが出土している。1は南部の覆土中層、2は中央部の覆土上層からそれぞれ出土している。



第70図 第688号土坑・出土遺物実測図



貝殻は各層に含まれており、6種が確認できた。主な貝種は、ヤマトシジミ601点(最小個体数326点)で96.8%、ハマグリが12点(最小個体数7点)で1.9%、その他、ウミユナ2点、オカチョウジガイ2点、キセルガイ4点、マツカサガイ(破片のみ)がある。骨は、同定分析の結果、ニホンジカの下顎骨1点が確認できた(「第3章第4節 自然科学分析 3」参照)。

所見 時期は、出土土器から後期後葉(安行1式~2式期)と考えられる。

第42表 第688号土坑出土遺物一覧(第70図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(66)	-	長石・石英	におい	普通	口縁部の肥厚やや筒 縦線彫刻→横位の茶褐色内面ナメ	南部中層	後期後葉
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴			出土位置	備考
2	石版	(21)	14	0.5	(120)	チャート	凸部有茎	端部欠損		中央部上層	PL74

第722号土坑(第71図 第43表 PL72)

位置 調査H区のE4a3区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

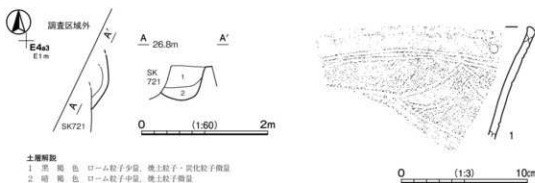
重複関係 第721号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南部を第721号土坑に掘り込まれており、北西部が調査区域外へ延びているため、南北径は0.60m、東西径は0.20mしか確認できず、形状も不明である。深さは50cmで、底面は皿状であり、壁は外傾している。

覆土 2層に分層できる。ローム粒子が多く含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片8点(深鉢 104g)が出土している。

所見 時期は、出土土器から後期前葉(堀之内2式期)と考えられる。



第71図 第722号土坑・出土遺物実測図

第43表 第722号土坑出土遺物一覧(第71図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(89)	-	長石・石英・雲母	におい	普通	区画注線→縄文LR光澤(口縁部に未貫通の横線孔内面口縁部凹陥状 散入顕著)	覆土中	10% PL72 堀之内2式

第724号土坑 (第72図 第44表 PL18・73)

位置 調査H区のE4a4区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

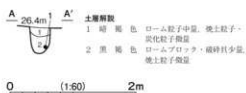
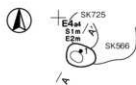
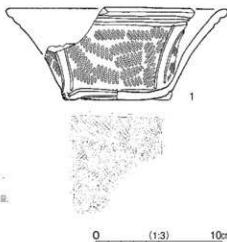
重複関係 第566・725号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径0.48m、短径0.36mの楕円形で、長径方向はN-76°-Wである。深さは42cmで、底面は皿状であり、壁はほぼ直立している。

覆土 2層に分層できる。ローム粒子が多く、破砕貝が含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片11点(深鉢9、浅鉢1、角底土器1 163g)、貝殻16点(ヤマトシジミ15、ハマグリ1 146g)、骨30.3gが出土している。1は、北部の覆土下層から、正位の状態出土している。

所見 時期は、出土土器から後期後葉(曾谷式期)と考えられる。



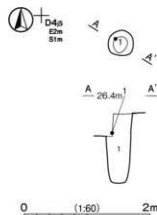
第72図 第724号土坑・出土遺物実測図

第44表 第724号土坑出土遺物一覧(第72図)

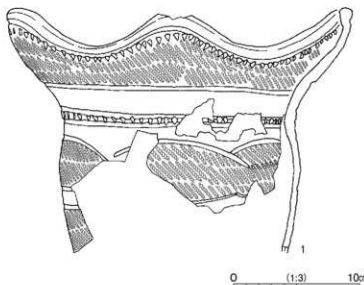
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	角底土器	[17.4]	7.2	8.4	長石・石英	灰黄緑	普通	コーナー部に縦役の区画文・縄文RL充填 内面丁部充填あり	北部下層	50% PL73 後期後葉

第739号土坑 (第73図 第45表 PL73)

位置 調査H区のD4j5区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。



土層解説  
1 埴 褐色 ロームブロック・破砕貝少量、炭化粒子微量



第73図 第739号土坑・出土遺物実測図

**重複関係** 上部に第11号斜面貝層が形成されている。

**規模と形状** 径0.40mの円形で、深さは108cmである。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。

**覆土** 単一層である。ロームブロックや破砕貝が含まれていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片82点(深鉢 1.474g)、土製品1点(土器片円盤)、骨218.5gが出土している。1は、北西部の覆土上層から出土している。

**所見** 時期は、出土土器から後期中葉(加曾利B3式期)と考えられる。

第45表 第739号土坑出土遺物一覧(第73図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	26.6	(19.4)	-	長石・石英	褐色	普通	5平空の遺跡口縁 口縁部に灰い黒文部、縄文図、光黒 後代層と認め 割部縄文図、の交互縦文、内面磨き	北西部上層	20% PL73 加曾利B3式

**第786号土坑** (第74図 第46表 PL18・73)

**位置** 調査L区のF517区、標高約19mの緩斜面部に位置している。

**確認状況** 第4・5号遺物包含層の第Ⅲ層を除去した第Ⅳ層の上面で確認した。

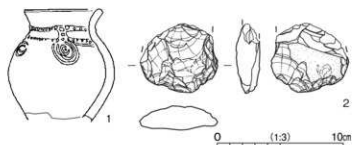
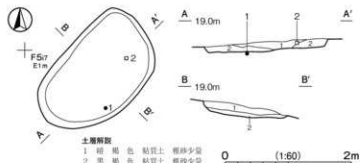
**規模と形状** 長径2.11m、短径1.29mの楕円形で、長径方向はN-42°-Eである。深さは15cmで、底面は平坦であり、壁は外傾している。

**覆土** 2層に分層できる。遺物包含層第Ⅳ層由来の暗褐色粘質土が堆積していることから、自然堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片45点(深鉢43、鉢1、小型壺1 886g)、石器1点(打製石斧)が出土している。1は、底部が欠損している堀之内2式の小型壺で、南東壁際の底面から、口縁部を各側

に向けた斜位の状態で出土している。2は、東部の覆土上層から出土している。

**所見** 時期は、第4・5号遺物包含層第Ⅳ層上面で確認し、遺物包含層の形成時期から晩期前葉と考えられる。出土土器とは時期差があり、第Ⅳ層の堆積が終了した段階でできた自然の凹みの可能性がある。



第74図 第786号土坑・出土遺物実測図

第46表 第786号土坑出土遺物一覧(第74図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	小型壺	[62]	(88)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	割部外面割突列による斜位の凹面→区画内磨き→洗滌による縄文 内面ナテ	南東部底面	80% PL73 堀之内2式
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴			出土位置	備考
2	打製石斧	(35)	6.3	1.7	(688)	粘板岩	分瓣形	表面に黒石面残す	側面に磨成痕	東部上層	

第793号土坑 (第75～78図 第47～49表 PL18・63・72～74)

位置 調査C区のE3c8区, 標高約26mの平坦な台地上に位置している。

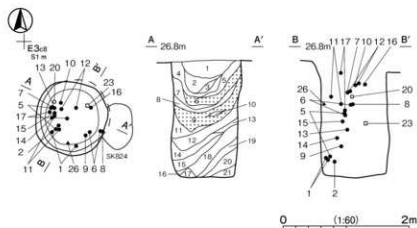
重複関係 第824号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 径1.13mの円形で、深さは183cmである。底面は平坦で、壁は直立している。

覆土 21層に分層できる。覆土中層(第6・9層)に遺構内貝層が確認できた。各層にはローム粒子や焼土粒子、炭化物、灰、貝殻が多く含まれており、北東側から短期間で埋め戻された堆積状況を示している。

遺物出土状況 縄文土器片1232点(深鉢999, 浅鉢6, 鉢4, 台付鉢1, 壺1, 注口土器1, 釣手土器1, 製塩土器219・17.727g), 土製品15点(耳飾り1, 土偶2, 土器片錘1, 土器片円盤11), 石器2点(石錘, 磨石), 剥片12(黒曜石3, チャート9), 歯牙製品1点(垂飾), 貝製品8点(貝刃1, 貝輪4, 小玉3), 貝殻156.472点(255.5776g), 骨4.7862gが出土している。土器類は、南東部の覆土上層から下層にかけて偏在しており, 堆積状況から, 傾斜の低い方に集積したと考えられる。貝殻は29種が確認できた。主な貝種は, ヤマトシジミが151,577点(最小個体数73,672点)で97.1%, 次いでハマグリが3,847点(最小個体数1,937点)で2.5%, マツカサガイが317点(最小個体数157点)で0.20%, シオフキが288点(最小個体数146点)で0.18%である。骨は, 同定分析の結果, イノシシ29点(頭蓋骨2, 下顎骨3, 頸椎1, 腰椎6, 尺骨1, 中手骨5, 脛骨1, 距骨1, 踵骨1, 中足骨3, 中手骨/中足骨3, 基節骨1, 中節骨1), ニホンジカ19点(頸椎2, 腰椎2, 肩甲骨3, 腕骨1, 中手骨1, 脛骨1, 距骨1, 踵骨1, 中足骨2, 基節骨3, 中節骨2), 大型哺乳類7点(肋骨5, 寛骨1, 脛骨1), カモ科1点(尺骨), 鳥類1点(中節骨)などが確認できた。イノシシは, 下顎骨から3個体が確認でき, 歯牙の萌出状況から, 年齢は3.5歳, 5.5歳, 6.5歳以上と推定される。(「第3章第4節 自然科学分析 4」参照)。

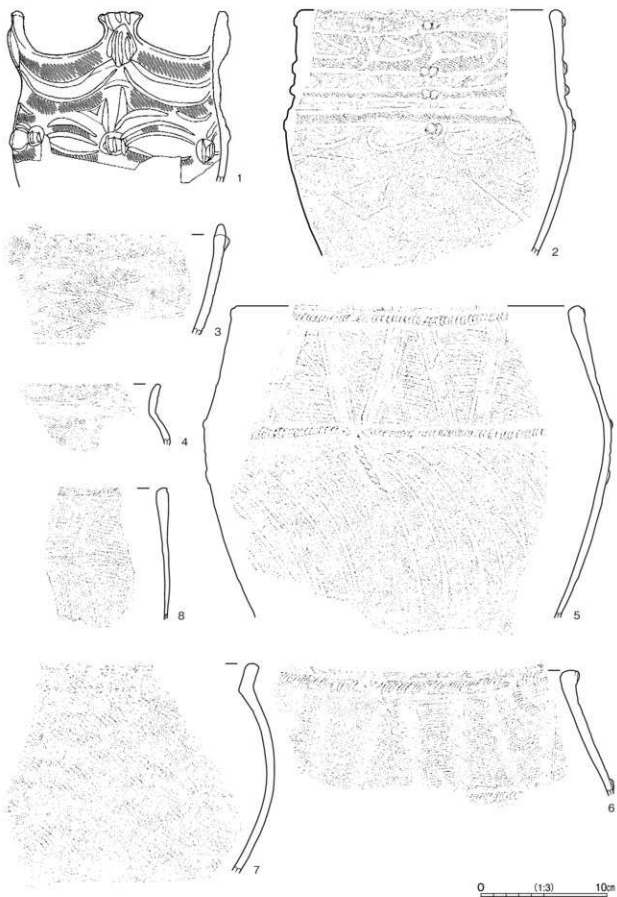
所見 時期は, 出土土器から晩期前葉(安行3a式期)と考えられる。



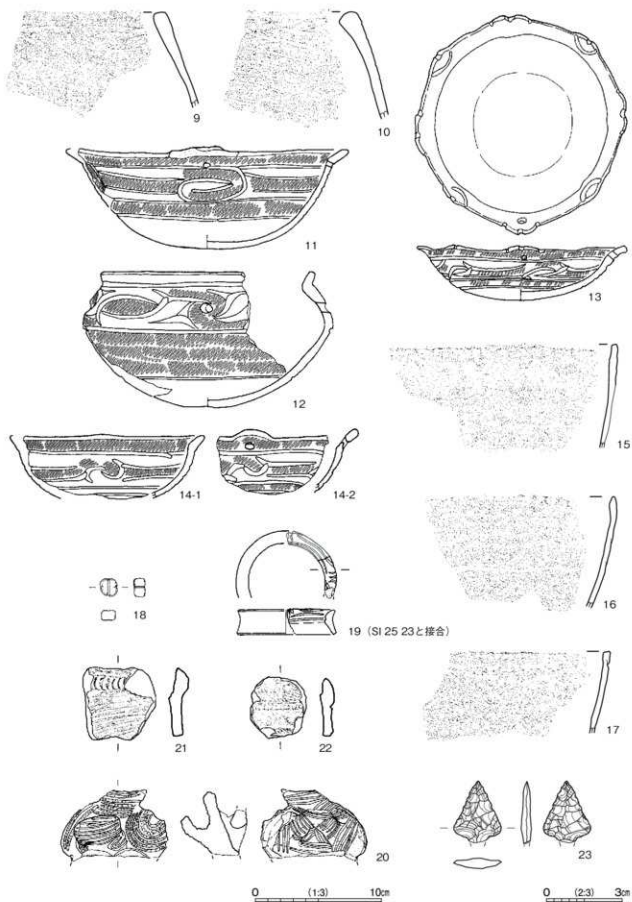
土層解説

- |                                    |                              |
|------------------------------------|------------------------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物・焼土粒子・破砕貝殻     | 12 褐色 ローム粒子多量, 貝少量           |
| 2 に灰・黒褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量, 焼土粒子微量 | 13 暗褐色 炭化物・ローム粒子中量, 焼土粒子・貝少量 |
| 3 褐色 ローム粒子多量                       | 14 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子・貝微量      |
| 4 暗褐色 破砕貝少量, ローム粒子・焼土粒子微量          | 15 黒褐色 焼土粒子中量, 炭化物・貝少量       |
| 5 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・貝微量          | 16 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・貝微量   |
| 6 混土貝層 黒褐色土中量, 混貝率70%              | 17 黒褐色 ローム粒子中量, 貝少量          |
| 7 に灰・褐色 灰多量, 炭化物中量, 焼土粒子・貝微量       | 18 暗褐色 ロームブロック・貝少量, 炭化粒子微量   |
| 8 黒褐色 炭化物・灰中量, 貝少量                 | 19 暗褐色 ローム粒子中量, 貝少量          |
| 9 混土貝層 暗褐色土少量, 混貝率85%              | 20 黒褐色 ローム粒子中量, 貝少量          |
| 10 に灰・褐色 炭化物・灰中量, 貝微量              | 21 暗褐色 ローム粒子中量, 貝少量          |
| 11 黒褐色 炭化物・ローム粒子・貝少量               |                              |

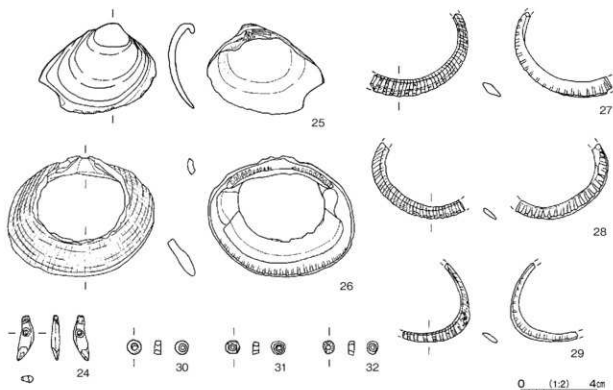
第75図 第793号土坑実測図



第76图 第793号土坑出土物实测图(1)



第77图 第793号土坑出土遺物実測図(2)



第 78 図 第 793 号土坑出土遺物実測図 (3)

第 47 表 第 793 号土坑出土未掲載土器集計表

器種	第 3 層			第 4 層			第 6 層			第 7 層			第 9 層						第 10 層		第 11 層			第 12 層		合計	
	瓦	土器	土器	瓦	土器	土器	瓦	土器	土器	瓦	土器	土器	瓦	土器	土器	瓦	土器	土器	瓦	土器	土器	瓦	土器	土器	瓦		土器
点数	1	1	1	1	3	32	36	69	50	22	28	4	313	85	328	5	22	2	2	1	1	1	1	1	316	-	1213
重量	8	8	28	67	202	286	513	798	743	395	532	81	4,568	926	3,304	766	236	40	72	212	126	15	82	2,007	1,122	17,727	

第 48 表 第 793 号土坑出土遺物一覧 (第 76 ~ 78 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	163	(140)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	黒	普通	4 単位位の環状口縁 口縁部対向三又文と弧線文による象形区画 縄文 R1 光澤	南部下層	50% PL73 実行 3 a 式
2	縄文土器	深鉢	[202]	(195)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	黒	普通	口縁部ステッカー状三又文による人顔文 縄文 R1 光澤 胴部屈曲象形区画文→縄文 R1 光澤→無文部磨き	南部下層	30% PL72 実行 3 a 式
3	縄文土器	深鉢	-	(88)	-	長石・石英・雲母	黄灰	普通	口縁部屈曲象形区画文→縄文 R1 光澤→無文部磨き	覆土中	PL72 実行 3 a 式
4	縄文土器	鉢	-	(49)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	黒	普通	口縁部に B 突起 口縁部縄文 R1 光澤の弧線文+三又文 胴部上向き三又文 内面磨き	覆土中	PL72 大淵 B 2 式
5	縄文土器	深鉢	[270]	(246)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子・長石片	黒	増	口縁部横位の条線→縁線貼付→縦位の区画文・土器内磨き→胴部条線 内面粗い磨き	西部中層下層	30% PL72 晩期前葉
6	縄文土器	深鉢	-	(100)	-	長石・石英・雲母	灰黄	普通	口縁部横位の条線→縁線貼付→縦位の区画文・土器内磨き 内面粗い磨き	南東部中層	15% PL72 晩期前葉
7	縄文土器	鉢	-	(166)	-	長石・石英・針状物	黄灰	普通	縄文 R1 横位に間隔施文 内面磨き	西部上層	20% PL72 晩期前葉
8	縄文土器	深鉢	-	(101)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	胴部縦位→口縁部横位の条線 口縁部の肥厚刃	南東部中層	晩期前葉
9	縄文土器	深鉢	-	(75)	-	長石・石英	灰黄	普通	口縁部横位・胴部縦位の滑り→口縁部横位の弱い条線 内面粗い磨き	南東部下層	晩期前葉
10	縄文土器	深鉢	-	(85)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	黒	普通	口縁部横位の条線 内面ナデ	西部上層	晩期前葉
11	縄文土器	浅鉢	[220]	8.2	-	長石・石英・雲母	黒	普通	口縁部突起部分磨離 内面に隆帯貼付 横成面穿孔 1 か所 胴部 R1 光澤の土器三又文と人顔三又文 内面磨き	南西部上層	80% PL73 実行 3 a 式
12	縄文土器	浅鉢	[166]	108	-	長石・石英	灰黄	普通	口縁部縄文 R1 光澤の土器三又文と人顔三又文 胴部縄文 R1 光澤の横帯文 胴部下磨き 内面磨き	北部上層	60% PL73 大淵 B 2 式
13	縄文土器	浅鉢	16.4	4.3	-	長石・石英	灰黄	普通	口縁部 R1 光澤の土器三又文と人顔三又文 胴部 R1 光澤の土器三又文と人顔三又文 内面磨き	西部中層	100% PL73 大淵 B 2 式
14	縄文土器	浅鉢	[15.4]	(5.1)	-	長石・石英・雲母	黄灰	普通	口縁部 R1 光澤の土器三又文と人顔三又文 胴部 R1 光澤の土器三又文と人顔三又文 内面磨き	西部中層	60% PL72 大淵 B 2 式
15	縄文土器	製塩土器	-	(82)	-	長石・石英・雲母	黄灰	普通	口縁部内張り状 外面縦位の張り 網線 内面ナデ	西部中層	PL72 晩期前葉
16	縄文土器	製塩土器	-	(88)	-	長石・石英	橙	普通	口縁部未調整 口縁部外面磨り 網線 内面ナデ	東部上層	PL72 晩期前葉
17	縄文土器	製塩土器	-	(6.4)	-	長石・石英	橙	普通	口縁部内張り状 外面磨離 内面ナデ	西部上層中層	PL72 晩期前葉

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
18	土器片鉢	1.4	1.4	0.8	2.3	長石・石英	にぶい黄橙	十字の有溝	覆土中	
19	耳飾り	(8.0)	(8.0)	2.0	(5.5)	長石	黒	滑車型 外・内面磨き 洗滌文 SI 25 23 と接合	覆土中	PL63
20	土偶	(5.7)	(8.6)	(5.4)	(131.1)	長石・石英・赤色粘土	暗赤褐	ミズク形頭部、顔面刻み隆帯・突起部(菓型)、洗滌内刻文、後頭部フリッジと洗滌文	西部上層	PL74
21	土器片甕	5.8	5.9	1.6	44.5	長石・石英	にぶい橙	瓶型土器口縁部片利用 周縁部打ち欠き	覆土中	
22	土器片甕	4.9	4.5	1.2	22.6	長石・石英	褐灰	瓶型土器口縁部片利用 周縁部打ち欠き	覆土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
23	石皿	(2.5)	1.9	0.4	(1.7)	チャート	凸基有茎 端部欠損	東部中層	PL74
24	差鉢	2.4	0.9	0.4	0.6	イヌ犬歯	穿孔1ヶ所	覆土貝層	PL74
25	貝刃	(6.2)	4.8	1.3	(14.5)	ハマグリ	周縁部に連続する割離痕	覆土貝層	PL74
26	貝輪	7.7	6.4	1.4	31.8	サルボウ属	未成品 腹部打ち欠きによる穿孔	南部中層	PL74
27	貝輪	(5.2)	(4.5)	0.9	(5.4)	サルボウ属	未成品 研磨整形	覆土貝層	PL74
28	貝輪	(5.0)	(4.1)	0.7	(3.0)	サルボウ属	未成品 研磨整形	覆土貝層	PL74
29	貝輪	(3.6)	(4.2)	0.8	(2.6)	サルボウ属	未成品 研磨整形	覆土貝層	
30	小王	0.7	0.8	0.4	0.4	サルボウ属	二方向からの穿孔 研磨整形	覆土貝層	PL74
31	小王	0.7	0.8	0.3	0.2	サルボウ属	二方向からの穿孔 研磨整形	覆土貝層	PL74
32	小王	0.7	(0.7)	0.3	(0.1)	サルボウ属	一方向からの穿孔 研磨整形	覆土貝層	PL74

第49表 第793号土坑出土土貝殻集計表

腹足綱	点 数				重 量 (g)				備考	
アカニシ	1				32.5					
アラムシロガイ	78				34.5					
アワビ	-				32.4				破片のみ	
イボニシ	2				3.9					
ウミニナ	45				70.0					
オオタニシ	9				18.7					
カノコガイ	53				31.2					
カワアイ	26				43.2					
カワニナ	13				22.3					
キサゴ	2				2.6					
キセルガイ	95				23.4					
コハタガイ	3				0.1					
フノガイ	1				0.6					
ヒダリマキマイマイ	6				8.0					
ヒロクナカノコガイ	5				1.9					
ワジワゴ	3				0.6					
マイマイ類	7				6.2					
ムギガイ	1				0.5					
小 計	350				332.6					
二枚貝綱	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備考
アカガイ	-	-	-	-	-	-	-	24.1	24.1	破片のみ
アサリ	4	2	-	6	8.4	4.1	-	1.9	14.4	
イシガイ	5	3	-	8	8.3	2.9	-	26.7	37.9	
オオノガイ	9	5	-	14	17.4	14.1	-	-	31.5	
オキシジミ	6	4	-	10	17.2	14.8	-	4.4	36.4	
サルボウ	29	26	-	55	135.9	120.6	-	44.6	301.1	
シオフキ	141	146	1	288	328.1	310.1	0.5	40.2	678.9	
ハマグリ	1.937	1.910	-	3.847	5.487.8	5,551.1	-	1,329.0	12,367.9	
マガキ	-	-	-	-	-	-	-	2.4	2.4	破片のみ



取 足 綱	点 数				重 量 (g)				備 考
	156	157	4	317	1824	211.4	1.3	1176	
マツカサガイ	73672	71250	6655	151577	1184550	1154495	3.8412	3.9920	241237.7
ヤマトシジミ	75959	73503	6660	156122	1246405	1216286	3.8430	5.0829	255245.0
総 合 計	156472				2555776				

### 第794号土坑 (第79図 第50・51表 PL19・73)

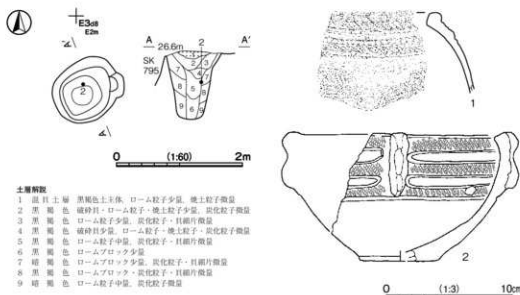
**位置** 調査C区のE3d8区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 長径1.12m、短径0.92mの楕円形で、長径方向はN-48°-Eである。深さは112cmで、底面は平坦であり、壁はほぼ直立している。

**覆土** 9層に分層できる。各層にロームの粒子やブロック、破砕貝などが含まれていることから、人為堆積である。中央部の第1～6層は漏斗状に堆積しており、覆土上層(第1層)に遺構内貝層が確認できた。柱の抜き取り、あるいは掘り返しの痕跡と考えられ、貝層はその凹地に投棄されたと考えられる。

**遺物出土状況** 縄文土器片69点(深鉢62, 鉢1, 製塩土器6 1824g)、貝殻1481点(21195g)、骨169.0gが出土している。2は、中央部の抜き取り痕の覆土中層から出土している。貝殻は9種が確認できた。主な貝種は、ヤマトシジミが1432点(最小個体数737点)で96.7%、次いでシオフキが22点(最小個体数16点)で1.5%、ハマグリが21点(最小個体数13点)で1.4%である。

**所見** 時期は、出土土器から後期後葉(安行1式期)と考えられる。



第79図 第794号土坑・出土遺物実測図

第50表 第794号土坑出土遺物一覧(第79図)

番号	種 別	器種	口径	器高	底径	胎 土	色 調	焼成	手法の特徴はか		出土位置	備 考
									底縁部RL	隆起部RL		
1	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・雲母	灰黒	普通	底縁部RL, 隆起部RLと押し引き状刺突文	面縁部刺突文, 光沢の磨状入刺突文	覆土中	安行1式
2	縄文土器	鉢	(17.0)	(10.1)	(6.2)	長石・雲母	黒黒	普通	口縁部3本のRL, 隆起部刺突文	胴部張り後削り磨き	中央部中層	40% PL73 安行1式

第51表 第794号土坑出土貝殻集計表

種 属 綱	点 数				重 量 (g)				備 考	
アカニシ	-				25.9				破片のみ	
ウミニナ	2				3.3					
カノコガイ	2				1.0					
ヘナタリ	1				0.8					
小 計	5				31.0					
二 枚 貝 綱	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備 考
アカガイ	-	-	-	-	-	-	-	3.0	3.0	破片のみ
ヤルボウ	-	1	-	1	-	3.2	-	-	3.2	
シオフキ	16	6	-	22	52.0	20.2	-	2.2	74.4	
ハマグリ	8	13	-	21	20.1	37.3	-	4.5	61.9	
ヤマトシジミ	536	737	139	1,432	701.5	952.7	119.2	172.6	1,946.0	
小 計	560	757	139	1,476	773.6	1,013.4	119.2	182.3	2,088.5	
総 合 計	1,481				2,195					

第803号土坑 (第80・81図 第52表 PL19・74)

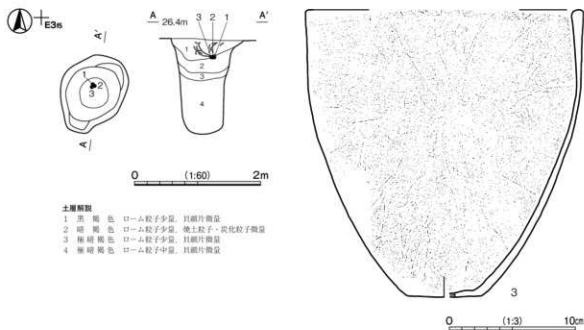
位置 調査C区のE35区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 長径1.33m、短径1.03mの楕円形で、長径方向はN-26°-Eである。深さは148cmで、底面は平坦であり、壁は直立している。

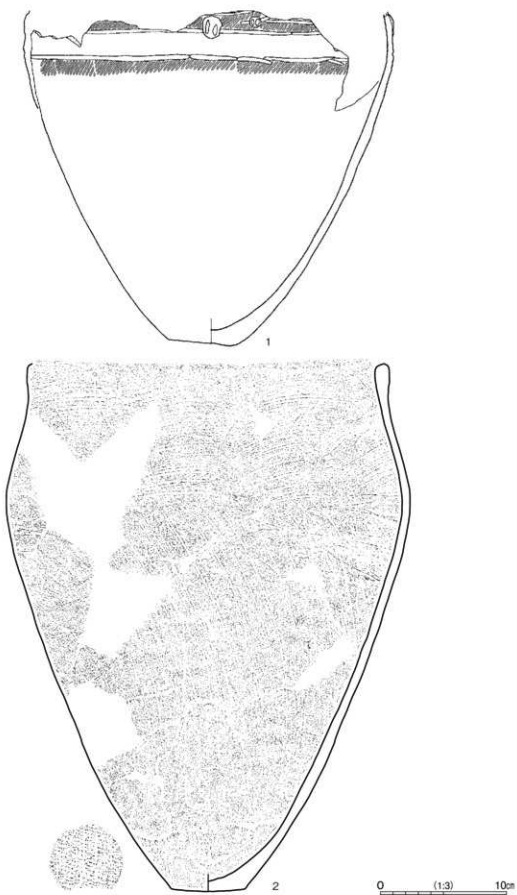
覆土 4層に分類できる。各層にローム粒子や貝殻の破片が含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片132点(深鉢129、製塩土器3 2,281g)、土製品2点(土器片円盤)、軽石1点、骨8.4gが出土している。1~3は、中央部の覆土上層から大型破片が集積された状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から晩期前葉(安行3b式期)と考えられる。



第80図 第803号土坑・出土遺物実測図



第 81 图 第 803 号土坑出土物实测图

第52表 第803号土坑出土遺物一覧(第80・81図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(26.5)	54	長石・石英・雲母・赤色粒子	におい	普通	波状口縁深鉢胴部→一部胴部のL字帯帯縄文による三角形区画文残存 胴部1条のL字縄文帯 下平削り	中央部上層	50% 安行1式b式
2	縄文土器	深鉢	[27.8]	41.9	5.8	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤釉	普通	胴部縦位の条線→口頸部横位の条線 底部削代板	中央部上層	50% 不明面書
3	縄文土器	深鉢	[21.4]	22.8	(6.0)	長石・石英・雲母	におい	普通	口頸部横位・胴部縦位の削り→粗い磨き 内面粗い磨き 底部ナシ	中央部上層	50% PL74 不明面書

## 第816号土坑(第82図 第53・54表 PL75)

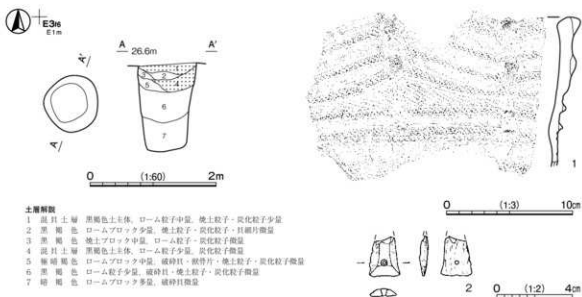
位置 調査C区のE36区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 径0.84～0.90mの円形で、深さは137cmである。底面は平坦であり、壁はほぼ直立している。

覆土 7層に分層できる。覆土上層(第1・4層)に遺構内貝層が確認できた。各層にはロームや焼土のブロックが多く含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片387点(深鉢345、壺1、製塩土器41 5,305g)、土製品3点(土器片円盤)、石製品1点(石棒<sub>2</sub>)、骨角器1点(骨鏃)、貝殻8,636点(15,750.1g)、骨1,416.1gが出土している。遺物は主に覆土上層の混貝土層中から出土している。貝殻は23種が確認できた。主な貝種は、ヤマトシジミが7,089点(最小個体数3,304点)で82.1%、次いでハマグリが768点(最小個体数393点)で8.9%、マツカサガイが565点(最小個体数279点)で6.5%、シオフキが147点(最小個体数82点)で1.7%である。

所見 時期は、出土土器から後期後葉(安行1式期)と考えられる。



## 土層解説

- 1 混貝土層 黒褐色土主体、ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子少量
- 2 黒 黒 色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子・貝殻片少量
- 3 黒 黒 色 焼土ブロック中量、ローム粒子・炭化粒子微量
- 4 混貝土層 黒褐色土主体、ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 5 黒 黒 色 ロームブロック中量、破砕貝・炭化物・焼土粒子・炭化粒子微量
- 6 黒 黒 色 ローム粒子少量、破砕貝・焼土粒子・炭化粒子微量
- 7 明 黒 色 ロームブロック多量、破砕貝微量

第82図 第816号土坑・出土遺物実測図

第53表 第816号土坑出土遺物一覧(第82図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(11.8)	-	長石・石英・赤色粒子	黒灰	普通	波状口縁深鉢 4条のL字帯帯縄文 胴部斜縄文→彫り文 内面粗い磨き	混貝土層	25% 安行1式
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴		出土位置	備考	
2	牙鏃	(2.1)	1.7	0.4	(1.2)	イノシシ犬歯	先端部欠損	一方向からの穿孔 破損彫形	混貝土層	PL75	

第54表 第816号土坑出土具殷集計表

観 足 綱	点 数				重 量 (g)				備 考		
アカニシ	7				2186						
アラムシロガイ	14				45						
アワビ	-				200				破片のみ		
ウミナシ	12				82						
オキタニシ	1				48						
カノコガイ	4				13						
カワアイ	4				29						
チリメンカワニナ	3				37						
ツノガイ	2				20						
ネコガイ	1				54						
ヒロクチカノコガイ	4				18						
ヘナタリ	-				06				破片のみ		
小 計	52				2738						
二 枚 貝 綱	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備 考	
アカガイ	-	-	-	-	-	-	-	19	19	破片のみ	
アサリ	1	-	-	1	1.3	-	-	-	1.3		
イシガイ	-	-	-	-	-	-	-	4.1	4.1	破片のみ	
オキシジミ	1	1	-	2	4.8	5.5	-	-	10.3		
カガミガイ	2	1	-	3	10.7	24	-	-	13.1		
サルゴウ	7	2	-	9	20.8	8.2	-	-	29.0		
シオフキ	65	82	-	147	133.7	183.2	-	-	316.9		
ハマグリ	393	375	-	768	1,652.5	1,663.2	-	-	3,315.7		
マダキ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	破片のみ	
マツカサガイ	279	251	35	565	537.5	409.4	23.3	252.3	1,282.5		
ヤマトシジミ	3,304	3,362	523	7,089	4,672.2	4,605.2	291.6	626.7	10,198.7		
小 計	4,052	3,974	558	8,584	7,033.5	6,937.1	317.9	1,186.3	15,476.3		
総 合 計	8,636				15,730.1						

## 第873号土坑 (第83・84図 第55表 PL19・75)

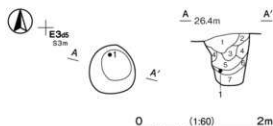
位置 調査C区のE3d5区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 径0.74mの円形で、深さは75cmである。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。

覆土 7層に分層できる。ブロック状の堆積状況を示していることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片71点(深鉢57、製塩土器14、1,077g)、土製品2点(土器片円盤)が出土している。1は、北部の覆土下層から出土している。

所見 時期は、出土土器から晩期前葉(安行3a式期)と考えられる。



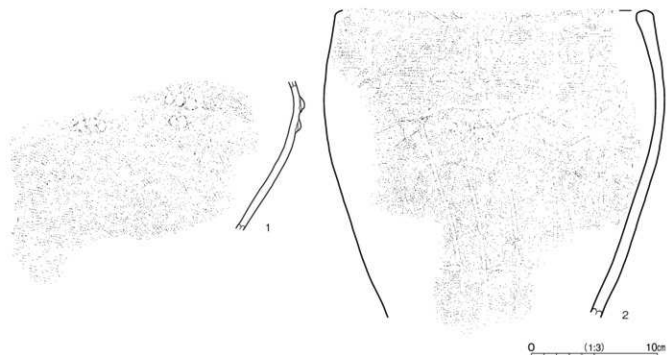
## 土層解説

- 1 灰褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量
- 3 灰褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子・貝殻片微量
- 4 褐色 ロームブロック少量
- 5 黒褐色 ローム粒子・貝殻片微量
- 6 褐色 ロームブロック少量
- 7 灰褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

第83図 第873号土坑実測図

第55表 第873号土坑出土遺物一覧 (第84図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(11.8)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	縄文LR光焼の磨消縄文→楕胎付 内面低い磨き	北部下層	10% 安行3a式
2	縄文土器	深鉢	[350]	[24.2]	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	口縁部磨成・胴部磨成の素焼 口縁部磨成や内面内面ナデ	覆土中	約% PL75 晩期前葉

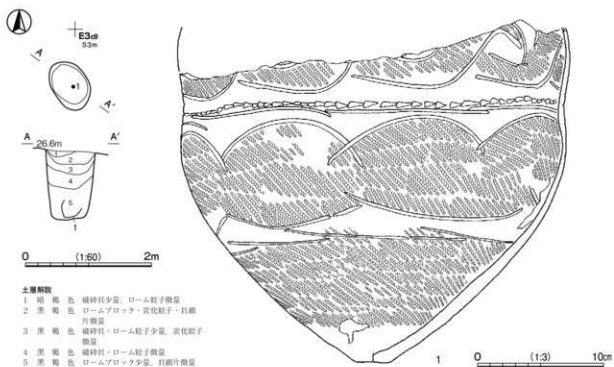


第84図 第873号土坑出土遺物実測図

第891号土坑 (第85図 第56表 PL20・75)

位置 調査C区のE3c8区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 長径0.80m、短径0.56mの楕円形で、長径方向はN-43°-Wである。深さは110cmで、底面は平坦であり、壁は直立している。



土層解説

- 1 暗褐色 磁粒少量、ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子・貝類
- 3 黒褐色 磁粒貝・ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 4 黒褐色 磁粒貝・ローム粒子微量
- 5 黒褐色 ロームブロック少量、貝類微量

第85図 第891号土坑・出土遺物実測図

**覆土** 5層に分層できる。各層に破砕貝やローム粒子が含まれていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片11点(深鉢 165g)、貝殻176点(218.5g)、骨80.5gが出土している。1は、口縁部が欠損している大型破片で、中央部の底面からほぼ正位の状態出土している。

**所見** 時期は、出土土器から後期後葉(安行1式期)と考えられる。

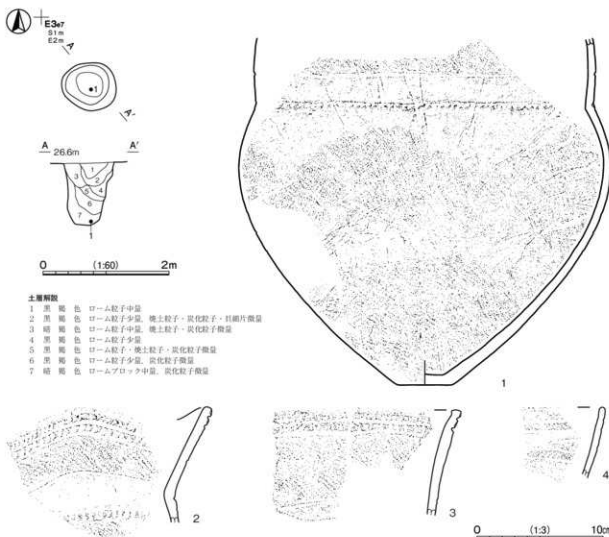
第56表 第891号土坑出土遺物一覧(第85図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(26.6)	28	長石・石英・雲母・赤鉄粒子	灰褐色	普通	頸部縄文並、光澤の帯状入道文・胴部上半縄文並、光澤の入り風籬文・無文区あり・内面縞い帯と・底部周り	中央部底面	80% PL.75 安行1式

**第894号土坑**(第86図 第57表 PL20・74)

**位置** 調査C区のE3e7区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 長径0.86m、短径0.75mの楕円形で、長径方向はN-88°-Eである。深さは94cmで、底面は平坦であり、壁はほぼ直立している。



第86図 第894号土坑・出土遺物実測図

**覆土** 7層に分層できる。各層にローム粒子が多く含まれていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片 123点 (深鉢 2,336 g)、骨 265.8 g が出土している。1は、胴部中位から底部にかけての大型破片で、中央部の底面から横位の状態で出土している。骨は、同定分析の結果、イノシシ2点 (肩甲骨、大腿骨)、ニホンジカ2点 (中手骨、中足骨) が確認できた (「第3章第4節 自然科学分析 3」参照)。  
**所見** 時期は、出土土器から後期中葉～後葉 (加曾利 B 3式～曾谷式期) と考えられる。

第57表 第894号土坑出土遺物一覧 (第86図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(27.4)	4.6	長石・石英・雲母・赤色粒子	濃い橙	普通	胴部縄文Ⅰ区、光景の横帯文、胴部縄文Ⅰ区光景の通気文、交互気縄文、黒文部磨き、内面滑い磨き、底面磨き	中央部底面	40% 第861式-88式
2	縄文土器	深鉢	-	(9.1)	-	長石・石英・雲母	灰黄陶	普通	肩い磨き口縁、口縁部2条の筋み列、胴部縄文Ⅰ区、区画沈線、胴部縄文Ⅰ区、光景の交互気縄文、内面磨き	覆土中	PL20 第861式-88式
3	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	平縁、口縁部2条の筋み列、胴部縄文Ⅰ区、区画沈線→無文部磨き、内面磨き	覆土中	第861式-88式
4	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・雲母	黒陶	普通	縄文Ⅰ区光景の横帯縄文、無文部磨き、内面口縁部内面磨き	覆土中	加曾利 B 2式

### 第896号土坑 (第87図 第58表 PL20・75)

**位置** 調査C区のエ3d8区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

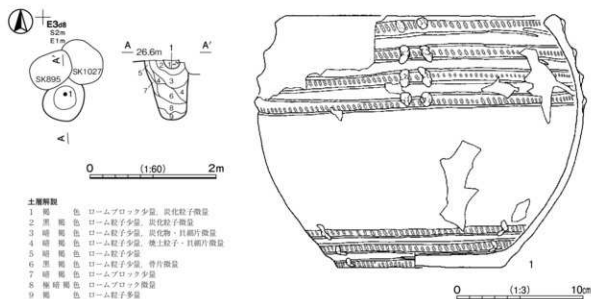
**重複関係** 第895・1027号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 北部を第895・1027号土坑に掘り込まれているため、長径は0.67mしか確認できなかった。短径0.62mで、楕円形と推定できる。長径方向はN-16°-Eである。深さは80cmで、底面は平坦であり、壁はほぼ直立している。

**覆土** 9層に分層できる。各層にローム粒子や貝殻の細片が含まれていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片 93点 (深鉢 92, 鉢 1, 1,505 g)、骨 69 g が出土している。1は、口縁部の一部を欠いた大型破片で、中央部の覆土上層から正位の状態で出土している。

**所見** 時期は、出土土器から後期後葉 (安行1式期) と考えられる。



第87図 第896号土坑・出土遺物実測図



第58表 第896号土坑出土遺物一覧(第87図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	鉢	21.5	20.0	13.4	長石・石英	にぶ・濃黄	普通	口縁部1条・底部3条の凹・唇部赤褐色 口縁部2層1対・底部4単位の粘土状堆積 胴部張り内側・壺口・底部ナマ	中央部上層	92% PL25 安行1式

第1081号土坑(第88図 第59表 PL20・76)

位置 調査C区のE37区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

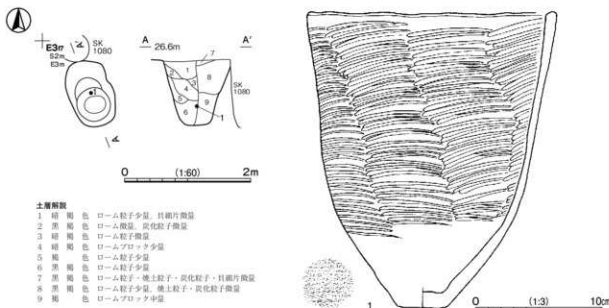
重複関係 第1080号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径1.09m、短径0.69mの楕円形で、長径方向はN-18°-Wである。深さは102cmで、底部は平坦で、壁は外傾している。

覆土 9層に分層できる。ブロック状の堆積状況を示していることから、人為堆積である。南部の第1~6層は円筒状に堆積しており、南部は柱の抜き取りあるいは掘り返しの痕跡と考えられる。

遺物出土状況 縄文土器片41点(深鉢 695g)、貝殻9点(ヤマトシジミ 18.8g)、骨117.3gが出土している。1は完形で、中央部の覆土下層から、横位の状態で出土している。骨は、同定分析の結果、イノシシ1点(上顎骨)が確認できた(「第3章第4節 自然科学分析 3」参照)。

所見 時期は、出土土器から後期後葉(曾谷式期)と考えられる。



第88図 第1081号土坑・出土遺物実測図

第59表 第1081号土坑出土遺物一覧(第88図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	19.4	23.6	4.0	長石	暗灰黄	普通	口縁部~胴部上半幅位の赤褐色 胴部下半幅位の黄褐色 底部現代状 内面粗い・壺き	中央部下層	100% PL6 曾谷式

第1100号土坑 (第89・90図 第60表 PL21・76)

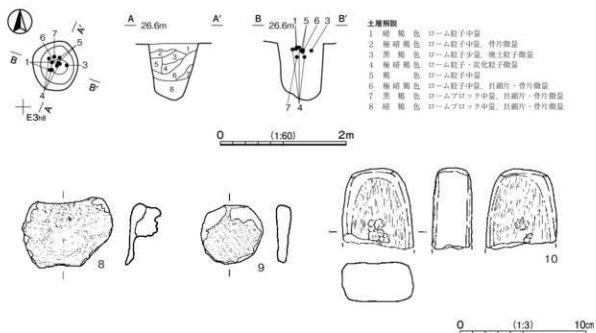
位置 調査C区のE3g8区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 長径0.77m、短径0.69mの楕円形で、長径方向はN-12°-Wである。深さは90cmで、底面は皿状であり、壁はほぼ直立している。

覆土 8層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子が多く含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片227点(深鉢222, 注口土器1, 異形台付土器1, 製塩土器3 3.632g), 土製品2点(土器片円盤), 石器1点(敲石), 貝殻77点(サルボウ1, ハマグリ74, ヤマトシジミ2 183.5g), 骨38.8gが出土している。1・3~7は、中央部の覆土上層から、破片が集積された状態で出土している。

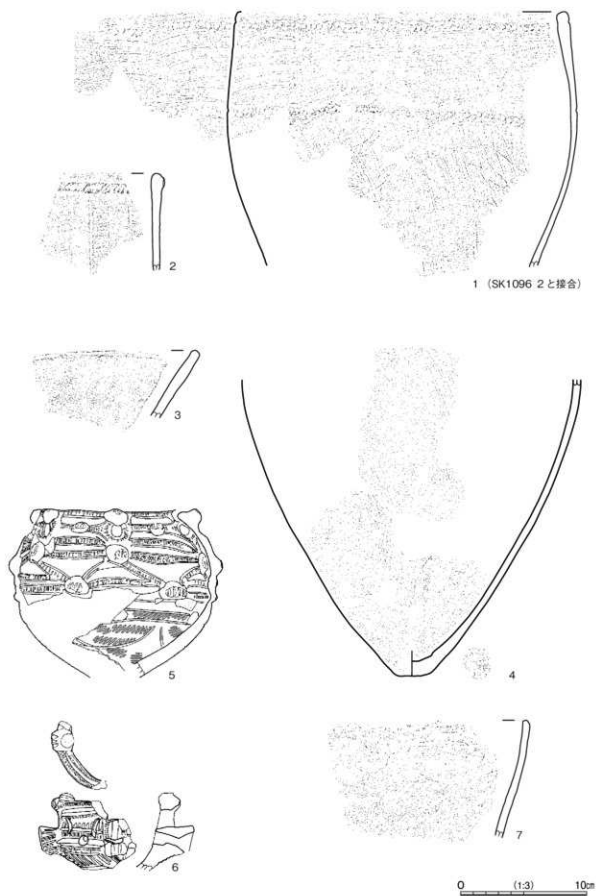
所見 時期は、出土土器から後期後葉~晩期前葉(安行2式~安行3a式期)と考えられる。



第89図 第1100号土坑・出土遺物実測図

第60表 第1100号土坑出土遺物一覧(第89・90図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	(25.4)	(20.2)	-	長石・石英	赭灰	普通	4と同一 胴部縦位の条線→口縁部縦位の条線→付点状横文 内面粗い磨き SK1096 足と接合	中央部上層	50% PL76 埋積層-埋積層
2	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英	灰褐色	普通	口縁部横位の条線→口縁部縦線磨き付・縦位区画文 内面ナデ	覆土上層	埋積層-埋積層
3	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英	灰黄褐色	普通	外面周り調整→口縁部に1条のナデ 内面磨き	中央部上層	埋積層
4	縄文土器	深鉢	-	(23.4)	2.8	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	1と同一 縦位の条線 内面ナデ 底部削代痕	中央部上層	20% PL76 埋積層-埋積層
5	縄文土器	注口土器	13.0	13.5	-	長石・石英・雲母	赭灰	普通	口縁部削み除去による横位横文 胴部1取及帯横文 下字縄文1取及帯の縦横文 内面ナデ 口縁穿孔部1か所	中央部上層	50% PL76 安行2~3a式
6	縄文土器	異形台付土器	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐色	普通	削み除去による横位横文 透かし孔6か所・穿孔部1か所 白粉点状・磨き 内面ナデ	中央部上層	25% PL76 安行2式
7	縄文土器	製塩土器	-	(9.3)	-	長石・石英	こげ黄褐色	普通	口縁部未調整 口縁部横位・胴部縦位の磨り内面ナデ	中央部上層	PL76 埋積層-埋積層
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考	
8	土器片円盤	5.6	7.2	2.8	500	長石・石英・雲母・赤色粒子	赭灰	瓢形土器口縁部片利用 両縁縁打ち欠き	覆土上層		
9	土器片円盤	4.6	4.9	1.3	24.8	長石・石英・雲母	にぶい橙	粗製深鉢口縁部片利用 両縁の打ち欠き明顯	覆土上層		
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考		
10	敲石	(6.5)	(5.8)	3.2	(186.9)	安山岩	略方形 断面隅丸長方形 表裏に光沢のある磨り面+敲打面 両縁がらつきのある厚縁部	覆土上層			



第90図 第1100号土坑出土遺物実測図

第 1145 号土坑 (第 91 図 第 61 表 PL21・76)

位置 調査 C 区の E 3 h 7 区, 標高約 26 m の平坦な台地上に位置している。

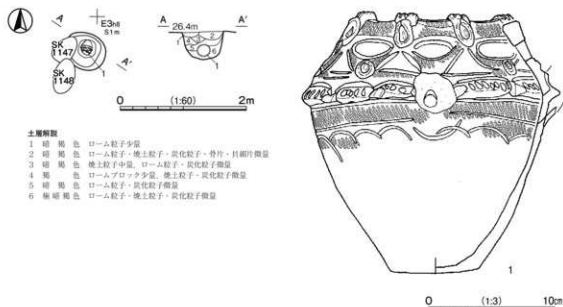
重複関係 第 1147・1148 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北西・南東径 0.68 m で, 西部を第 1147・1148 号土坑に掘り込まれていることから, 南西・北東径は 0.62 m しか確認できなかった。円形と推定でき, 深さは 37 cm である。底面は皿状で, 壁は外傾している。

覆土 6 層に分層できる。ブロック状の堆積状況を示していることから, 人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片 27 点 (深鉢 26, 注口土器 1 348 g), 骨 4.9 g が出土している。1 は, 注口部が欠損しているほぼ完形の注口土器で, 中央部の覆土下層から横位の状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から晩期前葉 (安行 3 a 式期) と考えられる。



第 91 図 第 1145 号土坑・出土遺物実測図

第 61 表 第 1145 号土坑出土遺物一覧 (第 91 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	注口土器	129	207	70	長釘・石英・赤色 粒子	灰褐色	普通	口縁部縦長帯・押手帯が2層1対で4単位。口部部段, 隆起帯横文による三角形区画文, 胴部段, 地文後縁帯, 隆起文, 下部部・底面帯。注口部之背付軸に穿孔部	中央部下層	90%, PL26 安行 3 a 式

第 1230 号土坑 (第 92 図 第 62 表 PL22・77)

位置 調査 C 区の E 3 i 4 区, 標高約 26 m の平坦な台地上に位置している。

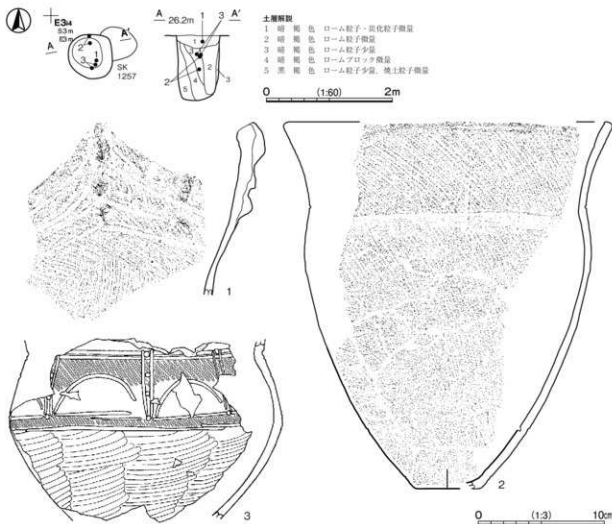
重複関係 第 1257 号土坑に掘り込んでいる。

規模と形状 径 0.74 ~ 0.77 m の円形で, 深さは 97 cm である。底面は平坦で, 壁は直立している。

覆土 5 層に分層できる。急勾配で覆土が入り込んでいることから, 人為堆積である。東部の第 1・2 層は円筒状に堆積しており, 柱の抜き取り, あるいは掘り返しの痕跡と考えられる。

遺物出土状況 縄文土器片 30 点 (深鉢 29, 鉢 1 556 g) が出土している。1 は南部の覆土上層, 2 は北部, 3 は南部の覆土中層 (第 3 層相当) から出土している。

所見 時期は, 出土土器から後期後葉 (安行 1 式期) と考えられる。



第92図 第1230号土坑・出土遺物実測図

第62表 第1230号土坑出土遺物一覧(第92図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(136)	-	長石・石英	灰黄陶	普通	口縁部3本の凹線・後部帯縄文・胴部やや幅広くで羽状沈線施文・内面土着	南部上層	安行1式
2	縄文土器	深鉢	[25.0]	29.1	[5.4]	長石・石英	灰陶	普通	口縁部・胴部に斜条線・胴部区南沈線・なぞり内面磨き 胴部上下に押突を付する部位区画・張線文・縄文凹線・胴部条線・内面磨き	北部中層	40% P1.77 安行1式
3	縄文土器	鉢	-	(144)	-	長石・石英	白灰陶	普通		南部中層	60% P1.77 安行1式

第1267号土坑(第93図 第63表)

**位置** 調査C区のE 316区。標高約26mの平坦な台地上に位置している。

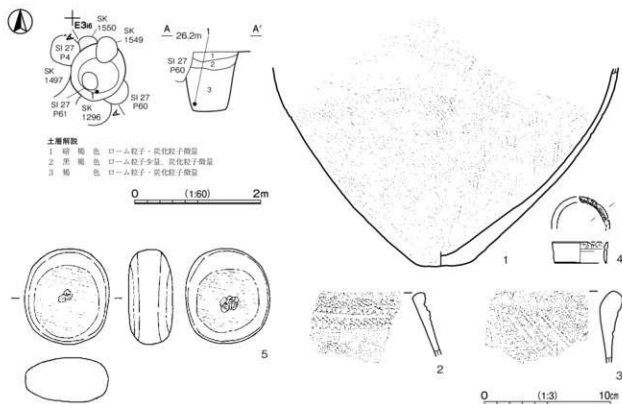
**重複関係** 第1550号土坑を掘り込み、第27号堅穴建物、第1296・1497・1549号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長径0.95m、短径0.85mの楕円形で、長径方向はN-20°-Eである。深さは91cmで、底面は平坦であり、壁は外傾している。

**覆土** 3層に分層できる。各層にローム粒子や炭化粒子が含まれていることから人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片74点(深鉢73、浅鉢1 995g)、土製品1点(耳飾り)、石器2点(磨石)が出土している。1は、大型の深鉢の胴部下半～底部片で、南部の覆土下層からほぼ正位の状態で出土している。

**所見** 時期は、出土土器から後期後葉と考えられる。



第 93 図 第 1267 号土坑・出土遺物実測図

第 63 表 第 1267 号土坑出土遺物一覧 (第 93 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考	
1	縄文土器	深鉢	-	(15.6)	4.4	長石・石英・赤色 粘土	褐色	普通	胴部上半段、縄文文壇の交互弧線文・下半段文、丸 内面粗い磨き	底部磨光	南部下層	70% 後期後葉
2	縄文土器	深鉢	-	(5.1)	-	長石・石英・雲母 にふい粉	普通	普通	胴部2条の丸、縁部帯縄文と押引状斜交列 面部分の押引状人面文・胴部磨き	内面ナシ	覆土中	安行1式
3	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母 にふい粉	普通	普通	口縁部厚	胴部横位の条線→横位・斜位の区画文 内面ナシ	覆土中	後期後葉
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特 徴	出土位置	備考		
4	耳飾り	[4.5]	[4.5]	1.7	(2.4)	長石・石英・赤色 粘土	橙	楕円状 器壁滑い	内面上位に弧線文+横位沈線文	覆土中		
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特 徴		出土位置	備考		
5	磨石	2.7	6.8	3.6	271.7	安山岩	楕円形 断面楕円長方形 表裏に光沢を持つ磨り面+最打面 凹線ぞらつきのある単経磨		覆土中			

第 1268 号土坑 (第 94 図 第 64 表 PL79)

位置 調査C区のE3i6区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第27号壑穴建物に掘り込まれている。

規模と形状 長径0.79m、短径0.59mの楕円形で、長径方向はN-33-Wである。深さは91cmで、底面は鍋底状であり、壁は外傾している。

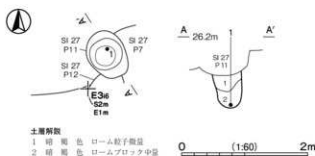
第 64 表 第 1268 号土坑出土遺物一覧 (第 94 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	[14.5]	23.1	4.7	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	にふい粉	普通	胴部口縁部丸、縁部帯縄文・胴部3条の横帯文・胴部 基2条の押引状斜交列 胴部丸、交互弧線文、弧線磨き	中央部底面	70%、PL79 安行1式

**覆土** 2層に分層できる。ロームブロックが多く含まれていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片 18 点（深鉢 170 g）が出土している。1 は、口縁部から胴部上半部のおよそ半分が欠損している深鉢で、中央部の底面からほぼ正位の状態で出土している。

**所見** 時期は、出土土器から後期後葉（安行 1 式期）と考えられる。



第 94 図 第 1268 号土坑・出土遺物実測図

#### 第 1274 号土坑（第 95・96 図 第 65 表 PL77・80）

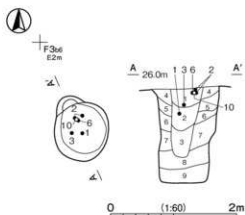
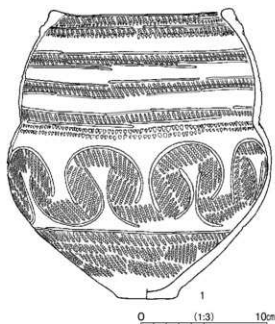
**位置** 調査 C 区の F 3 b6 区、標高約 26 m の平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 長径 1.08 m、短径 0.80 m の楕円形で、長径方向は N - 23° - W である。深さは 152 cm で、底面は平坦であり、壁はほぼ直立している。

**覆土** 9層に分層できる。各層にロームブロックが多く含まれていることから、人為堆積である。中央部の第 1～3層は円筒状に堆積しており、柱の抜き取り、あるいは掘り返しの痕跡と考えられる。

**遺物出土状況** 縄文土器片 489 点（深鉢 414、浅鉢 1、台付鉢 1、壺 1、製塩土器 72 5.019 g）、土製品 6 点（土偶 1、土器片円盤 5）、石器 1 点（石鏃）、剥片 1（黒曜石）、貝殻 762 点（ウミナナ 1、カノコガイ 1、カワアイ 1、サルボウ片、シオフキ 2、ハマグリ 134、マツカサガイ片、ヤマトシジミ 623 1.5249 g）、骨 4618 g が出土している。1～3・6・10 は、中央部の覆土上層（第 1・2層）から、破片が集積された状態で出土している。骨は、同定分析の結果、イノシシ 2 点（頭蓋骨）、ニホンジカ 3 点（肩甲骨 2、中足骨 1）が確認できた（「第 3 章第 4 節 自然科学分析 3」参照）。

**所見** 時期は、出土土器から晩期前葉（安行 3 a 式期）と考えられる。



- 土層解説**
- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量
  - 2 暗褐色 ロームブロック中量
  - 3 黒褐色 ロームブロック少量
  - 4 灰青褐色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量
  - 5 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
  - 6 灰青褐色 ローム粒子中量
  - 7 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
  - 8 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
  - 9 暗褐色 ロームブロック微量

第 95 図 第 1274 号土坑実測図



第96図 第1274号土坑出土遺物実測図

第65表 第1274号土坑出土遺物一覧(第96図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(150)	-	長石・石英・赤色 粘土	灰褐色	普通	口縁部に2輪1対の横長刺 胴部縄文肌, 変形の稲 妻状刺縄文 無文部磨き 胴部ナデ 内面ナデ	中央部上層	20% PL27 安行3a式
2	縄文土器	深鉢	-	(180)	-	長石・石英・黒緑・ 赤色粘土	にがい褐色	普通	胴部に沈線周刺み 胴曲部に1条の刻み列 胴部 磨り 内面磨い磨き	中央部上層	30% 晩期前層
3	縄文土器	深鉢	-	(201)	-	長石・石英	灰黄褐色	普通	口縁部肥厚 粗刺粘付 胴部縦位の条刺 内面粗 い磨き	中央部上層	20% PL27 晩期前層
4	縄文土器	深鉢	-	(114)	-	長石・石英・赤色 粘土	灰褐色	普通	口縁部打点線刺文だがやや肥厚気味 胴部縦位の区画文 一帯爪状の北刺文 胴部磨い磨き 胴部区画文	覆土中	30% PL27 晩期前層
5	縄文土器	盃	-	(81)	-	長石・石英	黒褐色	普通	1対口土器 口縁部縄文1対 束帯の弧線文 胴部縦刺 突を伴う横刺文 無文部・内面非常に丁寧に磨き	覆土中	安行3a式



番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考	
6	縄文土器	製塩土器	-	(9.5)	-	長石・石英・雲母	靑	普通	口唇部内張り状 内面ナデ	口縁部横径・胴部縦位の削り	中央部上層	晩期前葉
7	縄文土器	製塩土器	-	(7.7)	-	長石・石英・赤色 粒子	靑	普通	口唇部縁み上げ状 器面大きく剥離	内面ナデ	覆土中	晩期前葉
8	縄文土器	製塩土器	-	(5.8)	-	長石・石英・赤色 粒子	靑	普通	口唇部外張り状 一部剥離	外面縦位の削り	覆土中	晩期前葉

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
9	土偶	(5.5)	(5.9)	(2.2)	(53.1)	長石・石英	黒褐	中空 胴部 区画内に沈線による交互弧線文	覆土中	晩期前葉

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
10	石鏝	(2.1)	(1.1)	(0.4)	(0.69)	頁岩	凸基有茎 端部欠損	中央部上層(PL8)	

### 第 1275 号土坑 (第 97～99 図 第 66～68 表 PL23・78・80)

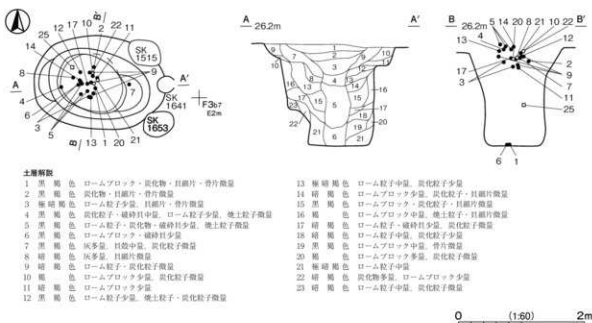
位置 調査 C 区の F 3a6 区、標高約 26 m の平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 1515・1641・1653 号土坑に掘り込まれている。

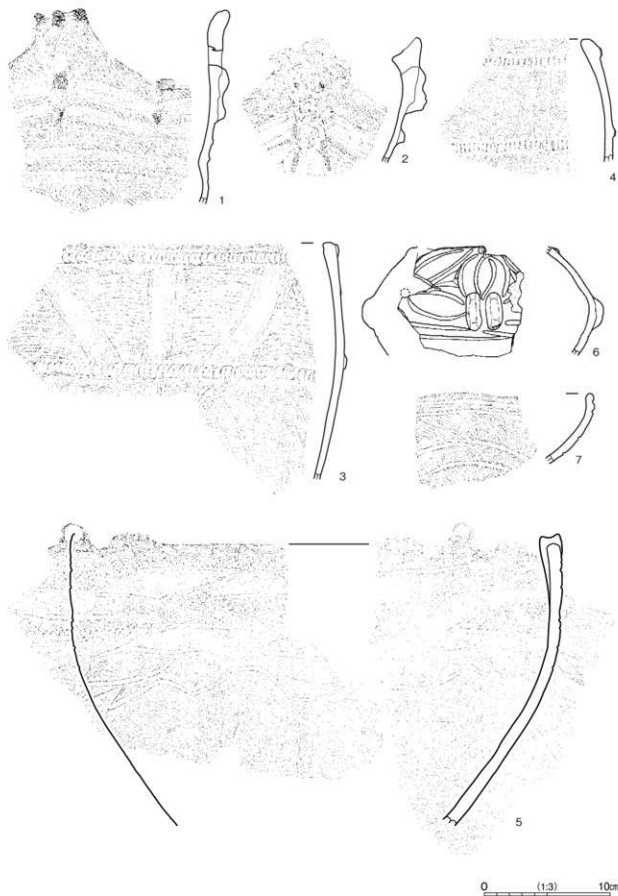
規模と形状 長径 2.08 m、短径 1.46 m の楕円形で、長径方向は N - 83° - W である。深さは 140 cm で、底面は平坦であり、壁は外傾している。

覆土 23 層に分層できる。各層にロームブロックや炭化物、灰、貝殻、破砕貝などが多く含まれていることから、人為堆積である。中央部の第 1～8 層は漏斗状に堆積しており、柱の抜き取り、あるいは掘り返しの痕跡と考えられる。

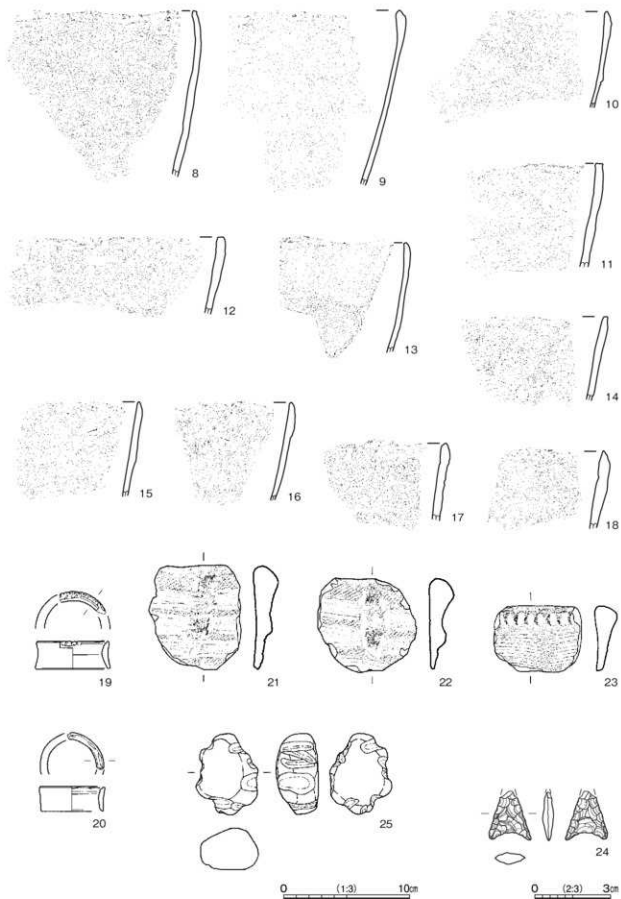
遺物出土状況 縄文土器片 1,480 点 (深鉢 945、浅鉢 1、鉢 2、台付鉢 5、壺 1、異形台付土器 1、製塩土器 525 19,693 g)、土製品 13 点 (耳飾り 2、土器片円盤 11)、石器 2 点 (石鏝、砥石)、剥片 2 (チャート)、貝殻 2,620 点 (4,035.7 g)、骨 1,612.7 g が出土している。土器類は、中央部の漏斗状の範囲を中心に出土しており、2～5・7～14・17・20～22 は覆土上層 (第 1～3 層) から破片が集積された状態で、1・6 は中央部の底面から、25 は北西部の覆土中層から出土している。貝殻は 16 種が確認できた。主な貝種は、ヤマトシ



第 97 図 第 1275 号土坑実測図



第 98 图 第 1275 号土坑出土实物实画图 (1)



第 99 图 第 1275 号土坑出土遗物实测图 (2)

ジミが2294点(最小個体数939点)で87.6%, 次いでハマグリが229点(最小個体数129点)で8.7%, マツカサガイが48点(最小個体数23点)で1.8%, シオフキが32点(最小個体数17点)で1.2%である。骨は、同定分析の結果、イノシシ2点(頭蓋骨、頭椎)、ニホンジカ5点(下顎骨、仙骨、肩甲骨、大腿骨、脛骨)が確認できた。ニホンジカの下顎骨は、歯牙萌出状況及び遊離歯牙の検出状況から、年齢が7.5歳以上と推定される(「第3章第4節 自然科学分析 4」参照)。

所見 時期は、出土土器から後期後葉～晩期前葉(安行2式～安行3a式期)と考えられる。

第66表 第1275号土坑出土未掲載土器集計表

器	第9群							第10群				第11群		第12群		合計		
	甕文	刺突文	磨消文	線刻文(古)	線刻文(新)	磨り目文	条線文	縄文	無文	底部(古)	底部(新)	鉢	台付鉢	台付台付土器	類土器		不明	
点数	39	33	74	56	10	60	3	211	156	279	10	10	1	5	1	514	-	1,462
重量(g)	571	763	1,111	1,233	265	1,292	61	2,623	3,039	3,433	365	117	17	56	40	4,358	278	19,693

第67表 第1275号土坑出土遺物一覧(第98・99図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(15.3)	-	長石・石英・赤色粒子	黒褐色	普通	底状口縁 口縁部3条、底部2条の凹、隆起帯縄文 胴部縄文、凹、北折の交互気線	中央部底面	PL78 安行1式
2	縄文土器	深鉢	-	(10.0)	-	長石・石英	褐色	普通	底状口縁 口縁部3条、隆起帯縄文 胴部粗み幾帯による幾何学文、無文部、内面磨き	中央部上層	PL78 安行2式
3	縄文土器	深鉢	-	(18.7)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	地縄文、凹、口縁部隆起の条線→縦斜状区画、区画内磨き、胴部隆起の条線→横斜状区画、内面ナデ	中央部上層	20% PL78 後期後葉～晩期前葉
4	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英・赤色粒子	褐色	普通	縁部粗み、胴部隆起の条線→横斜状区画、区画内磨き、内面ナデ	西部上層	後期後葉～晩期前葉
5	縄文土器	鉢	[38.4]	(23.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	口縁部2條の縦長突起・底部平磨の縁長突起 地縄文、LR赤紫の縁長突起気線文、胴部上半部気線文、下半部ナデ	中央部上層	40% PL78 晩期前葉
6	縄文土器	甕	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	口縁部2條の気線文、胴部隆起の条線→縦斜状区画、区画内磨き、内面磨き	中央部底面	40% PL78 後期後葉
7	縄文土器	浅鉢	-	(5.5)	-	長石・石英	にぶい褐色	普通	口縁部2條の気線文、胴部、胴部隆起、光面の横帯文、無文部磨き、内面磨き	東部上層	後期後葉
8	縄文土器	頸環土器	-	(13.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐色	普通	口唇部未調整 口縁部隆起、胴部隆起の削り内面ナデ	中央部上層	PL78
9	縄文土器	頸環土器	-	(13.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	口唇部未調整 口縁部隆起、胴部隆起の削り内面ナデ	中央部上層	10% PL78
10	縄文土器	頸環土器	-	(7.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐色	普通	口唇部内側ギタ 胴部削り 上半調整 内面ナデ	中央部上層	
11	縄文土器	頸環土器	-	(8.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐色	普通	口唇部内側ギタ 外面隆起の削り 内面ナデ	中央部上層	
12	縄文土器	頸環土器	-	(6.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐色	普通	口唇部内側ギタ 口縁部隆起 胴部隆起の削り内面ナデ	中央部上層	
13	縄文土器	頸環土器	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐色	普通	口唇部内側ギタ 口縁部隆起 胴部隆起の削り内面ナデ	中央部上層	
14	縄文土器	頸環土器	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	口唇部ナデ 口縁部調整 内面ナデ	中央部上層	
15	縄文土器	頸環土器	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐色	普通	口縁部未調整 外面隆起の削り 内面ナデ	覆土中	
16	縄文土器	頸環土器	-	(7.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐色	普通	口縁部未調整 外面隆起の削り 内面ナデ	覆土上層	
17	縄文土器	頸環土器	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐色	普通	口縁部未調整 外面調整 内面ナデ	中央部上層	
18	縄文土器	頸環土器	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐色	普通	口縁部未調整 外面隆起の削り 内面ナデ	覆土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
19	耳飾り	[6.0]	[6.0]	2.2	(10.5)	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐色	環状 口唇部に細かい削り、内面に狭い施文域、粗みを伴う縦長条状施文	覆土上層	
20	耳飾り	[5.1]	-	2.0	(4.70)	長石・石英	褐色	環状 内面に横長の刺突角と沈線文	中央部上層	
21	土器内磨	8.2	7.4	2.0	83.5	長石・石英・雲母	灰褐色	平縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	中央部上層	
22	土器内磨	7.5	7.9	2.0	63.5	長石・石英・雲母	にぶい褐色	平縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	中央部上層	
23	土器内磨	5.3	7.1	1.8	52.6	長石・石英・雲母	にぶい褐色	瓶頸土器口縁部片利用 周縁打ち欠き	覆土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
24	石磨	(1.9)	1.7	0.5	(0.98)	黒色ガラス質 火山岩	円盤無蓋 先端部欠損	覆土上層	PL80
25	砥石	6.5	5.0	3.4	113.8	砂岩	多方向の縦状の砥痕	北西部中層	PL80

第 68 表 第 1275 号土坑出土貝殻集計表

産 足 綱	点 数				重 量 (g)				備 考	
アコニシ	2				101.3					
アラムシロガイ	5				1.5					
ウミニナ	1				1.9					
オオタニシ	-				1.1				破片のみ	
カワアイ	1				0.8					
キセルガイ	1				0.4					
ヒロクチホノコガイ	1				0.5					
ヘナタリ	3				1.3					
マイマイ類	1				0.8					
小 計	15				109.6					
二 枚 貝 綱	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備 考
オキシジミ	-	1	-	1	-	4.4	-	0.8	5.2	
サルボウ	-	1	-	1	-	9.9	-	4.0	13.9	
シオフキ	15	17	-	32	27.7	29.7	-	5.3	62.7	
ハマダリ	100	129	-	229	225.1	394.1	-	63.3	682.5	
マダキ	-	-	-	-	-	-	-	4.2	4.2	破片のみ
マツカサガイ	23	12	13	48	40.3	20.8	6.3	26.8	94.2	
ヤマシジミ	939	834	521	2,294	1,093.9	1,010.9	448.9	509.7	3,063.4	
小 計	1,077	994	534	2,605	1,387.0	1,469.8	455.2	614.1	3,936.1	
総 合 計	2,629				4,035.7					

第 1281 号土坑 (第 100・101 図 第 69 表 PL79)

位置 調査 C 区の E 3g6 区、標高約 26 m の平坦な台地上に位置している。

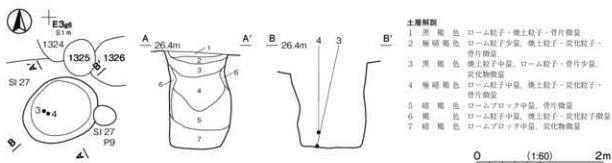
重複関係 第 27 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状 長径 1.22 m、短径 1.00 m の楕円形で、長径方向は N - 61° - E である。深さは 155 cm で、底面は平坦であり、壁はほぼ直立している。

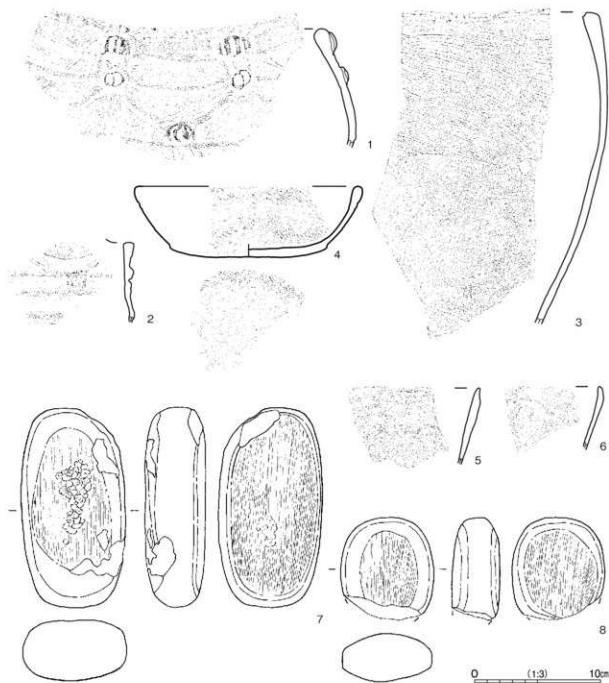
覆土 7 層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子、焼土粒子が多く含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片 508 点 (深鉢 243、浅鉢 1、台付鉢 1、製塩土器 263 5.260 g)、土製品 3 点 (土版 1、土器片円盤 2)、石器 3 点 (磨石)、石核 1 (黒曜石)、骨 69.7 g が出土している。3・4 は西部の底面と覆土下層から、破片の状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から晩期前葉 (安行 3 a 式期) と考えられる。



第 100 図 第 1281 号土坑実測図



第101図 第1281号土坑出土遺物実測図

第69表 第1281号土坑出土遺物一覧(第101図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	—	(94)	—	長石・石英・雲母	黒	普通	風影 口面部R.L.隆起帯縄文による三角形区画文 無文部磨き 内面粗い磨き	覆土中	20% PL79 安行3 a 式
2	縄文土器	深鉢	—	(62)	—	長石・石英	灰黄褐	普通	波状口縁 胴部隆起帯による三角形区画文 無文 部磨き 内面粗い磨き	覆土中	安行3 a 式
3	縄文土器	深鉢	—	(25.0)	—	長石・石英	灰黄褐	普通	口縁部肥厚 口面部横位の条線 胴部磨り 内面 ナデ	西部底面	15% PL79 晩期面磨
4	縄文土器	浅鉢	[176]	5.6	[120]	長石・石英・赤色 粘土	橙	普通	胴部に縄文R.L.充填の文互風線文 底部周縁に縄文帯 底磨き 内面磨き	西部下層	20% PL79 晩期面磨
5	縄文土器	頸環土器	—	(61)	—	長石・石英・赤色 粘土	灰褐	普通	口唇部未調整 外面縦位の削り 内面ナデ	覆土中	
6	縄文土器	頸環土器	—	(51)	—	長石・石英・赤色 粘土	明赤褐	普通	口唇部未調整 外面縦位の削り 内面ナデ	覆土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
7	磨石	15.8	8.3	4.8	972.2	安山岩	隅丸長方形。断面隅丸長方形。表面光沢を持つ磨り面・敲打痕。以縁ならつきのある磨石。裏面凹凸有。	覆土中	
8	磨石 (8A1)	7.4	3.9	(338.7)		安山岩	楕円形。断面隅丸長方形。表面光沢を持つ磨り面。以縁ならつきのある磨石。	覆土中	

#### 第1287号土坑 (第102図 第70表 PL23)

**位置** 調査C区のE 3g7区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第25号堅穴建物跡を掘り込み、第1288号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 径0.48mの円形で、深さは32cmである。底面は平坦であり、壁はほぼ直立している。

**覆土** 4層に分層できる。覆土上～中層(第1～3層)に遺構内貝層が形成されていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片25点(深鉢15、製塩土器10 353g)、貝殻4160点(8,658.1g)、骨1669gが出土している。いずれも細片であるが、後期後葉の粗製深鉢が主体である。貝殻は10種が確認できた。主な貝種は、ヤマトシジミが4,137点(最小個体数1,986点)で99.4%、次いでハマグリが17点(最小個体数11点)で0.4%である。

**所見** 時期は、出土土器から後期後葉と考えられる。

第70表 第1287号土坑出土貝殻集計表

履足綱	点 数			重 量 (g)			備 考			
アラムシロガイ	1			0.6						
ウミノナ	2			1.8						
カワアイ	1			2.0						
キセルガイ	-			0.5			破片のみ			
ムギガイ	1			0.5						
小 計	5			5.4						
二枚貝綱	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備 考
アコガイ	-	-	-	-	-	-	-	3.5	3.5	破片のみ
ハマグリ	5	11	1	17	17.2	42.2	2.3	18.7	80.4	
サルボウ	-	-	-	-	-	-	-	3.4	3.4	破片のみ
マツカサガイ	1	-	-	1	1.0	-	-	1.8	2.8	
ヤマトシジミ	1,941	1,986	210	4,137	4,085.1	4,130.4	207.2	1,309	8,562.6	
小 計	1,947	1,997	211	4,155	4,103.3	4,181.6	209.5	1,583	8,652.7	
総 合 計	4,160			8,658.1						

#### 第1288号土坑 (第102図 第71表 PL23・79)

**位置** 調査C区のE 3f7区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

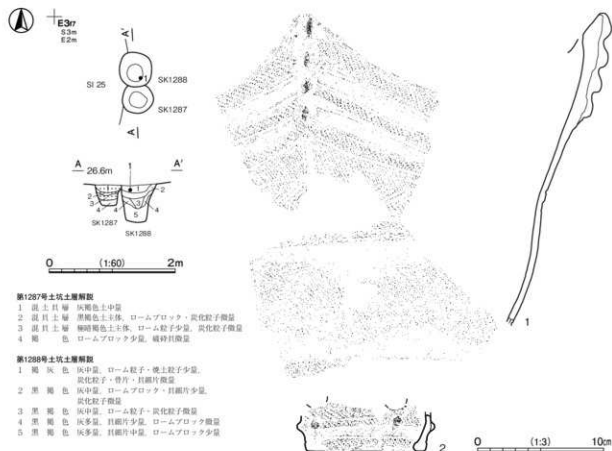
**重複関係** 第25号堅穴建物跡、第1287号土坑を掘り込んでいる。

**規模と形状** 径0.53～0.57mの円形で、深さは52cmである。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。

**覆土** 5層に分層できる。各層に灰や貝殻の細片が多く含まれていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片3点(深鉢2、異形台付土器1 12g)、貝殻235点(ゴイサギ1、ハマグリ3、ヤマトシジミ231 269.3g)、骨39.5gが出土している。1は、中央部の覆土上層から、破片が集積された状態で出土している。

**所見** 時期は、出土土器から後期後葉(安行1式期)と考えられる。



第1287号土坑土層解説

- 1 混土 貝層 灰褐色土中層
- 2 混土 貝層 黒褐色土主体、ロームブロック、炭化粒子微量
- 3 混土 貝層 緑褐色土主体、ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 4 腐土 色 ロームブロック少量、磁碎貝殻量

第1288号土坑土層解説

- 1 腐土 灰 色 灰中層、ローム粒子・焼土粒子少量、炭化粒子・骨片・貝殻片微量
- 2 黒 腐 色 灰中層、ロームブロック、貝殻片少量、炭化粒子微量
- 3 黒 腐 色 灰中層、ローム粒子・炭化粒子微量
- 4 黒 腐 色 灰少量、貝殻片少量、ロームブロック微量
- 5 黒 腐 色 灰少量、貝殻片中層、ロームブロック少量

第102図 第1287・1288号土坑・出土遺物実測図

第71表 第1288号土坑出土遺物一覧 (第102図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(24.7)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐色	普通	底口縁 口縁部3本の丸、器底帯縄文 器底実形刻記文 →底面下部位の器底刻記文、胎部 R1、胎部の交り美観文	中央部上層	30% PL79 安行1式
2	縄文土器	両唇付土器	-	(28)	(9.4)	長石・石英・雲母	細灰	普通	胎部 下部部 R1、種形帯縄文→幅貼付 透かし孔 之全形確認	墓土中 SK1288号土坑	安行1式

第1293号土坑 (第103図 第72表 PL23・79)

位置 調査C区のE3g6区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第25号堅穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状 長径0.93m、短径0.61mの楕円形で、長径方向はN-84°-Eである。深さは110cmで、底面は平坦であり、壁は直立している。

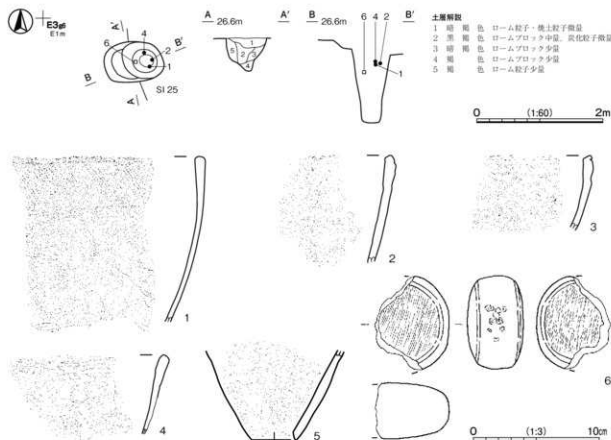
覆土 5層に分層できる。各層にロームブロックが多く含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片116点(深鉢64、製塩土器52 1.165g)、石器1点(磨石)、貝殻18点(アカニシ1、キセルガイ1、シオブキ2、チョウセンハマグリ片、ハマグリ5、ヤマトシジミ9 100.1g)、骨547.8gが出土している。骨は、同定分析の結果、イヌ43点(頭蓋骨1、下顎骨1、頸椎1、胸椎11、腰椎5、肩甲骨1、上腕骨2、桡骨2、尺骨1、中手骨3、寛骨2、大腿骨2、脛骨2、腓骨1、距骨1、踵骨1、中足骨4、尾椎2)、



イノシシ1点(胸椎)、ニホンジカ3点(腕骨1, 基節骨1, 中節骨1)、獣類42点(肋骨38, 胸椎1, 椎骨2, 不明1)、大型獣類2点(頸椎)、サヨリ属1点(胸椎)、ウナギ属1点(尾椎)が確認できた。イヌは、頭蓋骨がほぼ完存した状態で出土しているほか、右大腿骨の近位部端には、骨折の自然治癒痕が残っている。多くの部位が確認できる一方、重なる部位がみられないことから、1個体分の全身骨格と考えられる。年齢は、四肢骨骨端の癒合状況から15歳以上と考えられ、歯牙の摩耗状況から年齢には達していなかったと推定される(「第3章第4節 自然科学分析 4」参照)。

所見 時期は、出土土器から後期後葉と考えられる。イヌの全身骨格が出土しており、埋葬された可能性がある。



第103図 第1293号土坑・出土遺物実測図

第72表 第1293号土坑出土遺物一覧(第103図)

番号	種別	部種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(13.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にひ黄	普通	口唇部ナデ 口縁部に斜糸織 胴部縦位のナデ 内面ナデ 二次焼成顯著	中央部上層	20% PL79
2	縄文土器	製埴土器	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母	にひ黄	普通	口唇部未調整 外面縦位の傾り 内面ナデ	中央部上層	
3	縄文土器	製埴土器	-	(5.9)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰褐	普通	口唇部内傾き状 外面縦位の傾り 内面ナデ	覆土中	
4	縄文土器	製埴土器	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口唇部外傾き状 外面口縁部縦位の傾り 以下斜織 内面ナデ	中央部上層	
5	縄文土器	製埴土器	-	(7.1)	[3.6]	長石・石英	にひ黄	普通	外面縦位の傾り 内面傾き 底部焼成前穿孔 二次焼成顯著	覆土中	
番号	部種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴			出土位置	備考
6	磨石	(7.4)	(6.0)	4.5	(263.5)	安山岩	円形 断面隅丸長方形 表面顯著な磨り面 局部ざらつきのあ り 厚底 一部縦行痕あり			中央部上層	

第 1294 号土坑 (第 104 図 第 73 表 PL79)

位置 調査 C 区の E 3g7 区、標高約 26 m の平坦な台地上に位置している。

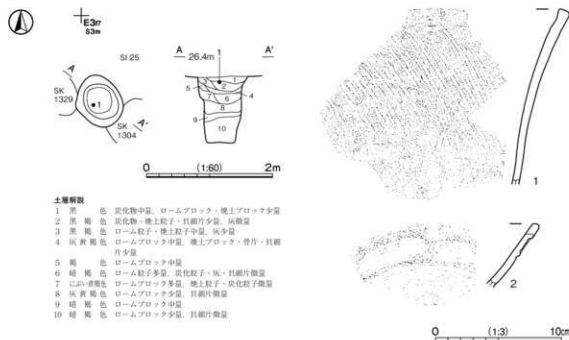
重複関係 第 25 号竪穴建物跡、第 1304・1329 号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径 0.81 m、短径 0.70 m の楕円形で、長径方向は N-54°-W である。深さは 107 cm で、底面は平坦であり、壁はほぼ直立している。

覆土 10 層に分層できる。各層にロームブロックや炭化物が多く含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片 95 点 (深鉢 88、浅鉢 3、台付鉢 1、注口土器 1、異形台付土器 2 1.305 g)、貝殻 82 点 (アラムシロガイ 1、サルボウ 1、シオフキ 1、ハマグリ 1、ヤマトシジミ 78 105.8 g)、骨 1.3864 g が出土している。1 は、中央部の覆土上層から出土している。骨は、同定分析の結果、イノシシ 13 点 (上顎骨 2、下顎骨 4、胸椎 1、腰椎 1、肩甲骨 1、桡骨 1、寛骨 1、大腿骨 1、脛骨 1)、ニホンジカ 11 点 (肩甲骨 2、上腕骨 1、桡骨 2、尺骨 1、中手骨 1、中足骨 1、基節骨 1、中節骨 2) が確認できた。イノシシは、下顎骨から 4 個体が確認できた。歯牙の萌出状況から、年齢は 0.5 歳以下、0.5 歳、1.5 歳以上、2.5 歳と推定され、比較的、幼獣の個体が多い。(「第 3 章第 4 節 自然科学分析 4」参照)。

所見 時期は、出土土器から後期後葉 (曾谷~安行 1 式期) と考えられる。



第 104 図 第 1294 号土坑・出土遺物実測図

第 73 表 第 1294 号土坑出土遺物一覧 (第 104 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(13.9)	-	長石・石英・雲母	近い褐色	普通	外面斜糸線→胴部横位の磨き 内面粗い磨き	中央部上層	曾谷~安行 1 式
2	縄文土器	浅鉢	-	(5.1)	-	長石・雲母	黒褐色	普通	口縁部 2 条の R/L 隆起帯縦文 杵状区画の部分で口縁部磨り 無文部・内面丁寧な磨き	覆土中	PL79 曾谷~安行 1 式

第 1324 号土坑 (第 105 図 第 74 表 PL80)

位置 調査C区のE 3 g6区、標高約 26 mの平坦な台地上に位置している。

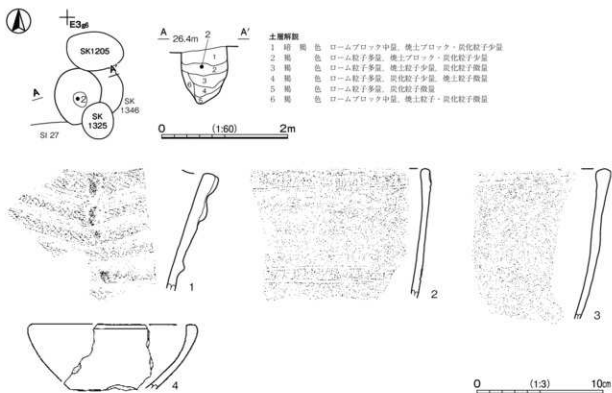
重複関係 第 1346 号土坑を掘り込み、第 27 号竪穴建物、第 1205・1325 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径 0.85 m、短径 0.73 mの楕円形で、長径方向は N-11°-W である。深さは 80 cmで、底面は皿状であり、壁はほぼ直立している。

覆土 6層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子が多量に含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片 47 点 (深鉢 40、浅鉢 1、製塩土器 6 677 g)、土製品 1 点 (土器片円盤)、骨 29.7 g が出土している。2 は、中央部の覆土上層 (第 2 層) から出土している。骨は、同定分析の結果、ニホンジカ 1 点 (腓骨)、獣類 1 点 (四肢骨) が確認できた (「第 3 章第 4 節 自然科学分析 4」参照)。

所見 時期は、出土土器から後期後葉 (安行 1 式期) と考えられる。



第 105 図 第 1324 号土坑・出土遺物実測図

第 74 表 第 1324 号土坑出土遺物一覧 (第 105 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部4条のRL、縁部折線文→横筋付、4条目以降は折線部、底部2条のRL、縁部折線文→横筋付、無文部、内面磨き	覆土中	安行 1 式
2	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英	にぶい	普通	外面斜条線→口縁部、頭部に付点線線文、内面ナデ	中央部上層	PL80 安行 1 式
3	縄文土器	深鉢	-	(11.9)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい	普通	口縁部若干肥厚、外面斜方向の筋、内面ナデ	覆土中	後期後葉
4	縄文土器	浅鉢	(130)	(5.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	外面筋、内面磨き	覆土中	後期後葉

第1357号土坑 (第106～110図 第75・76表 PL24・80～84)

位置 調査C区のF3b6区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

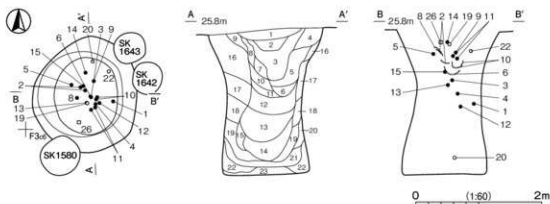
重複関係 第1580・1642・1643号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径1.81m、短径1.63mの楕円形で、長径方向はN-24°-Eである。深さは231cmで、底面は平坦であり、壁はほぼ直立している。

覆土 23層に分層できる。各層にロームや常総粘土層由来の粘土のブロックや粒子が多く含まれていることから、人為堆積である。中央部の第1～15層は不整形な円筒状に堆積しており、柱の抜き取り、あるいは掘り返しの痕跡と考えられる。

遺物出土状況 縄文土器片1,532点(深鉢1,234、浅鉢15、台付鉢9、注口土器2、製塩土器272、30,373g)、土製品17点(土鍋3、耳飾り2、土器片円盤12)、石器・石製品2点(石鍾、石棒)、剥片2点(頁岩、黒曜石)、骨10.4gが出土している。土器類は、中央部の円筒状の範囲を中心に出土しており、2・6・8～11・13～15・19・22・26は覆土上層(第1～6層相当)、1・12は覆土中層(第12層)、20は覆土下層(第19層)から、大型破片が集積された状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から晩期前葉(安行3a式期)と考えられる。



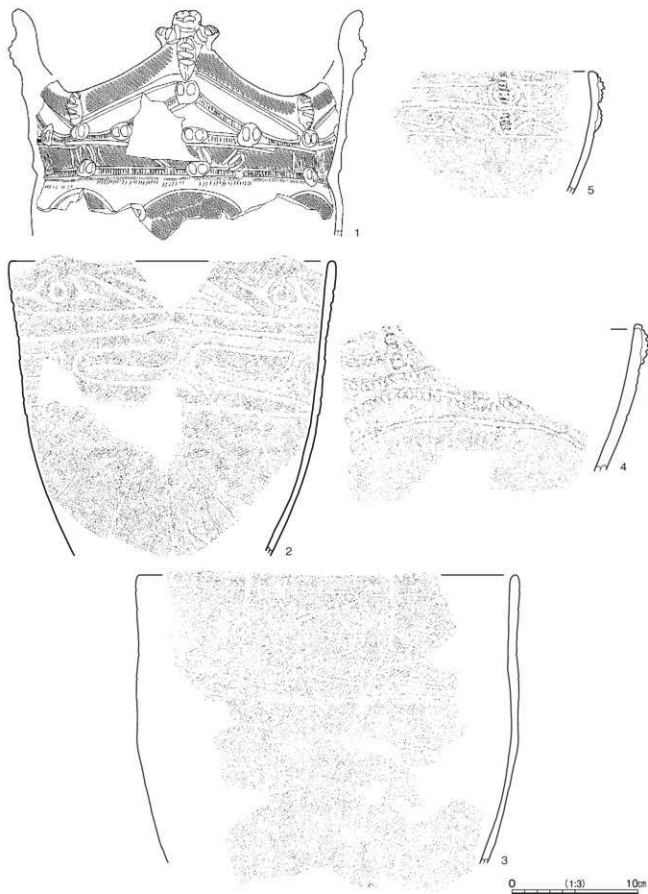
土層解説

- |                                     |                                 |
|-------------------------------------|---------------------------------|
| 1 緑褐色 色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量         | 13 暗褐色 色 粘土粒子中量、ロームブロック・炭化粒子少量  |
| 2 暗褐色 色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量           | 14 黒褐色 色 ロームブロック中量、炭化粒子・粘土粒子少量  |
| 3 黒褐色 色 ロームブロック・粘土粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量  | 15 黒褐色 色 ローム粒子少量、炭化粒子・骨片微量      |
| 4 灰褐色 色 ロームブロック・粘土粒子少量、焼土粒子微量       | 16 暗褐色 色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量      |
| 5 褐色 色 ロームブロック・粘土粒子中量、焼土ブロック・炭化粒子微量 | 17 褐色 色 ロームブロック中量               |
| 6 灰黄褐色 色 ロームブロック中量、粘土粒子少量、焼土ブロック微量  | 18 褐色 色 ロームブロック・粘土ブロック中量、炭化粒子微量 |
| 7 灰褐色 色 粘土粒子少量、ロームブロック少量            | 19 暗褐色 色 ロームブロック中量、炭化粒子微量       |
| 8 暗褐色 色 粘土粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量          | 20 褐色 色 ロームブロック少量               |
| 9 灰黄褐色 色 粘土ブロック中量、炭化粒子微量            | 21 黒褐色 色 ローム粒子・炭化粒子少量、骨片微量      |
| 10 濃い黄褐色 色 粘土ブロック多量                 | 22 褐色 色 ロームブロック多量               |
| 11 灰褐色 色 粘土粒子少量、炭化粒子微量              | 23 灰褐色 色 粘質土 ロームブロック・炭化粒子微量     |
| 12 黒褐色 色 ロームブロック・粘土粒子少量             |                                 |

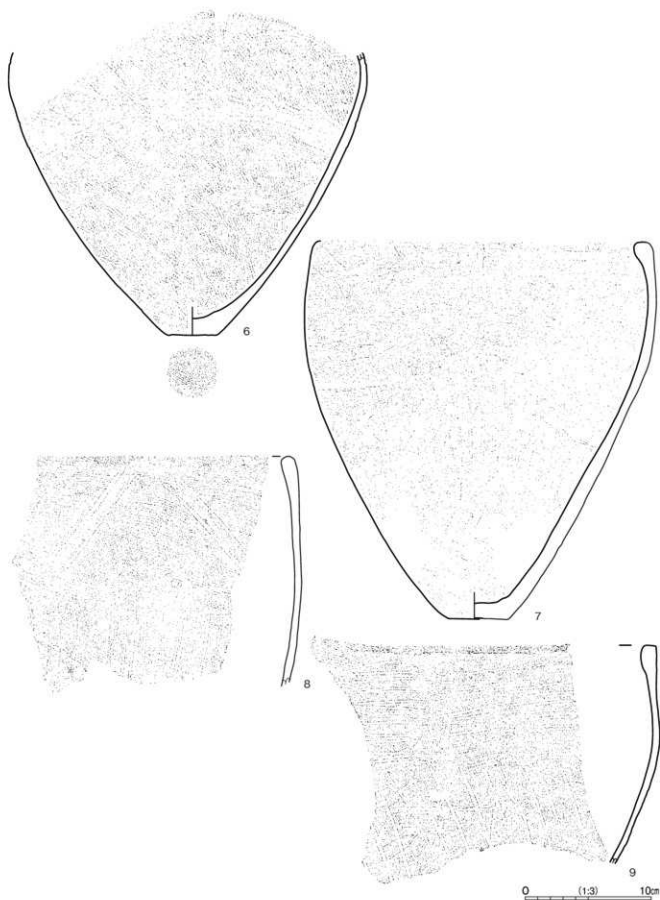
第106図 第1357号土坑実測図

第75表 第1357号土坑出土遺物一覧(第107～110図)

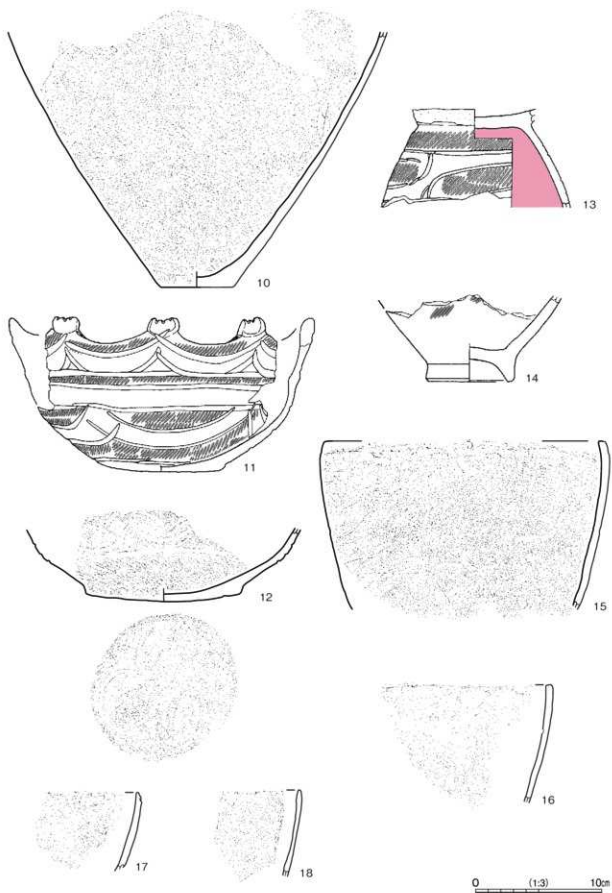
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	[27.4]	(18.3)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	4車足の成状口縁、口部基部A形器による三角形凹文面彫刻、縄文・風織文、胴部RL縄文充填の交り風織文	東部上層	40% PL80 安行2式
2	縄文土器	深鉢	[25.6]	(23.3)	-	長石・石英・雲母	濃い黄褐色	普通	口縁部上段光面の土留き三叉文、胴部縄文LR光面のL形帯状文、胴部上段縄文の凹線文	中央部上層	40% PL80 大形器2式
3	縄文土器	深鉢	[29.8]	(22.9)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	濃い黄褐色	普通	口部上段LR光面の帯状凹線文、口部底に2-4本1車足の短A、胴部上半LR縄文帯、下半開口、胴部直線	中央部上層	30% PL81 安行2-3式
4	縄文土器	深鉢	-	(11.6)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	成状口縁か、口部部刺突を伴う化線による菱形凹文、胴部上部縦長帯、胴部下半平たい凹文	中央部上層	40% PL80 安行2-3式
5	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英・雲母	濃い黄褐色	普通	口部部成状口縁長帯による2本の横文帯、下半凹入縦文、胴部開口、内面十字	中央部上層	30% PL81 安行上-3式
6	縄文土器	深鉢	-	(22.4)	4.0	長石・石英・雲母	橙	普通	胴部上半RL縄文充填の交り風織文、下半RL縄文、底部副代帯を一部磨り消し	中央部上層	40% PL82 安行3a式



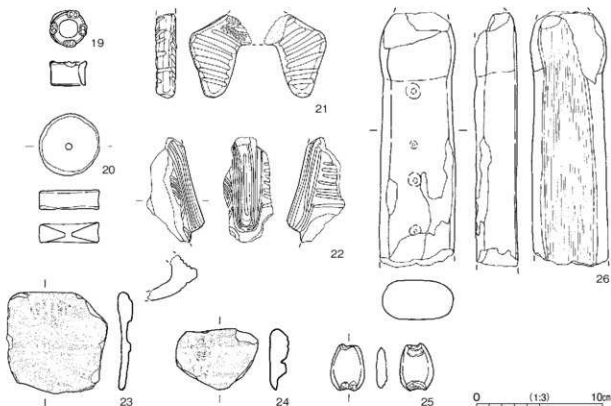
第 107 图 第 1357 号土坑出土遗物实测图 (1)



第 108 图 第 1357 号土坑出土遗物实测图 (2)



第 109 图 第 1357 号土坑出土遗物实测图 (3)



第110図 第1357号土坑出土遺物実測図(4)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
7	縄文土器	深鉢	26.4	29.9	4.8	長石・石英・雲母 赤色砂子	にぶい橙	普通	口縁部厚 口頸部傾位の糸織 底部分ナテ 内面ナテで下手に僅かな帯状に付着	覆土上層	90% PL83 晩期前葉
8	縄文土器	深鉢	-	(18.2)	-	長石・石英・雲母・ 赤色砂子	橙	普通	口縁部厚 口頸部傾位の糸織 口頸部に斜行の杖 織文・内面ナテ	中央部上層	30% PL80 晩期前葉
9	縄文土器	深鉢	-	(17.5)	-	長石・石英・細織	橙	普通	口縁部厚 口頸部傾位の糸織 内面 ナテ	中央部上層	15% PL81 晩期前葉
10	縄文土器	深鉢	-	(20.0)	6.0	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部傾位の糸織 内面・底部分ナテ 内面底部から り→15cmの織文で器底に付着	中央部上層	40% 晩期前葉
11	縄文土器	浅鉢	[24.3]	12.2	10.3	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	横状突起の帯状口縁 口唇部に杖織文 口頸部縦織文と 三文文 胴部LR赤織の縦織文 内面粗い磨き	中央部上層	90% PL82 安行3 a式
12	縄文土器	浅鉢	-	(5.8)	12.4	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	胴部にRL織文光輝の交互縦織文 底部にRL織文 北側の器形文組品の文様 内面粗い磨き	中央部中層	30% PL82 573a-33.5
13	縄文土器	台付鉢	-	(7.8)	-	長石・石英・赤色 砂子	褐色	普通	台付縁部厚 上は光輝の入船帯杖文 無文部磨き 内面ナテ 赤砂	中央部上層	30% PL82 大淵B 2式
14	縄文土器	台付鉢	-	(6.8)	6.8	長石・石英	明褐色	普通	高台状 外面織文LR 内面ナテ	中央部上層	15% 晩期前葉
15	縄文土器	頸環土器	(22.0)	(13.3)	-	長石・石英	灰褐色	普通	口唇部内面ナテ 口縁部傾位・胴部傾位の削り 内面粗い磨き	中央部上層	15% PL81 晩期前葉
16	縄文土器	頸環土器	-	(9.4)	-	長石・石英	黒褐色	普通	口唇部内面ナテ 口縁部傾位・胴部傾位の削り 内面粗い磨き 15と同一	覆土中層	晩期前葉
17	縄文土器	頸環土器	-	(6.2)	-	長石・石英・赤色 砂子	にぶい黄褐色	普通	口縁部未調整 外面傾位の削り 内面ナテ	覆土中層	晩期前葉
18	縄文土器	頸環土器	-	(6.9)	-	長石・石英・赤色 砂子	橙	普通	口縁部未調整 外面傾位の削りだが磨成著しい 内面ナテ	覆土中層	晩期前葉

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
19	耳飾り	3.0	3.0	1.9	10.7	長石・石英・雲母・ 赤色砂子	褐色	扇状 内面施文部の発達ない、4単位の縁幕状扇 貼付	中央部上層	PL84
20	耳飾り	4.9	4.9	1.6	34.6	長石・石英・雲母・ 赤色砂子	橙	白型 中央部に貫通孔	北部下層	PL84
21	土偶	(6.7)	(5.0)	(1.7)	(42.0)	長石・石英・雲母・ 赤色砂子	にぶい橙	ミニ文や彫脚部 扁平 正面顔部に無施文 縦織文と 三文文 脚部趾織文	覆土上層	PL84
22	土偶	(8.4)	(4.0)	(4.6)	(63.0)	長石・石英・雲母・ 赤色砂子	橙	中空 肩部へ肩パット状の隆起 表面縦織文に よる文様挿入	北部上層	
23	土器片内面	7.8	8.0	1.2	64.9	長石・赤色砂子	にぶい黄褐色	瓢形深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	覆土上層	
24	土器片内面	4.8	6.6	1.5	35.6	長石・石英	橙	平縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き 一部研削	覆土上層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
25	石鉢	3.7	2.6	0.9	9.8	安山岩	確石鉢 長軸横上下打ち欠き	覆土中層	
26	石棒	(20.3)	(6.1)	(3.4)	(792.6)	緑色片岩	石籠・四石に転用 有頭 焼熟	南部上層	PL84



第76表 第1357号土坑出土未掲載土器集計表

期	第1章			第9章							第10章			第11章		第12章		第13章	合計
	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	前期	
点数	3	35	52	85	77	10	70	7	273	146	421	35	13	7	2	398	-	1,514	
重量	39	759	1,163	1,177	2,643	183	1,610	116	5,981	2,412	6,107	2,721	647	276	41	2,697	1,801	30,323	

第1373号土坑 (第111・112図 第77表 PL26・81・82)

位置 調査C区のF3d5区、標高約25mの台地縁部に位置している。

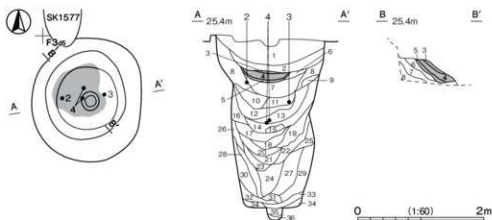
重複関係 第1577号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径1.94m、短径1.74mの楕円形で、長径方向はN-5°-Eである。深さは273cmで、底面は平坦である。底面の中央部には、径27cmの円形で、深さ20cmの凹みがある。壁はほぼ直立している。

覆土 36層に分層できる。各層は、ロームや常総粘土層由来の粘土のブロックや粒子が多く含まれており、含有物や色調などが異なる複雑な堆積状況を示していることから、短期間で埋め戻されている。また、覆土上層には焼土塊(第3～5層)が確認でき、埋め戻す過程で投げ込まれたものと考えられる。

遺物出土状況 縄文土器片551点(深鉢458, 浅鉢5, 台付鉢1, 注口土器2, 製塩土器85, 10,273g)、土製品6点(土版1, 耳栓1, 土器片円盤4)、石器1点(磨石)が出土している。土器類は、覆土中層(第8～13層)を中心に出土している。3は、ほぼ完形で、東部の覆土中層から口縁部を上方向に向けた斜位の状態です。

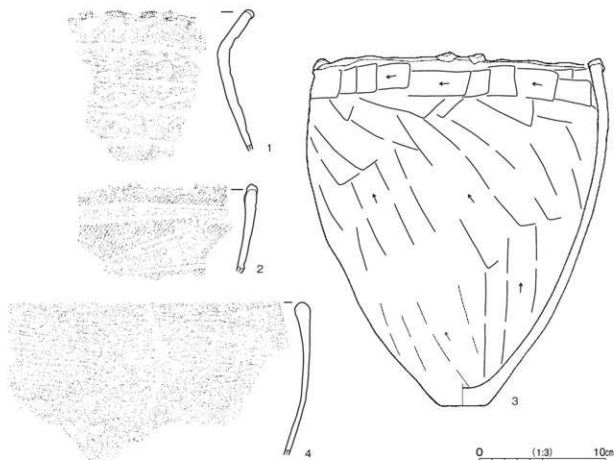
所見 時期は、出土土器から晩期前葉(安行3b式期)と考えられる。



土層解明

- |           |                           |           |                          |
|-----------|---------------------------|-----------|--------------------------|
| 1 灰青褐色    | 砂粒少量、焼土粒子・炭化粒子微量          | 19 暗褐色    | ローム粒子中量、炭化粒子微量           |
| 2 暗褐色     | 砂粒少量、焼土粒子微量               | 20 暗褐色    | 粘土ブロック中量、ローム粒子少量         |
| 3 暗赤褐色    | 焼土粒子中量、炭化粒子・骨片微量          | 21 黒褐色    | ロームブロック少量                |
| 4 赤褐色     | 焼土粒子多量、炭化粒子・骨片微量          | 22 黒色     | 焼土粒子少量、粘土粒子微量            |
| 5 暗赤褐色    | ローム粒子中量、焼土粒子少量、炭化粒子・骨片微量  | 23 暗褐色    | ローム粒子少量、炭化粒子微量           |
| 6 灰青褐色    | 粘土ブロック中量、ロームブロック少量、焼土粒子微量 | 24 暗褐色    | ローム粒子少量、焼土ブロック少量         |
| 7 黒褐色     | 砂粒少量、ロームブロック・焼土粒子・骨片微量    | 25 暗褐色    | ローム粒子・焼土粒子少量、粘土粒子微量      |
| 8 黒褐色     | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子・粘土粒子微量  | 26 暗褐色    | ローム粒子・焼土粒子・粘土粒子少量、炭化粒子微量 |
| 9 灰青褐色    | ロームブロック中量、粘土ブロック少量        | 27 暗褐色    | ロームブロック・焼土粒子少量           |
| 10 暗褐色    | ロームブロック少量                 | 28 暗褐色    | ロームブロック少量、炭化粒子微量         |
| 11 黒褐色    | 粘土ブロック・砂粒少量               | 29 暗褐色    | 焼土粒子少量、粘土粒子微量            |
| 12 黒褐色    | ロームブロック微量                 | 30 暗褐色    | ロームブロック・粘土粒子少量、炭化粒子微量    |
| 13 暗褐色    | ロームブロック少量                 | 31 にい・黄褐色 | 粘土ブロック多量                 |
| 14 暗褐色    | 砂粒少量、ロームブロック・焼土粒子・骨片微量    | 32 黒褐色    | 粘質土                      |
| 15 にい・黄褐色 | 粘土ブロック多量、ロームブロック少量、炭化粒子微量 | 33 暗褐色    | 粘質土                      |
| 16 暗褐色    | ロームブロック多量                 | 34 にい・黄褐色 | 粘質土、砂粒中量                 |
| 17 暗褐色    | 焼土粒子中量、炭化粒子微量             | 35 暗褐色    | 粘質土、砂粒中量                 |
| 18 暗褐色    | ローム粒子微量                   | 36 灰褐色    | 粘質土                      |

第111図 第1373号土坑実測図



第112図 第1373号土坑出土遺物実測図

第77表 第1373号土坑出土遺物一覧 (第112図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(112)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	広口器状 口唇部に二重突起 外傾するLR縄文帯 胴部にはLR文塊の交り風割文施文 内面口縁部横き	覆土上層	PL81 安行3b式
2	縄文土器	深鉢	-	(70)	-	長石・石英	黒褐	普通	口唇部にLR縄文文塊の端部状割縄文施文 口唇部と胴部を有する横長楕円形 内面ナデ	西部中層	PL81 安行3a-3b式
3	縄文土器	深鉢	22.5	28.2	3.7	長石・石英・雲母	にがい褐	普通	口唇部に二重突起4単位 口縁部横位・胴部縦位の傾り 内底面から5~15cmの位置で帯状に横付き 底部ナデ	東部中層	100% PL82 地面面番
4	縄文土器	深鉢	-	(121)	-	長石・石英・粗砂	にがい黄赤	普通	口唇部横位→胴部縦位の条線 内面ナデ	中央部中層	30% 安行3b式

第1391号土坑 (第113図 第78表 PL25・83)

位置 調査C区のF 3a4区。標高約26mの平坦な台地上に位置している。

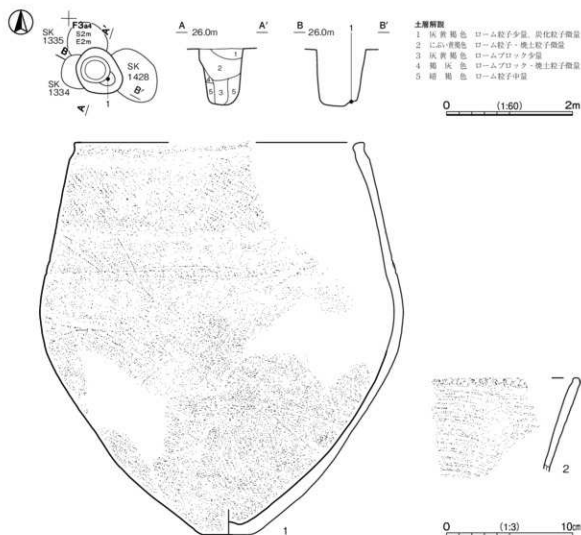
重複関係 第1334・1335・1428号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径0.78m, 短径0.65mの楕円形で, 長径方向はN-40°-Wである。深さは78cmで, 底面は皿状であり, 壁はほぼ直立している。

覆土 5層に分層できる。不規則な堆積状況を示していることから, 人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片33点(深鉢 521g)が出土している。1は, 口縁部から胴部にかけての3割程度が欠損している大型の深鉢で, 東部の底面から横位の状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から後期後葉(曾谷式期)と考えられる。



第113図 第1391号土坑・出土遺物実測図

第78表 第1391号土坑出土遺物一覧(第113図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	[229]	31.1	4.3	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	口縁部内縁 肥厚弱 胴部L 縄文光斑の横帯文 胴部上平L 光斑の交互縦帯文 下平L 縄文 内面風いざき	東部底面	70% PL&K 笠谷式
2	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部に細い縦線文 胴部横位の条線 内面磨き	覆土中	後期後葉

#### 第1403号土坑(第114図 第79表 PL27・84・85)

**位置** 調査C区のF 3 a5区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第1533・1534号土坑を掘り込んでいる。

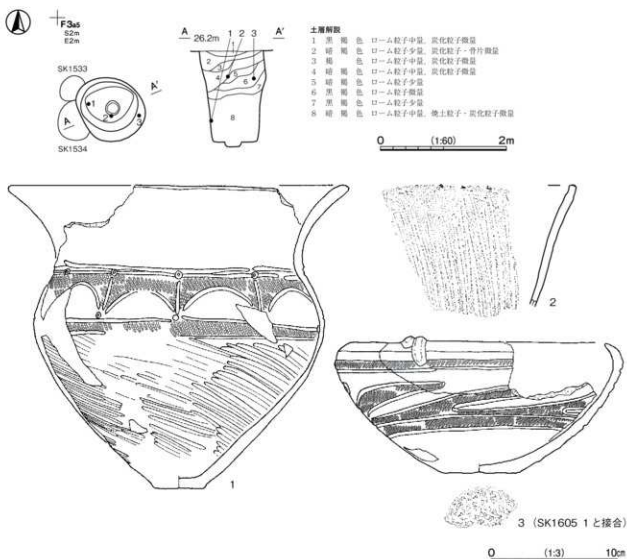
**規模と形状** 長径1.13m、短径1.00mの楕円形で、長径方向はN-67°-Wである。深さは114cmで、底面は平坦であり、中央部には径22cmの円形で、深さ8cmの凹みがある。壁はほぼ直立している。

**覆土** 8層に分層できる。ローム粒子が多く含まれており、東側から埋め戻された堆積状況を示している。

**遺物出土状況** 縄文土器片216点(深鉢215、浅鉢1 4.448g)、土製品2点(土器片円盤)が出土している。1は、口縁部から胴部上半にかけての3割程度が欠損している深鉢で、西部の覆土下層から横位の状態で出土している。2は中央部、3は東部の覆土中層からそれぞれ出土しており、3は口縁部の一部が第1605号土坑

から出土した破片と接合している。

所見 時期は、出土土器から後期中葉（加曾利B 2式～加曾利B 3式期）と考えられる。



第 114 図 第 1403 号土坑・出土遺物実測図

第 79 表 第 1403 号土坑出土遺物一覧（第 114 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	[26.2]	24.1	4.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	にじみ褐色	普通	胴部区画内に弧線文と両端に何本を伴う区画沈線 RL、縄文支線 胴部条線 内面磨き	西部下層	70% PL85 併用土器Ⅱ式
2	縄文土器	深鉢	-	(9.6)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐色	普通	口面部縦位の条線 内面口縁部に凹線	中央部中層	PL86 後期止業
3	縄文土器	浅鉢	[20.4]	10.8	(6.0)	長石・石英・雲母	褐色	普通	屈曲する口縁部に磨研付 胴部LRを帯の或状文の無 文部・内面磨き 底部刷状線 SK1605 1と接合	東部中層	40% PL85 前期B 2式

### 第 1437 号土坑（第 115 図 第 80・81 表 PL.27・84・85）

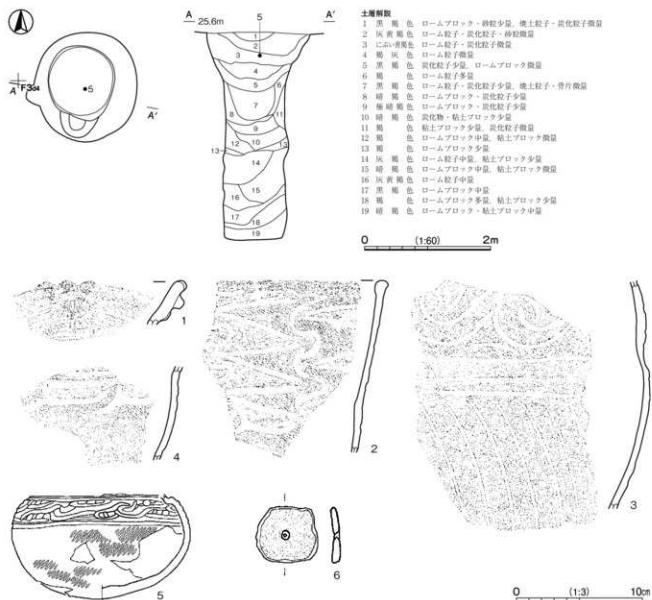
位置 調査C区のF 3c4区、標高約 25mの台地縁辺部に位置している。

規模と形状 径1.62～1.70mの円形で、深さは328cmである。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。

覆土 19層に分層できる。各層にロームや常態粘土層由来の粘土のブロックや粒子が多く含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片1,153点(深鉢1,110, 浅鉢3, 鉢2, 台付鉢1, 壺2, 製塩土器35 24,865 g), 土製品9点(有孔円盤1, 土器片円盤8), 石器1点(磨石), 軽石1点が出土している。5は, 覆土上層から, 正位の状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から晩期前葉(安行3 a 式期)と考えられる。



第115図 第1437号土坑・出土遺物実測図

第80表 第1437号土坑出土遺物一覧(第115図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	浅鉢	-	(3.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口唇部に3山の突起 肩部厚み隆帯と横長瘤・秋巻状瘤による文様編み 内面滑光	覆土上層	安行2式
2	縄文土器	深鉢	-	(13.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部に2山, 光面の暗帯状編みと横行化線文 胴部に入組三又文 内面ナデ 4と同一	覆土中層	PL84 安行3 a 式
3	縄文土器	深鉢	-	(18.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	胴部にLR, 充填の入組三又帯状文 胴部上半 LR, 隆起帯縄文 胴部粗い条線 内面ナデ	覆土中層	15% PL84 安行3 a 式
4	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	胴部に入組三又文 内面ナデ 1と同一	覆土中層	安行3 a 式
5	縄文土器	壺	-	(8.4)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	胴部に羊歯状文 胴部LR 縄文横位筋文 内面ナデ 表面の散成条線	覆土中層	20% PL85 大塚BC 式

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
6	有孔円盤	4.5	4.9	0.8	19.5	長石・石英・赤色粘土	橙	胴部片利用 周縁打ち欠き 中央部に焼成後穿孔	覆土中	

第81表 第1437号土坑出土未掲載土器集計表

期	第4期		第5期		第6期		第7期		第8期		第9期		第10期		第11期		第12期		合計					
	加賀式Ⅰ式	加賀式Ⅱ式	安行1式	安行2式	安行3a式	安行3b式	北越文	河内文	普通文	後刻帯織文	群青文(点)	群青文(線)	群青文(斜)	群青文(縦)	群青文(横)	群青文(斜)	群青文(縦)	群青文(横)						
点数	1	1	9	10	4	15	11	77	82	38	20	61	6	207	86	496	13	2	2	1	1	35	-	138
重量(g)	21	15	311	855	194	403	92	1,983	1,642	719	446	1,488	113	30,035	1,239	6,194	6,530	28	37	16	6	292	715	2495

### 第1460号土坑 (第116図 第82表 PL27・84・85)

位置 調査C区のF3a5区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

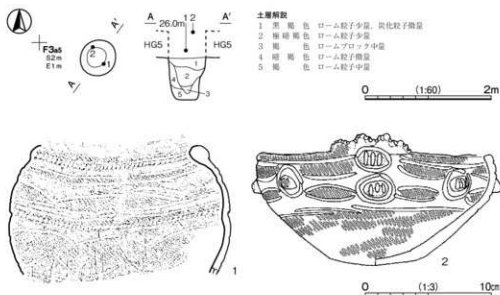
確認状況 第5号遺物包含層の調査過程で確認し、本跡が掘り込んでいと判断した。

規模と形状 確認できた規模は、径0.50～0.57mの円形で、深さは62cmである。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。

覆土 5層に分層できる。不規則な堆積状況を示していることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片17点(深鉢16、浅鉢1 201g)が出土している。2は、北部の覆土上層から逆位の状態で、1は、南東部の覆土中層から出土している。

所見 時期は、出土土器から晩期前葉(安行3a式期)と考えられる。



第116図 第1460号土坑・出土遺物実測図

第82表 第1460号土坑出土遺物一覧(第116図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	130	(102)	—	長石・石英・雲母・赤色粘土	橙	普通	胴形 胴部にRL光線の波形状区画文 胴部上半部、光線の交互風織文	南東部中層	40% PL84 安行3a式
2	縄文土器	浅鉢	18.2	10.1	7.0	長石・石英	灰黄緑	普通	口縁部突起1単位 口縁部7単位の複集状帯を中心にRL光線の風織文とRL光線のメッシュ状風織文で表裏対称模様	北部上層	100% PL85 安行2-3a式

第 1463 号土坑 (第 117 図 第 83 表 PL28・85)

位置 調査C区のF3c5区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

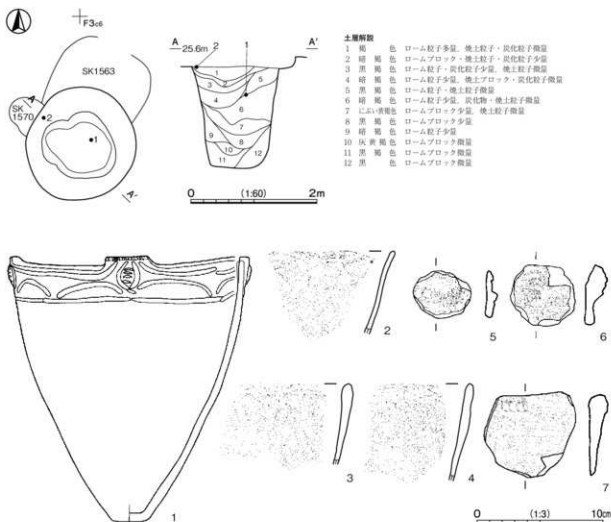
重複関係 第1563・1570号土坑、第5号遺物包含層を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.82m、短径1.69mの楕円形で、長径方向はN-27°-Eである。深さは181cmで、底面は平坦であり、壁はほぼ直立している。

覆土 12層に分層できる。各層にローム粒子や焼土粒子が含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片471点(深鉢425、浅鉢1、鉢1、台付鉢1、製塩土器43 11.493g)、土製品13点(土器片円盤)、石器1点(磨石)、剥片1点(頁岩)、骨4.4gが出土している。1は中央部の覆土上層から、大型破片が土圧で潰れた状態で、2は北西部の覆土上層から破片の状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から晩期前葉(安行3a式期)と考えられる。



第 117 図 第 1463 号土坑・出土遺物実測図

第 83 表 第 1463 号土坑出土遺物一覧 (第 117 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	[188]	21.2	2.8	長石・石英・雲母	にじみ褐色	普通	口縁部4単位の中形状態、注瀬による垂形状区画文 製法不明 内面中位で磨状に採行 底平ナデ	中央部上層	60% F1.85 晩期前葉
2	縄文土器	製塩土器	-	(6.5)	-	長石・石英	橙	普通	口縁部外周ミ状 外面斜方向の削り 内面ナデ	北西部上層	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
3	縄文土器	環状土器	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口唇部ナデ 外面斜方向の張り 内面ナデ	覆土上層	
4	縄文土器	環状土器	-	(7.7)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口唇部外側ナデ 外面斜方向の張り 内面ナデ	覆土上層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
5	土器片内盤	3.7	4.7	1.1	18.2	長石・石英・雲母	明赤褐色	割部片利用 周縁打ち欠き	覆土中	
6	土器片内盤	4.9	5.2	1.7	28.9	長石・石英	灰黄褐色	破状口縁口縁部片利用 周縁打ち欠き	覆土上層	
7	土器片内盤	6.4	7.3	1.6	66.9	長石・石英・雲母	明赤褐色	瓶製土器口縁部片利用 周縁打ち欠き	覆土上層	

#### 第 1464 号土坑 (第 118・119 図 第 84 表 PL28・84・85)

位置 調査 C 区の F 3c5 区、標高約 26 m の平坦な台地上に位置している。

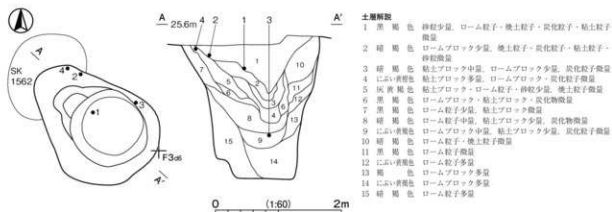
重複関係 第 1562 号土坑、第 5 号遺物包含層を掘り込んでいる。

規模と形状 長径 2.20 m、短径 1.65 m の楕円形で、長径方向は N - 47° - W である。深さは 227 cm で、底面は平坦であり、壁は外傾している。

覆土 15 層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子、常総粘土層由来の粘土ブロックが多量に含まれていることから、人為堆積である。第 1 ~ 9 層は、漏斗状に堆積しており、柱の抜き取り、あるいは掘り返し  
の痕跡と考えられる。

遺物出土状況 縄文土器片 248 点 (深鉢 227、浅鉢 2、鉢 1、台付鉢 1、製塩土器 17 7.827 g)、土製品 5 点 (土器片円盤)、石器 1 点 (磨石)、銅片 2 点 (頁岩、チャート) が出土している。土器類は、北西部から中央部にかけての漏斗状の範囲から出土しており、1・2・4 は北西部から中央部にかけての覆土上層、3 は北東壁際の覆土下層から、破片が散在した状態でそれぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から後期後葉 (安行 2 式期) と考えられる。

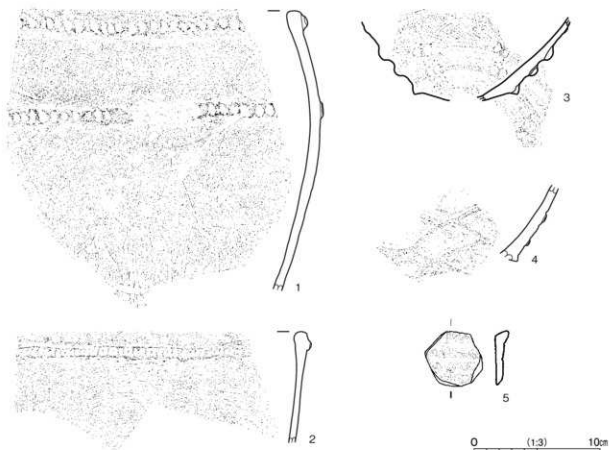


第 118 図 第 1464 号土坑実測図

第 84 表 第 1464 号土坑出土遺物一覧 (第 119 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(22.2)	-	長石・石英・雲母	濃い赤褐色	普通	口縁部、胴部に縁線貼付 外面削り 内面ナデ	中央部上層	30% PL25 30% 後葉・後葉期末
2	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母、赤色粒子	濃い赤褐色	普通	口縁部横位の条線→縦位区画文→縁線貼付 内面ナデ	北西部上層	10% 後期後葉
3	縄文土器	鉢	-	(6.6)	-	長石・石英・雲母、赤色粒子	橙	普通	口縁部斜入帯帯と縦線状帯、矢筈状北縁線状充填部削り 内面削き	東壁部下層	10% 安行 2 式
4	縄文土器	台付鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・雲母	暗灰青	普通	裾み隆帯による幾何学文 内面削き	北西部上層	PL24 安行 2 式





第119図 第1464号土坑出土遺物実測図

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
5	土器片(片断)	4.3	4.6	1.1	158	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	浅縁口縁部片利用 短縁打ち欠き	覆土上層	

#### 第1471号土坑 (第120図 第85表 PL28・86)

**位置** 調査C区のE3i5区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

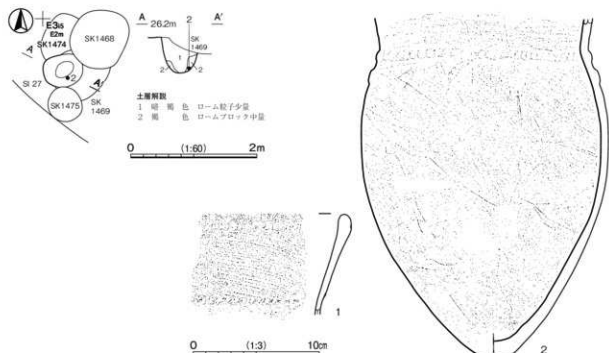
**重複関係** 第1474号土坑を掘り込み、第27号竪穴建物、第1468・1469・1475号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 上部を第27号竪穴建物、東半部を第1469号土坑などに掘り込まれているため、確認できた規模は長径0.64m、短径0.50mである。楕円形と推定でき、長径方向はN-78°-Wである。深さは57cmで、底面は皿状であり、壁はほぼ直立している。

**覆土** 2層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子が含まれていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片44点(深鉢488g)が出土している。2は、口縁部が欠損している大型の深鉢で、中央部の底面から横位で、土圧で潰れた状態で出土している。

**所見** 時期は、出土土器から後期後葉と考えられる。



第120図 第1471号土坑・出土遺物実測図

第85表 第1471号土坑出土遺物一覧(第120図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(81)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	口頸部境位の条線→口縁部・胴部に柄み 胴部磨き 内面磨き	覆土中	後期後葉
2	縄文土器	深鉢	-	(26.5)	30	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	胴部磨き→口頸部境位の条線→縦横筋付 内面粗い磨き 底部フタ 内底面→10cm位に帯状に條付者	中央部底面	70% 円蓋 後期後葉

### 第1477号土坑(第121図 第86表 PL29・84・87)

**位置** 調査C区のF 3a6区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第1478・1512号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 径0.70mの円形で、深さは80cmである。底面は皿状で、壁は直立している。

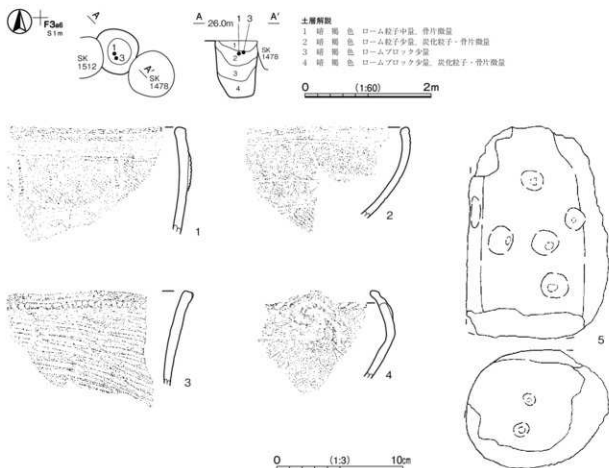
**覆土** 4層に分類できる。各層にロームのブロックや粒子が含まれていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片61点(深鉢59, 鉢1, 浅鉢1, 1.094g)が出土している。1・3は中央部の覆土上層から、破片が散在した状態で出土している。

**所見** 時期は、出土土器から後期後葉(曾谷式期)と考えられる。

第86表 第1477号土坑出土遺物一覧(第121図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(85)	-	長石・石英・雲母	灰青褐色	普通	口縁部2条のRL光面の縄文帯 肥厚部 胴部RL光面の風刺文、縦横筋筋付 無文部・内面磨き	中央部上層	PL84 曾谷式
2	縄文土器	鉢	-	(72)	-	長石・石英・雲母、赤色粒子	にぶい褐色	普通	口縁部2条の沈線文 胴部・胴部RL光面の横帯文 内面磨き	覆土中	曾谷式
3	縄文土器	深鉢	-	(75)	-	長石・石英・雲母、赤色粒子	にぶい褐色	普通	口頸部条線→縦横筋付 内面粗い磨き	中央部上層	後期後葉
4	縄文土器	浅鉢	-	(69)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	原曲鉢、口頸部筋目の字状の貼付文1か所 口縁部外面・内面磨き	覆土中	加賀利B1式



第121図 第1477号土坑・出土遺物実測図

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
5	凹石	(16.7)	(11.3)	(9.4)	(229.6)	花崗岩	大形石棒再利用 正面と側面に凹み	覆土中	PL87

第1482号土坑 (第122図 第87表 PL29・86)

位置 調査C区のF 3 a6区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

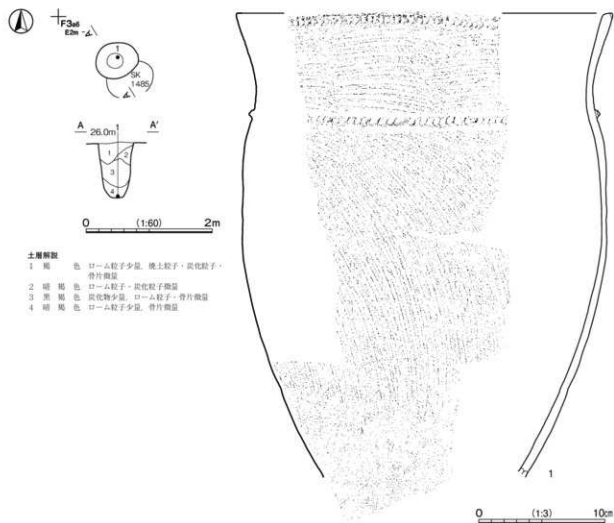
重複関係 第1485号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径0.68m、短径0.56mの楕円形で、長径方向はN-72°-Eである。深さは84cmで、底面は皿状であり、壁はほぼ直立している。

覆土 4層に分層できる。各層にローム粒子や炭化物が含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片22点(深鉢 369g)、骨3.0gが出土している。1は、中央部の底面から、大型破片が土圧で割れた状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から後期後葉と考えられる。



第 122 図 第 1482 号土坑・出土遺物実測図

第 87 表 第 1482 号土坑出土遺物一覧 (第 122 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	300	367	~	長石・石英・雲母	灰黄陶	普通	L.R. 地縄文→I. 頸部縄文・胴部縄文の高級→I. 口縁部 斜み・胴部縦線彫付 内面粗い造り	中央部底面	5% PL.86 後期後葉

#### 第 1498 号土坑 (第 123 図 第 88 表 PL.86)

**位置** 調査 C 区の E 3 i 5 区、標高約 26 m の平坦な台地上に位置している。

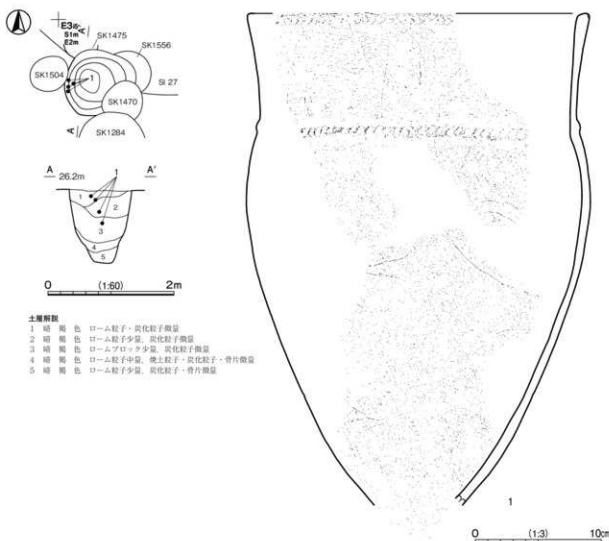
**重複関係** 第 1475・1556 号土坑を掘り込み、第 27 号竪穴建物、第 1284・1470・1504 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長径 1.14 m、短径 0.93 m の楕円形で、長径方向は N-64°-E である。深さは 106 cm で、底面は平坦であり、壁は外傾している。

**覆土** 5 層に分层できる。各層にローム粒子や炭化粒子が含まれていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片 16 点 (深鉢 380 g) が出土している。1 は、西壁際の覆土中層 (第 3 層相当) から、破片が散在した状態で出土している。

**所見** 時期は、出土土器から後期後葉と考えられる。



第123図 第1498号土坑・出土遺物実測図

第88表 第1498号土坑出土遺物一覧(第123図)

番号	種別	図種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	[27.0]	[39.0]	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口肩部横位・胴部縦位のあざ・口縁部斜み・胴部縦線貼付 内面粗いナデ 口縁部凹線状	西原部中層	15% PL86 後期後葉

#### 第1505号土坑(第124図 第89表 PL87・89)

**位置** 調査C区のF 3a4区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

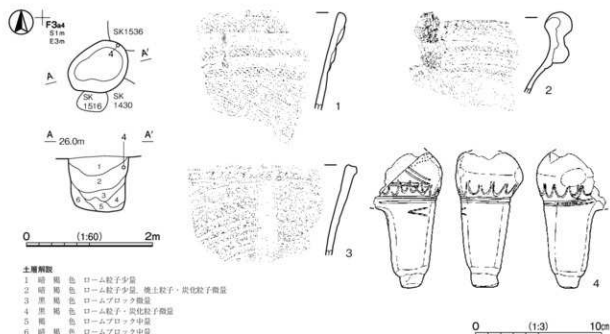
**重複関係** 第1430・1516・1536号土坑を掘り込んでいる。

**規模と形状** 長径0.98m、短径0.76mの楕円形で、長径方向はN-72°-Eである。深さは58cmで、底面は平坦であり、壁は直立している。

**覆土** 6層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子が含まれていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片119点(深鉢118、浅鉢1 1.790g)、土製品1点(土偶)が出土している。4は、北東部の覆土上層から出土している。

**所見** 時期は、出土土器から後期後葉(安行1式期)と考えられる。



第 124 図 第 1505 号土坑・出土遺物実測図

第 89 表 第 1505 号土坑出土遺物一覧 (第 124 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰褐色	普通	口縁部3条のRL線起帯縄文→腹貼付 肩部系縄文 内面粗い磨き	覆土中	PL87 安行1式
2	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒褐色	普通	口縁部3条のRL線起帯縄文→腹貼付 無文部磨き 内面粗い磨き	覆土中	PL87 安行1式
3	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	地縄文LR→腹位の条線・口縁部粗線貼付→腹位区 内面粗い磨き	覆土中	後期後葉

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
4	土偶	(10.8)	(5.5)	(5.5)	(186.7)	長石・雲母	明黄褐色	腰~臀部 中央 腹部に上向きの弧線文 背面に 細かい刺突印	北東部上層	PL89

### 第 1532 号土坑 (第 125 図 第 90 表 PL87)

位置 調査C区のF 3a6区、標高約 26mの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 1386 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 径 0.85 ~ 0.92 m の円形で、深さは 90cm である。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。

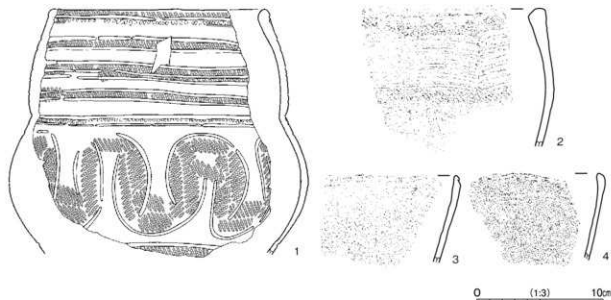
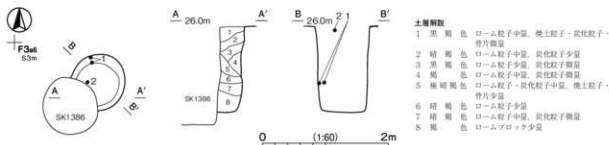
覆土 8層に分層できる。各層にローム粒子が多く含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片 325 点 (深鉢 273、浅鉢 4、注口土器 1、製塩土器 47 6.576 g)、土製品 6 点 (土器片円盤)、剥片 1 点 (黒曜石) が出土している。2 は中央部の覆土上層、1 は北部の覆土中層から破片の状態でそれぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から後期後葉 (曾谷式~安行 1 式期) と考えられる。

第 90 表 第 1532 号土坑出土遺物一覧 (第 125 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	(17.0)	(19.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰褐色	普通	頸部 口縁部 RL 線起帯縄文 肥厚部 肩部 RL 光沢の 起帯文 製塩器 北東部の文り弧線文 無文部・内面磨き	北部中層	30% PL87 曾谷~安行1式
2	縄文土器	浅鉢	-	(10.8)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	口前部腹位の条線→口縁部、肩部に RL 縄文 頸 部起帯の条線 内面粗い磨き	中央部上層	後期後葉



第 125 図 第 1532 号土坑・出土遺物実測図

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
3	縄文土器	製塩土器	-	(6.9)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	口唇部外張り状 外面口縁部横位の折り 以下調整 内面ナデ	覆土中	
4	縄文土器	製塩土器	-	(6.9)	-	長石・石英	紅褐色	普通	口唇部未調整 外面調整 内面ナデ	覆土中	

#### 第 1563 号土坑 (第 126 図)

**位置** 調査 C 区の F 3 c6 区、標高約 25 m の台地縁辺部に位置している。

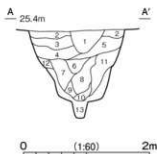
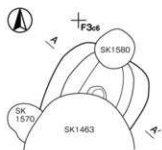
**重複関係** 第 1463・1570・1580 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 東西径 1.51 m で、南北径は第 1463 号土坑などに掘り込まれているため、1.52 m しか確認できなかった。楕円形と推定でき、長径方向は N - 28° - E である。深さは 112 cm で、底面は平坦であり、中央部に径 30 cm の円形で、深さ 26 cm の凹みがある。壁は外傾している。

**覆土** 13 層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子が多く含まれていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片 5 点 (深鉢 74 g) が、覆土中に散在した状態で出土している。

**所見** 時期は、重複関係や出土土器から後期後葉と考えられる。



土層階別	説明
1	暗褐色 ローム粒子微量
2	暗褐色 ローム粒子微量
3	暗褐色 ロームブロック少量
4	暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
5	暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
6	暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
7	暗褐色 ロームブロック微量
8	暗褐色 ロームブロック少量
9	暗褐色 ローム粒子少量
10	暗褐色 ローム粒子中量
11	暗褐色 ローム粒子多量
12	暗褐色 ロームブロック多量
13	暗褐色 ロームブロック中量

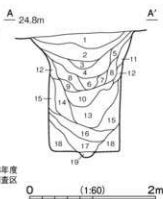
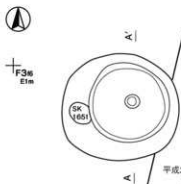
第126図 第1563号土坑実測図

第1565号土坑 (第127図 第91表 PL30・87・88)

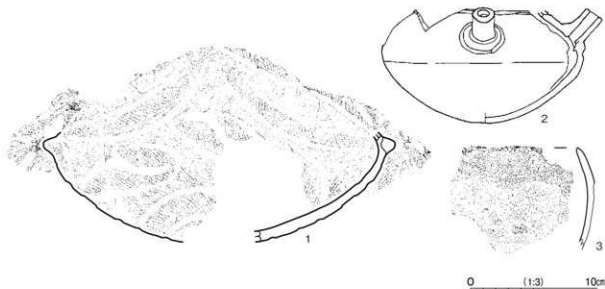
位置 調査C区のF36区、標高約25mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第1651号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.86m、短径1.66mの楕円形で、長径方向はN-85°-Wである。深さは198cmで、底面は平坦であり、中央部に径24cmの円形で、深さ8cmの凹みがある。壁はほぼ直立している。



土層階別	説明
1	暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
2	暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子少量、炭化粒子微量
3	暗褐色 炭化粒子中量、ローム粒子・骨片少量、焼土粒子微量
4	暗褐色 ローム粒子・焼土粒子少量、炭化粒子・骨片微量
5	暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
6	暗褐色 焼土粒子・炭化粒子少量、ローム粒子微量
7	暗褐色 焼土粒子少量、ローム粒子・炭化粒子微量
8	暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
9	暗褐色 炭化粒子少量、焼土粒子微量
10	暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
11	暗褐色 ロームブロック少量
12	暗褐色 ロームブロック中量
13	暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
14	暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
15	暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
16	暗褐色 ロームブロック少量
17	暗褐色 ロームブロック微量
18	暗褐色 ロームブロック少量
19	暗褐色 ロームブロック少量



第127図 第1565号土坑・出土遺物実測図



覆土 19層に分層できる。ブロック状の堆積状況を示していることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片 330点(深鉢303, 鉢3, 注口土器1, ミニチュア土器1, 製塩土器22 5.916g), 土製品5点(耳飾り1, 土俵1, 土器片円盤3), 石器1点(磨石)が出土している。覆土上～中層(第1～10層)から、破片が散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から晩期前葉(安行3a式期)と考えられる。

第91表 第1565号土坑出土遺物一覧(第127図)

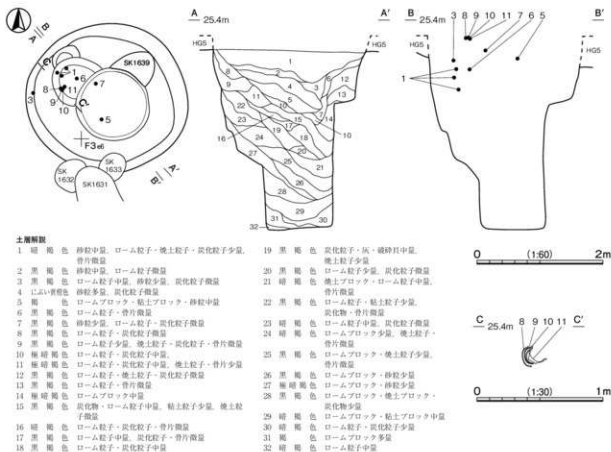
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考	
1	縄文土器	鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	内周縁部磨き 裏面縁部丸み 光沢の弧線文と入組三又文	無文	覆土上～中層	30% PL87 安行3a式
2	縄文土器	注口土器	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面丁寧な磨き		覆土上～中層	40% PL88 大洲B2式
3	縄文土器	製塩土器	-	(8.1)	-	長石・石英・礫	橙	普通	口部厚み調整 内面平す	口縁部横位の傾り 以下潤滑	覆土上～中層	

第1578号土坑(第128～130図 第92・93表 PL31・87・88)

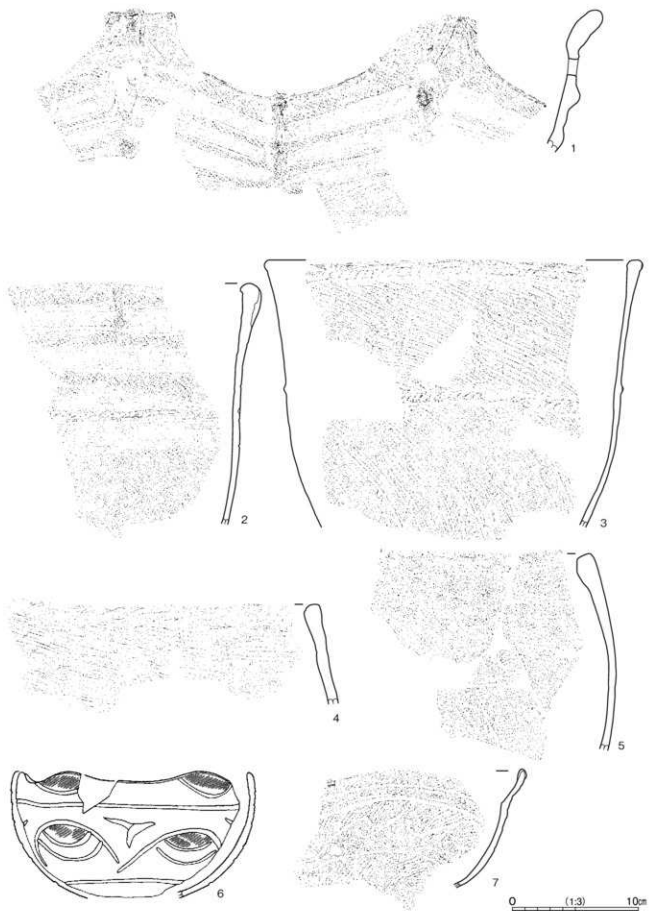
位置 調査C区のF3d6区, 標高約25mの台地縁部に位置している。

重複関係 第5号遺物包含層を掘り込み, 第1631～1633・1639号土坑に掘り込まれている。

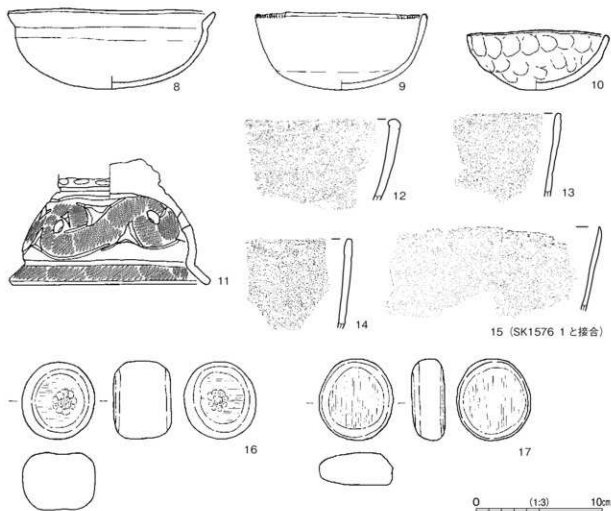
規模と形状 確認面は径2.43～2.55mの円形で, 深さは260cmである。二段に掘り込まれており, 確認面から深さ約80cmのところ平坦面があり, そこから径1.15mの円筒形に掘り込まれている。また, 北西部には,



第128図 第1578号土坑実測図



第 129 图 第 1578 号土坑出土遗物实测图 (1)



第130図 第1578号土坑出土遺物実測図(2)

連続した円形の掘り込みがあり、確認面からの深さは127～182cmである。一連の堆積状況を示していることから本跡に伴うものと判断した。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。

**覆土** 32層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子、一部の層に焼土ブロックや炭化粒子、灰、破砕貝が多く含まれていることから、人為堆積である。北西側から埋め戻された堆積状況を示している。

**遺物出土状況** 縄文土器片1,140点(深鉢976, 浅鉢9, 鉢1, 台付鉢1, 注口土器1, 製塩土器152 21,594g), 土製品15点(土器片円盤), 石器3点(磨石2, 凹石1), 剥片1点(チャート), 石核5点(チャート), 貝殻175点(ハマグリ18, マツカサガイ片, ヤマトシジミ157 2450g), 骨178gが出土している。土器は、後期後葉から晩期前葉までのものが混在しているが、安行3a式～安行3b式のもの为主体である。8～11は、第5号遺物包含層の調査過程で出土した。北西部の覆土上層から、上から11・10・9・8の順に重ねられており、11は逆位で、他の3点は口縁部を南東側に向けた斜位の状態で出土している。3・6は北西部、5・7は中央部の覆土上層(第1・2層相当)、1は北西部の覆土中層(第8～11層相当)から、破片が散在した状態で出土している。15は、第1576号土坑から出土した破片と接合している。貝殻は、中央部の覆土中層(第19層)から、まとめて出土している。

**所見** 時期は、出土土器から晩期前葉(安行3a式～安行3b式期)と考えられる。

第92表 第1578号土坑出土遺物一覧(第129・130図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(112)	-	長石・石英・雲母	赤褐色	普通	4単位の浅鉢口縁 4条のRL 隆起帯縄文 頸部条線文 無文磨き 内面粗い磨き	北西部中期	25% 実行1式
2	縄文土器	深鉢	-	(191)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	口縁部2条のRL 隆起帯縄文 頸部条線文 隆起部RL 光沢の風刺文 無文磨き 内面磨き	覆土上層	15% PL87 実行1式
3	縄文土器	深鉢	(294)	(211)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	縄文土器 RL + 条線・口縁部、頸部に條線貼付 内面磨き	北西部上層	30% PL88 後期成層
4	縄文土器	深鉢	-	(79)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	口縁部隆起の条線 内面ナテ	覆土上層	30% 後期成層
5	縄文土器	深鉢	-	(156)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	口縁部肥厚 外面条線・磨滅面著	中央部上層	2% 後期成層 大洞B-2式
6	縄文土器	鉢	(186)	(100)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	縦い痕(直1)縁 口縁部1.8cmの風刺文 頸部1.8cm光沢の対向風刺文と三叉文を配文 無文部 内面磨き	北西部上層	10% PL88 実行3.5式
7	縄文土器	浅鉢	-	(94)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐色	普通	外縁部部の浅鉢 口縁部 LR 光沢の横帯文 頸部 S 字状人組文 + LR 光沢 内面磨き	中央部上層	40% PL88 実行3.5式
8	縄文土器	浅鉢	164	62	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐色	普通	頸部外縁 外・内面磨き	北西部上層	30% PL88 実行3.5式
9	縄文土器	浅鉢	137	62	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	口唇部に2単位の筋み列 外面磨り 内面粗い磨き	北西部上層	50% PL88 実行3.5式
10	縄文土器	深鉢	108	47	-	長石・石英	褐色	普通	外面ナテ 底部付近は磨り 内面粗い磨き	北西部上層	100% PL88 筋線・筋帯B
11	縄文土器	付付鉢	-	(100)	154	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐色	普通	頸部 1.8cmの頭人組三叉帯縄文 玉筋き部・三叉部透かし孔 内面粗い磨き	北西部上層	50% PL88 実行3.5式
12	縄文土器	頸環土器	-	(64)	-	長石・石英	褐色	普通	口唇部ナテ 外面磨滅 内面ナテ	覆土上層	
13	縄文土器	頸環土器	-	(66)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐色	普通	口唇部外側凸状 外面磨滅 内面ナテ	覆土中層	
14	縄文土器	頸環土器	-	(71)	-	長石・雲母・赤色粒子	にぶい褐色	普通	口唇部外側凸状 外面磨滅 内面ナテ	覆土上層	
15	縄文土器	頸環土器	-	(66)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	SK1576L1と適合 口縁部未調整 外面斜位の磨り 内面ナテ	覆土上層	PL87

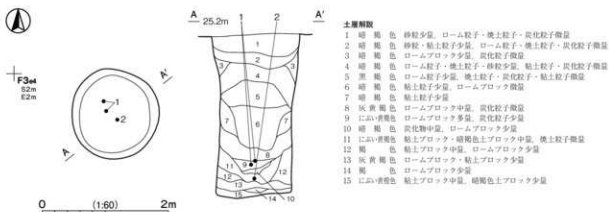
第93表 第1578号土坑出土未掲載土器集計表

番号	第6号					第7号					第9号					第10号		第11号		第12号		第13号		合計
	器種	数量	容積	重量	材質	器種	数量	容積	重量	材質	器種	数量	容積	重量	材質	器種	数量	器種	数量	器種	数量	器種	数量	
1	1	4	1	6	15	10	47	33	49	30	33	6	223	71	364	17	6	1	148	-	-	-	1,125	
重量(g)	14	256	88	394	336	148	884	728	1,451	974	1,406	93	4,544	846	6,175	537	196	31	1,350	1,143	21,594			

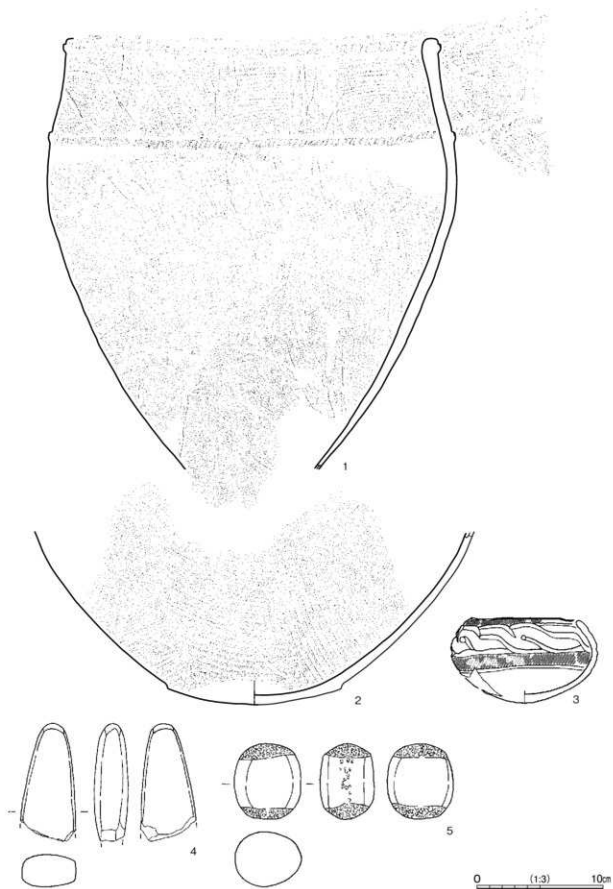
第1598号土坑(第131・132図 第94表 PL31・88・89)

位置 調査C区のF 3e4区、標高約25mの台地縁辺部に位置している。

規模と形状 径1.40～1.45mの円形で、深さは252cmである。底面は平坦で、壁は直立している。



第131図 第1598号土坑実測図



第 132 图 第 1598 号土坑出土遗物实测图

**覆土** 15層に分層できる。各層にロームブロックや常総粘土層由来の粘土ブロックが多く含まれていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片 250点（深鉢 223、浅鉢 2、製塩土器 25 4.907 g）、石器 4点（磨製石斧、磨石、敲石、凹石）が出土している。1・2は、中央部の覆土下層（第9～11層）から、大型破片が集積した状態で出土している。

**所見** 時期は、出土土器から晩期前葉と考えられる。

第94表 第1598号土坑出土遺物一覧（第132図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	290	340	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口前部低位・胴部高位の条線・肩部区画文・区画内縁を消し→縦溝貼付 内面磨き	中央部下層	40% PL28 晩期前葉
2	縄文土器	浅鉢	-	(138)	138	長石・石英・雲母	橙	普通	胴部条線 底部凸状で削り 内面磨き	中央部下層	40% 晩期前葉
3	縄文土器	浅鉢	86	68	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口前部LR 左端の横帯文で上下区画 胴部玉指き入 縦溝状文 気泡散在 内面粗い磨き	覆土中	80% PL29 大淵式2式

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
4	磨製石斧	9.4	4.5	2.7	(177.7)	砂岩	定角式 刃部欠損 焼熟	覆土中	PL29
5	磨石	6.0	5.3	4.3	202.0	砂岩	上下面縦打痕	覆土中	

### 第1608号土坑（第133図）

**位置** 調査C区のF3c6区、標高約25mの台地縁辺部に位置している。

**確認状況** 第2号斜面貝層を除去した段階で確認した。

**重複関係** 第1609・1618号土坑を掘り込んでいる。

**規模と形状** 長径180m、短径123mの楕円形で、長径方向はN-58°-Wである。深さは70～95cmで、底面は二段に掘り込まれており、北西半部が低くなっている。壁は外傾している。

**覆土** 3層に分層できる。各層にローム粒子や炭化粒子が含まれていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片 12点（深鉢 264 g）、剥片 1点（黒曜石）、骨 1425 gが出土している。骨は、同定分析の結果、イヌ 1点（下顎骨）、ヒト 1点（枕骨）、カモ科 2点（上腕骨、手根中手骨）が確認できた。イヌは、右下顎骨が出土しており、歯牙の萌出状況から0.5歳以上と推定される。ヒトは、左枕骨が出土している。両端部が欠損しているため、現存している長さは15.8cmで、大きさから成人と推定される。（「第3章第4節自然科学分析 4」参照）。



第133図 第1608号土坑実測図

**所見** 時期は、重複関係や出土土器から後期後葉（安行2式期）と考えられる。人骨は、左腕骨1点のみの出土であり、イス、カモ科の骨とともに出土していることから、遺体で埋葬された可能性は低く、骨となった状態で混入したと考えられる。

#### 第1609号土坑（第134図 第95表 PL32・90）

**位置** 調査C区のF3c6区、標高約25mの台地縁辺部に位置している。

**確認状況** 第2号斜面貝層、第5号遺物包含層を除去した段階で確認した。

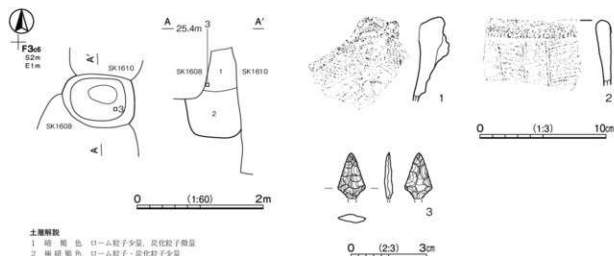
**重複関係** 第1608・1610号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 東西径1.12mで、南・北部を第1608・1610号土坑に掘り込まれているため南北径は0.82mしか確認できなかった。楕円形と推定でき、長径方向はN-84°-Eである。深さは127cmで、底面は平坦であり、壁は直立している。

**覆土** 2層に分層できる。各層にローム粒子や炭化粒子が含まれていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片146点（深鉢137、台付鉢1、製塩土器8 2.827g）、石器2点（石鏃、磨石）が出土している。3は、東部の覆土中層から出土している。

**所見** 時期は、重複関係や出土土器から後期後葉（安行2式期）と考えられる。



第134図 第1609号土坑・出土遺物実測図

第95表 第1609号土坑出土遺物一覧（第134図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(66)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	胴部刺み残帯による三角形区画文・内面ナデ	覆土中	安行2式
2	縄文土器	深鉢	-	(49)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口肩部横位の条線→胴部区画文・区画内刺み→縁線貼付 内面ナデ	覆土中	後期後葉
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴			出土位置	備考
3	石鏃	(19)	L1	0.3	(0.52)	チャート	凸基有茎	端部欠損		東部中層	PL90

第1610号土坑 (第135図 第96表 PL32)

位置 調査C区のF3c6区、標高約25mの台地縁辺部に位置している。

確認状況 第2号斜面貝層、第5号遺物包含層を除去した段階で確認した。

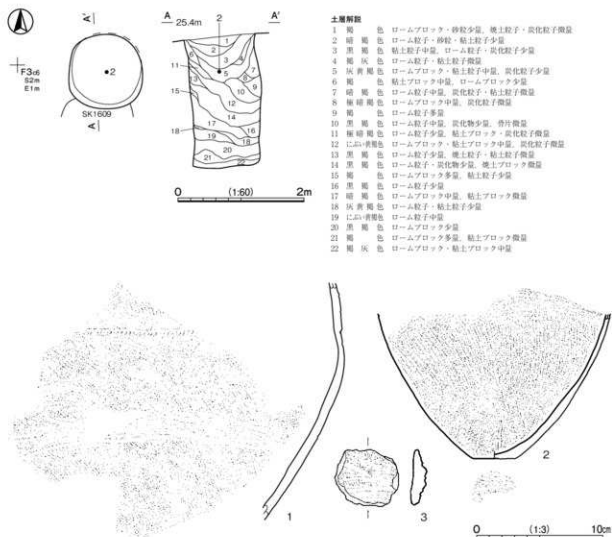
重複関係 第1609号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 径1.15m円形である。深さは202cmで、底面は平坦であり、壁は直立している。

覆土 22層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子、常総粘土層由来の粘土ブロックや砂粒が多く含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片188点(深鉢180、製塩土器8 4.199g)、土製品7点(土器片円盤)、骨214.6gが出土している。2は、中央部の覆土上層から、逆位の状態で出土している。骨は、同定分析の結果、イノシシ5点(頭蓋骨3、歯牙2)が確認できた(「第3章第4節 自然科学分析 4」参照)。

所見 時期は、重複関係や出土土器から後期後葉と考えられる。



第135図 第1610号土坑・出土遺物実測図



第96表 第1610号土坑出土遺物一覧(第135図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(18.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にじみ型	普通	甕形、胴部R.L.の押状入組文、胴部R.L.充填の交互瓦地文、胴部下半R.L.縄文様地文、内面削り過ぎ	覆土中	20% 後期後葉
2	縄文土器	深鉢	-	(11.4)	(3.4)	長石・石英	灰黄陶	普通	胴部縦位の柔線、下縁削り、内面ナデ、底部刷代痕	中央部上層	15% 後期後葉

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
3	土器(円盤)	4.4	5.1	1.3	24.7	長石・石英	暗灰黄	波状口縁深鉢口縁部片利用、縁線打ち欠き	覆土中	

第1612号土坑(第136図 第97表 PL89)

位置 調査C区のF3c5区、標高約26mの台地縁辺部に位置している。

確認状況 第2号斜面貝層、第5号遺物包含層を除去した段階で確認した。

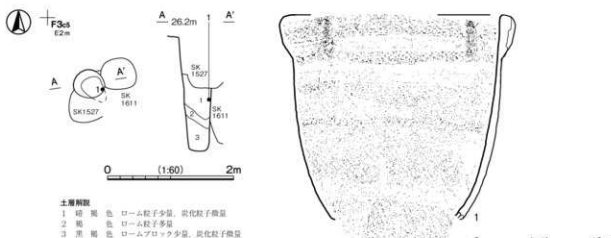
重複関係 第1611号土坑を掘り込み、第1527号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 上部を第1527号土坑に掘り込まれているため、東西径は0.49m、南北径は0.43mしか確認できなかった。円形あるいは楕円形と推定できる。深さは177cmで、底面は平坦であり、壁は南東部が内傾しており、その他はほぼ直立している。

覆土 3層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子が含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片9点(深鉢 194g)が出土している。1は、東部の覆土中層から、大型破片が土圧で潰れた状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から後期後葉(安行1式期)と考えられる。



第136図 第1612号土坑・出土遺物実測図

第97表 第1612号土坑出土遺物一覧(第136図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	(16.6)	(16.3)	-	長石・石英	にじみ型	普通	口縁部2本のR.L.條形管縄文、胴部R.L.充填の瓦地文、胴部上半R.L.充填の交互瓦地文、内面削り過ぎ	東部中層	50% PL89 安行1式

第1613号土坑 (第137図 第98・99表 PL32・33・89・90)

位置 調査C区のF3b7区、標高約26mの台地縁辺部に位置している。

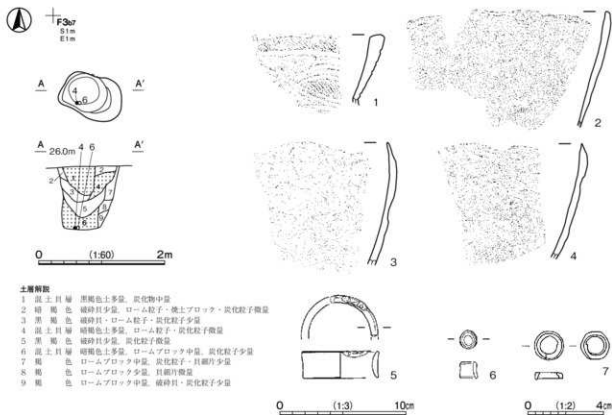
重複関係 第2号斜面貝層、第5号遺物包含層を掘り込んでいる。

規模と形状 長径0.97m、短径0.69mの楕円形で、長径方向はN-64°-Wである。深さは92cmで、底面は平坦であり、壁は東部が外傾しており、それ以外はほぼ直立している。

覆土 9層に分層できる。覆土上～下層(第1～6層)に遺構内貝層が確認できたことから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片170点(深鉢129、製塩土器41 4.085g)、土製品4点(耳飾り3、土器片円盤1)、貝製品2点(小玉、貝輪未成品)、剥片3点(黒曜石2、チャート1)、貝殻17,265点(26,141.6g)、骨6497gが出土している。4・6は、南部の底面から出土している。貝殻は18種が確認できた。主な貝種は、ヤマトシジミが16,660点(最小個体数7,783点)で96.5%、次いでハマグリが380点(最小個体数200点)で2.2%である。骨は、同定分析の結果、ニホンジカ2点(頭蓋骨、中足骨)が確認できた(「第3章第4節 自然科学分析 4」参照)。

所見 時期は、重複関係や出土土器から晩期前葉(安行3a式期)と考えられる。



第137図 第1613号土坑・出土遺物実測図

第98表 第1613号土坑出土遺物一覧(第137図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(55)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	脚部の可塑性もあり、2本1単位の内側による短光輪の対張文、無文部もさき、内面ナデ、赤彩	覆土中	後期前葉。
2	縄文土器	製塩土器	-	(92)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口唇部外張り状、外面口縁部横位・側部縦位の張り、内面ナデ	覆土中	PL89 磯砂貝・磯砂土
3	縄文土器	製塩土器	-	(97)	-	長石・石英・雲母	にない橙	普通	口唇部横み上げ状、外面斜方向の張り、内面ナデ	覆土中	PL89
4	縄文土器	製塩土器	-	(91)	-	長石・石英・雲母	にない橙	普通	口唇部横み上げ状、外面側離、内面ナデ	覆土中	南部底面

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
5	耳飾り	[6.2]	[6.2]	2.1	(88)	長石・石英・雲母	にぶい糊	環状 薄手 口唇部に刻みを有する瘤	覆土中	PL90
6	耳飾り	1.3	1.4	1.5	2.1	長石・石英・雲母	にぶい糊	環状 薄手 外面ナア整形	南部破面	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
7	小玉	1.5	1.4	0.4	0.4	貝(腹足綱)	積層整形	覆土中	PL90

第99表 第1613号土坑出土貝殻集計表

腹足綱	点 数				重 量 (g)				備考	
アカニシ	1				36.6					
アラムシロガイ	60				15.0					
アワビ	-				1.0				破片のみ	
ウミニナ	26				21.6					
オキタニシ	2				1.1					
カノコガイ	16				5.2					
カワアイ	5				5.2					
キセルガイ	10				3.4					
チリメンカワニナ	1				1.1					
ヒロクチカノコガイ	2				1.4					
マイマイ類	-				1.9				破片のみ	
小 計	132				93.5					
二枚貝綱	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備考
イシガイ	-	-	-	-	-	-	-	17.9	17.9	破片のみ
サルボウ	3	4	-	7	13.2	16.3	-	9.1	38.6	
シオフキ	22	19	1	42	46.4	46.8	0.8	14.1	108.1	
ハマグリ	179	200	1	380	521.9	527.3	1.0	322.5	1372.7	
マガキ	-	-	-	-	-	-	-	0.7	0.7	破片のみ
マツカサガイ	8	14	22	44	11.3	23.3	14.1	45.6	94.3	
ヤマトシジミ	7367	7783	1510	16660	11,118.7	11,339.4	1,172.4	785.3	24,415.8	
小 計	7579	8030	1534	17,133	11,711.5	11,933.1	1,188.3	1,195.2	26,048.1	
総 合 計	17,365				26,141.6					

第1614号土坑 (第138図 第100・101表 PL33)

位置 調査C区のF3b7区、標高約26mの台地縁辺部に位置している。

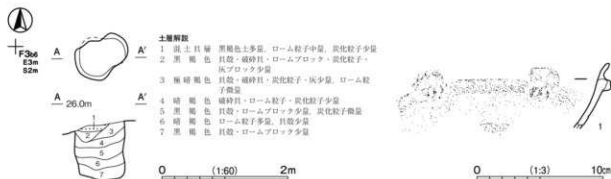
重複関係 第2号斜面貝層、第5号遺物包含層を掘り込んでいる。

規模と形状 長径0.86m、短径0.60mの不整形楕円形で、長径方向はN-59°-Eである。深さは66cmで、底面は平坦であり、壁はほぼ直立している。

覆土 7層に分層できる。覆土上層(第1層)に遺構内貝層が確認できた。各層にも貝殻や破砕貝が少量含まれており、ローム粒子や灰が含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片134点(深鉢93、浅鉢1、製塩土器40 2.983g)、土製品3点(耳飾り1、土器片円盤2)、貝殻9,858点(14,575.7g)、骨863.5gが出土している。貝は、17種が確認できた。主な貝種は、ヤマトシジミが9,442点(最小個体数4,376点)で95.8%、次いでハマグリが282点(最小個体数155点)で2.9%である。骨は、同定分析の結果、イノシシ3点(下顎骨1、踵骨2)、ニホンジカ2点(頸椎、腰椎)、ネズミ科(大腸骨)が確認できた。(「第3章第4節 自然科学分析 4」参照)。

所見 時期は、重複関係と出土土器から後期後葉～晩期前葉と考えられる。



第138図 第1614号土坑・出土遺物実測図

第100表 第1614号土坑出土遺物一覧(第138図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考	
1	縄文土器	浅鉢	-	(52)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	口縁部に紅・紫の縄文帯 所無支那産土 内面ナシ	口縁部に縄状の突起2か 口縁部に縄状の突起2か	層土中	安行2式

第101表 第1614号土坑出土品数集計表

遺 品 網	点 数			重 量 (g)			備 考			
アラムシロガイ	18			56						
ウミニナ	15			132						
オオタニシ	-			09			破片のみ			
カノコガイ	1			05						
カワアイ	4			28						
キセルガイ	7			19						
タマキビガイ	6			20						
チリメンカワニナ	3			24						
ヒロタチカノコガイ	11			56						
レイシガイ	1			09						
小 計	66			358						
二枚貝網	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備 考
イシガイ	2	-	-	2	54	-	-	94	148	
サルボウ	-	-	-	-	-	-	-	39	39	破片のみ
シオフキ	15	14	-	29	429	408	-	68	905	
ハマグリ	127	155	-	282	3952	4159	-	1636	9747	
マガキ	-	-	-	-	-	-	-	09	09	破片のみ
マツカサガイ	19	18	-	37	229	389	-	199	717	
ヤマトシジメ	4376	3887	1179	9442	62898	57753	7271	6112	133834	
小 計	4539	4074	1179	9792	67162	62609	7271	8357	145309	
総 合 計	9858			145757						

第1615号土坑(第139図 第102・103表 PL33)

位置 調査C区のF3b7区、標高約26mの台地縁辺部に位置している。

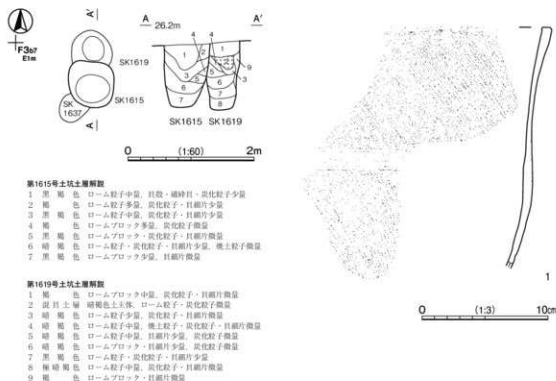
重複関係 第1619・1637号土坑、第2号斜面貝層、第5号遺物包含層を掘り込んでいる。

規模と形状 長径0.84m、短径0.75mの楕円形で、長径方向はN-41°-Wである。深さは82cmで、底面は皿状であり、壁はほぼ直立している。

覆土 7層に分層できる。各層にローム粒子や貝殻が多く含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片 83点(深鉢 1,799g)、貝殻2,429点(2,907.2g)、骨653.7gが出土している。1は、覆土中から散在した状態で出土している。その他、安行2式～安行3a式の土器片が出土している。貝殻は16種が確認できた。主な貝種は、ヤマトシジミが2,244点(最小個体数1,074点)で92.4%、次いでハマグリが94点(最小個体数50点)で3.9%、マツカサガイが53点(最小個体数33点)で2.2%である。骨は、同定分析の結果、カモ科2点(尺骨、大腿骨)、カラス科1点(足根中足骨)、鳥類1点(上腕骨)が確認できた(「第3章第4節 自然科学分析 4」参照)。

所見 時期は、重複関係や出土土器から後期後葉～晩期前葉と考えられる。



第139図 第1615・1619号土坑・出土遺物実測図

第102表 第1615号土坑出土遺物一覧(第139図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(19.2)	-	長石・石英・雲母	にぶ・黄緑	普通	斜条線→底部横紋区画・区画内筋つき 内口縁部 靑い筋つき	覆土中	10% 後期後葉

第103表 第1615号土坑出土貝殻集計表

種 別	点 数	重 量 (g)	備 考
アカニシ	-	132	破片のみ
アラムシロガイ	6	30	
ウミニナ	3	42	
オオタニシ	1	68	
カワアイ	1	11	
キキゴ	1	13	

調査網		点数				重量 (g)				備考	
キセルガイ		3				11					
ナリメンカワニナ		1				14					
小計		16				321					
二枚貝綱		左殻	右殻	左右不明	合計	左殻	右殻	左右不明	破片	合計	備考
イシガイ		1	2	-	3	39	62	-	100	201	
オキシジミ		1	-	-	1	51	-	-	-	51	
サルボウ		-	-	-	-	-	-	-	27	27	破片のみ
シオフキ		11	5	2	18	186	61	20	45	312	
ハマグリ		44	50	-	94	998	1166	-	619	2783	
マガキ		-	-	-	-	-	-	-	09	09	破片のみ
マツカサガイ		33	19	1	53	1000	1064	09	802	2875	
ヤマトシジミ		1045	1074	125	2244	19059	19489	757	1188	23493	
小計		1135	1150	128	2413	12333	12842	786	2790	28751	
総合計		2429				29072					

### 第1616号土坑 (第140図 第104表 PL33)

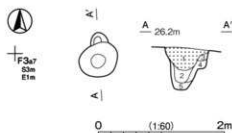
**位置** 調査C区のF3a7区、標高約26mの台地縁部に位置している。

**重複関係** 第2号斜面貝層、第5号遺物包含層を掘り込んでいる。  
**規模と形状** 長径0.70m、短径0.62mの不整形円形である。深さは52cmで、底面は皿状であり、壁は外傾している。

**覆土** 5層に分層できる。覆土上層(第1層)に遺構内貝層が確認できた、各層にも破砕貝が含まれていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片27点(深鉢20、製塩土器7 504g)、貝殻1622点(1,752.7g)、骨271.4gが出土している。土器は凹凸の弱い隆起帯縄文が施された精製深鉢片がみられる。貝殻は11種が確認できた。主な貝種は、ヤマトシジミが1,556点(最小個体数700点)で95.9%、次いでハマグリが42点(最小個体数22点)で2.6%である。

**所見** 時期は、出土土器が細片のため詳細は不明であるが、重複関係から後期後葉～晩期前葉と考えられる。



#### 土層解説

- 1 泥貝上層 凝結褐色土塊、炭化物・ローム粒子少量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、炭化物・貝殻片微量
- 3 暗褐色 ローム粒子・磁砕貝少量、焼土粒子・炭化物微量
- 4 暗褐色 磁砕貝少量、ローム粒子・炭化物微量
- 5 褐色 ロームブロック中量、貝殻片微量

第140図 第1616号土坑実測図

第104表 第1616号土坑出土貝殻集計表

調査網		点数				重量 (g)				備考	
アラムシロガイ		2				15					
ウミニナ		1				07					
カワアイ		1				10					
キセルガイ		2				09					
ナリメンカワニナ		1				13					
小計		7				54					
二枚貝綱		左殻	右殻	左右不明	合計	左殻	右殻	左右不明	破片	合計	備考
イシガイ		-	-	-	-	-	-	-	22	22	破片のみ
サルボウ		1	-	-	1	50	-	-	14	64	
シオフキ		7	2	2	11	155	51	11	36	253	

調査綱	点 数				重 量 (g)				備 考
ハマグリ	22	20	-	42	43.0	18.5	-	32.8	94.3
マツカサガイ	2	3	-	5	4.9	4.7	-	1.3	10.9
ヤマトシジミ	700	670	186	1,556	680.4	667.2	61.5	199.1	1,698.2
小 計	732	695	188	1,615	748.8	696.5	62.6	240.4	1,747.3
総 合 計	1,622				1,752.7				

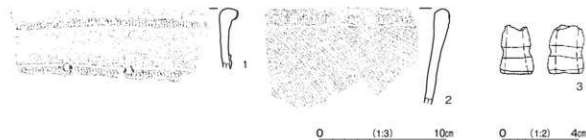
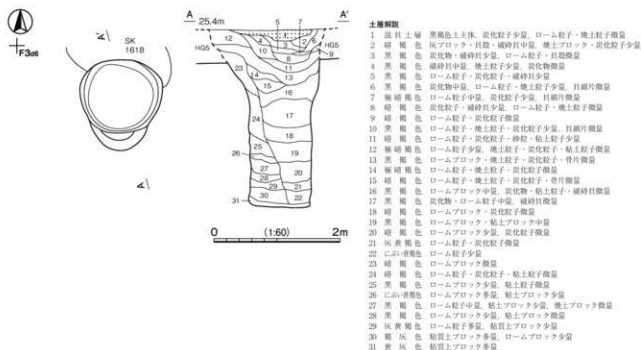
第 1617 号土坑 (第 141 図 第 105・106 表 PL33・34・90)

位置 調査 C 区の F 3 d6 区, 標高約 25 m の台地縁辺部に位置している。

重複関係 第 1618 号土坑, 第 2 号斜面貝層, 第 5 号遺物包含層を掘り込んでいる。

規模と形状 長径 1.46 m, 短径 1.24 m の楕円形で, 長径方向は N-5°-W である。深さは 282 cm で, 底面は平坦であり, 壁は底面から直立して, 上方で外傾している。

覆土 31 層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子, 炭化物, 常総粘土層由来の粘土ブロックなどが



第 141 図 第 1617 号土坑・出土遺物実測図

多く含まれていることから、人為堆積である。中央部から南部の第1～22層は円筒状に堆積しており、覆土上層（第1層）には遺構内貝層が確認でき、第2～10層にも破砕貝や貝細片が含まれている。柱の抜き取り、あるいは掘り返しの痕跡と考えられ、貝層はその凹地に投棄されたと考えられる。

**遺物出土状況** 縄文土器片173点（深鉢157、台付鉢1、製塩土器15 4.282 g）、土製品3点（土器片円盤）、石器1点（磨石）、骨角器1点（弓弭）、剥片3（黒曜石2、チャート1）、貝殻2.282点（3.0289 g）、骨1.1487 gが出土している。3は、覆土上層の混泥土層から出土している。貝殻は14種が確認できた。主な貝種は、ヤマトシジミが2.157点（最小個体数1.111点）で94.5%、次いでハマグリが102点（最小個体数55点）で4.5%である。骨は、混泥土層を中心に、覆土上層からまとまって出土している。同定分析の結果、イヌ55点（頸椎1、胸椎7、腰椎6、仙骨1、尾椎2、椎骨4、肩甲骨1、上腕骨5、橈骨3、尺骨4、中手骨5、寛骨1、大腿骨2、脛骨2、腓骨1、踵骨1、中足骨8、基節骨1）、イヌ<sub>4</sub>4点（脛骨2、中手/中足骨2）、イノシシ50点（頭蓋骨3、下顎骨39（不明破片36含む）、歯牙5、手根骨2、踵骨1）、ニホンジカ5点（手根骨2、寛骨1、大腿骨1、踵骨1）が確認できた。イヌは、頭蓋を除く多くの部位が確認できた。右大腿骨の遠位部端には、骨折の自然治癒痕が残っている。骨がずれた状態で治癒しており、左右で足の長さが異なっているため、歩行に支障があったと想像できる。年齢は、四肢骨骨端の癒合状況から15歳以上と考えられる。イノシシは、下顎骨から2個体が確認でき、歯牙の萌出状況から、年齢は12歳以上と25歳と推定される。（「第3章第4節 自然科学分析 4」参照）。

**所見** 時期は、出土土器が細片のため詳細は不明であるが、重複関係から後期後葉～晩期前葉と考えられる。イヌの全身骨格が出土しており、埋葬された可能性がある。

第105表 第1617号土坑出土遺物一覧（第141図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	台付鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	口頸部刻み線帯→瘤貼付 口唇部肥厚 内面磨き	覆土中	10% 実行2式
2	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母	灰黄黒	普通	条線→口縁部付点線縦文 内面粗い磨き	覆土中	後期後葉
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴			出土位置	備考
3	弓弭	25	18	20	3.3	鹿角	研磨整形			混泥土層	PL90

第106表 第1617号土坑出土貝殻集計表

種別	点 数				重 量 (g)				備 考	
	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片		合 計
アカニシ	-	-	-	1	-	-	-	-	41.9	
アラムシロガイ	-	-	-	-	-	-	-	-	0.7	破片のみ
ウミニカ	-	-	-	4	-	-	-	-	1.7	
オオタニシ	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6	破片のみ
ツノガイ	-	-	-	-	-	-	-	-	1.1	破片のみ
ネコガイ	-	-	-	2	-	-	-	-	1.4	
小 計	-	-	-	7	-	-	-	-	47.4	
二枚貝類	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備 考
イシガイ	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	破片のみ
オキシジミ	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9	破片のみ
サルボウ	1	2	-	3	2.4	3.8	-	-	1.5	7.7
シオフキ	-	4	-	4	-	5.2	-	-	3.0	8.2
ハマグリ	47	55	-	102	105.8	123.0	-	-	62.9	291.7
マガキ	-	-	-	-	-	-	-	-	1.5	1.5



履 足 綱	点 数				重 量 (g)				備 考
	4	4	1	9	37	104	0.6	108	
マツカサガイ	4	4	1	9	37	104	0.6	108	25.5
ヤマトシジミ	1,111	925	121	2,157	1,240.6	1,054.9	44.2	3,044	2,644.1
小 計	1,163	990	122	2,275	1,352.5	1,197.3	44.8	3,869	2,981.5
総 合 計	2,282				3,028.9				

#### 第 1619 号土坑 (第 139 図 第 107 表 PL33)

**位置** 調査 C 区の F 3 b7 区、標高約 26 m の台地縁辺部に位置している。

**重複関係** 第 2 号斜面貝層、第 5 号遺物包含層を掘り込み、第 1615 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 東西径 0.68 m で、南部を第 1615 号土坑に掘り込まれているため、南北径は 0.50 m しか確認できなかった。円形あるいは楕円形と推定できる。深さは 90 cm で、底面は平坦であり、壁はほぼ直立している。

**覆土** 9 層に分層できる。覆土上層 (第 2 層) に遺構内貝層が確認でき、各層にローム粒子や貝細片が含まれていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片 17 点 (深鉢 352 g)、貝殻 522 点 (599.9 g)、骨 213.9 g が出土している。土器は、胴部に条線文が施された粗製深鉢片がみられる。貝殻は 10 種が確認できた。主な貝種は、ヤマトシジミが 475 点 (最小個体数 225 点) で 91.0%、次いでハマグリが 27 点 (最小個体数 16 点) で 5.2% である。

**所見** 時期は、出土土器が細片のため詳細は不明であるが、重複関係から後期後葉～晩期前葉と考えられる。

第 107 表 第 1619 号土坑出土貝殻集計表

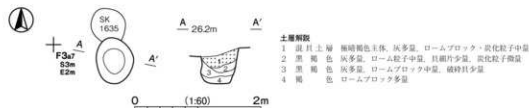
履 足 綱	点 数				重 量 (g)				備 考	
	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片		合 計
アカニシ		1							69.7	
アラムシロガイ		3							2.0	
キセルガイ		-							0.4	破片のみ
小 計		4							72.1	
二 枚 貝 綱	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備 考
イシガイ	-	-	-	-	-	-	-	4.3	4.3	破片のみ
オキシジミ	1	-	-	1	1.5	-	-	-	1.5	
シオフキ	2	3	-	5	6.1	5.8	-	1.7	13.6	
ハマグリ	16	11	-	27	28.2	22.4	-	10.8	61.4	
マゴキ	-	-	-	-	-	-	-	0.6	0.6	破片のみ
マツカサガイ	5	5	-	10	4.8	7.5	-	8.8	21.1	
ヤマトシジミ	192	225	58	475	167.4	169.5	20.6	67.8	425.3	
小 計	216	244	58	518	208.0	206.2	20.6	94.0	527.8	
総 合 計	522				599.9					

#### 第 1628 号土坑 (第 142 図 第 108 表)

**位置** 調査 C 区の F 3 a7 区、標高約 26 m の台地縁辺部に位置している。

**重複関係** 第 1635 号土坑、第 2 号斜面貝層、第 5 号遺物包含層を掘り込んでいる。

**規模と形状** 長径 0.72 m、短径 0.60 m の楕円形で、長径方向は N - 21° - W である。深さは 46 cm で、底面は平坦であり、壁はほぼ直立している。



第142図 第1628号土坑実測図

**覆土** 4層に分層できる。覆土上層（第1層）に遺構内貝層が確認でき、各層にロームブロックや灰が多量に含まれていることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片37点（深鉢25、製塩土器12、1.125g）、貝殻6,541点（9,731.3g）、骨4490gが出土している。土器は口縁が肥厚、内傾し、端部に紐線文が施されたものがみられる。貝殻は9種が確認できた。主な貝種は、ヤマトシジミが6,069点（最小個体数2,906点）で92.8%、次いでハマグリが357点（最小個体数185点）で5.5%、アラムシロガイが75点で1.1%である。

**所見** 時期は、出土土器が細片のため詳細は不明であるが、重複関係から後期後葉～晩期前葉と考えられる。

第108表 第1628号土坑出土貝殻集計表

種別	点 数				重 量 (g)				備 考		
アカニシ	-				1.5				破片のみ		
アラムシロガイ	75				11.7						
ウミナシ	18				13.8						
カワアイ	8				8.1						
キセルガイ	3				0.5						
チリメンカワニナ	2				3.7						
ヒロタチカノコガイ	9				3.1						
小 計	115				42.4						
二枚貝類	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備 考	
ハマグリ	172	185	-	357	492.5	495.4	-	171.8	1,159.7		
ヤマトシジミ	2,906	2,811	352	6,069	4,006.4	3,869.2	157.2	496.4	8,529.2		
小 計	3,078	2,996	352	6,426	4,498.9	4,364.6	157.2	668.2	9,688.9		
総 合 計	6,541				9,731.3						

#### 第1634号土坑（第143図 第109表 PL34・90）

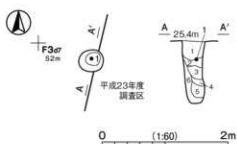
**位置** 調査C区のF 3d7区、標高約25mの台地縁辺部に位置している。

**規模と形状** 長径0.38m、短径0.33mの楕円形で、長径方向はN-84°-Wである。深さは98cmで、底面は平坦であり、壁はほぼ直立している。

**覆土** 6層に分層できる。不規則な堆積状況を示していることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片5点（深鉢28g）、骨9.8gが出土している。1はほぼ完形で、中央部の覆土上層（第1層）からはほぼ正位の状態出土している。

**所見** 時期は、出土土器から後期後葉（曾谷式期）と考えられる。



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量・炭化粒子微量
- 4 黒色 炭化物・ローム粒子・骨片中量
- 5 黒褐色 ローム粒子中量
- 6 暗褐色 ロームブロック中量



第143図 第1634号土坑・出土遺物実測図

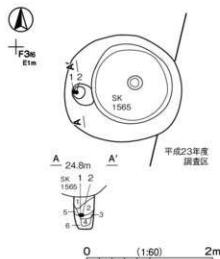
第109表 第1634号土坑出土遺物一覧(第143図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴はか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	13.7	21.7	4.4	灰石・石英・雲母	にふ・中灰	普通	鉄粒 口縁部彫りする形入河 器底凹 横帯文 器底孔之 割部上平区 の外と透輪文 下半部I 横文帯以下部入	中央部上層	90% PL50 番号式

第1651号土坑(第144図 第110表 PL34・89・90)

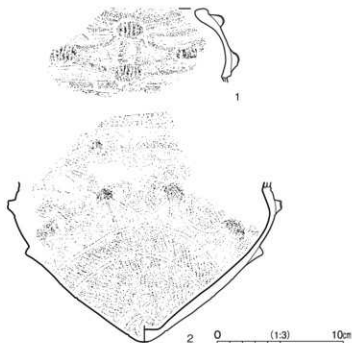
位置 調査C区のF316区、標高約25mの台地縁部に位置している。

重複関係 第1565号土坑に掘り込まれている。



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子少量・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 炭化粒子少量、ローム粒子・焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子微量
- 5 褐色 ローム粒子・炭化粒子少量・焼土粒子微量
- 6 褐色 ローム粒子少量・炭化粒子微量



第144図 第1651号土坑・出土遺物実測図

**規模と形状** 上部を第1565号土坑に掘り込まれているため、確認できた規模は長径0.40m、短径0.30mの楕円形で、長径方向はN-40°-Wである。第1565号土坑の確認面からの深さは84cmで、底面は皿状で、壁は直立している。

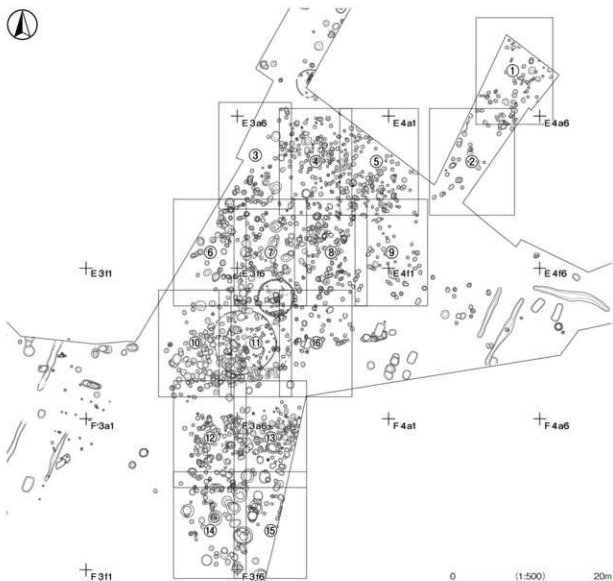
**覆土** 6層に分層できる。不規則な堆積状況を示していることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片8点(深鉢 156g)が出土している。1・2は、西部の覆土中層から出土しており、2は、口縁部から胴部上半にかけて欠損している深鉢の大型破片で、ほぼ正位の状態出土している。

**所見** 時期は、出土土器から後期後葉(安行2式期)と考えられる。

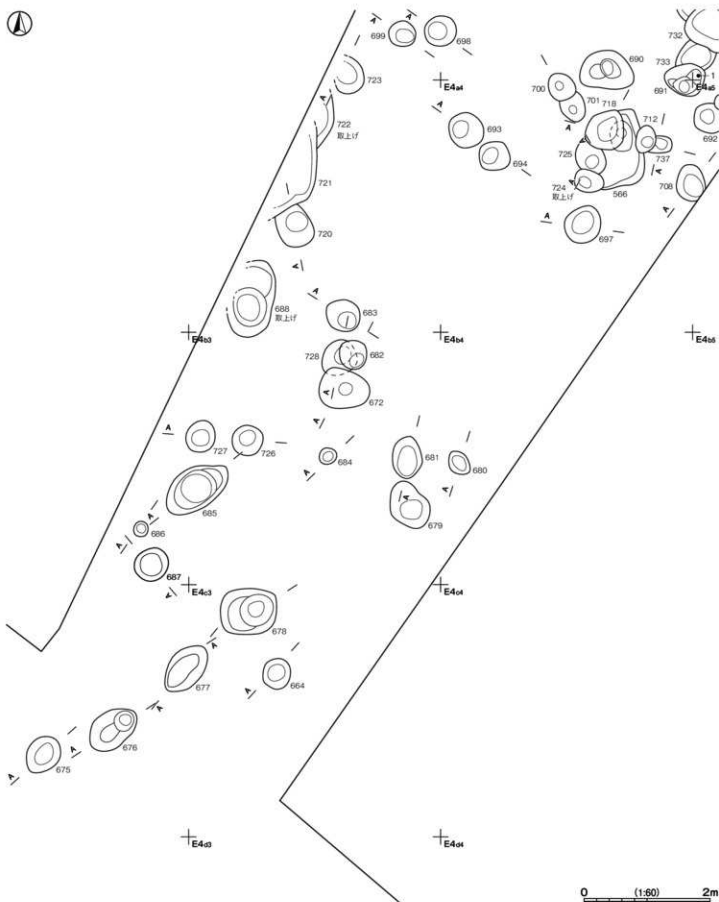
第110表 第1651号土坑出土遺物一覧(第144図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(58)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	注口土器、胴み隆帯による幾何学文、内面縦いぼき	西部中層	30% PL20 安行3B式
2	縄文土器	深鉢	-	(127)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	頸部・胴部上半R.L.幾何形編文とR.L.文り風籬文 遺品部に下部押圧と洗成の痕、下半2帯のR.L.編文等	西部中層	40% PL50 後期後葉

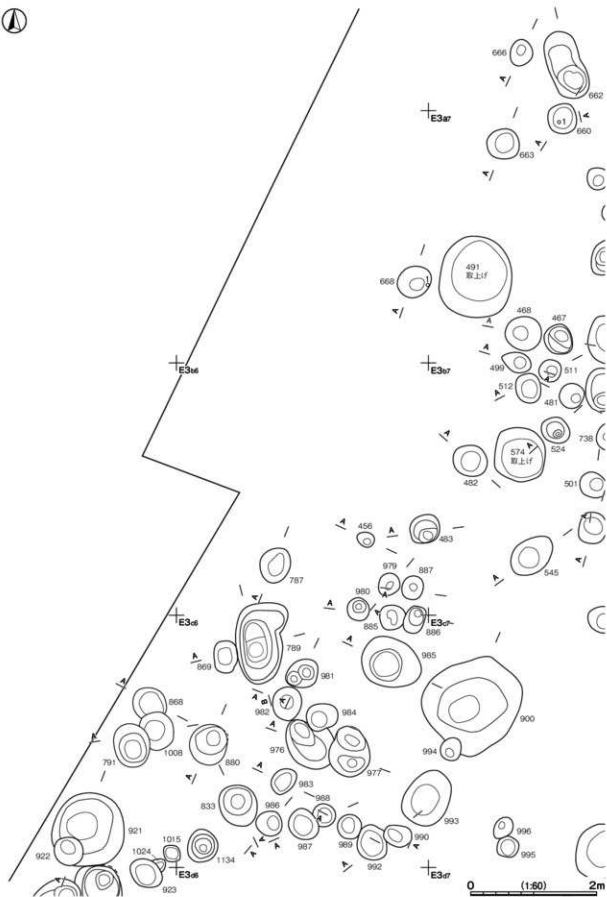


第145図 縄文時代土坑平面図地区別図

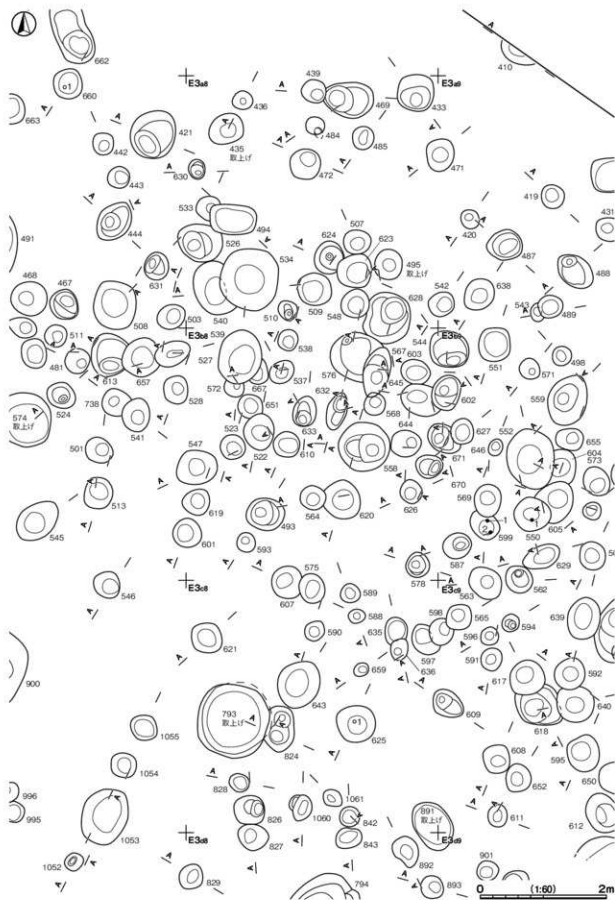




第 147 図 縄文時代土坑②区平面図



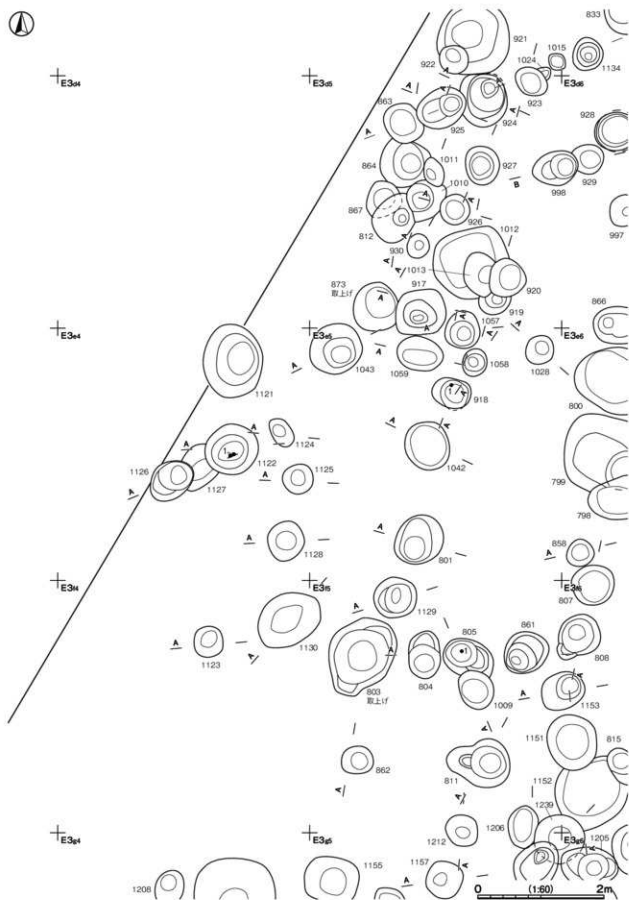
第148图 縄文時代土坑③区平面图



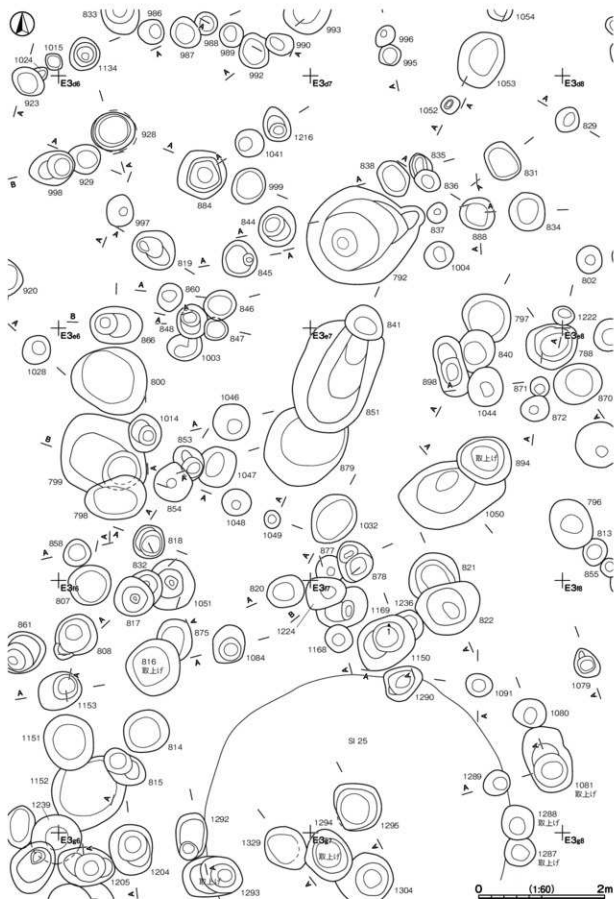
第 149 図 縄文時代土坑④区平面図



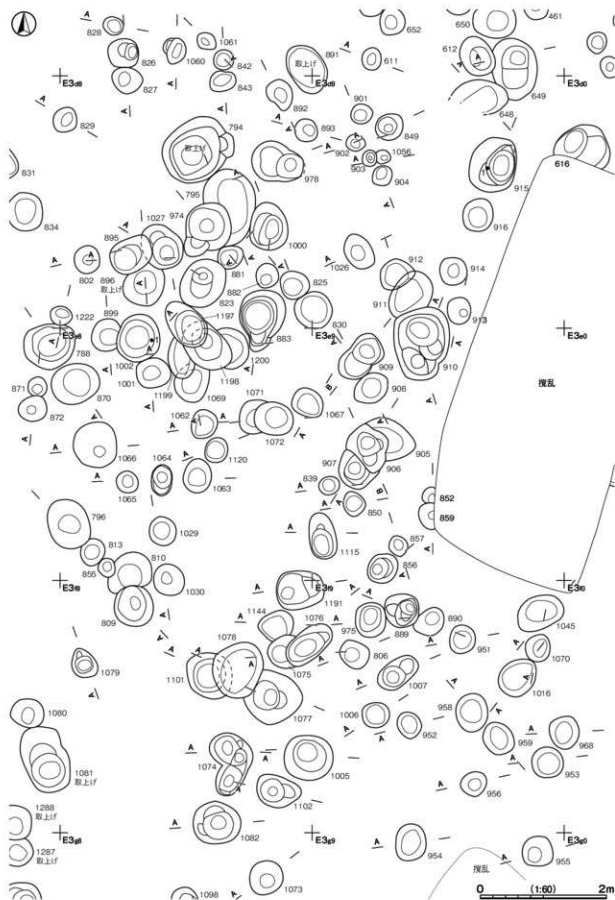




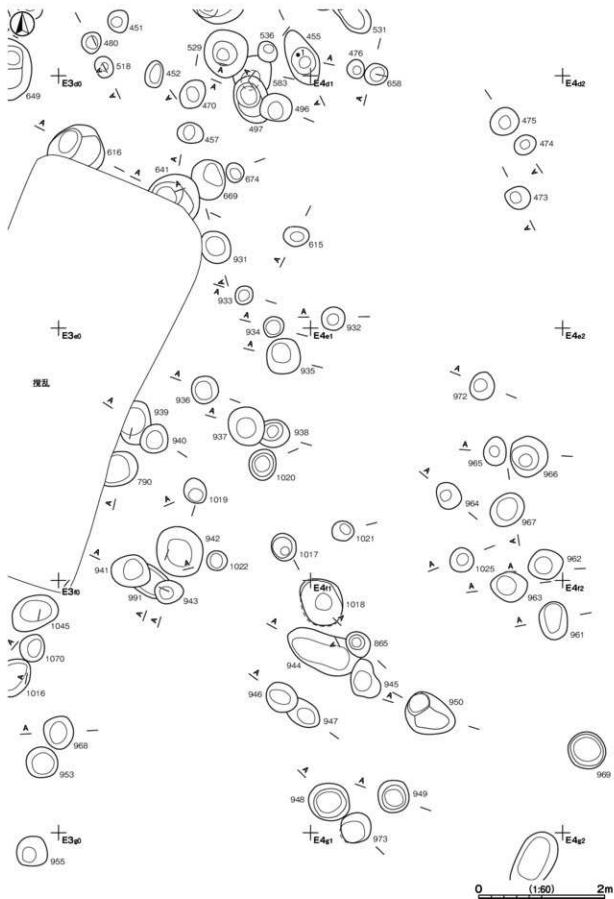
第 151 図 縄文時代土坑⑥区平面图



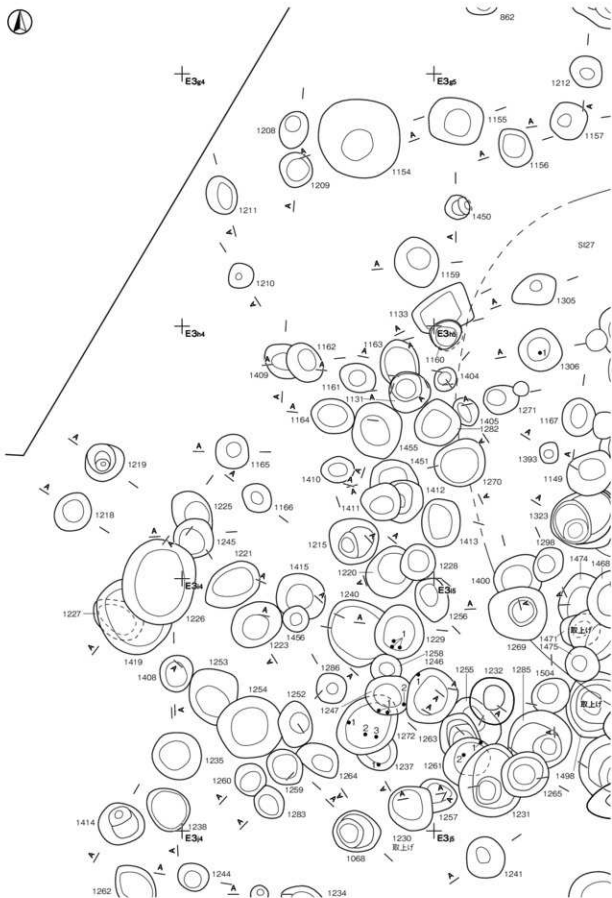
第 152 图 绳文时代土坑⑦区平面图



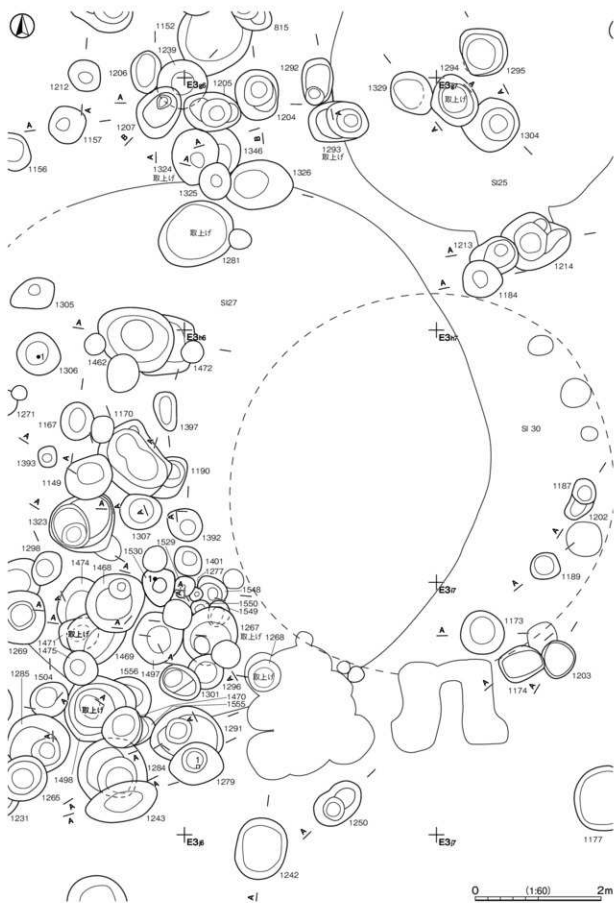
第 153 図 縄文時代土坑⑧区平面図



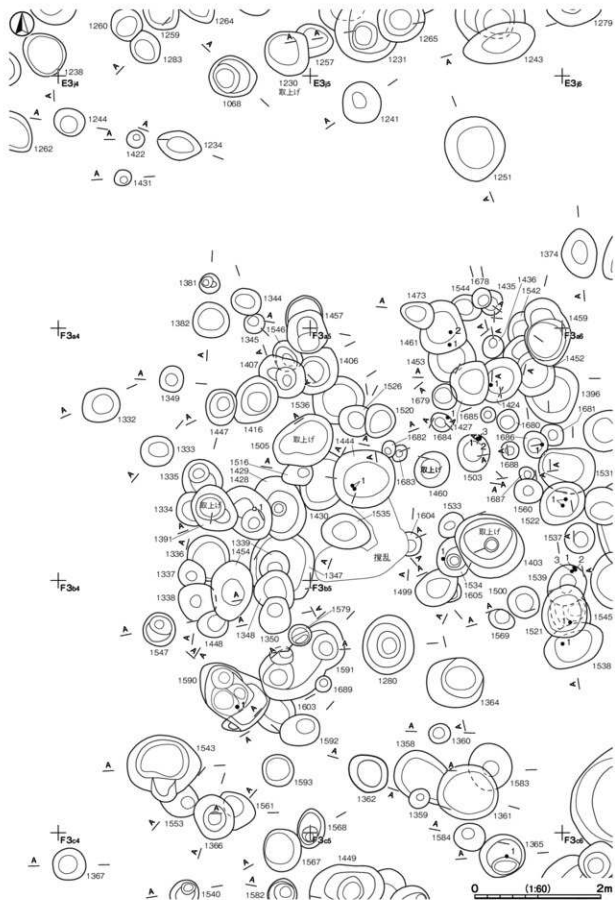
第 154 图 绳文时代土坑⑨区平面图



第 155 图 縄文時代土坑跡区平面图

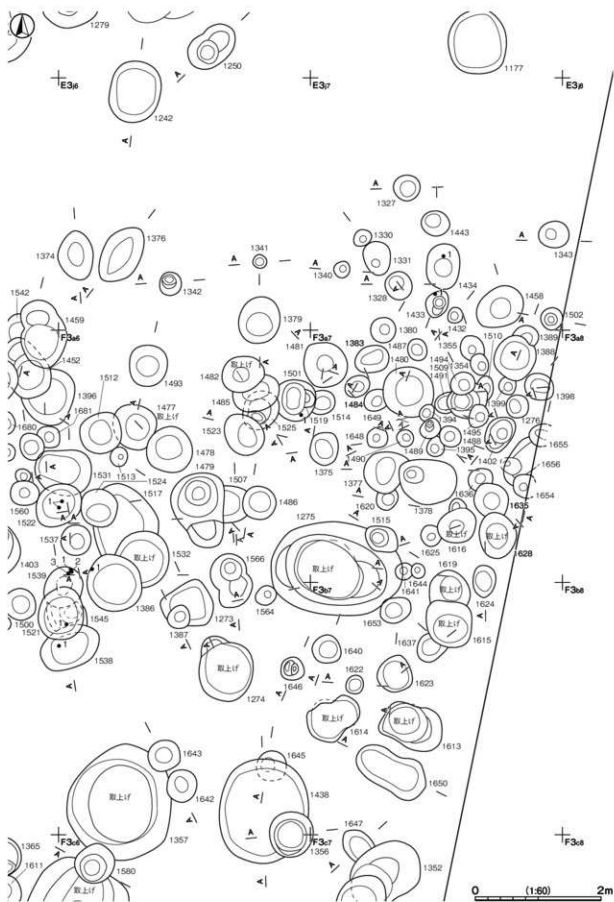


第 156 图 繩文時代土坑窪区平面图



第 157 図 縄文時代土坑区画平面図

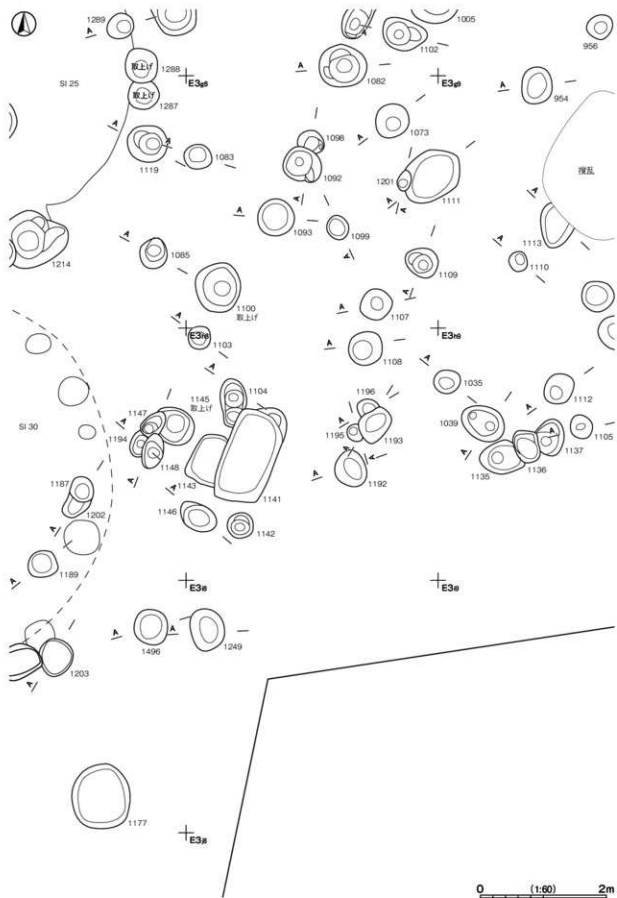




第 158 图 绳文时代土坑遗址区平面图

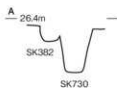






第 161 図 縄文時代土坑②区平面図

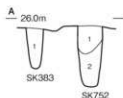
SK382・730



SK385



SK383・752



## 第383号土坑土層解説

1 暗褐色 炭化粒子中量, ロームブロック・焼土粒子少量

## 第752号土坑土層解説

1 暗褐色 rome 粒子・焼土粒子少量, 炭化粒子微量  
2 暗褐色 rome 粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量

SK398



## 土層解説

1 暗褐色 rome ブロック少量  
2 暗褐色 rome 粒子中量

SK399



## 土層解説

1 暗褐色 rome 粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量  
2 暗褐色 rome ブロック中量, 炭化粒子微量

SK400



## 土層解説

1 暗褐色 rome 粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量  
2 暗褐色 rome ブロック中量, 炭化粒子微量

SK407



## 土層解説

1 暗褐色 rome 粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量  
2 暗褐色 rome ブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量  
3 暗褐色 rome 粒子中量

SK408



## 土層解説

1 暗褐色 rome 粒子微量  
2 暗褐色 rome 粒子微量  
3 暗褐色 rome 粒子少量  
4 暗褐色 rome 粒子中量

SK409



## 土層解説

1 暗褐色 rome ブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量  
2 暗褐色 rome ブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量  
3 暗褐色 rome 粒子中量  
4 暗褐色 rome 粒子多量

SK410



## 土層解説

1 暗褐色 rome ブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量  
2 暗褐色 rome 粒子中量, 炭化粒子微量  
3 暗褐色 rome 粒子少量  
4 暗褐色 rome ブロック少量  
5 暗褐色 rome 粒子中量  
6 暗褐色 rome 粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量  
7 暗褐色 rome 粒子中量

SK411



## 土層解説

1 暗褐色 rome ブロック少量, 炭化粒子微量  
2 暗褐色 rome ブロック中量, 焼土粒子微量  
3 暗褐色 rome ブロック少量

SK412



## 土層解説

1 暗褐色 rome 粒子中量, 炭化粒子微量  
2 暗褐色 rome ブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量  
3 暗褐色 rome ブロック少量

SK413



## 土層解説

1 暗褐色 rome ブロック・焼土粒子・炭化粒子微量  
2 暗褐色 rome 粒子中量  
3 暗褐色 rome ブロック少量

SK415



## 土層解説

1 暗褐色 rome 粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量  
2 暗褐色 rome 粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量  
3 暗褐色 rome 粒子少量

SK416



## 土層解説

1 暗褐色 rome 粒子・炭化粒子少量, 焼土粒子微量  
2 暗褐色 rome ブロック少量, 炭化粒子微量  
3 暗褐色 rome ブロック中量

SK417



## 土層解説

1 暗褐色 rome 粒子中量, 炭化粒子微量  
2 暗褐色 rome ブロック・焼土粒子少量, 炭化粒子微量  
3 暗褐色 rome 粒子中量

SK418



## 土層解説

1 暗褐色 rome 粒子中量, 炭化粒子微量

0 (1:60) 2m

SK419



SK421



SK423・464



SK427・428



SK430・431



SK433



SK438



SK420



SK422



SK425・426



SK429



SK432・437



SK436



SK439・469



0 (1:60) 2m

SK440



SK441



SK442・443



SK444



SK445



SK446・447



SK448・449



SK453



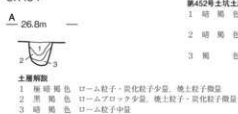
SK450・451・452



SK455



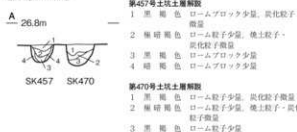
SK454



SK456



SK457・470



SK458



0 (1:60) 2m

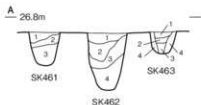
## SK459



## SK460



## SK461・462・463



## 第461号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量  
2 暗褐色 ローム粒子多量、炭化粒子微量  
3 暗褐色 ロームブロック多量

## 第462号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量、焼土粒子微量  
2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量  
3 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子微量  
4 暗褐色 ローム粒子中量

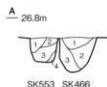
## 第463号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子微量  
2 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量、焼土粒子微量  
3 暗褐色 ローム粒子中量  
4 暗褐色 ロームブロック中量

## SK465



## SK466・553



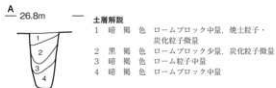
## 第466号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量  
2 黒褐色 ローム粒子少量  
3 暗褐色 ロームブロック中量

## 第553号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量  
2 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量  
3 暗褐色 ローム粒子中量  
4 暗褐色 ロームブロック少量

## SK471



## SK467・468



## 第467号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子少量、焼土粒子微量  
2 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量  
3 暗褐色 ロームブロック中量

## 第468号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量、焼土粒子微量  
2 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量  
3 暗褐色 ロームブロック中量  
4 暗褐色 ローム粒子多量

## SK473



## SK472



## SK476



## SK474・475



## 第474号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量  
2 暗褐色 ロームブロック中量  
3 黒褐色 ローム粒子中量

## 第475号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量  
2 暗褐色 ローム粒子中量  
3 黒褐色 ローム粒子中量  
4 暗褐色 ロームブロック中量

## SK477・478



## 第477号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量  
2 暗褐色 ロームブロック少量  
3 暗褐色 ローム粒子少量

## 第478号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量  
2 暗褐色 ローム粒子中量  
3 暗褐色 ロームブロック少量

0 (1:60) 2m



SK479

A 26.8m



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土ブロック少量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 極暗褐色 ロームブロック少量

SK481

A 26.6m



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量、焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

SK480

A 26.8m



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

SK482

A 26.6m



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

SK483

A 26.6m



土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

SK484

A 26.8m



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量

SK485

A 26.8m



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック少量

SK486

A 26.6m



SK487

A 26.8m



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量

SK488

A 26.8m



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

SK489・543

A 26.8m



第489号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

SK543 SK489

SK490

A 26.6m



土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量、焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

SK492

A 26.8m



土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

SK493・593

A 26.8m



第493号土坑土層解説

- 1 灰土層 黒褐色土中量、ロームブロック少量
- 2 灰土層 黒褐色土中量、軽骨少量、ローム粒子微量
- 3 灰土層 黒褐色土主体、ローム粒子少量

SK593 SK493

第593号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、軽骨粒・焼土粒子少量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 4 褐色 ロームブロック少量

SK494

A 26.8m



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 極暗褐色 ローム粒子少量

SK496・497

A 26.6m



第496号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子少量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子少量
- 3 黒褐色 ローム粒子中量

SK497 SK496

第497号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 極暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

SK498

A 26.8m



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 極暗褐色 ローム粒子少量

SK499

A 26.8m



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

0 (1:60) 2m

## SK500



## SK502



## SK504・505



## SK507



## SK509



## SK511・512



## SK514



## SK516・517



## SK501



## SK503



## SK506



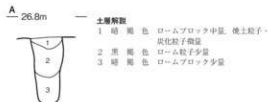
## SK508



## SK510



## SK513



## SK515



## SK518



0 (1:60) 2m

SK519



SK521



SK523



SK525



SK527



SK528



SK530



SK532



SK534・540



SK520



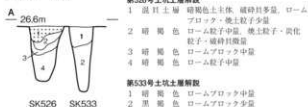
SK522



SK524



SK526・533



SK529



SK531



SK535



SK536



0 (1:60) 2m

SK537

A 26.8m

土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量



SK539・572

A 26.8m

第539号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 破砕珪石・焼土粒子・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

第572号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 破砕珪石・焼土粒子・炭化粒子少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量



SK572 SK539

SK542

A 26.8m

土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量



SK545

A 26.8m

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子・破砕珪石少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子・破砕珪石微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・破砕珪石少量, 炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量



SK547

A 26.8m

土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量



SK549

A 26.8m

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量



SK551

A 26.8m

土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量



SK554

A 26.8m

土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量



SK538

A 26.8m

土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量



SK541・738

A 26.8m

第541号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・破砕珪石少量, 焼土粒子・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 破砕珪石・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量



SK738 SK541

第738号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

SK544

A 26.8m

土層解説

- 1 黒褐色 破砕珪石・ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量



SK546

A 26.8m

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量



SK548

A 26.8m

土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子多量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量



SK550

A 26.8m

土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量



SK552

A 26.8m

土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量



0 (1:60) 2m

SK556



SK559



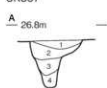
SK561



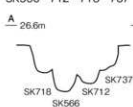
SK564



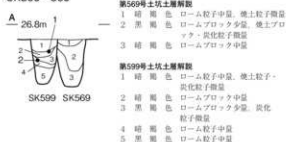
SK567



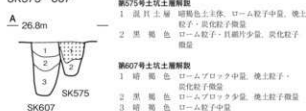
SK566・712・718・737



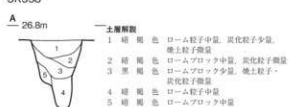
SK569・599



SK575・607



SK558



SK560



SK562・563



SK563



SK565・597・598



SK568



SK568



SK570



SK571



SK573



0 (1:60) 2m

SK576



SK578



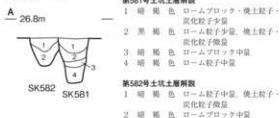
SK579



SK580・656



SK581・582



SK583



SK584



SK585・586



SK587



SK588・589



SK590



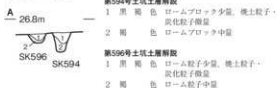
SK591



SK592



SK594・596



SK595



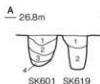
0 (1:60) 2m

第171図 縄文時代土坑実測図(10)

SK600



SK601・619



第601号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子少量
- 3 極暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量

第619号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量

SK602



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量
- 5 暗褐色 ローム粒子中量

SK603



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

SK604



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量

SK605



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量

SK606



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

SK608



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

SK609



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

SK610



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 破砕片微量

SK611



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量

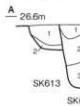
SK612



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量

SK613・657



第613号土坑土層解説

- 1 黒褐色 炭化粒子中量, ロームブロック・焼土粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第657号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量, 焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量

SK614



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量

SK616



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量

SK615

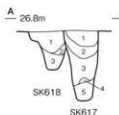


土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

0 (1:60) 2m

## SK617・618



## 第617号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 灰土層
- 5 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

## 第618号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量

## SK620



## 土層解説

- 1 黒土層 赤褐色土主体, ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量

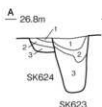
## SK622



## 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック, 焼土粒微量

## SK623-624



## 第623号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量, 破砕粒微量

## 第624号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量, 破砕粒・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

## SK626



## 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量

## SK628



## 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

## SK630



## 土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量

## SK632



## 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

## SK634



## 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量

## SK637



## 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量

## SK621



## 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 破砕粒微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量

## SK625



## 土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 破砕粒・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量

## SK627



## 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

## SK629



## 土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ローム粒子少量

## SK631



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

## SK633



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック中量
- 4 黒褐色 ローム粒子中量

## SK635-636



## 第635号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

## 第636号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

0 (1:60) 2m



SK638



SK640



SK642



SK644



SK646



SK647



SK648



SK652



SK653・654



SK639



SK641



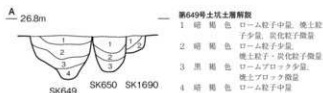
SK643



SK645



SK649・650・1690



SK651



SK655



SK658



0 (1:60) 2m

SK659



SK661



SK663



SK665



SK667



SK669・674



SK672・682



SK672 SK682



SK675



SK660



SK662



SK664



SK666



SK668



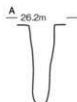
SK670



SK671



SK673



SK676



0 (1:60) 2m

SK677

A 26.6m



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、炭化物微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量

SK680

A 26.6m



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子中量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量

SK681

A 26.6m



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量

SK683

A 26.6m



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量

SK687

A 26.8m



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量

SK691・696・732・733

A 26.4m



SK691

第691号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量、貝殻、焼土粒子、炭化粒子微量

第696号土坑土層解説

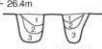
- 1 極暗褐色 貝殻、ローム粒子、焼土粒子、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量

第733号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、貝殻微量

SK695・710

A 26.4m



SK695

SK710

第695号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

第710号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子、炭化粒子微量
- 2 極暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量

SK698

A 26.6m



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子、炭化粒子微量

SK678

A 26.6m



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

SK684

A 26.6m



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

SK686

A 26.8m



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

SK685

A 26.6m



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、焼土粒子少量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック、焼土粒子、炭化粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子、炭化粒子微量

SK689

A 26.4m



土層解説

- 1 灰土層 栗褐色土主体、焼土粒子、炭化粒子少量、ローム粒子微量
- 2 黒褐色 貝殻、焼土粒子、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子多量

SK692・707

A 26.6m



SK692

SK707

第692号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量

第707号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量

SK693・694

A 26.6m



SK693

SK694

第693号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第694号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量

SK697

A 26.6m



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量

SK699

A 26.6m



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子、炭化粒子微量
- 3 極暗褐色 ローム粒子中量

0 (1:60) 2m

## SK700・701

A 26.6m



SK701 SK700

## 第700号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量

## 第701号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量

## SK702

A 26.4m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

## SK703

A 26.6m



## 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量

## SK705

A 26.6m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量、焼土粒子微量

## SK708

A 26.6m



## 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量

## SK714

A 26.2m



## 土層解説

- 1 暗褐色 焼土粒子中量、目録少量、ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 焼土粒子・炭化粒子中量、ローム粒子少量、目録微量
- 3 黒褐色 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 焼土粒子・炭化粒子微量

## SK717

A 26.4m



## 土層解説

- 1 暗褐色 目録・ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 目録・ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 黒褐色 ロームブロック中量

## SK720

A 26.8m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子多量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量

## SK726・727

A 26.6m



SK727 SK726

## 第726号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量

## 第727号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック中量

## SK704

A 26.6m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量

## SK706

A 26.6m



## 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

## SK709

A 25.8m



## SK713

A 26.2m



## SK716

A 26.4m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

## SK718・725

A 26.4m



SK725 SK718

## 第718号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子少量、焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

## 第725号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量

## SK723

A 26.8m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

## SK728

A 26.6m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

0 (1:60) 2m

SK729



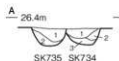
SK731



## 土層解説

- 1 灰 貝 土 層 極暗褐色土主体、ローム粒子・炭化粒子少量、焼土粒子微量
- 2 黒 褐色 磁砕貝・ロームブロック少量、炭化粒子微量

SK734・735



## SK734号土坑土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子少量、磁砕貝・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐色 ローム粒子少量
- 3 暗 褐色 ロームブロック中量

## SK735号土坑土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子少量、磁砕貝微量
- 2 暗 褐色 ロームブロック少量、磁砕貝微量

SK736



## 土層解説

- 1 黒 褐色 磁砕貝・ローム粒子・炭化粒子少量、焼土粒子微量
- 2 暗 褐色 ローム粒子・炭化粒子中量、磁砕貝・焼土粒子微量
- 3 暗 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量

SK737



## 土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 2 黒 褐色 ローム粒子・炭化粒子少量、焼土粒子微量

SK741・753



SK743



SK744



SK745



SK746



SK747



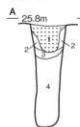
SK748



SK749



SK750



## 土層解説

- 1 灰 貝 土 層 暗褐色土主体、炭化粒子中量、ローム粒子・焼土粒子少量
- 2 黒 褐色 ロームブロック少量
- 3 暗 褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子少量、磁砕貝微量
- 4 黒 褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量

SK751



## 土層解説

- 1 黒 褐色 磁砕貝・ローム粒子・炭化粒子少量、焼土粒子微量

SK754



SK755・756



SK757



SK758



## 土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量

SK787

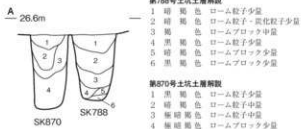


## 土層解説

- 1 灰 黄 褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 3 紅・赤褐色 ローム粒子中量

0 (1:60) 2m

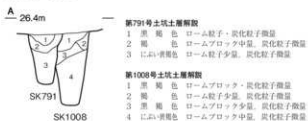
## SK788・870



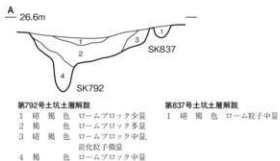
## SK790



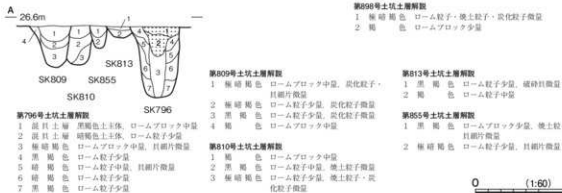
## SK791・1008



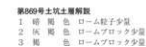
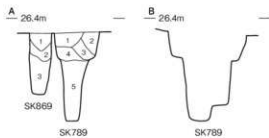
## SK792・837



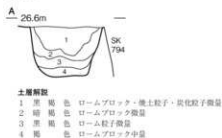
## SK796・809・810・813・855



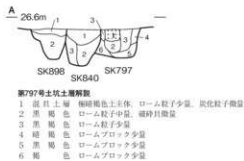
## SK789・869



## SK795

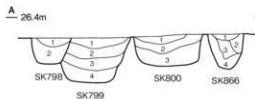


## SK797・840・898



第 179 図 縄文時代土坑実測図 (18)

SK798・799・800・866



**第798号土坑土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

**第799号土坑土層解説**

- 1 褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームアブロック少量
- 4 褐色 ロームアブロック少量

**第800号土坑土層解説**

- 1 褐色 ローム粒子少量
- 2 褐色 ローム粒子微量
- 3 褐色 ロームアブロック微量

**第866号土坑土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 暗褐色 ロームアブロック少量

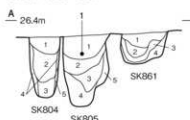
SK801



**土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームアブロック微量

SK804・805・861



**第804号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、貝殻片微量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量、貝殻片微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量、貝殻片微量
- 4 褐色 ローム粒子中量
- 5 黒褐色 ローム粒子少量

**第805号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子中量、貝殻片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子、貝殻片微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子、貝殻片微量
- 4 黒褐色 ロームアブロック中量
- 5 褐色 ローム粒子中量

**第861号土坑土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子微量
- 3 褐色 ロームアブロック微量
- 4 褐色 ロームアブロック中量

SK806



**土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームアブロック少量、炭化粒子微量

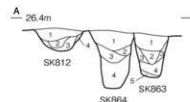
SK811



**土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 褐色 ローム粒子中量
- 5 黒褐色 ロームアブロック少量、貝殻片微量

SK812・863・864



**第812号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量

**第864号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ロームアブロック・炭化物・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 黒褐色 ローム粒子微量
- 4 暗褐色 ロームアブロック微量

**第863号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 褐色 ロームアブロック少量
- 4 黒褐色 ロームアブロック・焼土粒子微量
- 5 暗褐色 ロームアブロック少量

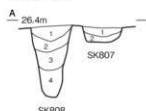
SK802



**土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子中量、焼砂粒少量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、貝殻片微量
- 3 褐色 ロームアブロック中量、貝殻片微量

SK807・808



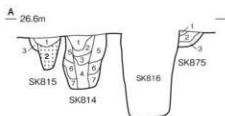
**第807号土坑土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームアブロック中量

**第808号土坑土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・貝殻片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、貝殻片微量
- 3 黒褐色 ローム粒子中量、焼砂粒少量
- 4 黒褐色 ローム粒子中量、貝殻片微量

SK814・815・875



**第814号土坑土層解説**

- 1 暗褐色 焼土粒子中量、焼砂粒・ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子少量、炭化粒子、貝殻片微量
- 3 黒褐色 焼砂粒・ローム粒子・焼土粒子微量
- 4 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子、貝殻片微量
- 5 褐色 ローム粒子中量
- 6 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 7 暗褐色 ロームアブロック中量

**第815号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子・貝殻片微量
- 2 灰土層 極暗褐色土主体、ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 3 褐色 ロームアブロック中量

**第875号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ロームアブロック微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームアブロック中量

0 (1:60) 2m

## SK817・832



第832号土坑土層解説  
 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・貝殻片微量  
 2 黒褐色 ローム粒子少量、貝殻片微量

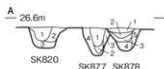
## SK818



## SK819



## SK820・877・878

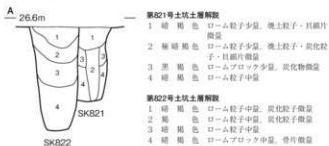


第820号土坑土層解説  
 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・破砕貝殻量  
 2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量  
 3 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子・貝殻片微量

第877号土坑土層解説  
 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量  
 2 暗褐色 ロームブロック中量  
 3 暗褐色 ローム粒子少量、貝殻片微量  
 4 褐色 ローム粒子・貝殻片微量

第878号土坑土層解説  
 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・貝殻片微量  
 2 黒褐色 破砕貝殻少量、ローム粒子・焼土粒子微量  
 3 暗褐色 ロームブロック・貝殻片微量  
 4 黒褐色 ロームブロック・骨片微量  
 5 暗褐色 ローム粒子少量

## SK821・822



## SK823・881



## SK824



## SK826・827



## SK831



## SK834



## SK825・830



## SK828



## SK829



## SK833



0 (1:60) 2m



## SK835・838



第835号土坑土層解説  
1 黒褐色 磁砂目・ローム粒子少量、炭化粒子微量  
2 黒褐色 ローム粒子中量

## 第838号土坑土層解説

1 黒褐色 磁砂目・ロームブロック・炭化物少量、焼土粒子微量  
2 黒褐色 ローム粒子少量、磁砂目・焼土粒子・炭化粒子微量  
3 黒褐色 ロームブロック少量、貝殻片微量  
4 暗褐色 ロームブロック・貝殻片少量、焼土粒子・炭化粒子微量

## SK841・851・879



## 第841号土坑土層解説

1 黒褐色 ローム粒子少量  
2 土壌褐色 ロームブロック少量

## 第851号土坑土層解説

1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量  
2 暗褐色 ローム粒子少量  
3 黒褐色 ローム粒子中量  
4 褐色 ロームブロック中量  
5 暗褐色 ローム粒子少量

## 第879号土坑土層解説

1 黒褐色 ロームブロック少量  
2 暗褐色 ローム粒子少量

## SK847・848



## 第847号土坑土層解説

1 暗褐色 ローム粒子少量  
2 暗褐色 ロームブロック少量  
3 黒褐色 ローム粒子少量  
4 褐色 ローム粒子少量

## 第848号土坑土層解説

1 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量  
2 暗褐色 ロームブロック少量  
3 褐色 ロームブロック少量  
4 褐色 ローム粒子中量

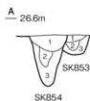
## SK850



## 土層解説

1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

## SK853・854



## 第853号土坑土層解説

1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・貝殻片微量  
2 暗褐色 ローム粒子少量  
3 暗褐色 ロームブロック中量

## 第854号土坑土層解説

1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・貝殻片微量  
2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量  
3 暗褐色 ロームブロック少量

## SK857



## 土層解説

1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

## SK860



## SK836



## 土層解説

1 黒褐色 磁砂目・ロームブロック・炭化粒子少量  
2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量、貝殻片微量  
3 暗褐色 ロームブロック少量、磁砂目微量

## SK839



## 土層解説

1 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子・貝殻片微量

## SK842・843



## 第842号土坑土層解説

1 暗褐色 ローム粒子少量  
2 暗褐色 磁砂目中量、ロームブロック少量

## 第843号土坑土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量  
2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

## SK844



## 土層解説

1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量  
2 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量  
3 灰黄色 ローム粒子中量、炭化粒子微量

## SK845



## 土層解説

1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量  
2 土壌褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量  
3 暗褐色 ローム粒子中量  
4 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

## SK846



## 土層解説

1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

## SK849



## 土層解説

1 黒褐色 ローム粒子・骨片微量

## SK852・859



## 第852号土坑土層解説

1 暗褐色 ローム粒子微量  
2 暗褐色 ローム粒子微量

## 第859号土坑土層解説

1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・貝殻片微量  
2 黒褐色 ローム粒子・貝殻片微量

## SK856



## 土層解説

1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子・貝殻片微量  
2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・貝殻片微量

## SK858



## 土層解説

1 暗褐色 ローム粒子微量  
2 暗褐色 ロームブロック中量

0 (1:60) 2m

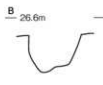
SK862



SK863



SK866



SK867



SK865



SK868



SK871・872



SK880



SK884・999



SK882・883

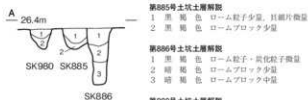


SK884

SK887



SK885・886・980



SK888



SK892



SK889・890



SK893



SK899

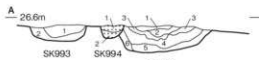


SK895



0 (1:60) 2m

## SK900・993・994



## SK900号土坑土層解説

- 1 暗赤褐色 焼土ブロック中量, 炭化粒子・貝細片微量
- 2 赤褐色 焼土ブロック・灰多量, 骨片微量
- 3 暗赤褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子少量
- 4 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック少量
- 6 麻褐色 ローム粒子・貝細片微量

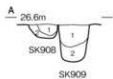
## SK993号土坑土層解説

- 1 麻褐色 貝細片少量, ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子・貝細片微量

## SK994号土坑土層解説

- 1 灰土層 赤褐色土中量, ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 灰土層 赤褐色土多量, ローム粒子少量, 炭化粒子微量

## SK908・909



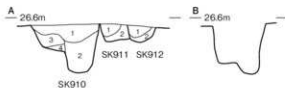
## SK908号土坑土層解説

- 1 赤褐色 ローム粒子少量, 貝細片微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

## SK909号土坑土層解説

- 1 麻褐色 ローム粒子中量, 貝細片微量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

## SK910・911・912



## SK910号土坑土層解説

- 1 麻褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子・貝細片微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子・貝細片微量
- 3 麻褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子・貝細片微量
- 4 褐色 ロームブロック中量

## SK911号土坑土層解説

- 1 赤褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子・貝細片微量
- 2 黒褐色 ロームブロック微量

## SK912号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

## SK917



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ローム粒子少量

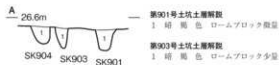
## SK918



## 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・貝細片微量
- 2 麻褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子微量

## SK901・903・904



## SK901号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック微量

## SK903号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量

## SK904号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量

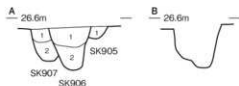
## SK902



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量

## SK905・906・907



## SK905号土坑土層解説

- 1 赤褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子・貝細片微量

## SK906号土坑土層解説

- 1 赤褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子少量
- 2 褐色 ローム粒子少量

## SK907号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子・貝細片微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量

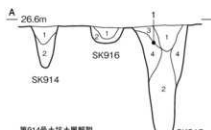
## SK913



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量, 貝細片微量
- 2 褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック微量

## SK914・915・916



## SK914号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

## SK915号土坑土層解説

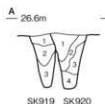
- 1 赤褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・貝細片微量
- 2 赤褐色 ローム粒子中量, 貝細片微量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック少量

## SK916号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・貝細片微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

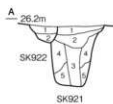
0 (1:60) 2m

## SK919・920



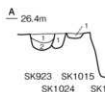
- 第919号土坑土層解説
- 1 暗褐色 ローム粒子少量、貝殻片微量
  - 2 褐色 ロームブロック少量
  - 3 褐色 ロームブロック微量
- 第920号土坑土層解説
- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子、貝殻片微量
  - 2 暗褐色 ローム粒子少量
  - 3 褐色 ロームブロック少量
  - 4 暗褐色 ロームブロック少量

## SK921・922



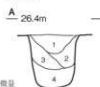
- 第921号土坑土層解説
- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
  - 2 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・貝殻片微量
  - 3 黒褐色 ロームブロック微量
  - 4 褐色 ローム粒子少量
- 第922号土坑土層解説
- 1 暗褐色 ローム粒子微量
  - 2 褐色 ローム粒子少量

## SK923・1015・1024・1134



- 第923号土坑土層解説
- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
  - 2 暗褐色 ロームブロック微量
- 第1015号土坑土層解説
- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 第1024号土坑土層解説
- 1 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

## SK924



- 土層解説
- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
  - 2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
  - 3 黒褐色 ローム粒子少量
  - 4 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

## SK925



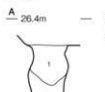
- 土層解説
- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
  - 2 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
  - 3 暗褐色 ローム粒子微量

## SK926



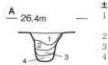
- 土層解説
- 1 褐色 ローム粒子少量

## SK928



- 土層解説
- 1 黒褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
  - 2 暗褐色 ロームブロック微量

## SK927



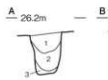
- 土層解説
- 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
  - 2 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
  - 3 暗褐色 ローム粒子少量
  - 4 褐色 ロームブロック微量

## SK930



- 土層解説
- 1 暗褐色 ローム粒子少量
  - 2 暗褐色 ロームブロック微量

## SK929



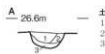
- 土層解説
- 1 黒褐色 ローム粒子少量、貝殻片微量
  - 2 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
  - 3 暗褐色 ローム粒子少量

## SK929・998



- 土層解説
- 1 黒褐色 ローム粒子少量、貝殻片微量
  - 2 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
  - 3 暗褐色 ローム粒子少量

## SK931



- 土層解説
- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
  - 2 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
  - 3 褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量

## SK932



- 土層解説
- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
  - 2 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

## SK933



- 土層解説
- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
  - 2 褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量

## SK934



- 土層解説
- 1 褐色 ローム粒子多量、炭化粒子微量

## SK935



- 土層解説
- 1 灰黄色 ローム粒子中量
  - 2 に近い黄褐色 ローム粒子少量
  - 3 に近い黄褐色 ローム粒子中量
  - 4 に近い黄褐色 ローム粒子多量

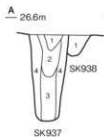
## SK936



- 土層解説
- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
  - 2 褐色 ロームブロック中量
  - 3 褐色 ロームブロック微量

0 (1:60) 2m

## SK937・938



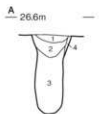
## 第937号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子中量、炭化粒子・貝殻片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・貝殻片微量
- 3 極暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量

## 第938号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量

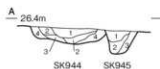
## SK941



## 土層解説

- 1 褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量

## SK944・945



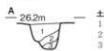
## 第944号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子少量、炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子微量

## 第945号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 褐色 ローム粒子少量

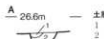
## SK949



## 土層解説

- 1 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック微量

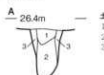
## SK951



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

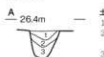
## SK953



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

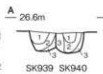
## SK955



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・貝殻片微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量

## SK939・940



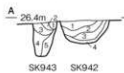
## 第939号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量

## 第940号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

## SK942・943



## 第942号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量

## 第943号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量

## SK946・947



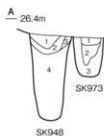
## 第946号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

## 第947号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量
- 2 褐色 ロームブロック少量

## SK948・973



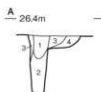
## 第948号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子中量、焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量
- 4 褐色 ロームブロック少量

## 第973号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

## SK950



## 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック微量

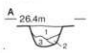
## SK952



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量

## SK954



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・貝殻片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック微量

0 (1:50) 2m

SK956



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量

SK961



土層解説

- 1 褐色 ローム粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

SK962



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

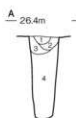
SK964



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 褐色 ローム粒子中量
- 4 黒褐色 ローム粒子少量

SK967



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック中量

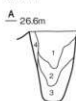
SK972



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

SK974



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、貝殻片・骨片微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量

SK976・977



SK976 SK977

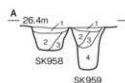
SK976号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック微量

SK977号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子中量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック少量、貝殻片微量

SK958・959



SK958 SK959

SK958号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・貝殻片微量
- 3 褐色 ロームブロック・焼土粒子微量

SK959号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・炭化物・焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

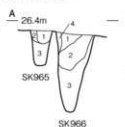
SK963



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

SK965・966



SK965 SK966

SK965号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

SK966号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量

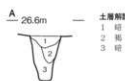
SK968



土層解説

- 1 褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

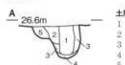
SK975



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量

SK978



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量
- 5 褐色 ロームブロック少量

SK979



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック微量

0 (1:60) 2m

SK981



SK983



SK986



SK989



SK991



SK995・996



SK1000



SK1003



SK1005



SK982・984



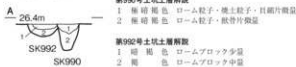
SK985



SK987・988



SK990・992



SK997



SK1001・1002



SK1006



0 (1:60) 2m

SK1007



SK1009



SK1012



SK1010・1011



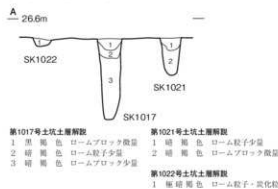
SK1016



SK1014



SK1017・1021・1022



SK1018



SK1019・1020



SK1025



SK1026



SK1029・1030



SK1027



SK1028



0 (1:60) 2m



SK1032



土層解説

- 1 赤褐色 焼土主体、灰少量
- 2 暗褐色 焼土粒子中量、ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ロームアロツク微量
- 5 褐色 ロームアロツク中量

SK1035



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、骨片微量
- 2 暗褐色 ロームアロツク少量、炭化粒子微量

SK1041・1216



SK1042



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ロームアロツク、炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームアロツク少量

SK1039



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子、骨片微量
- 2 暗褐色 ロームアロツク微量、炭化粒子微量

SK1043



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ロームアロツク少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームアロツク少量、焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ロームアロツク少量
- 5 褐色 ロームアロツク中量

SK1044



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ローム粒子微量
- 5 暗褐色 ロームアロツク少量、炭化粒子微量
- 6 灰青褐色 灰中量、ローム粒子少量、炭化物、貝屑片微量
- 7 褐色 ロームアロツク中量

SK1045



土層解説

- 1 暗褐色 ロームアロツク、焼土粒子、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子、貝屑片微量
- 3 暗褐色 ロームアロツク、貝屑片微量
- 4 褐色 ロームアロツク中量

SK1046



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、貝屑片微量
- 2 黒褐色 ロームアロツク、貝屑片微量
- 3 褐色 ロームアロツク少量

SK1047



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子、焼土粒子、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子微量
- 4 褐色 ロームアロツク少量

SK1048・1049



第1048号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、骨片微量
- 2 褐色 ロームアロツク少量
- 3 褐色 ロームアロツク中量

第1049号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子少量
- 2 褐色 ロームアロツク少量、貝屑片微量

SK1050



SK1051



土層解説

- 1 褐色 ロームアロツク微量
- 2 褐色 ロームアロツク少量
- 3 褐色 ロームアロツク中量

SK1052



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量
- 2 褐色 ロームアロツク少量、炭化粒子微量

SK1056



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームアロツク微量

SK1053



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子、炭化粒子、貝屑片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、貝屑片微量
- 3 褐色 ロームアロツク少量、貝屑片微量
- 4 褐色 ローム粒子中量
- 5 褐色 ロームアロツク中量
- 6 褐色 ローム粒子少量

SK1054・1055



第1054号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 褐色 ロームアロツク少量、炭化粒子微量

第1055号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子少量
- 2 褐色 ロームアロツク少量

SK1057



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子、貝屑片微量
- 2 暗褐色 ロームアロツク少量
- 3 褐色 ロームアロツク少量

SK1058



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ロームアロツク中量
- 3 暗褐色 ロームアロツク少量

0 (1:60) 2m

## SK1060



## SK1059



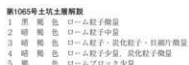
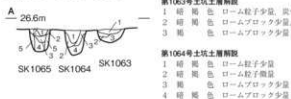
## SK1061



## SK1062



## SK1063・1064・1065



## SK1066



## SK1067



## SK1068



## SK1070



## SK1069・1197・1199



## SK1071・1072



## SK1073



0 (1:60) 2m

## SK1074



## SK1077・1078



## SK1080



## SK1083



## SK1085



## SK1092・1098



## SK1075・1076



## SK1079



## SK1082



## SK1084



## SK1091



## SK1093



## SK1099



0 (1:60) 2m

SK1101



SK1104



SK1107



SK1109



SK1111



SK1113



SK1119



SK1123



SK1124



SK1102



SK1103



SK1105



SK1108



SK1110



SK1112



SK1115



SK1120



SK1122



0 (1:60) 2m

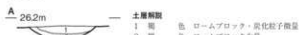
SK1125



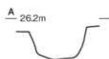
SK1128



SK1130



SK1133



SK1146



SK1147・1148



SK1150



SK1153



SK1154



SK1126・1127



SK1129



SK1131



SK1144



SK1149



SK1151・1152

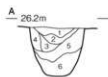


第1151号土坑土層解説  
1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・貝殻片微量  
2 暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・貝殻片・骨片微量  
3 黒褐色 ローム粒子少量, 貝殻片微量  
4 黒褐色 ロームブロック少量, 貝殻片微量  
5 黒褐色 ロームブロック微量, 貝殻片微量  
6 暗褐色 ロームブロック少量

第1152号土坑土層解説  
1 暗褐色 ローム粒子少量  
2 暗褐色 ロームブロック微量  
3 暗褐色 ロームブロック少量

0 (1:60) 2m

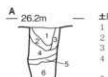
SK1155



土層解説

- 1 黒 褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 黒 褐色 ロームアブロック微量
- 3 暗 褐色 ロームアブロック少量
- 4 暗 褐色 ロームアブロック中量
- 5 黒 褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 6 極暗 褐色 ロームアブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

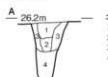
SK1156



土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子微量
- 2 暗 褐色 ロームアブロック少量
- 3 暗 褐色 ローム粒子少量
- 4 黒 褐色 ロームアブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 5 暗 褐色 ローム粒子少量
- 6 極暗 褐色 ローム粒子, 炭化粒子微量

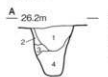
SK1157



土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐色 ロームアブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗 褐色 ロームアブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗 褐色 ロームアブロック少量, 骨片微量

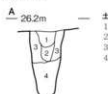
SK1159



土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐色 ロームアブロック少量
- 3 暗 褐色 ローム粒子少量
- 4 暗 褐色 ロームアブロック少量

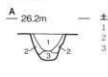
SK1160



土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子微量
- 2 暗 褐色 ロームアブロック微量
- 3 暗 褐色 ローム粒子少量
- 4 暗 褐色 ロームアブロック少量

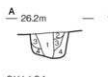
SK1161



土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子少量
- 2 暗 褐色 ロームアブロック中量
- 3 暗 褐色 ローム粒子少量

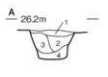
SK1163



土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子少量
- 2 暗 褐色 ローム粒子微量
- 3 暗 褐色 ロームアブロック微量
- 4 暗 褐色 ロームアブロック少量

SK1164



土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子微量
- 2 暗 褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 暗 褐色 ロームアブロック微量
- 4 暗 褐色 ロームアブロック少量

SK1166



土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子・骨片微量
- 2 暗 褐色 ロームアブロック微量
- 3 暗 褐色 ロームアブロック微量

SK1162



土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子微量
- 2 暗 褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 黒 褐色 ローム粒子微量
- 4 黒 褐色 ロームアブロック少量
- 5 暗 褐色 ローム粒子少量

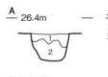
SK1165



土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子微量
- 2 暗 褐色 ロームアブロック微量

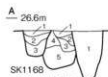
SK1167



土層解説

- 1 黒 褐色 ローム粒子少量
- 2 暗 褐色 ロームアブロック中量

SK1168・1169・1224



第1168号土坑土層解説

- 1 極暗 褐色 焼土粒子少量, ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐色 ロームアブロック少量, 炭化粒子・瓦片片微量
- 3 暗 褐色 ロームアブロック少量

第1169号土坑土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 暗 褐色 ロームアブロック少量
- 3 暗 褐色 ローム粒子少量
- 4 暗 褐色 ロームアブロック中量
- 5 暗 褐色 ロームアブロック中量

第1224号土坑土層解説

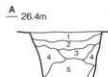
- 1 暗 褐色 色 ローム粒子・炭化粒子微量

SK1168

SK1169

SK1224

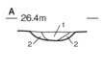
SK1170



土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 極暗 褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子・骨片微量
- 3 黒 褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・骨片微量
- 4 暗 褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子微量
- 5 黒 褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子・骨片微量
- 6 暗 褐色 ローム粒子中量
- 7 暗 褐色 ローム粒子中量

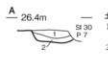
SK1173



土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子微量
- 2 暗 褐色 ロームアブロック少量

SK1174



土層解説

- 1 黒 褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子微量

0 (1:60) 2m

## SK1184



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・貝殻片微量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・骨片微量
- 5 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子・骨片微量
- 6 暗褐色 ローム粒子少量、骨片微量
- 7 暗褐色 ローム粒子少量
- 8 褐色 ローム粒子多量

## SK1187・1202



## SK1187号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子・骨片微量
- 2 暗褐色 ロームアロック少量、炭化粒子微量

## SK1202号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・貝殻片微量
- 2 黒褐色 ローム粒子微量
- 3 褐色 ロームアロック中量

## SK1189



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・骨片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・骨片微量

## SK1190



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、貝殻片微量
- 4 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・骨片微量
- 5 褐色 ローム粒子中量
- 6 黒褐色 ローム粒子中量、炭化粒子・骨片微量

## SK1191



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子・貝殻片微量
- 2 濃い褐色 ローム粒子・焼土粒子・貝殻片微量
- 3 褐色 ロームアロック中量

## SK1193



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子・貝殻片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量

## SK1195



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・貝殻片微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

## SK1196



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子・貝殻片微量
- 2 褐色 ロームアロック微量

## SK1203



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームアロック微量

## SK1210



## 土層解説

- 1 暗褐色 ロームアロック少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームアロック少量

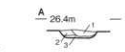
## SK1212



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ロームアロック中量
- 3 褐色 ロームアロック少量

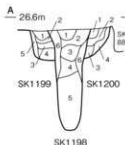
## SK1192



## 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームアロック少量

## SK1198・1199・1200



## SK1198号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子・貝殻片微量
- 2 暗褐色 ロームアロック・炭化粒子・貝殻片微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、貝殻片微量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量
- 5 暗褐色 ローム粒子中量
- 6 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子・貝殻片微量

## SK1199号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームアロック中量
- 4 暗褐色 ロームアロック・炭化粒子微量
- 5 褐色 ローム粒子少量

## SK1200号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、貝殻片微量
- 2 暗褐色 ロームアロック微量、炭化粒子・貝殻片微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 4 暗褐色 ロームアロック中量

## SK1201



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームアロック少量
- 3 暗褐色 ロームアロック少量、炭化粒子微量

## SK1208・1209



## SK1208号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームアロック少量
- 3 暗褐色 ロームアロック中量

## SK1209号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 褐色 ロームアロック微量

## SK1211

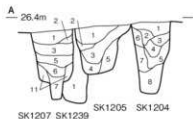


## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 褐色 ロームアロック少量
- 4 暗褐色 ロームアロック少量

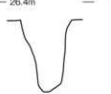
0 (1:60) 2m

## SK1204・1205・1207・1239



## SK1204

B 26.4m



## 第1204号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・骨片微量
- 2 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量、炭化物微量
- 5 褐色 ローム粒子少量
- 6 黒褐色 ロームブロック少量
- 7 暗褐色 ローム粒子少量
- 8 暗褐色 ロームブロック少量

## 第1205号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子、焼土粒子、炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック微量
- 3 暗褐色 ローム粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量
- 5 暗褐色 ローム粒子少量

## SK1218

A 26.2m

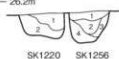


## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック、炭化粒子微量

## SK1220・1256

A 26.2m



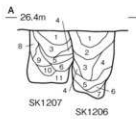
## 第1220号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

## 第1256号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック、貝殻片微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子、炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

## SK1206・1207



## SK1206

B 26.4m



## 第1206号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子、炭化粒子、貝殻片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子少量、焼土粒子、貝殻片微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量
- 6 褐色 ロームブロック中量
- 7 褐色 ローム粒子中量

## 第1207号土坑土層解説

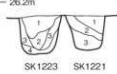
- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子、炭化粒子、骨片微量
- 2 褐色 ローム粒子炭化粒子
- 3 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ローム粒子微量
- 5 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 6 黒褐色 ローム粒子、炭化粒子、骨片微量
- 7 褐色 ローム粒子中量
- 8 褐色 ロームブロック少量
- 9 暗褐色 ローム粒子、焼土粒子、炭化粒子微量
- 10 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 11 褐色 ロームブロック中量

## 第1209号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子微量

## SK1221・1223

A 26.2m



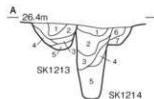
## 第1221号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子、貝殻片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

## 第1223号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

## SK1213・1214



## 第1213号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子、炭化粒子、骨片微量
- 2 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量、骨片少量
- 4 褐色 ロームブロック少量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量

## 第1214号土坑土層解説

- 1 暗褐色 灰、ローム粒子中量、炭化粒子、貝殻片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、貝殻片微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量
- 6 褐色 ローム粒子少量
- 7 褐色 ロームブロック少量

## SK1215

A 26.2m



## 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量

## SK1219

A 26.2m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

## SK1222

A 26.6m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子、炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

## SK1224

B 26.6m



## SK1225

A 26.2m

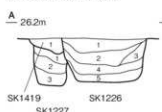


## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量



## SK1226・1227・1419



## SK1228



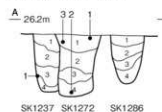
## SK1231



## SK1234



## SK1237・1272・1286



## 第1237号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ロームアロック中量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ロームアロック中量

## 第1272号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量、骨片微量
- 3 黒褐色 ロームアロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームアロック中量、炭化粒子微量

## 第1286号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、骨片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ロームアロック中量

## SK1243



## 土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

## 第1226号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームアロック・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子微量
- 3 暗褐色 ロームアロック少量
- 4 暗褐色 ロームアロック微量
- 5 黒褐色 ローム粒子少量

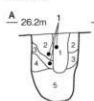
## 第1227号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームアロック少量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

## 第1419号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

## SK1229



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量
- 5 黒褐色 ロームアロック少量

## SK1257



## 第1257号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

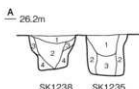
## SK1232



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームアロック少量
- 4 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 5 暗褐色 ローム粒子少量
- 6 暗褐色 ローム粒子少量
- 7 暗褐色 ロームアロック・炭化粒子微量

## SK1235・1238



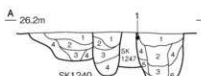
## 第1235号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ロームアロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

## 第1238号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子微量
- 4 黒褐色 ロームアロック微量

## SK1240・1246・1258



## 第1240号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームアロック・炭化粒子微量

## 第1246号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子中量、炭化粒子微量
- 3 極暗褐色 焼土アロック中量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 5 黒褐色 焼土粒子少量、炭化粒子微量
- 6 極暗褐色 ロームアロック少量、焼土粒子・骨片微量

## 第1258号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームアロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 4 極暗褐色 ロームアロック少量、炭化粒子微量

## SK1241



## 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームアロック少量
- 3 暗褐色 ロームアロック少量
- 4 暗褐色 ロームアロック中量

## SK1242



## 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームアロック中量

0 (1:60) 2m

## SK1244



## SK1247



## SK1251



## SK1252・1260



## SK1255



## SK1261



## SK1262



## SK1269



## SK1245



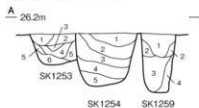
## SK1249



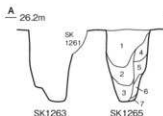
## SK1250



## SK1253・1254・1259



## SK1263・1265



## SK1264

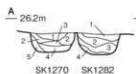


## 第1265号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子・骨片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 4 暗褐色 ロームブロック微量
- 5 暗褐色 ローム粒子微量
- 6 暗褐色 ロームブロック少量
- 7 暗褐色 ロームブロック中量

0 (1:60) 2m

## SK1270・1282



## 第1270号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームアブロック少量
- 4 褐色 ロームアブロック中量、炭化粒子微量
- 5 褐色 ロームアブロック少量

## 第1282号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、炭化物微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームアブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームアブロック中量

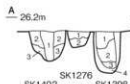
## SK1271



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ロームアブロック・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 暗褐色 ロームアブロック少量
- 5 暗褐色 ロームアブロック少量

## SK1276・1398・1402



## 第1276号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームアブロック少量
- 2 褐色 ロームアブロック中量

## 第1398号土坑土層解説

- 1 暗褐色 炭化粒子少量、ローム粒子・骨片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子少量

- 3 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子中量

## 第1402号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームアブロック中量
- 2 暗褐色 ロームアブロック少量
- 3 褐色 ロームアブロック中量

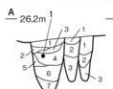
## SK1273



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子・骨片微量
- 2 黒褐色 ローム粒子微量
- 3 暗褐色 ロームアブロック少量、炭化粒子・骨片微量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量、骨片微量
- 5 褐色 ロームアブロック少量、炭化粒子微量
- 6 暗褐色 ローム粒子中量

## SK1277・1529・1530



## 第1277号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・骨片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームアブロック中量

## 第1529号土坑土層解説

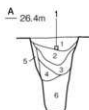
- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量、貝殻片微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

## 第1530号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームアブロック中量
- 3 黒褐色 ローム粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子・貝殻片微量
- 5 暗褐色 ローム粒子少量
- 6 黒褐色 ローム粒子・貝殻片微量
- 7 暗褐色 ロームアブロック少量、貝殻片微量

## SK1530 SK1529 SK1277

## SK1279



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子・骨片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・骨片微量
- 3 黒褐色 骨片少量、ロームアブロック・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子・骨片微量
- 5 褐色 ロームアブロック中量、炭化粒子微量
- 6 暗褐色 ロームアブロック少量

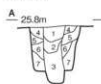
## SK1283



## 土層解説

- 1 黒褐色 ロームアブロック微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームアブロック・炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

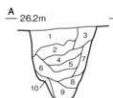
## SK1280



## 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量、焼土粒子・骨片微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・骨片微量
- 3 暗褐色 ロームアブロック少量、骨片微量
- 4 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 5 黒褐色 ロームアブロック中量
- 6 黒褐色 ロームアブロック少量
- 7 褐色 ロームアブロック少量

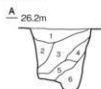
## SK1284



## 土層解説

- 1 黒褐色 ロームアブロック中量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子・骨片微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 暗褐色 ロームアブロック少量、炭化粒子・骨片微量
- 5 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 6 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子少量、骨片微量
- 7 暗褐色 ローム粒子少量
- 8 暗褐色 ローム粒子中量
- 9 暗褐色 ロームアブロック少量
- 10 褐色 ロームアブロック中量

## SK1285



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームアブロック中量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 5 暗褐色 ローム粒子中量
- 6 暗褐色 ローム粒子少量、骨片微量

## SK1290



## 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・骨片少量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子・貝殻片微量
- 4 暗褐色 ロームアブロック少量、貝殻片微量
- 5 暗褐色 ロームアブロック・貝殻片微量
- 6 暗褐色 ロームアブロック少量、貝殻片微量
- 7 褐色 ロームアブロック中量

## SK1289



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子・貝殻片微量
- 2 褐色 ロームアブロック・炭化粒子少量
- 3 暗褐色 ロームアブロック少量、貝殻片微量
- 4 褐色 ロームアブロック少量、貝殻片微量
- 5 褐色 ローム粒子中量

0 (1:60) 2m

## SK1291

A 26.4m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子・骨片微量
- 3 暗褐色 ローム粒子、炭化粒子・骨片微量
- 4 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子・骨片微量
- 5 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・骨片微量
- 6 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 7 褐色 ローム粒子中量、骨片微量

## SK1292

A 26.6m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子少量

## SK1295

A 26.4m



## 土層解説

- 1 暗灰色 ロームブロック・焼土ブロック・灰ブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、貝殻片少量、焼土ブロック微量
- 3 褐色 ローム粒子少量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量、炭化物・貝殻片微量
- 5 暗褐色 ローム粒子中量、炭化物微量
- 6 暗褐色 ロームブロック少量
- 7 褐色 ロームブロック少量
- 8 黒褐色 ロームブロック少量
- 9 暗褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック・灰ブロック・貝殻片微量
- 10 灰黄色 ロームブロック・貝殻片少量
- 11 濃い褐色 ロームブロック中量

## SK1296

A 26.2m



## 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・骨片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、骨片微量
- 3 暗褐色 ローム粒子・骨片少量、炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子・骨片微量

## SK1298

A 26.2m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量
- 5 褐色 ロームブロック少量

## SK1301

A 26.2m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子微量
- 5 暗褐色 ローム粒子中量

## SK1305

A 26.2m

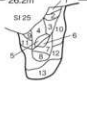


## 土層解説

- 1 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子少量、焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

## SK1304

A 26.2m



## 土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子・骨片微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量、骨片微量
- 4 灰褐色 ロームブロック・炭化粒子・骨片少量
- 5 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 6 灰褐色 灰中量、ローム粒子・骨片少量、焼土粒子微量
- 7 暗褐色 ロームブロック中量、骨片少量
- 8 灰褐色 ローム粒子・炭化粒子・骨片中量
- 9 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子・骨片少量、焼土粒子微量
- 10 褐色 ロームブロック中量
- 11 灰褐色 炭化粒子中量、焼土ブロック少量、骨片微量
- 12 褐色 ローム粒子中量
- 13 褐色 ロームブロック・骨片中量

## SK1306

A 26.2m



## 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・骨片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 褐色 ロームブロック中量

## SK1307

A 26.2m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・骨片微量
- 4 褐色 ローム粒子中量

## SK1323

A 26.2m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

## SK1325・1326

A 26.2m



## 第1325号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 5 褐色 ローム粒子少量、炭化物・焼土粒子微量
- 6 暗褐色 ローム粒子少量、焼土ブロック・炭化物微量
- 7 黒褐色 ローム粒子中量、炭化物・焼土粒子微量

## 第1326号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量、炭化物微量
- 2 褐色 ロームブロック中量、焼土粒子少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子少量、焼土ブロック微量
- 5 暗褐色 ローム粒子中量、焼土ブロック・炭化粒子微量
- 6 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量、焼土粒子微量
- 7 暗褐色 ロームブロック微量、炭化物・焼土粒子微量
- 8 褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 9 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 10 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量

SK1325 SK1326

0 (1:60) 2m

SK1327



SK1329



SK1332



SK1334・1335



SK1336・1337・1338



SK1339・1347



SK1346



SK1348



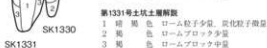
SK1349



SK1328



SK1330・1331



SK1333



SK1340



SK1341



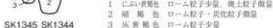
SK1342



SK1343



SK1344・1345

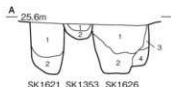


0 (1:60) 2m

## SK1350



## SK1353・1621・1626



## 第1353号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

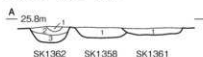
## 第1621号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、骨片微量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量、炭化粒子少量、骨片微量

## 第1626号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子・骨片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子・骨片微量
- 3 暗褐色 ローム粒子多量、炭化粒子・骨片微量
- 4 褐色 ロームブロック多量、炭化粒子・骨片微量

## SK1358・1361・1362



## 第1358号土坑土層解説

- 1 灰青褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

## 第1361号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

## 第1362号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量

## SK1364



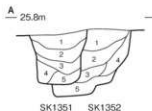
## SK1367



## SK1368



## SK1351・1352



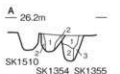
## 第1351号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量
- 5 じい漬褐色 ロームブロック少量

## 第1352号土坑土層解説

- 1 黒褐色 磁石片少量、ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、打銅片微量
- 3 暗褐色 ロームブロック多量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量、焼土粒子微量
- 5 黒褐色 ロームブロック中量、焼土粒子微量

## SK1354・1355・1510



## 第1354号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量

## 第1355号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量

## SK1356



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 2 灰青褐色 ローム粒子中量、炭化物・焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック微量
- 6 暗褐色 ロームブロック少量
- 7 灰褐色 ロームブロック少量

## SK1359



## SK1360



## SK1365



## SK1366



## SK1369



0 (1:60) 2m

SK1370



SK1371・1528



SK1372



SK1374



SK1375



SK1376



SK1379



SK1377・1378



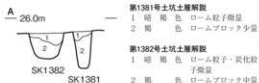
第1378号土坑土層解説



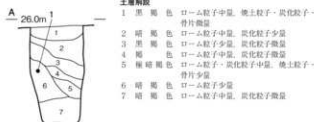
SK1380・1383



SK1381・1382



SK1386



SK1387



SK1388・1458

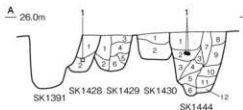


SK1389



0 (1:60) 2m

SK1391・1428・1429・1430・1444



第1428号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

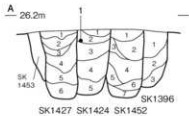
第1429号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・骨片微量
- 3 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子
- 4 暗褐色 ローム粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量
- 6 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 7 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 8 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 9 暗褐色 ローム粒子中量
- 10 暗褐色 ローム粒子少量
- 11 暗褐色 炭化粒子少量
- 12 暗褐色 ロームブロック中量

第1444号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量
- 6 暗褐色 ロームブロック
- 7 暗褐色 ローム粒子少量
- 8 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 9 暗褐色 ローム粒子中量
- 10 暗褐色 ローム粒子少量
- 11 暗褐色 炭化粒子少量
- 12 暗褐色 ロームブロック中量

SK1396・1424・1427・1452



第1396号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

第1424号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック微量
- 4 暗褐色 ローム粒子・骨片微量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量

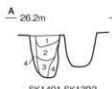
第1427号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量
- 5 暗褐色 ローム粒子少量
- 6 暗褐色 ローム粒子中量

第1452号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量
- 6 暗褐色 ローム粒子中量
- 7 暗褐色 ローム粒子少量

SK1392・1401



第1401号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

SK1393



SK1394



SK1395・1490



SK1397



- 土層解説
- 1 暗褐色 ローム粒子中量
  - 2 暗褐色 ローム粒子少量

SK1399



- 土層解説
- 1 暗褐色 ロームブロック少量
  - 2 暗褐色 ローム粒子少量
  - 3 暗褐色 ロームブロック中量

SK1400



SK1404



- 土層解説
- 1 暗褐色 ロームブロック中量
  - 2 暗褐色 ロームブロック少量

SK1405



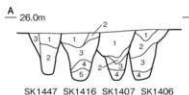
- 土層解説
- 1 暗褐色 ローム粒子多量
  - 2 暗褐色 焼土粒子少量
  - 3 暗褐色 焼土粒子・炭化粒子微量

SK1408



- 土層解説
- 1 暗褐色 ローム粒子少量
  - 2 暗褐色 ロームブロック中量
  - 3 暗褐色 ロームブロック少量
  - 4 暗褐色 ロームブロック少量

SK1406・1407・1416・1447



第1406号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量

第1407号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

第1416号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量

第1447号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

0 (1:60) 2m



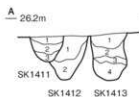
## SK1409



## SK1410



## SK1411・1412・1413



第1411号土坑土層解説  
1 暗褐色 ローム粒子少量  
2 褐色 ロームアブロック少量、炭化粒子微量  
3 暗褐色 ロームアブロック中量

第1412号土坑土層解説  
1 暗褐色 ローム粒子少量  
2 暗褐色 ロームアブロック中量

第1413号土坑土層解説  
1 暗褐色 ロームアブロック微量  
2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量  
3 暗褐色 ローム粒子少量  
4 暗褐色 ロームアブロック中量

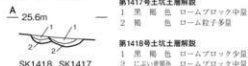
## SK1414



## SK1415



## SK1417・1418



## SK1420



## SK1421



## SK1422



## SK1431



## SK1432



## SK1435



## SK1433・1434・1443



## SK1436



## 第1443号土坑土層解説

1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量  
2 褐色 ロームアブロック少量

## SK1438



## SK1448・1454



0 (1:60) 2m

## SK1449



## SK1453



## SK1456



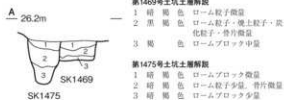
## SK1459



## SK1462・1472



## SK1469・1475



## SK1478・1479



## SK1450



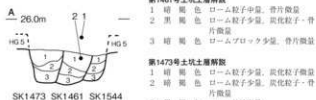
## SK1455



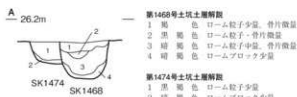
## SK1457



## SK1461・1473・1544



## SK1468・1474

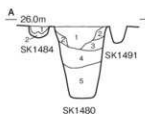


## SK1470・1555



0 (1:60) 2m

## SK1480・1484・1491



## 第1480号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、骨片微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、骨片微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、骨片微量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量、骨片微量
- 5 暗褐色 ローム粒子中量

## 第1484号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

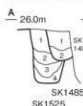
## SK1481



## 土層解説

- 1 黒褐色 骨片少量、ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・骨片微量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量

## SK1485・1525



## 第1485号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子・骨片微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子・骨片微量

## 第1525号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、骨片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子・骨片微量
- 4 黒褐色 ロームブロック中量

## SK1486



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、骨片微量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量、炭化粒子少量、骨片微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量、骨片微量

## SK1487



## SK1488・1489



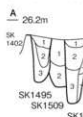
## SK1493



## 土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 4 暗褐色 炭化粒子中量
- 5 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子少量

## SK1494・1495・1509



## 第1494号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、骨片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子・骨片微量
- 3 黒褐色 ローム粒子中量、炭化粒子・骨片少量
- 4 褐色 ローム粒子少量
- 5 褐色 ロームブロック中量

## 第1495号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子・骨片微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

## 第1509号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、骨片微量

## SK1496



## 土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

## SK1499



## 土層解説

- 1 暗褐色 炭化粒子少量、ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量
- 5 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

## SK1497



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 5 灰褐色 ローム粒子少量

## SK1500



## SK1501



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・骨片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子・骨片微量
- 4 黒褐色 ローム粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量

## SK1502



## SK1503



## SK1507



## SK1504



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

0 (1:60) 2m

## SK1512・1513



## SK1514



## SK1515



## SK1516



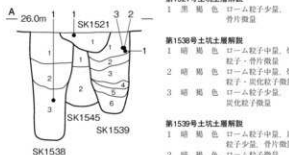
## SK1517



## SK1520



## SK1521・1538・1539・1545



## 第1545号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量  
 2 褐色 ロームブロック中量

## SK1524



## SK1526



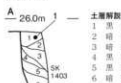
## SK1528



## SK1533



## SK1534



## SK1522・1531



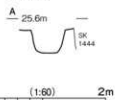
## SK1523



## SK1527・1570



## SK1535



## SK1536



## SK1540



## SK1543



## SK1553



## SK1558・1577



## SK1559



## SK1561



## SK1564



## SK1537



## SK1542



## SK1546



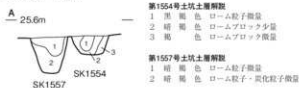
## SK1548



## SK1547



## SK1554・1557



## SK1560

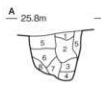


## SK1562



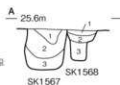
0 (1:60) 2m

## SK1566



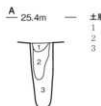
- 土層解説
- 1 黒 褐色 ローム粒子少量
  - 2 暗 褐色 ロームブロック少量
  - 3 暗 褐色 ローム粒子中量
  - 4 黒 褐色 ロームブロック少量
  - 5 黒 褐色 ローム粒子中量
  - 6 黒 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
  - 7 黒 褐色 ロームブロック中量
  - 8 黒 褐色 ローム粒子少量

## SK1567・1568



- 第1567号土坑土層解説
- 1 暗 褐色 ロームブロック、炭化粒子微量
  - 2 暗 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
  - 3 黒 褐色 ロームブロック、炭化粒子微量
- 第1568号土坑土層解説
- 1 暗 褐色 ローム粒子、炭化粒子微量
  - 2 暗 褐色 ロームブロック少量
  - 3 暗 褐色 ローム粒子少量

## SK1569



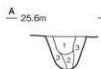
- 土層解説
- 1 暗 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
  - 2 暗 褐色 ローム粒子中量
  - 3 暗 褐色 ロームブロック中量

## SK1571・1572



- 第1571号土坑土層解説
- 1 黒 褐色 ローム粒子微量
  - 2 暗 褐色 ローム粒子、炭化粒子微量
  - 3 黒 褐色 ローム粒子少量
- 第1572号土坑土層解説
- 1 黒 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
  - 2 暗 褐色 ローム粒子、焼土粒子微量
  - 3 暗 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
  - 4 黒 褐色 ローム粒子、炭化粒子微量

## SK1574



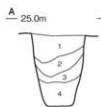
- 土層解説
- 1 黒 褐色 ローム粒子微量
  - 2 暗 褐色 ローム粒子、炭化粒子微量
  - 3 暗 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

## SK1575



- 土層解説
- 1 暗 褐色 ローム粒子、炭化粒子微量
  - 2 暗 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

## SK1576



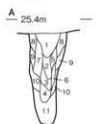
- 土層解説
- 1 黒 褐色 ローム粒子、炭化粒子微量
  - 2 暗 褐色 ローム粒子、炭化粒子微量
  - 3 暗 褐色 ローム粒子少量
  - 4 暗 褐色 ローム粒子微量

## SK1579



- 土層解説
- 1 暗 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
  - 2 暗 褐色 ロームブロック微量
  - 3 暗 褐色 ロームブロック少量

## SK1580



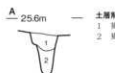
- 土層解説
- 1 黒 褐色 ローム粒子、炭化粒子微量
  - 2 暗 褐色 ロームブロック中量
  - 3 黒 褐色 ローム粒子微量
  - 4 黒 褐色 ローム粒子少量
  - 5 暗 褐色 ローム粒子少量
  - 6 暗 褐色 ローム粒子少量
  - 7 暗 褐色 ローム粒子微量
  - 8 暗 褐色 ローム粒子、焼土粒子微量
  - 9 暗 褐色 ロームブロック少量
  - 10 暗 褐色 ロームブロック中量
  - 11 暗 褐色 ロームブロック少量

## SK1581



- 土層解説
- 1 暗 褐色 ローム粒子微量
  - 2 暗 褐色 ローム粒子少量
  - 3 暗 褐色 ロームブロック微量
  - 4 暗 褐色 ロームブロック少量
  - 5 暗 褐色 ローム粒子少量

## SK1582



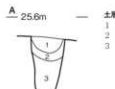
- 土層解説
- 1 暗 褐色 ローム粒子微量
  - 2 暗 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

## SK1583



- 土層解説
- 1 暗 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
  - 2 暗 褐色 ローム粒子微量
  - 3 黒 褐色 ローム粒子微量
  - 4 暗 褐色 ローム粒子、炭化粒子微量
  - 5 黒 褐色 ロームブロック微量
  - 6 暗 褐色 ロームブロック微量

## SK1584



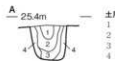
- 土層解説
- 1 暗 褐色 ローム粒子少量
  - 2 暗 褐色 ローム粒子微量
  - 3 暗 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

## SK1586



- 土層解説
- 1 暗 褐色 ローム粒子微量
  - 2 暗 褐色 ローム粒子、炭化粒子微量
  - 3 暗 褐色 ロームブロック微量

## SK1585



- 土層解説
- 1 暗 褐色 ローム粒子微量
  - 2 暗 褐色 ローム粒子、焼土粒子、炭化粒子微量
  - 3 暗 褐色 ローム粒子少量
  - 4 暗 褐色 ロームブロック少量

0 (1:60) 2m

SK1587



SK1588



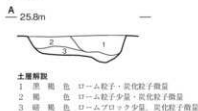
SK1589



SK1590



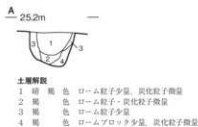
SK1591



SK1592・1593



SK1594



SK1595



SK1596



SK1597



SK1599



SK1600



SK1601



SK1602



SK1604



SK1605



SK1603



0 (1:60) 2m

## SK1606

A 25.2m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子中量、炭化粒子少量
- 4 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 5 暗褐色 ローム粒子中量、粘土粒子少量
- 6 黒褐色 ローム粒子少量、粘土粒子微量
- 7 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

## SK1607

A 25.2m

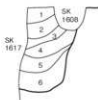


## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子・粘土粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

## SK1618

A 25.2m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 極暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 5 極暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 6 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

## SK1611

A 26.2m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量、炭化物微量
- 4 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

## SK1620

A 26.0m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ローム粒子中量

## SK1622

A 25.8m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、目録片微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

## SK1623

A 25.8m



## 土層解説

- 1 暗褐色 炭化粒子・骨片少量、ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量、目録・骨片微量
- 3 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量、焼土粒子・目録片微量
- 4 黒褐色 磁砕片・ローム粒子中量、炭化粒子少量、焼土粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子中量、磁砕片微量

## SK1624

A 26.0m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・骨片微量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量

## SK1625

A 26.0m



## 土層解説

- 1 暗褐色 炭化粒子中量、ローム粒子・焼土粒子少量、磁砕片微量
- 2 褐色 ローム粒子中量

## SK1627

A 25.2m



## 土層解説

- 1 褐色 ローム粒子中量
- 2 褐色 ロームブロック中量

## SK1629

A 25.2m



## 土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子中量

## SK1630

A 25.2m



## 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

## SK1631

A 24.8m



## 土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 極暗褐色 ローム粒子少量
- 4 黒褐色 ローム粒子微量
- 5 黒褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 6 黒褐色 灰多量、焼土粒子中量、ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 7 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 8 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子・骨片微量
- 9 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子少量、骨片微量

## SK1631・1632

B 25.0m



## SK1633

A 24.4m



## 土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量

## SK1635・1636

A 28.0m



SK1635 SK1636

## 第1635号土層解説

- 1 凝り土層 暗褐色土主体、灰多量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子・磁砕片微量
- 3 黒褐色 灰多量、炭化物・ローム粒子少量、磁砕片微量

## 第1636号土層解説

- 1 黒褐色 灰多量、磁砕片少量、焼土粒子・炭化物微量
- 2 暗褐色 灰多量、ロームブロック少量、磁砕片微量

0 (1:60) 2m



SK1637



SK1639



## 土層解説

- 1 黒 褐色 焼土粒子・砂粒少量、ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐色 粘土ブロック中量、炭化物少量、焼土粒子微量
- 3 黒 褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・砂粒少量、炭化粒子微量
- 4 鮮 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量、焼土粒子・骨片微量
- 5 鮮 暗褐色 ローム粒子少量、炭化物・焼土粒子微量
- 6 鮮 暗褐色 ローム粒子微量
- 7 黒 褐色 ローム粒子中量、炭化物・焼土粒子微量
- 8 黒 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子・骨片微量
- 9 黒 褐色 粘土ブロック多量、炭化粒子微量
- 10 鮮 暗褐色 粘土粒子少量、炭化粒子微量

SK1638



## 土層解説

- 1 鮮 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 3 黒 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 4 灰 褐色 ロームブロック中量

SK1640



## 土層解説

- 1 鮮 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 暗 褐色 ロームブロック少量、粘土ブロック微量
- 3 黒 褐色 ローム粒子中量
- 4 鮮 暗褐色 ローム粒子中量

SK1641・1644



## 第1641号土坑土層解説

- 1 黒 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子・貝細片微量
- 2 黒 褐色 ローム粒子中量、貝細片微量

## 第1644号土坑土層解説

- 1 黒 褐色 ロームブロック少量
- 2 暗 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子・破砕貝微量
- 3 暗 褐色 ロームブロック中量

SK1642・1643



## 第1642号土坑土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 黒 褐色 ローム粒子少量

## 第1643号土坑土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 黒 褐色 ロームブロック中量

SK1645



## 土層解説

- 1 黒 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 2 暗 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子・骨片微量
- 3 鮮 暗褐色 ローム粒子中量

SK1646



## 土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子中量
- 2 黒 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量

SK1647



## 土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック少量
- 2 黒 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 黒 褐色 ロームブロック多量

SK1648



## 土層解説

- 1 黒 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量

SK1649



## 土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 2 暗 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

SK1650



## 土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック中量
- 2 暗 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量

SK1652



## 土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック・焼土粒子少量
- 2 黒 褐色 焼土粒子少量、ロームブロック・炭化粒子・貝細片微量
- 3 黒 褐色 ロームブロック・炭化粒子少量、焼土粒子微量
- 4 暗 褐色 ロームブロック少量
- 5 黒 褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・貝細片微量
- 6 黒 褐色 ローム粒子少量

SK1653



## 土層解説

- 1 黒 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 2 黒 褐色 ロームブロック中量、ローム粒子少量
- 3 暗 褐色 ローム粒子少量、炭化物微量

SK1654・1655・1656



## 第1654号土坑土層解説

- 1 黒 褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・破砕貝微量
- 2 暗 褐色 ローム粒子多量、炭化粒子・破砕貝微量
- 3 黒 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子・破砕貝微量

## 第1655号土坑土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒 褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量

## 第1656号土坑土層解説

- 1 黒 褐色 破砕貝少量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒 褐色 ローム粒子少量
- 3 暗 褐色 ローム粒子・破砕貝少量、焼土粒子微量

SK1661

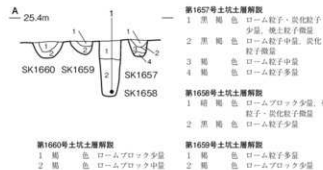


## 土層解説

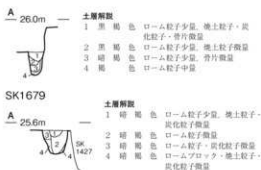
- 1 暗 褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒 褐色 ロームブロック中量、焼土粒子微量
- 3 黒 褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗 褐色 ローム粒子中量、焼土粒子微量

0 (1.60) 2m

SK1657・1658・1659・1660



SK1678



SK1680



SK1682・1683



SK1685



SK1687



SK1681



SK1684



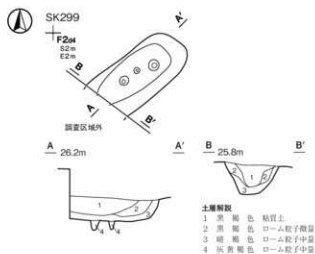
SK1686



SK1688



第 215 図 縄文時代土坑実測図 (54)



第 216 図 縄文時代土坑実測図 (55)



SK313・402



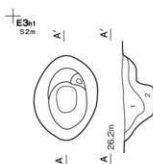
第313号土坑土層解説

1 黒褐色 ロームブロック少量

第402号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量

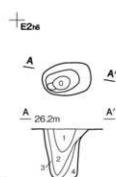
SK321



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子中量、焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

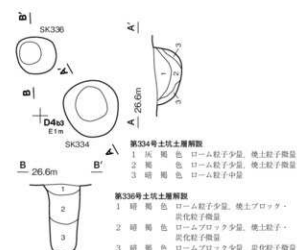
SK323



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 灰褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量

SK334・336



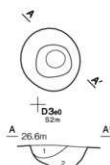
第334号土坑土層解説

- 1 灰褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量

第336号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土ブロック、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

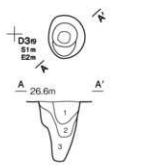
SK338



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

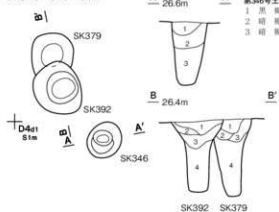
SK347



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 2 灰褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

SK346・379・392



第346号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

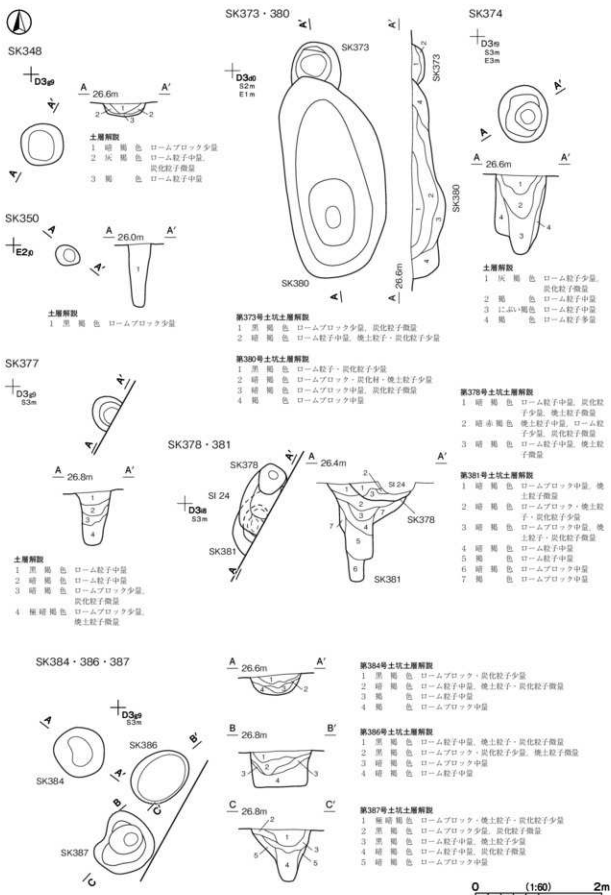
第379号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量

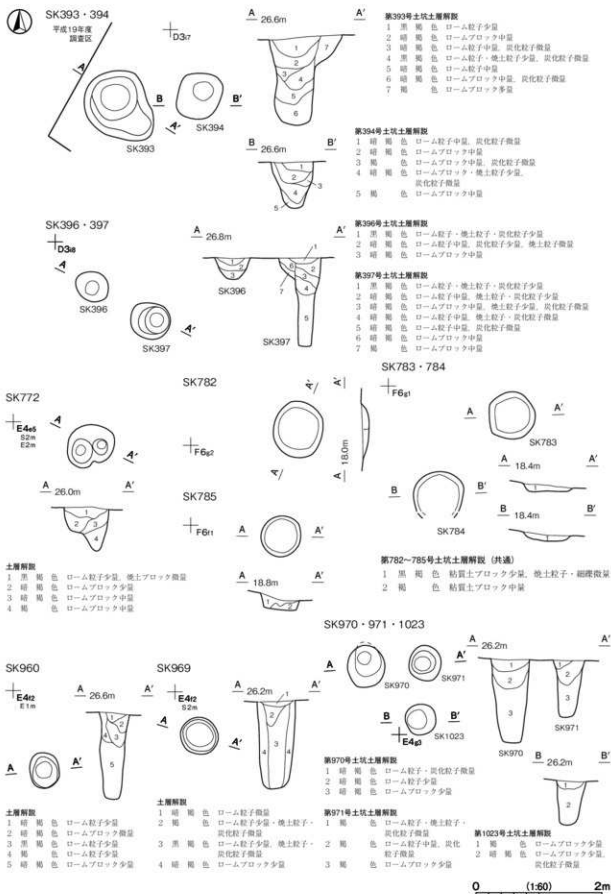
第392号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 4 褐色 ロームブロック中量

0 (1:60) 2m



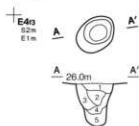
第 218 図 縄文時代土坑実測図 (57)



第219図 縄文時代土坑実測図(58)



SK1031



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ロームアブロック少量
- 3 黒色 ロームアブロック中量
- 4 暗褐色 ローム粒子微量
- 5 暗褐色 ロームアブロック微量

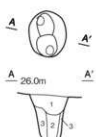
SK1040



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子微量
- 4 暗褐色 ロームアブロック少量
- 5 黒色 ローム粒子少量
- 6 黒色 ロームアブロック中量
- 7 暗褐色 ロームアブロック少量

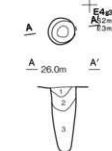
SK1096



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ローム粒子微量

SK1114



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 黒色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量

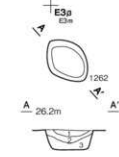
SK1248



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 黒色 ローム粒子少量

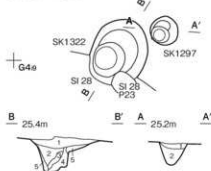
SK1262



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームアブロック微量
- 3 暗褐色 ロームアブロック少量

SK1297・1322



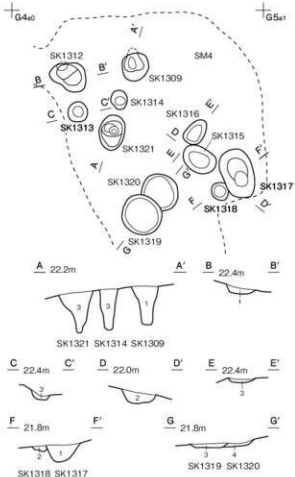
SK1322号土坑土層解説

- 1 灰青褐色 粘質土アブロック・ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 2 高い黄褐色 ローム粒子多量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 4 黒色 ロームアブロック中量
- 5 高い黄褐色 ロームアブロック中量

SK1297号土坑土層解説

- 1 黒色 ローム粒子中量
- 2 黒色 ロームアブロック中量

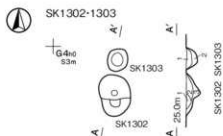
SK1309・1312~1321



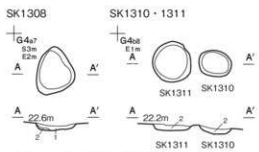
SK1309・1312~1321号土坑土層解説 (共通)

- 1 黒褐色 礫砂土微量
- 2 暗褐色 礫砂土少量、焼土アブロック微量
- 3 灰青褐色 礫砂・礫砂土少量、焼土粒子微量
- 4 高い黄褐色 礫砂土少量

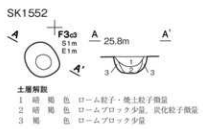
0 (1:60) 2m



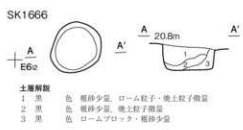
- 第1302号土坑土層解説**
- 1 暗褐色 ロームブロック少量
  - 2 暗褐色 ロームブロック少量
  - 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 第1303号土坑土層解説**
- 1 濃い黄褐色 ローム粒子少量
  - 2 濃い黄褐色 ロームブロック少量



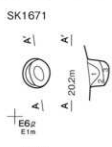
- 第1308、1310、1311号土坑土層解説 (共通)**
- 1 灰黄褐色 炭化物・磁粉少量、焼土粒子・磁粉片微量
  - 2 暗褐色 磁粉・磁粉片少量、焼土粒子・炭化物少量



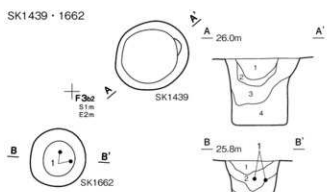
- 土層解説**
- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
  - 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
  - 3 暗褐色 ロームブロック少量



- 土層解説**
- 1 黒褐色 磁粉少量、ローム粒子・焼土粒子微量
  - 2 黒褐色 磁粉少量、焼土粒子微量
  - 3 黒褐色 ロームブロック、磁粉少量

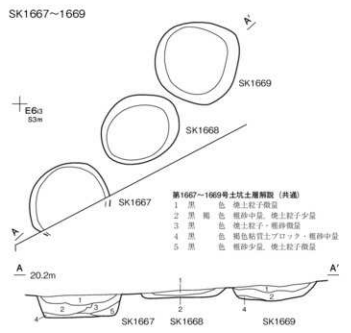


- 土層解説**
- 1 黒褐色 磁粉少量、焼土粒子・細砂微量
  - 2 黒褐色 磁粉・磁砂微量
  - 3 黒褐色 磁粉少量、磁砂微量

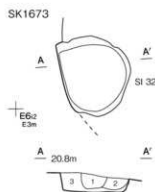


- 第1439号土坑土層解説**
- 1 黒褐色 ローム粒子微量
  - 2 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
  - 3 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
  - 4 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量

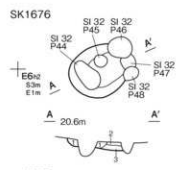
- 第1662号土坑土層解説**
- 1 黄褐色 焼土粒子・炭化粒子微量
  - 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
  - 3 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
  - 4 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量



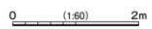
- 第1667~1669号土坑土層解説 (共通)**
- 1 黒褐色 焼土粒子微量
  - 2 暗褐色 磁粉中量、焼土粒子少量
  - 3 暗褐色 焼土粒子・磁砂微量
  - 4 黒褐色 褐色粘質土ブロック・磁砂中量
  - 5 黒褐色 磁粉少量、焼土粒子微量

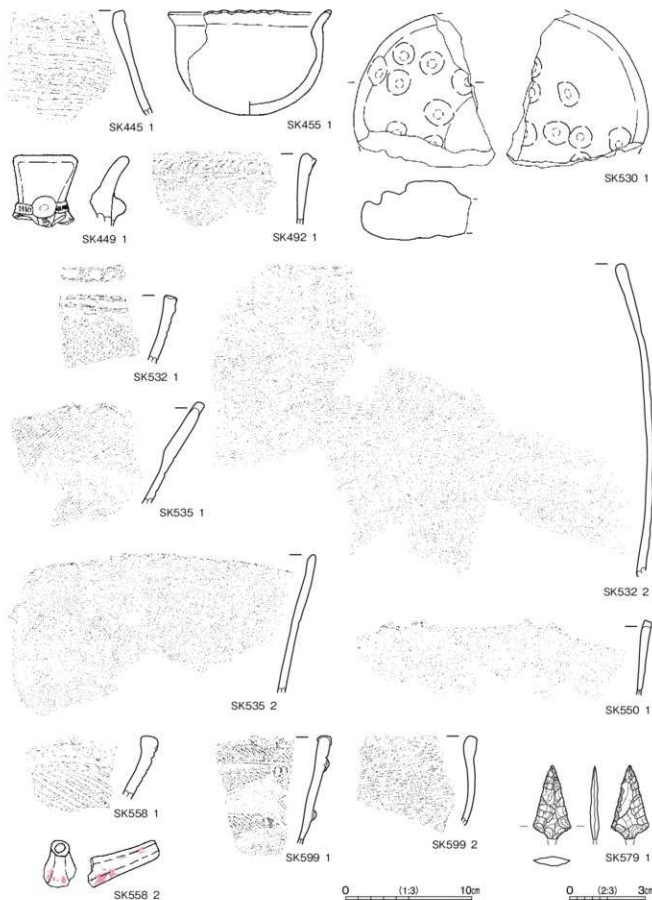


- 土層解説**
- 1 黒褐色 磁粉少量
  - 2 黒褐色 焼土粒子微量
  - 3 黒褐色 褐色粘質土ブロック少量



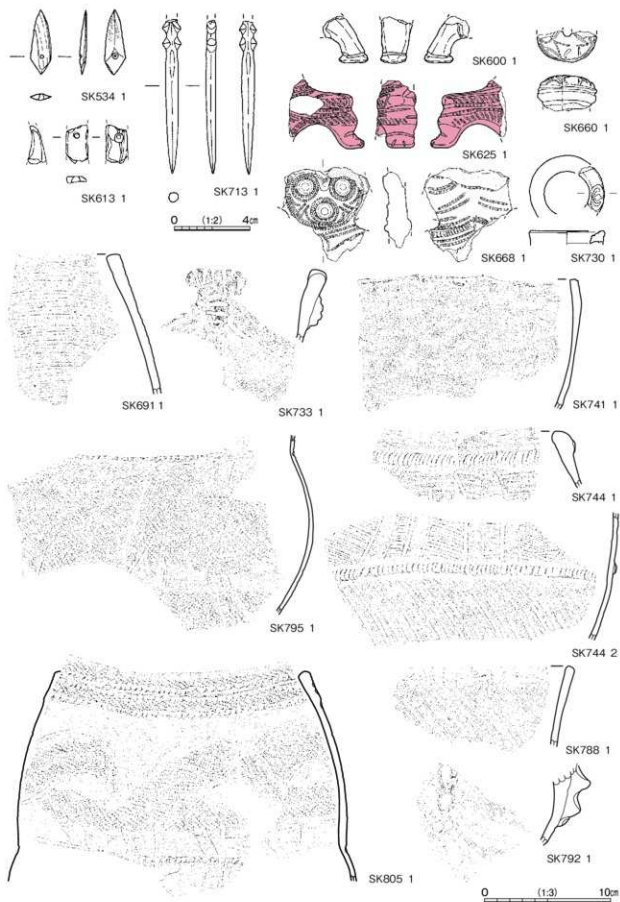
- 土層解説**
- 1 黒褐色 磁粉少量
  - 2 黒褐色 磁砂微量
  - 3 黄褐色 炭化粒子・磁粉少量



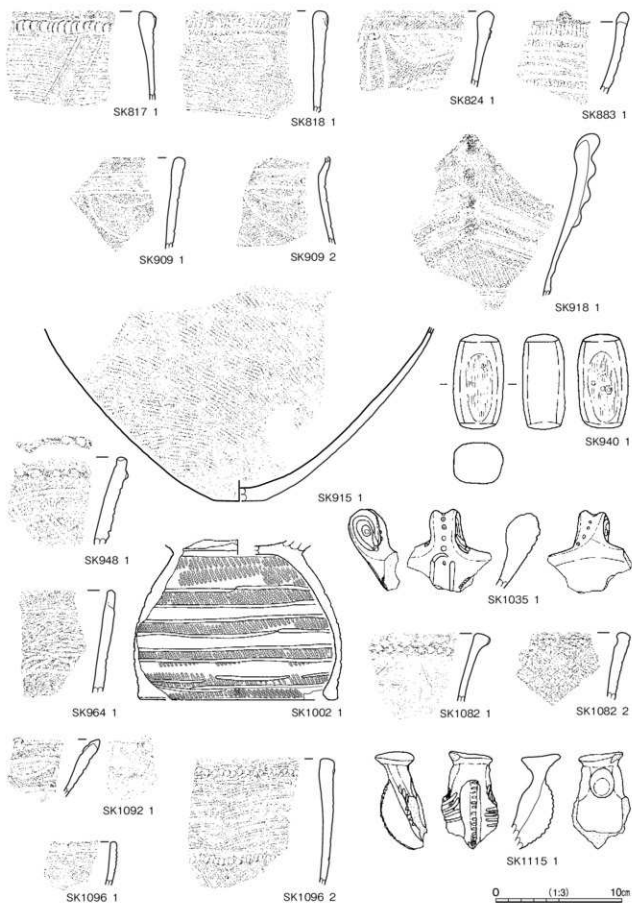


第 222 図 縄文時代土坑出土遺物実測図 (1)

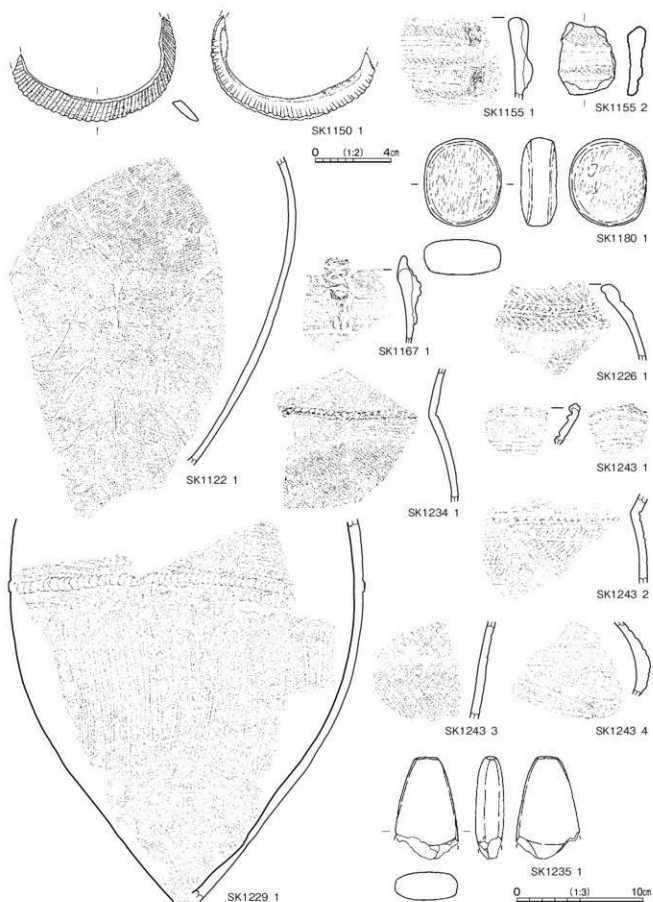




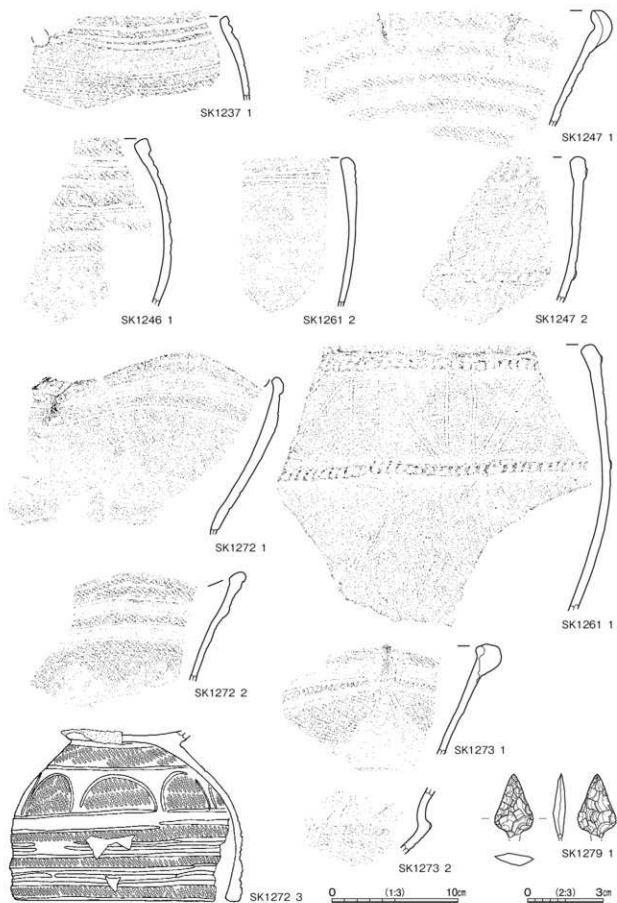
第 223 図 縄文時代土坑出土土物実測図 (2)



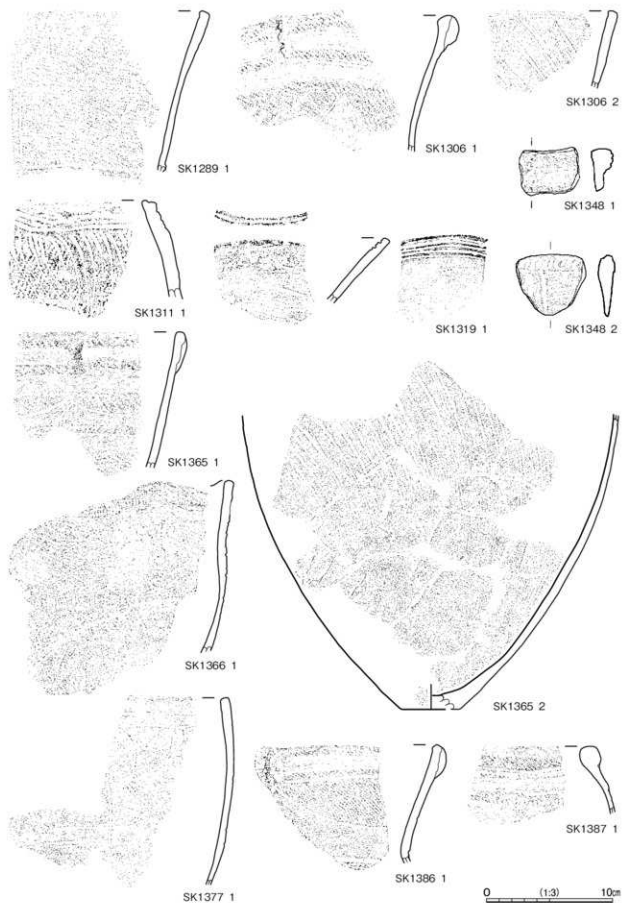
第 224 図 縄文時代土坑出土遺物実測図 (3)



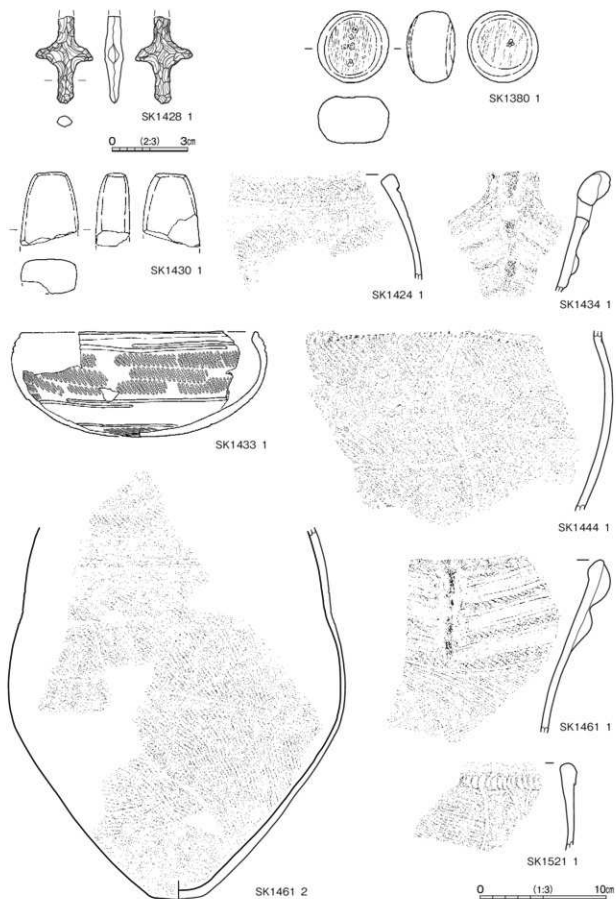
第 225 図 縄文時代土坑出土遺物実測図 (4)



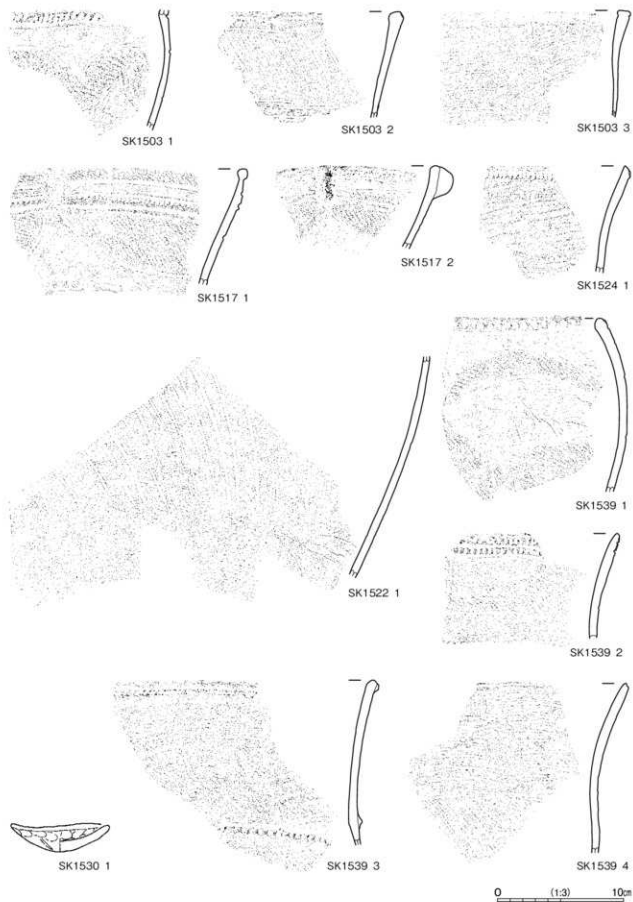
第 226 図 縄文時代土坑出土遺物実測図 (5)



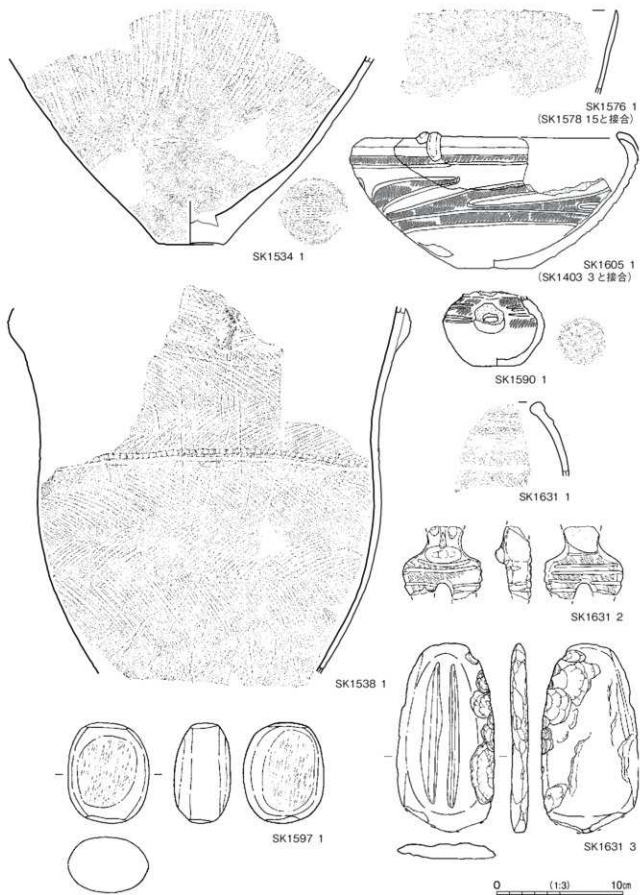
第 227 図 縄文時代土坑出土遺物実測図 (6)



第 228 図 縄文時代土坑出土遺物実測図 (7)

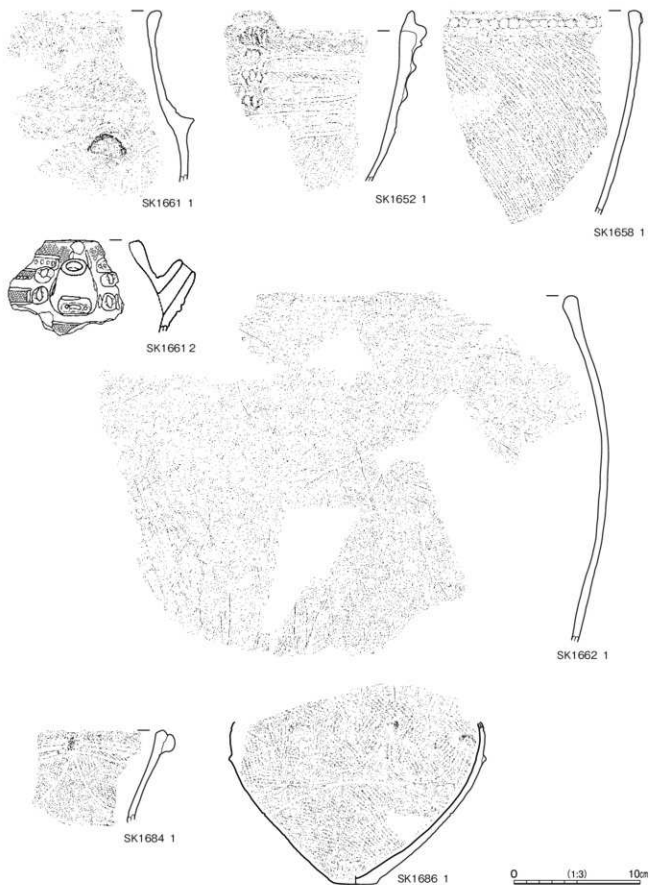


第 229 図 縄文時代土坑出土遺物実測図 (8)



第 230 図 縄文時代土坑出土遺物実測図 (9)





第 231 図 縄文時代土坑出土遺物実測図 (10)

第111表 第445号土坑出土遺物一覧(第222図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母	浅黄褐色	普通	外面横位の条線文 内面磨き	中央部中層	晩期前葉

第112表 第449号土坑出土遺物一覧(第222図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	波状口縁深鉢渡部 隆帯上に面がいり筋 内面磨き	覆土中	安行2式

第113表 第455号土坑出土遺物一覧(第222図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	鉢	(130)	8.3	20	長石・石英・雲母	浅黄褐色	普通	口縁部に3単位の山形突起 外・内面に磨き	中央部上層	40% PL71 晩期前葉

第114表 第492号土坑出土遺物一覧(第222図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	長石・石英・雲母	明黄褐色	普通	口縁部条線→粗線胎付 内面ナデ	覆土中	後期後葉

第115表 第530号土坑出土遺物一覧(第222図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
1	石皿	(123)	(11.4)	(4.6)	(605.4)	安山岩	表裏2面に磨り面+凹み	北東部中層	PL71

第116表 第532号土坑出土遺物一覧(第222図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・雲母	灰黄褐色	普通	口唇部凹線と神丘状の胎付文 凹線文→口縁部隆帯 内面磨き	覆土中	後期中葉
2	縄文土器	深鉢	-	(24.8)	-	長石・石英・雲母・赤色鉄子	にぶい褐色	普通	口縁部横位の条線 胴部縦位の条線 内面ナデ	南西部上層	40% 晩期前葉

第117表 第534号土坑出土遺物一覧(第223図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
1	牙籤	3.5	1.1	0.3	0.7	イノシシ歯	縦割整形 一方からの穿孔	覆土中	PL71

第118表 第535号土坑出土遺物一覧(第222図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	浅鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	外縁面部縄文帯の浅鉢 口唇部に山形突起 胴部縄文1及北縁の入組三叉帯状文 内面磨き	北部上層	安行3b式
2	縄文土器	深鉢	-	(10.9)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	口唇部未調整 口縁部横位の条線 胴部縦位の磨り 内面ナデ	北東部上層	40% 晩期前葉

第119表 第550号土坑出土遺物一覧(第222図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英・赤色鉄子	にぶい褐色	普通	山形突起2単位 外面縦位の磨り 内面ナデ	中央部上層	40% 晩期前葉

第120表 第558号土坑出土遺物一覧(第222図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・雲母	黒褐色	普通	縦い溝状口縁 口縁部斜線文→2条の肩突列 内面丁寧に磨き	覆土中	加賀利B3式
2	縄文土器	注口土器	-	(3.7)	-	長石・石英	黒褐色	普通	注口部 磨き調整 赤形 断面に黒色の付着物 漆	覆土中	後期後葉

第121表 第579号土坑出土遺物一覧(第222図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
1	石皿	(29)	1.5	0.3	(135)	チャート	凸基有基 端部欠損	覆土中	PL71

第122表 第599号土坑出土遺物一覧(第222図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴はか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	口縁部細条状磨消縄文・唇垂文 縄文RL光焼 口内面に長条状の突起 内面磨り	中央部上層	安行2式
2	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・燧石	にぶ・赤	普通	口縁部肥厚 横位の条線文 内面ナデ	南部中層	晩期前葉

第123表 第600号土坑出土遺物一覧(第223図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
1	土偶	(32)	(3.6)	(2.5)	(21.6)	長石・石英・赤色 粘土	にぶい・黄褐色	ハート型の脚部 背面数部に刺突・沈線文	覆土中	

第124表 第613号土坑出土遺物一覧(第223図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
1	垂飾	(20)	1.2	0.4	1.3	獣骨	研磨整形 一方からの厚孔	覆土中	

第125表 第625号土坑出土遺物一覧(第223図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
1	土偶	(5.4)	(6.1)	(3.3)	(76.7)	長石・石英	灰褐色	ミミズク型の肩部 RL光焼の帯線文と沈線内刺突文による造出 全面赤彩	中央部中層	PL74

第126表 第660号土坑出土遺物一覧(第223図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
1	有孔円盤	(28)	(4.3)	(2.5)	(26.6)	長石・石英・赤色 粘土	橙	中央部に焼成前の貫通孔 上面沈線による弧線文と三叉状文 断面強いナデにより括れ	中央部上層	

第127表 第668号土坑出土遺物一覧(第223図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
1	土偶	(7.5)	(7.0)	(2.3)	(93.9)	長石・石英・雲母	にぶい・黄褐色	ミミズク型頭部 扁平 断面斜入陰部・ボタン状突起・沈線内刺突文で造出 後面部沈線内刺突の弧線文	東部表面	PL74

第128表 第691号土坑出土遺物一覧(第223図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴はか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(11.1)	-	長石・石英	にぶ・赤	普通	口縁部横位の条線文 内面ナデ	北東部表面	晩期前葉

第129表 第713号土坑出土遺物一覧(第223図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
1	髀	(8.1)	1.0	0.5	(3.7)	獣類四肢骨	端部欠損 研磨整形	覆土中	PL74

第130表 第730号土坑出土遺物一覧(第223図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
1	耳飾り	[60]	[6.0]	(1.1)	(5.3)	長石・石英	黒褐色	滑車型 貝・内面磨き 沈線文	覆土中	

第131表 第733号土坑出土遺物一覧(第223図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい	普通	口縁部縁状突起 口縁部縄文LR光沢の粗面状文様 内面磨き 二次焼成	覆土中	安行3 b式。

第132表 第741号土坑出土遺物一覧(第223図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	頸取土器	-	(10.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	赤橙	普通	口唇部内張り状 口縁部横状・体部縦位の削り 内面磨き	中央部中層	20% 晩期

第133表 第744号土坑出土遺物一覧(第223図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	口縁部厚肉 横位の条線→経線貼付・頸部区画文 内面ナデ	覆土中	経線区画文
2	縄文土器	深鉢	-	(10.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰黄緑	普通	条線→頸部区画文内磨き→経線貼付 内面ナデ とは別個体。	西部上層	10% 経線区画文

第134表 第788号土坑出土遺物一覧(第223図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	口縁部の肥厚部 口縁部斜方向の条線文 内面ナ デ内磨き	覆土中	後期後葉

第135表 第792号土坑出土遺物一覧(第223図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・赤色	明赤緑	普通	底面部に2段の押圧痕と條状突起 段起部縄文の条・ 差出部下に同條状の浮線と人形3又文様文 内面磨き	覆土中	安行3 a式

第136表 第795号土坑出土遺物一覧(第223図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(14.3)	-	長石・石英・赤色 粒子	褐色	普通	頸部縄文LR光沢の交互縦線文 内面粗い磨き	覆土中	20% 後期後葉

第137表 第805号土坑出土遺物一覧(第223図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	[196]	[166]	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	橙	普通	瓢形 口縁部2本のLR縞帯帯縄文と押引き状刷突文 頸部縄文LR光沢の帯状人形文 内面粗い磨き	中央部上層	25% PL74 安行1式

第138表 第817号土坑出土遺物一覧(第224図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい	普通	口唇部横位の条線→縦位の区画文→経線貼付 内面ナデ	覆土中	経線区画文

第139表 第818号土坑出土遺物一覧(第224図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英	灰褐	普通	頸部横位の条線→口縁部付点線縄文文 内面ナデ	覆土中	後期後葉

第140表 第824号土坑出土遺物一覧(第224図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英	灰褐	普通	口唇部区画文による条状突起 縄文LR光沢・ 無文部磨き 内面ナデ	覆土中	安行2式

第141表 第883号土坑出土遺物一覧(第224表)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口唇部に一段状突起 外面縄文LR横位筋文 横位 の沈線文 口縁部・沈線間粗い研 内面磨き	覆土中	後期後葉

第142表 第909号土坑出土遺物一覧(第224図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粘土	灰黄陶	普通	細密沈線文充填 2と同一。	覆土中	PL76 安行3b式
2	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母・赤色粘土	灰黄陶	普通	細密沈線文充填 1と同一。	覆土中	安行3b式

第143表 第915号土坑出土遺物一覧(第224図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(13.6)	(4.0)	長石・石英・雲母・赤色粘土	黒	普通	縄文RL横位施文 内面粗い磨き 第916号土坑出土破片と組合	中央部上層	30% L100-8-100-12

第144表 第918号土坑出土遺物一覧(第224図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(12.9)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	口縁部3本のRL隆起帯縄文 胴部縦線文 内面磨き	北部底面	PL76 安行1式

第145表 第940号土坑出土遺物一覧(第224図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴		出土位置	備考
1	磨石	7.5	4.0	3.4	159.3	安山岩	依伏	断面隅丸長方形 表面磨り面 裏面磨り面+敲打痕	覆土中	

第146表 第948号土坑出土遺物一覧(第224図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	L,R地縄文・口縁部縁線貼付 手執竹管状工具による斜線文・口内面・口縁部に凹線	覆土中	瓶之内2式・ 加賀部貝1式

第147表 第964号土坑出土遺物一覧(第224図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英	灰黄陶	普通	口縁部に横帯区画 区画内に斜線文或いは格子目文施文。内面ナシ	覆土中	後期前中~中葉

第148表 第1002号土坑出土遺物一覧(第224図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	台付鉢	-	(12.6)	[15.8]	長石・石英・雲母・赤色粘土	褐灰	普通	胴部 縄文RL充填の横帯文 底部下層RL隆起帯縄文	東部中層	30% 安行1式

第149表 第1035号土坑出土遺物一覧(第224図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英	黒陶	普通	突縁部凹形斜変角・横面沈線 縄文RL縦位施文 沈線による区画文 内面磨き	覆土中	PL76

第150表 第1082号土坑出土遺物一覧(第224図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英	褐灰	普通	肥厚する口縁部に斜み列 口部縦位の磨き 内面磨き	覆土中	後期中葉
2	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・赤色粘土	にぶい橙	普通	RL地縄文・格子目文 内面口縁部に凹線 内面磨き	覆土中	後期中葉

第151表 第1092号土坑出土遺物一覧(第224図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	浅鉢	-	(4.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粘土	にぶい橙	普通	胴部縦線文と三叉文による磨消縄文 縄文RL充填 口縁部に縁条状突起 突縁内面に縦線文	覆土中	安行3a式

第152表 第1096号土坑出土遺物一覧(第224図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	鉢	-	(3.4)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	口縁部に2列の刺突列光焼帯 内面磨き	覆土中	安行3c式
2	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	黒褐	普通	口周部横位・胴部縦位の条線文→付点線縦文施文 内面磨き	覆土中	経線・縦線

第153表 第1115号土坑出土遺物一覧(第224図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英・雲母	灰	普通	赤状口縁 口唇部斜文 口縁部縄文LR→4条の 波線文・高い横状線貼付 内面凹点	覆土中	曾谷式

第154表 第1122号土坑出土遺物一覧(第225図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(24.4)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	縄文LR横位施文→縦線文 胴部下半条線 内面ナデ	中央部 上→中層	29内 経線・縦線

第155表 第1150号土坑出土遺物一覧(第225図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴		出土位置	備考
1	貝輪	(8.7)	(5.6)	1.4	(14.5)	サルゴウ属	未成品	研磨整形	北部中層	PL76

第156表 第1155号土坑出土遺物一覧(第225図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	明赤褐	普通	平縁深鉢 RL隆起帯縄文と縦長帯 内面ナデ	覆土中	安行1式
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴		出土位置	備考
2	土器片断	(5.8)	(4.6)	(1.5)	(36.8)	長石・石英	灰黄褐	安行1式波状口縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き 一部研磨		覆土中	

第157表 第1167号土坑出土遺物一覧(第225図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英	灰褐	普通	平縁深鉢 RL隆起帯縄文・線貼付 内面ナデ	覆土中	安行3a式

第158表 第1180号土坑出土遺物一覧(第225図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴		出土位置	備考
1	磨石	7.0	6.2	3.0	201.7	安山岩	楕円形	新断面丸方形 表面磨著な磨り面 側面に研磨痕	覆土中	

第159表 第1226号土坑出土遺物一覧(第225図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい褐	普通	黒影 口縁部 RL隆起帯縄文と押引き状刺突列 胴部縄文RL・乳頭状の押込入組文 内面粗い磨き	覆土中	安行1式

第160表 第1229号土坑出土遺物一覧(第225図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(30.4)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	橙	普通	胴部横位・胴部縦位の条線→線貼付→縦文様帯 区画文 内面粗い磨き	南部中層	経線・縦線

第161表 第1234号土坑出土遺物一覧(第225図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	長石・石英	褐灰	普通	胴部RL縄文充填の交互波線文 内面磨き	覆土中	後期後帯

第162表 第1235号土坑出土遺物一覧(第225図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
1	磨製石斧	(8.1)	(5.1)	(2.2)	(159.4)	砂岩	定角式 断面隅丸長方形	覆土中	PL84

第163表 第1237号土坑出土遺物一覧(第226図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	橙	普通	口縁部3条・胴部4条の沈線→縄文文→無文部磨き 孔あり 内面磨き	南部下層	10% 管付式

第164表 第1243号土坑出土遺物一覧(第225図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(3.2)	-	長石・石英・雲母	赭灰	普通	口唇部縁状の突起 外面横帯文 内面沈線文	覆土中	瓶之内2式
2	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	橙	普通	胴部縄文LR光沢の下の字文→横位沈線 無文部磨き 内面磨き	覆土中	加群料B 3式
3	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	胴部区画文→格子目文 内面磨き	覆土中	後期中葉
4	縄文土器	鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・赤色砂子	灰黄期	普通	流状入り筋目文→縄文LR光沢→無文部磨き 内面磨き	覆土中	加群料B 2式

第165表 第1246号土坑出土遺物一覧(第226図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(13.3)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	にぶい橙	普通	口縁部4条・胴部1条のRL 隆起帯縄文 胴部下平 粗い磨き 内面粗い磨き	北東部上層	安行1式

第166表 第1247号土坑出土遺物一覧(第226図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部2条・胴部3条のRL 隆起帯縄文 無文部・ 内面磨き	南部上層	PL77 安行1式
2	縄文土器	深鉢	-	(11.2)	-	長石・石英・赤色砂子	にぶい橙	普通	口縁部隆起・胴部隆起の条線→線線貼付→胴部区 画文 SK1261 2と同一。	南東部上層	後期後葉

第167表 第1261号土坑出土遺物一覧(第226図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(21.2)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	橙	普通	口縁部隆起・胴部隆起の条線→線線貼付→胴部区 画文 SK1247 2と同一。	北東部上層	PL77 後期後葉
2	縄文土器	深鉢	-	(11.9)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	橙	普通	口縁部に3条の横位沈線 溝面の肥厚部 胴部→ 胴部隆起の磨き 内面粗い磨き	中央部底面	後期後葉

第168表 第1272号土坑出土遺物一覧(第226図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(12.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	縦い流状口縁 口縁部2条のRL 隆起帯縄文 胴部縄 文区 光沢の風乾文 胴部部に縄文区 光沢の横帯文	西部上層	20% PL77 安行1式
2	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	赭灰	普通	縦い流状口縁 口縁部3条のRL 隆起帯縄文 胴部 縄文RL 光沢の風乾文 無文部磨き 内面磨き	中央部下層	安行1式
3	縄文土器	台付鉢	-	(13.6)	[17.7]	長石・石英	にぶい橙	普通	脚部 上手縄文RL 光沢の横帯文・風乾文 下手3 条のRL 隆起帯縄文 内面ナシ	南東部上層	40% PL79 安行1式

第169表 第1273号土坑出土遺物一覧(第226図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	灰黄期	普通	口縁部2条のRL 隆起帯縄文・縦長筋 2条目に筋目列 胴部縄文RL 光沢の風乾文 無文部磨き 内面磨き	覆土中	安行1式
2	縄文土器	鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母・赤色砂子	にぶい橙	普通	台付鉢→ 無文部・内面磨き	覆土中	安行1式

第170表 第1279号土坑出土遺物一覧(第226図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
1	石鏃	(2.5)	1.5	0.5	(1.45)	チャート	凸基有茎 端部欠損	中央部上層	PL80

第171表 第1289号土坑出土遺物一覧(第227図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(127)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	縄文LR→横位の条線→口縁部の縦区画・屈曲部に縦線刻付 内面ナデ	覆土中	IVa 遺存・実行1式

第172表 第1306号土坑出土遺物一覧(第227図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(108)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	縦い直状口縁 口縁部2条のRL隆起帯縄文・縦長帯に刻み 頸部 RL 束頭の若干発短する横帯文と風縄文	中央部底面	実行1式
2	縄文土器	深鉢	-	(62)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	外面縦い斜条線 内面粗い磨き	覆土中	後期後葬

第173表 第1311号土坑出土遺物一覧(第227図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(78)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面縄文LR→集合沈線 内面磨き	覆土中	堀之内1式

第174表 第1319号土坑出土遺物一覧(第227図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	浅鉢	-	(56)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面磨き 内面口縁部4条の平行沈線文→磨き	覆土中	加賀川1式

第175表 第1348号土坑出土遺物一覧(第227図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土器円形蓋	3.8	4.8	1.7	24.3	長石・石英・雲母	褐灰		平縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	覆土中	
2	土器円形蓋	4.8	5.6	1.3	28.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐		粗縁土器口縁部片利用 周縁打ち欠き	覆土中	

第176表 第1365号土坑出土遺物一覧(第227図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(108)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口縁部2条のRL隆起帯縄文 頸部にRL縄文束頭の風縄文 内面磨き	覆土中	実行1式
2	縄文土器	深鉢	-	(244)	(48)	長石・石英	橙	普通	胴部条線 内面磨き 内底部に塚付着	中央部上層	9% 磁器土・磁器土

第177表 第1366号土坑出土遺物一覧(第227図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(138)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	縦い直状 付着横線文で口縁部条線→液流部下総打沈線文・液流部下総条状沈線文。 胴部条線 内面ナデ	覆土中	IVa 遺存・実行1式

第178表 第1377号土坑出土遺物一覧(第227図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(148)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	口縁部2条のRL隆起帯縄文 頸部にRL縄文束頭の風縄文 内面ナデ	覆土中	IVa 実行3b式

第179表 第1380号土坑出土遺物一覧(第228図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
1	磨石	5.7	5.7	3.8	181.7	安山岩	円形 表面に光沢を持つ磨り面 断面ザラザラの研動痕	覆土中	

第180表 第1386号土坑出土遺物一覧(第227図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(94)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部2条のRL隆起帯縄文 幅狭く肥厚部 頸部 RL 束頭の風縄文 内面粗い磨き	北東部中層	実行1式



第181表 第1387号土坑出土遺物一覧(第227図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(53)	-	長石・石英・雲母・赤色粘土	にぶい	普通	瓢形・口縁部RL・隆起帯縄文・押引状羽文・肩部押状入組文。口縁部磨き	覆土中	後期後葉

第182表 第1424号土坑出土遺物一覧(第228図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(83)	-	長石・石英・雲母・赤色粘土	橙	普通	口縁部押引状羽文を伴うRL・隆起帯縄文・肩部RL・光地の押状入組文・内面粗い磨き	西部土層	安行1式

第183表 第1428号土坑出土遺物一覧(第228図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
1	異形石器	(3.5)	2.3	0.8	(28)	水晶	十字形 端部欠損	中央部下層	PL87

第184表 第1430号土坑出土遺物一覧(第228図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
1	磨製石斧	(5.8)	(4.6)	(2.7)	124.9	緑色岩	定角式 断面隅丸長方形 刃部欠損	覆土中	PL87

第185表 第1433号土坑出土遺物一覧(第228図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	浅鉢	[185]	8.3	-	長石・石英・雲母・赤色粘土	にぶい	普通	口縁部に無文帯・肩部・底部RL・縄文光地の横帯文・無文部・内面磨き	北部土層	50% PL85 曾谷式

第186表 第1434号土坑出土遺物一覧(第228図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粘土	明赤褐色	普通	波状口縁 4条のRL・隆起帯縄文・内面磨き	北部土層	安行1式

第187表 第1444号土坑出土遺物一覧(第228図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(14.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	肩部押引状羽文・胴部上半下がりの条線・無文部を挟んだ下半下がりの条線・RL・縄文横帯文・内面ナデ	海西部土層	20% 後期後葉

第188表 第1461号土坑出土遺物一覧(第228図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(13.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	口縁部4条のRL・隆起帯縄文・頸部尖羽根状縦文・無文部・内面磨き	南部土層	安行1式
2	縄文土器	深鉢	-	(29.5)	4.0	長石・石英・雲母・赤色粘土	にぶい	普通	口縁部RL・光地の押状入組文・胴部上半部RL・光地の交互縦線文・無文部・内面磨き	中央部土層	30% PL86 後期後葉

第189表 第1503号土坑出土遺物一覧(第229図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	-	長石・雲母	黒褐色	普通	胴部RL・光地の交互縦線文・無文部磨き・内面粗い磨き	北部土層	後期後葉
2	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	地位の条線・付点縦線文・口縁部の付点は押引状・内面粗い磨き	北部土層	後期後葉
3	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	口縁部横帯の条線・内面ナデ	北部土層	後期後葉

第190表 第1517号土坑出土遺物一覧(第229図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	口縁部RL・隆起帯縄文と斜入隆帯・胴部RL・光地の縦線文・無文部磨き・内面粗い磨き	覆土中	曾谷・安行1式
2	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	口縁部付点とRL・光地の縄文帯・横帯付・肥厚部胴部RL・光地の縦線文・無文部磨き・内面粗い磨き	覆土中	曾谷式

第191表 第1521号土坑出土遺物一覧(第228図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(67)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	口縁部横位の条線→経線貼付→縦位の弧線文 内面ナデ	東部土層	後期後葉

第192表 第1522号土坑出土遺物一覧(第229図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(176)	-	長石	灰黄褐色	普通	胴部縦位の条線 内面軽い磨き	中央部土層	10% 後期後葉

第193表 第1524号土坑出土遺物一覧(第229図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(85)	-	長石・石英・雲母	におい褐色	普通	口縁部横位の条線→口唇部刻み 内面磨き	覆土中	後期後葉

第194表 第1530号土坑出土遺物一覧(第229図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	コシロア 土器	7.9	2.2	-	長石・石英・赤色 粘土	灰黄褐色	普通	底縁部刻み 外縁部付立磨き 底面磨き	中央部中層	100% 後期

第195表 第1534号土坑出土遺物一覧(第230図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(149)	5.4	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	灰褐色	普通	胴部条線 ナデ 下半磨き 内面磨き 底部網代痕	西部土層	20% 後期後葉

第196表 第1538号土坑出土遺物一覧(第230図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(290)	-	長石・石英	褐色	普通	口縁部RL 発粘帯縄文施文の波状口縁 胴部・胴部 矢形粗状状施文 内面磨き	北西部下層	20% 安行1式

第197表 第1539号土坑出土遺物一覧(第229図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(138)	-	長石・石英・雲母	におい褐色	普通	鉢、口縁部刻み交列 胴部RL 光輪の押状入組文 無文部磨き 内面磨き	北部土層	PL87 安行1式
2	縄文土器	深鉢	-	(83)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粘土	褐色	普通	口縁部2列の刺突列 胴部RL 光輪の横帯文 内面 磨き	北部土層	曾谷式
3	縄文土器	深鉢	-	(131)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	地縄文RL →条線→経線貼付 内面磨き	北部土層	後期後葉
4	縄文土器	深鉢	-	(13.4)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	口縁部横位・胴部縦位の条線 胴部横位の磨き 内面軽い磨き	覆土中	後期後葉

第198表 第1576号土坑出土遺物一覧(第230図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	頸環土器	-	(66)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	口縁部未調整 外面斜位の削り 内面ナデ SK1578 L5 と接合	覆土土層	PL87

第199表 第1590号土坑出土遺物一覧(第230図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(60)	4.0	長石・石英	におい褐色	普通	2本1單位の沈着でLR 変質の横帯文形成 下段の沈着 は4單位の層(1層)を並べて配置 底部網代痕	中央部中層	10% PL89 曾谷式

第200表 第1597号土坑出土遺物一覧(第230図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴		出土位置	備考
1	磨石	8.0	6.5	4.5	359.6	安山岩	楕円形	表面磨り面 上面敲打痕。	中央部土層	

第201表 第1605号土坑出土遺物一覧(第230図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	浅鉢	[204]	108	[60]	長石・石美・雲母	橙	普通	原産する口縁部に帯状付 胴部LR光面の浅灰文・無文部・内面磨き 底縁部代張 SK1603.3と適合	東部中層	40% PL85 初期後型

第202表 第1631号土坑出土遺物一覧(第230図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(58)	-	長石・石美	にぶ・濃黄	普通	黒彩 口縁部2条のRL 隆起帯縄文と押引状網文列 胴部RL 束頸の橙灰文 無文部・内面磨き	覆土中	安行1式

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
2	土偶	(59)	(6.3)	(2.9)	(71.8)	長石・石美・雲母・赤色粘土	灰褐色	ミズク形 胴部→脚部 表面面RL 縄文→沈線	覆土中	PL90

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
3	砥石	150	7.9	1.4	(189.1)	砂岩	表面砥面 表面に筋状の砥痕 右側縁潤滑 粗熟	覆土中	PL90

第203表 第1652号土坑出土遺物一覧(第231図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(134)	-	長石・石美・雲母	黒褐色	普通	口縁部に台形状の突起 口縁部に3条のRL 隆起帯縄文 胴部RL 束頸の橙灰文 無文部磨き 内面手字	南西部下層	15% PL89 安行3式

第204表 第1658号土坑出土遺物一覧(第231図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(16.1)	-	長石・石美・赤色粘土	黒褐色	普通	地縄文RL→条線 口縁部に線刻貼付 内面粗い磨き	中央部下層	45% PL89 長期後型

第205表 第1661号土坑出土遺物一覧(第231図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(13.6)	-	長石・石美・赤色粘土	にぶ・濃黄	普通	口縁部矢形相状沈線文 胴部沈線を伴う弧状輪と 黒彩文 内面磨き成器	北東部上層	15% PL89 長期後型
2	縄文土器	注口土器	-	(7.5)	-	長石・石美・雲母	灰黄褐色	普通	口縁部2条のRL 隆起帯縄文と押引状網文列 胴部RL 帯縄文と磨 注口部下端に刺突を伴う磨	東部上層	PL89 安行2式

第206表 第1662号土坑出土遺物一覧(第231図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(27.5)	-	長石・石美・雲母	橙	普通	口頸部横位の条線 胴部削り 内面ナデ	中央部上層	40% 長期前型

第207表 第1684号土坑出土遺物一覧(第231図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石美	にぶ・濃黄	普通	口縁部2条のRL 隆起帯縄文 胴部RL 光面の弧線文 内面手字	北部上層	安行1式

第208表 第1686号土坑出土遺物一覧(第231図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(12.8)	3.6	長石・石美・赤色粘土	にぶ・濃黄	普通	胴部工平RL 光面の交互弧線文 下半RL 縄文横位筋文 底部磨き 内面ナデ	東部上層	30% 長期後型

第 209 表 縄文時代土坑一覽

番号	位置	長径(幅)方向	平面形	規 格			壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(幅) (m)	短径(幅) (m)	深さ (cm)						
53	D 3 g8	N-80°-W	楕円形	1.58 × 1.22	300	外傾-直立	平坦	人瓦	深鉢194、浅鉢2、製塩土器23、灰片23、甕石1、貝殻9773、骨16339 g	安行3 b式		
299	F 2 d4	N-47°-E	[楕円形]	(1.42) × 0.80	52	外傾	平坦	人瓦				
301	F 2 c9	N-23°-E	長方形	2.06 × 1.26	22	外傾	平坦	人瓦	深鉢10	後・晩期		
313	E 3 i2	N-13°-E	楕円形	0.80 × 0.70	32	直立-外傾	平坦	人瓦	深鉢3、製塩土器1	晩期前葉		
321	E 3 h1	N-25°-E	楕円形	1.22 × 1.00	50	外傾	凹凸	人瓦	深鉢4	後期前葉		
323	E 2 i8	N-80°-E	楕円形	0.78 × 0.52	78	直立	平坦	人瓦	深鉢2			
334	D 4 a3	-	円形	0.89 × 0.85	42	直立-外傾	皿状	人瓦	深鉢1			
336	D 4 a3	-	円形	0.60 × 0.58	106	直立	平坦	人瓦	深鉢9	後・晩期		
338	D 3 c0	-	円形	0.98 × 0.93	51	外傾	皿状	人瓦	深鉢16	後・晩期		
346	D 4 d1	N-25°-E	楕円形	0.58 × 0.52	100	直立	平坦	人瓦	深鉢6、凹石1	後期		
347	D 3 d9	N-7°-W	楕円形	0.67 × 0.58	95	直立	凹凸	人瓦	深鉢5	後期		
348	D 3 g9	-	円形	0.69 × 0.68	20	直立	平坦	人瓦	深鉢7	後期		
350	E 2 j0	N-61°-W	楕円形	0.40 × 0.32	98	直立	平坦	人瓦	銅片1			
355	E 2 i0	-	円形	0.80 × 0.78	96	直立	平坦	自然	深鉢86、浅鉢1	安行3 b式		
363	E 2 j9	N-19°-W	楕円形	1.04 × 0.94	40	外傾	平坦	自然	深鉢13	称名寺Ⅱ式		
371	D 4 b2	-	円形	0.91 × 0.86	23	外傾	平坦	人瓦	深鉢7	称名寺Ⅰ式		
373	D 3 d0	N-87°-W	[楕円形]	0.78 × (0.57)	20	外傾	凹凸	人瓦			本跡→SK380	
374	D 3 f9	N-32°-W	楕円形	0.87 × 0.79	123	直立	凹凸	人瓦	深鉢9、製塩土器2			
375	D 3 g9	N-25°-E	楕円形	1.51 × 1.35	198	直立	凹凸	人瓦	深鉢24、浅鉢1、製塩土器13	安行3 a式		
377	D 3 g9	N-28°-E	[楕円形]	(0.53) × (0.41)	82	直立	平坦	人瓦				
378	D 3 i8	N-22°-E	楕円形	1.13 × (0.50)	(30)	外傾	皿状	人瓦	深鉢1	後期	SK381→本跡→S24	
379	D 4 c1	N-86°-E	円形-楕円形	0.65 × (0.50)	121	直立	平坦	人瓦	深鉢4		本跡→SK392	
380	D 3 d0	N-11°-W	裏丸長方形	3.21 × 1.58	50	外傾	凹凸	人瓦	深鉢61、石核2	後期	SK373→本跡	
381	D 3 i8	N-29°-E	[楕円形]	(1.23) × (0.43)	(156)	直立-外傾	凹凸	人瓦			本跡→SIDASK378	
382	D 4 i5	N-10°-E	楕円形	0.36 × 0.30	24	直立	皿状	人瓦	骨8.9 g	本跡→SK700-SM11		
383	D 4 i5	N-0°	円形-楕円形	(0.28) × (0.12)	63	直立	皿状	人瓦	骨4.9 g	SM11→本跡		
384	D 3 g8	-	円形	0.81 × 0.77	31	外傾	皿状	人瓦	深鉢4		SM11→本跡	
385	D 4 i5	N-60°-E	楕円形	0.66 × 0.48	86	直立	皿状	人瓦	骨6.7 g		SM11→本跡→SEG3	
386	D 3 g9	N-52°-E	楕円形	0.97 × 0.77	58	直立	平坦	人瓦				
387	D 3 i9	N-42°-E	不整形	0.92 × 0.87	80	直立-外傾	平坦	人瓦	深鉢3	後・晩期		
391	D 3 i8	-	円形	1.21 × 1.19	45	外傾	平坦	人瓦	深鉢3			
392	D 4 d1	N-42°-W	楕円形	0.85 × 0.73	111	直立	平坦	人瓦	深鉢10	後・晩期	SK379→本跡	
393	D 3 i6	N-45°-W	楕円形	1.27 × 1.02	139	直立	平坦	人瓦	深鉢1			
394	D 3 i7	-	円形	0.81 × 0.73	73	直立	皿状	人瓦	深鉢17 銅片3	後・晩期		
396	D 3 i8	N-57°-W	楕円形	0.56 × 0.46	33	外傾	皿状	人瓦	深鉢11、浅鉢1	安行3 b式		
397	D 3 i8	N-53°-W	楕円形	0.64 × 0.58	138	直立-外傾	平坦	人瓦	深鉢5、製塩土器1	後・晩期		
398	E 3 i0	-	円形	0.41 × 0.40	61	直立	平坦	人瓦	浅鉢1			
399	E 4 b1	N-55°-E	楕円形	0.57 × 0.46	19	外傾	平坦	人瓦	深鉢4	安行2式		
400	E 4 b1	-	円形	0.53 × 0.50	75	直立	平坦	人瓦	深鉢26	後期後葉		
402	E 3 i2	N-82°-W	楕円形	1.58 × 1.08	56	外傾	平坦	人瓦	深鉢4、銅片1			
406	F 2 d8	N-70°-E	楕円形	0.50 × 0.36	16	外傾	平坦	不明	深鉢1	安行3 b式	SI 23→本跡	
407	E 3 a9	N-53°-W	[楕円形]	(1.07) × (0.40)	66	外傾	平坦	人瓦	深鉢10	後・晩期		
408	E 4 b1	N-53°-W	円形-楕円形	(0.85) × (0.43)	70	外傾	皿状	人瓦	深鉢17、骨166 g			
409	E 3 a0	N-25°-W	[不整形]	(0.70) × (0.53)	66	直立	凹凸	人瓦	深鉢6、土器片1、銅片1	後・晩期		
410	D 3 g9	N-54°-W	円形-楕円形	(0.62) × (0.18)	32	直立	平坦	人瓦	深鉢1			

番号	位置	長径(前)方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主 要 出 土 物 物	時 期	備 考 (出 土 品 目)
				長径(前)×短径(前) (m)	深S (cm)						
411	E 3b0	-	円形	0.51 × 0.49	63	直立	平坦	人為	深鉢7		
412	E 4b1	-	円形	0.31 × 0.28	27	直3・外傾	平坦	人為	深鉢1	晩期前葉	
413	E 3a0	-	円形	0.47 × 0.46	43	直立	平坦	人為	深鉢22, 測片1	後期後葉	
415	E 3b0	N-53°-W	楕円形	0.42 × 0.35	27	外傾	皿状	人為	深鉢1		
416	E 3b0	N-80°-W	楕円形	0.62 × 0.51	39	直立	平坦	人為	深鉢33	後期後葉	
417	E 4b1	-	円形	0.46 × 0.46	119	直立	平坦	人為	深鉢13, 浅鉢1, 磨製石片1	晩期前葉	
418	E 4b1	-	円形	0.53 × 0.48	89	直立	平坦	人為	深鉢36, 製塩土器1	後期後葉	SK432→本跡
419	E 3a9	-	円形	0.37 × 0.37	110	直立	平坦	人為	深鉢3, 測片1	後葉	
420	E 3a9	-	円形	0.30 × 0.28	10	外傾	平坦	人為			
421	E 3a7	N-42°-E	楕円形	0.80 × 0.70	40	直立	円凸	人為	深鉢7	後期後葉	
422	E 4c1	-	円形	0.67 × 0.65	80	直立	平坦	人為	深鉢37, 骨0.2g	安行2式	
423	E 3b0	N-33°-W	楕円形	0.88 × 0.78	69	外傾	円凸	人為	深鉢42, 浅鉢1, 測片3, 石核1	安行3b式	SK464・519→本跡
425	E 3a9	N-12°-E	楕円形	0.39 × 0.33	73	直立	平坦	人為	深鉢1	後・晩期	
426	E 3a9	N-81°-E	楕円形	0.35 × 0.27	49	直立	平坦	人為			
427	E 3a9	N-51°-W	楕円形	0.40 × 0.34	63	直立	平坦	人為	深鉢2		
428	E 3a9	-	円形	0.49 × 0.45	40	直立	平坦	人為	深鉢3, 測片1		
429	E 3a9	N-23°-E	楕円形	0.25 × 0.21	43	直立	平坦	人為	深鉢1		
430	E 3a9	N-37°-W	楕円形	0.33 × 0.29	32	直立	平坦	人為			
431	E 3a9	-	円形	0.40 × 0.39	58	直立	平坦	人為	深鉢1	後期	
432	E 4b1	N-14°-W	西形・楕円形	0.81 × 0.665	40	外傾	平坦	人為	深鉢32, 浅鉢1	晩期	SK437・486→本跡 →SK418
433	E 3a8	-	円形	0.63 × 0.62	77	直立	平坦	人為			
435	E 3a8	N-61°-E	楕円形	0.56 × 0.47	69	直立	平坦	人為	深鉢15, 製塩土器2, 測片1, 貝殻592, 骨21.0g	安行2-3a式	
436	E 3a8	-	円形	0.31 × 0.29	30	直立	平坦	人為			
437	E 4c1	N-66°-E	楕円形	0.35 × 0.29	61	直立	皿状	人為	深鉢13	安行3a式	本跡→SK432
438	E 3b0	-	円形	0.29 × 0.26	33	直立	平坦	人為			
439	E 3a8	N-62°-W	楕円形	0.39 × 0.35	30	直立	平坦	人為	骨1.4g		SK469→本跡
440	E 3a9	-	円形	0.63 × 0.63	49	直立	平坦	人為	深鉢12		
441	E 4b1	-	円形	0.45 × 0.45	51	直立	平坦	人為	深鉢8, 鉢1	後期前・中葉	
442	E 3a7	-	円形	0.37 × 0.35	50	直立	平坦	人為			
443	E 3a7	-	円形	0.37 × 0.35	27	直立	平坦	人為	深鉢1	後期	
444	E 3a7	N-35°-E	楕円形	0.70 × 0.50	101	直立	円凸	人為	深鉢15, 土器片4個1, 貝殻57, 骨41.1g	後・晩期	
445	E 4c1	N-53°-E	楕円形	0.41 × 0.34	33	直3・外傾	平坦	人為	深鉢15	晩期前葉	
446	E 3c0	N-65°-W	楕円形	0.37 × 0.30	35	直立	平坦	人為			
447	E 3c0	-	円形	0.31 × 0.28	27	直立	平坦	人為			
448	E 3c0	-	円形	0.31 × 0.31	22	外傾	平坦	人為	深鉢2		
449	E 3c0	-	円形	0.36 × 0.36	43	直立	皿状	人為	深鉢19	曾谷式	
450	E 3c0	N-42°-W	楕円形	0.36 × 0.25	52	直立	平坦	人為	深鉢3		
451	E 3c0	-	円形	0.35 × 0.33	53	直立	平坦	人為	深鉢11, 骨0.6g	後期後葉	
452	E 3c0	N-8°-E	楕円形	0.41 × 0.27	34	直立	平坦	人為	深鉢2		
453	E 4c1	-	円形	0.37 × 0.34	27	直3・外傾	平坦	人為	深鉢6		
454	E 3c0	N-80°-W	楕円形	0.44 × 0.37	37	直立	円凸	人為	深鉢13	安行3a式	SK479・561→本跡
455	E 3c0	N-26°-W	楕円形	0.91 × 0.48	67	外傾	平坦	人為	深鉢67, 鉢1, 土器片4個1, 石鉢1	安行3b式	
456	E 3b6	N-67°-W	楕円形	0.27 × 0.22	21	外傾	平坦	人為			
457	E 3d0	N-78°-W	楕円形	0.41 × 0.32	26	直3・外傾	平坦	人為	深鉢13	安行3b式	
458	E 3b0	N-53°-W	楕円形	0.40 × 0.30	51	直立	平坦	人為	深鉢10	後・晩期	
459	E 4c1	N-8°-E	不整形	0.88 × 0.57	73	直立	円凸	人為	深鉢107, 浅鉢1, 製塩土器1, 測片1	安行3b式	SK521・531→本跡



番号	位置	長径(北)×短径(南) [m]	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主 要 出 土 物 物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(北)×短径(南) [m]	深 5 [cm]						
306	E 3b9	N-21'-W	楕円形	0.47 × 0.42	29	直立・外傾	平坦	人為	深鉢8		
307	E 3a8	N-75'-E	楕円形	0.43 × 0.38	49	直立	平坦	人為	深鉢5、骨32.7g		
308	E 3a7	N-43'-W	楕円形	0.78 × 0.73	83	直立	平坦	人為	深鉢9、製塩土器7、土器片内燬1、骨221.1g	曾谷式	
309	E 3a8	N-60'-W	楕円形	0.59 × 0.51	41	直立	平坦	人為	深鉢6、骨41g		
310	E 3a8	N-46'-W	楕円形	0.31 × 0.27	43	直立	凹凸	人為			
311	E 3b7	-	円形	0.35 × 0.35	42	直立	平坦	人為			
312	E 3b7	N-17'-W	楕円形	0.46 × 0.39	93	直立	平坦	人為	深鉢22、製塩土器1、骨1.4g	後期後葉	
313	E 3b7	-	円形	0.49 × 0.47	107	直立	平坦	人為	深鉢23、骨662g	安行1式	
314	E 3c0	-	円形	0.43 × 0.43	59	直立	平坦	人為	深鉢32	後・晩期	
315	E 3c0	N-9'-E	楕円形	0.37 × 0.32	39	直立	平坦	人為	深鉢3、骨54.9g	SK581→本跡	
316	E 3b9	N-58'-E	楕円形	0.47 × 0.41	55	直立	平坦	人為	深鉢11	後期後葉	
317	E 3a9	N-61'-W	楕円形	0.56 × 0.37	43	直立	平坦	人為			
318	E 3c0	N-22'-W	楕円形	0.33 × 0.28	34	直立	平坦	人為	深鉢8	後期後葉	
319	E 3b6	N-45'-E	四角・直四形	(0.60) × 0.56	40	外傾	平坦	人為	深鉢58、洞片2	安行2式	SK653→本跡 →SK423
320	E 3c0	-	円形	0.32 × 0.32	33	直立	平坦	人為	深鉢3	SK579→本跡	
321	E 4c1	N-3'-W	四角・直四形	0.27 × (0.16)	40	直立	平坦	人為	深鉢38、製塩土器3	本跡→SK659	
322	E 3b8	N-1'-E	楕円形	0.57 × 0.47	80	直立	平坦	人為	深鉢25、骨167g	後期後葉	SK651→本跡
323	E 3b8	-	円形	0.39 × 0.39	30	直立	平坦	人為			
324	E 3b7	N-53'-W	楕円形	0.46 × 0.41	30	直立	平坦	人為	深鉢2		
325	E 3b0	N-45'-W	楕円形	0.67 × 0.41	39	外傾	平坦	人為	深鉢13、製塩土器1	SK653→本跡	
326	E 3a8	N-68'-W	楕円形	0.71 × 0.59	87	直立	平坦	人為	深鉢4、注口土器1、骨1.6g	本跡→SK494	
327	E 3b7	N-66'-E	楕円形	0.58 × 0.37	15	外傾	皿状	人為	深鉢2、骨30.4g	SK657→本跡	
328	E 3b7	N-7'-W	楕円形	0.43 × 0.37	18	外傾	平坦	人為	深鉢2		
329	E 3c0	-	円形	0.72 × 0.72	53	外傾	皿状	人為	深鉢55	後期後葉	SK583→本跡
330	E 3c0	N-6'-W	楕円形	0.73 × 0.51	26	外傾	凹凸	人為	深鉢15、製塩土器2、石皿1	安行2式	SK579→本跡
331	E 4c1	N-40'-W	[楕円形]	(0.65) × 0.40	56	外傾	凹凸	人為	深鉢50、鈔手土器1	後期後葉	本跡→SK459
332	E 3c0	-	円形	1.12 × 1.03	7	外傾	平坦	人為	深鉢19、洞片1、骨40.5g	晩期前葉	SK556・561→本跡
333	E 3a8	-	[円形]	0.45 × (0.24)	100	直立	平坦	人為	深鉢14、製塩土器1、骨131.3g	本跡→SK494	
334	E 3a8	-	円形	0.99 × 0.98	132	直立	平坦	人為	深鉢20、土器片内燬1、牙燬1、骨16.3g	後期後葉	SK540→本跡 →SK659
335	E 3c9	N-17'-E	[楕円形]	1.11 × (0.88)	111	直立	凹凸	人為	深鉢82、浅鉢1、製塩土器8、骨5.9g	安行3b式	SK661→本跡 →SK659
336	E 3c0	N-41'-W	楕円形	0.35 × 0.30	47	直立・外傾	平坦	人為	深鉢12、製塩土器1	SK583→本跡	
337	E 3b8	N-54'-E	楕円形	0.42 × 0.35	70	直立	平坦	人為	深鉢6		
338	E 3b8	-	円形	0.33 × 0.31	40	直立	平坦	人為			
339	E 3b8	N-9'-E	楕円形	0.85 × 0.67	44	外傾	平坦	人為	深鉢4、製塩土器1、骨81.9g	晩期前葉	SK572・667→本跡
340	E 3a8	N-43'-W	[楕円形]	0.86 × (0.53)	76	直立	平坦	人為	深鉢5、骨24.8g	本跡→SK534	
341	E 3b7	N-3'-E	楕円形	0.51 × 0.43	62	直立	平坦	人為	深鉢6、土器片内燬1、骨5.4g	SK738→本跡	
342	E 3a8	N-59'-E	楕円形	0.41 × 0.36	20	外傾	平坦	人為	深鉢3、骨0.7g	後期後葉	
343	E 3a9	-	[円形]	(0.29) × 0.29	37	直立	皿底状	人為	深鉢2	堀之内1式	本跡→SK489
344	E 3b9	N-48'-W	楕円形	0.67 × 0.60	46	直立	凹凸	人為	製塩土器5、骨26.8g		
345	E 3b7	N-48'-E	楕円形	0.76 × 0.53	110	直立	平坦	人為	深鉢21、磨製石斧1、骨28.3g	晩期前葉	
346	E 3b7	-	円形	0.43 × 0.40	42	直立	平坦	人為	深鉢6、骨9.3g	後期後葉	
347	E 3b8	N-75'-W	楕円形	0.61 × 0.53	82	直立	平坦	人為	深鉢20、骨46.8g		
348	E 3a8	-	円形	0.45 × 0.44	57	直立	平坦	人為			SK628→本跡
349	E 3b0	-	円形	0.32 × 0.32	37	直立	平坦	人為	深鉢1		
350	E 3b9	-	円形	0.56 × 0.53	81	直立	平坦	人為	深鉢61、浅鉢1、製塩土器2、石皿1、骨3.4g	安行3b式	SK605→本跡
351	E 3b9	-	円形	0.52 × 0.49	50	直立	平坦	人為	深鉢10、製塩土器1、骨4.7g	安行2式	

番号	位置	方位(偏)方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(偏)×短径(偏) (m)	深さ (cm)						
552	E 3 b9	N-16°-W	楕円形	0.98 × 0.76	33	外傾	平坦	人為	深鉢5、製塩土器1、銅片1		SK604 → 本跡
553	E 4 c1	N-10°-E	楕円形	0.51 × 0.42	40	直立	平坦	人為	深鉢6、磁石1		
554	E 3 b9	-	円形	0.57 × 0.53	93	直立	平坦	人為	深鉢48、浅鉢1、製塩土器2、土器片内数1	晩期前葉	SK607 → 本跡
556	E 3 c0	-	[円形]	[0.37] × [0.37]	42	直立	平坦	人為	深鉢10	後期	本跡 → SK532
558	E 3 b8	-	円形	0.79 × 0.79	106	直立	凹凸	人為	深鉢5、注口土器1	加群科B式	
559	E 3 b9	N-26°-E	楕円形	0.83 × 0.62	80	外傾	平坦	人為	深鉢18		
560	D 4 b6	-	円形	0.22 × 0.20	18	外傾	平坦	人為			本跡 → SM11
561	E 3 c0	N-8°-E	[楕円形]	[0.63] × 0.51	58	直立	平坦	人為	深鉢35、製塩土器1	後期後葉	本跡 → SK454・532
562	E 3 b9	N-33°-W	楕円形	0.47 × 0.41	45	直立	凹凸	人為	深鉢3		
563	E 3 b9	N-41°-W	楕円形	0.59 × 0.45	45	直立	平坦	人為	深鉢5、製塩土器1、銅片1		
564	E 3 b8	-	円形	0.41 × 0.37	46	直立	平坦	人為	深鉢10、製塩土器1、骨20.2 g		SK620 → 本跡
565	E 3 c9	-	円形	0.45 × 0.41	24	外傾	平坦	人為	深鉢7、骨5.1 g		SK398 → 本跡
566	E 4 a4	N-14°-W	不整形	1.39 × 0.62	74	直立	平坦	人為			本跡 → SK712・718・724・725
567	E 3 b8	N-16°-E	楕円形	0.80 × 0.41	73	直立	凹凸	人為	深鉢3		SK568・576 → 本跡
568	E 3 b8	-	[円形]	-0.33 × 0.33	52	直立	平坦	人為	深鉢37、土器片内数1、骨8.9 g	後期後葉	本跡 → SK567
569	E 3 b9	N-6°-E	楕円形	0.51 × 0.41	73	直立	平坦	人為	深鉢2	後・晩期	SK399 → 本跡
570	E 3 b9	-	円形	0.58 × 0.56	38	外傾	平坦	人為	深鉢34、浅鉢1、製塩土器4、土器片内数2、骨3.5 g	新2-3 a式	
571	E 3 b9	-	円形	0.34 × 0.31	52	直立	平坦	人為	深鉢9	後期後葉	
572	E 3 b8	N-74°-W	円形・楕円形	0.32 × (0.20)	55	直立	平坦	人為	深鉢4、骨7.6 g	晩期前葉	本跡 → SK539
573	E 3 b9	N-29°-W	楕円形	0.47 × 0.40	32	直立	平坦	人為	深鉢4		
574	E 3 b7	-	円形	0.86 × 0.80	162	直立	平坦	人為	深鉢13、浅鉢1、注鉢1、製塩土器1、土器片内数1、骨1.61 g、磁石1、銅片1、銅線29、銅線29	安行3 a式	
575	E 3 c8	N-17°-W	楕円形	0.46 × 0.39	53	直立	平坦	人為	深鉢13、貝殻1,569、骨65.7 g		SK607 → 本跡
576	E 3 b8	N-30°-E	円形・楕円形	0.73 × (0.59)	27	外傾	凹凸	人為	深鉢11		SK628 → 本跡 → SK567
578	E 3 b8	N-5°-W	楕円形	0.40 × 0.36	47	直立	平坦	人為	深鉢6、骨2.3 g		
579	E 3 c0	N-15°-E	楕円形	0.57 × 0.45	59	直立	平坦	人為	深鉢11、銅片1、骨11.0 g		SK642 → 本跡 → SK520・530
580	D 4 i5	-	[円形]	0.44 × (0.36)	48	外傾	平坦	人為	深鉢41、製塩土器1、土器片内数1、骨83.8 g		本跡 → SK656・SM11
581	E 3 c0	N-18°-W	楕円形	0.56 × 0.49	71	直立	平坦	人為	深鉢49、鉢1、浅鉢1、製塩土器10、骨19.8 g	安行3 b式	SK582・602 → 本跡 → SK515
582	E 3 c0	N-6°-E	[楕円形]	0.73 × (0.47)	43	直立・外傾	平坦	人為	深鉢47	後期後葉	本跡 → SK561
583	E 3 c0	N-76°-E	円形・楕円形	0.63 × (0.53)	73	直立	平坦	人為	深鉢44、磨石1	後期後葉	本跡 → SK497・529・536
584	D 4 i5	N-5°-E	楕円形	0.24 × 0.20	38	直立	屈状	人為	深鉢9、製塩土器1	晩期前葉	SK73 → 本跡 → SM11
585	D 4 j5	N-3°-W	楕円形	0.42 × 0.38	24	直立	平坦	人為	深鉢8、銅片1、骨112.2 g		本跡 → SM11
586	D 4 j5	-	円形	0.24 × 0.24	26	直立	屈状	人為	深鉢8、骨35.2 g	晩期前葉	SM11 → 本跡
587	E 3 b9	N-72°-E	楕円形	0.46 × 0.39	56	直立・外傾	平坦	人為	深鉢1		
588	E 3 c8	N-70°-E	楕円形	0.25 × 0.22	48	直立	平坦	人為	深鉢6、銅片1		
589	E 3 c8	-	円形	0.30 × 0.30	16	直立	平坦	人為			
590	E 3 c8	-	円形	0.34 × 0.31	33	直立	平坦	人為			
591	E 3 c9	N-23°-E	楕円形	0.36 × 0.32	16	外傾	平坦	人為			
592	E 3 c9	-	円形	0.51 × 0.48	15	外傾	平坦	人為	深鉢8、土器片内数1		SK640 → 本跡
593	E 3 b8	-	円形	0.30 × 0.30	33	直立	平坦	人為	深鉢3、骨6.2 g		
594	E 3 c9	-	円形	0.27 × 0.27	29	直立	平坦	人為	深鉢5	後期後葉	
595	E 3 c9	-	円形	0.53 × 0.50	120	直立	平坦	人為	深鉢16、骨18.9 g	後・晩期	
596	E 3 c9	-	円形	0.28 × 0.28	13	外傾	屈状	人為			
597	E 3 c8	N-34°-W	[楕円形]	0.52 × (0.34)	43	直立	平坦	人為	深鉢4、製塩土器1	晩期前葉	本跡 → SK398
598	E 3 c8	-	円形	0.41 × 0.38	39	直立・外傾	平坦	人為	深鉢6		SK397 → 本跡 → SK565
599	E 3 b9	N-80°-W	楕円形	0.50 × 0.39	69	直立	平坦	人為	深鉢33、製塩土器6、52.0 g	安行3 b式	本跡 → SK369
600	D 4 b4	N-80°-W	楕円形	0.30 × 0.24	48	直立	屈状	人為	深鉢5、土器1、骨1.6 g		本跡 → SM11



番号	位置	長径(前)×短径(后)方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主 要 出 土 遺 物	時 期	備 考 (備註欄係)
				長径(前)×短径(后) (m)	深 5 (cm)						
401	E 3 b7	-	円形	0.45 × 0.45	48	直立	皿状	人為	深鉢4、骨 37.9 g		
402	E 3 b9	N-20°-E	楕円形	0.55 × 0.43	45	直立	凹凸	人為	深鉢2		SK645 → 本跡
403	E 3 b8	N-69°-W	楕円形	0.46 × 0.38	43	直立	平坦	人為	深鉢3		本跡 → SK645
404	E 3 b9	N-10°-W	円形・楕円形	(0.50) × (0.37)	83	直立	平坦	人為	深鉢8、製塩土器 2	後期後葉	本跡 → SK552・605
405	E 3 b9	N-38°-W	円形・楕円形	0.57 × (0.46)	31	外傾	平坦	人為	深鉢3		SK601 → 本跡 → SK550
406	E 3 c0	-	円形	0.56 × 0.51	20	外傾	皿状	人為	深鉢7、骨 28 g	安行 2 式	SK642 → 本跡
407	E 3 b8	-	円形	0.50 × 0.47	81	直立	平坦	人為	深鉢4、骨 78.5 g	後期後葉	本跡 → SK575
408	E 3 c9	-	円形	0.47 × 0.47	48	外傾	平坦	人為	深鉢7、骨 13.1 g		
409	E 3 c9	N-52°-W	楕円形	0.55 × 0.41	28	直立	凹凸	人為	深鉢3、石核 1		
410	E 3 b8	-	円形	0.43 × 0.40	17	外傾	平坦	人為	深鉢1		
411	E 3 c9	N-9°-E	楕円形	0.34 × 0.30	52	直立	平坦	人為	深鉢8		
412	E 3 c9	N-28°-W	楕円形	0.66 × 0.49	50	直立	凹凸	人為	深鉢25、注口土器 1、測片 2		SK649 → 本跡
413	E 3 b7	N-22°-W	楕円形	0.67 × (0.62)	40	外傾	平坦	人為	深鉢 24、垂磨 1、貝殻 1、骨 78.5 g	晩期前葉	本跡 → SK657
414	E 3 c9	N-45°-E	円形・楕円形	0.48 × (0.38)	31	直立・外傾	平坦	人為	深鉢 10	安行 3 a 式	SK1600 → 本跡 → SK461
415	E 3 d0	N-83°-E	楕円形	0.40 × 0.31	39	直立	平坦	人為	深鉢6	安行 3 b 式	
416	E 3 d0	N-63°-W	楕円形	0.87 × (0.60)	95	直立	凹凸	人為	深鉢71、土器片内盤 2、測片 3	安行 3 b 式	
417	E 3 c9	-	円形	0.55 × 0.55	111	直立	平坦	人為	深鉢42、骨 30.4 g	安行 3 a 式	SK618 → 本跡
418	E 3 c9	N-45°-W	楕円形	(0.70) × 0.69	60	直立	凹凸	人為	深鉢 24	安行 2 式	本跡 → SK617・640
419	E 3 b8	-	円形	0.43 × 0.41	53	直立	平坦	人為	骨 37.2 g		
420	E 3 b8	-	円形	0.61 × 0.57	60	直立	平坦	人為	深鉢5、土器片内盤 1、骨 43.5 g	安行 2 式	本跡 → SK564
421	E 3 c8	-	円形	0.53 × 0.50	55	直立	平坦	人為	骨 19.4 g		
422	D 4 i4	N-63°-W	楕円形	0.28 × 0.22	22	直立	皿状	人為	深鉢5、製塩土器 1、貝殻 252、骨 4.0 g		本跡 → SM11
423	E 3 a8	-	円形	0.58 × 0.55	84	直立	平坦	人為	深鉢3、貝殻 281、骨 36.3 g		SK624 → 本跡
424	E 3 a8	N-20°-E	円形・楕円形	0.52 × (0.43)	22	直立	平坦	人為	深鉢3、製塩土器 2、骨 11.9 g		本跡 → SK623
425	E 3 c8	-	円形	0.63 × 0.60	75	直立	平坦	人為	深鉢 32、土偶 1、骨 166.8 g	安行 1 式	
426	E 3 b8	-	円形	0.37 × 0.34	23	直立	平坦	人為	深鉢2		
427	E 3 b9	N-9°-W	楕円形	0.40 × 0.35	25	直立	平坦	人為	深鉢 2		SK671 → 本跡
428	E 3 a8	N-20°-E	[楕円形]	(0.80) × 0.70	37	外傾	凹凸	人為			本跡 → SK548・556
429	E 3 b9	N-70°-E	楕円形	0.61 × 0.35	21	外傾	平坦	人為	深鉢8		
430	E 3 a8	N-11°-W	楕円形	0.31 × 0.26	38	直立	平坦	人為	深鉢4	後期後葉	
431	E 3 a7	N-11°-E	楕円形	0.43 × 0.38	39	直立	凹凸	人為	深鉢2、製塩土器 2、骨 9.4 g	安行 3 a 式	
432	E 3 b8	N-13°-E	楕円形	0.60 × 0.32	29	直立	凹凸	人為	深鉢2		
433	E 3 b8	N-6°-E	楕円形	0.46 × 0.36	43	直立	凹凸	人為			
434	D 4 b5	N-2°-E	楕円形	0.24 × 0.20	18	外傾	皿状	人為	深鉢3、製塩土器 1		SK365・SM11 → 本跡
435	E 3 c8	N-4°-W	楕円形	0.41 × (0.34)	21	直立	平坦	人為			本跡 → SK636
436	E 3 c8	N-14°-E	楕円形	0.35 × 0.27	21	直立・外傾	平坦	人為	深鉢6		SK635 → 本跡
437	E 3 b9	N-27°-W	円形・楕円形	0.57 × (0.53)	33	直立	平坦	人為	深鉢40、浅鉢 1、製塩土器 9、土器片内盤 1、測片 2	後期後葉	本跡 → SK554
438	E 3 a9	N-47°-E	楕円形	0.53 × 0.46	60	直立	平坦	人為	深鉢8	後期後葉	
439	E 3 c9	N-8°-E	楕円形	0.67 × 0.51	40	直立	平坦	人為	深鉢 19、土器片内盤 1	後期後葉	SK535 → 本跡
440	E 3 c9	-	円形	0.61 × 0.59	68	直立	平坦	人為	深鉢 14、測片 2、石核 2、骨 8.7 g		SK618 → 本跡 → SK592
441	E 3 d0	N-64°-W	円形・楕円形	0.83 × (0.40)	83	外傾	凹凸	人為	深鉢84	安行 3 b 式	SK669 → 本跡
442	E 3 c0	N-21°-E	楕円形	(0.76) × 0.43	43	外傾	平坦	人為	深鉢1		本跡 → SK579・581・606
443	E 3 c8	N-30°-E	楕円形	0.79 × 0.67	53	直立	平坦	人為			
444	E 3 b8	N-84°-E	楕円形	0.50 × 0.41	48	直立	平坦	人為	深鉢1		
445	E 3 b8	N-73°-W	楕円形	(0.66) × 0.49	38	直立	平坦	人為	深鉢1		SK603 → 本跡 → SK602
446	E 3 b9	N-15°-E	楕円形	0.27 × 0.21	13	直立	平坦	人為	深鉢2		

番号	位置	方位(偏)方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(偏)×短径(偏) (m)	深さ (cm)						
647	E 3 b9	-	円形	0.28 × 0.27	24	直立	平坦	人為			
648	E 3 d9	N-80°-E	楕円形	0.60 × 0.56	51	直立・外傾	平坦	人為	深跡45	前期2-3a式	SK649→本跡
649	E 3 c9	N-9°-W	楕円形	0.97 × 0.69	66	外傾	凹凸	人為	深跡55、浅跡1、台付跡1	安行3a式	本跡→SK632・648
650	E 3 c9	N-88°-W	楕円形	0.68 × 0.53	55	直立	平坦	人為	深跡17	後期後葉	SK1690→本跡
651	E 3 b8	N-35°-W	円形・楕円形	(0.39) × 0.39	56	直立	平坦	人為	深跡10、骨3.8g	後期後葉	本跡→SK322
652	E 3 e9	-	円形	0.43 × 0.39	29	外傾	平坦	人為	深跡7		
653	E 3 b0	N-45°-E	円形・楕円形	0.52 × (0.46)	36	外傾	凹状	人為	深跡18		SK654→本跡 →SK319・525
654	E 3 c0	N-15°-E	円形・楕円形	0.42 × (0.28)	42	直立	平坦	人為	深跡10		本跡→SK653・665
655	E 3 b9	N-82°-W	楕円形	0.42 × 0.33	27	直立	平坦	人為			
656	D 4 i5	N-5°-W	楕円形	0.46 × 0.40	68	直立	凹状	人為	深跡15、貝殻297、骨31.1g		SK580→本跡→SM11
657	E 3 b7	-	[円形]	0.60 × (0.55)	101	直立	平坦	人為	深跡5、骨45.2g	安行1式	SK613→本跡 →SK527
658	E 4 c1	N-79°-E	楕円形	0.57 × 0.33	15	外傾	平坦	人為			
659	E 3 c8	N-70°-E	楕円形	0.25 × 0.20	30	直立	凹状	人為	深跡2		
660	E 3 a7	-	円形	0.50 × 0.49	65	直立	平坦	人為	深跡14、有孔円盤 <sup>+</sup> 、骨13.9g	後期後葉	
661	E 3 c9	N-25°-E	[楕円形]	(0.57) × (0.33)	49	直立	平坦	人為			本跡→SK535
662	D 3 j7	N-18°-W	隅丸長方形	1.10 × 0.53	120	直立	凹凸	人為	深跡13、骨3.1g		
663	E 3 a7	-	円形	0.51 × 0.48	151	直立	平坦	人為	深跡10、鉢1	安行3a式	
664	E 4 c3	-	円形	0.48 × 0.46	36	直立	平坦	人為	深跡7、製塩土器1		
665	E 3 c0	-	円形	0.59 × 0.59	28	直立	平坦	人為	深跡73、浅跡1、磨石1、銅片1、骨6.0g	晩期前葉	SK654→本跡
666	D 3 j7	N-8°-E	楕円形	0.41 × 0.36	47	直立	平坦	人為			
667	E 3 b8	N-16°-W	[楕円形]	(0.32) × (0.30)	50	直立	平坦	人為	深跡1		本跡→SK539
668	E 3 a6	N-50°-E	楕円形	0.55 × 0.49	71	直立	平坦	人為	深跡14、土偶1	晩期前葉	
669	E 3 d0	N-23°-W	円形・楕円形	0.63 × (0.52)	80	直立・外傾	平坦	人為	深跡19	安行3a式	本跡→SK641
670	E 3 b8	N-86°-W	楕円形	0.43 × 0.38	21	直立	平坦	人為	深跡1、貝殻1477、骨14.4g		
671	E 3 b8	N-30°-W	[楕円形]	0.57 × (0.42)	18	外傾	凹凸	人為	深跡2		本跡→SK627
672	E 4 b3	N-83°-W	楕円形	0.80 × 0.62	50	外傾	凹状	人為	深跡36、土器片円盤1、骨1.9g	安行1式	SK728→本跡
673	D 4 i5	N-85°-E	楕円形	0.50 × 0.38	124	直立	平坦	人為	深跡47、貝殻2.333、骨71.4g	安行1式	SK729→本跡→SM11
674	E 3 d0	-	円形	0.30 × 0.29	74	直立	平坦	人為	深跡2		
675	E 4 c2	N-40°-E	楕円形	0.64 × 0.52	45	外傾	平坦	人為	深跡21、貝殻96、骨4.8g	管谷式	
676	E 4 c2	N-55°-E	楕円形	0.88 × 0.56	40	直立	凹凸	人為	深跡27、浅跡1、貝殻88、骨4.7g	晩期前葉	
677	E 4 c2	N-40°-E	楕円形	0.90 × 0.56	42	直立・外傾	平坦	人為	深跡10	後期後葉	
678	E 4 c3	N-87°-E	楕円形	0.90 × 0.74	48	外傾	平坦	人為	深跡49	後期後葉	
680	E 4 b4	N-35°-W	楕円形	0.42 × 0.30	30	直立	平坦	人為	深跡12、骨52.0g		
681	E 4 b3	N-2°-E	楕円形	0.68 × 0.48	24	外傾	平坦	人為	深跡8		
682	E 4 b3	-	円形	0.47 × 0.43	26	外傾	平坦	人為	深跡16、浅跡1、製塩土器1	晩期前葉	SK728→本跡
683	E 4 a3	N-55°-W	楕円形	0.58 × 0.50	64	直立	平坦	人為			
684	E 4 b3	-	円形	0.28 × 0.26	18	外傾	平坦	人為			
685	E 4 b3	N-52°-E	楕円形	1.14 × 0.68	52	外傾	平坦	人為	深跡2、骨6.2g		
686	E 4 b2	-	円形	0.24 × 0.24	24	外傾	平坦	人為			
687	E 4 b2	N-73°-E	楕円形	0.56 × 0.50	28	外傾	平坦	人為	深跡31、注口土器1		
688	E 4 a3	N-1°-E	[楕円形]	1.20 × (0.68)	101	外傾	平坦	掘跡4 深跡224、石灘1、銅片1、貝殻621、骨368.7g		安行1-2式	
689	D 4 i5	-	円形	0.50 × 0.48	120	外傾	平坦	人為	深跡21、貝殻476、骨33.5g		本跡→SM11
691	D 4 i4	N-72°-W	楕円形	0.62 × 0.52	52	直立	平坦	人為	深跡23、骨60.8g	晩期前葉	SK733→本跡
692	E 4 a5	N-82°-W	楕円形	0.54 × 0.48	24	外傾	凹状	人為	深跡11、骨13.7g		本跡→SK707
693	E 4 a4	-	円形	0.56 × 0.52	60	直立	平坦	人為	深跡25	後・晩期	
694	E 4 a4	N-87°-E	楕円形	0.50 × 0.44	32	外傾	凹状	人為	深跡21、銅片1、骨1.1g	晩期	

番号	位置	長径(幅)×方向	平面形	規 模			壁 面	底 面	覆 土	主 出 土 遺 物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(幅) (m)	短径(幅) (m)	深 5 (cm)						
695	D 4 j4	N-80°-W	楕円形	0.54 × 0.44	44	直立	平坦	人為	深鉢2、骨2187 g			
696	D 4 j5	N-5°-E	楕円形	0.62 × 0.40	38	直立・外傾	凹凸	人為	深鉢36、骨86 g	安行3 a式		
697	E 4 a4	-	円形	0.60 × 0.58	32	外傾	平坦	人為	深鉢5	後・晩期		
698	D 4 j3	-	円形	0.50 × 0.50	40	直立	平坦	人為	深鉢16	安行3 a式		
699	D 4 j3	-	円形	0.44 × 0.42	30	外傾	平坦	人為	深鉢8			
700	E 4 a4	N-30°-W	楕円形	0.48 × 0.40	42	外傾	凹状	人為	深鉢34、浅鉢1、骨107 g		SK701→本跡	
701	E 4 a4	N-29°-W	楕円形	(0.39) × 0.39	50	直立	凹状	人為	深鉢9	後期	本跡→SK700	
702	D 4 j4	-	円形	0.50 × 0.50	26	外傾	凹状	人為	深鉢26			
703	D 4 j4	N-10°-E	楕円形	0.57 × 0.50	32	直立・外傾	平坦	人為	深鉢36、骨138 g	後期		
704	D 4 j4	N-55°-W	楕円形	0.38 × 0.34	54	直立	平坦	人為	深鉢26、割片1	後・晩期		
705	D 4 j3	N-85°-E	楕円形	0.30 × 0.25	26	外傾	凹状	人為	深鉢4	安行2式		
706	D 4 j4	N-75°-E	楕円形	0.54 × 0.42	20	外傾	平坦	人為	深鉢10、注口土器1	安行2式		
707	E 4 a5	N-85°-W	楕円形	0.34 × 0.29	18	外傾	凹状	人為	深鉢17	後・晩期	SK692→本跡	
708	E 4 a4	N-12°-E	楕円形	0.58 × 0.46	32	外傾	平坦	人為	深鉢5、貝殻33			
709	D 4 b4	-	円形	0.34 × 0.34	52	直立	平坦	人為	骨242 g		本跡→SM11	
710	D 4 j4	N-56°-W	楕円形	0.57 × 0.42	48	直立	平坦	人為	深鉢26、製塩土器1、骨696 g	安行2-3 a式		
712	E 4 a4	N-17°-E	楕円形	0.46 × 0.32	57	外傾	平坦	人為	深鉢55、貝殻38、骨81.7 g	安行2-3 a式	SK737-566→本跡	
713	D 4 i5	-	円形	0.36 × 0.34	30	外傾	平坦	人為	深鉢59、製塩土器1、骨1、骨62.3 g		SK714→本跡→SM11	
714	D 4 i5	-	[円形]	(0.44) × 0.42	54	直立	平坦	人為	深鉢21、貝殻154、骨77.5 g	安行2式	SK720、SM11→本跡	
716	D 4 j5	N-81°-W	楕円形	0.54 × 0.48	78	直立	平坦	人為	深鉢33、土器片内盤1、貝殻3枚、骨59.6 g	安行3 a式		
717	D 4 j4	N-29°-E	楕円形	0.62 × 0.40	36	外傾	凹状	人為	深鉢41、磨石1、骨21.1 g	後・晩期		
718	E 4 a4	N-20°-E	楕円形	0.67 × 0.60	36	外傾	平坦	人為	深鉢62、骨2309 g		SK725-566→本跡	
720	E 4 a3	N-25°-W	楕円形	(0.60) × 0.54	50	外傾	凹状	人為	深鉢42、割片2		本跡→SK721	
722	E 4 a3	-	不明	(0.60) × (0.20)	50	外傾	凹状	人為	深鉢8	堀之内2式	本跡→SK721	
723	D 4 j3	N-8°-W	楕円形	(0.60) × (0.48)	40	直立	平坦	人為	深鉢22	加曽料B 3式		
724	E 4 a4	N-76°-W	楕円形	0.48 × 0.36	42	直立	凹状	人為	深鉢9、浅鉢1、角底土器1、貝殻16、骨30.3 g	曾谷式a	SK566-725→本跡	
725	E 4 a4	N-35°-W	楕円形	0.60 × 0.44	49	外傾	凹状	人為	深鉢39、骨622 g	加曽料B 2式	SK566→本跡 本跡→SK718-724	
726	E 4 b3	-	円形	0.48 × 0.48	46	直立	平坦	人為	深鉢39	加曽料B 2式		
727	E 4 b3	-	円形	0.50 × 0.48	60	直立	平坦	人為	深鉢9			
728	E 4 b3	-	[円形]	(0.58) × (0.56)	52	直立	平坦	人為	深鉢47、土器片内盤1、骨27.7 g	後期後半	本跡→SK672-682	
729	D 4 i5	N-31°-W	楕円形	(0.30) × 0.48	18	外傾	平坦	人為	深鉢33、土器片内盤1、骨50.1 g	後期後半	本跡→SK673-SM11	
730	D 4 i5	N-62°-W	楕円形	0.58 × 0.52	69	直立	平坦	人為	深鉢35、耳飾巾1、貝殻262、骨284.0 g	後期後半	SK682-756→本跡 本跡→SK714-SM11	
731	D 4 j4	N-41°-W	楕円形	0.94 × 0.76	26	外傾	平坦	人為	深鉢35、貝153、骨122.3 g			
733	D 4 j5	N-40°-E	楕円形	(0.34) × 0.50	36	外傾	平坦	人為	深鉢58、浅鉢1、貝殻38、骨20.5 g	安行3 b式	本跡→SK691-732	
734	D 4 j5	-	円形	0.62 × 0.60	26	外傾	平坦	人為	骨28.4 g	本跡→SK735-SM11		
735	D 4 j5	N-85°-E	楕円形	0.64 × 0.54	30	外傾	平坦	人為	深鉢13、骨962 g	後期後半	SK734→本跡→SM11	
736	D 4 j5	N-35°-W	楕円形	0.68 × 0.54	40	外傾	平坦	人為	深鉢29、骨77.7 g	加曽料B 3式	本跡→SM11	
737	E 4 a4	N-87°-W	楕円形	(0.28) × 0.27	36	直立	平坦	人為	深鉢8	後期後半	本跡→SK712	
738	E 3 b7	N-26°-E	円形・楕円形	0.41 × (0.36)	69	直立	平坦	人為	深鉢8	本跡→SK541		
739	D 4 i5	-	円形	0.40 × (0.40)	108	直立	平坦	人為	深鉢82、土器片内盤1、骨218.5 g	加曽料B 3式	本跡→SM11	
740	D 4 i6	-	[円形]	0.46 × (0.30)	54	直立・外傾	平坦	人為	骨9.8 g	SM11→本跡		
741	D 4 i5	-	円形	0.68 × 0.64	60	直立	平坦	人為	深鉢32、製塩土器1、土器片内盤1、貝313、骨136.4 g		本跡→SM11	
743	D 4 i6	-	円形	0.30 × 0.30	52	直立	平坦	人為	深鉢8、貝105、骨34.0 g		本跡→SM11	
744	D 4 i5	-	円形	0.92 × 0.90	48	外傾	凹状	人為	深鉢27、製塩土器2、土器片内盤2、骨227.4 g		本跡→SK713-SM11	
745	D 4 i4	-	円形	0.36 × 0.34	20	外傾	平坦	人為			本跡→SM11	
746	D 4 i5	N-30°-E	楕円形	0.58 × 0.48	30	外傾	平坦	人為			本跡→SM11	

番号	位置	方位(偏)方向	平面形	規 模			壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(偏)×短径(偏) (m)	深さ (cm)	傾 斜						
747	D 4j5	N-30°-E	楕円形	0.36 × 0.32	19	外傾	平坦	人為	深鉢2、貝殻87、骨0.2g		本跡→SM11	
748	D 4i5	N-3°-E	楕円形	0.84 × 0.62	90	直立	平坦	人為	深鉢14、製塩土器2、骨54.8g		本跡→SM11	
749	D 4i5	N-24°-W	楕円形	0.36 × 0.30	27	直立	平坦	人為	深鉢2		本跡→SM11	
750	D 4i6	N-47°-W	円形・楕円形	0.56 × 0.24	160	直立	平坦	人為	骨76.0g		本跡→SM11	
751	D 4i5	N-35°-E	[楕円形]	(0.24) × (0.18)	52	直立	平坦	人為			本跡→SM11	
752	D 4i5	-	[円形]	0.40 × (0.24)	98	直立	平坦	人為			本跡→SM11	
753	D 4i5	N-10°-W	楕円形	0.38 × 0.35	32	外傾	皿状	人為	深鉢3		本跡→SK58・SM11	
754	D 4i4	N-75°-W	楕円形	0.58 × 0.40	54	直立	平坦	人為	深鉢2		本跡→SM11	
755	D 4i5	N-20°-E	楕円形	0.38 × 0.32	44	直立	平坦	人為	骨9.0g		本跡→SM11	
756	D 4i5	N-58°-W	[楕円形]	(0.36) × 0.37	48	直立	平坦	人為	骨35.8g		本跡→SK730・SM11	
757	D 4j5	N-70°-W	楕円形	0.36 × 0.32	30	外傾	平坦	人為	深鉢11、骨9.7g		本跡→SM11	
758	D 4j5	-	[円形]	0.24 × (0.14)	49	直立	皿状	人為			本跡→SM11	
772	E 4e5	N-57°-E	不整形	0.80 × 0.64	70	直立	凹凸	人為	深鉢69			
782	F 6i2	N-21°-E	楕円形	0.88 × 0.79	12	外傾	平坦	人為	深鉢2、台付鉢1、壺4	K区	HG 5瓦葺→本跡 →HG 5瓦葺	
783	F 6g1	-	円形	0.77 × 0.76	13	外傾	平坦	人為	深鉢7	K区	HG 5瓦葺→本跡 →HG 5瓦葺	
784	F 6g1	-	[円形]	0.78 × (0.61)	14	外傾	平坦	人為	深鉢4、製塩土器1	K区	HG 5瓦葺→本跡 →HG 5瓦葺	
785	F 6i1	-	円形	0.64 × 0.63	20	外傾	平坦	人為	深鉢10、台付鉢1、製塩土器1	K区	HG 5瓦葺→本跡 →HG 5瓦葺	
786	F 5i7	N-42°-E	楕円形	2.11 × 1.29	15	外傾	平坦	自然	深鉢43、鉢1、小型甕1、打製石 器1	K区	HG 5瓦葺→本跡 →HG 5瓦葺	
787	E 3i6	N-19°-E	楕円形	0.58 × 0.48	36	外傾	平坦	人為				
788	E 3e7	N-80°-W	楕円形	0.82 × 0.72	108	直立	平坦	人為	深鉢22、割片1、骨4.2g	後・晩期	本跡→SK1222	
789	E 3e6	N-5°-W	不整形	1.24 × 0.78	138	直立	凹凸	人為	深鉢19	後期後葉		
790	E 3e0	N-15°-E	[楕円形]	0.56 × (0.43)	43	直立	平坦	人為	深鉢21、土器片円盤1		安行1式	
791	E 3e5	N-4°-W	楕円形	0.68 × 0.58	82	直立	平坦	人為	深鉢13		SK1008→本跡	
792	E 3d7	N-73°-E	不整形	1.92 × 1.58	98	外傾	凹凸	人為	深鉢22、貝殻1、骨16.4g		安行3a式	
793	E 3e8	-	円形	1.13 × 1.13	183	直立	平坦	人為	細網 楕円形1、竹筒1、土器片2、 土器片、陶土器23(貝1、土器片1)、 土器片円盤1、割片1、割片1、割片1、 割片1、33、割片62、土器片4		安行3a式 SK824→本跡	
794	E 3d8	N-48°-E	楕円形	1.12 × 0.92	112	直立	平坦	人為	深鉢62、鉢1、製塩土器6、貝殻 1.481、骨109.0g		安行1式	
795	E 3d8	N-7°-W	楕円形	1.18 × 0.82	78	直立	平坦	人為	深鉢72、浅鉢18、製塩土器3		安行1式 本跡→SK974・1000	
796	E 3e7	N-19°-W	楕円形	0.80 × 0.64	112	直立	平坦	人為	深鉢87、製塩土器2、貝殻157.4 骨110.8g	曾谷式	SK83→本跡	
797	E 3d7	N-42°-E	楕円形	0.82 × 0.74	42	外傾・直	平坦	人為	深鉢10、貝殻423、骨34.3g	後期後葉	本跡→SK840	
798	E 3e6	N-76°-E	楕円形	0.97 × 0.63	41	外傾	皿状	人為	深鉢2		SK799→本跡	
799	E 3e6	N-73°-W	楕円形	1.42 × 1.20	98	直立	平坦	人為	鉢4、製塩土器1、貝殻737、 骨38.9g		本跡→SK738・1014	
800	E 3e6	N-60°-W	楕円形	1.22 × 1.10	53	直立	平坦	人為				
801	E 3e5	-	円形	0.80 × 0.75	80	直・外傾	平坦	人為	深鉢2		安行1式	
802	E 3d8	-	円形	0.42 × 0.40	70	外傾	平坦	人為	深鉢6、製塩土器6、貝殻114、 骨9.6g			
803	E 3i5	N-38°-E	楕円形	1.33 × 1.03	148	直立	平坦	人為	深鉢129、製塩土器3、土器片円 盤2、軽石1、骨8.4g		安行3b式	
804	E 3i5	N-7°-W	楕円形	0.73 × 0.47	89	直・外傾	凹凸	人為	深鉢25、製塩土器3、土器片円 盤1、骨1.0g		安行2式	
805	E 3i5	N-65°-W	楕円形	0.84 × 0.60	106	直立	凹凸	人為	深鉢55		安行1式 本跡→SK1009	
806	E 3i9	N-59°-W	楕円形	0.47 × 0.41	40	直立	平坦	人為	深鉢3			
807	E 3e6	N-57°-E	楕円形	0.70 × 0.66	22	直立	平坦	人為	深鉢1			
808	E 3i8	N-43°-E	楕円形	0.80 × 0.63	107	直立	凹凸	人為	深鉢61、製塩土器2、土器片円 盤3、貝殻47、骨29.4g			
809	E 3i8	-	円形	0.62 × 0.62	114	直立	平坦	人為	深鉢10		SK867→本跡	
810	E 3e8	N-49°-E	楕円形	0.80 × 0.62	64	直立	平坦	人為	深鉢24、鉢1、製塩土器1、 骨7.2g	後期後葉	本跡→SK809・855	
811	E 3i5	N-80°-W	不整形楕円形	1.00 × 0.54	76	直立	凹凸	人為				
812	E 3d5	N-59°-W	円形・楕円形	(0.67) × 0.62	39	直・外傾	凹凸	人為	深鉢8		SK867→本跡 →SK1010	
813	E 3e8	N-33°-E	楕円形	0.42 × 0.38	36	直立	平坦	人為			SK855→本跡 →SK796	

番号	位置	長径(幅)×短径(幅) (m)	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(幅)×短径(幅) (cm)	深 5 (cm)						
814	E 3f6	-	円形	0.71 × 0.66	81	直立	平皿	人為	深鉢12、貝殻1076、骨87.8 g	安行3 a式	
815	E 3f6	N-52°-W	楕円形	0.73 × 0.47	50	直立	凹凸	人為	深鉢85、製塩土器12、土器片円盤1、貝殻125粒、骨255.4 g	安行3 a式	SK1152→本跡
816	E 3f6	-	円形	0.90 × 0.84	137	直立	平皿	人為	深鉢35、骨1、製塩土器41、土器片円盤3、石楯土1、骨楯1、貝殻806、骨1451 g	安行1式	SK875→本跡
817	E 3f6	-	円形	0.60 × 0.60	37	直立	凹凸	人為	深鉢27、製塩土器3、骨7.0 g	安行2式	SK832-1051→本跡
818	E 3e6	-	円形	0.53 × 0.53	43	直立	皿状	人為	深鉢88、製塩土器21	安行3 b式	
819	E 3d6	N-66°-W	楕円形	0.72 × 0.60	33	外傾	凹凸	人為	深鉢2		
820	E 3f6	N-63°-E	楕円形	0.58 × 0.48	34	直立	平皿	人為	深鉢1、貝殻68、骨26.7 g	安行1式	
821	E 3e7	N-64°-E	円形・楕円形	0.76 × (0.53)	113	直立	平皿	人為	骨248 g		本跡→SK822
822	E 3d7	N-65°-E	楕円形	0.99 × 0.83	158	直立	平皿	人為	深鉢47、耳飾り1、貝殻303、骨16.5 g		SK821→本跡
823	E 3d8	N-34°-E	楕円形	0.82 × 0.67	62	外傾・直立	凹凸	人為	深鉢10	後期後葉	SK881→本跡
824	E 3e8	N-5°-E	[楕円形]	0.75 × (0.36)	50	直立	平皿	人為	深鉢56、浅鉢2、製塩土器4、骨12.4 g	安行3 a式	本跡→SK793
825	E 3d8	-	円形	0.45 × 0.45	14	外傾・直立	平皿	人為			
826	E 3e8	-	円形	0.50 × 0.50	36	直立・外傾	凹凸	人為	深鉢2		SK827→本跡
827	E 3e8	N-52°-W	楕円形	0.46 × 0.40	33	外傾	平皿	人為			本跡→SK826
828	E 3e8	-	円形	0.32 × 0.32	12	外傾	平皿	人為			
829	E 3d8	-	円形	0.40 × 0.38	24	外傾	皿状	人為	深鉢2		
830	E 3d8	-	円形	0.60 × 0.60	20	外傾	皿状	人為			
831	E 3d7	N-31°-W	楕円形	0.62 × 0.50	18	外傾	平皿	人為			
832	E 3e6	N-40°-W	円形・楕円形	0.53 × (0.25)	58	直立	凹凸	人為	深鉢5、骨19.0 g	安行1式	SK101→本跡→SK817
833	E 3f6	N-32°-W	楕円形	0.68 × 0.58	116	直立	平皿	人為	深鉢15	後期後葉	
834	E 3d7	-	円形	0.60 × 0.58	86	直立	平皿	人為	深鉢2		
835	E 3d7	N-63°-W	円形・楕円形	0.36 × (0.25)	24	外傾	平皿	人為	深鉢3、骨7.0 g	安行2式	本跡→SK836
836	E 3d7	N-52°-W	楕円形	0.41 × 0.34	22	外傾	平皿	人為	深鉢8、貝殻152、骨25.7 g		SK835→本跡
837	E 3d7	-	円形	0.32 × 0.30	18	外傾	皿状	人為			
838	E 3d7	N-29°-W	楕円形	0.60 × 0.46	34	直立	平皿	人為	深鉢24、製塩土器1、貝殻754、骨26.2 g	晩期前葉	
839	E 3e9	-	円形	0.32 × 0.32	18	直立	平皿	人為	深鉢5	晩期前葉	
840	E 3e7	N-22°-E	[楕円形]	0.66 × 0.58	66	直立	平皿	人為	深鉢14、骨48.1 g	後期後葉	SK797→本跡→SK808-1044
841	E 3d7	N-52°-W	楕円形	0.64 × 0.52	36	外傾	皿状	人為	深鉢4		SK851→本跡
842	E 3e8	-	円形	0.32 × 0.32	24	直立	皿状	人為	深鉢4、骨5.2 g		
843	E 3d8	N-66°-E	楕円形	0.42 × 0.32	30	直立	平皿	人為	深鉢1		
844	E 3d6	-	円形	0.62 × 0.58	30	直立・外傾	凹凸	人為	深鉢2、骨1.6 g		
845	E 3d6	-	円形	0.58 × 0.56	34	直立	凹凸	人為			
846	E 3d6	-	円形	0.49 × 0.49	22	直立	平皿	人為	深鉢11、土器片円盤1	安行2-3 a式	SK847→本跡
847	E 3d6	N-78°-W	楕円形	0.48 × 0.33	47	直立	皿状	人為			SK848→本跡→SK846
848	E 3d6	-	円形	0.52 × 0.52	63	直立	皿状	人為	深鉢4	後期	SK100→本跡→SK847
849	E 3d9	-	円形	0.46 × 0.43	30	直立・外傾	皿状	人為			
850	E 3e9	N-40°-W	楕円形	0.38 × 0.34	20	直立	平皿	人為	深鉢6、骨5.1 g	安行2-3 a式	
851	E 3e7	N-23°-E	楕円形	1.72 × 1.24	40	外傾	平皿	人為	深鉢10		SK879→本跡→SK841
852	E 3e9	N-48°-W	[楕円形]	(0.28) × (0.25)	39	直立	平皿	人為			本跡→SK859
853	E 3e6	N-47°-W	[楕円形]	0.56 × (0.37)	41	直立	平皿	人為	深鉢5	安行2-3 a式	SK1047→本跡→SK854
854	E 3e6	-	円形	0.57 × 0.57	80	直立	皿状	人為	深鉢6		SK863→本跡
855	E 3e8	N-2°-W	楕円形	0.31 × 0.27	34	直立	平皿	人為			SK810→本跡→SK813
856	E 3e9	N-51°-E	楕円形	0.53 × 0.43	20	直立・外傾	凹凸	人為	深鉢7		
857	E 3e9	N-20°-W	楕円形	0.33 × 0.29	11	外傾	皿状	人為	深鉢2		
858	E 3e6	-	円形	0.44 × 0.41	27	直立	平皿	人為			
859	E 3e9	N-35°-E	円形・楕円形	(0.40) × (0.25)	55	直立	皿状	人為	深鉢14	後期後葉	SK852→本跡

番号	位置	方位(偏)方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(偏)×短径(偏)	深さ (m)						
860	E 3d6	N-21°-E	楕円形	0.45 × 0.38	21	直立	平坦	人為			
861	E 3d5	N-30°-E	楕円形	0.73 × 0.65	46	直立	凹凸	人為			
862	E 3d5	N-68°-W	楕円形	0.50 × 0.45	77	直立	平坦	人為			
863	E 3d5	N-32°-W	楕円形	0.64 × 0.55	61	直立	平坦	人為	深鉢33	後・晩期	SK964→本跡 →SK925
864	E 3d5	N-67°-E	円形・楕円形	0.80 × (0.78)	83	直立	平坦	人為	深鉢27、製塩土器1、土器片四點1	安行3 a式	本跡→SK983・967・ 1010・1011
865	E 4d1	N-46°-W	楕円形	0.40 × 0.35	51	直立	皿状	人為	深鉢2		SK944→本跡
866	E 3d6	N-80°-W	楕円形	0.84 × 0.57	57	直立・外傾	凹凸	人為			
867	E 3d5	N-61°-E	[楕円形]	0.60 × (0.54)	83	直立	平坦	人為	深鉢12		SK964→本跡 →SK912
868	E 3c5	N-34°-W	[楕円形]	0.52 × (0.42)	36	直立	平坦	人為			本跡→S11008
869	E 3c6	N-5°-E	楕円形	0.50 × 0.38	96	直立	平坦	人為			
870	E 3c8	N-64°-E	楕円形	0.76 × 0.62	118	直立	平坦	人為	深鉢9	後期後半	
871	E 3c7	-	円形	0.30 × 0.30	30	直立	平坦	人為	深鉢4、貝殻2522、骨264g		本跡→SK972
872	E 3c7	N-63°-E	楕円形	0.45 × 0.39	62	直立	平坦	人為	深鉢4、製塩土器1		SK971→本跡
873	E 3d5	-	円形	0.74 × 0.74	75	直立	平坦	人為	深鉢57、製塩土器14、土器片四點2	安行3 a式	
875	E 3d6	N-77°-W	[楕円形]	0.56 × (0.40)	27	直立	平坦	人為			本跡→SK936
877	E 3c7	-	[円形]	0.43 × (0.40)	48	直立・外傾	平坦	人為	深鉢1、骨30g		本跡→SK978・1204
878	E 3c7	N-30°-W	楕円形	0.62 × 0.55	44	直立・外傾	凹凸	人為	深鉢10、貝殻46、骨284g	後期後半	SK977→本跡
879	E 3c7	N-16°-E	[楕円形]	(1.68) × 1.28	28	外傾	平坦	人為	深鉢3、銅片1		本跡→SK951
880	E 3c6	N-23°-E	楕円形	0.64 × 0.32	58	直立	平坦	人為	深鉢10		
881	E 3d8	N-62°-E	楕円形	0.43 × 0.36	14	外傾	皿状	人為			本跡→SK923
882	E 3d8	-	円形	0.38 × 0.35	32	外傾	平坦	人為			
883	E 3d8	N-7°-E	楕円形	0.98 × 0.71	60	直立	平坦	人為	深鉢18		
884	E 3d6	-	円形	0.76 × 0.72	136	直立	平坦	人為			
885	E 3c6	-	円形	0.40 × 0.40	24	外傾・直立	皿状	人為			本跡→SK986
886	E 3c6	N-20°-E	楕円形	0.44 × 0.32	80	直立	平坦	人為			SK985→本跡
887	E 3d6	N-11°-E	楕円形	0.38 × 0.36	16	外傾	皿状	人為			
888	E 3d7	N-77°-W	楕円形	0.56 × 0.50	34	直立	平坦	人為	深鉢2、骨55g		
889	E 3d9	-	円形	0.56 × 0.53	84	直立	凹凸	人為	深鉢8、磨石1		SK980→本跡
890	E 3d9	N-49°-E	楕円形	0.48 × 0.37	18	直立・外傾	平坦	人為	深鉢11	後期後半	本跡→SK989
891	E 3c8	N-43°-W	楕円形	0.80 × 0.56	110	直立	平坦	人為	骨805g	安行1式	
892	E 3d8	N-28°-W	楕円形	0.48 × 0.40	32	外傾	平坦	人為	深鉢1、骨1.0g		
893	E 3d8	-	円形	0.36 × 0.36	16	外傾	皿状	人為	骨0.1g		
894	E 3c7	N-88°-E	楕円形	0.86 × 0.75	94	直立	平坦	人為	深鉢123、骨265.8g	調整期3-9期	SK1050→本跡
895	E 3d8	N-30°-E	楕円形	0.69 × 0.52	90	直立・外傾	平坦	人為	深鉢21、骨9.2g	後期	SK996・1027→本跡
896	E 3d8	N-16°-E	[楕円形]	(0.67) × 0.62	80	直立	平坦	人為	深鉢92、鉢1、骨6.9g	安行1式	本跡→SK985・1027
898	E 3c7	N-15°-W	楕円形	0.96 × 0.46	42	外傾	平坦	人為	深鉢12、貝殻1,732、骨607g		SK940→本跡 →SK1044
899	E 3c8	N-19°-E	[楕円形]	0.52 × (0.44)	60	直立	平坦	人為	深鉢12、骨37.6g	後期後半	本跡→SK1002
900	E 3c7	N-17°-E	楕円形	1.62 × 1.50	27	外傾	平坦	人為	深鉢105、製塩土器11、貝殻116、 骨12.3g	安行3 a式	本跡→SK994
901	E 3d9	-	円形	0.52 × 0.32	33	直立	皿状	人為	深鉢4、製塩土器1	安行1式	
902	E 3d9	N-68°-W	楕円形	0.29 × 0.26	20	直立	皿状	人為			
903	E 3d9	N-7°-E	楕円形	0.26 × 0.22	30	直立	皿状	人為			SK1056→本跡
904	E 3d9	N-10°-E	楕円形	0.32 × 0.29	27	直立	平坦	人為			
905	E 3c9	N-30°-W	[楕円形]	0.76 × (0.30)	20	外傾	平坦	人為			本跡→SK906
906	E 3c9	N-36°-W	[楕円形]	0.71 × (0.53)	70	直立・外傾	凹凸	人為	深鉢52、土偶1	後・晩期	SK905・907→本跡
907	E 3c9	N-50°-W	[楕円形]	0.60 × (0.44)	58	直立	凹凸	人為			本跡→SK906
908	E 3c9	N-56°-E	楕円形	0.59 × 0.44	20	外傾	平坦	人為	深鉢5	晩期	

番号	位置	長径(幅)方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(幅)×短径(幅) (m)	深さ (cm)						
909	E 3e9	N-37°-E	楕円形	0.82 × 0.66	28	直立	凹凸	人為	深鉢37、製土器2	安行3b式	
910	E 3d9	N-10°-W	不整形円形	1.10 × 0.87	73	直立・外傾	凹凸	人為	深鉢121、製土器1	安行3b式	SK911→本跡
911	E 3d9	N-43°-E	圆形・扇形	0.82 × (0.46)	27	直立・外傾	平坦	人為	深鉢13	後期後葉	本跡→SK910・912
912	E 3d9	N-51°-E	楕円形	0.58 × 0.41	26	直立	平坦	人為	深鉢10、鉢1、製土器3、銅片1	安行3a式	SK911→本跡
913	E 3d9	N-21°-W	楕円形	0.41 × 0.37	30	直立・外傾	皿状	人為	深鉢1、製土器1		
914	E 3d9	-	円形	0.44 × 0.44	60	直立	平坦	人為	深鉢20		
915	E 3d9	N-14°-E	楕円形	0.90 × 0.76	176	直立・外傾	凹凸	人為	深鉢28	後期後葉	
916	E 3d9	-	円形	0.53 × 0.49	23	直立・外傾	平坦	人為	深鉢5		
917	E 3d5	-	円形	0.73 × 0.70	44	直立・外傾	平坦	人為	深鉢9、鉢1、浅鉢3、製土器2		SK873→本跡
918	E 3e5	N-68°-W	楕円形	0.60 × 0.46	100	直立	平坦	人為	深鉢13	安行1式	
919	E 3d5	N-75°-W	圆形・扇形	(0.40) × (0.31)	65	直立	平坦	人為			本跡→SK920・1012・1013
920	E 3d5	N-14°-W	楕円形	0.59 × 0.69	76	直立	平坦	人為	深鉢5	安行1式	本跡→SK919・1012・1013→本跡
921	E 3e5	-	円形	1.14 × 1.14	96	直立	平坦	人為	深鉢14、製土器1、骨131.3g		本跡→SK922
922	E 3e5	-	円形	0.46 × 0.42	18	外傾	皿状	人為			SK921→本跡
923	E 3e5	N-42°-W	楕円形	0.58 × 0.40	24	外傾	平坦	人為	製土器1		SK1024→本跡
924	E 3d5	N-27°-W	楕円形	0.89 × (0.64)	88	直立・外傾	凹凸	人為	深鉢9		本跡→SK925・921
925	E 3d5	N-71°-E	楕円形	0.82 × 0.61	88	外傾	凹凸	人為	深鉢11、注口土器1	後期	SK863・924→本跡
926	E 3d5	-	円形	0.48 × 0.48	16	外傾	皿状	人為			SK1010→本跡
927	E 3d5	N-19°-W	楕円形	0.61 × 0.53	44	直立	平坦	人為	深鉢3		
928	E 3d6	-	円形	0.63 × 0.60	122	直立	平坦	人為	深鉢23、銅片7	後期後葉	
929	E 3d6	N-74°-E	[楕円形]	0.47 × (0.42)	53	直立	平坦	人為	深鉢4、銅片1		本跡→SK998
930	E 3d5	-	円形	0.38 × 0.36	30	直立・外傾	平坦	人為			
931	E 3d0	N-45°-W	楕円形	0.56 × 0.48	25	外傾	平坦	人為	深鉢11	安行1式	
932	E 4d1	-	円形	0.36 × 0.36	43	直立	皿状	人為	深鉢5		
933	E 3d0	N-48°-E	楕円形	0.29 × 0.26	17	直立	平坦	人為	深鉢2		
934	E 3d0	-	円形	0.32 × 0.32	10	外傾	平坦	人為	深鉢1		
935	E 3e0	-	円形	0.55 × 0.55	138	直立	平坦	人為	深鉢5		
936	E 3e0	-	円形	0.43 × 0.43	30	直立	平坦	人為	深鉢7	晩期前葉	
937	E 3e0	N-34°-W	楕円形	0.63 × 0.57	134	直立	平坦	人為	深鉢17	後期後葉	SK938→本跡
938	E 3e0	N-20°-E	圆形・扇形	0.44 × (0.40)	35	直立	皿状	人為	深鉢3	後期	本跡→SK937
939	E 3e0	N-15°-E	[楕円形]	0.70 × (0.36)	27	直立	平坦	人為	深鉢15	後期後葉	本跡→SK940
940	E 3e0	-	円形	0.48 × 0.44	33	直立	平坦	人為	深鉢3、磨石1		SK939→本跡
941	E 3e0	N-65°-W	楕円形	0.63 × 0.55	122	直立	皿状	人為	深鉢26	後期後葉	SK991→本跡
942	E 3e0	N-34°-W	楕円形	0.85 × 0.73	35	外傾	平坦	人為	深鉢26	安行1式	
943	E 3d0	-	円形	0.44 × 0.41	52	直立	平坦	人為	安行2式		SK991→本跡
944	E 4f1	N-66°-W	[楕円形]	(1.17) × 0.62	26	直立	凹凸	人為	深鉢18	後期	本跡→SK965・945
945	E 4f1	N-14°-W	不整形	0.64 × 0.45	40	直立	平坦	人為	深鉢5	安行3b式	SK944→本跡
946	E 3d0	N-52°-W	楕円形	0.52 × 0.45	11	外傾	平坦	人為	深鉢1		SK947→本跡
947	E 3d0	N-52°-W	[楕円形]	(0.46) × 0.38	10	外傾	平坦	人為	深鉢2		本跡→SK946
948	E 4f1	N-51°-W	楕円形	0.66 × 0.58	132	直立	平坦	人為	深鉢22		
949	E 4f1	-	円形	0.51 × 0.51	39	直立	平坦	人為	深鉢4		
950	E 4f1	N-55°-W	楕円形	0.81 × 0.60	90	直立	凹凸	人為	深鉢11	後期後葉	
951	E 3d9	N-23°-E	楕円形	0.47 × 0.41	17	外傾	平坦	人為	深鉢4、製土器2		
952	E 3d9	N-29°-W	楕円形	0.41 × 0.36	20	直立	平坦	人為	深鉢4		
953	E 3d9	-	円形	0.50 × 0.50	75	直立	平坦	人為	深鉢20	後期中葉	
954	E 3d9	N-5°-W	楕円形	0.57 × 0.48	33	直立	平坦	人為	深鉢12	後期後葉	

番号	位置	長径(幅)方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(幅) × 短径(幅) (m)	深 5 (cm)						
955	E 3 d9	-	円形	0.47 × 0.47	41	直立・外傾	平皿	人丸	深鉢5		後期後葉
956	E 3 d9	-	円形	0.40 × 0.38	21	直立	平皿	人丸			
958	E 3 d9	N-7'-W	楕円形	0.59 × 0.52	31	直立	平皿	人丸	深鉢29, 製塩土器1		
959	E 3 d9	N-35'-W	楕円形	0.53 × 0.46	65	直立	平皿	人丸	深鉢24, 土器片円盤1	安行2-3 a式	
960	E 4 f2	N-6'-W	楕円形	0.53 × 0.46	133	直立	平皿	人丸	深鉢23, 土器片円盤2		後期後葉
961	E 4 f1	N-14'-W	楕円形	0.59 × 0.45	20	直立	平皿	人丸			
962	E 4 e1	N-73'-E	楕円形	0.56 × 0.48	49	直立	平皿	人丸	深鉢1		
963	E 4 e1	N-56'-W	楕円形	0.55 × 0.47	42	直立	屈状	人丸	深鉢3		晩期前葉
964	E 4 e1	N-39'-W	楕円形	0.43 × 0.39	53	直立	平皿	人丸	深鉢14, 銅片1		後期後葉
965	E 4 e1	N-6'-E	楕円形	0.45 × 0.36	52	直立	平皿	人丸	深鉢5		
966	E 4 e1	-	円形	0.61 × 0.61	121	直立	屈状	人丸	深鉢16		後期後葉
967	E 4 e1	N-36'-E	楕円形	0.57 × 0.50	131	直立	平皿	人丸	深鉢6		
968	E 3 f9	N-17'-W	楕円形	0.51 × 0.46	64	直立	平皿	人丸	深鉢5, 土器片円盤1		
969	E 4 f2	-	円形	0.58 × 0.58	142	直立	平皿	人丸	深鉢27		安行3 b式
970	E 4 f2	N-8'-W	楕円形	0.67 × 0.59	135	直立	平皿	人丸			
971	E 4 f3	N-16'-W	楕円形	0.57 × 0.51	88	直立	平皿	人丸	深鉢3		
972	E 4 e1	N-21'-E	楕円形	0.43 × 0.39	53	直立	平皿	人丸	深鉢5		後期後葉
973	E 4 f1	N-41'-E	楕円形	0.50 × 0.45	63	直立	平皿	人丸	深鉢8		
974	E 3 d8	N-34'-E	楕円形	0.96 × 0.75	148	直立	凹凸	人丸	深鉢73, 銅片1, 石核1, 骨25.2 g		後期後葉 SK796→本跡
975	E 3 d9	N-7'-W	楕円形	0.53 × 0.48	73	直立	平皿	人丸	深鉢5		
976	E 3 c6	N-38'-W	楕円形	0.92 × 0.70	38	外傾	屈状	人丸			本跡→SK977・984
977	E 3 c6	N-10'-E	楕円形	0.76 × 0.66	30	外傾	凹凸	人丸	深鉢8, 製塩土器1		SK976→本跡
978	E 3 d8	N-78'-W	楕円形	0.86 × 0.64	52	直立・外傾	凹凸	人丸			
979	E 3 b6	-	円形	0.34 × 0.32	18	外傾	屈状	人丸			
980	E 3 b6	-	円形	0.36 × 0.34	32	直立	屈状	人丸			
981	E 3 c6	N-52'-E	楕円形	0.54 × 0.46	34	直立	凹凸	人丸			
982	E 3 c6	N-17'-E	楕円形	0.52 × 0.44	28	外傾	屈状	人丸	深鉢6		
983	E 3 c6	N-38'-E	楕円形	0.44 × 0.32	24	直立	平皿	人丸			
984	E 3 c6	N-72'-E	楕円形	0.52 × 0.40	38	外傾	平皿	人丸	深鉢4		SK976→本跡
985	E 3 c6	N-62'-W	楕円形	0.98 × 0.74	118	外傾	平皿	人丸	深鉢72, 製塩土器3, 銅片1, 骨27.1 g		安行2式
986	E 3 c6	-	円形	0.42 × 0.40	42	外傾	平皿	人丸			
987	E 3 c6	N-23'-W	楕円形	0.50 × 0.44	26	直立	平皿	人丸			SK988→本跡
988	E 3 c6	-	円形	0.38 × 0.36	18	直立	平皿	人丸			本跡→SK987
989	E 3 c6	-	円形	0.38 × 0.38	20	直立	平皿	人丸			
990	E 3 c6	N-73'-W	楕円形	0.44 × 0.32	42	直立	平皿	人丸	深鉢11, 骨14.2 g		後期後葉 SK992→本跡
991	E 3 e0	N-40'-E	[楕円形]	0.44 × (0.16)	40	直立	平皿	人丸			本跡→SK941・943
992	E 3 c6	N-7'-W	楕円形	0.56 × 0.48	20	外傾	屈状	人丸			本跡→SK990
993	E 3 c7	N-29'-E	楕円形	0.93 × 0.72	17	外傾	平皿	人丸	深鉢6, 貝殻244, 骨19.0 g		
994	E 3 c7	-	円形	0.35 × 0.32	18	外傾	平皿	人丸	深鉢11, 貝殻318, 骨15.5 g		SK900→本跡
995	E 3 c7	-	円形	0.34 × 0.34	33	直立	平皿	人丸	深鉢2		本跡→SK996
996	E 3 c7	N-33'-E	楕円形	0.38 × 0.27	40	直立	屈状	人丸	深鉢2, 製塩土器1, 骨7.1 g		SK995→本跡
997	E 3 d6	N-19'-E	楕円形	0.52 × 0.46	57	直立	平皿	人丸	深鉢6, 製塩土器5, 貝殻438, 骨15.0 g		
998	E 3 d5	N-74'-E	楕円形	0.72 × 0.53	63	直立	平皿	人丸	深鉢2, 製塩土器1, 貝殻13		SK929→本跡
999	E 3 d6	-	円形	0.56 × 0.52	21	直立	平皿	人丸	深鉢11, 製塩土器6, 土器片円盤1, 貝殻125, 骨7.5 g		安行2-3 a式
1000	E 3 d8	N-4'-W	楕円形	0.76 × 0.60	42	直立・外傾	平皿	人丸			SK796→本跡
1001	E 3 e8	N-81'-E	楕円形	0.55 × 0.46	88	直立	平皿	人丸	深鉢28, 製塩土器1, 骨42.0 g		後期後葉 本跡→SK1002



番号	位置	長径(幅)方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(幅)×短径(幅) (m)	深さ (cm)						
1002	E 3e8	N-19°-E	楕円形	0.77 × 0.66	88	直立	平坦	人為	深鉢28, 台付鉢1, 骨8.1 g	後期後葉	SK1001 → 本跡 → SK899
1003	E 3e6	N-76°-E	楕円形	0.56 × 0.42	22	直立	平坦	人為			本跡 → SK848
1005	E 3f8	-	円形	0.79 × 0.72	70	直立	平坦	人為	深鉢1		
1006	E 3f9	-	円形	0.43 × 0.40	60	直立	平坦	人為	深鉢28	安行3b式	
1007	E 3f9	N-55°-E	楕円形	0.71 × 0.39	71	直立	凹凸	人為	深鉢10, 台付鉢1, 製塩土器2, 土器片割盤2		
1008	E 3c5	N-13°-W	楕円形	0.58 × 0.46	112	直立	平坦	人為			SK868 → 本跡 → SK791
1009	E 3f5	N-40°-W	楕円形	0.63 × 0.54	98	直立	平坦	人為			SK905 → 本跡
1010	E 3d5	N-23°-E	円形・楕円形	(0.65) × 0.57	73	直立	平坦	人為	深鉢6		SK812・864 → 本跡 → SK905・1011
1011	E 3d5	N-17°-W	楕円形	0.47 × 0.32	33	外傾	平坦	人為	深鉢12, 製塩土器2	安行3a式	SK864・1010 → 本跡
1012	E 3d5	N-67°-E	[不整形]	1.20 × (1.10)	24	外傾	皿状	人為			SK919 → 本跡 → SK920・1013
1013	E 3d5	N-29°-W	[楕円形]	0.70 × (0.56)	61	なし	平坦	人為	深鉢6		SK919・1012 → 本跡 → SK920
1014	E 3e6	-	円形	0.54 × 0.52	38	直立	凹凸	人為	深鉢4		SK799 → 本跡
1015	E 3c5	-	円形	0.26 × 0.26	6	直立	皿状	人為	深鉢7		
1016	E 3f9	N-49°-E	楕円形	0.66 × 0.52	25	直立	平坦	人為	深鉢9		SK1070 → 本跡
1017	E 3e0	N-18°-W	楕円形	0.43 × 0.38	127	直立	平坦	人為	深鉢13, 銅片1		
1018	E 4f1	N-38°-W	楕円形	0.81 × 0.64	162	直立	平坦	人為	深鉢10, 土器片割盤1		
1019	E 3e0	N-20°-W	楕円形	0.41 × 0.33	38	直立・外傾	平坦	人為	深鉢3		
1020	E 3e0	N-20°-E	楕円形	0.50 × 0.42	85	直立	平坦	人為	深鉢5		
1021	E 4e1	N-64°-W	楕円形	0.35 × 0.31	61	直立	皿状	人為	深鉢2		
1022	E 3e0	-	円形	0.32 × 0.32	19	直立・外傾	平坦	人為	深鉢4		
1023	E 4f3	-	円形	0.49 × 0.49	87	直立	平坦	人為	深鉢5		
1024	E 3c5	N-59°-E	[楕円形]	0.18 × (0.14)	22	外傾	皿状	人為			本跡 → SK923
1025	E 4e1	-	円形	0.38 × 0.38	29	直立	平坦	人為	深鉢3		
1026	E 3d9	N-27°-W	楕円形	0.58 × 0.42	68	直立	平坦	人為	深鉢7		
1027	E 3d8	N-39°-W	楕円形	0.75 × 0.62	98	直立	凹凸	人為	深鉢10, 銅片1, 骨28 g		SK996 → 本跡 → SK985
1028	E 3e5	-	円形	0.48 × 0.46	22	直立・外傾	皿状	人為			
1029	E 3e8	-	円形	0.46 × 0.43	60	直立	平坦	人為	深鉢10	晩期	
1030	E 3e8	-	円形	0.50 × 0.48	62	直立	平坦	人為	深鉢11, 貝殻5, 骨3.5 g		
1031	E 4f3	N-46°-E	楕円形	0.67 × 0.50	63	直立	平坦	人為	深鉢9	晩期	
1032	E 3e7	N-33°-E	楕円形	0.86 × 0.68	22	外傾	皿状	人為	深鉢1		
1035	E 3f9	-	円形	0.42 × 0.38	17	外傾	皿状	人為	深鉢1, 貝殻11, 骨5.9 g		称名寺1式
1039	E 3f9	N-54°-W	楕円形	0.70 × 0.54	20	外傾	平坦	人為	深鉢8	安行2式	
1040	E 4d1	N-31°-E	楕円形	0.97 × 0.57	140	直立	平坦	人為	深鉢41, 注口土器1		
1041	E 3d6	-	円形	0.48 × 0.45	40	直立	皿状	人為	深鉢5		
1042	E 3c5	-	円形	0.78 × 0.73	27	直立	平坦	人為	深鉢1		
1043	E 3e5	N-65°-E	楕円形	0.85 × 0.76	77	直立・外傾	平坦	人為	深鉢1		
1044	E 3e7	N-12°-E	楕円形	0.64 × 0.57	90	直立・外傾	皿状	人為	深鉢2		SK840・898 → 本跡
1045	E 3f9	N-61°-E	楕円形	0.76 × 0.50	30	直立	皿状	人為			
1046	E 3e6	-	円形	0.60 × 0.58	35	直立・外傾	皿状	人為	深鉢14		
1047	E 3e6	N-18°-E	円形・楕円形	0.63 × (0.50)	39	直立	平坦	人為	深鉢1		本跡 → SK853
1048	E 3e6	-	円形	0.46 × 0.42	35	直立	平坦	人為	深鉢4, 骨7.7 g		
1049	E 3e6	-	円形	0.28 × 0.26	10	外傾	平坦	人為	深鉢3, 貝殻18, 骨3.6 g		
1050	E 3e7	N-61°-E	[楕円形]	(1.25) × 1.02	98	外傾・直立	皿状	人為	深鉢1		本跡 → SK894
1051	E 3e6	N-29°-E	楕円形	0.85 × 0.76	35	外傾	凹凸	人為	深鉢1, 貝殻2	称名寺Ⅱ式	本跡 → SK817・832
1052	E 3d7	N-29°-E	楕円形	0.29 × 0.27	24	外傾	皿状	人為	深鉢4, 貝207, 骨8.8 g		
1053	E 3c7	N-19°-E	楕円形	0.86 × 0.70	40	直立・外傾	平坦	人為	深鉢8, 貝殻3		

番号	位置	方位(輪)方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(輪)×短径(輪) (m)	深さ (cm)						
1054	E 3c7	N-30°-W	楕円形	0.43 × 0.39	12	外傾	平坦	人為	深鉢3		
1055	E 3c7	N-56°-W	楕円形	0.46 × 0.39	12	外傾	平坦	人為	貝殻9		
1056	E 3d9	-	円形	0.22 × 0.22	27	直立	平坦	人為			本跡→SK303
1057	E 3d5	-	円形	0.58 × 0.56	62	直立	平坦	人為			
1058	E 3e5	N-31°-E	楕円形	0.45 × 0.38	76	直立	平坦	人為	深鉢3		
1059	E 3e5	N-68°-W	楕円形	0.73 × 0.52	18	外傾	平坦	人為	深鉢1		
1060	E 3c8	-	円形	0.40 × 0.38	26	直立	凹凸	人為			
1061	E 3c8	N-38°-W	楕円形	0.33 × 0.26	21	直立	平坦	人為			
1062	E 3c8	N-14°-E	楕円形	0.47 × 0.40	18	直・外傾	皿状	人為	深鉢6		
1063	E 3c8	N-3°-E	楕円形	0.55 × 0.45	22	外傾	平坦	人為			
1064	E 3c8	N-5°-E	楕円形	0.50 × 0.33	42	直立	皿状	人為			
1065	E 3c8	-	円形	0.35 × 0.34	34	直立	平坦	人為	深鉢3、骨39g		
1066	E 3c8	-	円形	0.73 × 0.70	116	直立	平坦	人為	深鉢40、骨334g		後期後葉
1067	E 3c8	N-55°-W	楕円形	0.52 × 0.43	42	直立	凹凸	人為	深鉢13		
1068	E 314	N-48°-W	楕円形	0.70 × 0.64	83	直立	凹凸	人為	深鉢15		後期後葉
1069	E 3c8	N-28°-E	[楕円形]	(0.58) × 0.52	64	直立	平坦	人為	深鉢45、製塩土器1、45.3g	曾谷式	本跡→SK109-108
1070	E 3d9	-	円形	0.44 × 0.42	50	直立	平坦	人為	深鉢31、銅片2	晩期	本跡→SK1016
1071	E 3c8	N-72°-W	円形・楕円形	0.54 × (0.54)	28	直・直	平坦	人為	深鉢1		本跡→SK1072
1072	E 3c8	N-80°-E	楕円形	0.61 × 0.52	58	直立	平坦	人為	深鉢5		SK1071→本跡
1073	E 3g8	-	円形	0.56 × 0.56	27	外傾	平坦	人為	深鉢4、製塩土器1		
1074	E 3f8	N-23°-E	不整形	0.98 × 0.73	35	直立	凹凸	人為	深鉢11、銅片1		
1075	E 3f8	N-23°-W	円形・楕円形	0.52 × (0.28)	12	直立	平坦	人為	深鉢55	曾谷2-3a式	SK1144→本跡 →SK1076
1076	E 3f8	N-30°-E	楕円形	0.83 × 0.45	70	直立	凹凸	人為	深鉢49、骨120g	安行1式	SK1075→本跡
1077	E 3f8	N-46°-E	円形・楕円形	(0.73) × 0.73	50	外傾	凹凸	人為	深鉢23、石核1		本跡→SK1078
1078	E 3f8	N-18°-E	楕円形	0.92 × 0.76	30	直立	皿状	人為	深鉢18、製塩土器1、骨102g		SK1077-101→本跡
1079	E 3f8	N-18°-W	楕円形	0.48 × 0.37	43	直立	凹凸	人為			
1080	E 3f7	N-75°-W	楕円形	0.52 × 0.43	105	直立	平坦	人為	深鉢13		SK1081→本跡
1081	E 3f7	N-18°-W	楕円形	1.09 × 0.69	102	外傾	平坦	人為	深鉢41、貝殻9、骨117.3g	曾谷式	本跡→SK1080
1082	E 3f8	N-57°-W	楕円形	0.76 × 0.66	43	直立	凹凸	人為	深鉢12		加藤利B2式
1083	E 3g8	N-73°-W	楕円形	0.45 × 0.40	27	直立	平坦	人為			
1084	E 3f6	N-11°-W	楕円形	0.60 × 0.52	70	直・外傾	平坦	人為	深鉢9		後期後葉
1085	E 3g7	-	円形	0.47 × 0.43	47	直立	平坦	人為	深鉢4、骨22g		曾谷式
1091	E 3f7	-	円形	0.41 × 0.38	30	直立	平坦	人為	深鉢6、骨27g		
1092	E 3g8	N-62°-W	楕円形	0.62 × 0.51	33	外傾	凹凸	人為	深鉢8、浅鉢1	安行3b式	SK1098→本跡
1093	E 3g8	-	円形	0.60 × 0.60	27	直立	平坦	人為	深鉢11		安行1式
1096	E 4f4	N-12°-W	楕円形	0.73 × 0.60	96	直立	凹凸	人為	深鉢24、鉢1、製塩土器1、銅片1	安行3c式	
1098	E 3g8	N-68°-W	円形・楕円形	0.43 × (0.30)	13	直立	凹凸	人為	深鉢11、浅鉢1	安行3a式	本跡→SK1092
1099	E 3g8	N-21°-W	楕円形	0.39 × 0.33	17	直立	平坦	人為	深鉢3		
1100	E 3g8	N-12°-W	楕円形	0.77 × 0.69	90	直立	皿状	人為	深鉢22、鉢1、東部付土器1、製塩土器3、土器付骨2、貝殻1、貝殻立、骨28.6g	曾谷2-3a式	
1101	E 3f8	N-49°-W	円形・楕円形	(0.80) × (0.70)	152	直立	平坦	人為	深鉢2、製塩土器1		本跡→SK1078
1102	E 3f8	N-63°-W	楕円形	0.62 × 0.50	38	直立	凹凸	人為	深鉢20		
1103	E 3f8	N-10°-W	楕円形	0.38 × 0.28	24	外傾	平坦	人為	深鉢4		
1104	E 3f8	N-5°-W	楕円形	(0.75) × 0.42	15	外傾	皿状	人為	深鉢7、骨41.0g		本跡→SK1141
1105	E 3f9	N-20°-W	楕円形	0.40 × 0.36	28	外傾	皿状	人為			
1107	E 3g8	-	円形	0.50 × 0.50	30	直立	平坦	人為	深鉢6		
1108	E 3f8	-	円形	0.54 × 0.52	38	直立	平坦	人為	深鉢8		

番号	位置	長径(幅)方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (備出関係)
				長径(幅)×短径(幅) (m)	深 5 (cm)						
1109	E 3g8	N-65°-W	楕円形	035 × 044	18	外傾	凹凸	人為			
1110	E 3g9	-	円形	030 × 030	42	直立	凹状	人為	深鉢7		
1111	E 3g8	N-48°-E	楕円形	104 × 073	17	外傾	凹状	人為	深鉢7		
1112	E 3b9	-	円形	049 × 045	48	直立	凹状	人為	深鉢17		本跡→SK1201
1113	E 3g9	N-61°-W	楕円形	057 × (055)	20	直立	平坦	人為	深鉢10		
1114	E 4g3	-	円形	043 × 043	103	直立	平坦	人為			
1115	E 3e9	N-13°-W	楕円形	074 × 043	66	直立	平坦	人為	深鉢36、製塩土器2、骨1.1g		
1119	E 3g7	N-64°-W	楕円形	064 × 058	92	直立	凹凸	人為	深鉢14、貝殻134、骨171.3g	後期後葉	
1120	E 3e6	N-15°-E	楕円形	041 × 036	36	直立	平坦	人為	深鉢9、骨3.4g		
1122	E 3e4	-	円形	080 × 080	92	直立	平坦	人為	深鉢11、製塩土器2	安行3a式	SK1127→本跡
1123	E 3f4	-	円形	048 × 045	12	外傾	平坦	人為	深鉢5		
1124	E 3e4	N-37°-W	楕円形	049 × 031	51	直立・外傾	凹状	人為	深鉢2		
1125	E 3e4	-	円形	050 × 050	43	直立・外傾	平坦	人為			
1126	E 3e4	N-46°-E	楕円形	076 × 059	96	直立・外傾	凹凸	人為	深鉢28、土器片四點1	新3b-1c式	SK1127→本跡
1127	E 3e4	N-30°-W	楕円形	059 × (026)	44	直立・外傾	平坦	人為	深鉢3		本跡→SK1126・1122
1128	E 3e4	N-19°-E	楕円形	073 × 058	22	外傾	凹状	人為			
1129	E 3f5	-	円形	068 × 063	34	外傾	凹凸	人為	深鉢2		
1130	E 3f4	N-58°-E	楕円形	108 × 079	25	外傾	凹状	人為			
1131	E 3b4	-	円形	066 × 064	53	直立	凹状	人為	深鉢9		SK1163→本跡
1133	E 3g5	N-65°-E	楕円形	094 × 065	47	直立	平坦	人為			SI乙→本跡 →SK1160
1134	E 3e6	-	円形	052 × 050	82	直立	平坦	人為	深鉢4、骨2.3g		
1144	E 3f8	N-48°-E	楕円形	053 × 045	37	直立	平坦	人為	深鉢15、製塩土器1、骨4.0g		本跡→SK1075
1145	E 3b7	-	[円形]	068 × (062)	37	外傾	凹状	人為	深鉢26、注口土器1、骨4.9g	安行3a式	本跡→SK1107・1108
1146	E 3f8	N-50°-W	楕円形	062 × 042	46	直立	平坦	人為	深鉢1		
1147	E 3b7	N-41°-E	楕円形	050 × 030	34	直立	凹状	人為	深鉢10		SK1145・1194→ 本跡→SK1148
1148	E 3b7	N-16°-E	楕円形	058 × 034	19	外傾	凹状	人為	深鉢2		SK1145・ 1194→SK1147→本跡 SK1170・1323→ 本跡→SZ7
1149	E 3b5	N-64°-E	四角・直四角	079 × (065)	75	外傾	平坦	人為	深鉢6、彫形土製品1		
1150	E 3f7	N-59°-E	楕円形	095 × 075	86	直立	凹凸	人為	深鉢63、製塩土器12、土器片四點1、貝輪1、貝1250、骨318.2g	新2-3a式	SK1236→本跡
1151	E 3f5	N-30°-W	楕円形	088 × 078	97	直立	平坦	人為	深鉢39、貝殻10、骨25.7g	晩期前葉	SK1152→本跡
1152	E 3f6	N-42°-W	四角・直四角	110 × (103)	24	外傾	平坦	人為	深鉢6		本跡→SK815・ 1151・1239
1153	E 3f5	N-56°-E	楕円形	071 × 058	97	直立	平坦	人為			
1154	E 3g4	N-42°-W	楕円形	135 × 130	56	外傾	平坦	人為	深鉢2		
1155	E 3g5	N-77°-W	楕円形	086 × 070	77	直立	平坦	人為	深鉢19、土器片四點1		
1156	E 3g5	N-24°-W	楕円形	065 × 050	87	直立	平坦	人為	深鉢7		晩期前葉
1157	E 3g5	-	円形	058 × 058	91	直立	平坦	人為	深鉢1		
1159	E 3g4	N-29°-W	楕円形	080 × 070	73	直立	平坦	人為	深鉢3		
1160	E 3b5	N-59°-E	楕円形	054 × 043	105	直立	平坦	人為	深鉢3		SK1133→本跡
1161	E 3b4	N-63°-W	楕円形	057 × 046	41	直立	平坦	人為			
1162	E 3b4	N-35°-W	楕円形	067 × 051	63	直立	平坦	人為			SK1409→本跡
1163	E 3b4	N-72°-E	楕円形	060 × (052)	41	直立	平坦	人為	深鉢9		本跡→SK1131
1164	E 3b4	N-70°-W	楕円形	070 × 056	40	直立	平坦	人為	深鉢3		
1165	E 3b4	-	円形	054 × 052	48	直立	平坦	人為			
1166	E 3b4	N-47°-W	楕円形	050 × 045	40	直立	平坦	人為			
1167	E 3b5	N-18°-W	楕円形	060 × 054	30	外傾	平坦	人為	深鉢35、浅鉢1、鉢2、製塩土器1、骨4.9g	安行3a式	本跡→SZ7
1168	E 3f7	-	円形	045 × 041	85	直立	平坦	人為	深鉢8、製塩土器2、貝殻17、骨5.1g		SK1169→本跡
1169	E 3f7	N-73°-E	楕円形	084 × 057	73	直立・外傾	凹凸	人為	深鉢4、骨1.9g		本跡→SK1168・ 1221

番号	位置	方位(偏)方向	平面形	規 模			壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(偏)×短径(偏) (m)	深 5 (cm)	壁 高						
1170	E 3 15	N-30°-W	楕円形	1.18 × 0.86	87	直立	平坦	人為	深鉢 69、浅鉢 3、鉢 1、台付鉢 2、 製土土器 6	安行 3 b 式	SI22、SK1190・1307 → 本跡→SK1119	
1173	E 3 17	-	円形	0.70 × 0.68	18	外傾	圓状	人為	深鉢 3	晩期前葉	SK1201 → 本跡 → SK1307	
1174	E 3 17	N-71°-E	長方形	0.70 × 0.52	24	外傾	凹凸	人為	深鉢 6、製土土器 3	晩期前葉	SK1201 → 本跡 → SK1307	
1184	E 3 g7	-	円形	0.61 × 0.61	73	直立	平坦	人為	深鉢 8、骨 82 g	後期前葉 - 晩期前葉	SK1213 → 本跡	
1187	E 3 17	-	円形	0.40 × 0.38	29	外傾	圓状	人為	深鉢 6		SK1202 → 本跡	
1189	E 3 17	N-86°-E	楕円形	0.48 × 0.42	102	直立	平坦	人為	深鉢 9	晩期前葉		
1190	E 3 15	N-45°-E	方形・楕円形	0.77 × (0.50)	61	直立	平坦	人為	深鉢 6	晩期前葉	本跡→SI22、 SK1179・1307	
1191	E 3 18	N-83°-E	楕円形	0.76 × 0.63	30	直立	凹凸	人為	深鉢 10、製土土器 3	後期後葉		
1192	E 3 18	N-20°-W	楕円形	0.60 × 0.50	14	外傾	凹凸	人為	深鉢 3、骨 0.1 g			
1193	E 3 18	N-32°-E	楕円形	0.58 × 0.47	18	外傾	圓状	人為	深鉢 5、製土土器 1		SK1195・1196 → 本跡	
1194	E 3 17	N-20°-E	[楕円形]	(0.42) × (0.31)	37	直立	圓状	人為	深鉢 6、骨 95 g		本跡 → SK1147 → SK1148	
1195	E 3 18	N-25°-W	楕円形	0.29 × (0.20)	18	外傾	圓状	人為	深鉢 1		本跡→SK1193	
1196	E 3 18	N-62°-E	[楕円形]	0.34 × (0.22)	16	外傾	圓状	人為	深鉢 1		本跡→SK1193	
1197	E 3 18	N-41°-W	楕円形	0.81 × 0.55	58	外傾	平坦	人為	深鉢 4	安行 3 a 式	SK1199 → SK1198 → 本跡	
1198	E 3 e8	N-28°-W	[楕円形]	(0.60) × (0.53)	164	直立	平坦	人為	深鉢 3		SK1069・1199・ 1200 → 本跡→SK1197	
1199	E 3 e8	N-2°-E	[楕円形]	(0.55) × 0.43	48	外傾	平坦	人為	深鉢 12	管谷式	SK1069 → 本跡 → SK1198・1197	
1200	E 3 e8	N-29°-W	[楕円形]	0.65 × (0.30)	50	外傾	[平坦]	人為	深鉢 28	安行 2 式	本跡→SK1198	
1201	E 3 g8	N-8°-E	楕円形	0.33 × 0.21	17	直立	平坦	人為	深鉢 2		SK1111 → 本跡	
1202	E 3 17	N-63°-W	[楕円形]	0.36 × (0.30)	18	外傾	圓状	人為			本跡→SK1187	
1203	E 3 17	-	円形	0.58 × (0.54)	38	外傾	圓状	人為	深鉢 1		本跡→SI20・SK1171	
1204	E 3 g6	N-19°-W	楕円形	0.80 × 0.64	112	直立	凹凸	人為	深鉢 25、磨石 1、骨 1606 g	安行 1 式	SK1205 → 本跡	
1205	E 3 g6	N-77°-W	楕円形	0.91 × 0.62	78	直立	凹凸	人為	深鉢 9		SK1209・1201・ 1245 → 本跡→SK1204	
1206	E 3 f5	N-3°-E	楕円形	0.68 × 0.47	72	直立	平坦	人為	深鉢 40、鉢 1	安行 3 a 式	本跡→SK1207・ 1209	
1207	E 3 g5	N-33°-E	楕円形	0.85 × 0.65	70	直立	凹凸	人為	深鉢 17、骨 27 g	安行 1 式	SK1206・1220 → 本跡	
1208	E 3 g4	N-14°-E	楕円形	0.60 × 0.44	75	直立	平坦	人為				
1209	E 3 g4	-	円形	0.54 × 0.52	17	差込・外傾	圓状	人為				
1210	E 3 g4	-	円形	0.40 × 0.40	40	直立	圓状	人為				
1211	E 3 g4	N-18°-W	楕円形	0.60 × 0.50	38	直立	平坦	人為				
1212	E 3 f5	N-86°-W	楕円形	0.54 × 0.49	48	直立	圓状	人為				
1213	E 3 g7	N-69°-E	[楕円形]	(0.73) × 0.58	41	外傾	圓状	人為	深鉢 1		SI25、SK1214 → 本跡→SK1184	
1214	E 3 g7	N-81°-E	[不整形]	0.89 × (0.89)	114	直立	凹凸	人為	深鉢 4、骨 5.0 g	後期後葉	SI25 → 本跡 → SK1213	
1215	E 3 14	-	円形	0.77 × 0.75	57	直立	凹凸	人為	深鉢 3			
1216	E 3 d6	N-20°-W	楕円形	0.57 × 0.43	63	直立	圓状	人為				
1218	E 3 13	N-29°-E	楕円形	0.63 × 0.57	40	直立	平坦	人為	深鉢 5			
1219	E 3 13	-	円形	0.64 × 0.60	69	直立	凹凸	人為	深鉢 5、台付鉢 1、骨 0.1 g			
1220	E 3 14	N-41°-E	楕円形	0.83 × 0.70	33	外傾	平坦	人為	深鉢 30、製土土器 4		本跡→SK1228	
1221	E 3 14	N-61°-E	楕円形	0.97 × 0.63	55	直立	平坦	人為	深鉢 10			
1222	E 3 d7	N-77°-W	楕円形	0.35 × 0.30	20	直立	平坦	人為	深鉢 5		SK788 → 本跡	
1223	E 3 14	N-60°-E	楕円形	0.84 × 0.66	60	直立	平坦	人為	深鉢 3			
1224	E 3 f7	N-73°-E	楕円形	0.64 × 0.48	42	外傾	圓状	人為			SK877・1169 → 本跡	
1225	E 3 14	N-28°-W	[楕円形]	(0.87) × 0.59	47	差込・外傾	平坦	人為	深鉢 10		本跡→SK1245	
1226	E 3 13	N-11°-E	楕円形	1.33 × 1.14	71	直立	平坦	人為	深鉢 152、浅鉢 2、鉢 1、土器片 1 片	安行 2 式	SK1227・1245・ 1419 → 本跡	
1227	E 3 13	N-45°-W	[楕円形]	(0.80) × (0.56)	70	直立	平坦	人為	深鉢 37		本跡→SK1226・1419	
1228	E 3 14	-	円形	0.57 × 0.54	54	直立	平坦	人為	深鉢 9		SK1229 → 本跡	
1229	E 3 14	N-7°-W	楕円形	0.86 × 0.77	100	直立	平坦	人為	深鉢 29	後期後葉	SK1240 → 本跡 → SK1258	
1230	E 3 14	-	円形	0.77 × 0.74	97	直立	平坦	人為	深鉢 29、鉢 1	安行 1 式	SK1257 → 本跡	

番号	位置	長径(軸)方向	平面形	規模		壁面	底面	覆土	主な出土遺物	時期	備考 (調査関係)
				長径(軸)×短径(軸) (m)	深さ (cm)						
1231	E 3 15	N-10°-E	四角-複円形	1.16 × 0.988	87	直立	平坦	人為	深鉢107, 台付鉢1, 土器片円盤1,	安行2式	SK1255-1361- 1362 → 本跡 → SK1265
1232	E 3 15	-	円形	0.73 × 0.73	93	直立	平坦	人為	深鉢15, 割片1	安行1式	SK1255 → 本跡
1234	E 3 14	N-75°-W	楕円形	0.72 × 0.47	40	直立	平坦	人為	深鉢1	曾谷式	
1235	E 3 13	-	円形	0.76 × 0.74	46	直立	平坦	人為	深鉢30, 磨製石斧1	曾谷-安行1式	
1236	E 3 17	-	四角-複円形	0.50 × (0.25)	10	外傾	皿状	人為	深鉢2, 骨1.9g	曾谷-安行1式	本跡 → SK1150
1237	E 3 14	-	[円形]	0.63 × (0.60)	91	直立	平坦	人為	深鉢10, 台付鉢1	安行1式	本跡 → SK1272
1238	E 3 13	N-44°-W	楕円形	0.73 × 0.63	72	直立	平坦	人為	深鉢18	安行2式	
1239	E 3 15	N-66°-W	四角-複円形	0.80 × (0.62)	111	直立	平坦	人為	深鉢41, 骨10.2g	曾谷-安行1式	SK1152-1206 → 本跡 → SK1265-1267
1240	E 3 14	N-46°-W	四角-複円形	(1.11) × 1.01	46	外傾	平坦	人為	深鉢19, 製塩土器2	安行2式	本跡 → SK1229-1258
1241	E 3 15	-	円形	0.66 × 0.60	78	直立	平坦	人為	深鉢1, 製塩土器5		
1242	E 3 16	N-6°-E	楕円形	0.97 × 0.82	17	外傾	平坦	人為	深鉢36	安行2式	
1243	E 3 15	N-73°-E	楕円形	1.17 × 0.60	107	直立	平坦	人為	深鉢33, 鉢1	加賀利B3式	SK1284 → 本跡
1244	E 3 14	N-50°-W	楕円形	0.50 × 0.45	42	直立	平坦	人為	深鉢5		
1245	E 3 14	N-53°-W	四角-複円形	0.63 × (0.50)	68	直立	平坦	人為	深鉢1		SK0225 → 本跡 → SK0226
1246	E 3 14	N-14°-E	楕円形	0.90 × 0.76	80	直立	平坦	人為	深鉢21	曾谷-安行1式	SK1255-1267 → 本跡
1247	E 3 14	-	[円形]	0.70 × (0.70)	84	直立	平坦	人為	深鉢7, 製塩土器1	安行2式	SK1258-1272 → 本跡 → SK1266
1248	E 3 g0	-	円形	0.27 × 0.25	51	直立	皿状	人為	深鉢55, 製塩土器6, 土器片円盤2	曾谷-安行1式	
1249	E 3 18	N-10°-W	楕円形	0.67 × 0.53	35	直立	平坦	人為	深鉢6		
1250	E 3 16	N-46°-E	楕円形	0.83 × 0.53	20	外傾	凸凹	人為	深鉢8	曾谷-安行1式	
1251	E 3 15	-	円形	0.99 × 0.96	22	外傾	平坦	人為	深鉢9		
1252	E 3 14	N-13°-W	楕円形	0.71 × 0.52	77	直立	平坦	人為	深鉢7	安行2式	SK1254 → 本跡
1253	E 3 14	N-59°-E	四角-複円形	0.83 × (0.73)	44	直-外傾	平坦	人為	深鉢18, 土器片円盤1	後期後葉	本跡 → SK1254
1254	E 3 14	-	円形	1.00 × 1.00	73	直立	平坦	人為	深鉢70, 製塩土器13	加賀利B3 -曾谷式	SK1253 → 本跡 → SK1252
1255	E 3 15	N-53°-W	四角-複円形	(0.87) × (0.53)	83	直立	平坦	人為	深鉢6		本跡 → SK1211-1232- 1246-1261-1263
1256	E 3 14	N-30°-W	楕円形	0.67 × 0.51	37	直立	平坦	人為	深鉢19	曾谷-安行1式	
1257	E 3 15	N-21°-W	四角-複円形	0.54 × (0.42)	47	直立	平坦	人為	深鉢1		本跡 → SK1230
1258	E 3 14	N-56°-E	四角-複円形	0.46 × (0.40)	70	直立	平坦	人為	深鉢1	SK1229-1260 → 本跡 → SK1247	
1259	E 3 14	N-40°-W	楕円形	0.62 × 0.53	92	直立	平坦	人為	深鉢17	後期後葉	SK1264 → 本跡
1260	E 3 14	N-46°-E	四角-複円形	0.50 × (0.48)	37	外傾	平坦	人為	深鉢19	後期中葉	本跡 → SK1283
1261	E 3 15	N-37°-E	四角-複円形	0.80 × (0.78)	104	直立	平坦	人為	深鉢55, 土器片円盤1, 48.2g	安行2式	SK1255-1263 → 本跡 → SK1231
1262	E 3 13	N-42°-W	楕円形	0.80 × 0.59	30	外傾	平坦	人為	深鉢3		
1263	E 3 15	N-68°-E	四角-複円形	0.63 × (0.40)	91	直立	凸凹	人為	深鉢11, 製塩土器2, 骨6.3g		SK1255 → 本跡 → SK1261
1264	E 3 14	N-51°-W	楕円形	0.70 × 0.46	35	外傾	平坦	人為	深鉢19, 割片1	曾谷2-3a式	本跡 → SK1259
1265	E 3 15	N-63°-E	楕円形	0.77 × 0.67	105	直立	平坦	人為	深鉢7, 磨石1	曾谷-安行1式	SK1221-1262 → 本跡
1267	E 3 16	N-20°-E	[楕円形]	(0.95) × 0.85	91	外傾	平坦	人為	深鉢73, 洗鉢1, 耳飾り1, 磨石1	後期後葉	SK1260 → 本跡 → S27, SK1266-1467-1549
1268	E 3 16	N-33°-W	楕円形	0.79 × 0.59	91	外傾	皿状	人為	深鉢18	安行1式	本跡 → S27
1269	E 3 15	N-62°-W	楕円形	0.96 × 0.88	98	外傾	皿状	人為	深鉢18, 土鍋1	後期後葉	SK1100 → 本跡 → S27
1270	E 3 15	N-71°-E	楕円形	0.82 × 0.70	110	直立	平坦	人為			本跡 → S27
1271	E 3 15	N-77°-E	楕円形	0.56 × 0.43	100	直立	平坦	人為	深鉢16	曾谷-安行1式	本跡 → S27
1272	E 3 14	N-50°-E	楕円形	1.03 × 0.83	90	直立	平坦	人為	深鉢21, 台付鉢1	曾谷式	SK0207 → 本跡 → SK0210
1273	F 3 16	N-66°-E	楕円形	0.78 × 0.70	50	直立	平坦	人為	深鉢86, 鉢1	曾谷式	本跡 → SK1387
1274	F 3 16	N-23°-W	楕円形	1.08 × 0.80	152	直立	平坦	人為	割片(貝類1, 陶器類1, 磁石:磨石1, 土器片円盤1), 土器片(土器片1, 陶器片:磨石1), 製塩土器(鉢1, 鉢2), 骨(磨石1, 耳飾り1), 磨石1, 製塩土器(鉢1, 鉢2), 土器片(土器片1, 磁石1, 磨石1), 骨2, 貝類(磨石1, 貝類2)等	安行3a式	
1275	F 3 16	N-83°-W	楕円形	2.08 × 1.46	140	外傾	平坦	人為		曾谷2-3a式	本跡 → SK1515- 1641-1653
1276	F 3 a7	-	円形	0.35 × 0.35	22	外傾	平坦	人為	深鉢5	曾谷2-3a式	
1277	E 3 16	N-0°	四角-複円形	(0.22) × 0.22	67	直立	平坦	人為			SK1548-1550 → 本跡 → S27, SK1529
1279	E 3 15	N-67°-E	楕円形	0.81 × 0.67	110	直立	平坦	人為	深鉢85, 石磨1, 骨2.9g	曾谷式	SK1291 → 本跡

番号	位置	方位(輪)方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(輪)×短径(輪)	深さ (cm)						
1280	F 3 b5	N-7'-E	楕円形	0.90 × 0.81	88	直立	凹凸	人瓦	深鉢35、製塩土器5	安行2式	
1281	E 3 g6	N-61'-E	楕円形	1.22 × 1.00	155	直立	平坦	人瓦	深鉢20、浅鉢1、台付鉢1、製塩土器20、土器1 土器片多数2、磁石3、磁石1、骨角器1	安行3 a式	SI27→本跡
1282	E 3 b5	-	円形	0.70 × 0.70	31	外傾	平坦	人瓦	深鉢7、磨石1		SK1475→本跡 →SI27
1283	E 3 i4	N-33'-W	楕円形	0.53 × 0.46	37	直立	平坦	人瓦	深鉢8		SK1260→本跡
1284	E 3 i5	N-48'-W	[楕円形]	(1.13) × 1.09	74	直立	凹凸	人瓦			SK1498→本跡 →SK1243・1470
1285	E 3 i5	N-38'-W	円形・楕円形	0.96 × (0.87)	88	直立	凹凸	人瓦	深鉢25、土器片多数1	備付・安行1式	SK1304→本跡 →SK1231・1265
1286	E 3 i4	-	円形	0.50 × 0.48	76	直立	平坦	人瓦	深鉢5		
1287	E 3 g7	-	円形	0.48 × 0.48	32	直立	平坦	人瓦	深鉢15、製塩土器10、貝殻4,160、 骨166.9 g	後期後葉	SI25→本跡→SK1288
1288	E 3 f7	-	円形	0.57 × 0.53	52	直立	平坦	人瓦	深鉢2、黄影仔付土器1、貝殻235、 骨39.5 g	安行1式	SI25、SK1287→本跡
1289	E 3 f7	N-72'-E	楕円形	0.43 × 0.38	41	直立	平坦	人瓦	深鉢22	安行3 a式	SI25→本跡
1290	E 3 f7	N-50'-E	不整形	0.64 × 0.53	61	直立	凹凸	人瓦	深鉢21、製塩土器3、貝殻988、 骨160.3 g	安行3 b式	SI25→本跡
1291	E 3 i5	N-69'-E	楕円形	1.10 × (0.60)	85	直立	凹凸	人瓦			SK1555→本跡 →SI27、SK1279
1292	E 3 f6	N-5'-W	楕円形	0.70 × 0.48	20	外傾	屈状	人瓦			SI25→本跡
1293	E 3 g6	N-84'-E	楕円形	0.93 × 0.61	110	直立	平坦	人瓦	深鉢64、製塩土器52、磨石1、 貝殻18、骨547.8 g	後期後葉	SI25→本跡
1294	E 3 g7	N-54'-W	楕円形	0.81 × 0.70	107	直立	平坦	人瓦	深鉢88、浅鉢3、台付鉢1、口付鉢1、 黄影仔付土器2、貝殻82、骨1,386.4 g	備付・安行1式	SI25、SK1304・ 1329→本跡
1295	E 3 f7	-	円形	0.83 × 0.80	126	直立	平坦	人瓦	深鉢6、骨192.3 g		SI25→本跡
1296	E 3 i6	N-24'-W	円形・楕円形	(0.53) × (0.43)	57	直立	平坦	人瓦	深鉢37、銅片1	安行3 a式	SK1267→本跡 →SI27、SK1301
1297	G 4 i9	-	円形	0.45 × 0.45	45	直立・外傾	平坦	人瓦			K区
1298	E 3 i5	N-35'-E	楕円形	0.59 × 0.44	60	直立	平坦	人瓦	深鉢5	曹谷式	SK1400→本跡→SI27
1301	E 3 i5	N-51'-W	楕円形	0.68 × 0.51	111	直立	凹凸	人瓦	深鉢38、浅鉢1、製塩土器2	安行3 a式	SK1296→本跡→SI27
1302	G 4 i0	N-4'-W	楕円形	0.65 × 0.47	25	外傾	有段	人瓦			K区
1303	G 4 i0	N-20'-E	楕円形	0.48 × 0.32	17	直立	平坦	人瓦			K区
1304	E 3 g7	N-35'-E	楕円形	0.85 × 0.77	114	直立	平坦	人瓦	深鉢3、骨17.2 g	曹谷式	SI25→本跡→SK1294
1305	E 3 g5	N-79'-E	楕円形	0.70 × 0.50	90	直立	平坦	人瓦			SI27→本跡
1306	E 3 i5	-	円形	0.67 × 0.65	80	直立	平坦	人瓦	深鉢12、浅鉢1	安行1式	本跡→SI27
1307	E 3 i5	N-69'-W	楕円形	0.66 × 0.57	82	直立	平坦	人瓦	深鉢11	後期後葉	SK1170→本跡→SI27
1308	G 4 a7	N-3'-E	楕円形	0.73 × 0.60	17	直立・外傾	平坦	人瓦	深鉢10、貝殻270、骨7.0 g	K区	B跡→本跡→SM2・B跡
1309	G 4 a7	-	円形	0.44 × 0.42	70	外傾	屈状	人瓦	深鉢6、貝殻246、骨7.8 g	K区	B跡→本跡→SM4・B跡
1310	G 4 a0	N-78'-W	楕円形	0.53 × 0.42	11	外傾	屈状	人瓦	深鉢7、製塩土器1、貝殻27、 骨4.5 g	K区	B跡→本跡→SM2・B跡
1311	G 4 b8	-	円形	0.65 × 0.62	14	外傾	平坦	人瓦	深鉢17、製塩土器1、貝殻35、 骨47.1 g	K区	B跡→本跡→SM2・B跡
1312	G 4 b8	N-48'-W	不要楕円形	0.57 × 0.44	26	直立・外傾	有段	人瓦	深鉢2	K区	B跡→本跡→SM4・B跡
1313	G 4 a0	-	円形	0.31 × 0.30	15	外傾	平坦	人瓦	深鉢3	K区	B跡→本跡→SM4・B跡
1314	G 4 a0	-	円形	0.27 × 0.25	70	直立	屈状	人瓦	深鉢23、製塩土器1、貝殻71、 骨14.2 g	K区	B跡→本跡→SM4・B跡
1315	G 4 a0	N-58'-W	楕円形	0.55 × 0.40	20	外傾	屈状	人瓦	深鉢17、骨13.5 g	K区	B跡→本跡→SM4・B跡
1316	G 4 a0	N-30'-E	楕円形	0.45 × 0.26	11	外傾	平坦	人瓦		K区	B跡→本跡→SM4・B跡
1317	G 4 a0	N-20'-W	楕円形	0.80 × 0.48	30	外傾	屈状	人瓦	深鉢25、浅鉢1、骨8.6 g	K区	SK1328、骨角→本跡 →SM4・B跡
1318	G 4 a0	-	円形	0.28 × 0.28	10	外傾	平坦	人瓦	深鉢4	K区	B跡→本跡→SK1317・ SM4・B跡
1319	G 4 a0	-	円形	0.65 × 0.60	14	外傾	凹凸	人瓦	深鉢12、浅鉢1	K区	SK1320、骨角→本跡 →SM4・B跡
1320	G 4 a0	-	[円形]	0.62 × (0.44)	12	外傾	平坦	人瓦	深鉢15、骨12.4 g	K区	B跡→本跡→SK1319・ SM4・B跡
1321	G 4 a0	N-11'-E	楕円形	0.55 × 0.40	65	外傾	屈状	人瓦	深鉢26、浅鉢1	K区	B跡→本跡→S M4・B跡
1322	G 4 i9	N-31'-E	楕円形	1.07 × 0.87	57	直立・外傾	平坦	人瓦		K区	本跡→SI28
1323	E 3 i5	N-65'-E	楕円形	1.11 × 0.90	83	直立	凹凸	人瓦	深鉢38、骨4.3 g	安行1式	SI27→本跡→SK1149
1324	E 3 g6	N-11'-W	楕円形	0.85 × 0.73	80	直立	屈状	人瓦	深鉢40、浅鉢1、製塩土器6、 土器片多数1、骨29.7 g	安行1式	SK1316→本跡→SI27、 SK1315・1315
1325	E 3 g6	N-9'-W	楕円形	0.57 × 0.50	120	直立	平坦	人瓦			SK1324・1326・1346→ 本跡→SI27
1326	E 3 g6	N-85'-E	楕円形	(0.97) × 0.75	119	直立	平坦	人瓦	深鉢26、製塩土器2、骨24.5 g	安行1-2式	本跡→SK1325
1327	E 3 j7	-	円形	0.40 × 0.40	48	直立	平坦	人瓦	深鉢4		

番号	位置	長径(縦)×短径(横)方向	平面形	規 模			壁 面	底 面	覆 土	主 要 出 土 遺 物	時 期	備 考 (採計関係)
				長径(縦) (m)	短径(横) (m)	深 5 (cm)						
1328	E 3j7	-	円形	0.45 × 0.42	38	直立	平皿	人為	深鉢3		曾存式	
1329	E 3g6	N-59°-W	楕円形	0.76 × 0.63	36	外傾	平皿	人為				S25→本跡→SK1394
1330	E 3j7	N-62°-E	楕円形	0.31 × 0.25	42	直立	皿状	人為				
1331	E 3j7	N-8°-W	楕円形	0.54 × 0.44	60	直立	皿状	人為	深鉢5		後期後葉	
1332	F 3a4	N-80°-E	楕円形	0.60 × 0.54	49	直立	平皿	人為	深鉢5			
1333	F 3a4	-	円形	0.53 × 0.46	54	直立	平皿	人為	深鉢5		安行2式	
1334	F 3a4	-	[円形]	0.54 × (0.24)	22	外傾	平皿	人為	深鉢28、製塩土器1			SK1335→本跡 →SK1391
1335	F 3a4	N-30°-W	[楕円形]	(0.45) × 0.62	58	直立	皿状	人為	深鉢8			本跡→SK1334、1394
1336	F 3a4	-	円形	0.72 × 0.68	18	外傾	凹凸	人為				本跡→SK1337、1454
1337	F 3a4	N-44°-W	[楕円形]	(0.46) × 0.40	32	外傾	皿状	人為				SK1336→本跡 →SK1338
1338	F 3b4	-	[円形]	0.60 × (0.60)	34	外傾	皿状	人為	深鉢57			SK1337→本跡 →SK1348、1454
1339	F 3a4	N-2°-E	楕円形	(0.41) × 0.45	30	外傾	平皿	人為	深鉢8			SK1347→本跡 →SK1348
1340	E 3j7	-	円形	0.26 × 0.26	16	外傾	皿状	人為				
1341	E 3j6	-	円形	0.22 × 0.21	10	外傾	皿状	人為	深鉢1			
1342	E 3j6	-	円形	0.37 × 0.35	60	直立	凹凸	人為				
1343	E 3j7	N-87°-E	楕円形	0.48 × 0.43	48	外傾	平皿	人為	深鉢1			
1344	E 3j4	N-70°-W	楕円形	0.48 × 0.42	40	直立	平皿	人為				SK1345→本跡
1345	E 3j4	-	円形	0.34 × 0.31	26	外傾	皿状	人為				本跡→SK1344
1346	E 3g6	N-9°-W	圆形・角圆形	(0.70) × (0.33)	60	直立	平皿	人為	深鉢7		後期後葉	本跡→S27、SK1395、 1324、1325
1347	F 3a4	N-25°-W	[楕円形]	1.12 × (1.00)	36	外傾	平皿	人為				本跡→SK1329、1348、 1328、1329、1454
1348	F 3a4	N-40°-W	楕円形	0.68 × 0.58	50	外傾	平皿	人為	深鉢14、製塩土器1、土器片内葬3		安行2式	SK1347、1339→ 本跡→SK1330
1349	F 3a4	-	円形	0.40 × 0.38	46	直立	皿状	人為	深鉢1			
1350	F 3b4	N-2°-E	楕円形	0.58 × 0.50	70	直立	皿状	人為				SK1348→本跡
1351	F 3c7	N-35°-E	楕円形	0.95 × 0.77	62	直立	平皿	人為	深鉢27、製塩土器2、土器片内葬1、 貝殻24、骨361g		後期後葉	本跡→SK1352→本跡
1352	F 3c7	N-53°-E	[楕円形]	0.86 × (0.71)	74	外傾・直立	平皿	人為	深鉢27、製塩土器9、貝殻194、 骨559g		後期後葉	SK1647→本跡 →SK1351
1353	F 3c7	-	円形	0.47 × 0.45	24	外傾	皿状	人為	深鉢4		後期後葉	
1354	F 3a7	N-25°-W	楕円形	0.35 × 0.27	28	外傾	平皿	人為	深鉢1			SK1353→本跡
1355	F 3a7	N-21°-W	[楕円形]	0.36 × (0.30)	41	外傾	皿状	人為				本跡→SK1354
1356	F 3b6	-	円形	0.72 × 0.69	84	直立	凹凸	人為	深鉢34、骨164g		後期後葉	SK1438→本跡
1357	F 3b6	N-24°-E	楕円形	1.81 × 1.63	231	直立	平皿	人為	深鉢12(浅鉢1、瓦葺2、竹筒9、口口土器2、 製塩土器272、土器3、瓦葺り2、土器片内葬 15、石皿1、石皿1、煎じ、骨101g)			本跡→SK1580、 1642、1643
1358	F 3b5	N-60°-W	[楕円形]	(0.73) × 0.73	11	外傾	平皿	人為	深鉢39、浅鉢1、土器片内葬1		安行2式	本跡→SK1359、 1361
1359	F 3b5	-	円形	0.33 × 0.30	40	直立	平皿	人為	深鉢13		後期後葉	SK1358→本跡
1360	F 3b5	-	円形	0.34 × 0.34	39	直立	平皿	人為	深鉢10、浅鉢1、製塩土器6			
1361	F 3b5	N-68°-W	楕円形	0.98 × 0.87	9	外傾	平皿	人為	深鉢37、製塩土器14、口口土器		安行1式	SK1358、1563→本跡
1362	F 3b5	N-47°-W	楕円形	0.67 × 0.58	17	直立・外傾	平皿	人為	深鉢6、黒曜石56(石核32、 薄片24、296.7g)			PL25、84
1364	F 3b5	N-83°-E	楕円形	0.93 × 0.76	136	直立	凹凸	人為	深鉢6		後期後葉	
1365	F 3c5	-	円形	0.72 × 0.67	78	直立	平皿	人為	深鉢45		曾存式	SK1611→本跡
1366	F 3b4	N-27°-W	楕円形	0.71 × 0.60	76	直立	平皿	人為	深鉢24		安行2式	SK1553、1561→本跡
1367	F 3c4	-	円形	0.52 × 0.52	12	外傾	皿状	人為				
1368	F 3c4	-	円形	0.83 × 0.78	16	外傾	平皿	人為	深鉢4			SK1586→本跡
1369	F 3c4	N-46°-E	楕円形	1.10 × 0.83	77	直立	凹凸	人為	深鉢5			
1370	F 3c4	-	円形	0.33 × 0.33	16	外傾	皿状	人為	深鉢2			
1371	F 3c4	N-61°-E	楕円形	0.28 × 0.20	46	直立	平皿	人為	深鉢12			SK1528、1557→本跡
1372	F 3c5	N-72°-W	楕円形	0.80 × 0.72	8	外傾	皿状	人為	深鉢5、製塩土器3			SK1528、1557→本跡
1373	F 3d5	N-5°-E	楕円形	1.94 × 1.74	273	直立	平皿	人為	深鉢68、黒曜石5、竹筒1、口口土器2、製塩 土器15、土器1、瓦葺り1、土器片内葬1、骨11			本跡→SK1577
1374	E 3j6	N-10°-W	楕円形	0.77 × 0.56	32	外傾	平皿	人為	深鉢4			

番号	位置	方位(輪)方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(輪)×短径(輪) (m)	深さ (cm)						
1375	F 3 a7	N-10°-W	楕円形	0.54 × 0.44	16	外傾	平坦	人為	深鉢9、製塩土器2		安行1式
1376	E 3 j6	N-35°-E	楕円形	1.03 × 0.62	28	外傾	平坦	人為			
1377	F 3 a7	-	円形	0.67 × 0.62	80	直立	平坦	人為	深鉢1、骨59 g		SK1620 → 本跡 → SK1378
1378	F 3 a7	N-74°-W	楕円形	0.93 × 0.71	78	直立	皿状	人為	骨162 g		SK1377 → 本跡
1379	E 3 j6	N-3°-E	楕円形	0.73 × 0.66	66	直立	平坦	人為	深鉢40		後期後葉
1380	E 3 j7	-	円形	0.40 × 0.40	50	直立	平坦	人為	深鉢9、磨石1		
1381	E 3 j4	-	円形	0.33 × 0.31	64	直立	皿状	人為			
1382	E 3 j4	-	円形	0.60 × 0.57	44	直立	平坦	人為	深鉢6		
1383	F 3 a7	N-75°-E	楕円形	0.56 × 0.43	50	直立	平坦	人為	深鉢10		後期後葉
1386	F 3 a6	N-20°-W	楕円形	0.94 × 0.82	82	直立	平坦	人為	深鉢1、骨143 g		SK1517・1532 → 本跡
1387	F 3 i6	-	円形	0.36 × 0.36	90	直立	平坦	人為	深鉢73、製塩土器26、注口土器1、土器片四點2		安行1式 SK1273 → 本跡
1388	F 3 a7	N-30°-E	楕円形	0.66 × 0.55	52	直立	平坦	人為	深鉢112、製塩土器11		安行2式 SK1389・1399 → 本跡
1389	F 3 a7	N-60°-W	楕円形	0.40 × 0.22	34	外傾	平坦	人為	深鉢47		曾谷式 本跡 → SK1388
1391	F 3 a4	N-40°-W	楕円形	0.78 × 0.65	78	直立	皿状	人為	深鉢33		曾谷式 SK1334・1335・1428 → 本跡
1392	E 3 i5	N-48°-W	楕円形	0.58 × 0.51	47	直立	平坦	人為	深鉢8		曾谷式 本跡 → SI27
1393	E 3 i5	-	円形	0.33 × 0.31	25	直立	平坦	人為	深鉢5		後期後葉 本跡 → SI27
1394	F 3 a7	N-35°-E	楕円形	0.28 × 0.20	36	直立	皿状	人為			SK108 → 400 → SK109
1395	F 3 a7	N-8°-E	楕円形	0.32 × 0.28	12	外傾	皿状	人為			本跡 → SK1108・1109
1396	F 3 a5	-	[円形]	0.90 × (0.86)	42	直立	平坦	人為	深鉢44、椀器1		曾谷式 本跡 → SK1452・1459
1397	E 3 i5	N-17°-W	楕円形	0.62 × 0.35	12	外傾	平坦	人為	深鉢7		後期後葉 本跡 → SI27
1398	F 3 a7	N-81°-W	楕円形	0.46 × 0.41	68	直立	平坦	人為			
1399	F 3 a7	N-58°-E	楕円形	0.28 × 0.23	28	直立	皿状	人為			本跡 → SK1388
1400	E 3 i5	N-56°-E	円形・楕円形	(0.80) × (0.66)	59	直立	平坦	人為			本跡 → SI27、SK1269・1298
1401	E 3 i6	N-32°-W	楕円形	0.51 × 0.44	65	直立	平坦	人為	深鉢6		本跡 → SI27
1402	F 3 a7	N-29°-E	楕円形	0.61 × 0.43	40	外傾	平坦	人為	深鉢5		曾谷式
1403	F 3 a5	N-67°-W	楕円形	1.13 × 1.00	143	直立	平坦	人為	深鉢215、浅鉢1、土器片四點2		種類別2-3 SK1333・1534 → 本跡
1404	E 3 i5	-	円形	0.37 × 0.37	55	直立	平坦	人為			
1405	E 3 i5	N-34°-W	円形・楕円形	0.43 × (0.33)	24	外傾	平坦	人為			本跡 → SI27、SK1282
1406	F 3 a4	N-14°-W	[楕円形]	(0.63) × (0.53)	76	外傾	平坦	人為	深鉢65		曾谷・安行1式 SK1336 → 本跡 → SK1407・1437・1546
1407	F 3 a4	N-60°-W	[楕円形]	0.79 × (0.39)	76	直立	皿状	人為	深鉢12		安行1式 SK1406・1546 → 本跡 → SK1416
1408	E 3 i3	N-1°-E	楕円形	0.58 × 0.52	59	直立	平坦	人為	深鉢28		安行1式
1409	E 3 i4	N-19°-E	円形・楕円形	0.54 × (0.38)	13	外傾	平坦	人為			本跡 → SK1162
1410	E 3 i4	N-83°-E	楕円形	0.52 × 0.40	20	外傾	平坦	人為			
1411	E 3 i4	-	円形	0.64 × 0.60	42	直立	平坦	人為			SK1412・1431 → 本跡
1412	E 3 i4	N-4°-W	円形・楕円形	0.67 × (0.35)	70	直立	平坦	人為	深鉢17		安行1式 SK1451 → 本跡 → SK1411
1413	E 3 i5	N-6°-W	楕円形	0.73 × 0.60	76	直立	平坦	人為	深鉢9		後期後葉
1414	E 3 i3	-	円形	0.70 × 0.70	46	直立	円凸	人為	深鉢12		安行1式
1415	E 3 i4	N-71°-W	円形・楕円形	0.80 × (0.50)	37	直立	平坦	人為			本跡 → SK1456
1416	F 3 a4	N-40°-E	楕円形	0.81 × 0.63	78	直立	平坦	人為	深鉢15		安行1式 SK1407 → 本跡 → SK1417
1417	F 3 d4	N-59°-W	[楕円形]	(0.58) × 0.36	18	外傾	平坦	人為	深鉢2		本跡 → SK1418
1418	F 3 d4	N-13°-E	楕円形	0.76 × 0.42	18	外傾	皿状	人為			SK1417 → 本跡
1419	E 3 i3	N-38°-W	円形・楕円形	1.21 × (0.57)	25	外傾	平坦	人為			SK1227 → 本跡 → SK1236
1420	F 3 d4	-	円形	0.35 × 0.34	52	直立	平坦	人為			
1421	F 3 d5	N-68°-E	楕円形	1.50 × 1.03	42	直立・外傾	平坦	人為			
1422	E 3 j4	-	円形	0.29 × 0.29	48	直立	皿状	人為	深鉢1		
1424	F 3 a5	N-31°-E	楕円形	0.76 × 0.64	70	直立	平坦	人為	深鉢16、浅鉢1		安行1式 SK1452 → 本跡 → SK1427



番号	位置	長径(幅)×方向	平面形	規模		壁面	底面	覆土	主な出土遺物	時期	備考 (採出関係)
				長径(幅)×短径(幅) (m)	深さ (cm)						
1427	F 3a5	N-10°-W	楕円形	0.67 × 0.60	106	直立	平皿	人為	深溝2		SK1424・1453 → 本跡 → SK1679
1428	F 3a4	N-37°-W	楕円形	0.95 × 0.60	36	外傾	平皿	人為	深溝20, 黄砂石層1	曾谷式	SK1429・1347 → 本跡 → SK1330
1429	F 3a4	N-23°-W	楕円形	1.03 × (0.53)	45	外傾	平皿	人為	深溝22, 注口土層1		SK1347 → 本跡 → SK1408・1400・1516
1430	F 3a5	N-13°-E	楕円形	0.96 × 0.34	42	外傾	平皿	人為	深溝34, 黄砂層付土層1, 黄砂石層1, 石積1	曾谷・安行式	SK1429 → 本跡 → SK1444・1516・1516
1431	E 3j4	-	円形	0.28 × 0.27	14	外傾	皿状	人為			
1432	E 3j7	-	円形	0.25 × 0.25	24	外傾	平皿	人為			
1433	E 3j7	N-30°-E	楕円形	0.45 × 0.35	80	直立	皿状	人為	深溝16, 浅溝1	曾谷式	
1434	E 3j7	N-5°-E	楕円形	0.71 × 0.52	104	直立	平皿	人為	深溝5	安行1式	
1435	E 3j5	-	[円形]	0.40 × 0.38	54	直立	皿状	人為	深溝2	本跡 → SK1678	
1436	F 3a5	N-5°-E	楕円形	0.36 × 0.32	32	直立	平皿	人為	深溝13	安行1式	
1437	F 3e4	-	円形	1.70 × 1.62	328	直立	平皿	人為	深溝11, 浅溝2, 溝2, 付石積1, 壘2, 甕土層1, 瓦片土層1, 土器片内壁1, 甕付, 磨石1	安行3a式	
1438	F 3b6	N-2°-W	楕円形	1.63 × 1.42	33	直立・外傾	平皿	人為	深溝15	後期後葉	SK1645 → 本跡 → SK1326
1439	F 3b2	N-48°-E	楕円形	1.20 × 1.08	103	直立	平皿	人為	深溝133, 製塩土層13, 土器片内壁1	安行3a式	
1443	E 3j7	N-40°-E	楕円形	0.50 × 0.44	66	直立	皿状	人為	深溝7		
1444	F 3a5	-	円形	0.97 × 0.92	70	直立	平皿	人為	深溝152, 製塩土層23, 土器片内壁4, 磨石1		SK1430 → 1692 → 本跡
1447	F 3a4	N-5°-E	楕円形	0.58 × 0.48	62	直立	平皿	人為			SK1416 → 本跡
1448	F 3b4	N-77°-E	楕円形	0.50 × 0.42	29	外傾	平皿	人為			SK1328 → 本跡 → SK164
1449	F 3e5	N-78°-E	楕円形	1.20 × 0.83	66	直立・外傾	凹凸	人為	深溝81, 浅溝1, 製塩土層10, 土器片内壁3	安行2式	SK1375・1581 → 本跡
1450	E 3g5	-	円形	0.38 × 0.38	38	直立	凹凸	人為			
1451	E 3b4	N-81°-E	方形・楕円形	0.75 × 0.33	55	直立	平皿	人為			本跡 → SK1411・1412
1452	F 3a5	N-35°-W	楕円形	0.98 × 0.51	58	外傾	平皿	人為	深溝15, 有耳壘1	曾谷・安行1式	SK1296・1542 → 本跡 → SK1424・1429
1453	F 3a5	-	円形	0.75 × 0.70	64	直立	平皿	人為	深溝25	後期後葉	本跡 → SK1461・1472
1454	F 3a4	N-12°-E	楕円形	0.94 × 0.66	76	直立	平皿	人為			SK1326・1328・1347・1418 → 本跡
1455	E 3b4	N-22°-W	楕円形	0.90 × 0.83	53	外傾	皿状	人為	深溝16, 製塩土層4	曾谷2・3a式	
1456	E 3i4	-	円形	0.41 × 0.41	53	直立	皿状	人為			SK1415 → 本跡
1457	E 3j4	N-14°-W	楕円形	0.92 × 0.60	72	外傾	凹凸	人為			SK1406・1546 → 本跡
1458	E 3j7	N-68°-E	楕円形	0.78 × 0.62	106	直立	平皿	人為	深溝3, 土器片内壁1	後期後葉	
1459	E 3j5	N-13°-E	楕円形	0.93 × 0.74	64	直立	平皿	人為	深溝24		SK1452・1542・1306 → 本跡
1460	F 3a5	-	円形	0.57 × 0.50	62	直立	平皿	人為	深溝16, 浅溝1	安行3a式	
1461	E 3j5	N-9°-W	楕円形	0.84 × 0.74	60	外傾	平皿	人為	深溝19		SK1453・1544 → 本跡 → SK1473
1462	E 3b5	N-74°-W	楕円形	1.22 × 0.97	37	外傾	平皿	人為			SK1472 → 本跡 → S27
1463	F 3e5	N-27°-E	楕円形	1.82 × 1.69	181	直立・外傾	平皿	人為	深溝45, 浅溝1, 溝1, 付石積1, 甕製塩土層5, 瓦片土層1, 磨石1, 土器片内壁1, 磨石1, 磨石1	安行3a式	SK1563・1570 → 本跡
1464	F 3e5	N-47°-W	楕円形	2.20 × 1.65	227	直立・外傾	平皿	人為	深溝227, 浅溝2, 溝1, 付石積1, 甕製塩土層17, 土器片内壁5, 磨石1, 磨石2	安行2式	SK1562 → 本跡
1468	E 3i5	N-43°-E	楕円形	1.00 × 0.86	60	外傾	凹凸	人為	深溝71	曾谷・安行1式	SK1469・1471・1474・1530 → 本跡 → S27
1469	E 3i5	N-50°-W	方形・楕円形	0.83 × 0.41	30	直立	平皿	人為	深溝5	安行2式	SK1471・1471 → 本跡 → S27, SK1468・1475
1470	E 3i5	-	円形	0.65 × 0.60	107	直立	平皿	人為	深溝75	後期後葉	SK1384・1468・1535・1556 → 本跡 → S27
1471	E 3i5	N-78°-W	[楕円形]	(0.64) × (0.50)	57	直立	皿状	人為	深溝44	後期後葉	SK1474 → 本跡 → S27, SK1468・1469・1475
1472	E 3b5	N-14°-E	円形・楕円形	0.97 × 0.36	50	外傾	平皿	人為	深溝3, 浅溝1	本跡	S27, SK1462
1473	E 3j5	N-74°-W	楕円形	0.55 × 0.43	52	直立	平皿	人為	深溝48, 磨石1	安行1・2式	SK1461 → 本跡
1474	E 3i5	N-32°-E	方形・楕円形	(0.81) × (0.58)	33	外傾	平皿	人為			
1475	E 3i5	-	円形	0.57 × 0.52	73	直立	平皿	人為	深溝5		SK1469・1471・1488 → 本跡 → S27
1477	F 3a6	-	[円形]	(0.70) × 0.70	80	直立	皿状	人為	深溝59, 溝1, 浅溝1	曾谷式	本跡 → SK1478・1512
1478	F 3a6	-	円形	0.72 × 0.72	42	外傾	平皿	人為	深溝4		SK1477 → 本跡
1479	F 3a6	N-15°-W	楕円形	1.20 × 0.87	86	直立	凹凸	人為	深溝197, 黄砂層付土層1, 製塩土層1	曾谷・安行1式	SK1507 → 本跡
1480	F 3a7	-	円形	0.82 × 0.77	110	直立	平皿	人為	深溝29	安行1式	SK1469 → 本跡 → SK1310
1481	F 3a7	-	円形	0.70 × 0.70	86	直立	皿状	人為	深溝33	後期後葉	

番号	位置	方位(偏)方向	平面形	規 模			壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(偏)×短径(偏) (m)	深 度 (cm)	壁 高						
1482	F 3 a6	N-72°-E	楕円形	0.68 × 0.56	84	直立	皿状	人瓦	深鉢22, 骨30g	後期後葉	SK1485 → 本跡	
1484	F 3 a7	N-60°-E	楕円形	0.40 × 0.33	20	外傾	平坦	人瓦				
1485	F 3 a6	N-70°-E	楕円形	0.75 × (0.20)	42	外傾	平坦	人瓦	深鉢71, 浅鉢1	安行1式	SK1525 → 本跡 → SK1482-1501	
1486	F 3 a6	-	円形	0.53 × 0.51	90	直立	平坦	人瓦	深鉢25	曾谷-安行1式	SK1502 → 本跡	
1487	F 3 a7	N-10°-W	楕円形	0.35 × 0.30	38	直立	平坦	人瓦	深鉢4			
1488	F 3 a7	-	円形	0.35 × 0.33	18	外傾	平坦	人瓦	深鉢1		SK1305 → 本跡	
1489	F 3 a7	N-40°-E	楕円形	0.34 × 0.28	35	直立	皿状	人瓦	深鉢2		SK1304-1305 → 本跡	
1490	F 3 a7	-	円形	0.27 × 0.27	20	外傾	皿状	人瓦	深鉢1, 製塩土器1			
1491	F 3 a7	N-20°-W	楕円形	0.33 × (0.20)	30	直立	平坦	人瓦	深鉢2		本跡 → SK1309	
1493	F 3 a6	-	円形	0.65 × 0.60	106	直立	平坦	人瓦	深鉢4, 骨1.3g			
1494	F 3 a7	-	円形	0.39 × 0.36	100	直立	皿状	人瓦	深鉢22	安行1式	SK1509 → 本跡	
1495	F 3 a7	N-19°-E	楕円形	0.38 × 0.30	68	直立	平坦	人瓦	深鉢5		SK1509 → 本跡	
1496	E 3 i7	-	円形	0.57 × 0.54	43	直立	平坦	人瓦	深鉢1			
1497	E 3 i5	N-34°-W	円形・楕円形	0.77 × (0.73)	72	直立	皿状	人瓦	深鉢78, 注口土器1, 製塩土器2, 土器片円盤1, 銅片1, 骨4.7g	安行2式	本跡 → SI27	
1498	E 3 i5	N-64°-E	楕円形	1.14 × 0.93	106	直立・外傾	平坦	人瓦	深鉢16	後期後葉	SK1059 → 本跡 → SI27 SK126-(10)-204	
1499	F 3 i5	N-32°-E	[楕円形]	(0.70) × 0.54	56	直立	平坦	人瓦	深鉢23, 銅片1		SK1492 → 本跡 → SK1534	
1500	F 3 i5	-	円形	0.51 × 0.49	52	直立	平坦	人瓦	深鉢6			
1501	F 3 a6	-	[円形]	0.66 × (0.64)	72	直立	平坦	人瓦	深鉢20	曾谷式	SK1514-1519 → 本跡 → SK1485-1525	
1502	E 3 i7	-	円形	0.35 × 0.35	56	直立	皿状	人瓦	貝殻1			
1503	F 3 a5	N-7°-W	楕円形	0.60 × 0.50	94	直立	平坦	人瓦	深鉢44	曾谷式		
1504	E 3 i5	N-56°-E	楕円形	0.65 × 0.53	73	直立	平坦	人瓦	深鉢11		SK1498 → 本跡 → SK1265	
1505	F 3 a4	N-72°-E	楕円形	0.98 × 0.76	58	直立	平坦	人瓦	深鉢118, 浅鉢1, 土偶1	安行1式	SK1400, 1516, 1536 → 本跡	
1507	F 3 a6	N-87°-W	[楕円形]	0.59 × (0.30)	78	直立	平坦	人瓦			本跡 → SK1479-1486	
1509	F 3 a7	N-48°-E	[楕円形]	0.62 × (0.33)	84	直立	平坦	人瓦			SK1491, 1510 → 本跡 → SK1494-1495	
1510	F 3 a7	N-13°-W	[楕円形]	0.38 × (0.18)	28	外傾	平坦	人瓦			本跡 → SK1509	
1512	F 3 a6	-	円形	0.67 × 0.64	44	直立	平坦	人瓦	深鉢4	曾谷-安行1式	SK1477 → 本跡	
1513	F 3 a6	N-15°-W	楕円形	0.30 × 0.27	68	直立	皿状	人瓦	深鉢1	曾谷-安行1式		
1514	F 3 a7	-	[円形]	0.38 × (0.21)	38	直立	皿状	人瓦	深鉢1		本跡 → SK1504-1519	
1515	F 3 a7	N-60°-W	楕円形	0.56 × 0.42	62	直立	平坦	人瓦	深鉢2		SK1475 → 本跡	
1516	F 3 a4	N-84°-W	[楕円形]	0.44 × (0.20)	32	外傾	平坦	人瓦			SK1429-1430 → 本跡 → SK1505	
1517	F 3 a6	N-20°-W	[楕円形]	(0.85) × 1.05	60	直立	平坦	人瓦	深鉢23, 土器片円盤1	曾谷式	SK1514 → 本跡 → SK1501	
1519	F 3 a7	-	[円形]	(0.28) × (0.20)	52	直立	平坦	人瓦	深鉢23	後期後葉	SK1514 → 本跡 → SK1501	
1520	F 3 a5	-	円形	0.55 × 0.52	64	直立	平坦	人瓦	深鉢8	曾谷-安行1式	SK1536 → 本跡	
1521	F 3 i5	N-7°-W	楕円形	0.80 × 0.73	30	外傾	平坦	人瓦	深鉢35, 製塩土器6, 銅片1	安行2式	SK1538, 1539, 1545 → 本跡	
1522	F 3 a6	N-80°-E	楕円形	0.77 × 0.67	30	外傾	平坦	人瓦	深鉢38, 土器片円盤1	安行2式	SK1531 → 本跡 → SK1520	
1523	F 3 a6	N-45°-W	楕円形	0.70 × 0.60	83	直立	平坦	人瓦			SK1325 → 本跡	
1524	F 3 a6	-	円形	0.60 × 0.60	84	直立	平坦	人瓦	深鉢14	安行1式	SK1517, 1522 → 本跡	
1525	F 3 a6	N-30°-E	[楕円形]	(0.64) × 0.55	74	直立	平坦	人瓦	深鉢27	曾谷-安行1式	SK1507 → 本跡 → SK1485-1523	
1526	F 3 a5	-	[円形]	0.50 × (0.40)	76	直立	平坦	人瓦	深鉢13	曾谷-安行1式	SK1536 → 本跡 → SK1520	
1527	F 3 c5	N-41°-E	[楕円形]	1.00 × (0.61)	57	直立	平坦	人瓦			SK1611, 1612 → 本跡 → SK1570	
1528	F 3 c4	N-2°-E	円形・楕円形	(0.37) × 0.32	33	直立	平坦	人瓦	深鉢12, 製塩土器3	安行2式	SK1552 → 本跡 → SK1371	
1529	E 3 i5	N-45°-E	円形・楕円形	0.33 × (0.31)	68	直立	皿状	人瓦	深鉢1		SK1477, 1508 → 本跡 → SI27, SK1530	
1530	E 3 i5	N-33°-W	円形・楕円形	(0.63) × 0.55	80	直立	平坦	人瓦	深鉢4, ミニチュア土器1		SK1520 → 本跡 → SI27, SK1498	
1531	F 3 a6	N-80°-W	[楕円形]	0.90 × (0.73)	74	直立	平坦	人瓦	深鉢36	曾谷-安行1式	SK1561 → 本跡 → SK1522	
1532	F 3 a6	-	[円形]	0.92 × (0.85)	90	直立	平坦	人瓦	深鉢223, 深鉢4, 注口土器1, 製塩土器4, 土器片円盤6, 銅片1	曾谷-安行1式	SK1517 → 本跡 → SK1286	
1533	F 3 a5	N-40°-E	[楕円形]	0.44 × (0.28)	50	外傾	平坦	人瓦			本跡 → SK1403	



番号	位置	長径(横)方向	平面形	規 模			壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(横)×短径(縦) (cm)	深 5 (cm)	厚 度						
1583	F 3 b5	-	[円形]	0.72 × (0.68)	133	直立	平坦	人為	深鉢 16、四石 1	後期後葉	本跡→SK1361	
1584	F 3 b5	N-67°-W	楕円形	0.48 × 0.43	93	直立	平坦	人為	深鉢 4	後期後葉		
1585	F 3 d4	N-62°-W	楕円形	0.60 × 0.53	46	直立	平坦	人為				
1586	F 3 c4	N-79°-W	[楕円形]	(0.66) × 0.51	52	直立	平坦	人為	深鉢 6		本跡→SK1368	
1587	F 3 d4	-	円形	0.56 × 0.54	50	外傾	平坦	人為				
1588	F 3 e5	N-51°-E	楕円形	0.57 × 0.50	40	直立	平坦	人為	深鉢 42	安行 1-2 式	SK1607→本跡	
1589	F 3 e5	N-62°-E	楕円形	0.70 × 0.62	27	外傾	皿状	人為				
1590	F 3 b4	N-50°-W	不整形	1.12 × 0.97	67	直立	凹凸	人為	深鉢 25、注口土器 1	曾谷式	SK1903→本跡 →SK1591	
1591	F 3 b4	N-48°-E	不整形	1.55 × 0.86	30	外傾	凹凸	人為	深鉢 16、石皿 1		SK1300/160→本跡 →SK1259/1609	
1592	F 3 b4	N-72°-E	楕円形	0.64 × 0.49	60	直立	平坦	人為	深鉢 7、割片 1	安行 1 式	SK1903→本跡	
1593	F 3 b4	-	円形	0.51 × 0.51	63	直立	平坦	人為	深鉢 5			
1594	F 3 e5	N-17°-E	楕円形	0.80 × 0.66	46	直立	平坦	人為	深鉢 3			
1595	F 3 e5	N-31°-E	楕円形	0.58 × 0.50	43	直立	平坦	人為	深鉢 11			
1596	F 3 e5	N-79°-W	円形・楕円形	1.00 × (0.73)	18	外傾	平坦	人為			本跡→SK1606	
1597	F 3 e5	N-89°-W	不整形	1.41 × 1.40	83	直立	凹凸	人為	深鉢 72、磨石 1	安行 2 式		
1598	F 3 e4	-	円形	1.45 × 1.40	252	直立	平坦	人為	深鉢 223、浅鉢 2、製塩土器 2、磨製石斧 1、磨石 1、磁石 1、四石 1	晩期前葉		
1599	F 3 d4	-	円形	0.55 × 0.53	72	直立	平坦	人為				
1600	F 3 d4	N-10°-W	楕円形	0.87 × 0.80	56	直立	平坦	人為				
1601	F 3 e5	-	円形	0.69 × 0.63	100	直立	平坦	人為			SK1602→本跡	
1602	F 3 e5	N-50°-E	[楕円形]	0.88 × (0.67)	30	直立	平坦	人為	深鉢 5		本跡→SK1601	
1603	F 3 b4	N-50°-E	円形・楕円形	0.60 × (0.43)	13	外傾	平坦	人為			本跡→SK1590/1591/1592	
1604	F 3 a5	-	[円形]	0.38 × (0.23)	68	外傾	平坦	人為				
1605	F 3 b5	-	[円形]	0.30 × (0.11)	24	外傾	皿状	人為	浅鉢 1	加賀川 B 3 式	本跡→SK1499	
1606	F 3 e5	N-61°-W	楕円形	0.86 × 0.76	123	直立	平坦	人為	深鉢 27、土器片内盤 2	安行 1 式	SK1596→本跡	
1607	F 3 e5	N-76°-E	[楕円形]	0.67 × (0.52)	56	直立	平坦	人為			本跡→SK1388	
1608	F 3 c6	N-58°-W	楕円形	1.80 × 1.23	71-96	外傾	凹凸	人為	深鉢 12、割片 1、骨 142.5 g	安行 2 式	SK1609/1618→本跡 →SM 2、HG 5	
1609	F 3 c6	N-84°-E	[楕円形]	1.12 × (0.82)	127	直立	平坦	人為	深鉢 137、石片鉢 1、製塩土器 8、石皿 1、磨石 1	安行 2 式	本跡→SK1608/1610/SM 2、HG 5	
1610	F 3 c6	-	円形	1.15 × 1.15	202	直立	平坦	人為	深鉢 180、製塩土器 8、土器片内盤 7、骨 214.6 g	後期後葉	SK1609→本跡 →SM 2、HG 5	
1611	F 3 e5	N-26°-W	[楕円形]	(0.72) × (0.58)	169	直立	平坦	人為			本跡→SK1365/1597/1612	
1612	F 3 e5	-	円形・楕円形	(0.49) × (0.43)	177	直立	平坦	人為	深鉢 9	安行 1 式	SK1611→本跡→SK1357	
1613	F 3 b7	N-64°-W	楕円形	0.97 × 0.69	92	傾倒	平坦	人為	深鉢 129、製塩土器 41、耳取刀 3、土器片内盤 1、貝殻小皿 1、貝殻中皿 1、割片 3、貝殻 17.85g、骨 6.97g	安行 3 a 式	SM 2、HG 5→本跡	
1614	F 3 b7	N-59°-E	不整形円形	0.86 × 0.60	66	内傾	平坦	人為	骨 50、浅鉢 1、製塩土器 10、土器片内盤 2、耳取刀 1、貝殻 585g、骨 86.35 g	後期後葉→晩期前葉	SM 2、HG 5→本跡	
1615	F 3 b7	N-41°-W	楕円形	0.84 × 0.75	82	直立	皿状	人為	深鉢 83、貝殻 2.49g、骨 653.7 g	後期後葉→晩期前葉	SK1607/1610/SM 2、HG 5→本跡	
1616	F 3 a7	-	不整形円形	0.70 × 0.62	52	外傾	皿状	人為	深鉢 20、製塩土器 7、貝殻 1.622g、骨 271.4 g	後期後葉→晩期前葉	SM 2、HG 5→本跡	
1617	F 3 d6	N-5°-W	楕円形	1.46 × 1.24	282	直立	平坦	人為	割片 57、内盤 1、割片 1 隻、土器片内盤 1、磨石 1、石皿 1、磨石 3、貝殻 2 隻、骨 118.2 g	後期後葉→晩期前葉	SK1616/SM 2、HG 5→本跡	
1618	F 3 c6	N-57°-W	[楕円形]	1.85 × (1.00)	135	直立	凹凸	人為	深鉢 17、製塩土器 2	本跡	SK1608/1617/SM 2、HG 5	
1619	F 3 b7	-	円形・楕円形	0.68 × (0.50)	90	直立	平坦	人為	深鉢 17、貝殻 522、骨 213.9 g	後期後葉→晩期前葉	SM 2、HG 5→本跡→SK1615	
1620	F 3 a7	N-33°-E	楕円形	0.40 × 0.33	36	直立	平坦	人為			本跡→SK1377	
1621	F 3 c7	N-81°-W	楕円形	0.59 × 0.41	38	直立	平坦	人為	深鉢 8、製塩土器 1			
1622	F 3 b7	-	円形	0.40 × 0.37	46	直立	平坦	人為	骨 34.7 g		本跡→SM 2、HG 5	
1623	F 3 b7	-	円形	0.60 × 0.58	68	直立	凹凸	人為	深鉢 13、浅鉢 2、製塩土器 1、土器片内盤 1、骨 119.0 g		本跡→SM 2、HG 5	
1624	F 3 a7	N-5°-W	楕円形	0.48 × 0.36	50	直立	平坦	人為	深鉢 4、骨 2.2 g		本跡→SM 2、HG 5	
1625	F 3 a7	-	[円形]	0.34 × (0.28)	19	外傾	皿状	人為			本跡→SK1616/SM 2、HG 5	
1626	F 3 c7	N-46°-W	楕円形	1.00 × 0.75	66	直立	凹凸	人為	深鉢 12、骨 12.6 g	安行 1 式		
1627	F 3 c7	-	円形	0.35 × 0.35	62	直立	平坦	人為				
1628	F 3 a7	N-21°-W	楕円形	0.72 × 0.60	46	直立	平坦	人為	深鉢 25、製塩土器 12、貝殻 6.541、骨 449.0 g	後期後葉→晩期前葉	SK1628/SM 2、HG 5→本跡	

番号	位置	長径(南)×短径(北)	平面形	規 模			壁 面	底 面	覆 土	主 要 出 土 物 物	時 期	備 考 (備註関係)
				長径(南) (m)	短径(北) (m)	深 5 (cm)						
1629	F 3a6	-	円形	0.46 × 0.42	38	直立	圓状	人為	深鉢2			
1630	F 3a6	N-52°-W	楕円形	0.37 × 0.33	66	直立	平坦	人為	深鉢9		安行1式	
1631	F 3a6	N-34°-W	[楕円形]	(0.96) × 0.70	93	直立	平坦	人為	深鉢77, 土偶1, 網片1			SK1578-140→本跡 →SK1620
1632	F 3a5	-	円形	0.54 × 0.50	95	直立	円凸	人為				SK1578-1631-1661→本跡 SK1578→本跡 →SK1633
1633	F 3a6	N-40°-E	西凸-南凹形	(0.37) × 0.37	48	直立	圓状	人為				
1634	F 3a7	N-84°-W	楕円形	0.38 × 0.33	98	直立	平坦	人為	深鉢5, 骨9.8g		曾行式	
1635	F 3a7	-	円形	0.55 × 0.52	48	直立	平坦	人為	深鉢8, 骨13.9g			SK349→本跡→SK388, SM 2, FIG 5
1636	F 3a7	-	[円形]	0.40 × (0.27)	58	直立	圓状	人為	深鉢3, 骨23.9g			本跡→SK1635, SM 2, FIG 5
1637	F 3b7	N-49°-E	[楕円形]	(0.35) × 0.42	26	直立	平坦	人為				本跡→SK1615, SM 2
1638	F 3a6	-	円形	0.60 × 0.56	43	直立	平坦	人為	深鉢1			
1639	F 3a6	N-48°-E	楕円形	0.80 × 0.60	173	直立	平坦	人為	深鉢10, 製塩土器5, 骨5.4g		安行2式	SK1578→本跡
1640	F 3b7	-	円形	0.45 × 0.43	62	直立	平坦	人為	深鉢3, 骨1.8g			
1641	F 3a7	-	円形	0.28 × 0.28	43	直立	圓状	人為	深鉢2, 骨9.6g		後期後葉	SK1275→本跡→SK1644
1642	F 3b6	N-2°-E	楕円形	0.51 × 0.46	27	外傾	平坦	人為				SK1337→本跡
1643	F 3b6	-	円形	0.50 × 0.47	38	直立-外傾	平坦	人為	深鉢1			SK1337→本跡
1644	F 3a7	-	円形	0.24 × 0.21	24	直立	圓状	人為				SK1641→本跡
1645	F 3b6	-	[円形]	(0.48) × (0.48)	68	直立	平坦	人為				本跡→SK1438
1646	F 3b6	-	円形	0.36 × 0.36	51	直立	円凸	人為				
1647	F 3c7	N-42°-W	[楕円形]	(0.46) × 0.42	26	外傾	平坦	人為				本跡→SK1332
1648	F 3a7	-	円形	0.32 × 0.32	39	直立	平坦	人為				
1649	F 3a7	-	[円形]	0.38 × (0.35)	48	直立	平坦	人為				本跡→SK1480
1650	F 3b7	N-62°-W	楕円形	1.19 × 0.65	34	直立	平坦	人為	深鉢1			本跡→SM 2, FIG 5
1651	F 3a6	N-40°-W	[楕円形]	(0.40) × (0.30)	84	直立	圓状	人為	深鉢8		安行2式	本跡→SK1565
1652	E 3c7	N-13°-E	西凸-南凹形	0.80 × (0.31)	84	直立	平坦	人為	深鉢21, 貝殻309, 骨48.5g		安行3a式	
1653	F 3b7	N-58°-E	楕円形	0.52 × 0.40	36	直立	平坦	人為				SK1275→本跡
1654	F 3a7	N-65°-W	[楕円形]	(0.36) × (0.32)	48	直立	圓状	人為				SK1656→本跡
1655	F 3a7	N-12°-E	[楕円形]	(0.36) × (0.22)	32	直立	平坦	人為	深鉢43, 製塩土器4, 土器片内蔵1, 貝片1, 網片2, 骨38.5g		安行2式	SK1656→本跡
1656	F 3a7	N-30°-E	[楕円形]	(0.74) × (0.44)	32	外傾	平坦	人為				本跡→SK1654・1655
1657	F 3c7	-	円形	0.36 × 0.33	25	直立	平坦	人為				
1658	F 3a7	N-64°-W	楕円形	0.43 × 0.34	90	直立	平坦	人為	深鉢3		曾行-安行1式	
1659	F 3a7	-	円形	0.38 × 0.36	23	直立	平坦	人為				
1660	F 3a7	N-19°-E	楕円形	0.51 × 0.44	20	直立	平坦	人為				
1661	F 3a5	-	円形	0.57 × 0.53	90	直立	平坦	人為	深鉢11, 注口土器1			本跡→SK1632
1662	F 3b2	-	円形	0.90 × 0.87	73	直立	平坦	人為	深鉢87, 注口土器1, 土器片内蔵3, 網片2			
1666	E 6i2	-	円形	0.43 × 0.41	33	直立	平坦	人為	深鉢13, 製塩土器3			古層→本跡→重層
1667	E 6b2	N-57°-E	[楕円形]	1.22 × (0.85)	36	直立	平坦	人為	深鉢138, 製塩土器15			古層→本跡→重層
1668	E 6b2	N-46°-E	楕円形	1.33 × 1.08	15	外傾	平坦	人為	深鉢49			古層→本跡→重層
1669	E 6b2	-	円形	1.42 × 1.35	24	外傾	平坦	人為	深鉢78, 製塩土器2			古層→本跡→重層
1671	E 6i2	-	円形	0.43 × 0.41	33	直立	平坦	人為	深鉢10			古層→本跡→重層
1673	E 6b2	N-52°-W	不整形楕円形	1.33 × 1.20	35	直立-外傾	平坦	人為	深鉢32, 製塩土器4, 網片1			古層→本跡→SK322・重層
1676	E 6b2	N-59°-E	[楕円形]	(0.88) × 0.80	15	外傾	平坦	人為				古層→本跡→SK322・重層
1678	E 3a5	-	円形	0.30 × 0.30	48	平坦	圓状	人為	深鉢8		後期後葉	SK1435-1541→本跡
1679	F 3a5	N-10°-W	楕円形	0.46 × 0.38	54	直立	平坦	人為	深鉢4		後期後葉	SK1427→本跡
1680	F 3a5	-	円形	0.36 × 0.34	22	外傾	平坦	人為	深鉢2			
1681	F 3a5	-	[円形]	0.34 × (0.28)	44	直立	圓状	人為	深鉢8		曾行式	本跡→SK1686
1682	F 3a5	N-10°-E	楕円形	0.30 × 0.22	50	直立	平坦	人為				SK3080→本跡→SK1444

番号	位置	長径(幅)方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(幅)×短径(幅) (m)	深 さ (cm)						
1683	F 3 a5	N - 45° - E	楕円形	0.28 × 0.20	38	直立	平坦	人為	深鉢3		本跡→SK1682
1684	F 3 a5	N - 61° - W	楕円形	0.36 × 0.30	16	外傾	平坦	人為	深鉢3	曾谷式	
1685	F 3 a5	-	円形	0.24 × 0.22	16	直立	皿状	人為	深鉢2		
1686	F 3 a5	N - 19° - W	楕円形	0.44 × 0.38	82	直立	平坦	人為	深鉢4	曾谷-安行1式	SK360→4期→SK133
1687	F 3 a5	-	[円形]	0.22 × 0.20	34	直立	皿状	人為	深鉢1		本跡→SK1660
1688	F 3 a5	-	円形	0.28 × 0.28	24	直立	皿状	人為			
1689	F 3 b4	-	円形	0.25 × 0.25	35	直立	皿状	人為			SK1591→本跡
1690	E 3 c9	N - 40° - W	円形・楕円形	0.44 × 0.28	56	外傾	皿状	人為			本跡→SK614・630

## 印刷仕様

編集	OS	Microsoft Windows 10 Pro
	編集	Adobe InDesign 2020
	図版作成	Adobe Illustrator 2020
	写真調整	Adobe Photoshop 2020
	Scanning	RICOH MP W4002, EPSON DS-G20000
使用Font	OpenType	リュウミンPro L-KL, 太ゴB101 Pro Bold 中ゴシックBBB Pro Medium
写真	線数	カラー210線以上
印刷		印刷所へは、Adobe InDesign 2020 でデータ入稿

茨城県教育財団文化財調査報告第459集

つくば市

上境旭台貝塚5

上巻

中根・金田台特定土地地区画整理  
事業地内埋蔵文化財調査報告書ⅩⅦ

令和4（2022）年 1月20日 発行

発行 公益財団法人茨城県教育財団

〒310-0911 水戸市見和1丁目356番地の2

茨城県水戸生涯学習センター分館内

TEL 029-225-6587

H P <http://www.ibaraki-maibun.org>

印刷 八幡印刷株式会社

〒310-0911 水戸市見和3丁目1528-38

TEL 0120-23-1473

